様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-1603

住　所　千葉県山武郡芝山町大里１５５３－３

法人名　萩原土建株式会社

代表者　萩原 仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-78-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	萩原土建株式会社
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里1553-3
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高15億円
③従業員数	35人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
排出量	4293 t	368.4 t

（これまでに実施した取組）

各作業所ごとに公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）建設リサイクル法に基づき分別解体等及び再資源化等の促進を図ることにより建設副産物の発生抑制と削減を行った

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
排出量	4078.3 t	350 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き、分別解体等及び再生資源化等の促進を図ることにより建設副産物の発生抑制と削減を行う

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別に関するマニュアルの作成や教育を実施している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

ｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｱｽｺﾝがら、路盤廃材、建設汚泥、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ、木くず、金属くずの分別を徹底したうえで委託処理を行う

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自ら産業廃棄物の再生利用を行う予定はない</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も自ら産業廃棄物の中間処理を行う予定はない</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

これまでに自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
全処理委託量		4293ｔ	368.4ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	4239ｔ	368.4ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

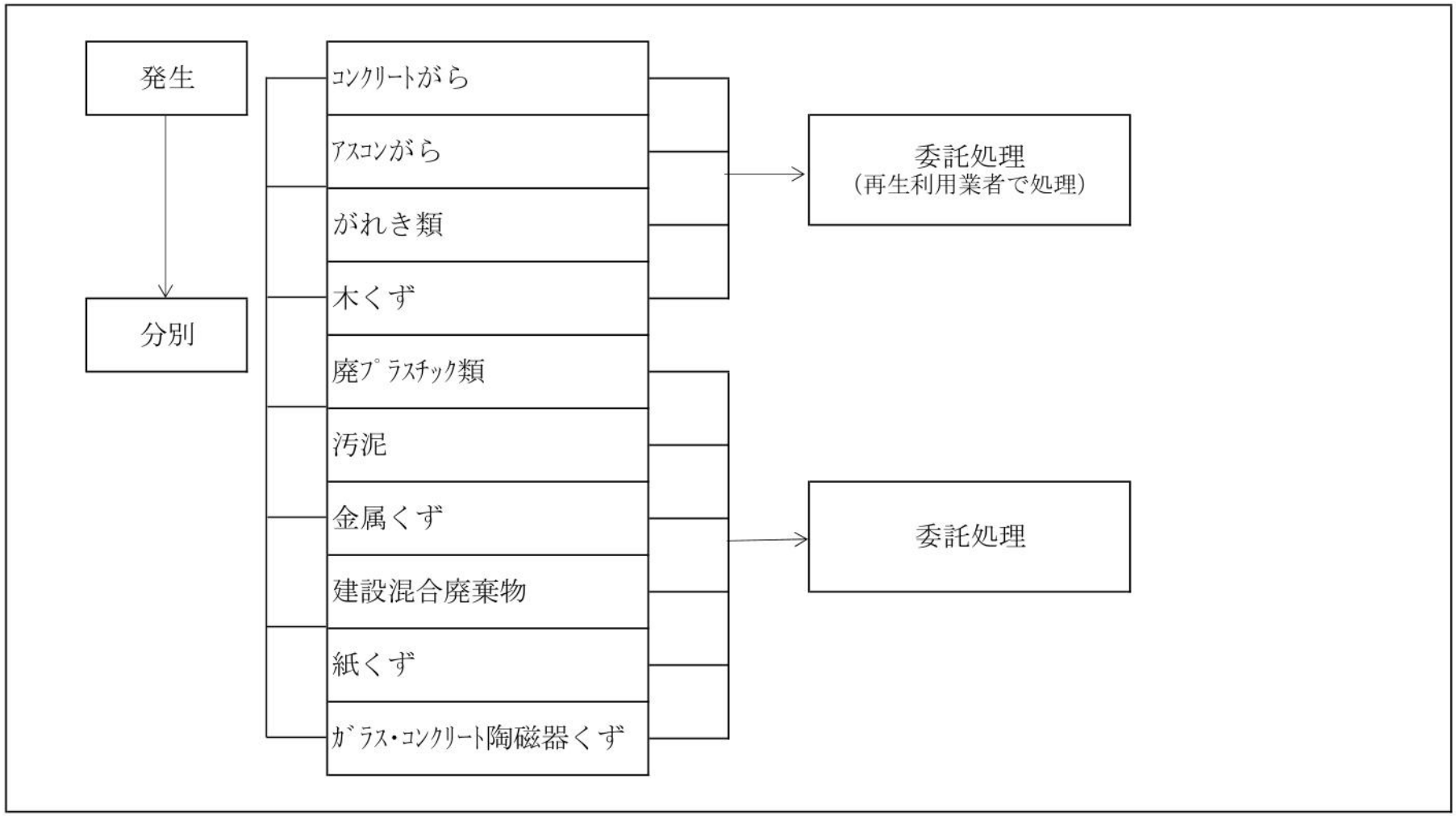
（これまでに実施した取組）

分別の徹底により、最終処分を削減し再生利用の促進を図った

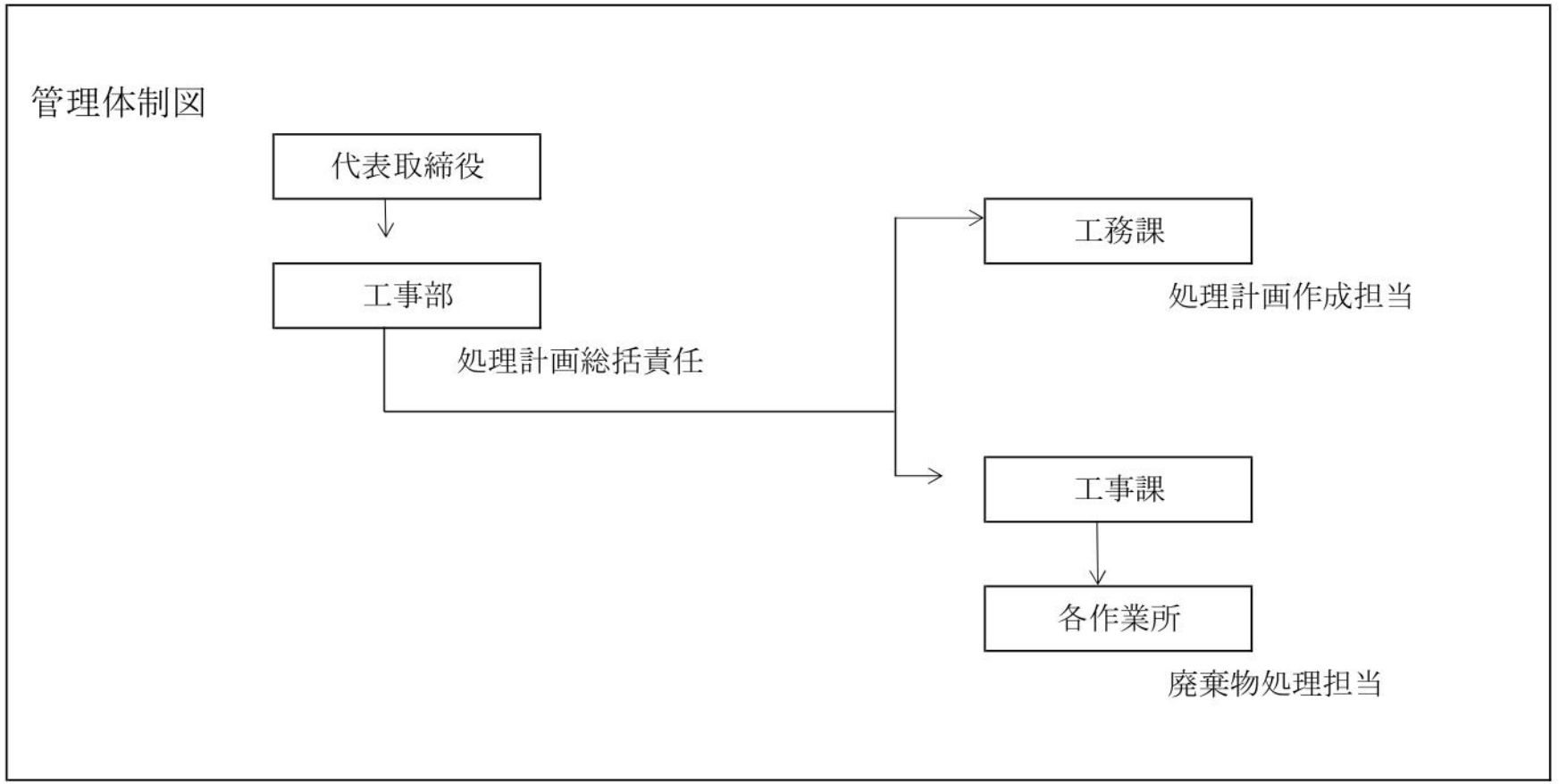
<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト・コンクリートがら</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>4078.3 t</td><td>350 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>4078.3 t</td><td>350 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き継続する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		排　出　量	1326.8 t	26 t	105.7 t	21.2 t	3.1 t	8.8 t	1.7 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		排　出　量	1260.5 t	24.7 t	100.4 t	20.1 t	2.9 t	8.4 t	1.6 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
	全処理委託量	1326.8 t	26 t	105.7 t	21.2 t	3.1 t	8.8 t	1.7 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1326.8 t	t	105.7 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	汚泥	金属くず	建設混合廃棄物	廃アルカリ	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ陶磁器くず
	全処理委託量	1260.5 t	24.7 t	100.4 t	20.1 t	2.9 t	8.4 t	1.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1260.5 t	t	100.4 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月16日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-1603

住所 千葉県山武郡芝山町大里1553－3

法人名 萩原土建株式会社

代表者 萩原 仁

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-78-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	萩原土建株式会社
事業場の所在地	千葉県山武郡芝山町大里1553-3
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

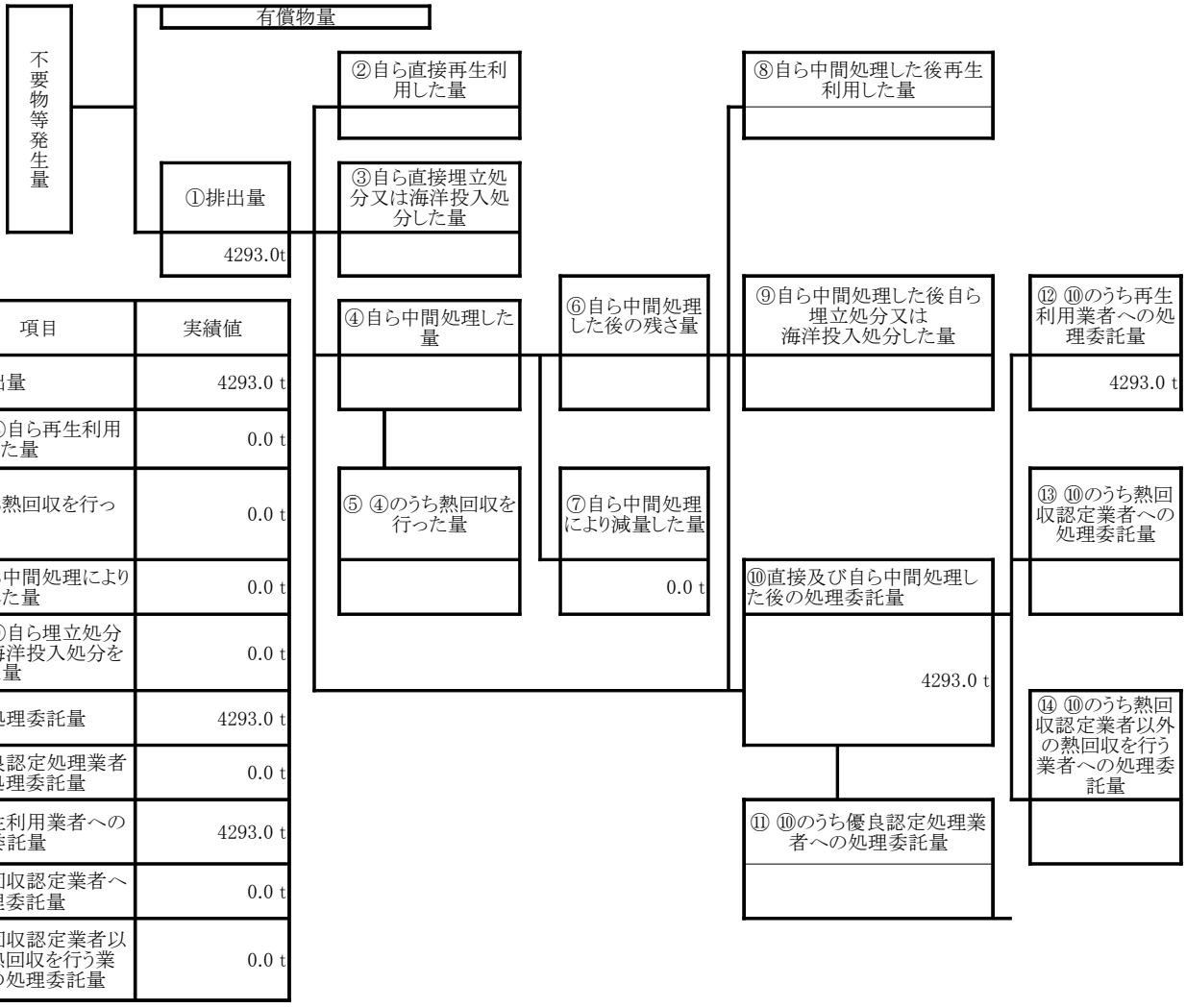
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,281 t	全処理委託量	4,281 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4,051 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

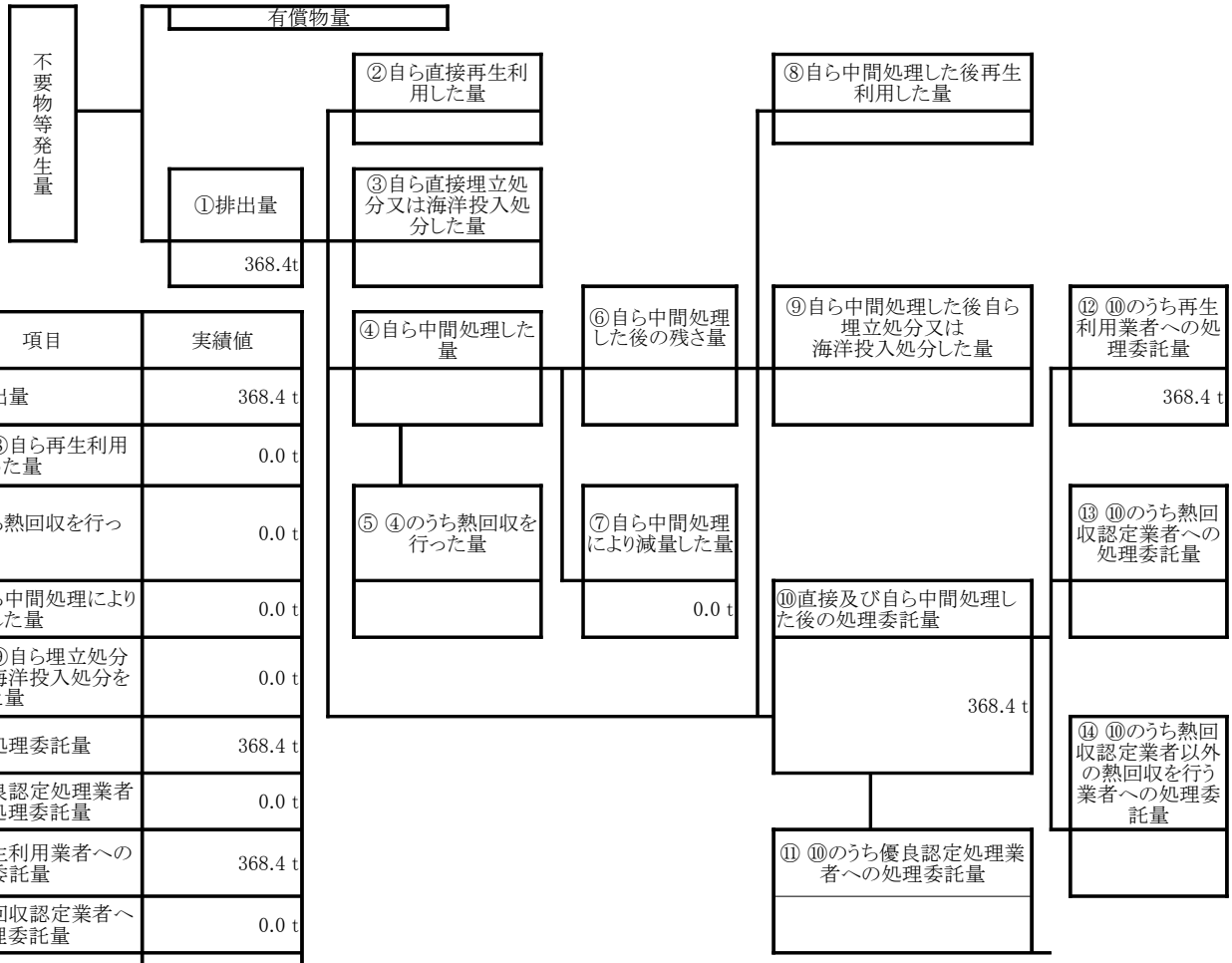


項目	実績値
①排出量	4293.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4293.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4293.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリートがら ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

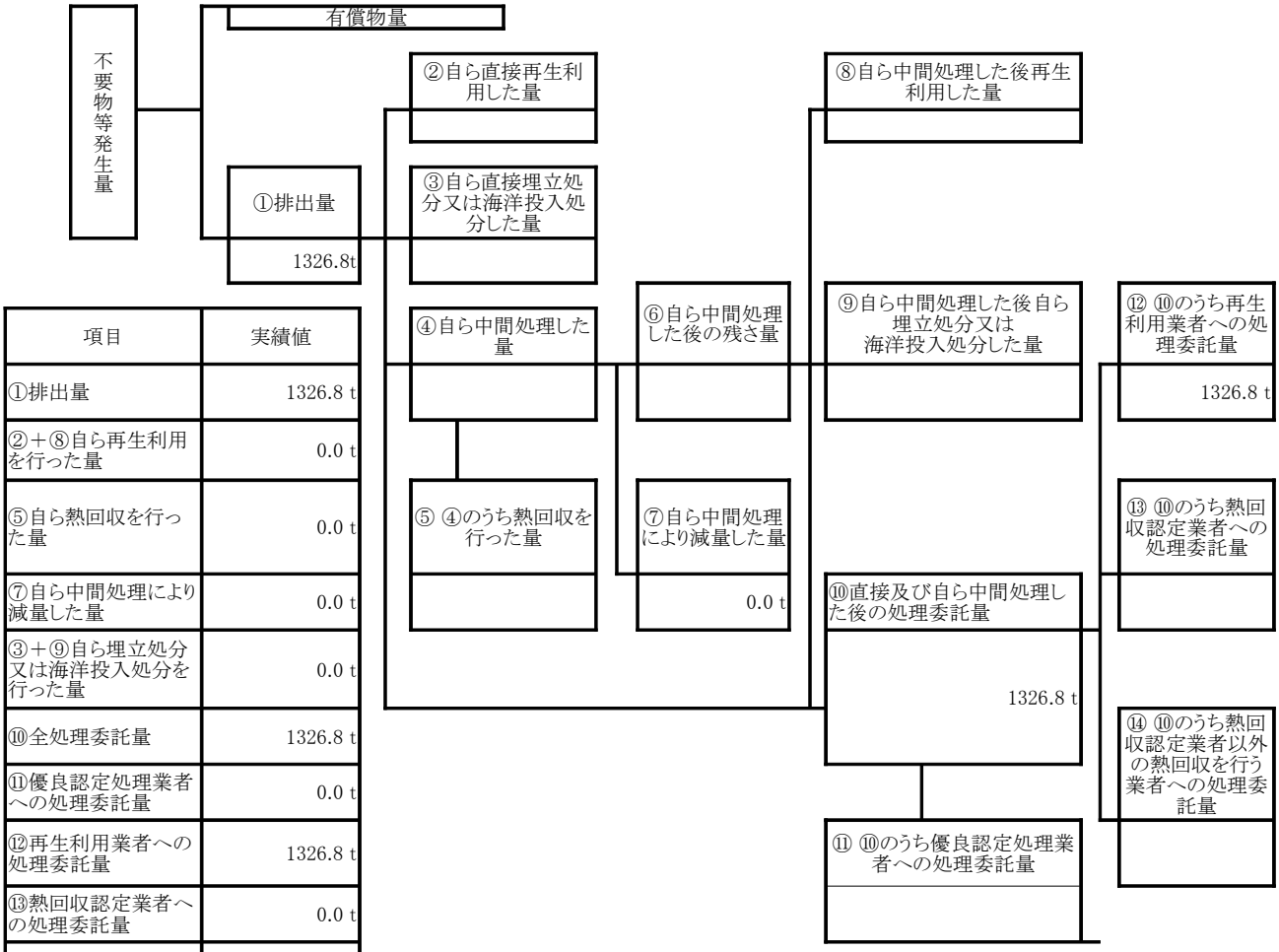


項目	実績値
①排出量	368.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	368.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	368.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



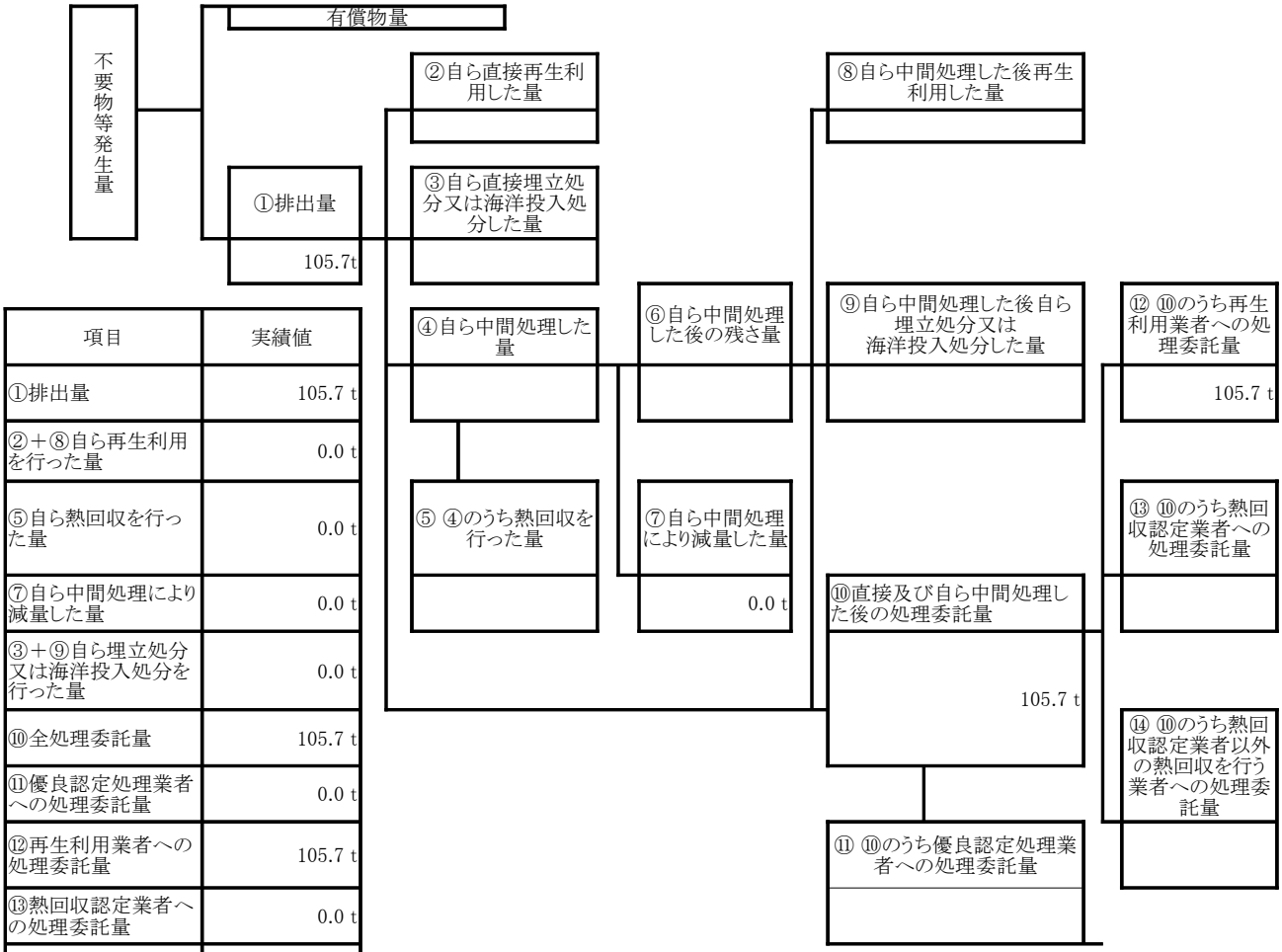
項目	実績値
①排出量	1326.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1326.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1326.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

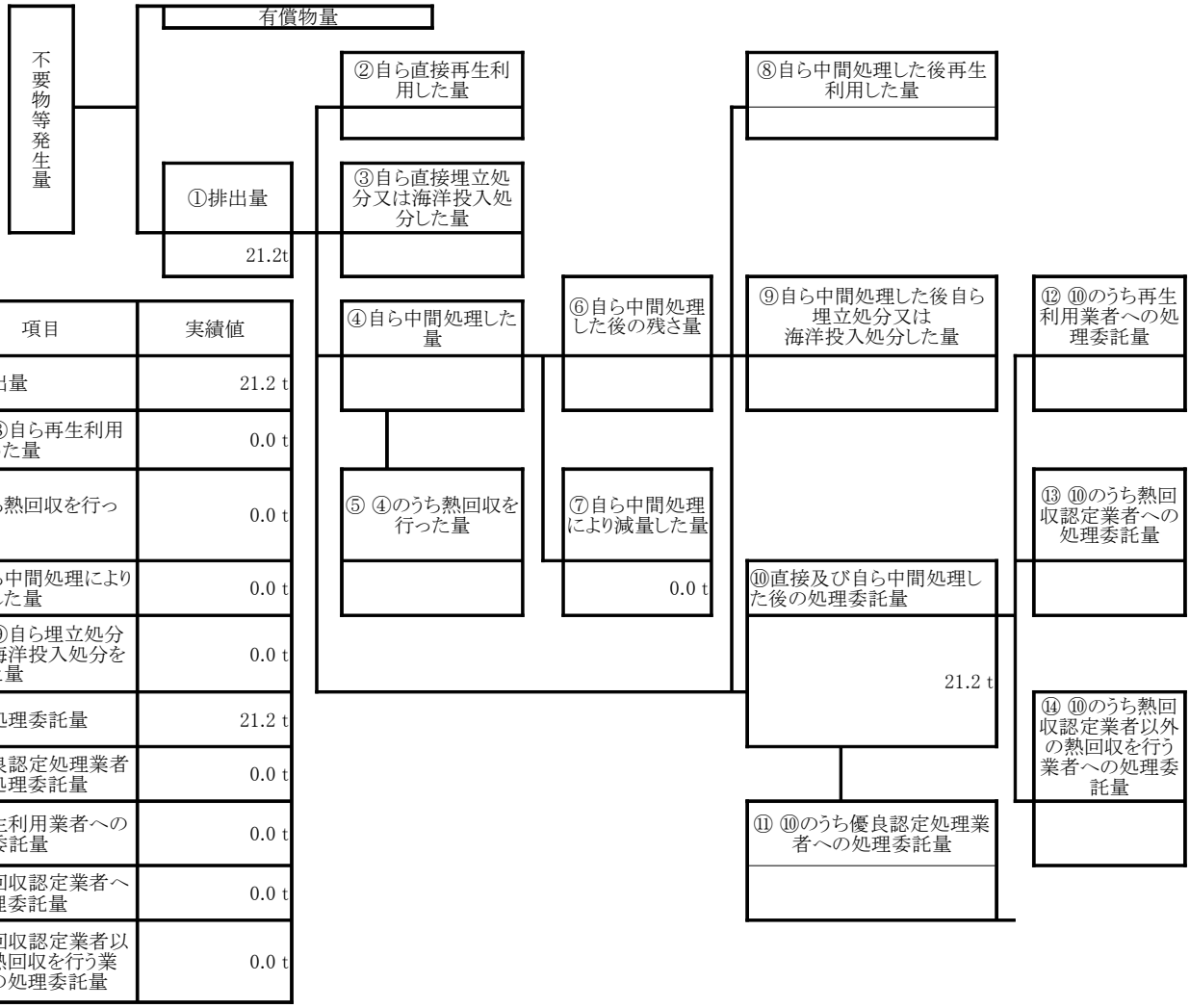


項目	実績値
①排出量	105.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	105.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	105.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

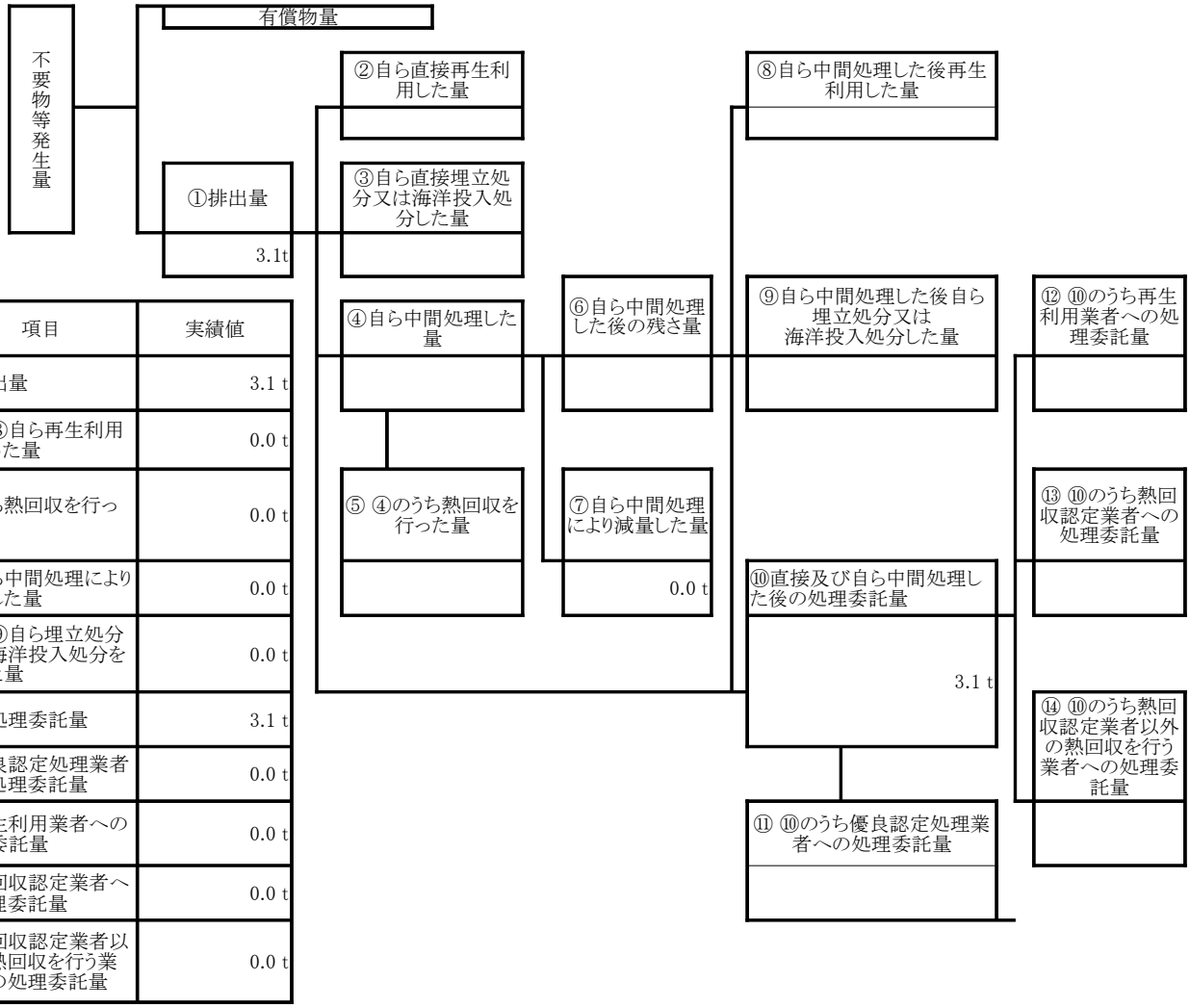


項目	実績値
①排出量	21.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

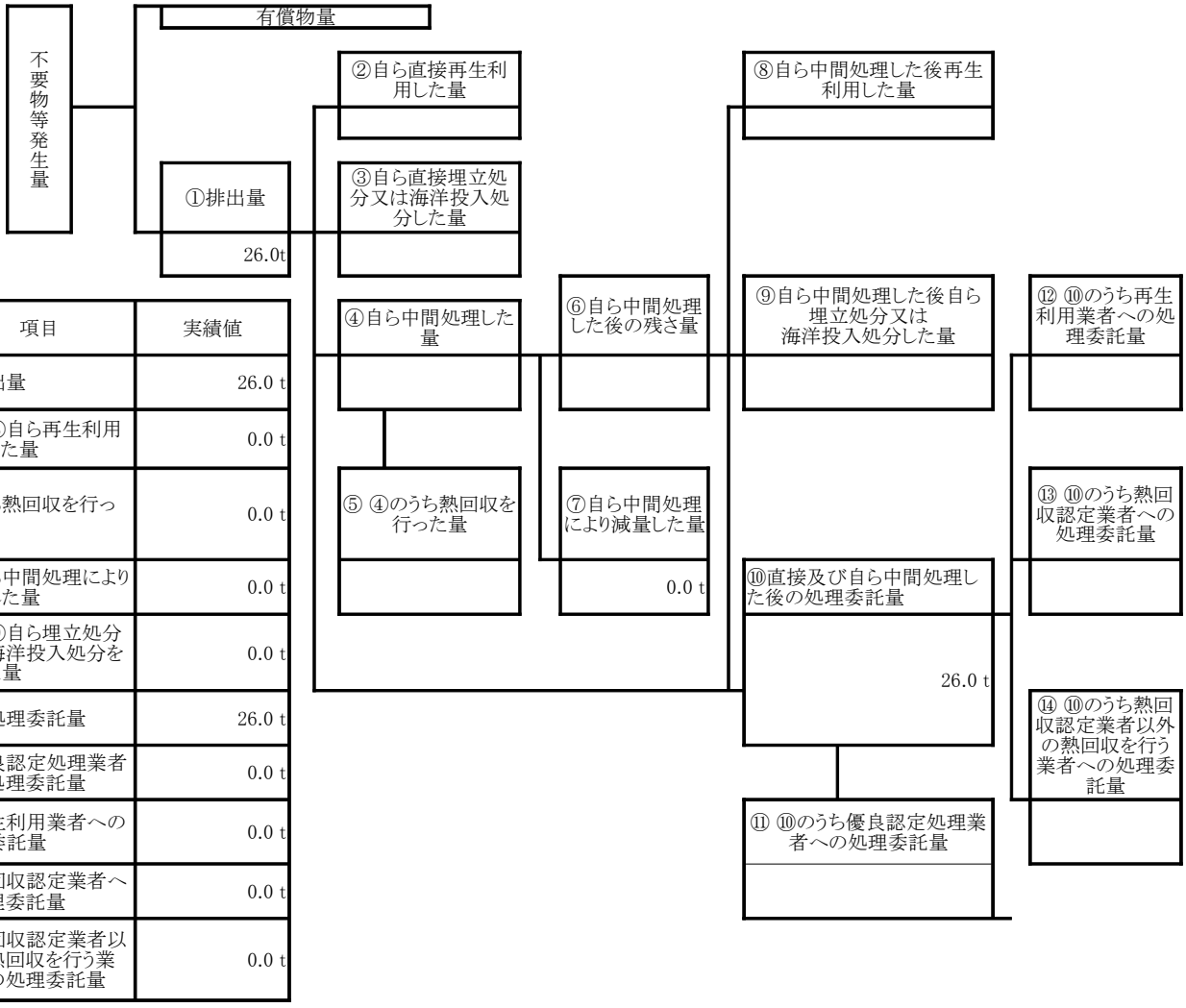


項目	実績値
①排出量	3.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



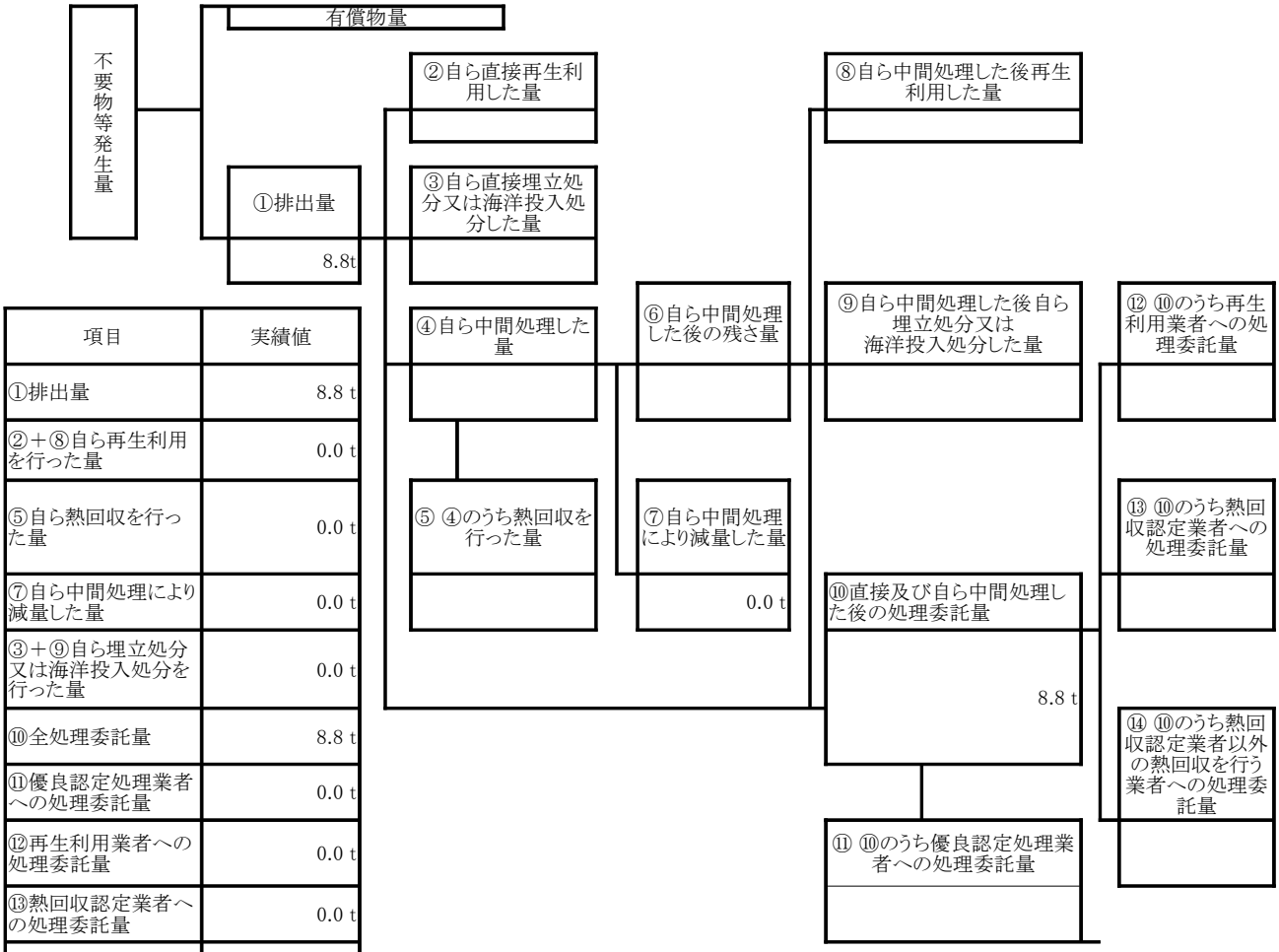
項目	実績値
①排出量	26.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

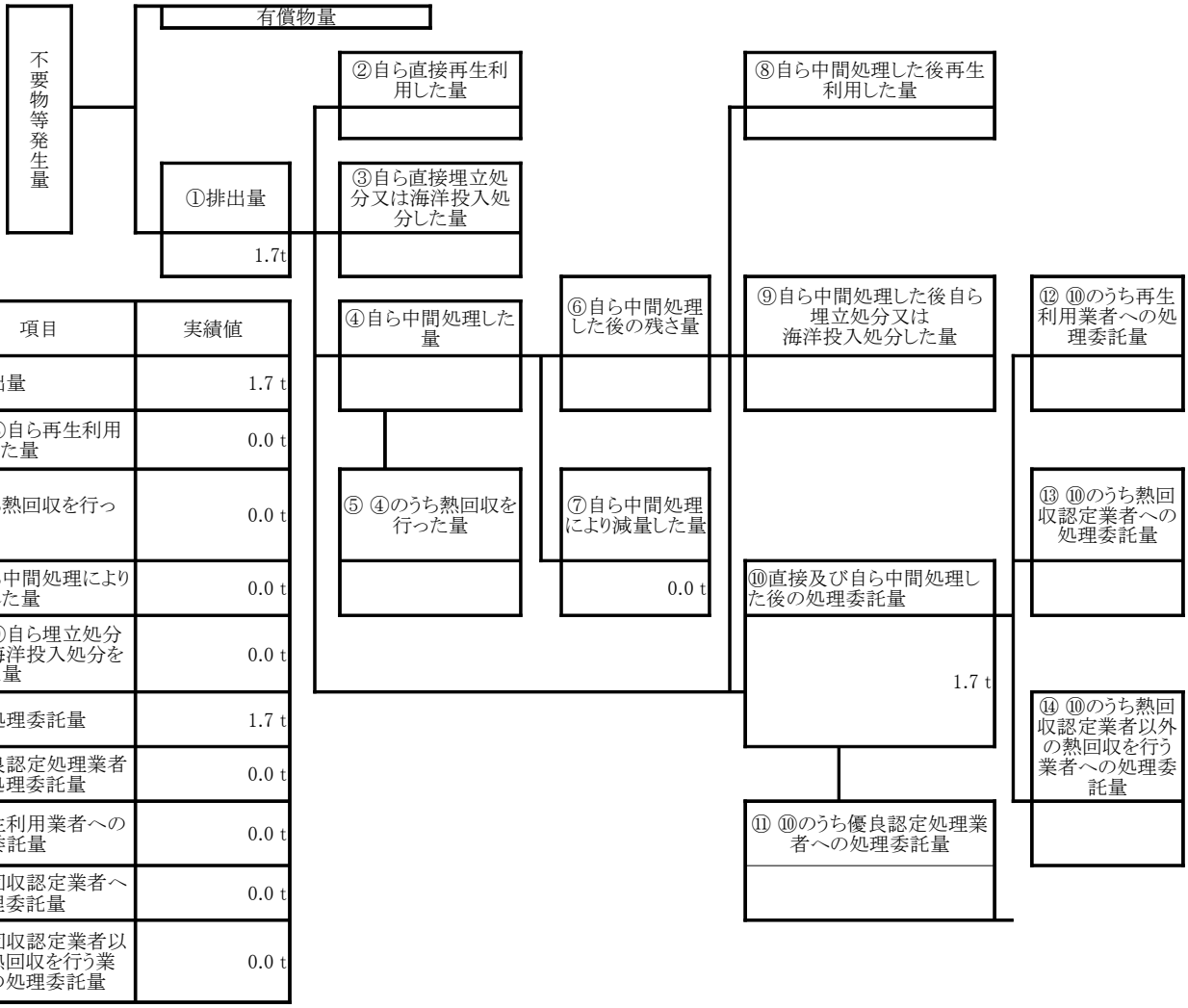


項目	実績値
①排出量	8.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃アルカリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒171-0022

住　所　東京都豊島区南池袋2-25-5

藤久ビル東５号館

氏　名　一建設株式会社

代表取締役　堀口忠美

電話番号　03-5928-1700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一建設株式会社　千葉中央営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区末広3-4-12
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	１６６４４百万円
③　従業員数	５０名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	各建築現場　⇒　収集運搬　⇒　中間処理　⇒　再資源化・埋立 （全　量　業　務　委　託）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

工事統括部長　⇒　ブロック長　⇒　工事長　⇒　各現場担当

⇳

生産管理部業務課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	616.1　t	369.75　t

（これまでに実施した取組）
現場ごとに産業廃棄物の分別の徹底
床養生材のリサイクル対応
羽柄材プレカット対応

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	600　t	350　t

（今後実施する予定の取組）
現状同様に産業廃棄物の分別を行い資材発注量の管理をし
産業廃棄物の発生抑制を行う

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
会社のルールに従って現場にて産業廃棄物の分別を行い
再資源化できるよう努力している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
継続して産業廃棄物の分別を徹底し再資源化率の
向上に努めます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
予定なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	616.1 t	369.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	137 t	63.12 t
再生利用業者への処理委託量	616.1 t	369.75 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
委託業者を選定し、適正処理を進め
委託契約書との整合性の確認

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		紙くず	
全処理委託量	600	t	350	t
優良認定処理業者への処理委託量	130	t	60	t
再生利用業者への処理委託量	600	t	350	t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t

（今後実施する予定の取組）

委託業者の中間処理場の視察等を行い、再利用可能業者
優良認定業者を選定し、産業廃棄物の適正処理を進める

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
排　　出　　量	34.98　t	1046.9　t	0.264　t	97.293　t	551.792　t	241.08　t	24.42　t	14.248　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
排　　出　　量	30　t	1000　t	0　t	90　t	500　t	200　t	20　t	10　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
全処理委託量	34.98　t	1046.9　t	0.264　t	97.293　t	551.792　t	241.08　t	24.42　t	14.248　t
優良認定処理業者への処理委託量	0　t	108.6　t	0.264　t	20.453　t	25.088　t	43.53　t	19.98　t	10.348　t
再生利用業者への処理委託量	34.98　t	1046.9　t	0.264　t	97.293　t	551.792　t	241.08　t	24.42　t	14.248　t
認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ダンボール	木くず	繊維くず	金属くず	がらすくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	管理型混合廃棄物
全処理委託量	30　t	1000　t	0　t	90　t	500　t	200　t	20　t	10　t
優良認定処理業者への処理委託量	0　t	100　t	0　t	20　t	25　t	40　t	10　t	10　t
再生利用業者への処理委託量	30　t	1000　t	0　t	90　t	500　t	200　t	20　t	10　t
認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　171-0022

住所 東京都豊島区南池袋2-25-5藤久ビル東5号館

法人名 一建設株式会社

代表者 堀口 忠美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5928-1726

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	一建設株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-11-24 フォルテ1号
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

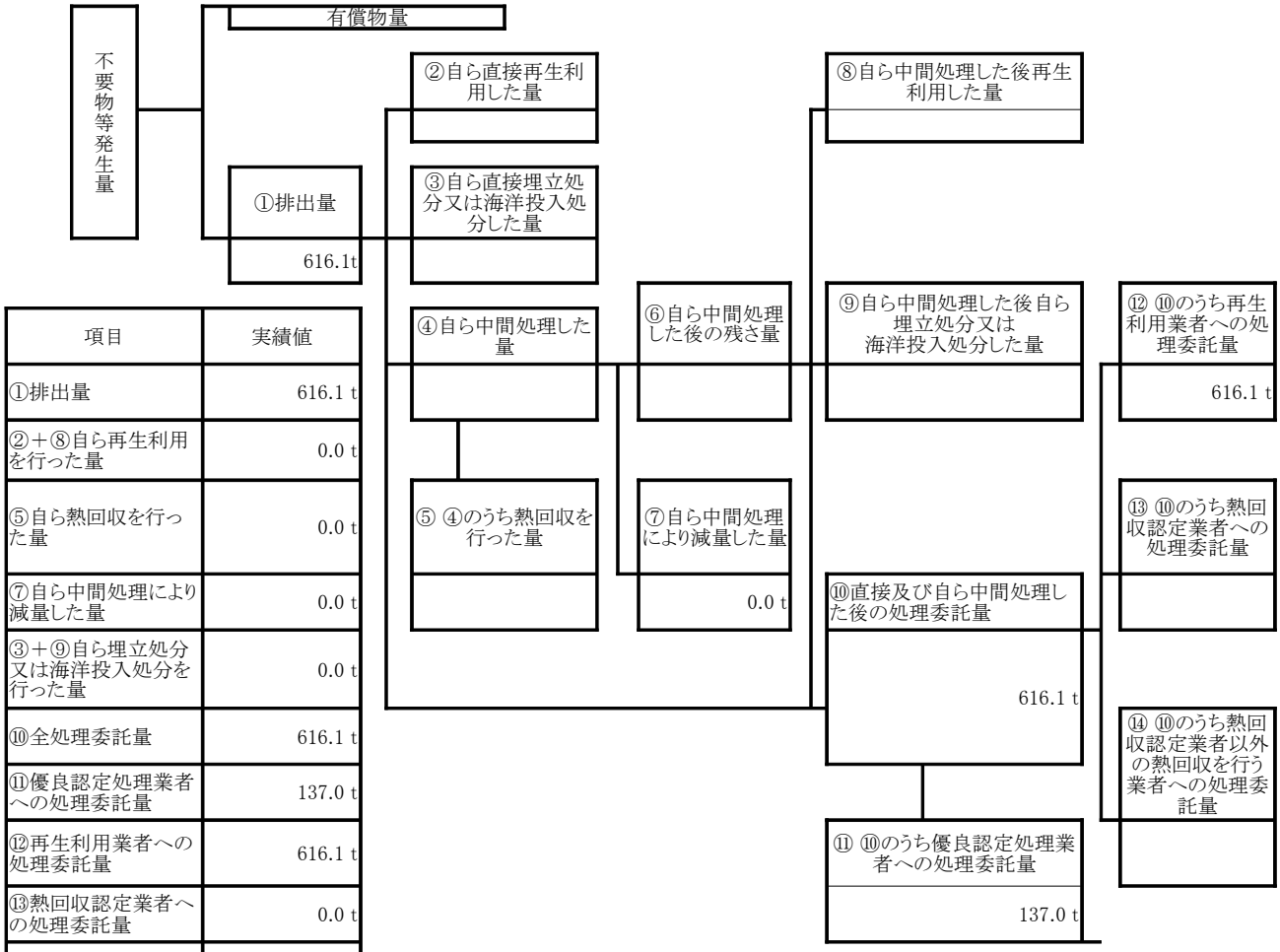
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3500 t	全処理委託量	3500 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	3060 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



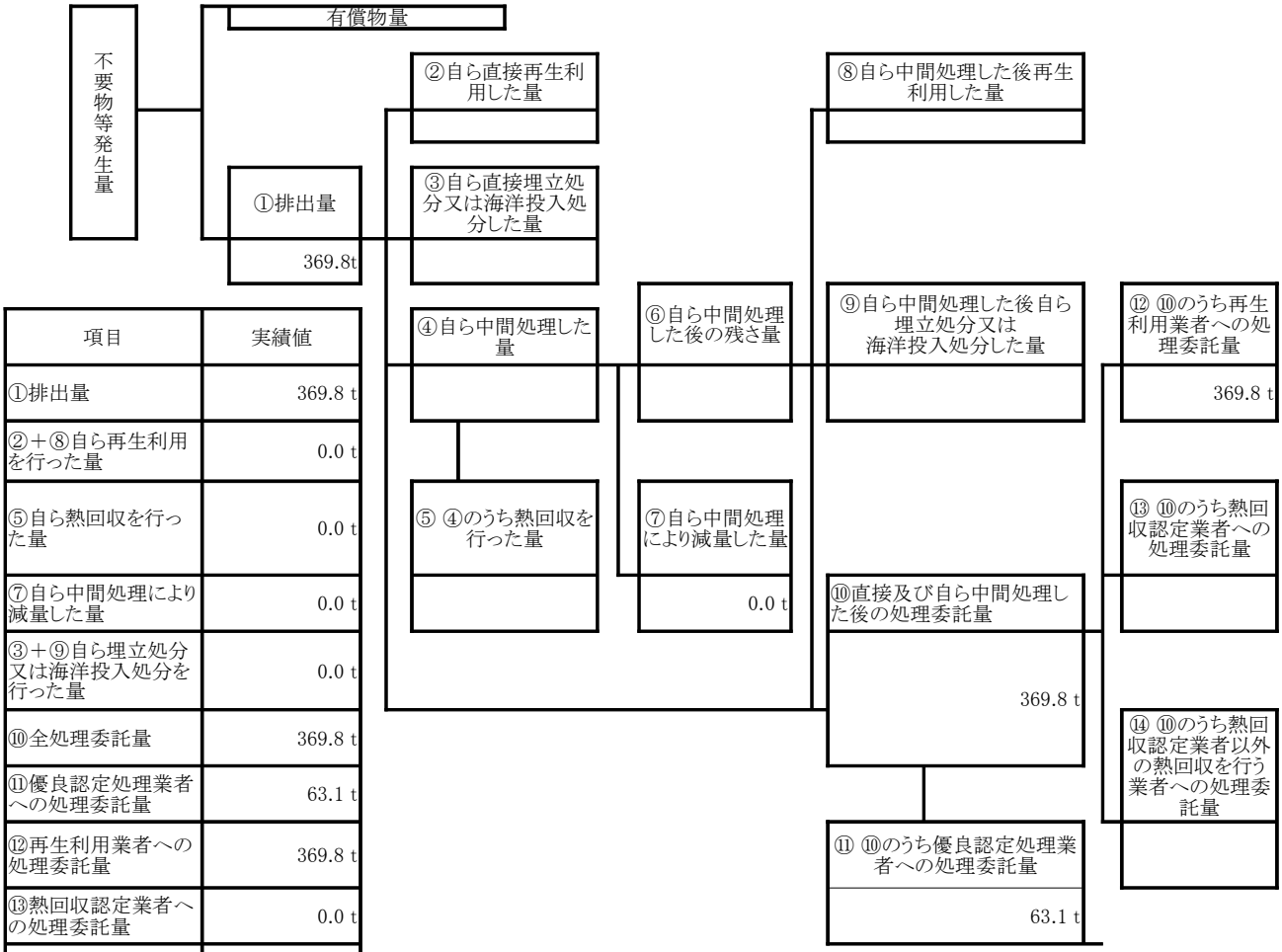
項目	実績値
①排出量	616.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	616.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	137.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	616.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

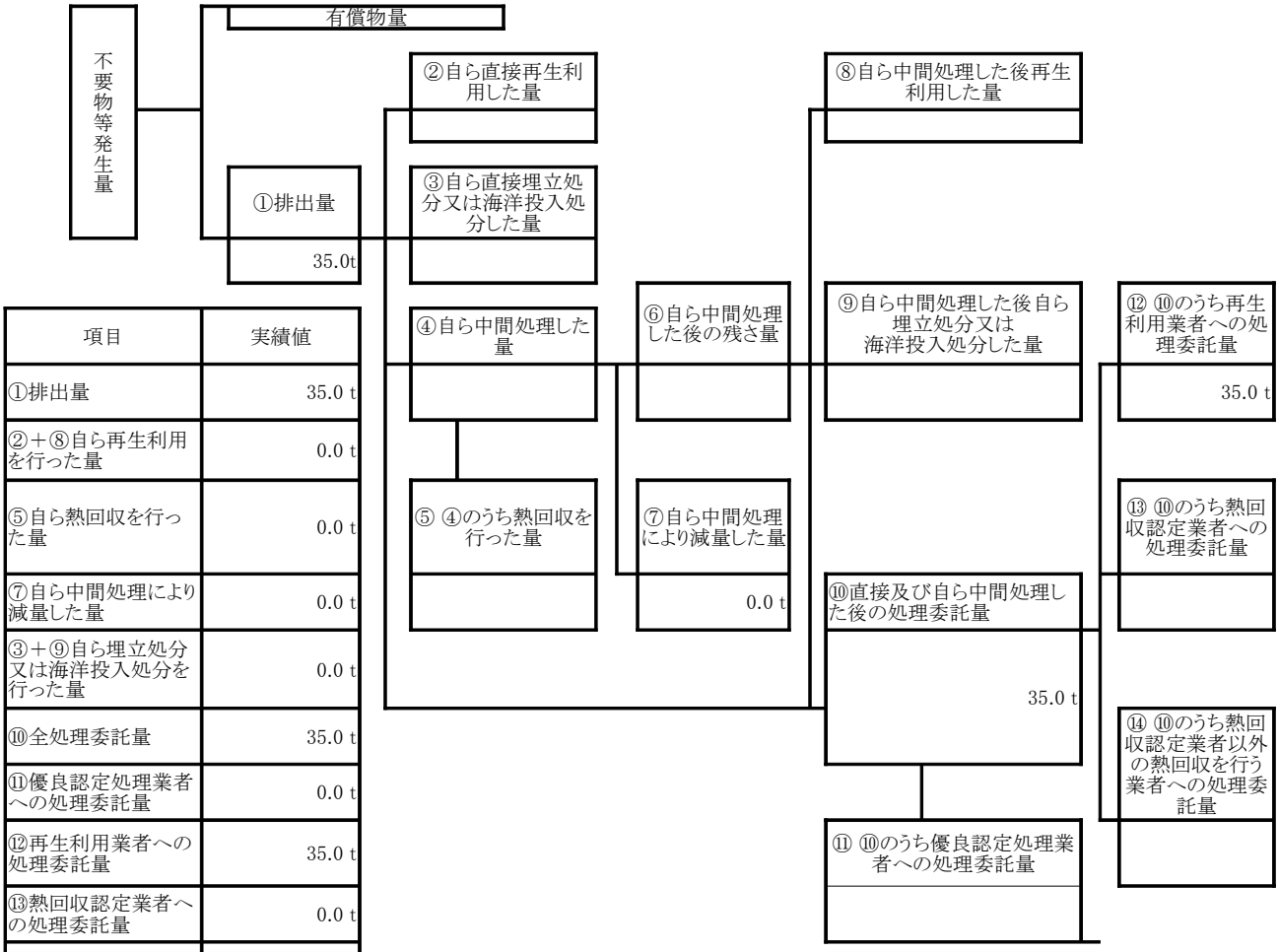


項目	実績値
①排出量	369.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	369.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	63.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	369.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **ダンボール** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

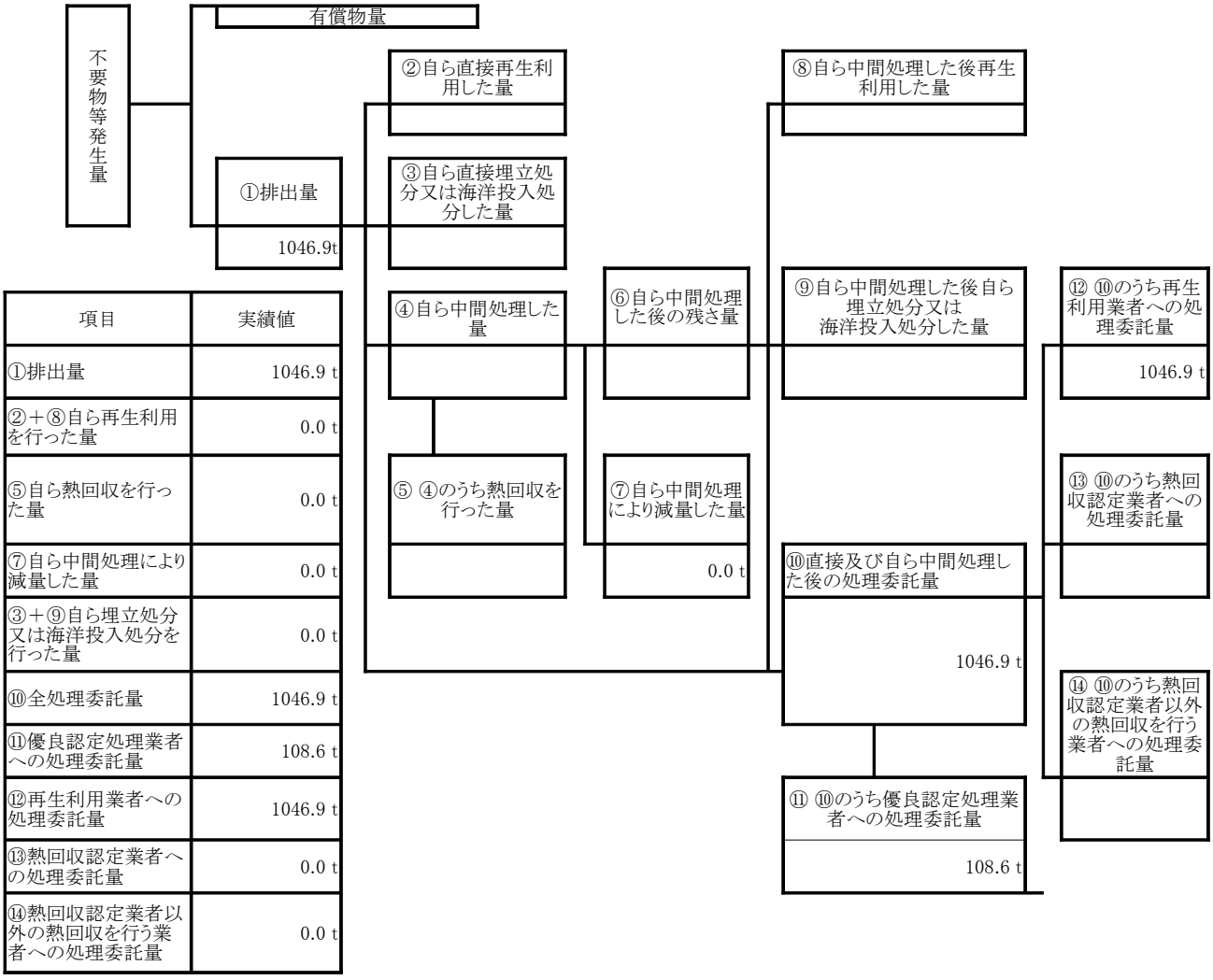


項目	実績値
①排出量	35.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

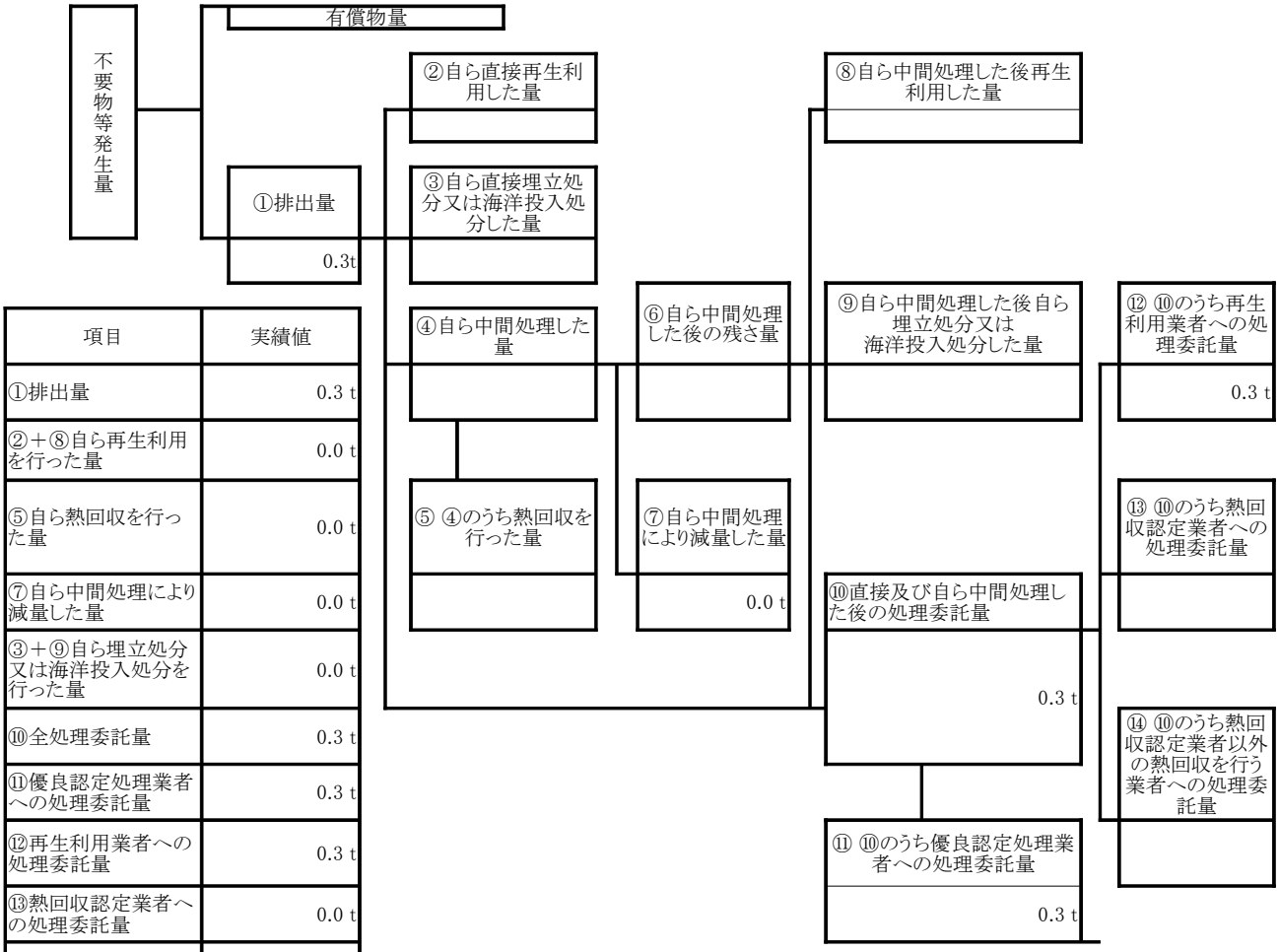


項目	実績値
①排出量	1046.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1046.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	108.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1046.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

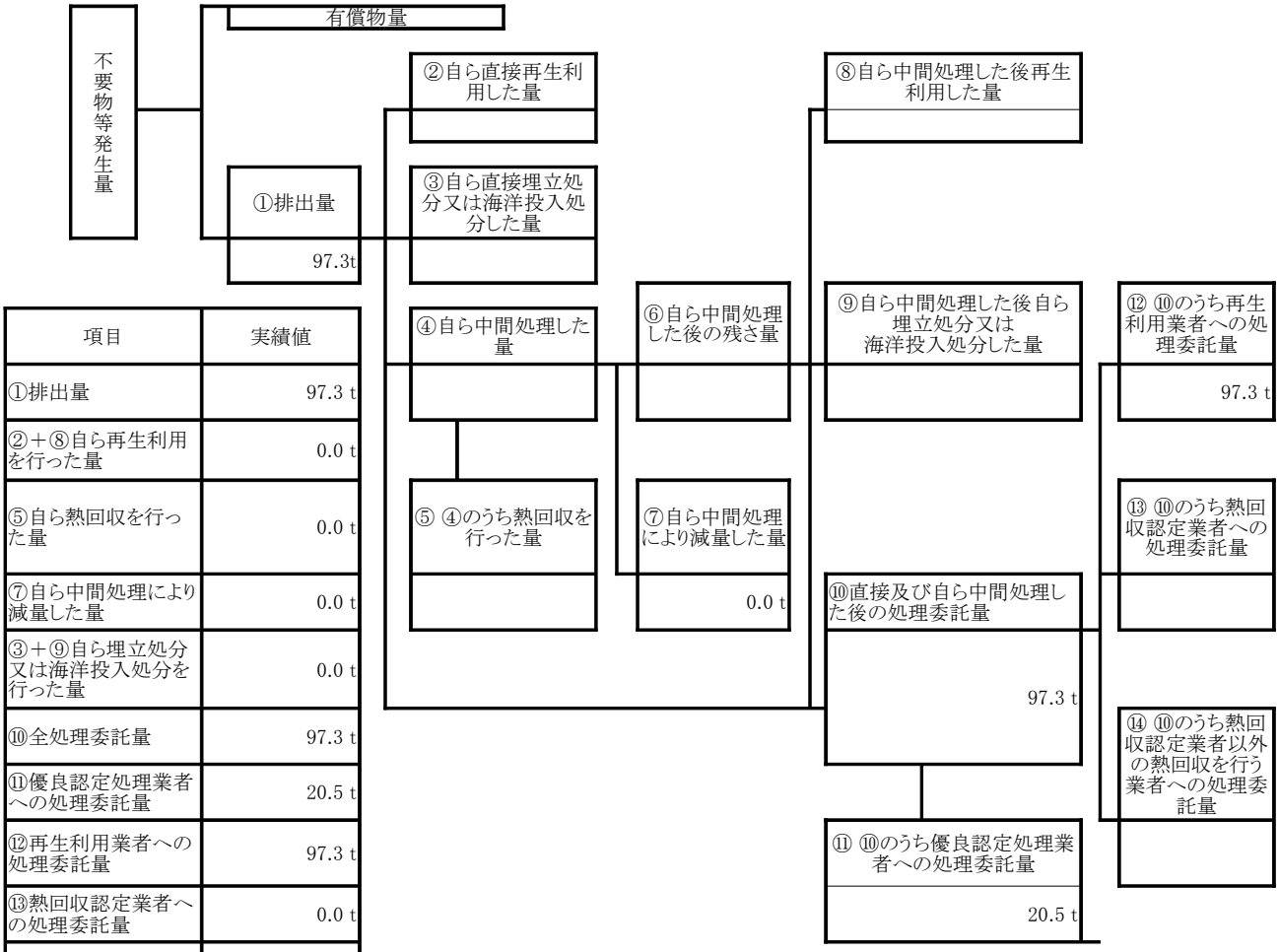


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

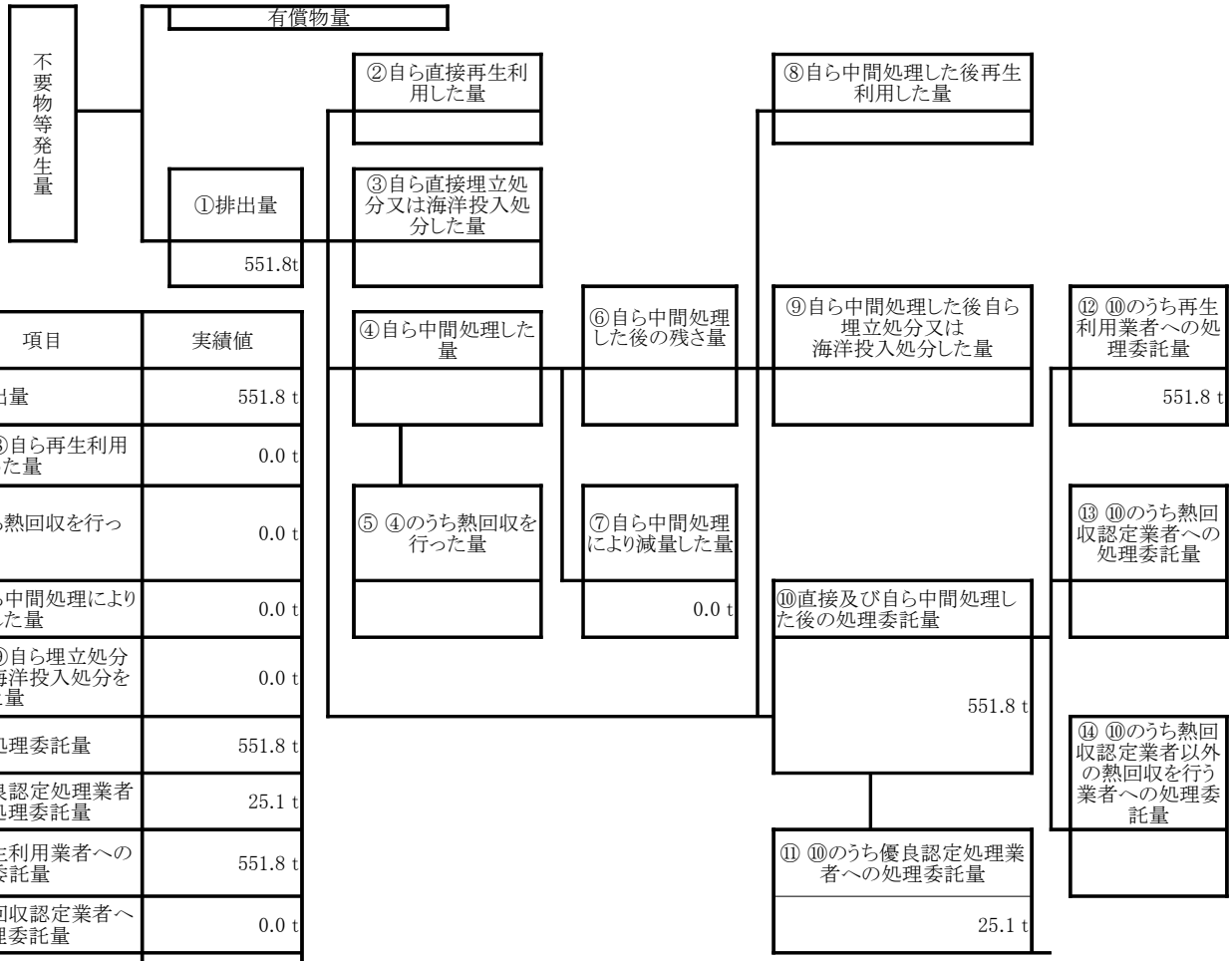


項目	実績値
①排出量	97.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	97.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	97.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず・コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

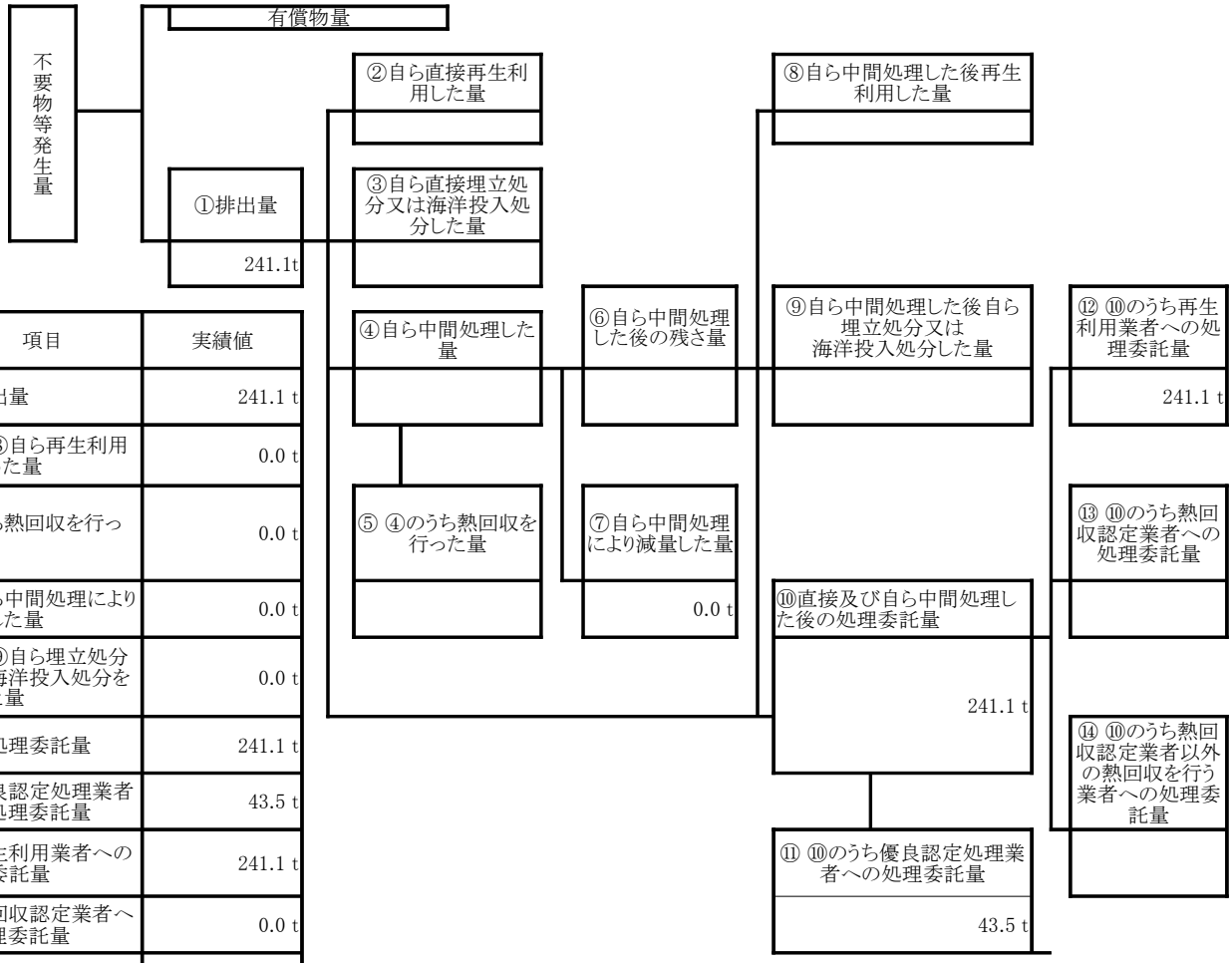


項目	実績値
①排出量	551.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	551.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	551.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

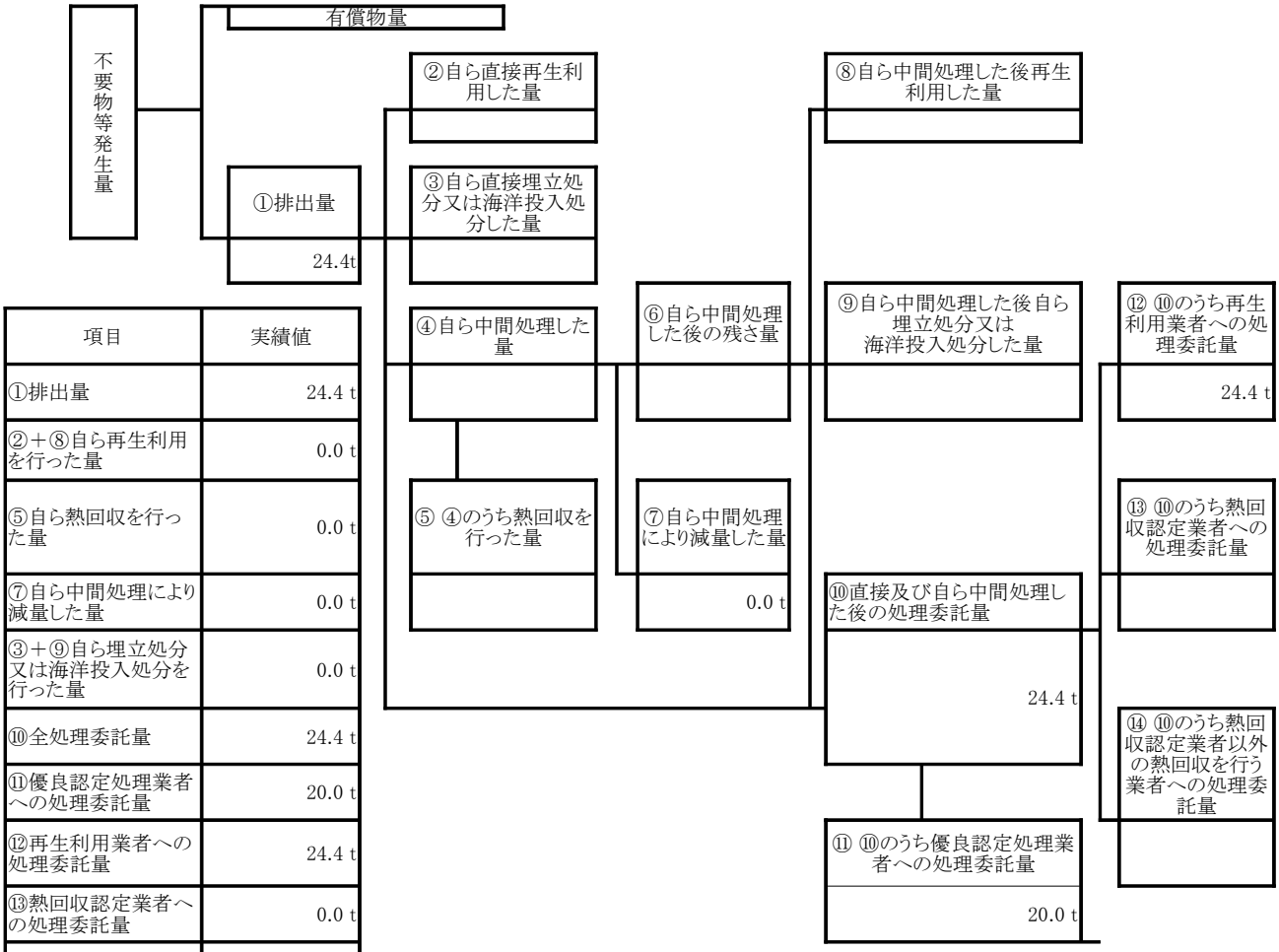


項目	実績値
①排出量	241.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	241.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	241.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

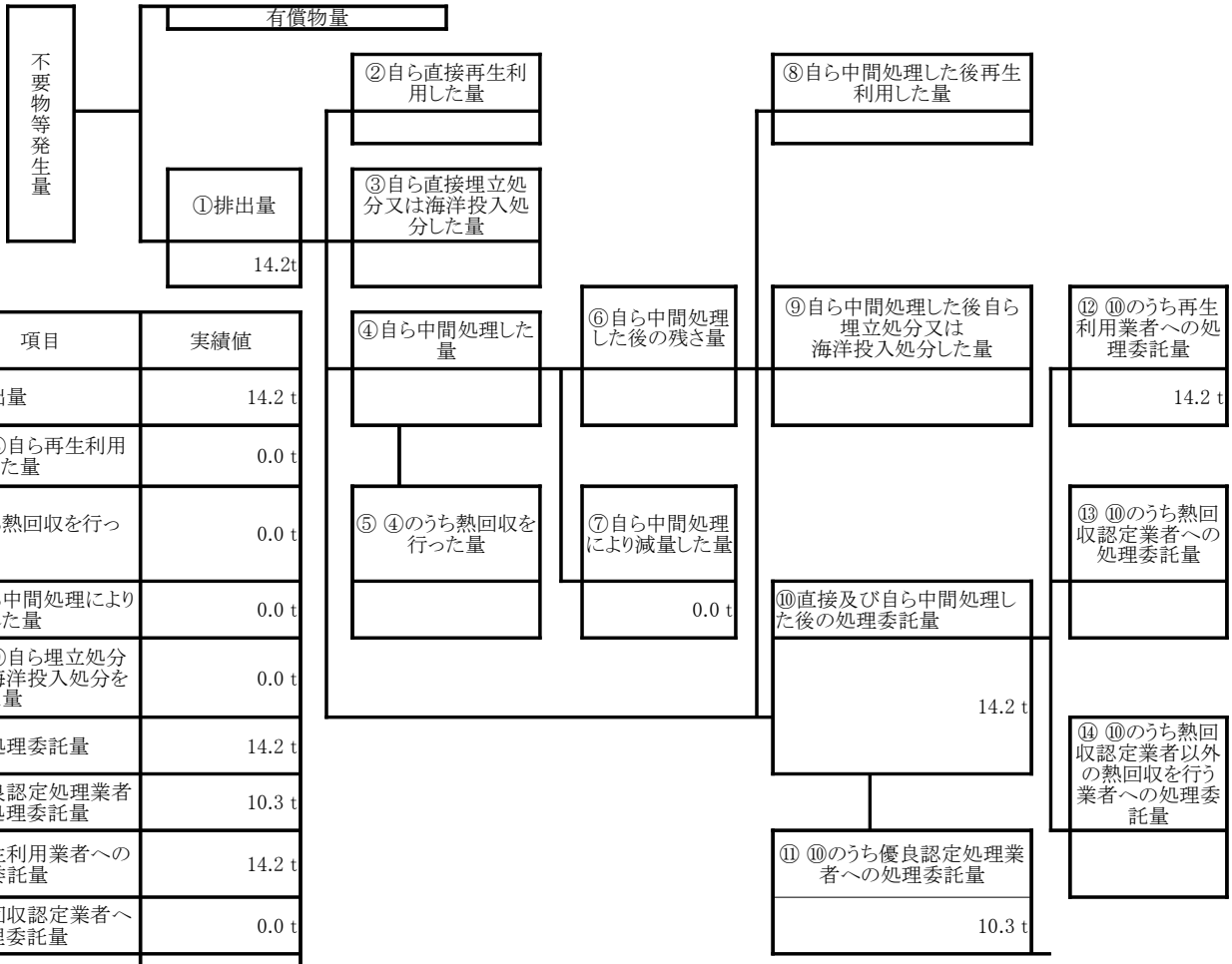


項目	実績値
①排出量	24.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	14.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　105-0014

住　所　東京都港区芝2-32-1

法人名　株式会社　長谷工コーポレーション

代表者　三森 国吉

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3456-6324

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　長谷工コーポレーション
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目32番1号
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高　21,274（百万円）
③従業員数	建設部門　843人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	47,555.31 t	t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生,最終埋立処分量を低減しています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）

継続して、再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生,最終埋立処分量を低減していきます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

当社では廃棄物処理法での事業活動にて発生する産業廃棄物を、独自に22種類に再分割し工事進捗に応じて分別管理品目による分別を行っています。作業所の分別ヤードには、分別管理品目ごとに当社オリジナル分別看板を掲示し、小量容器による分別回収を行っています。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現状の取組みを継続するとともに、新たな分別へ取り組んでまいります。

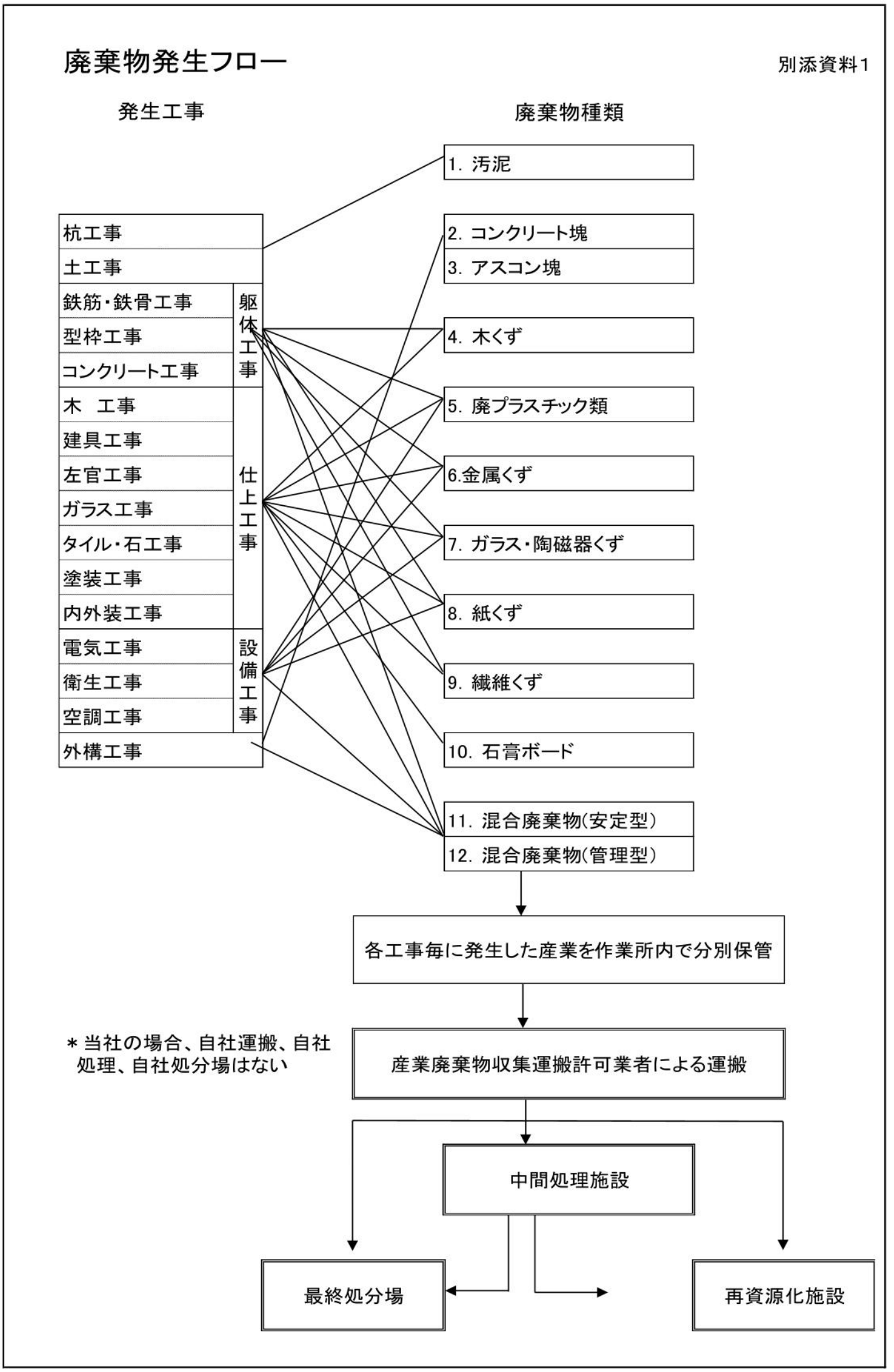
<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
優良認定処理業者と再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生され最終埋立処分量を低減しています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
継続して、優良認定処理業者と再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にて再生され最終埋立処分量を低減していきます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

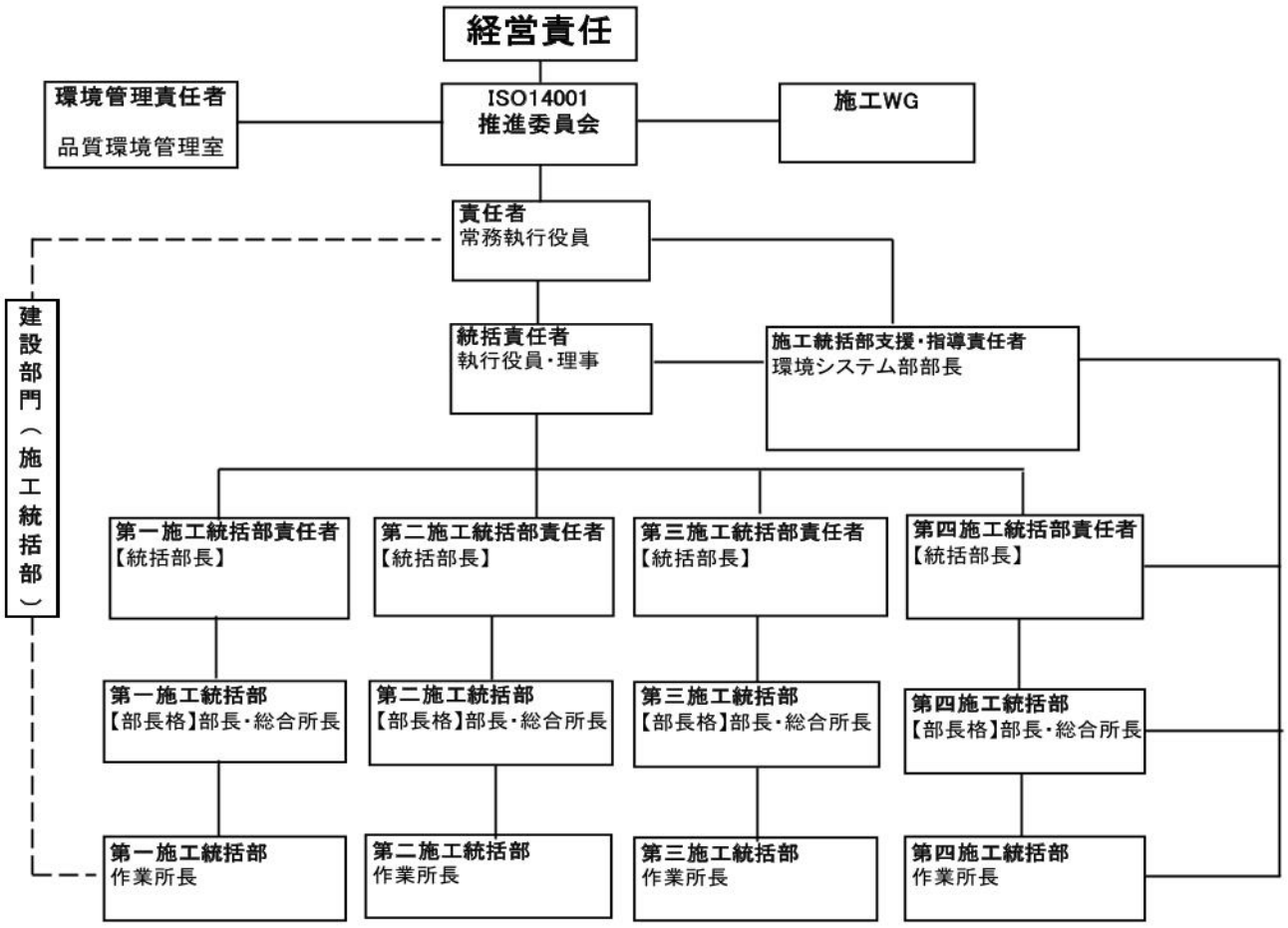
別添１ 処理工程図


廃棄物発生フロー
別添資料1
発生工事
廃棄物種類
杭工事
土工事
鉄筋・鉄骨工事
型枠工事
コンクリート工事
躯体工事
木　工事
建具工事
左官工事
ガラス工事
タイル・石工事
塗装工事
内外装工事
仕上工事
電気工事
衛生工事
空調工事
設備工事
外構工事
1. 汚泥
2. コンクリート塊
3. アスコン塊
4. 木くず
5. 廃プラスチック類
6.金属くず
7. ガラス・陶磁器くず
8. 紙くず
9. 繊維くず
10. 石膏ボード
11. 混合廃棄物(安定型)
12. 混合廃棄物(管理型)
各工事毎に発生した産業を作業所内で分別保管
＊当社の場合、自社運搬、自社処理、自社処分場はない
産業廃棄物収集運搬許可業者による運搬
中間処理施設
最終処分場
再資源化施設

別添２ 管理体制図

別添資料-2

産業廃棄物対策組織図



各責任者（責任部署）		主要な役割及び権限
経営責任者		①環境マネジメント活動についての全ての責任と権限を持つ
		②環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な資源の提供
		③環境方針の策定、環境目的・目標の承認
		④ISO14001推進委員会委員長
建設部門（施工統括部）	施工管理担当役員	①施工管理部門が行う環境マネジメント活動の責任と権限を持つ
		②環境目的及び目標の確認
		③環境管理活動計画書／実施報告書確認
	施工統括部長	①施工に関する環境側面の抽出、環境影響評価、著しい環境側面候補の特定
		②施工管理における環境目的及び年度環境目標の立案
		③施工管理における環境管理活動計画書／実施報告書策定
		④環境計画書（施工）承認
		⑤作業所における環境マネジメント活動の管理・指導
		⑥環境推進委員会・施工WGメンバー
	建設部長	①環境計画書（施工）承認
		②進捗管理表の実施結果／評価の内容確認
		③作業所における環境マネジメント活動の支援・指導
		④施工WGメンバー
	作業所所長	①作業所が行う環境マネジメント活動の責任と権限を持つ
		②環境計画書（施工）の作成
		③作業所における環境マネジメント活動の実施及び報告
		④作業所での教育実施（関連会社作業員含む）
		⑤緊急事態の対応、報告
		⑥苦情の対応,報告
		⑦監視・測定の記録
		⑧管理文書、環境記録の維持管理
環境システム部長（施工統括部支援・指導）		①施工における環境影響評価、著しい環境側面の候補決定支援
		②施工における環境目的・目標設定支援
		③施工管理における環境マネジメント活動の支援・指導
		④環境に関する施工における緊急事態への対応
		⑤環境に関する施工における苦情の対応及び支援
		⑥環境に関する作業要領・帳票類作成・維持管理
		⑦環境関連法規制維持・管理
		⑧環境に関する情報収集
		⑨作業所活動のデータ集計、分析、報告
		⑩作業所所員環境教育実施
		⑪施工における環境管理活動計画書／実施報告書策定・実施及び報告支援
		⑫管理文書、環境記録の維持管理
		⑬施工部門 「環境推進委員会施工WG」 主査

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
排出量	32,723.13 t	102.68 t	5,168.90 t	245.90 t	5,817.70 t	12.00 t	13.50 t	196.80 t	727.60 t	1,873.50 t	121.50 t	594.80 t	9.00 t	148.07 t	0.23 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
排出量	29,450.82 t	92.41 t	4,652.01 t	221.31 t	5,235.93 t	10.80 t	12.15 t	177.12 t	654.84 t	1,686.15 t	109.35 t	535.32 t	8.10 t	133.26 t	0.21 t			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
全処理委託量	32,723.13 t	102.68 t	5,168.90 t	245.90 t	5,817.70 t	12.00 t	13.50 t	196.80 t	727.60 t	1,873.50 t	121.50 t	594.80 t	9.00 t	148.07 t	0.23 t			
都道府県知事許可産業廃棄物処理業者への処理委託量	4,481.63 t	102.68 t	4,171.90 t	245.90 t	5,817.70 t	12.00 t	13.50 t	196.80 t	52.60 t	329.50 t	121.50 t	510.30 t	9.00 t	148.07 t	0.23 t			
再生利用業者への処理委託量	32,723.13 t	102.68 t	5,168.90 t	245.90 t	5,817.70 t	12.00 t	13.50 t	196.80 t	727.60 t	1,873.50 t	121.50 t	594.80 t	9.00 t	148.07 t	0.23 t			
認定熱回収事業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	廃電池類			
全処理委託量	29,450.82 t	92.41 t	4,652.01 t	221.31 t	5,235.93 t	10.80 t	12.15 t	177.12 t	654.84 t	1,686.15 t	109.35 t	535.32 t	8.10 t	133.26 t	0.21 t			
都道府県知事許可産業廃棄物処理業者への処理委託量	4,033.47 t	92.41 t	3,754.71 t	221.31 t	5,235.93 t	10.80 t	12.15 t	177.12 t	47.34 t	296.55 t	109.35 t	459.27 t	8.10 t	133.26 t	0.21 t			
再生利用業者への処理委託量	29,450.82 t	92.41 t	4,652.01 t	221.31 t	5,235.93 t	10.80 t	12.15 t	177.12 t	654.84 t	1,686.15 t	109.35 t	535.32 t	8.10 t	133.26 t	0.21 t			
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-0014

住所　東京都港区芝2-32-1

法人名 株式会社　長谷工コーポレーション

代表者 三森 国吉

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3456-6324

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　長谷工コーポレーション
事業場の所在地	東京都港区芝二丁目32番1号
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

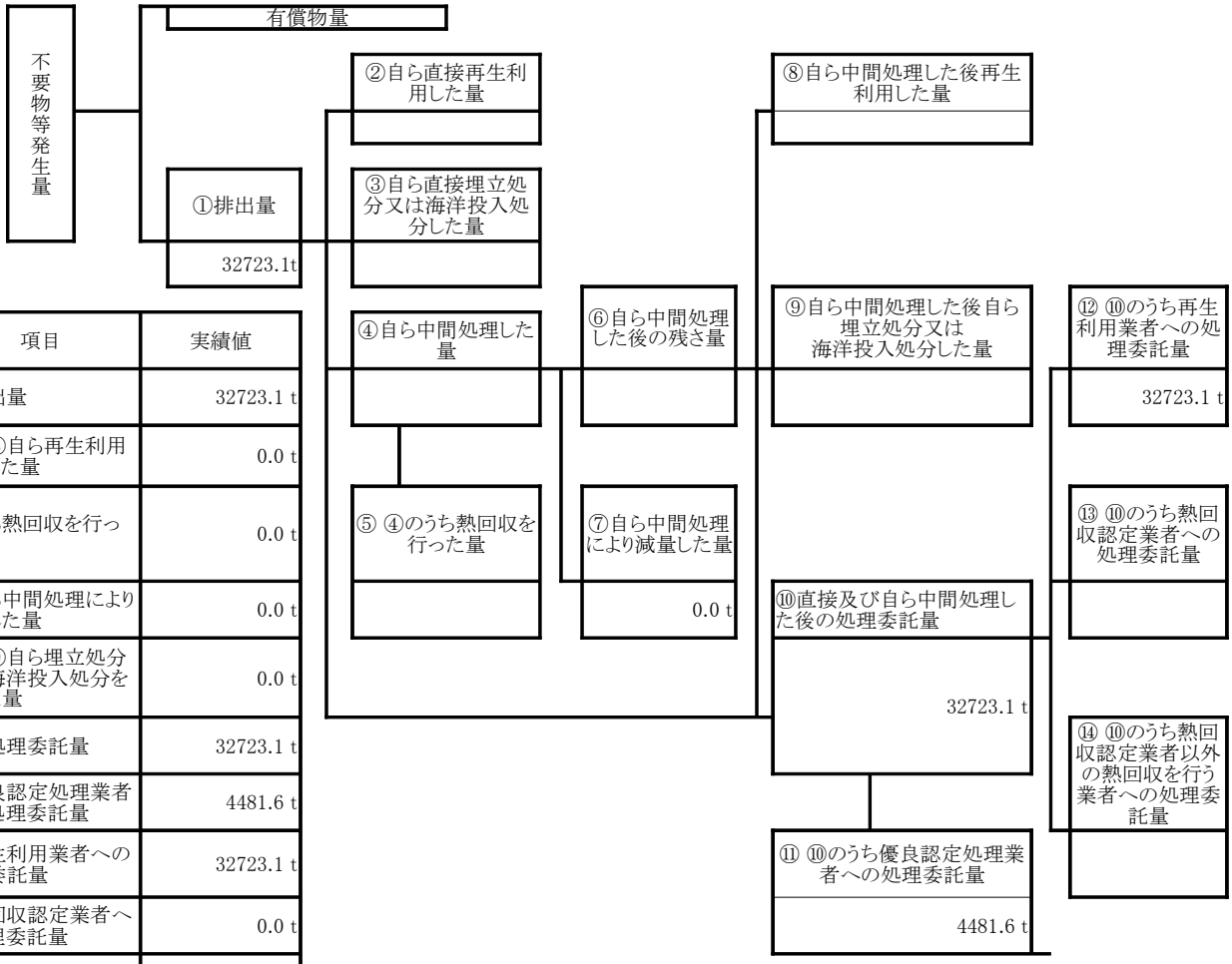
項目	目標値	項目	目標値
排出量	43,683.23 t	全処理委託量	43,683.23 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	10,622.54 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	43,678.73 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

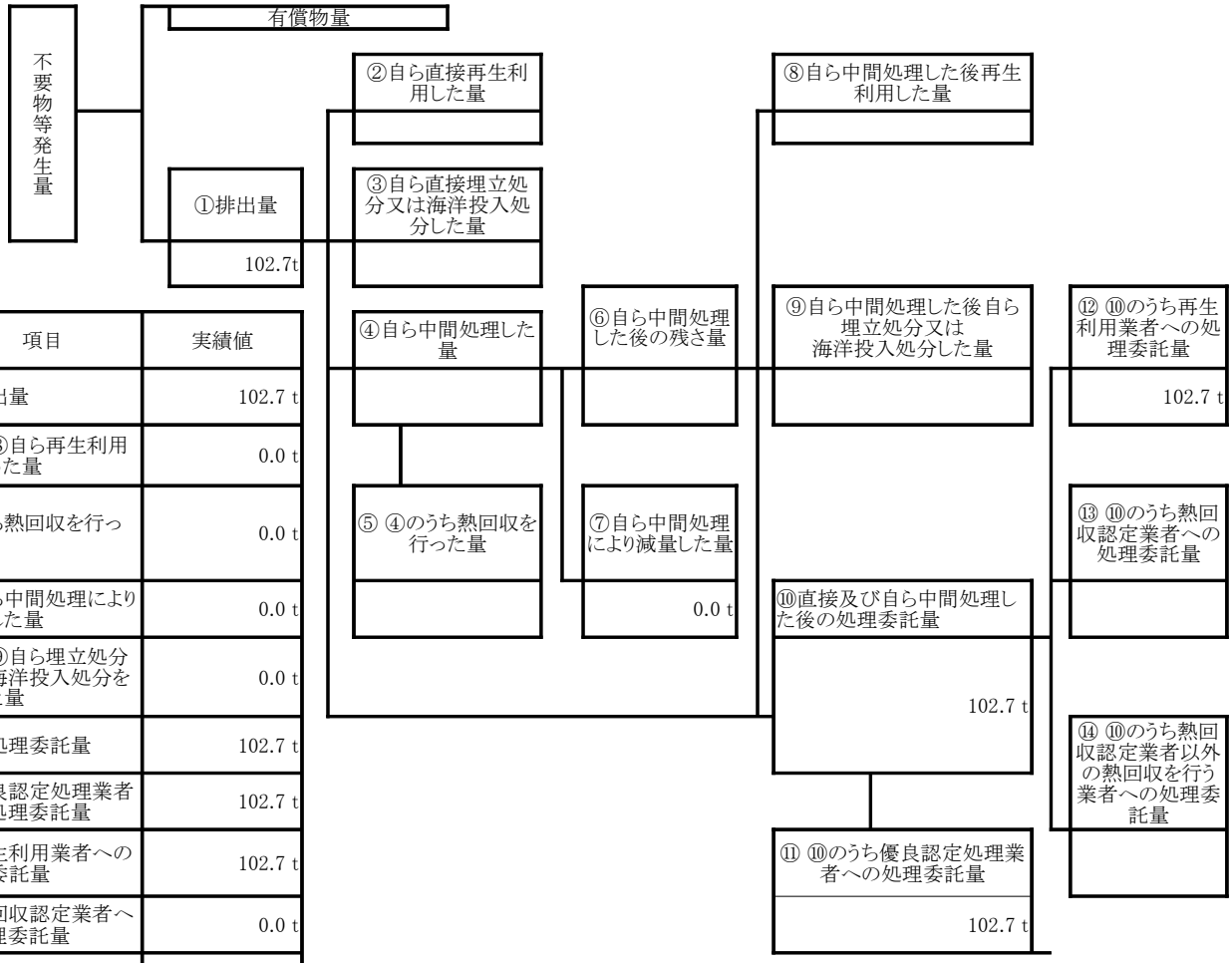


項目	実績値
①排出量	32723.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32723.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4481.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32723.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

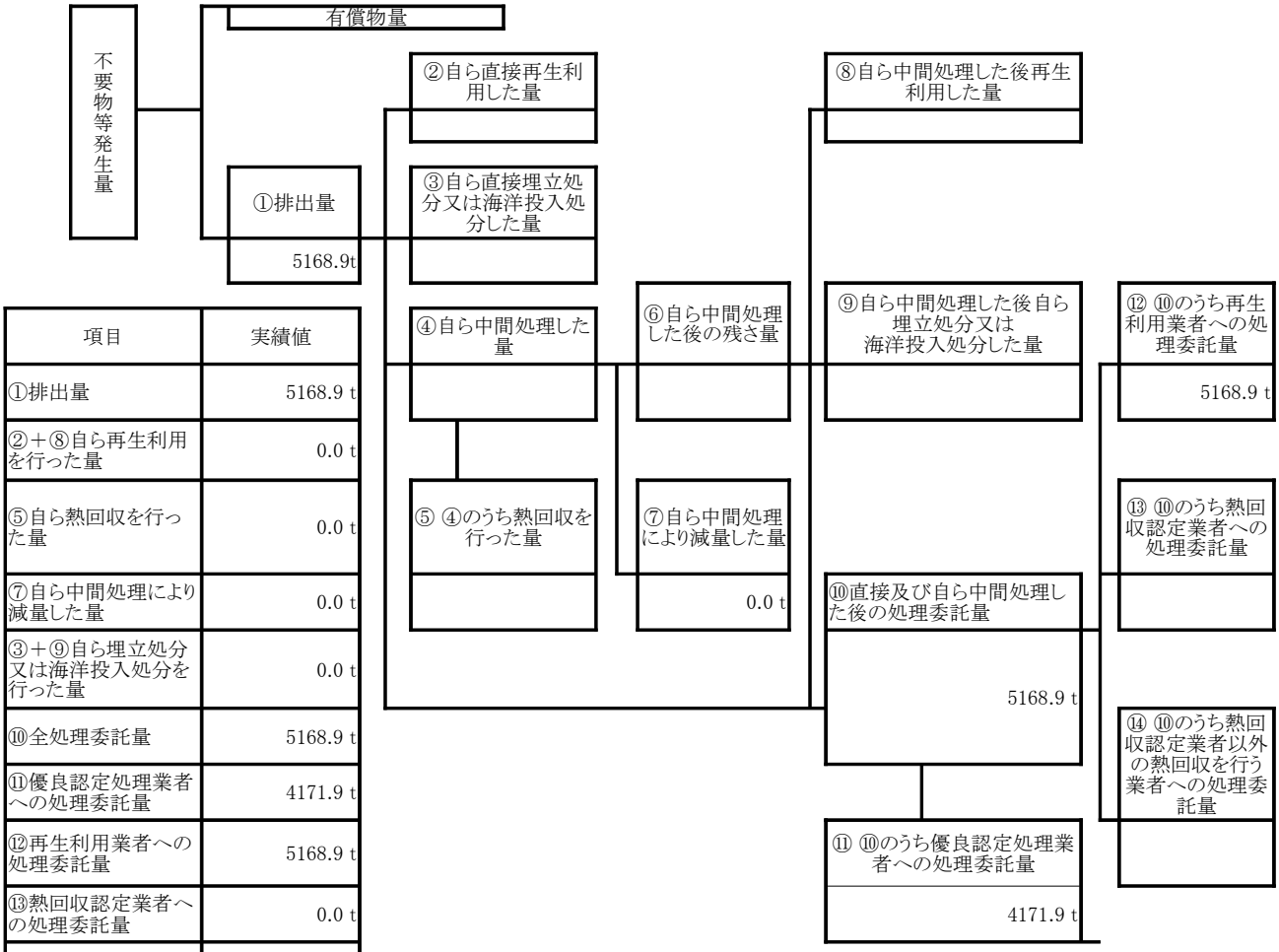


項目	実績値
①排出量	102.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	102.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	102.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

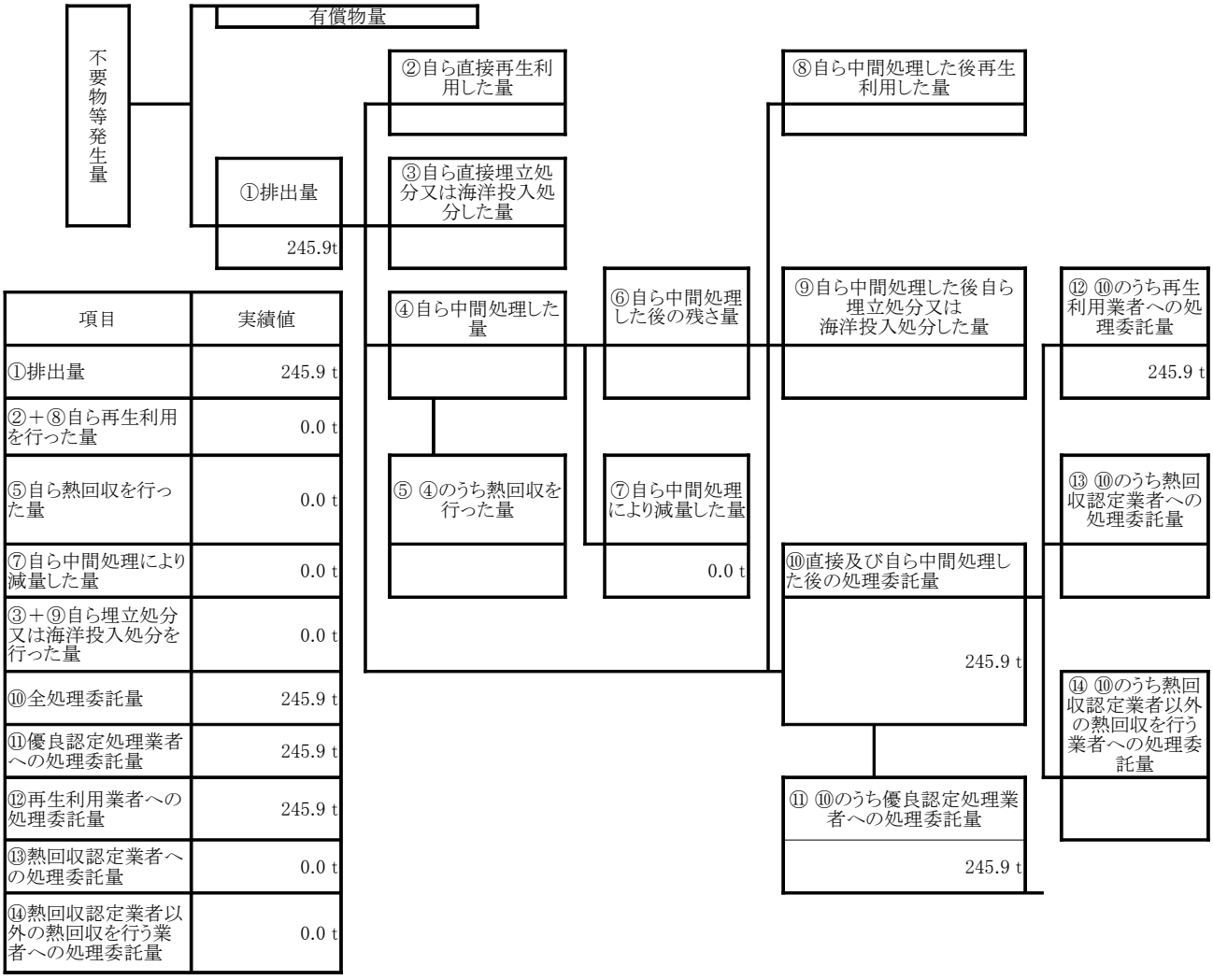


項目	実績値
①排出量	5168.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5168.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4171.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5168.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



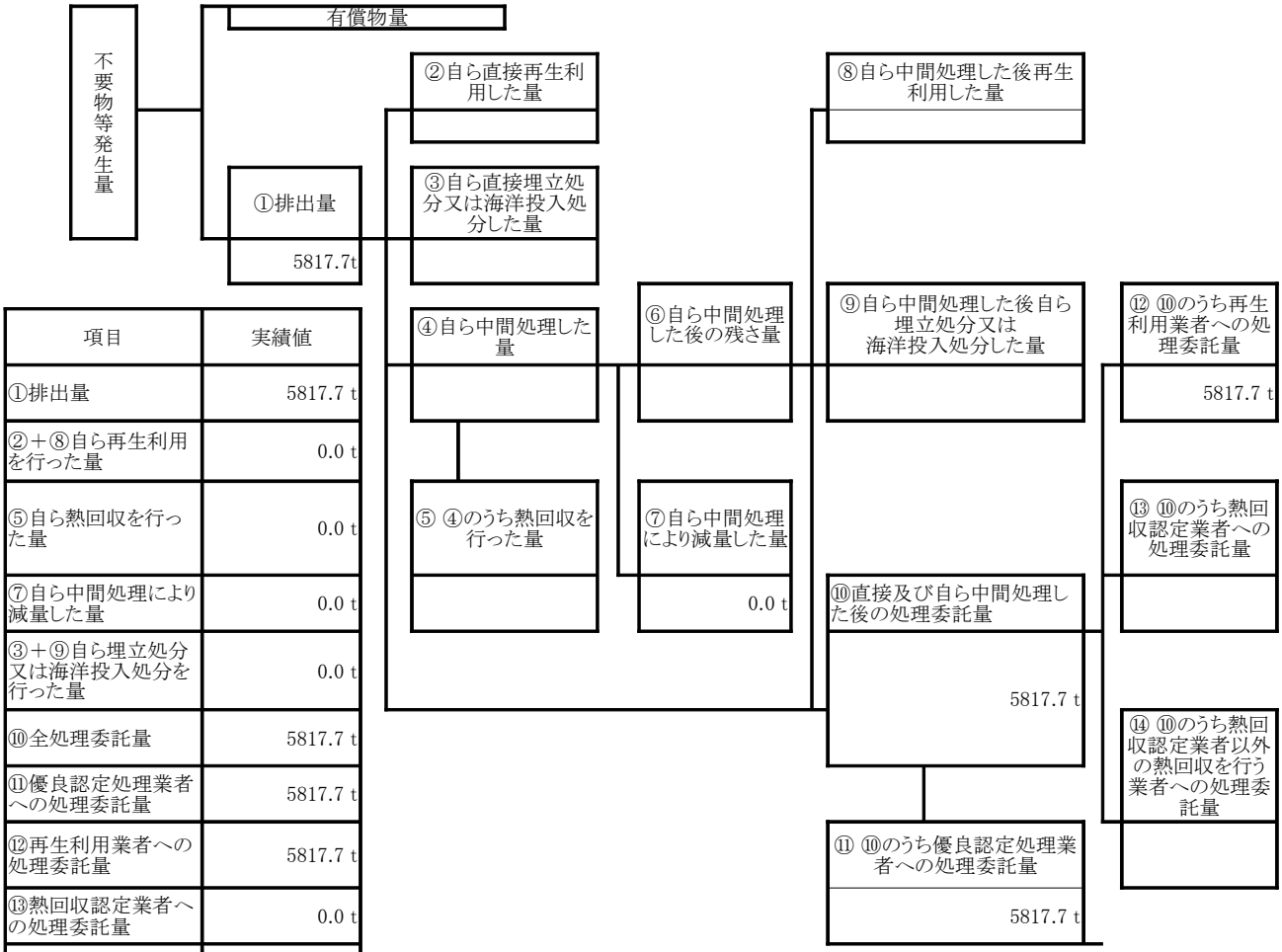
項目	実績値
①排出量	245.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	245.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	245.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	245.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

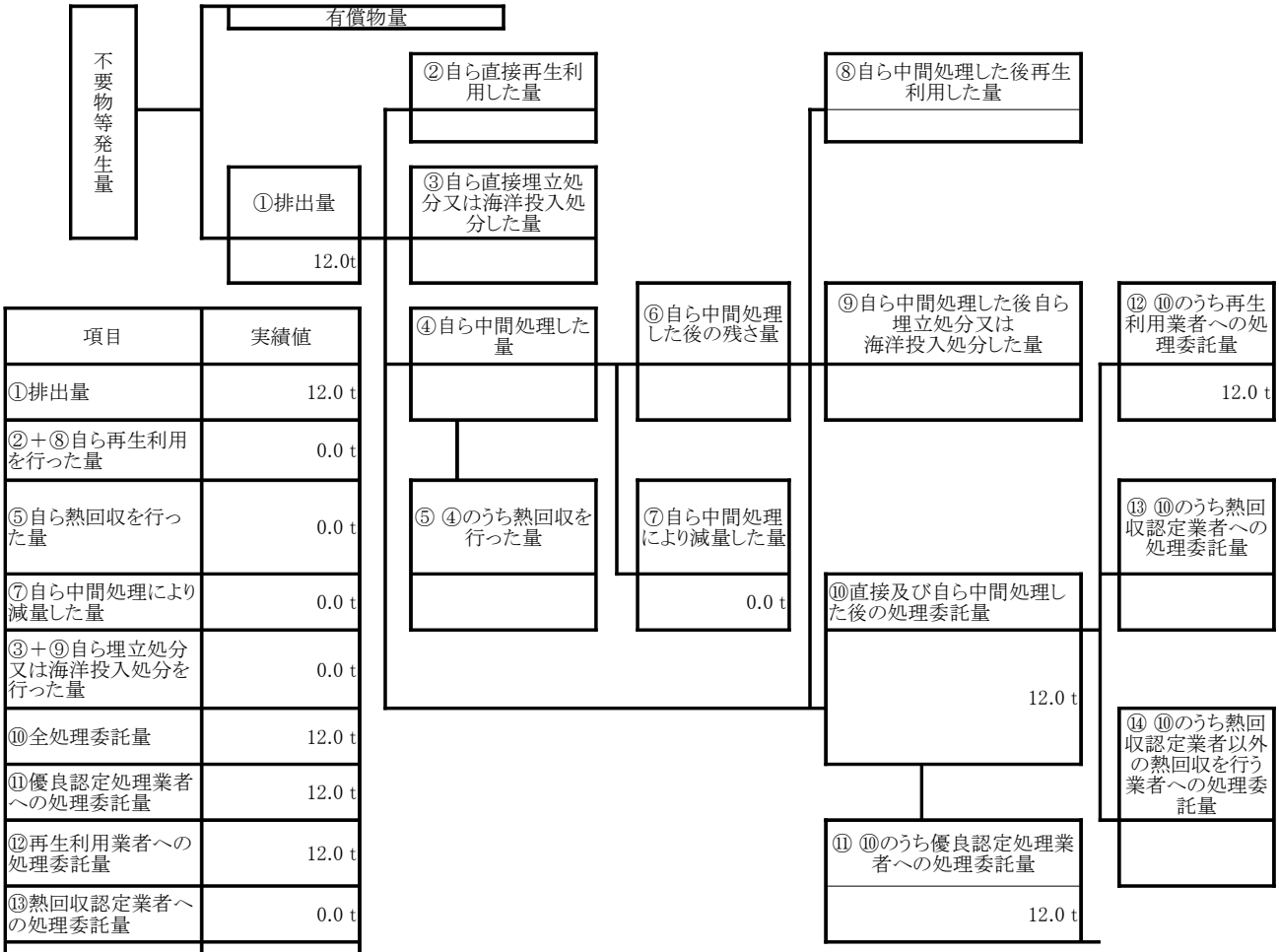


項目	実績値
①排出量	5817.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5817.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5817.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5817.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

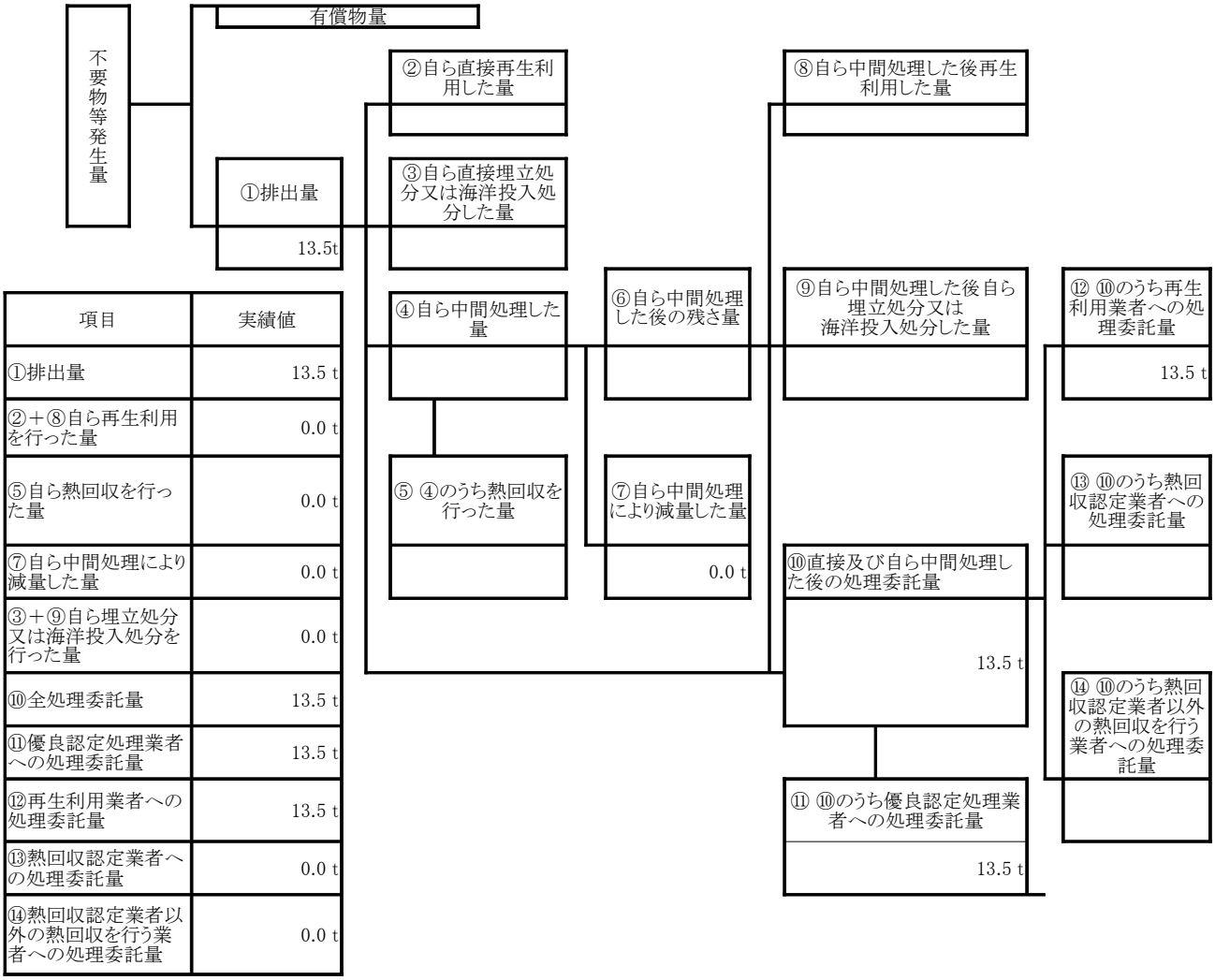


項目	実績値
①排出量	12.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

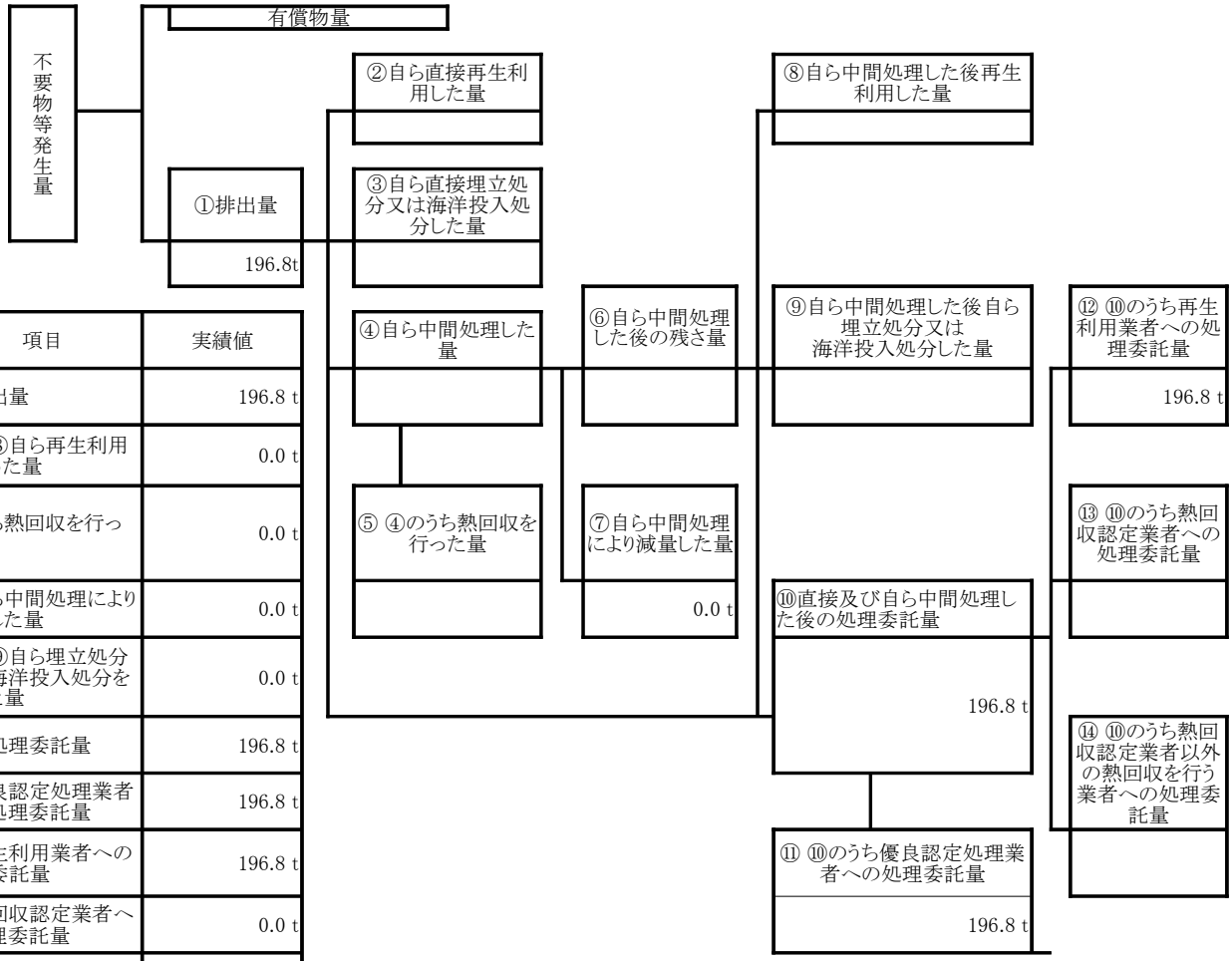


項目	実績値
①排出量	13.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス陶磁器等くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

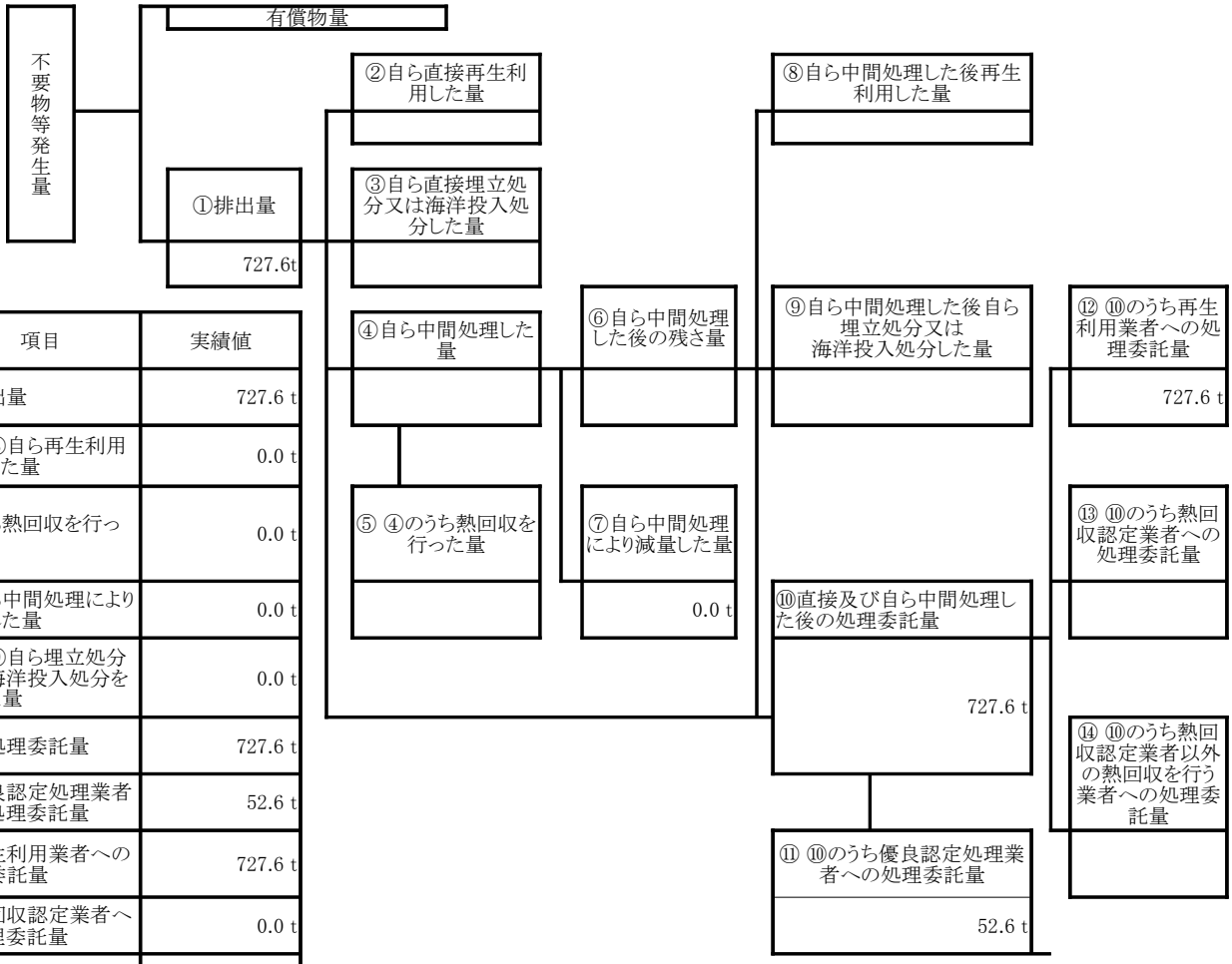


項目	実績値
①排出量	196.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	196.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	196.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	196.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



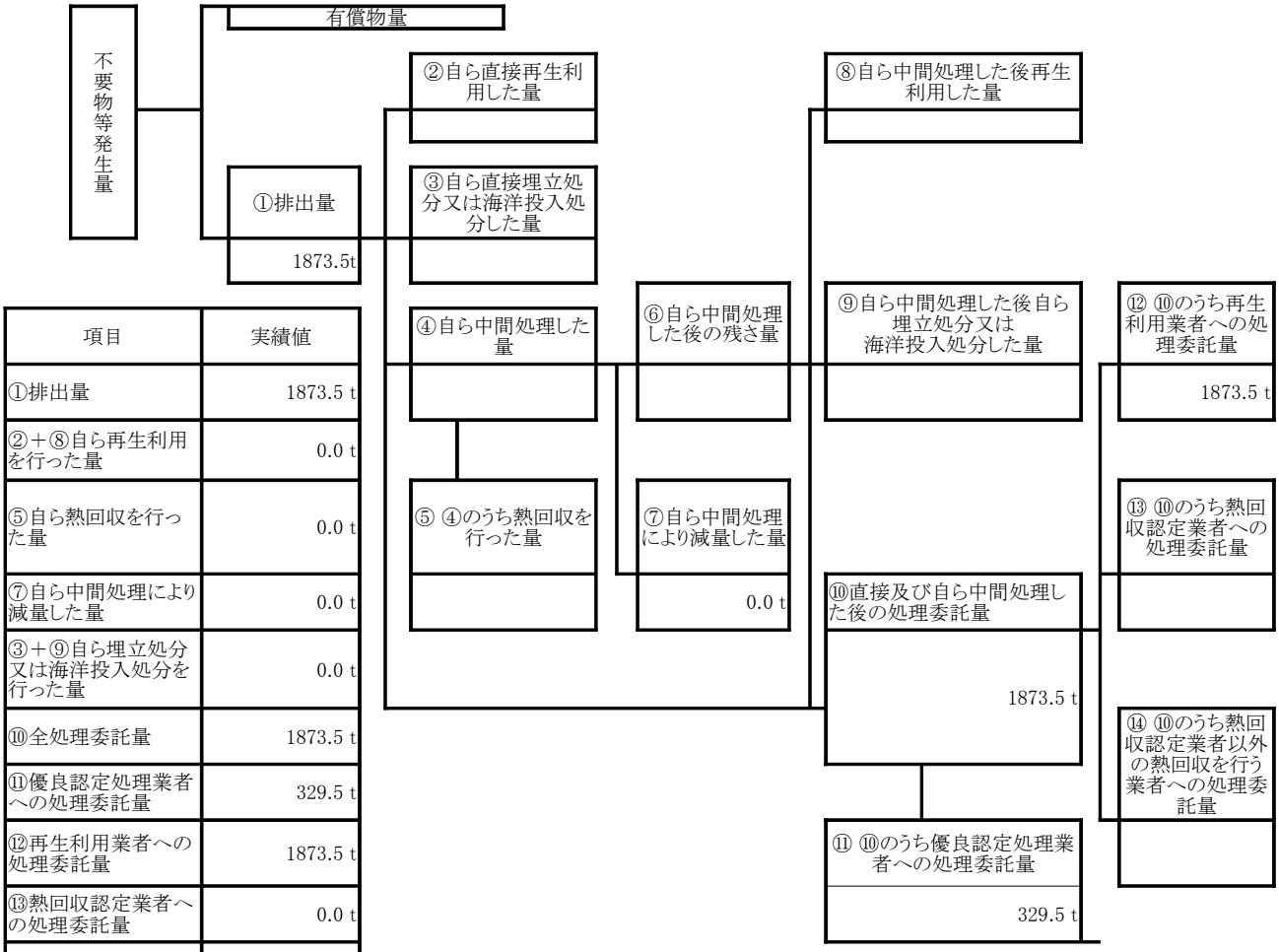
項目	実績値
①排出量	727.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	727.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	727.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: コンクリート片 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

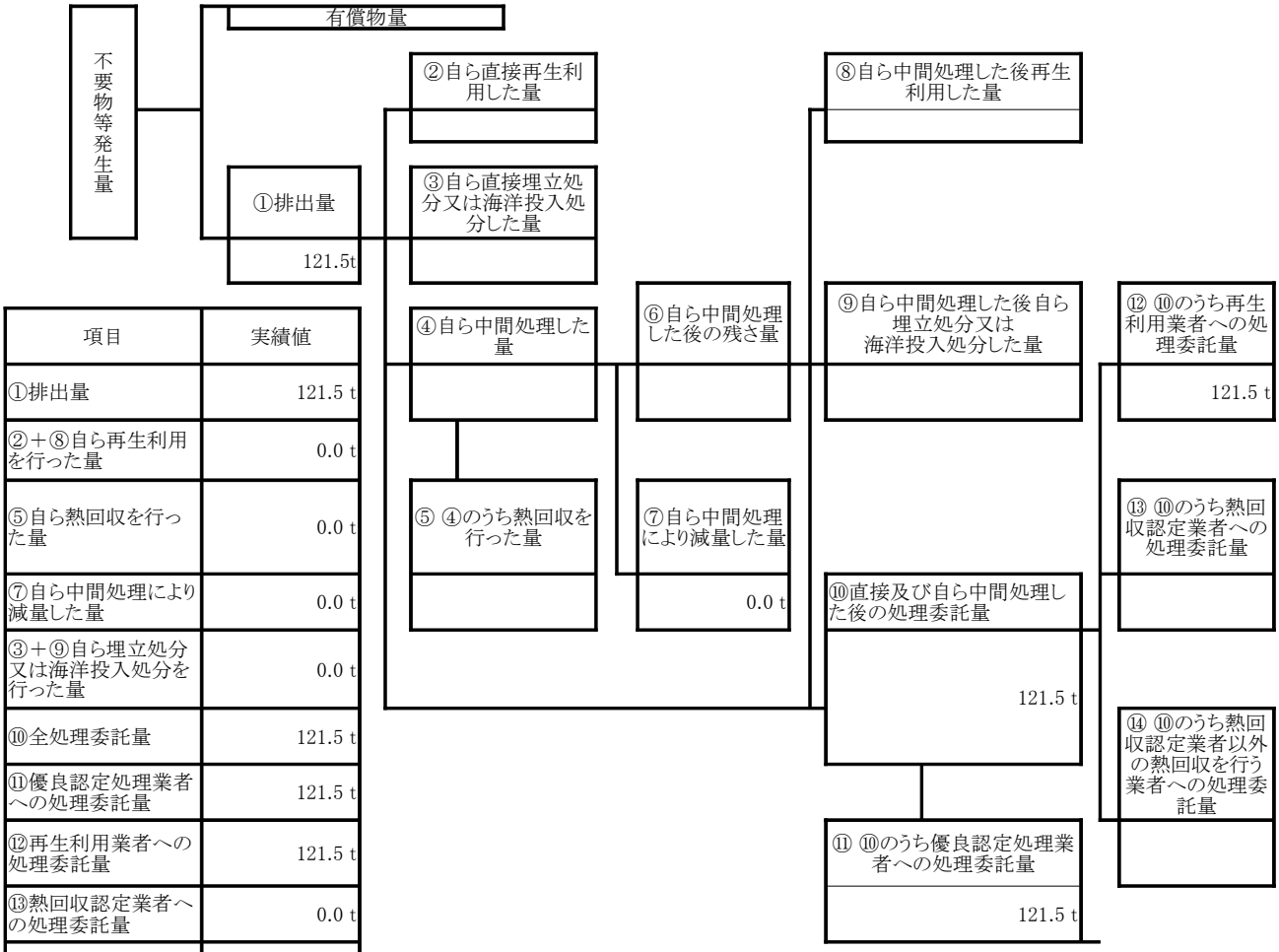


項目	実績値
①排出量	1873.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1873.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	329.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1873.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

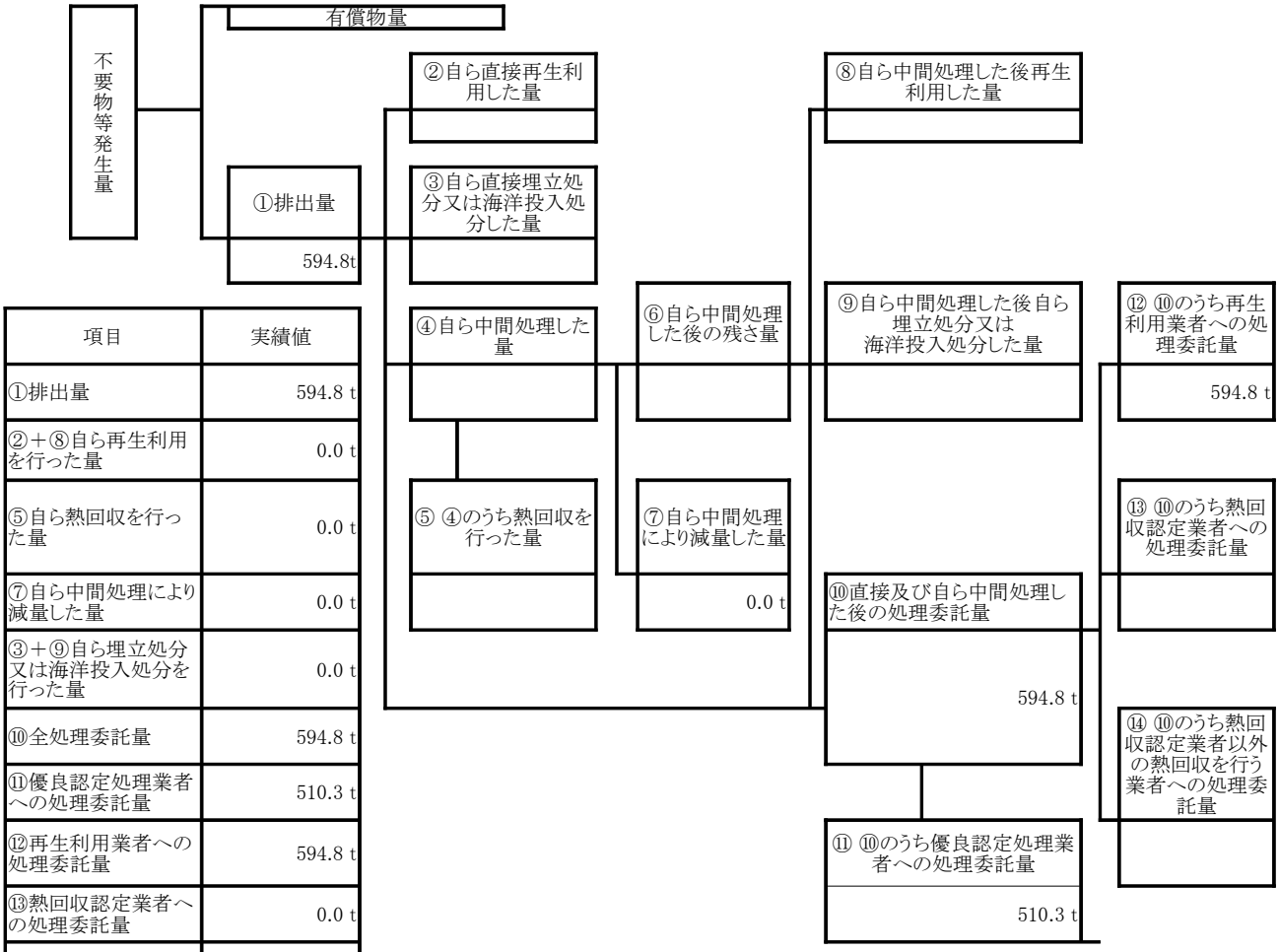


項目	実績値
①排出量	121.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	121.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	121.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	121.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

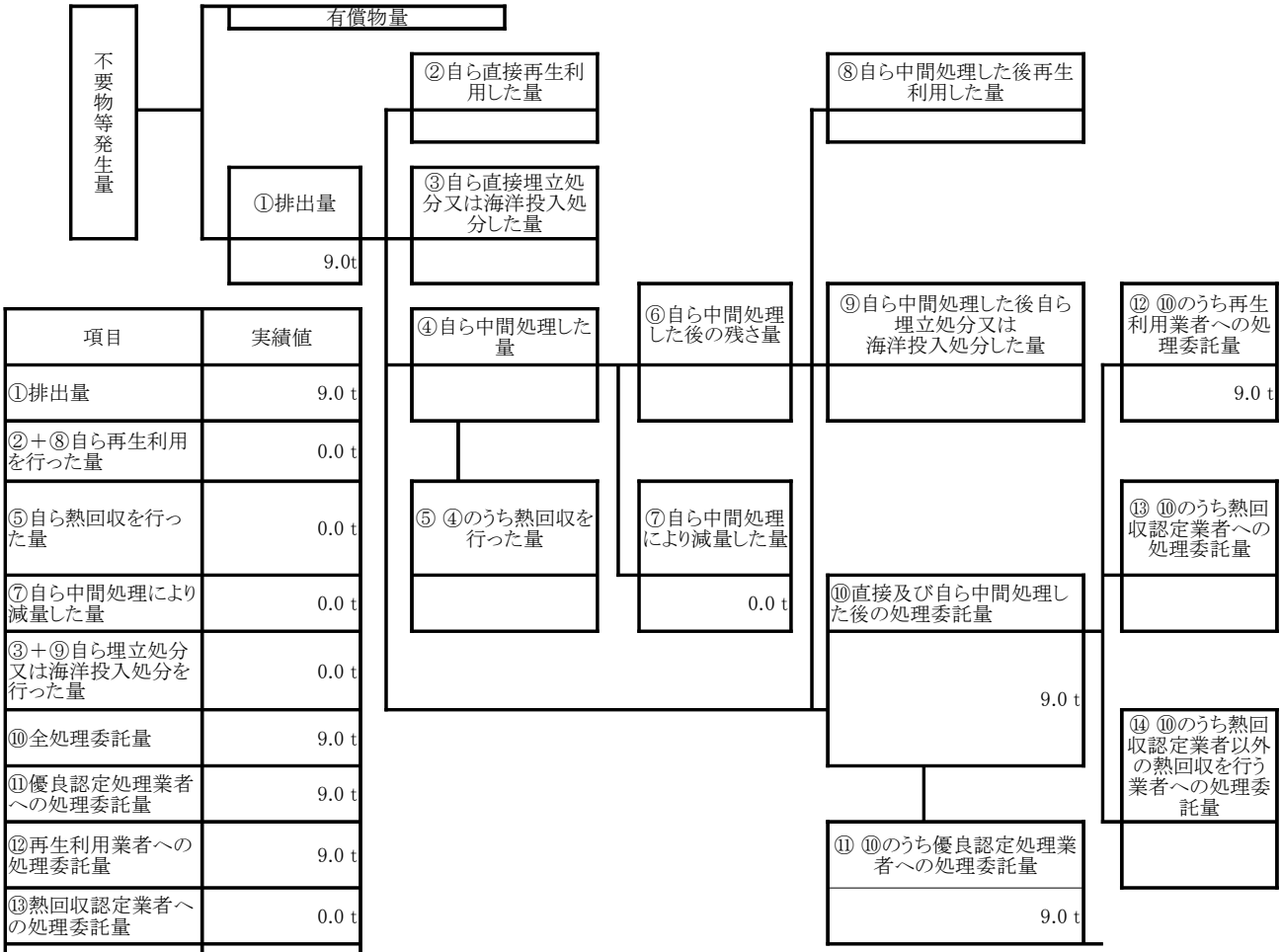


項目	実績値
①排出量	594.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	594.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	510.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	594.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

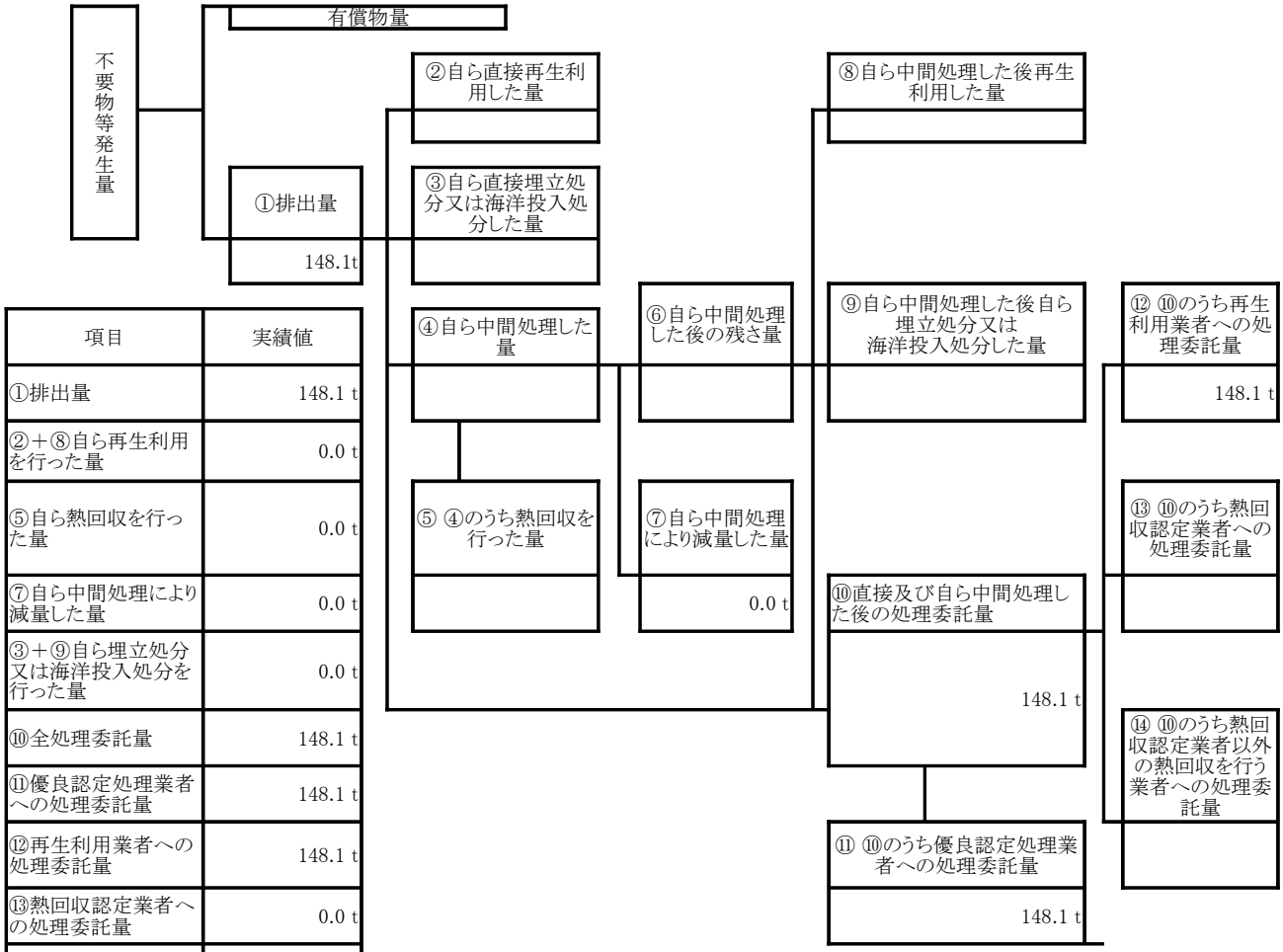


項目	実績値
①排出量	9.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

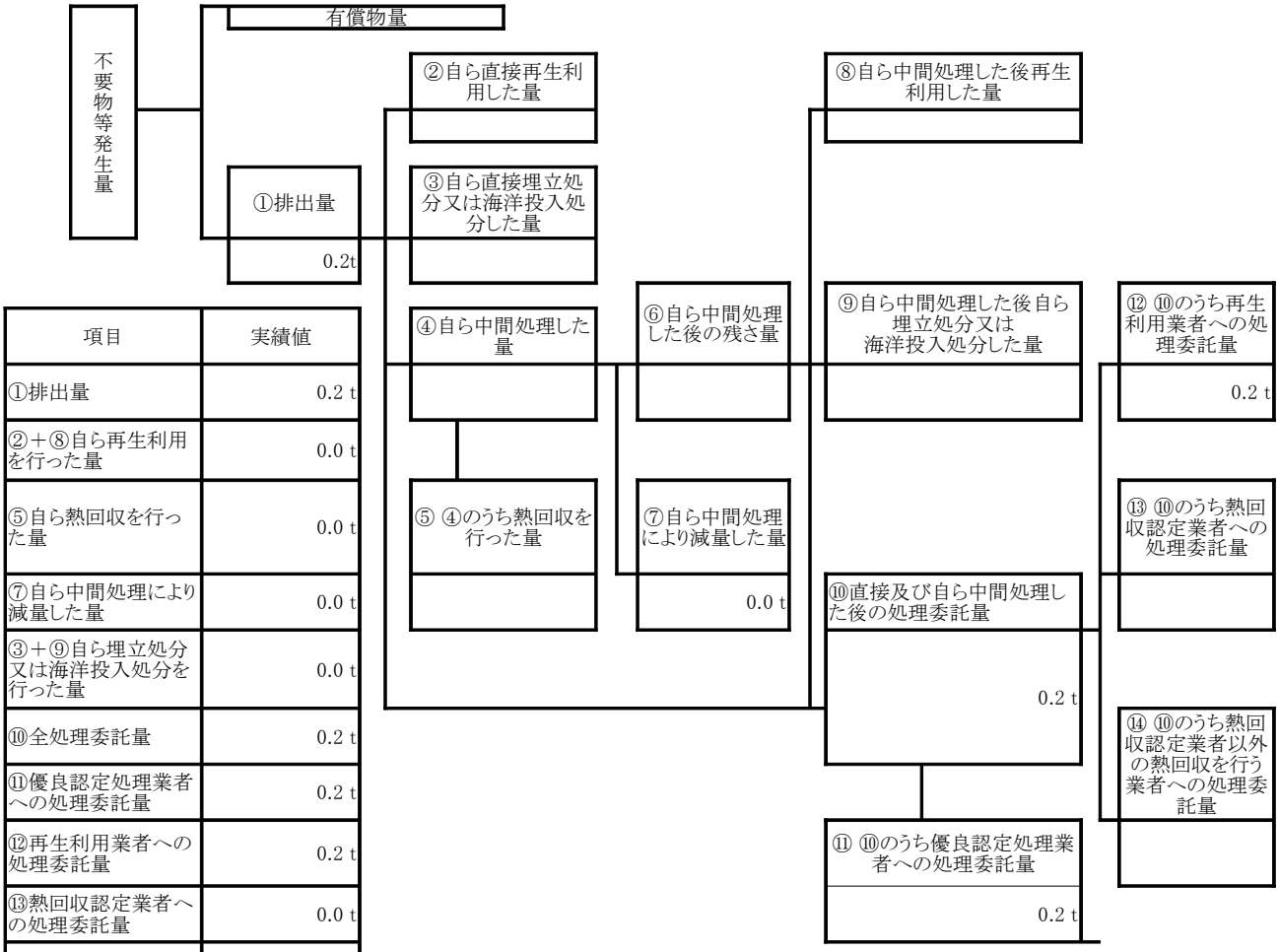


項目	実績値
①排出量	148.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	148.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	148.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃電池類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都港区芝2-6-1

氏 名　株式会社　長谷工リフォーム

代表取締役社長　星野竜緒

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3457-7910

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　長谷工リフォーム　東京支社
事業場の所在地	東京都港区芝2-6-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	完成工事高（42,558百万円）
③従業員数	421名（東京支社）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減しています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
継続して再生利用業者へ処理委託を行い、中間処理業者にてリサイクルを実施し、最終埋立処分量を削減していきます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
主に、廃プラスチック・金属くず・ガラス陶磁器くず・がれき類・紙くず・木くず等の分別を実施。また、作業所の分別ヤードには品目ごとにオリジナル分別看板を掲示し、少量容器による分別回収を実施しています。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現在の取組を継続するとともに、更なる分別率促進へ取り組みます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、優良認定業者や適切に再生利用処理を行っている業者と委託契約を結び、リサイクル率の向上・適正処分に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

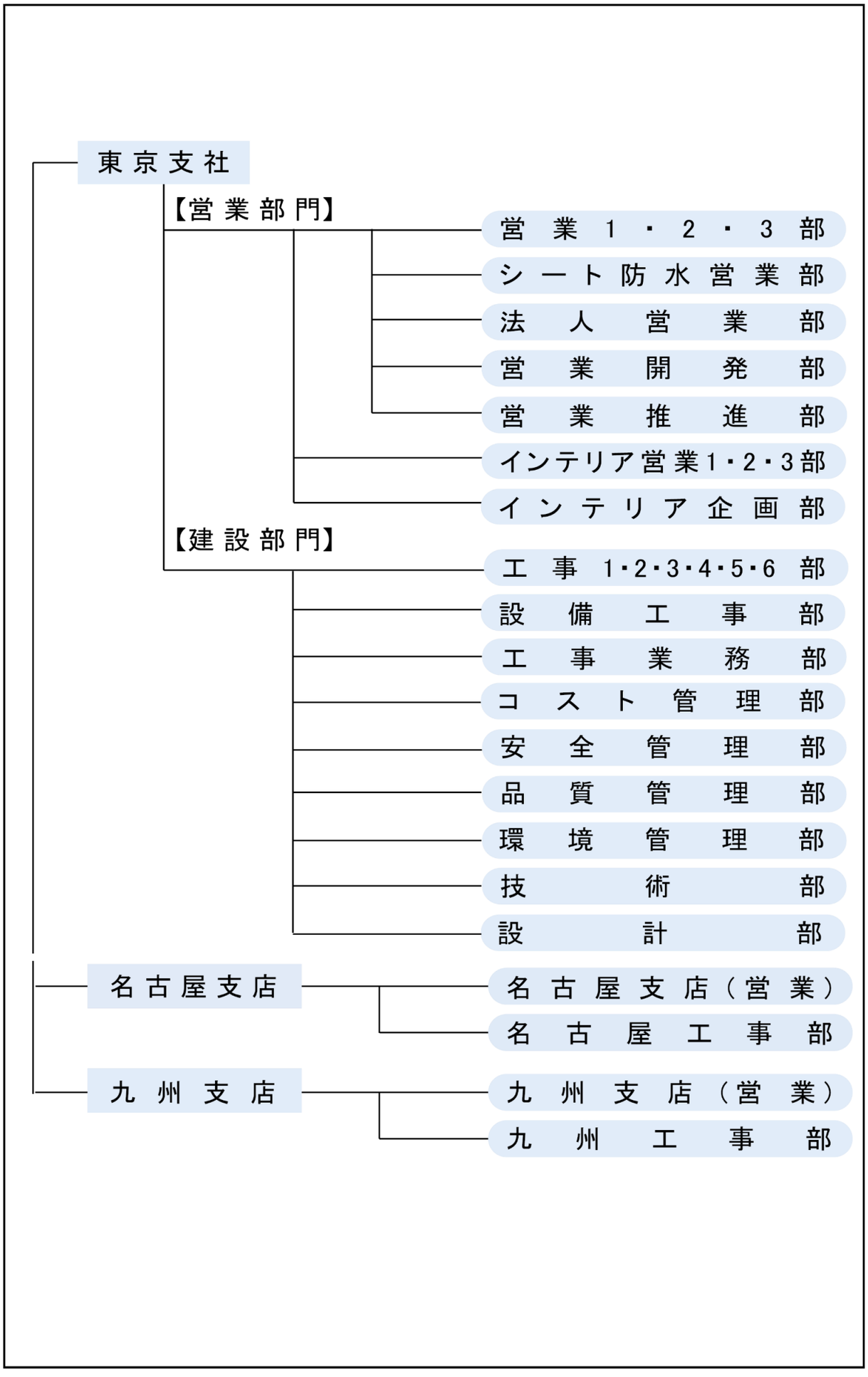
別添1

産業廃棄物の一連の処理工程

株式会社　長谷工リフォーム

	主な品目	処理方法	利用用途・最終処理等
長谷工リフォーム　各作業所	廃プラスチック	破砕・圧縮	マテリアルリサイクル サーマルリサイクル 埋立
	紙くず	破砕・圧縮	マテリアルリサイクル サーマルリサイクル 埋立
	木くず	破砕	マテリアルリサイクル サーマルリサイクル 埋立
	繊維くず	破砕・圧縮	マテリアルリサイクル サーマルリサイクル 埋立
	金属くず	圧縮	マテリアルリサイクル
	ガラス陶磁器くず	破砕	マテリアルリサイクル 埋立
	がれき類	破砕	マテリアルリサイクル 埋立
	混合廃棄物	破砕・圧縮	マテリアルリサイクル サーマルリサイクル 埋立
	石綿含有		埋立
	廃石綿等	溶融処理	マテリアルリサイクル

別添２ 管理体制図


東京支社
【営業部門】
営業1・2・3部
シート防水営業部
法人営業部
営業開発部
営業推進部
インテリア営業1・2・3部
インテリア企画部
【建設部門】
工事1・2・3・4・5・6部
設備工事部
工事業務部
コスト管理部
安全管理部
品質管理部
環境管理部
技術部
設計部
名古屋支店
名古屋支店（営業）
名古屋工事部
九州支店
九州支店（営業）
九州工事部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		排　出　量	24.05 t	163.54 t	63.69 t	99.37 t	1.91 t	236.68 t	33.50 t	24.96 t	122.86 t	11.84 t	209.27 t	125.71 t	8.50 t	0.60 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		排　出　量	21.65 t	147.19 t	57.32 t	89.43 t	1.72 t	213.01 t	30.15 t	22.46 t	110.57 t	10.66 t	188.34 t	113.14 t	7.65 t	0.54 t				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	②計画	【目標】																		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
全処理委託量	24.05 t	163.54 t	63.69 t	99.37 t	1.91 t	236.68 t	33.50 t	24.96 t	122.86 t	11.84 t	209.27 t	125.71 t	8.50 t	0.60 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.05 t	163.54 t	63.69 t	99.37 t	1.91 t	236.68 t	33.50 t	24.96 t	10.36 t	11.84 t	209.27 t	125.71 t	6.50 t	0.60 t				
再生利用業者への処理委託量	24.05 t	163.54 t	63.69 t	99.37 t	1.91 t	236.68 t	33.50 t	24.96 t	122.86 t	11.84 t	209.27 t	125.71 t	0.00 t	0.60 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品				
全処理委託量	21.65 t	147.19 t	57.32 t	89.43 t	1.72 t	213.01 t	30.15 t	22.46 t	110.57 t	10.66 t	188.34 t	113.14 t	7.65 t	0.54 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.05 t	147.19 t	57.32 t	89.43 t	1.72 t	213.01 t	30.15 t	22.46 t	9.32 t	10.66 t	188.34 t	113.14 t	5.85 t	0.54 t				
再生利用業者への処理委託量	21.65 t	147.19 t	57.32 t	89.43 t	1.72 t	213.01 t	30.15 t	22.46 t	110.57 t	10.66 t	188.34 t	113.14 t	0.00 t	0.54 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月5日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝2-6-1

氏 名 株式会社 長谷工リフォーム

代表取締役社長 星野竜緒

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-3457-7910

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 長谷工リフォーム 東京支社
事業場の所在地	東京都港区芝2-6-1
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

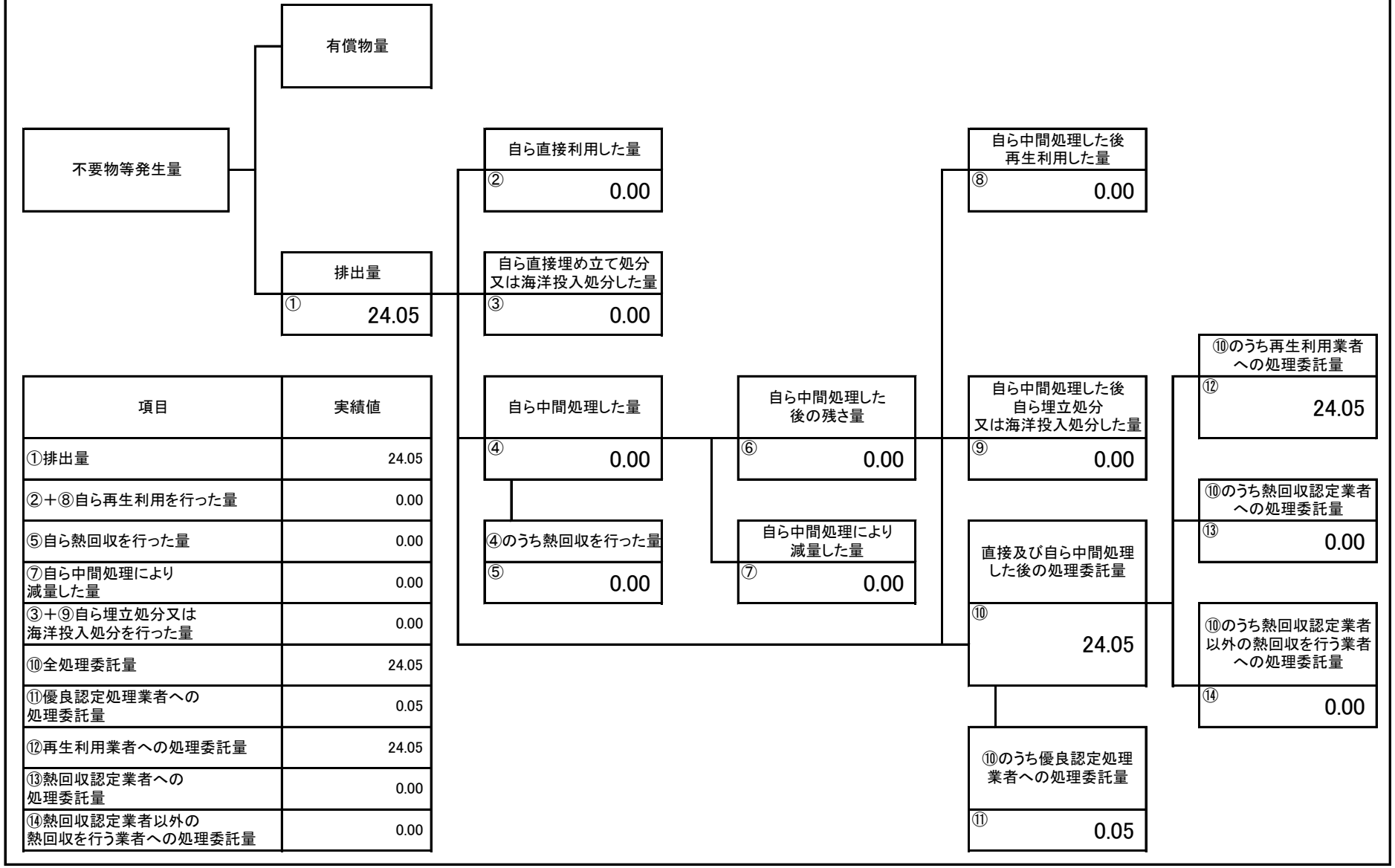
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,390.55 t	全処理委託量	1,390.55 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,232.17 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,373.04 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃油　　）

（単位：トン）

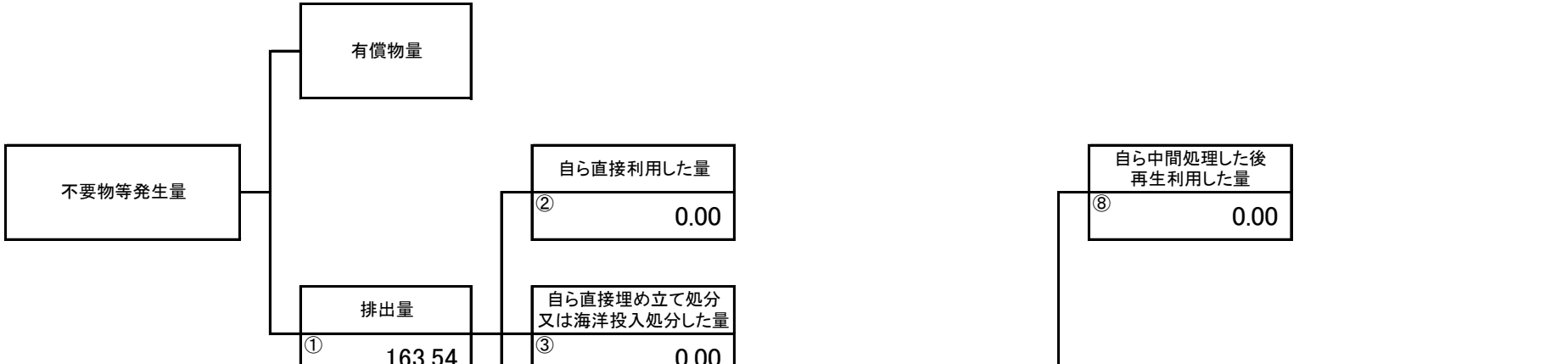


項目	実績値
①排出量	24.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	24.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.05
⑫再生利用業者への処理委託量	24.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

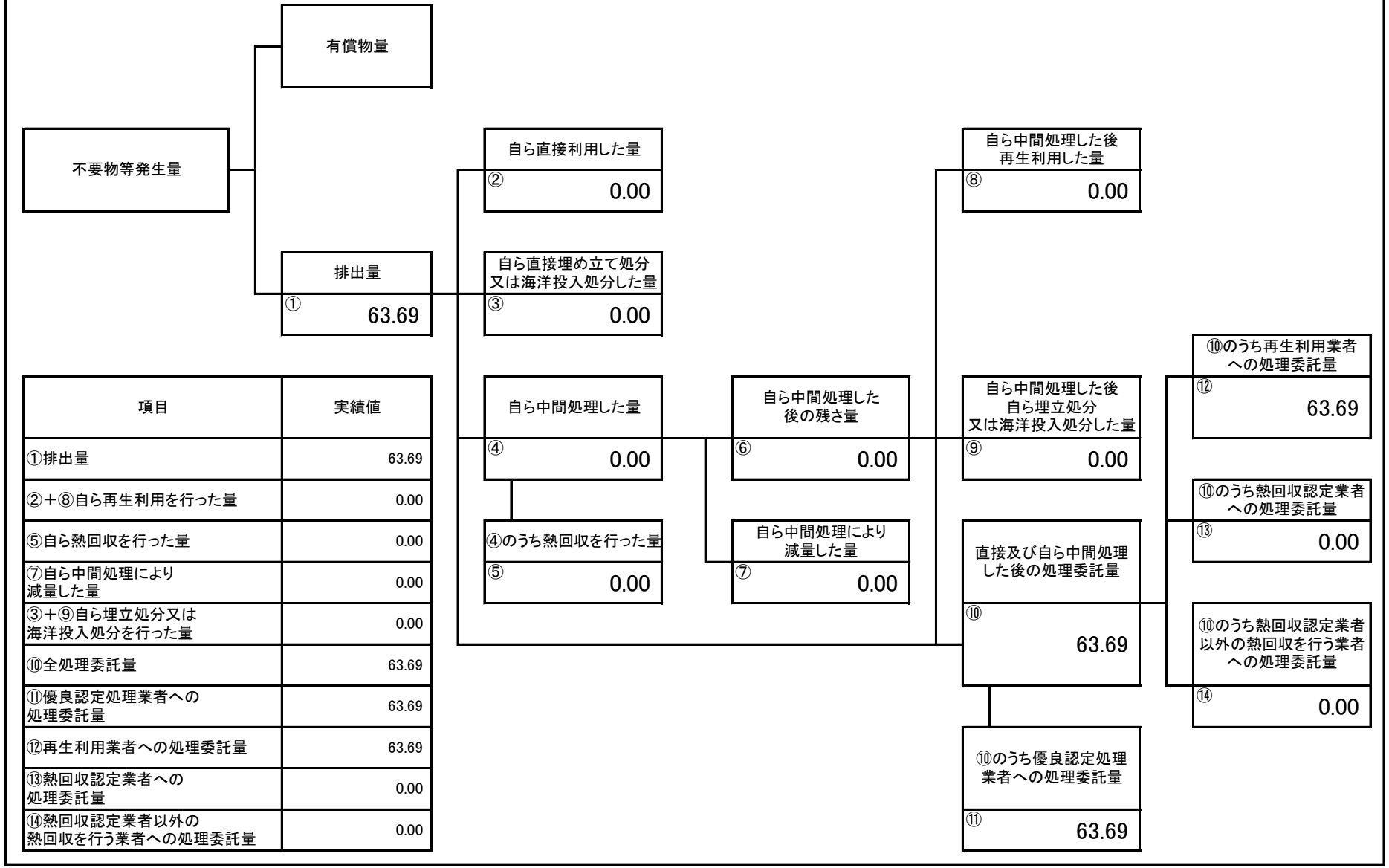


項目	実績値
①排出量	163.54
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	163.54
⑪優良認定処理業者への処理委託量	163.54
⑫再生利用業者への処理委託量	163.54
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず　　）

（単位：トン）

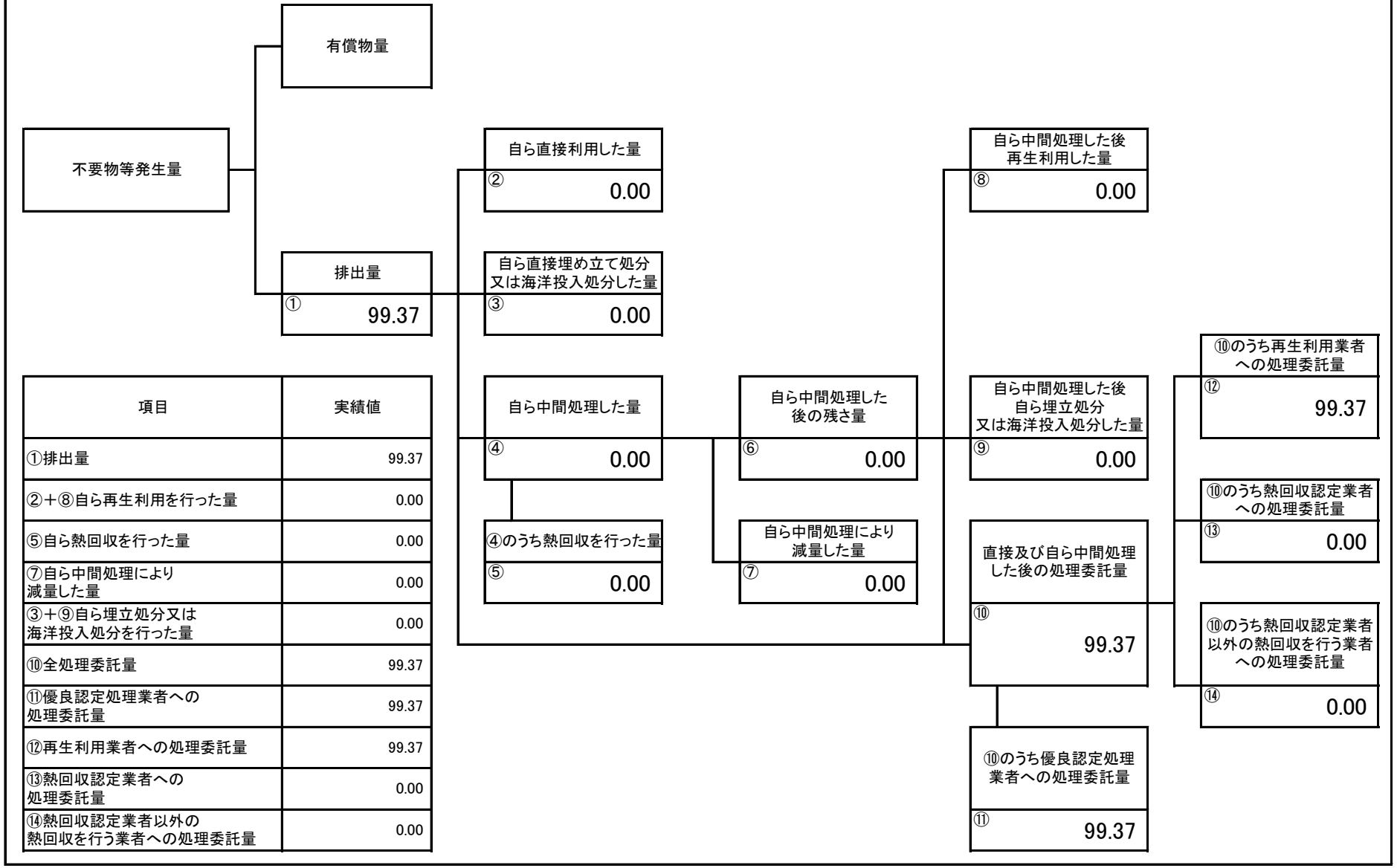


項目	実績値
①排出量	63.69
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	63.69
⑪優良認定処理業者への処理委託量	63.69
⑫再生利用業者への処理委託量	63.69
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 木くず ）

（単位：トン）

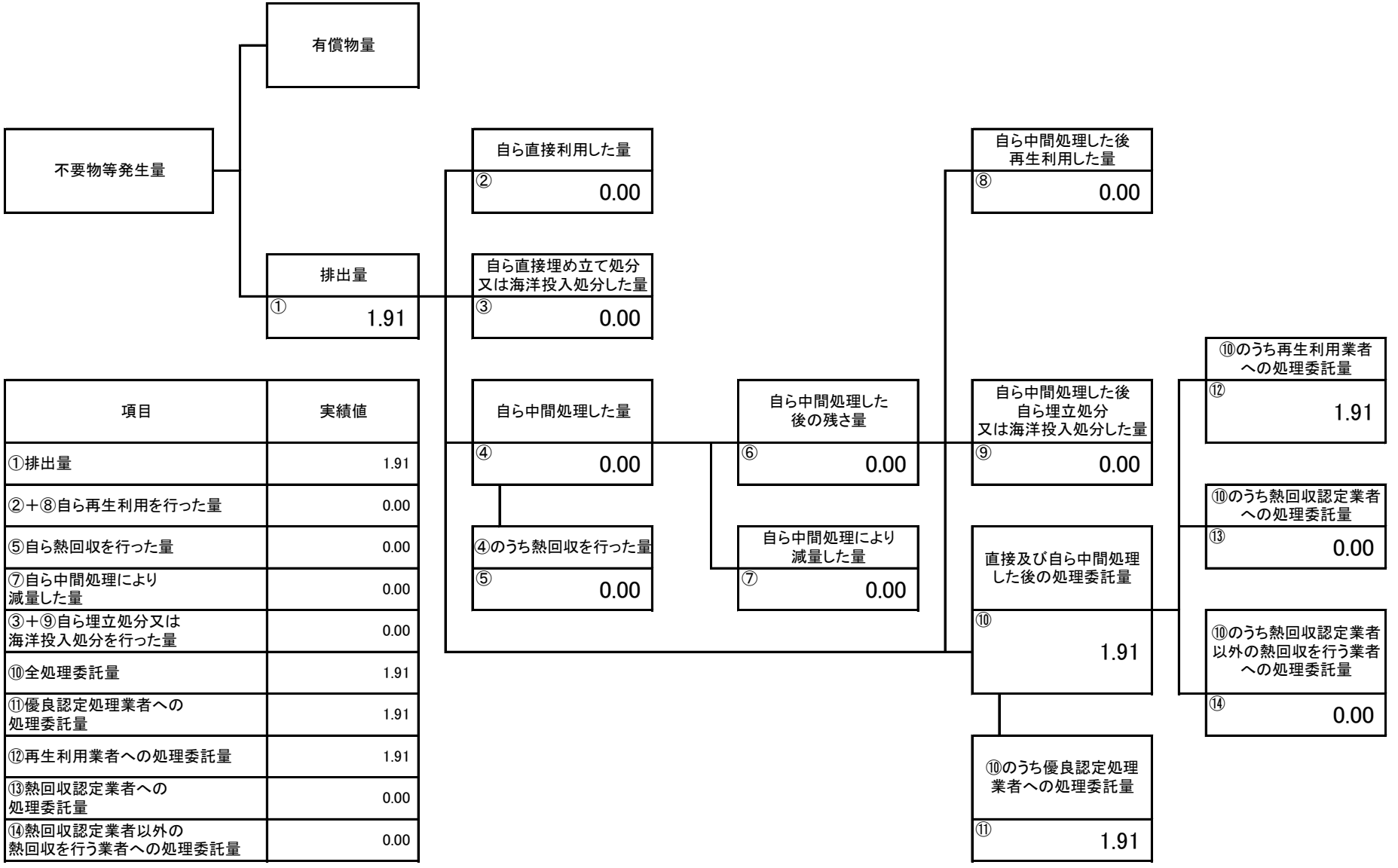


項目	実績値
①排出量	99.37
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	99.37
⑪優良認定処理業者への処理委託量	99.37
⑫再生利用業者への処理委託量	99.37
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　繊維くず　　）

（単位:トン）

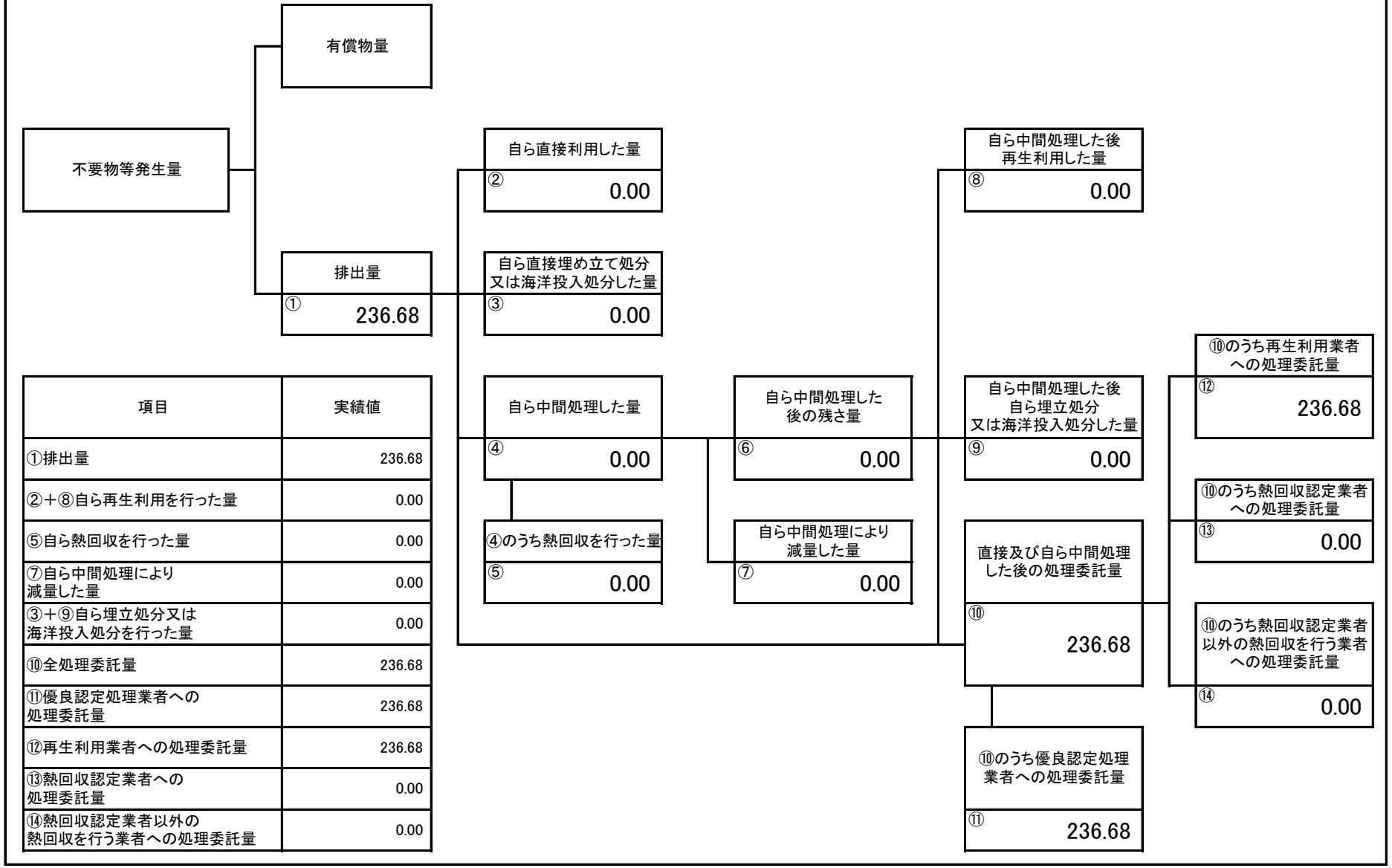


項目	実績値
①排出量	1.91
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.91
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.91
⑫再生利用業者への処理委託量	1.91
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

（単位：トン）

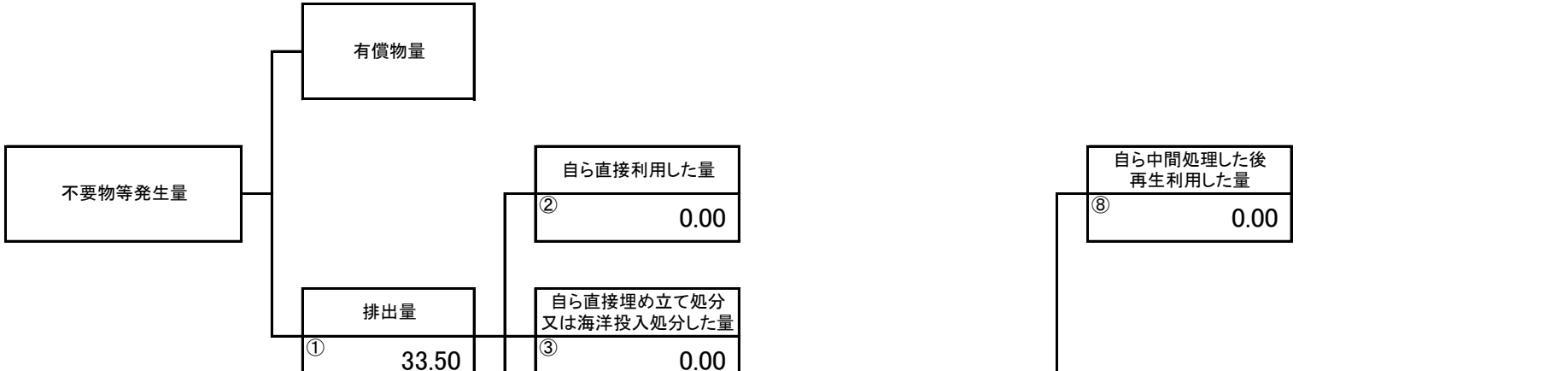


項目	実績値
①排出量	236.68
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	236.68
⑪優良認定処理業者への処理委託量	236.68
⑫再生利用業者への処理委託量	236.68
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）



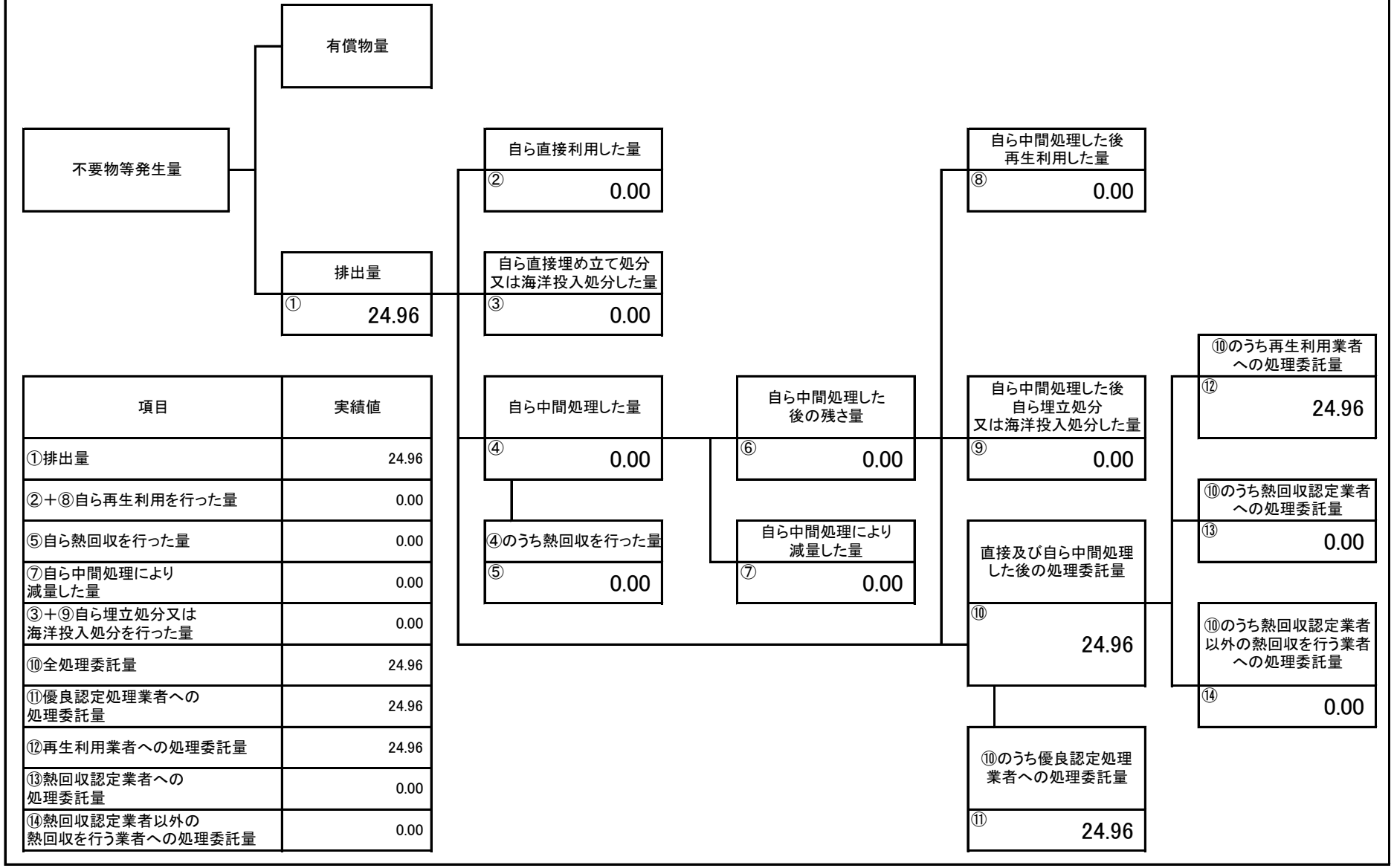
項目	実績値
①排出量	33.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.50
⑫再生利用業者への処理委託量	33.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

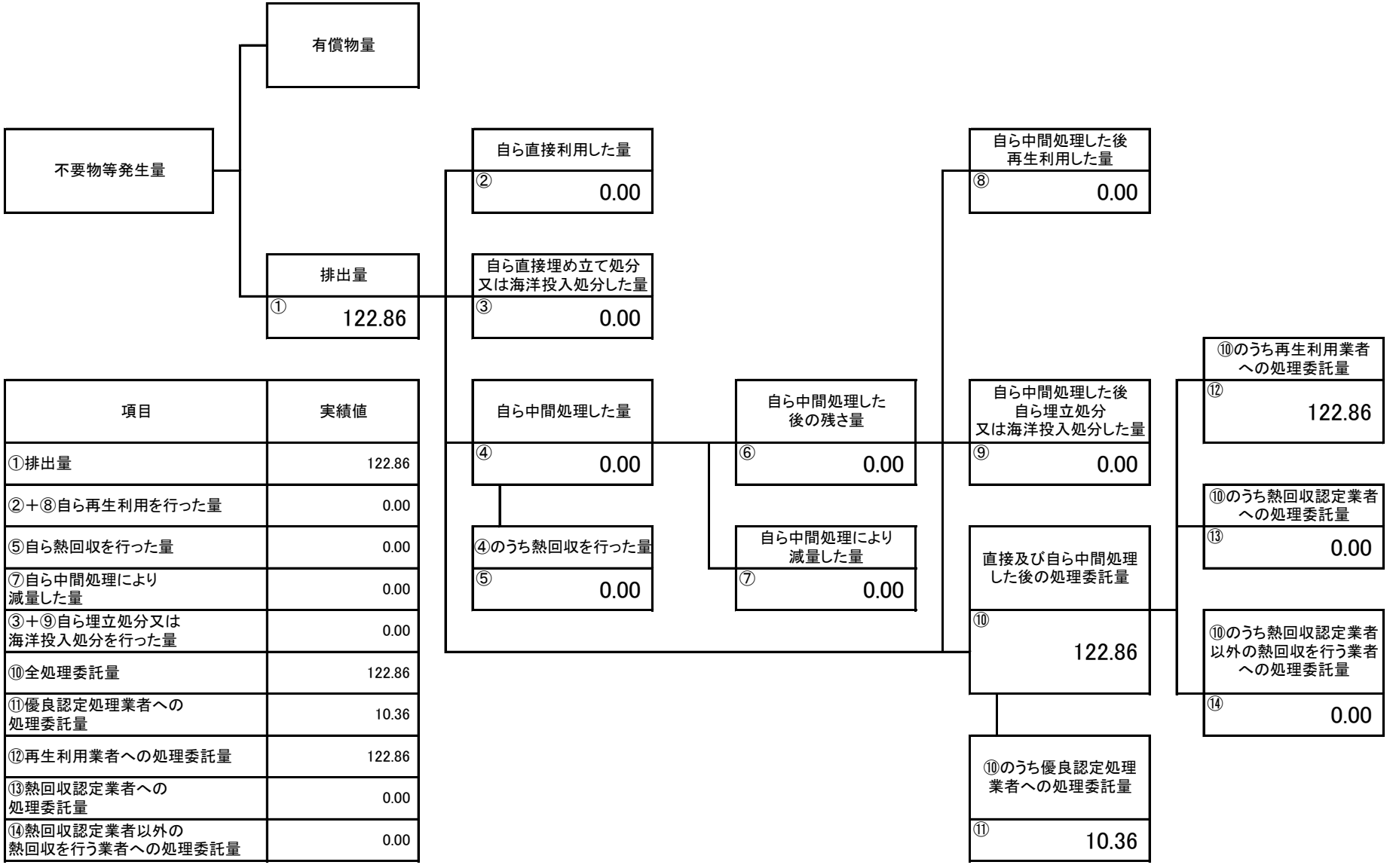


項目	実績値
①排出量	24.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	24.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.96
⑫再生利用業者への処理委託量	24.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： コンクリート片 ）

（単位：トン）

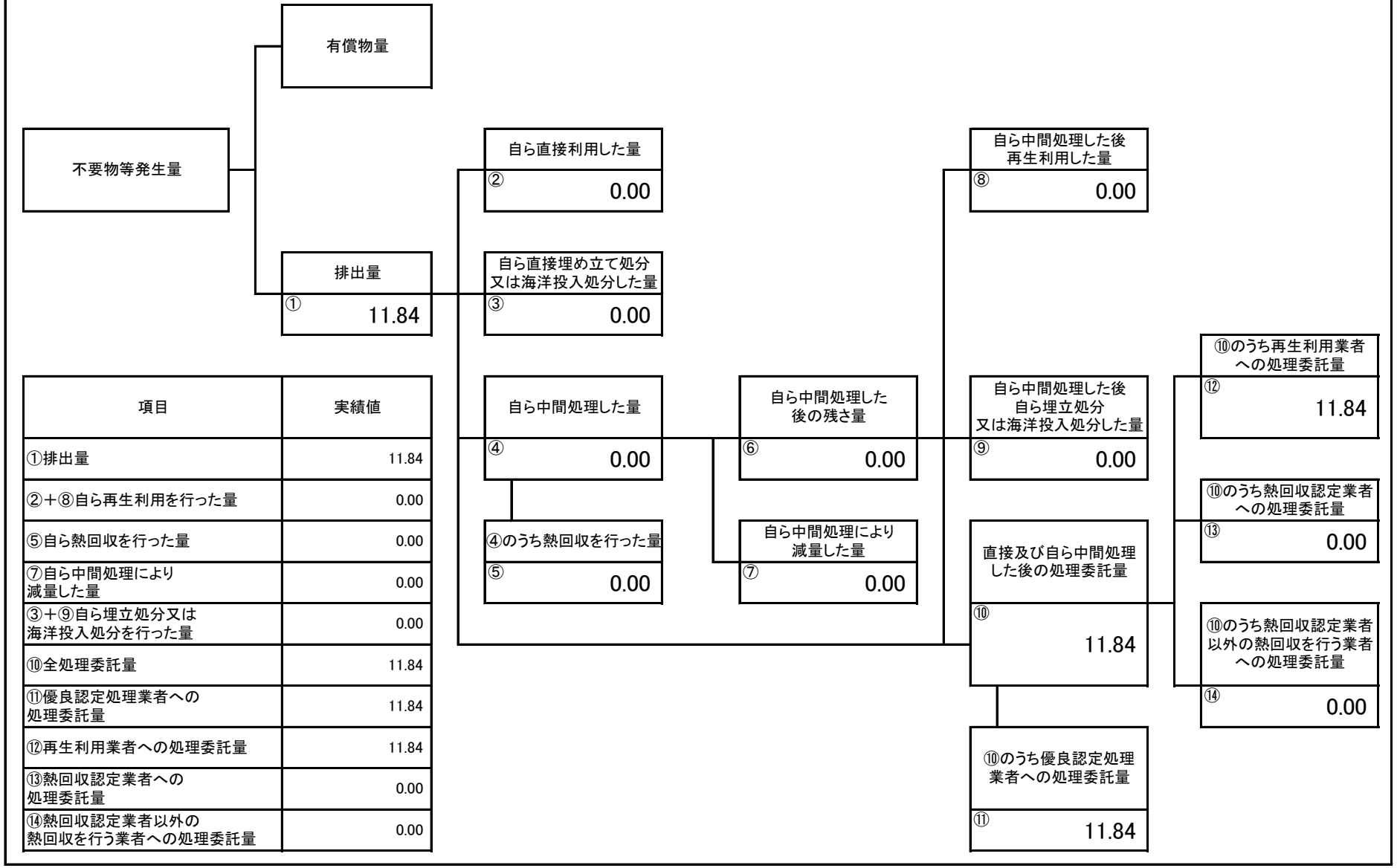


項目	実績値
①排出量	122.86
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	122.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.36
⑫再生利用業者への処理委託量	122.86
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： アス・コン片　　）

（単位：トン）

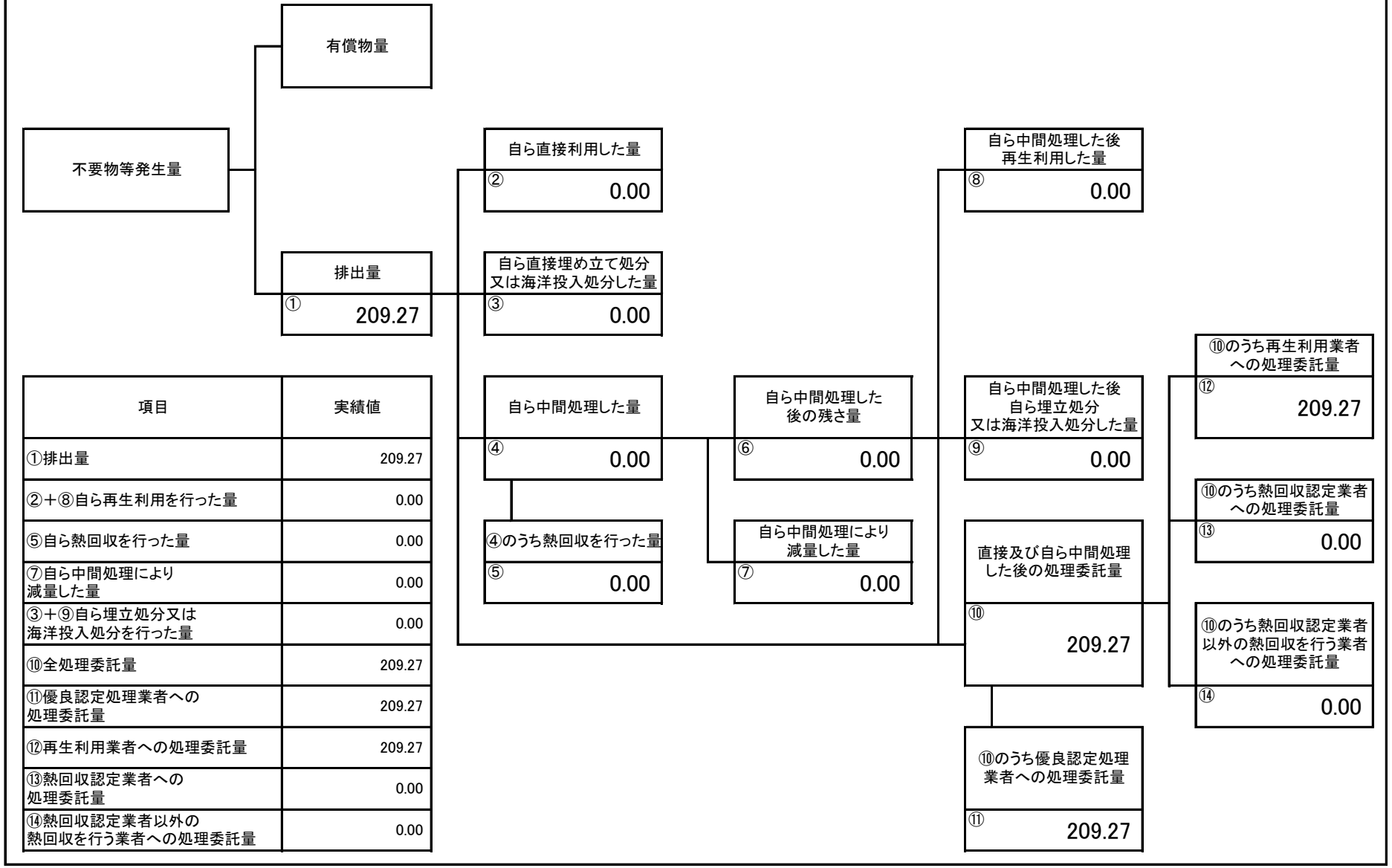


項目	実績値
①排出量	11.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.84
⑫再生利用業者への処理委託量	11.84
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：その他がれき類　　）

（単位：トン）

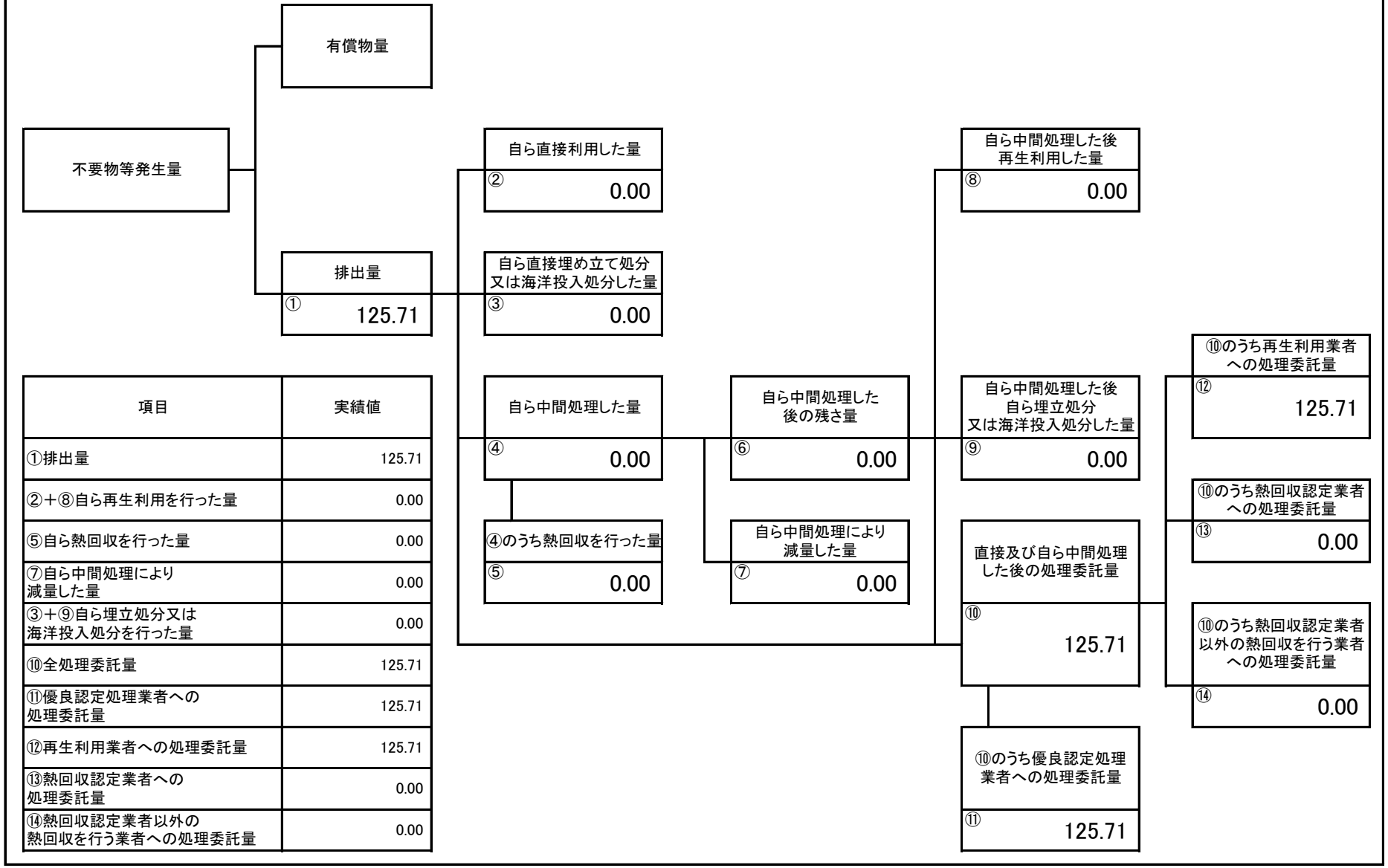


項目	実績値
①排出量	209.27
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	209.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	209.27
⑫再生利用業者への処理委託量	209.27
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

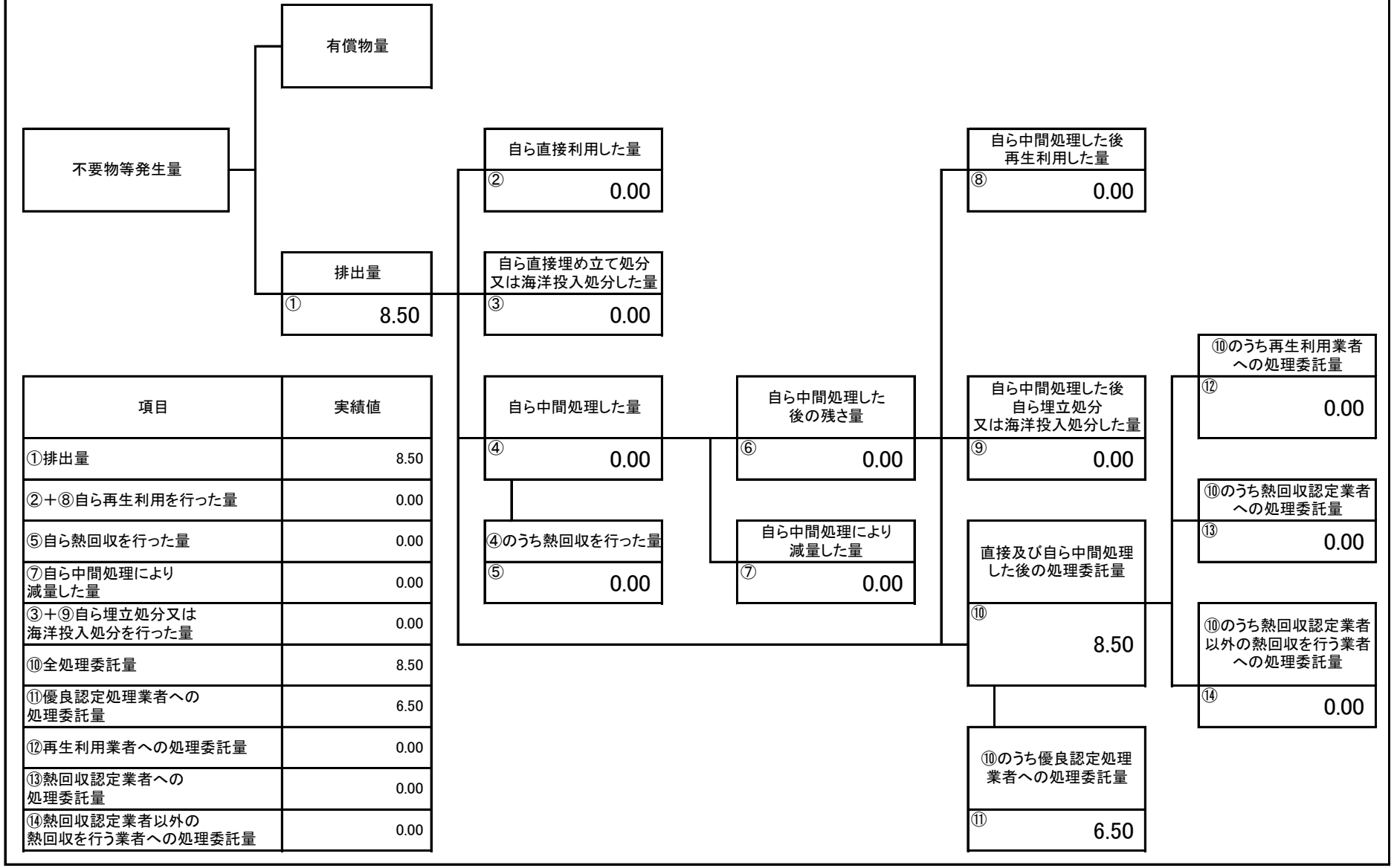


項目	実績値
①排出量	125.71
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	125.71
⑪優良認定処理業者への処理委託量	125.71
⑫再生利用業者への処理委託量	125.71
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）

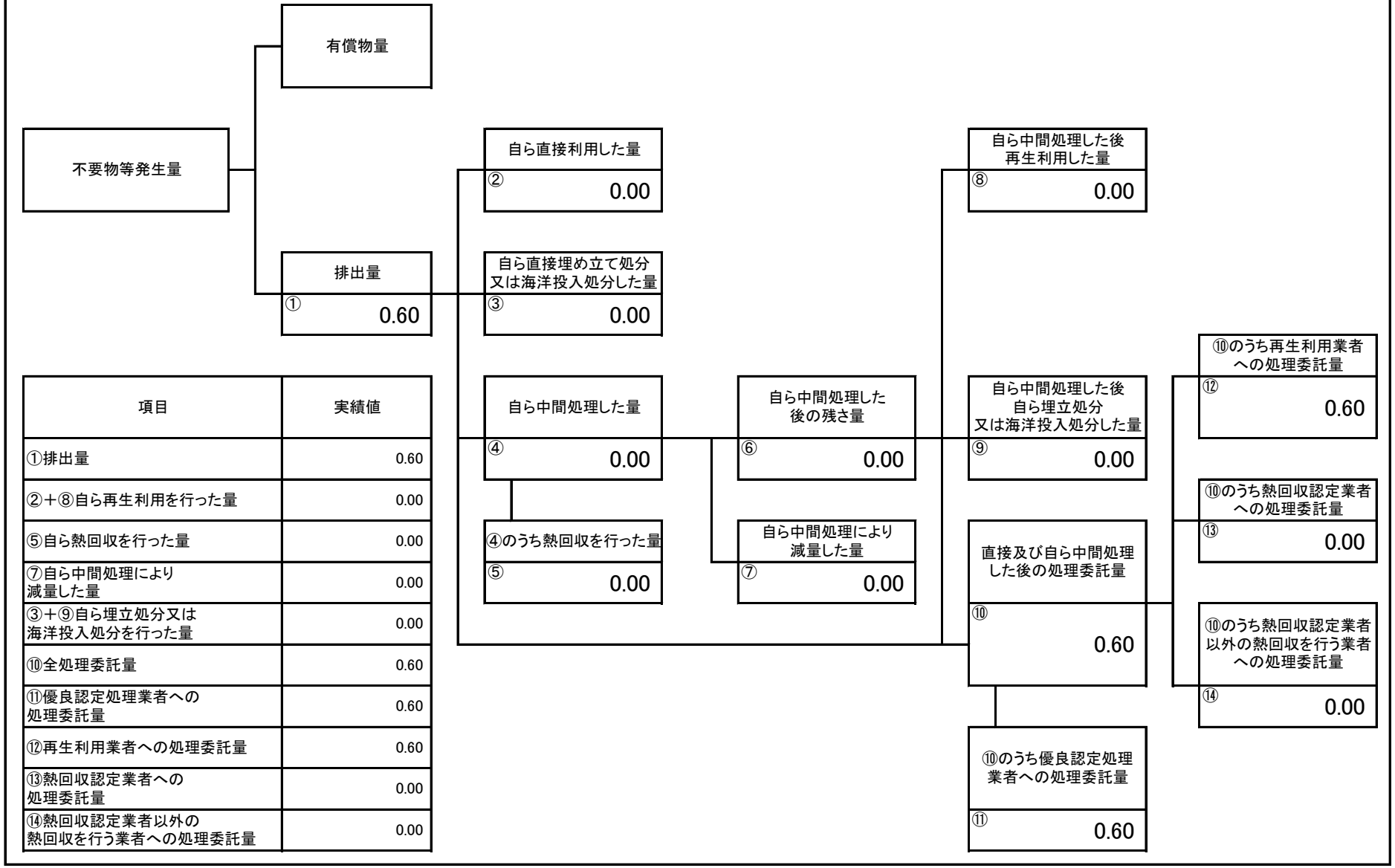


項目	実績値
①排出量	8.50
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	8.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.50
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：水銀使用製品　　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	0.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.60
⑫再生利用業者への処理委託量	0.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　260-0025

住　所　千葉県千葉市中央区問屋町１－３５
千葉ポートサイドタワー１７階

法人名　パナソニックホームズ株式会社 千葉支社

代表者　木下 博嗣

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　[redacted]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階
計画期間	令和7年4月1日　から　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	69億
③従業員数	113名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙２参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排出量	3342.72 t	t

（これまでに実施した取組）
(解体)
・手壊しによる分別解体の徹底・リサイクル率の高い業者選定
・事前調査による排出計画の厳密化・優良認定業者採用への促進
(新築)
・余剰部材削減・製造時プレカット促進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排出量	3008 t	t

（今後実施する予定の取組）
現状維持

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
(解体)コンクリート・アスファルト・その他がれき、石綿含有建材、石膏ボード、金属、廃プラ、木くず、繊維、紙くず、混合廃棄物、確実に他と混入しないよう分別管理
(新築)排出者がわかるように記名し、袋詰めを行い、分別の徹底

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現状維持

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		全 処 理 委 託 量	3008 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	906 t	t
		再生利用業者への処理委託量	3008 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		排　出　量	126.2　t	44.7　t	1439.5　t	103.6　t	669.1　t	64.1　t	139.5　t	28.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		排　出　量	113.6　t	40.2　t	1295.5　t	93.2　t	602.2　t	57.7　t	125.5　t	25.2　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	126.2 t	44.7 t	1439.5 t	103.6 t	669.1 t	64.1 t	139.5 t	28.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t	24.9 t	99.2 t	42.3 t	225.1 t	1.2 t	122.9 t	9.3 t
	再生利用業者への処理委託量	126.2 t	44.7 t	1439.5 t	103.6 t	669.1 t	64.1 t	139.5 t	28.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	113.6 t	40.2 t	1295.5 t	93.2 t	602.2 t	57.7 t	125.5 t	25.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.6 t	22.4 t	89.3 t	38.0 t	202.6 t	1.1 t	110.6 t	8.4 t
	再生利用業者への処理委託量	113.6 t	40.2 t	1295.5 t	93.2 t	602.2 t	57.7 t	125.5 t	25.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		排　出　量	2.9　t	43.7　t	23.5　t	0.4　t	10.7　t	646.9　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		排　出　量	2.6　t	39.3　t	21.2　t	0.3　t	9.7　t	582.2　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

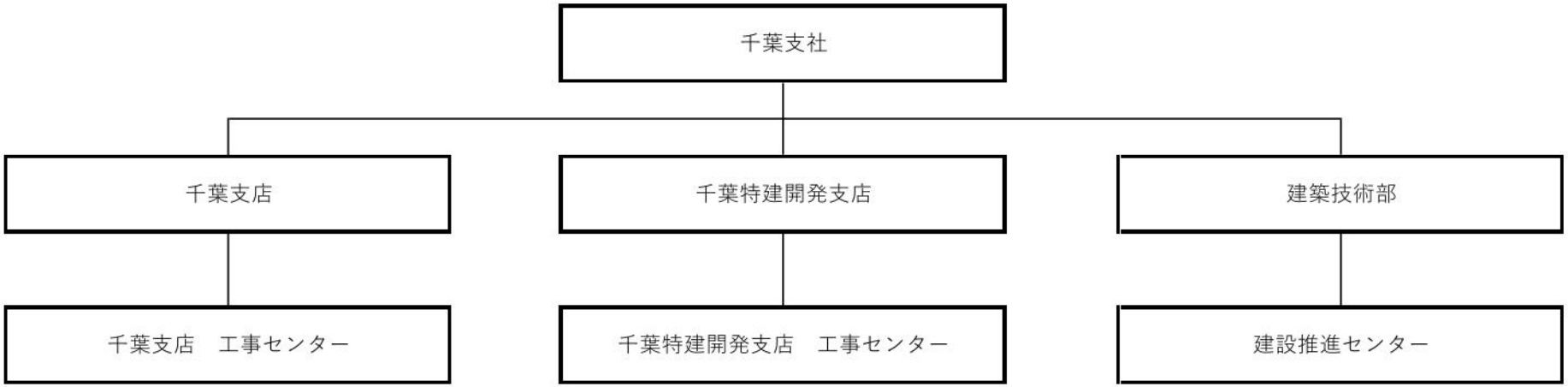
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	全処理委託量	2.9 t	43.7 t	23.5 t	0.4 t	10.7 t	646.9 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t	43.7 t	23.5 t	0.4 t	10.0 t	295.7 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.9 t	0.0 t	23.5 t	0.4 t	10.7 t	646.9 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	全処理委託量	2.6 t	39.3 t	21.2 t	0.3 t	9.7 t	582.2 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t	39.3 t	21.2 t	0.3 t	9.0 t	266.2 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.6 t	0.0 t	21.2 t	0.3 t	9.7 t	582.2 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t

別紙１

産業廃棄物の一連の処理の工程

新築工事	木くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	がれき類その他	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	石膏ボード	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	混合廃棄物	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	紙くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	金属くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
解体工事	コンクリートがら	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガレキ類その他	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	石膏ボード	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガラス・陶磁器	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガラス・陶磁器	→	破砕　再生処理業者委託	→	安定型埋立
	金属くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	安定型埋立
	繊維くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	木くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	紙くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	循環利用
	アスファルト	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	建設系混合廃棄物	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	管理型埋立
	建設系混合廃棄物	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	再生原料
	石綿含有建材	→	埋め立て処分業者へ搬入	→	管理型埋立
	鋼さい	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料

別紙２　（管理体制図）



現場監督　（産業廃棄物処理担当者）

- （現場における産業廃棄物管理）
- （現場管理業務）
-
-

現場監督　（産業廃棄物処理担当者）

- （現場における産業廃棄物管理）
- （現場管理業務）
-
-

（特別管理産業廃棄物管理責任者）

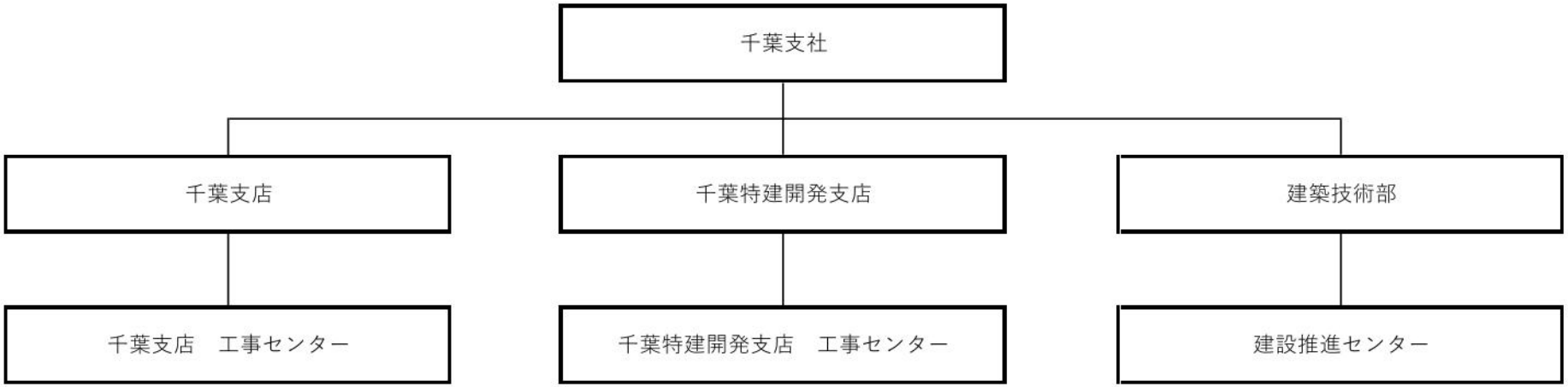
（マニュフェスト伝票管理、委託契約管理、各種届出、業者指導管理）

別紙１

産業廃棄物の一連の処理の工程

新築工事	木くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	がれき類その他	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	石膏ボード	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	混合廃棄物	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	紙くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	金属くず	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	広域認定第185号による再資源化処理	→	再生原料
解体工事	コンクリートがら	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガレキ類その他	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	石膏ボード	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガラス・陶磁器	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	ガラス・陶磁器	→	破砕　再生処理業者委託	→	安定型埋立
	金属くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	再生原料
	廃プラスチック類	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	安定型埋立
	繊維くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	木くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	紙くず	→	破砕　再生処理業者委託	→	循環利用
	アスファルト	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料
	建設系混合廃棄物	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	管理型埋立
	建設系混合廃棄物	→	破砕　圧縮　再生処理業者委託	→	再生原料
	石綿含有建材	→	埋め立て処分業者へ搬入	→	管理型埋立
	鋼さい	→	破砕　再生処理業者委託	→	再生原料

別紙２　（管理体制図）



現場監督　（産業廃棄物処理担当者）

- （現場における産業廃棄物管理）
- （現場管理業務）
-
-

現場監督　（産業廃棄物処理担当者）

- （現場における産業廃棄物管理）
- （現場管理業務）
-
-

（特別管理産業廃棄物管理責任者）

（マニュフェスト伝票管理、委託契約管理、各種届出、業者指導管理）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		排　出　量	126.2　t	44.7　t	1439.5　t	103.6　t	669.1　t	64.1　t	139.5　t	28.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		排　出　量	113.6　t	40.2　t	1295.5　t	93.2　t	602.2　t	57.7　t	125.5　t	25.2　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	126.2 t	44.7 t	1439.5 t	103.6 t	669.1 t	64.1 t	139.5 t	28.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t	24.9 t	99.2 t	42.3 t	225.1 t	1.2 t	122.9 t	9.3 t
	再生利用業者への処理委託量	126.2 t	44.7 t	1439.5 t	103.6 t	669.1 t	64.1 t	139.5 t	28.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類	コンクリート	ガラス・陶磁器くず	がれき類	アスファルト	建設混合廃棄物	石膏ボード
	全処理委託量	113.6 t	40.2 t	1295.5 t	93.2 t	602.2 t	57.7 t	125.5 t	25.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.6 t	22.4 t	89.3 t	38.0 t	202.6 t	1.1 t	110.6 t	8.4 t
	再生利用業者への処理委託量	113.6 t	40.2 t	1295.5 t	93.2 t	602.2 t	57.7 t	125.5 t	25.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		排　出　量	2.9　t	43.7　t	23.5　t	0.4　t	10.7　t	646.9　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		排　出　量	2.6　t	39.3　t	21.2　t	0.3　t	9.7　t	582.2　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和　6 年度）実績】）									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	全処理委託量	2.9 t	43.7 t	23.5 t	0.4 t	10.7 t	646.9 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t	43.7 t	23.5 t	0.4 t	10.0 t	295.7 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.9 t	0.0 t	23.5 t	0.4 t	10.7 t	646.9 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	繊維くず	がれき類（石綿含有）	ガラスくず・コンクリートくず（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	紙くず	木くず		
	全処理委託量	2.6 t	39.3 t	21.2 t	0.3 t	9.7 t	582.2 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t	39.3 t	21.2 t	0.3 t	9.0 t	266.2 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2.6 t	0.0 t	21.2 t	0.3 t	9.7 t	582.2 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　260-0025

住所　千葉県千葉市中央区問屋町1－35千葉ポートサイドタワー17階

法人名 パナソニックホームズ株式会社 千葉支社

代表者 木下 博嗣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-204-8714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 千葉支社
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区問屋町1-35千葉ポートサイドタワー17階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

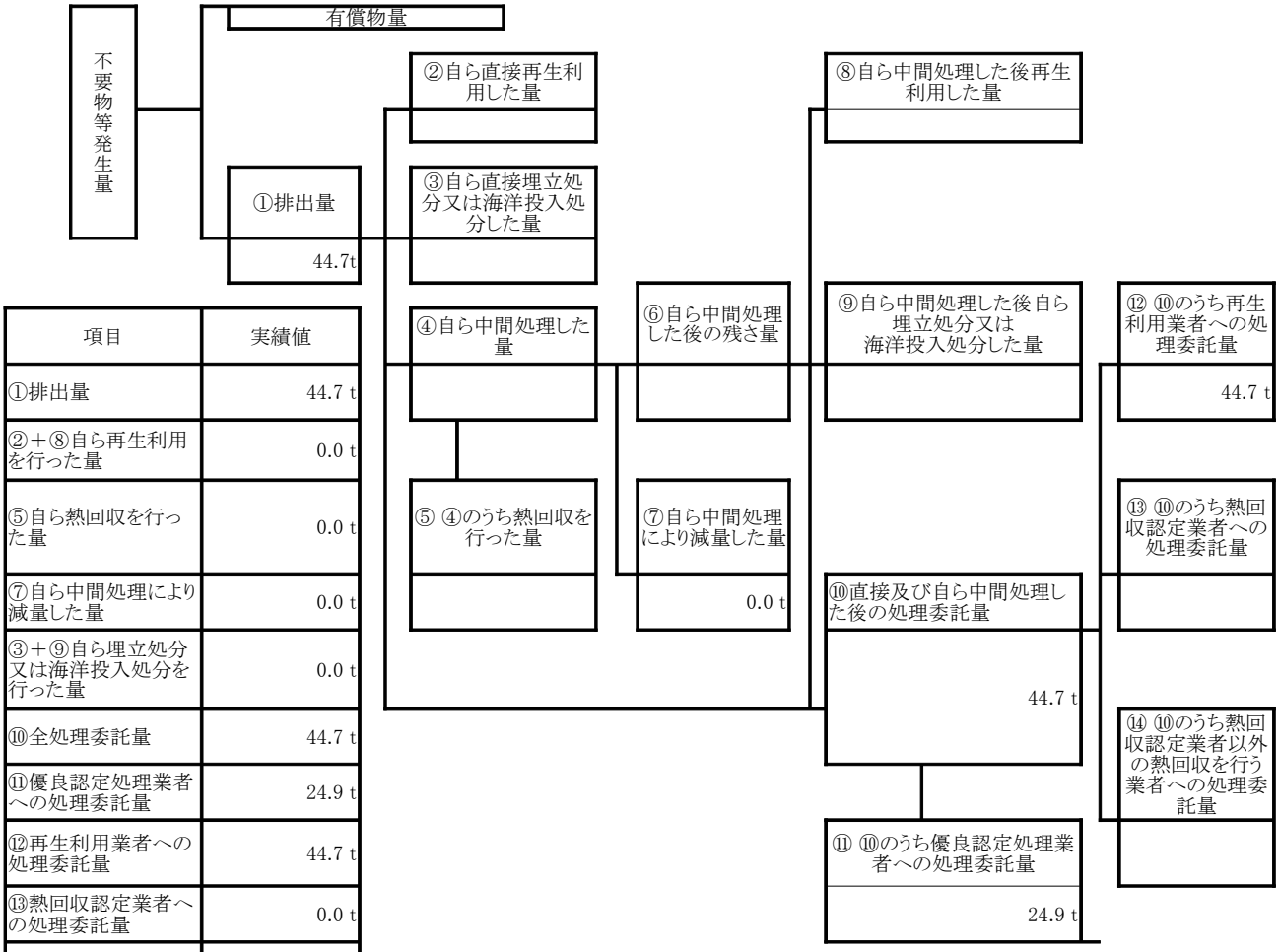
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2906.5 t	全処理委託量	2906.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	987.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2831.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

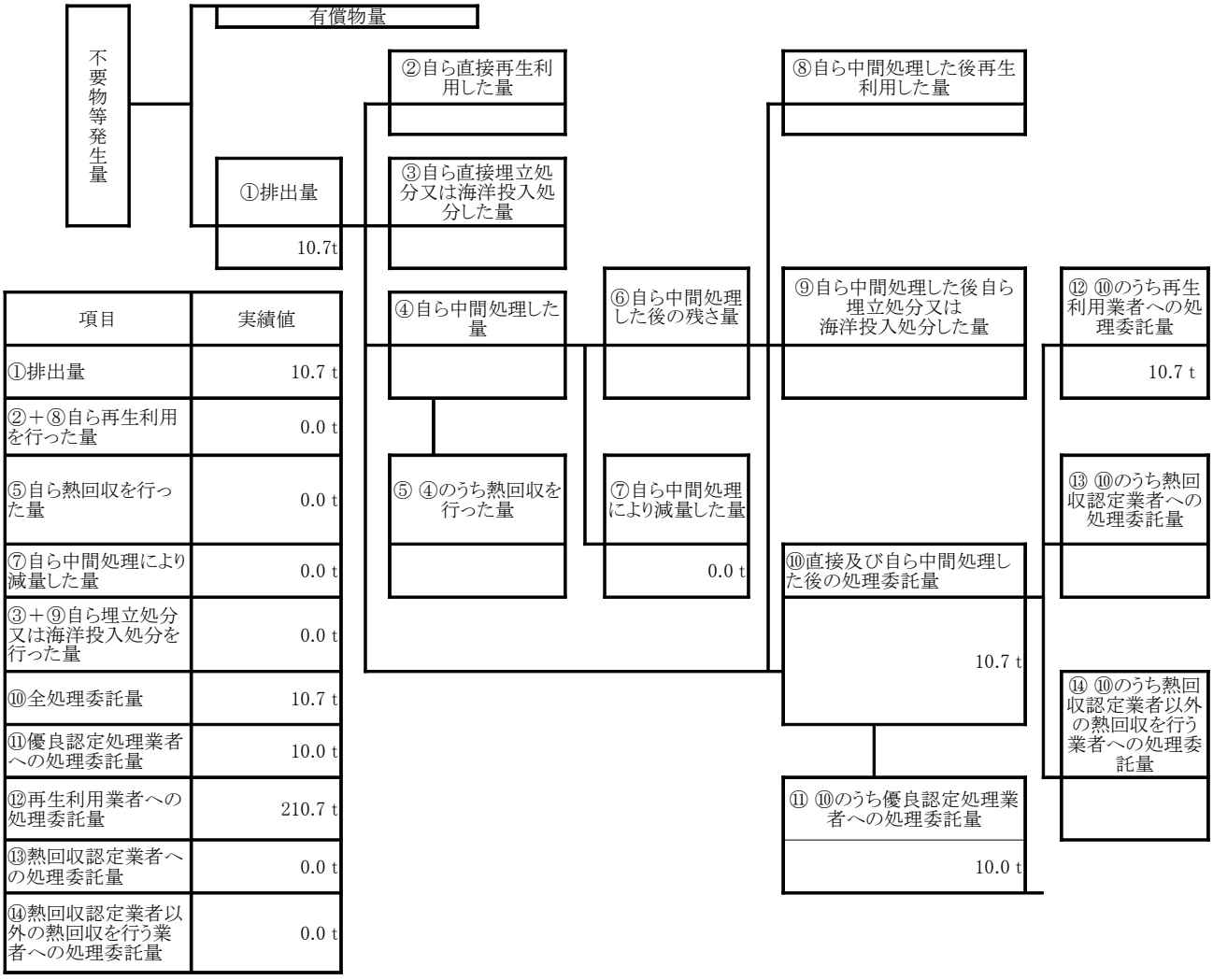


項目	実績値
①排出量	44.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



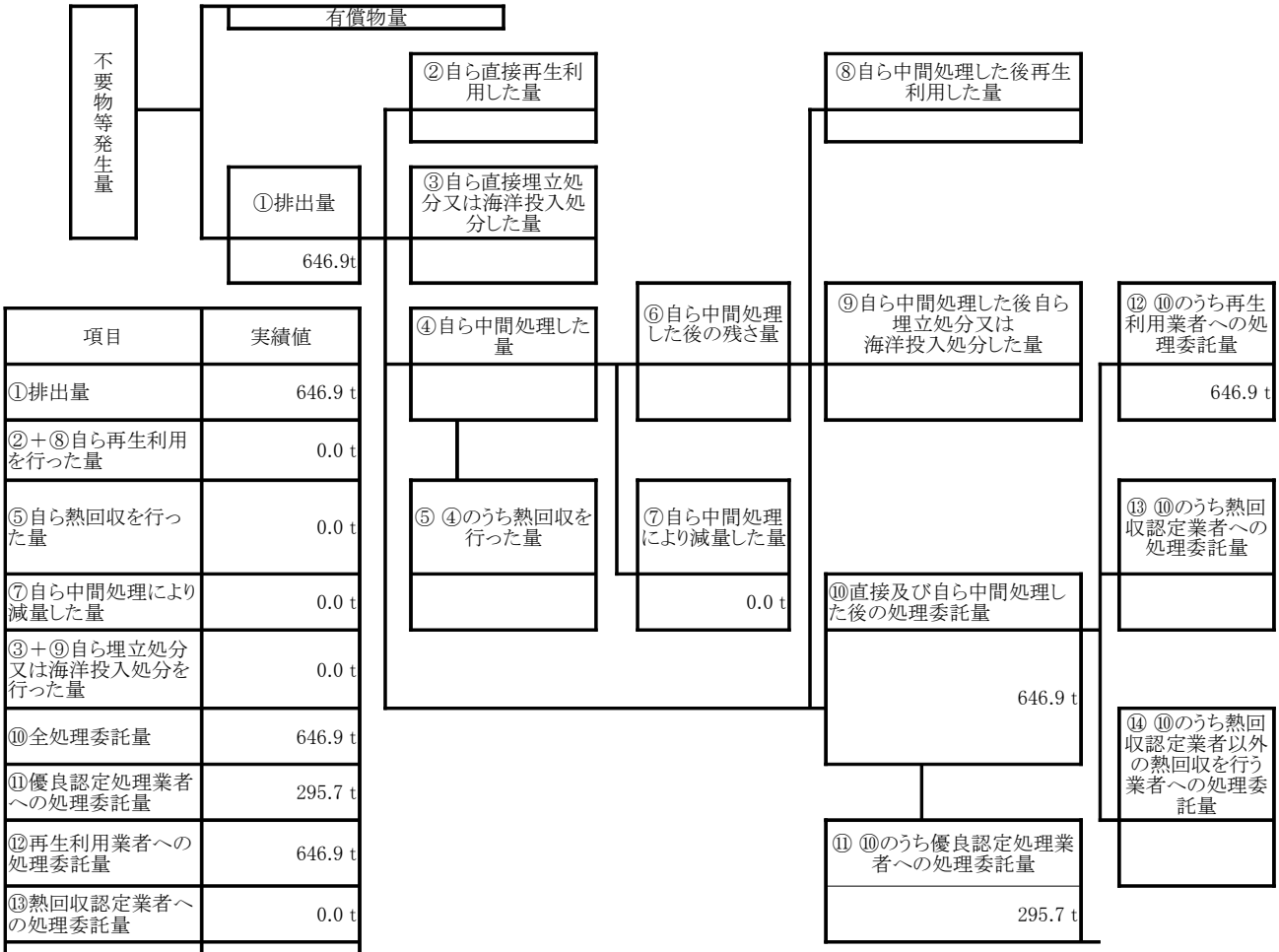
項目	実績値
①排出量	10.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	210.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

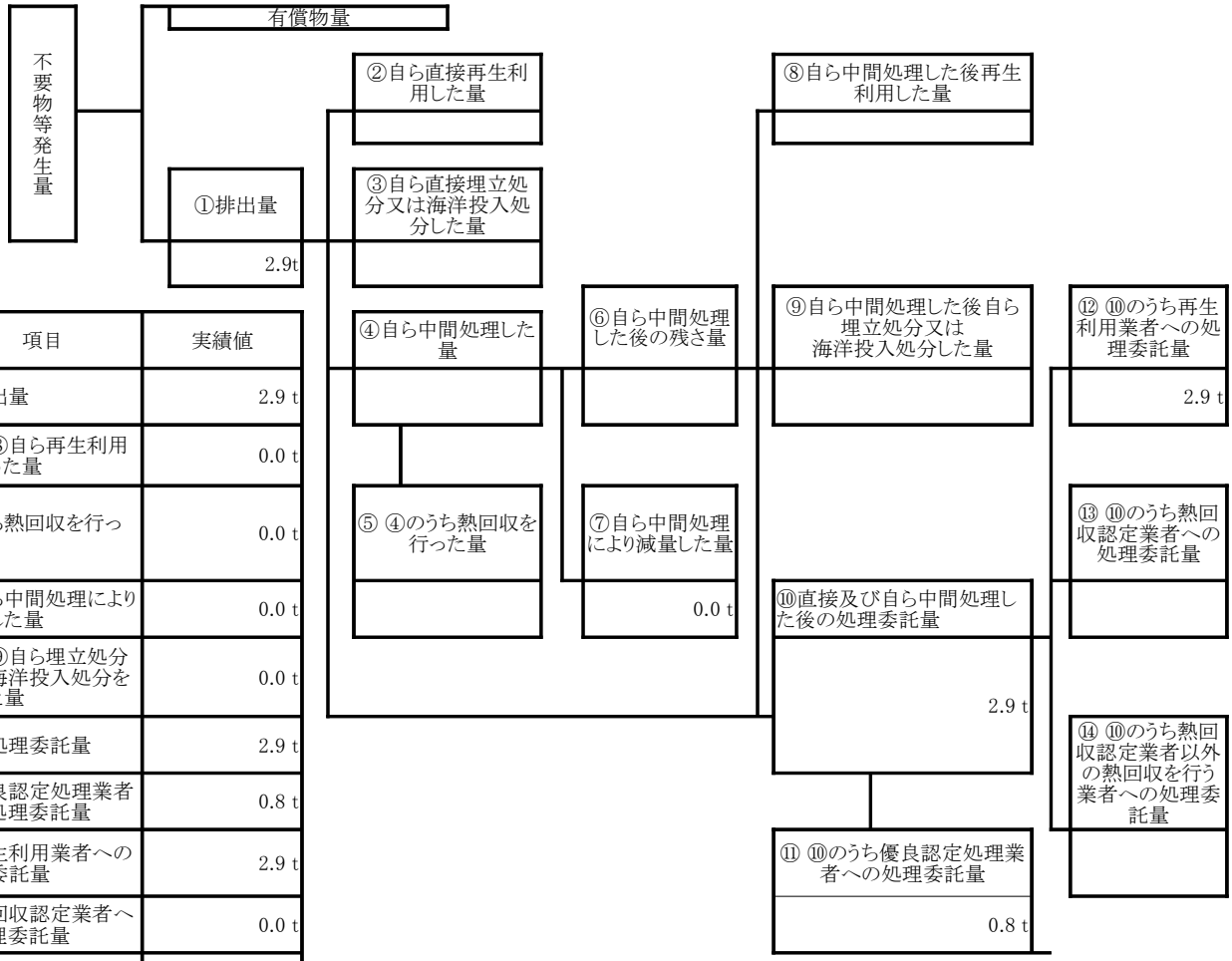


項目	実績値
①排出量	646.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	646.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	295.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	646.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

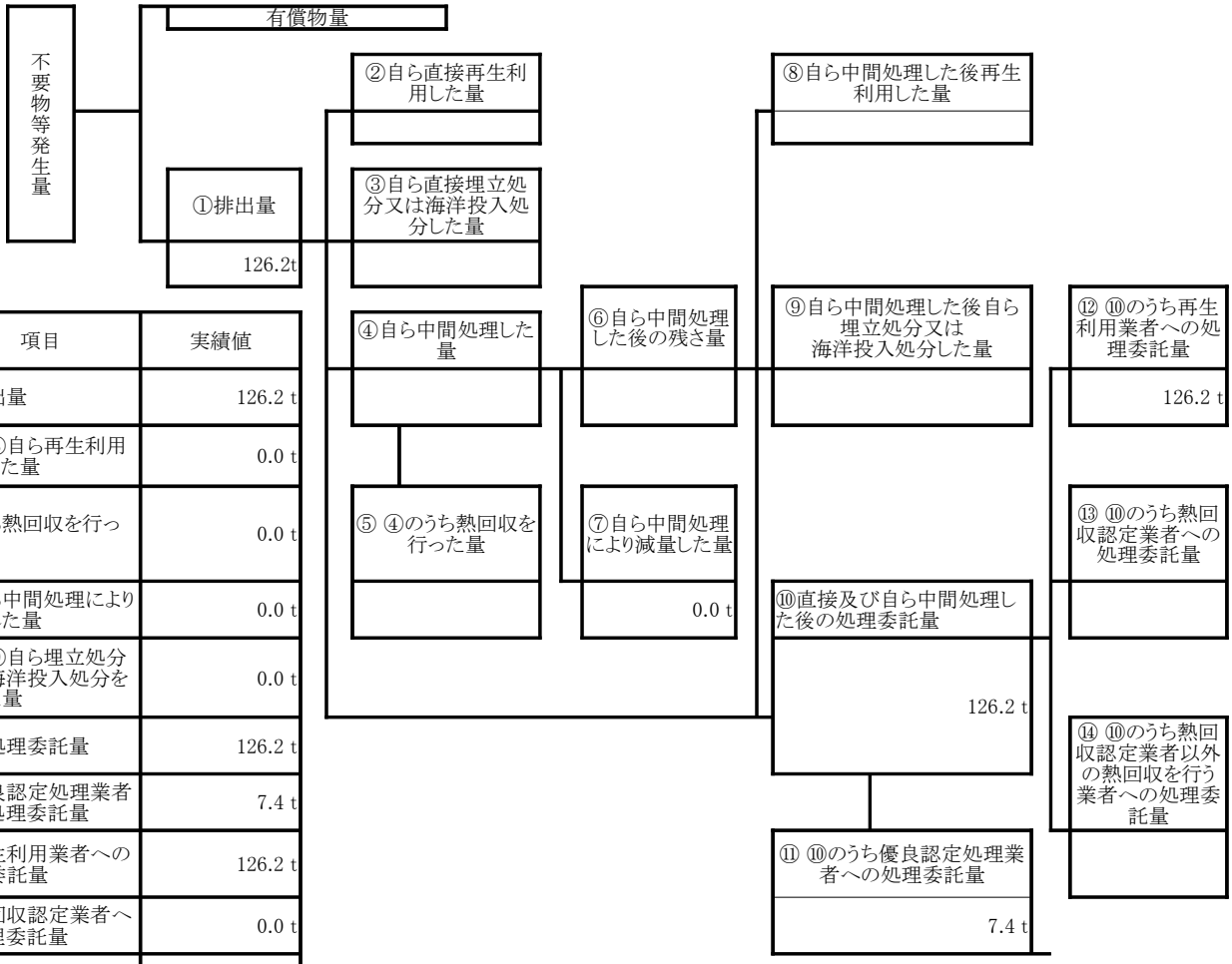


項目	実績値
①排出量	2.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

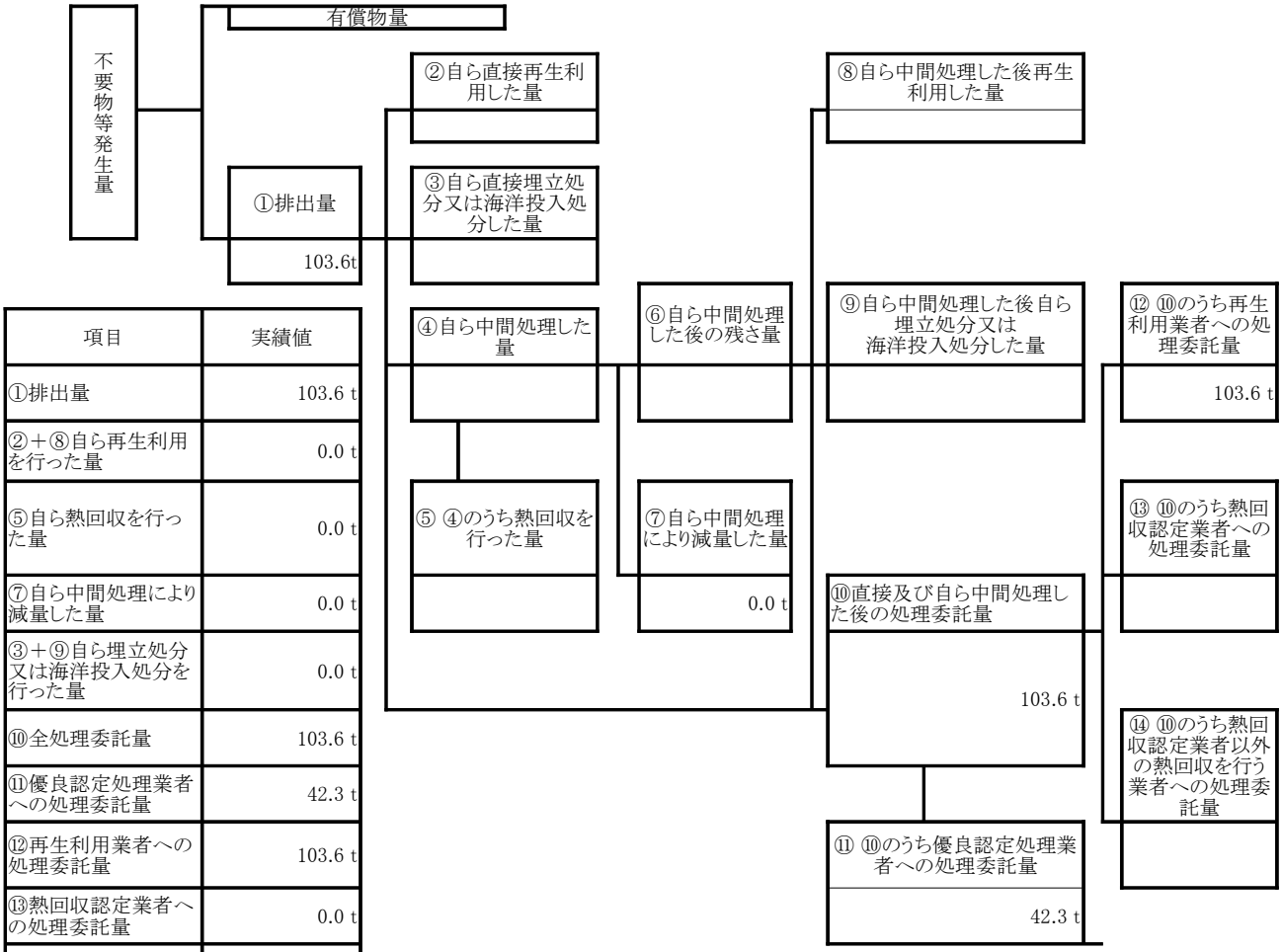


項目	実績値
①排出量	126.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	126.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	126.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラスくず・陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

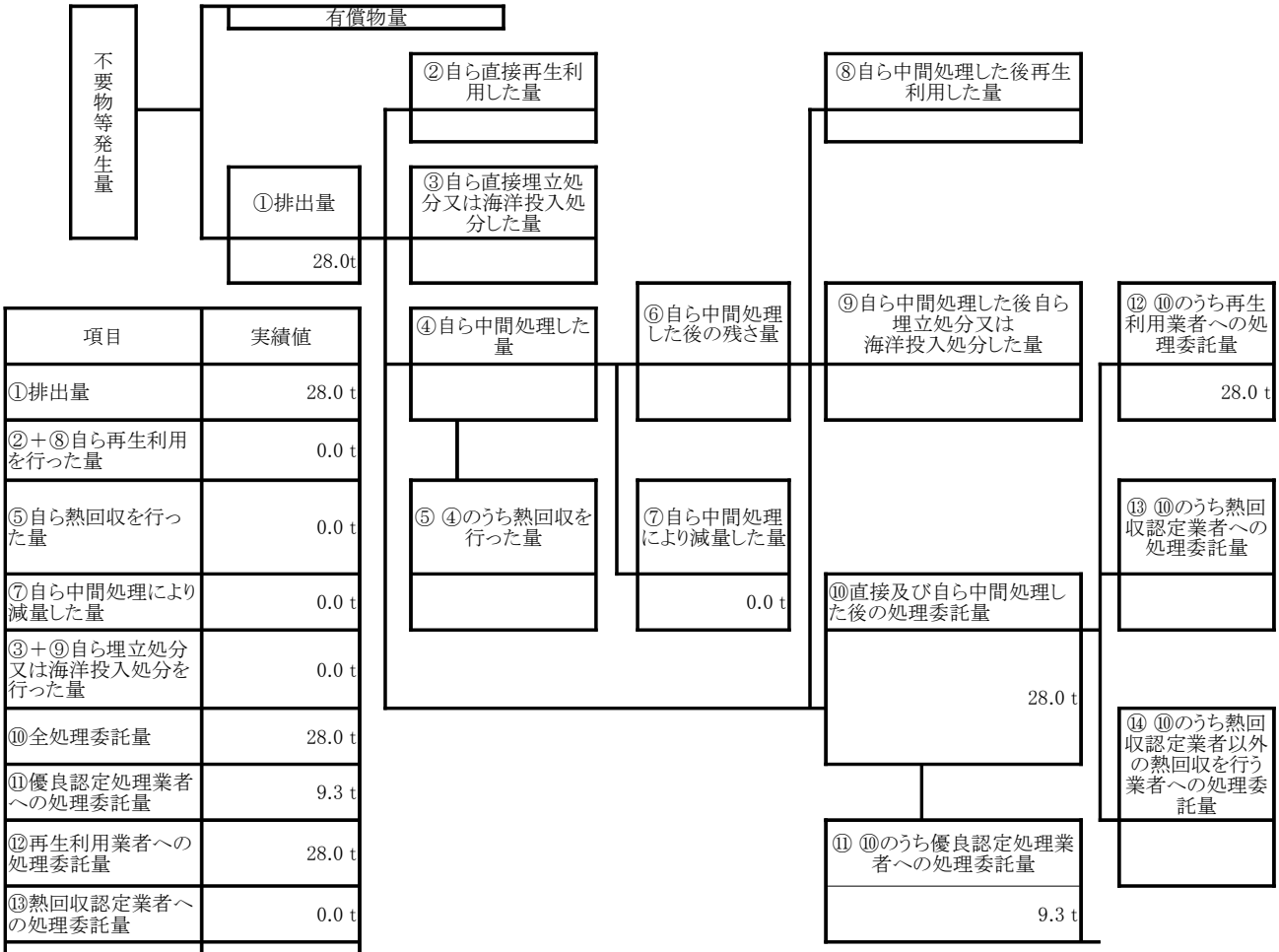


項目	実績値
①排出量	103.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	103.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	103.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



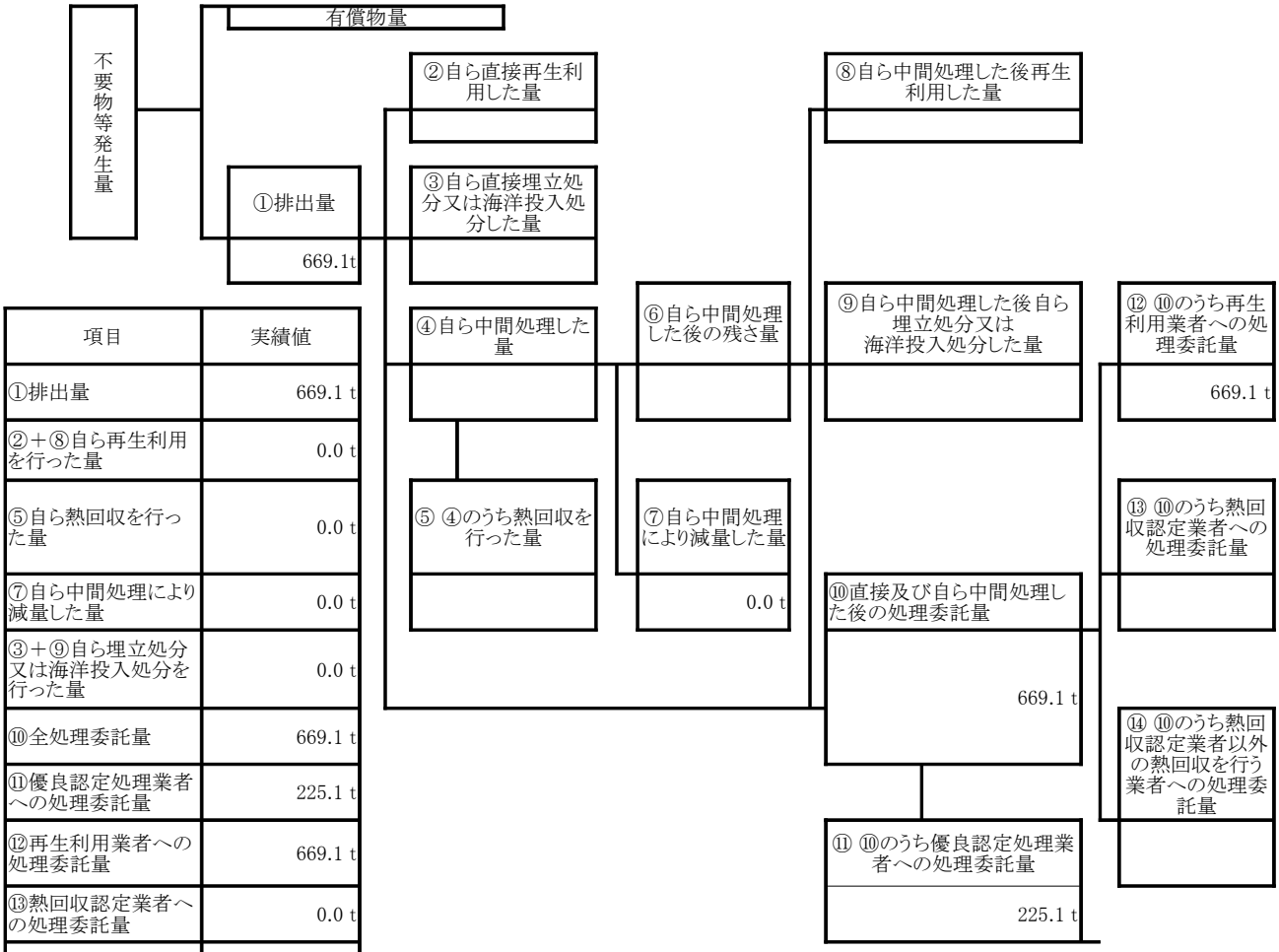
項目	実績値
①排出量	28.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	28.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	28.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

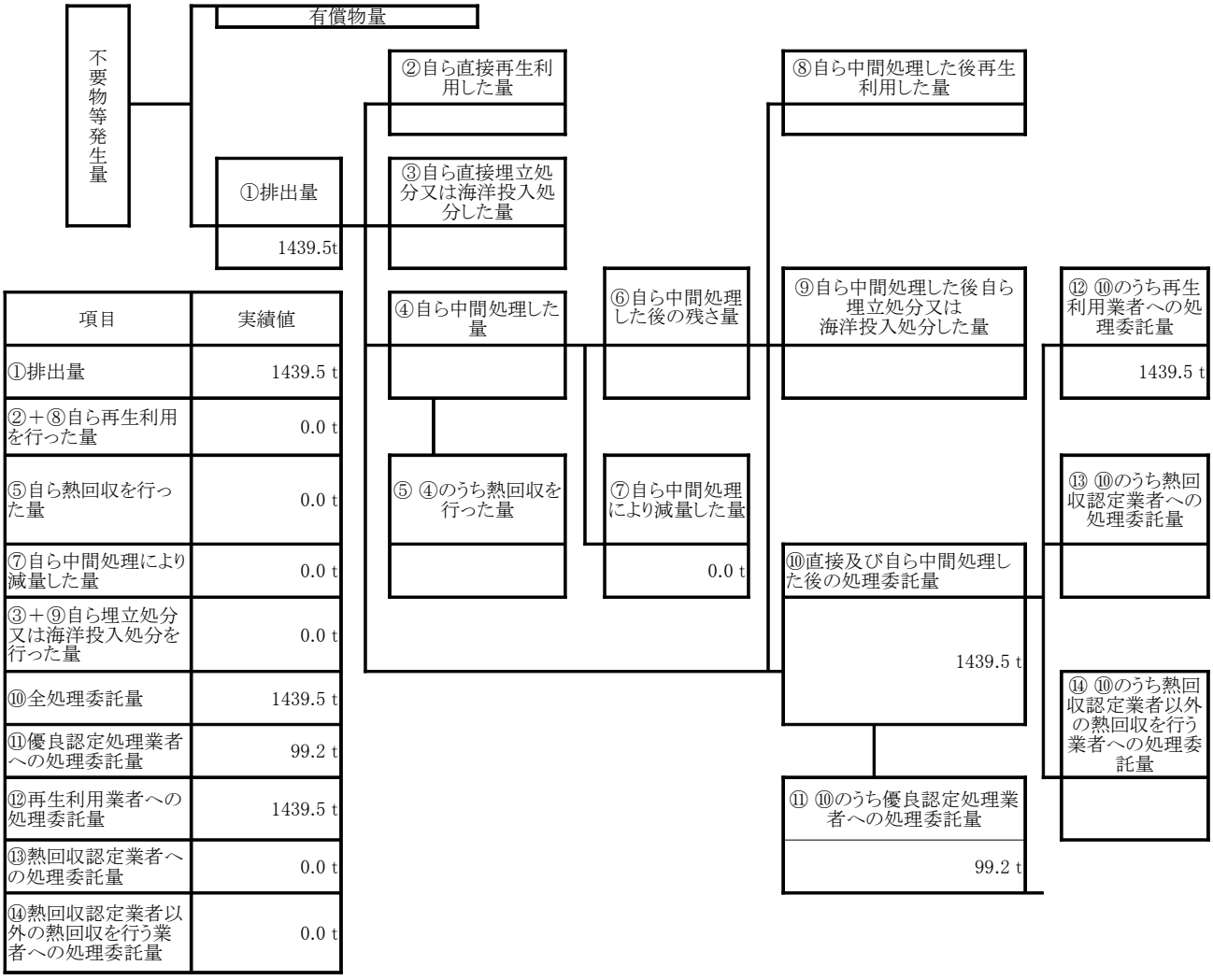


項目	実績値
①排出量	669.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	669.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	225.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	669.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



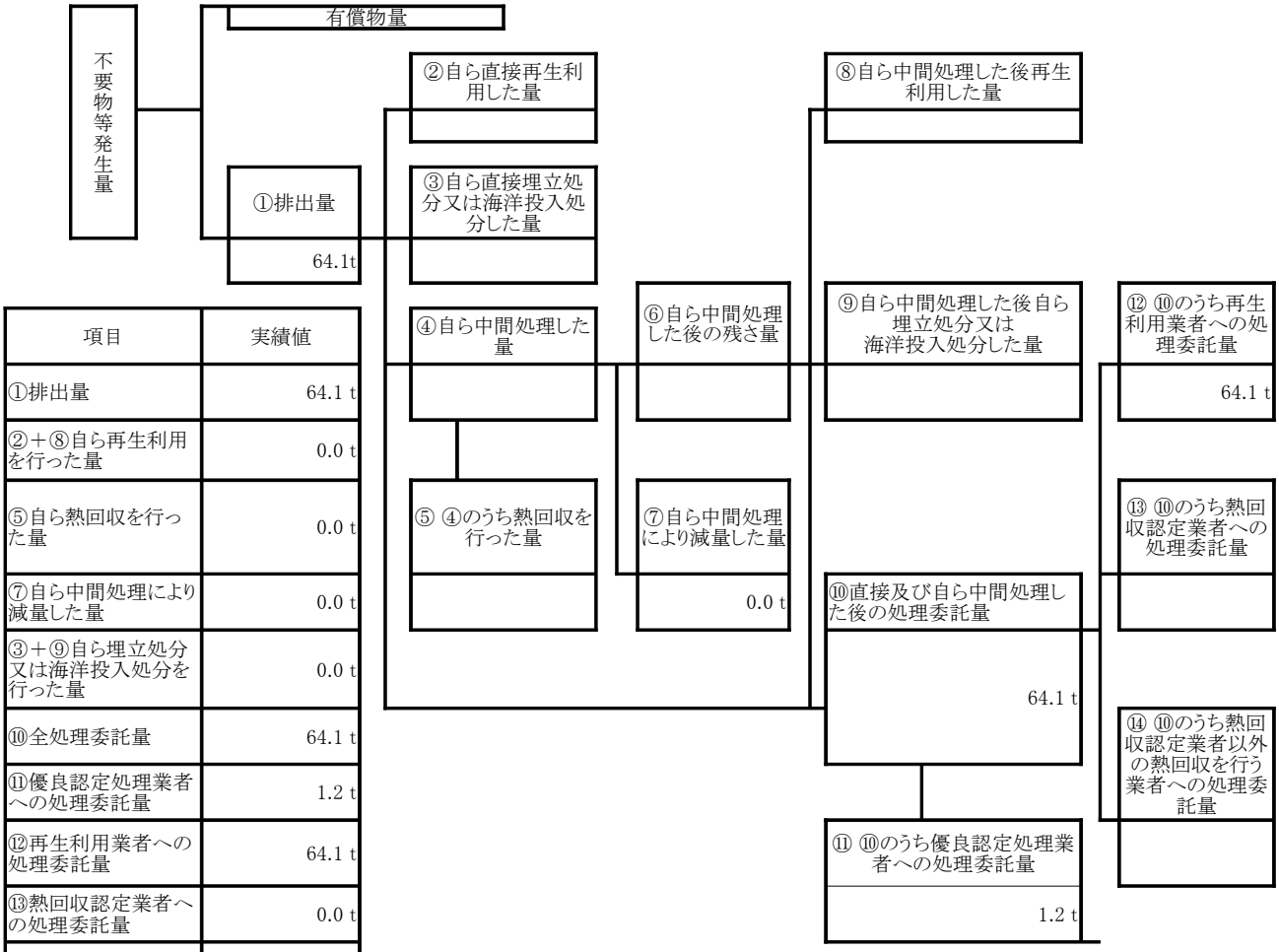
項目	実績値
①排出量	1439.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1439.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	99.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1439.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリート破片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

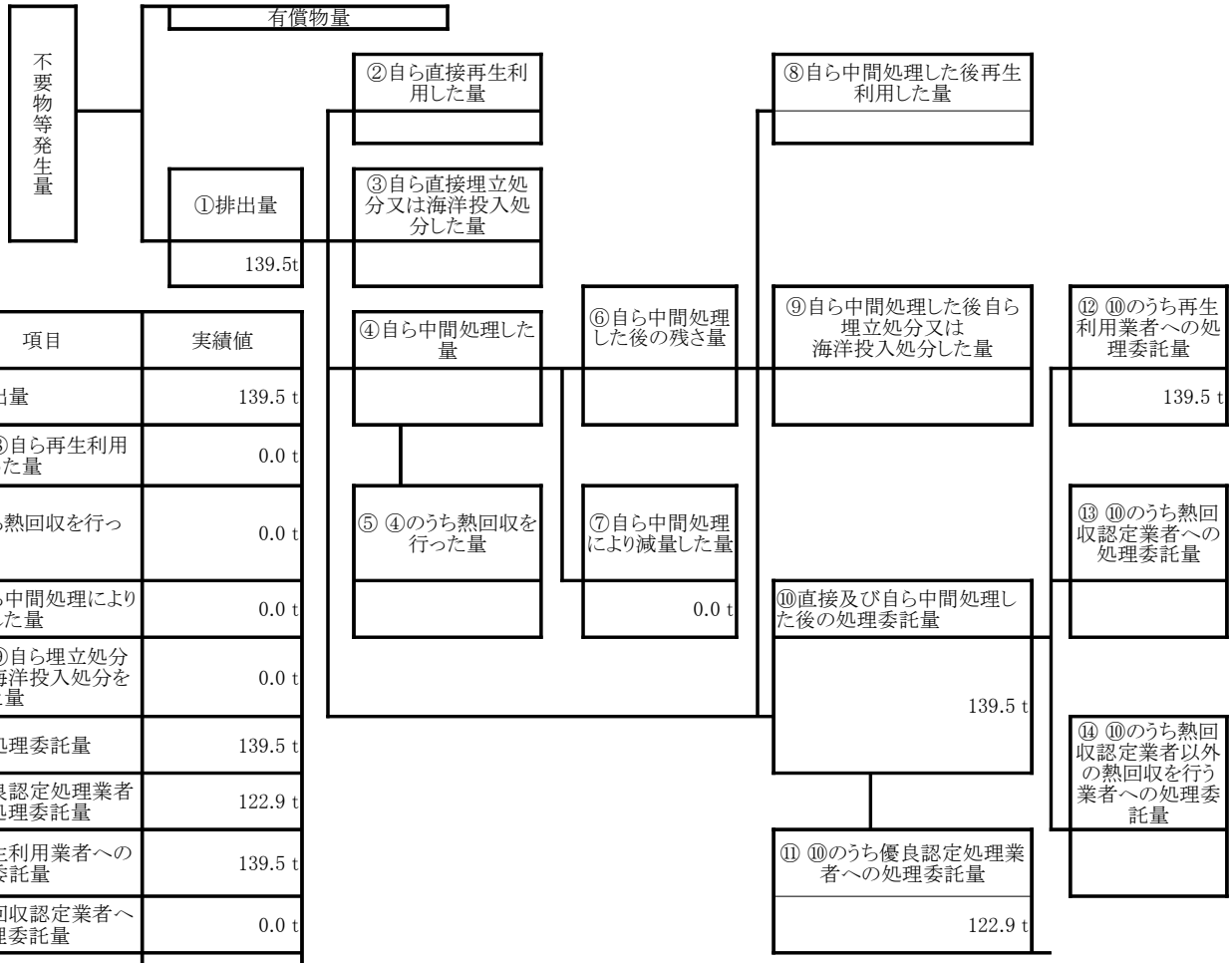


項目	実績値
①排出量	64.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	64.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	64.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

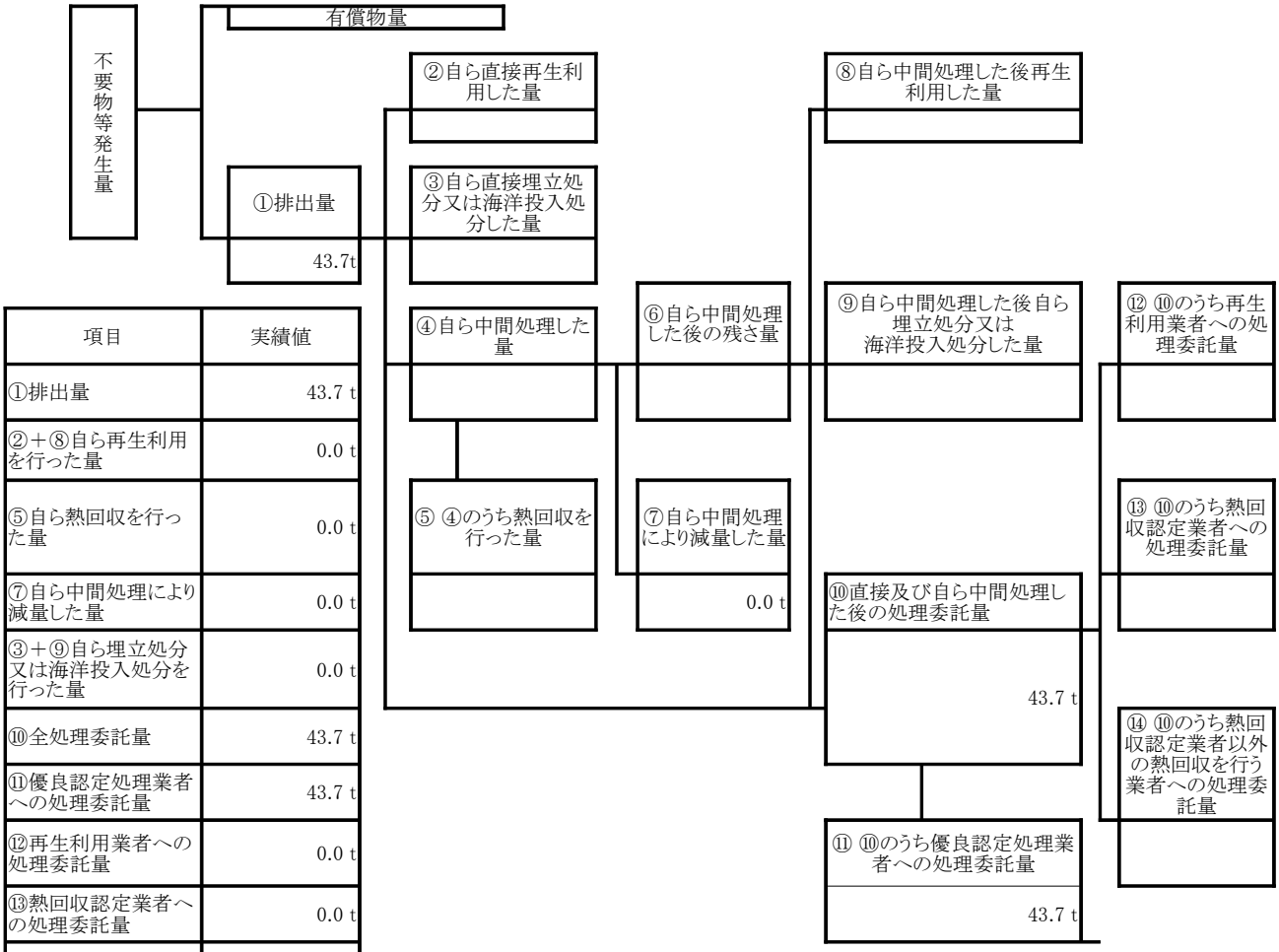


項目	実績値
①排出量	139.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	139.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	122.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	139.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　がれき類(石綿含有)　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

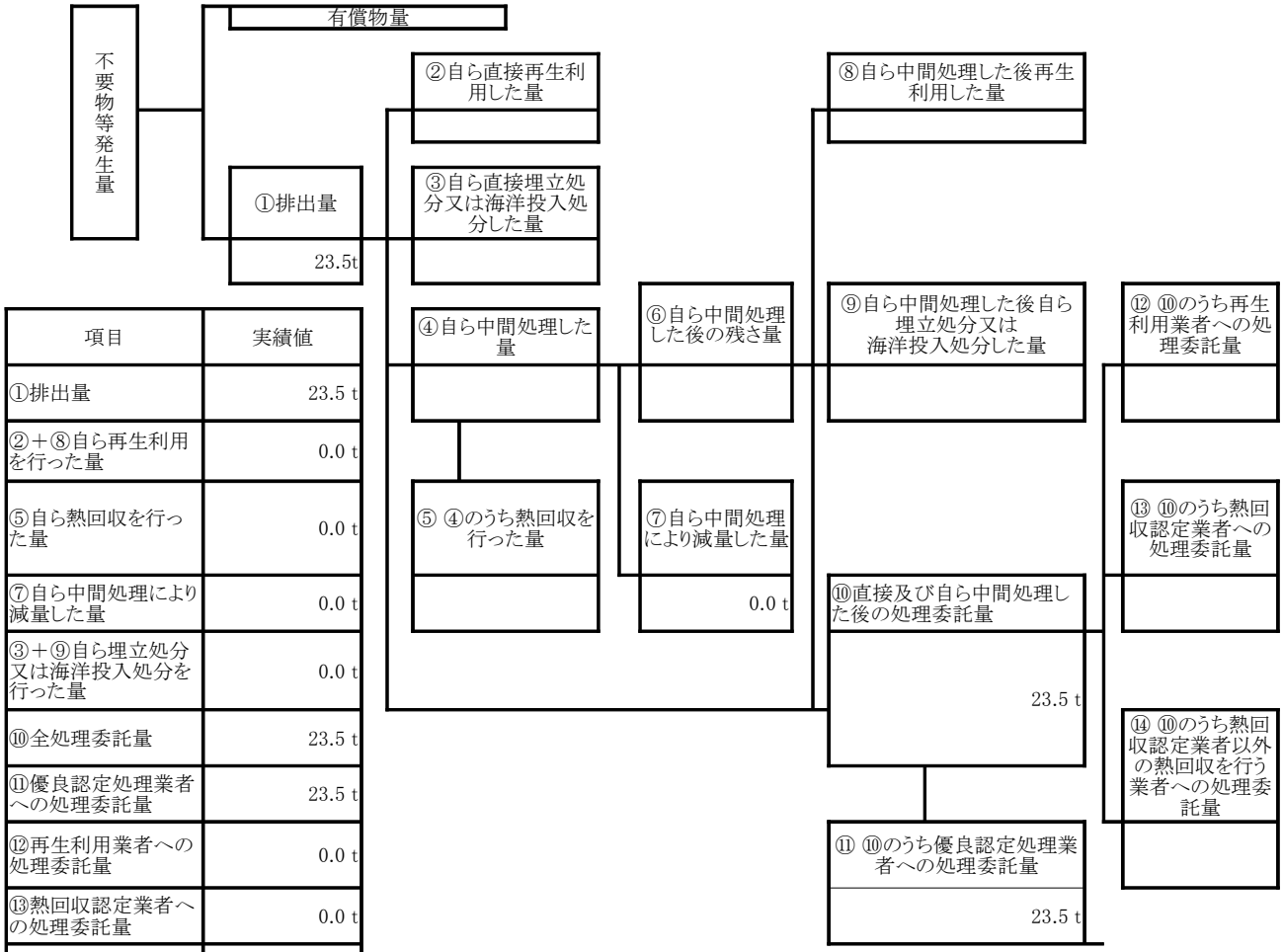


項目	実績値
①排出量	43.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラスくず・陶磁器くず(石綿含有)）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

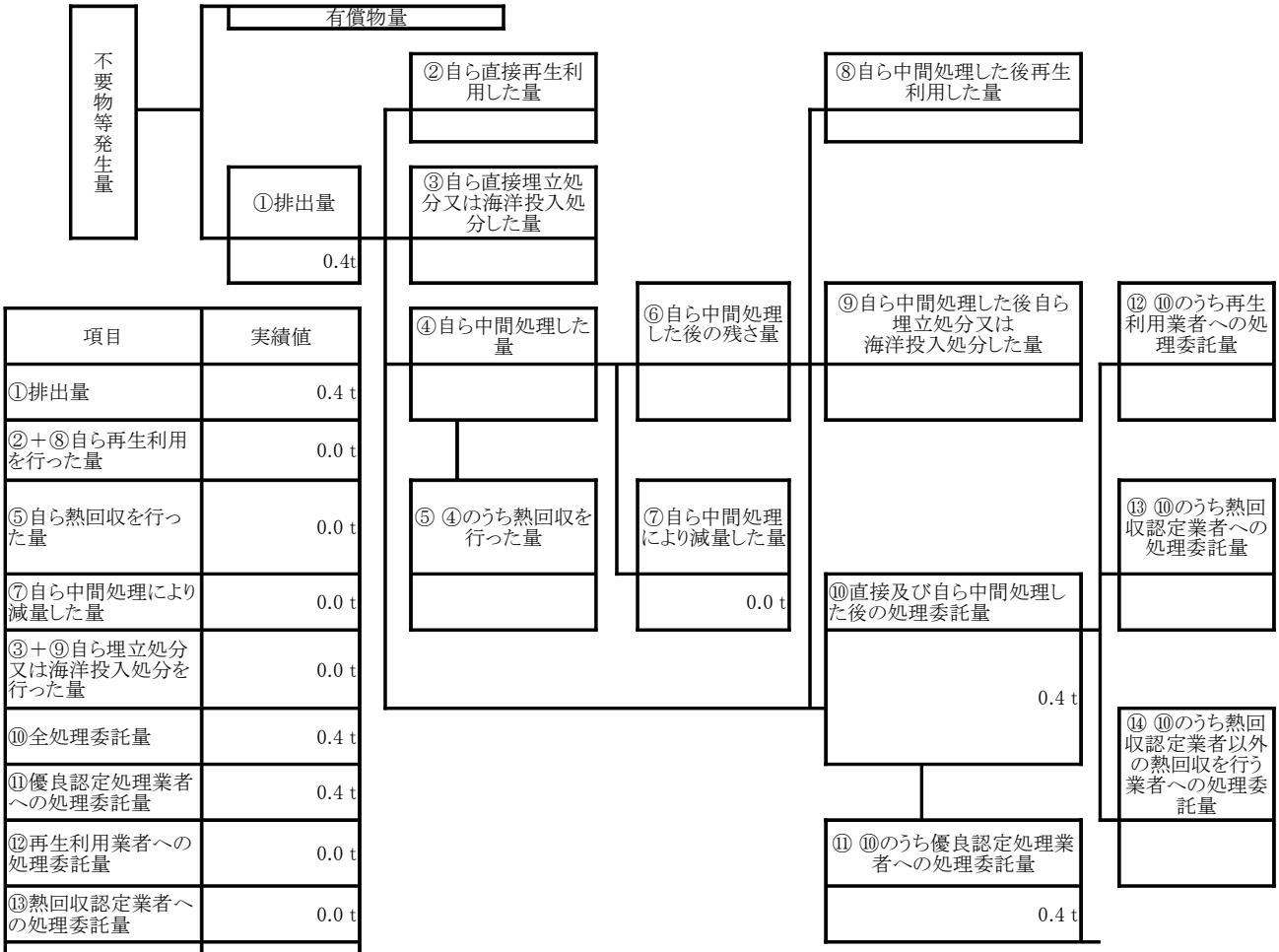


項目	実績値
①排出量	23.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃プラ(石綿含有)　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　292-0834

住　所　千葉県木更津市潮見四丁目14番地9

法人名　株式会社ハマダ

代表者　安藝 真一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-36-7721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ハマダ
事業場の所在地	千葉県木更津市潮見四丁目14番地9
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	1,477,513,549
③従業員数	35
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	解体工事に伴う産業廃棄物の発生 →ｺﾝｶﾞﾗ・ｱｽｶﾞﾗ・木くず・がれき類・廃プラ・混合廃棄物・繊維・ガラス陶磁器・金属くず・紙くず・石膏ﾎﾞｰﾄﾞ・水銀使用製品・石綿含有建材・廃石綿・建設汚泥等の建設産業廃棄物の選別・処理施設への搬入 →処理委託先での適正な処理方法・判断により処理

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

工事部
→各現場担当者（現場確認・管理・産廃処理業者の選定）
→工事部事務（マニフェスト管理・搬出済み産廃の集計及び管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	０ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）

解体分別時に、出来る限り可能に再資源化できるように選別を実施

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
排出量	ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

解体分別時に出来る限り再資源化できるようにするため、自社作業員及び協力会社作業員に選別の教育と指導を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

重機による破砕・選別後、安全の範囲内にて作業員による
手作業での再選別を実施

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

上記作業を安全に留意して、リサイクル可能物を出来る限り選別するよう図る

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
各処分場の処理方法を検討した上、環境により配慮した施設を優先的に利用する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現在利用している処理施設のみならず、より環境に配慮した施設があった場合には積極的に検討し利用していく</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		排　出　量	719.79 t	7.59 t	124.53 t	562.97 t	4.61 t	13296.6 t	160.85 t	2.21 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		排　出　量	708.99 t	7.48 t	122.66 t	554.53 t	4.54 t	13097.15 t	158.44 t	2.18 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
	全処理委託量	719.79 t	7.59 t	124.53 t	562.97 t	4.61 t	13296.6 t	160.85 t	2.21 t
	優良認定処理業者への処理委託量	147.65 t	7.04 t	49.78 t	19.4 t	0.17 t	6705.52 t	137.09 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	719.79 t	7.59 t	124.53 t	562.97 t	4.61 t	13296.6 t	160.85 t	2.21 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アス・コンがら	汚泥	ガラ陶	木くず	金属くず	コンがら	建設混合廃棄物	紙くず
	全処理委託量	708.99 t	7.48 t	122.66 t	554.53 t	4.54 t	13097.15 t	158.44 t	2.18 t
	優良認定処理業者への処理委託量	145.44 t	6.93 t	49.03 t	19.11 t	0.17 t	6604.94 t	135.03 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	708.99 t	7.48 t	122.66 t	554.53 t	4.54 t	13097.15 t	158.44 t	2.18 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		排　出　量	0.15 t	0.02 t	62.46 t	0.78 t	6.16 t	569.08 t	76.16 t	14.04 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		排　出　量	0.15 t	0.02 t	61.52 t	0.77 t	6.07 t	560.54 t	75.02 t	13.83 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 0	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
全処理委託量	0.15 t	0.02 t	62.46 t	0.78 t	6.16 t	569.08 t	76.16 t	14.04 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.05 t	0 t	51.28 t	0 t	4.72 t	81.04 t	47.38 t	14.04 t
再生利用業者への処理委託量	0.15 t	0 t	0 t	0 t	6.16 t	569.08 t	76.16 t	14.04 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品	ガラ陶：石綿	がれき：石綿	混合：石綿	繊維くず	がれき類	廃プラ	廃油
全処理委託量	0.15 t	0.02 t	61.52 t	0.77 t	6.07 t	560.54 t	75.02 t	13.83 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.05 t	0 t	50.51 t	0 t	4.65 t	79.82 t	46.67 t	13.83 t
再生利用業者への処理委託量	0.15 t	0 t	0 t	0 t	6.07 t	560.54 t	75.02 t	13.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月17日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　292-0834

住所 千葉県木更津市潮見四丁目14番地9

法人名 株式会社ハマダ

代表者 安藝 真一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0438-36-7721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ハマダ
事業場の所在地	千葉県木更津市潮見四丁目14番地9
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

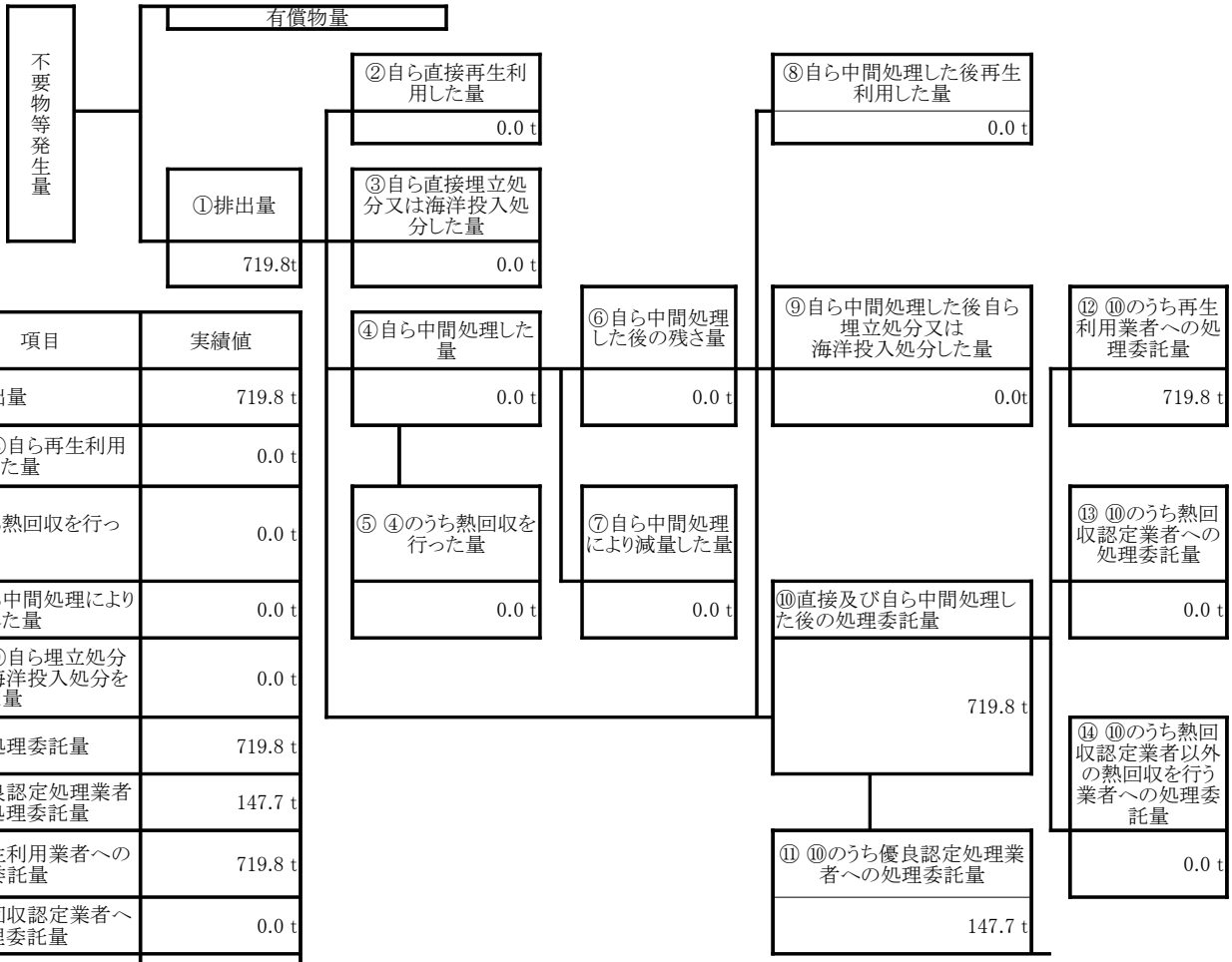
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6607.93 t	全処理委託量	6607.93 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3505.67 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	6529.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

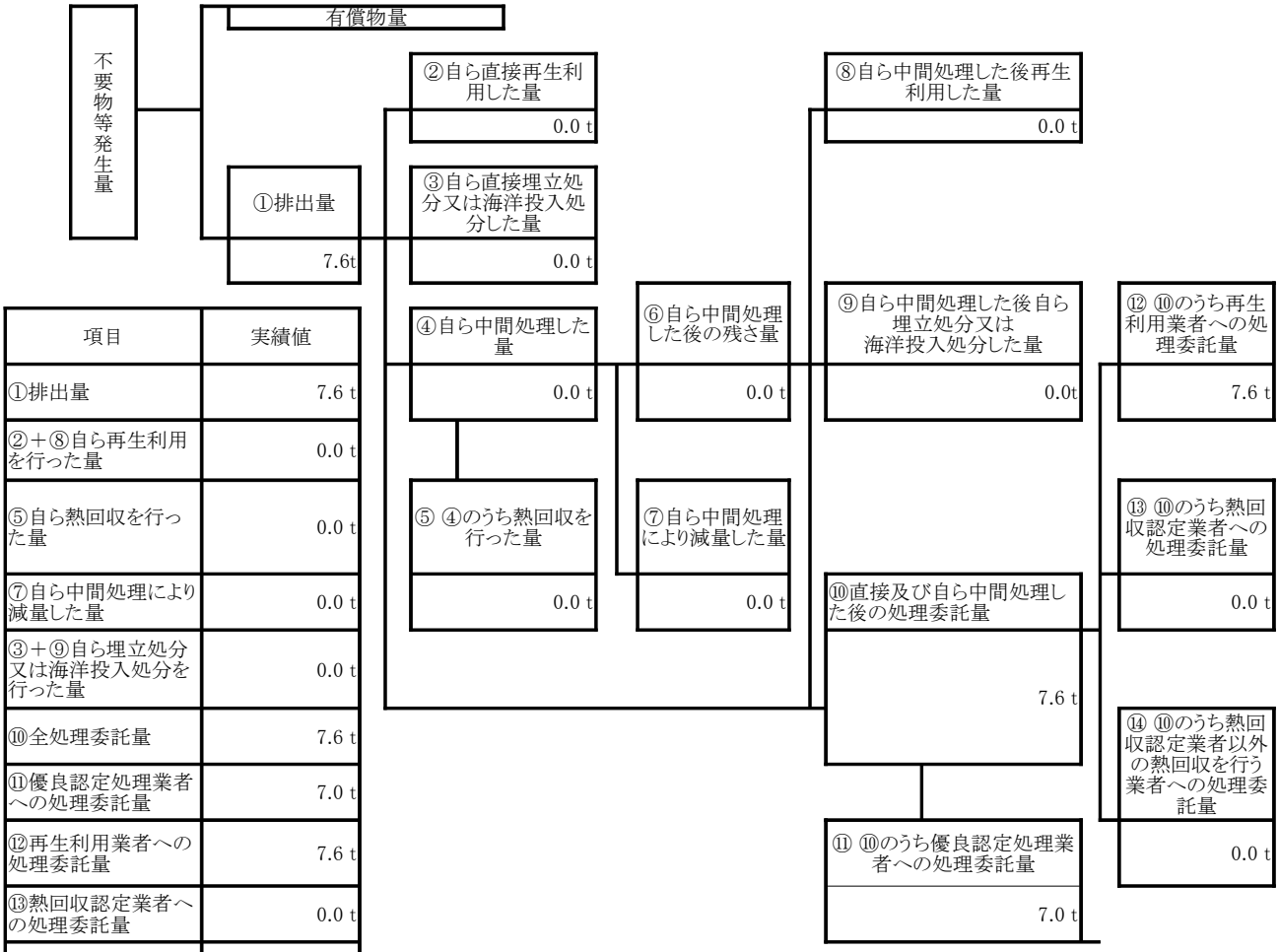


項目	実績値
①排出量	719.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	719.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	147.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	719.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

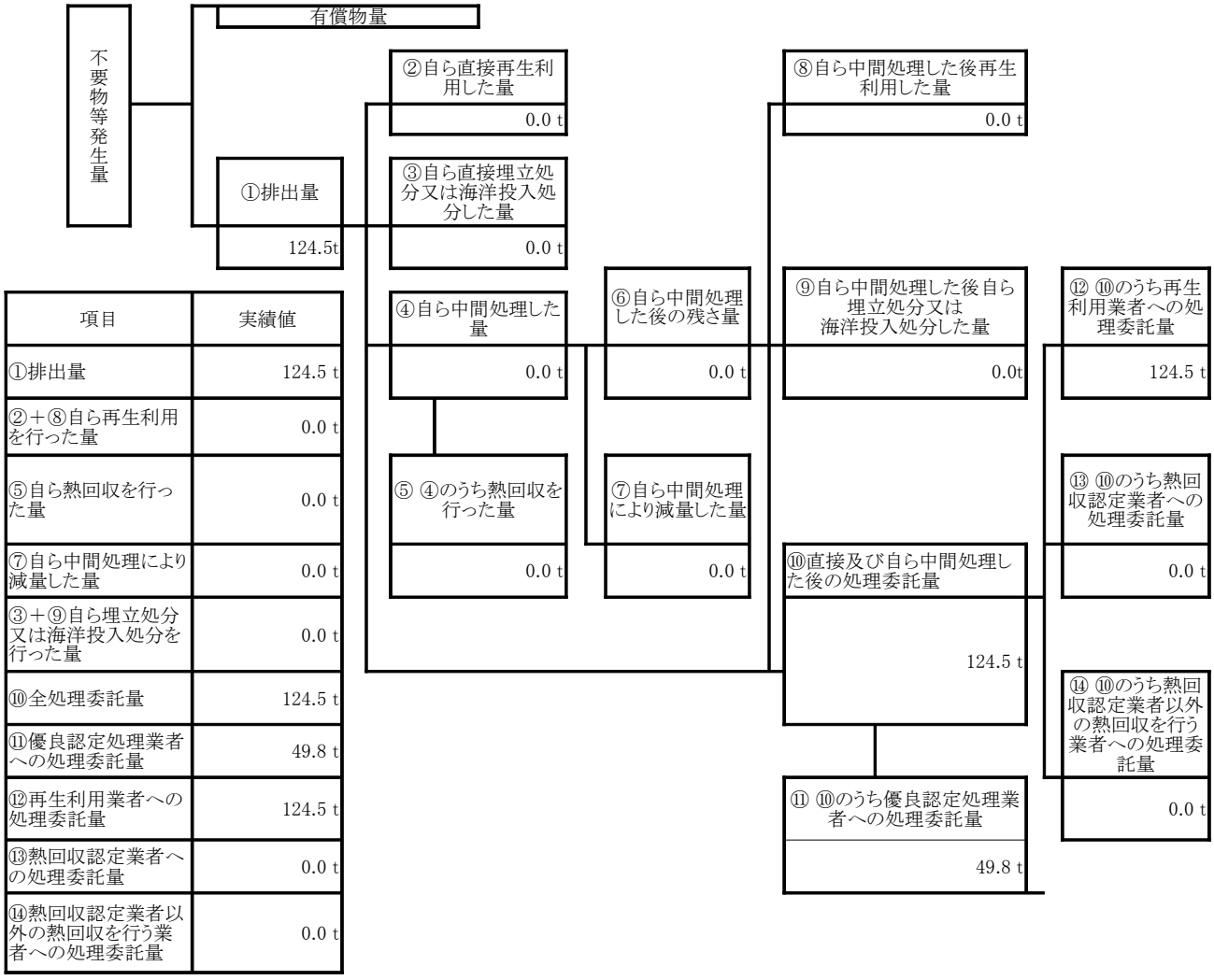


項目	実績値
①排出量	7.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

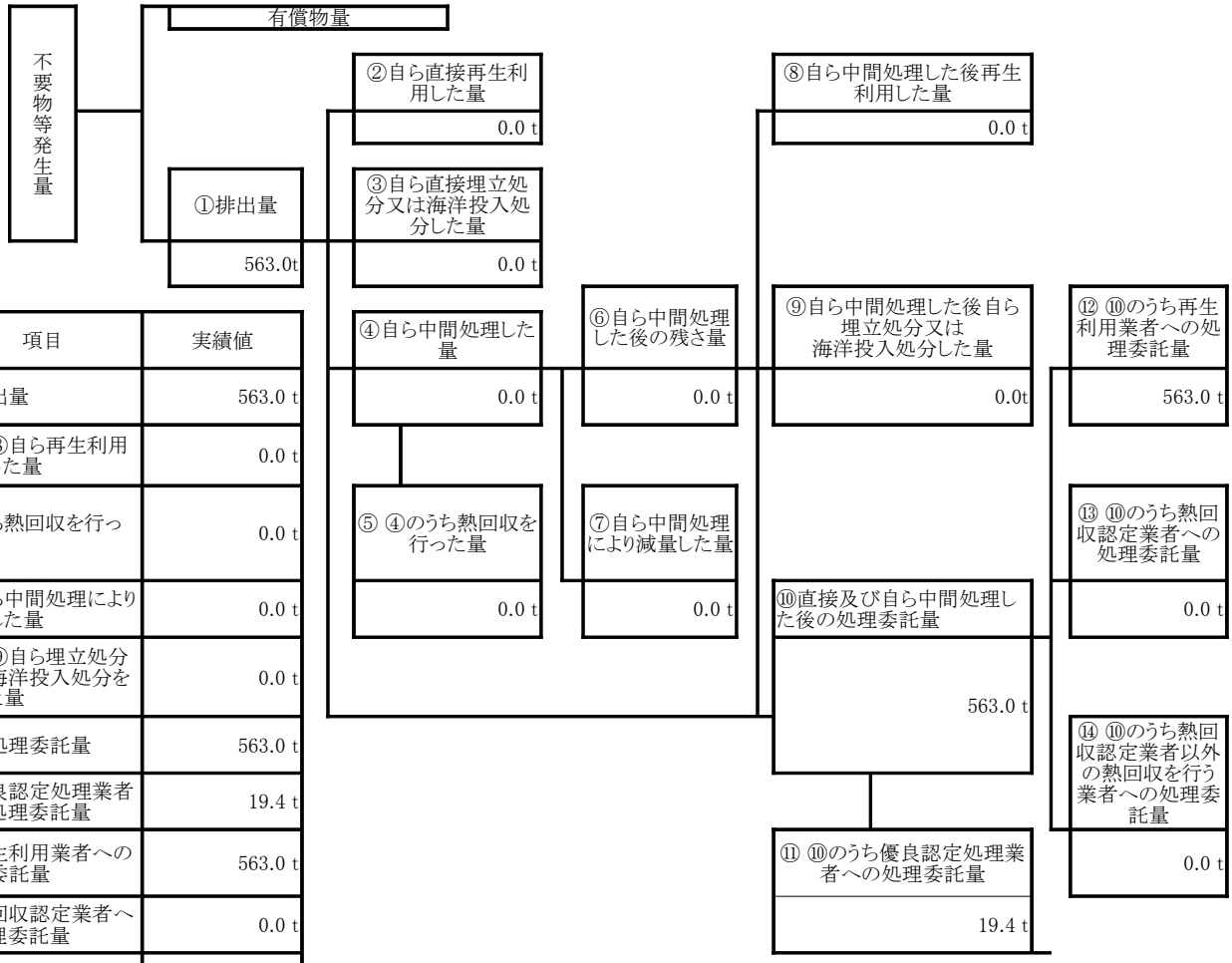


項目	実績値
①排出量	124.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	124.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	49.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	124.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

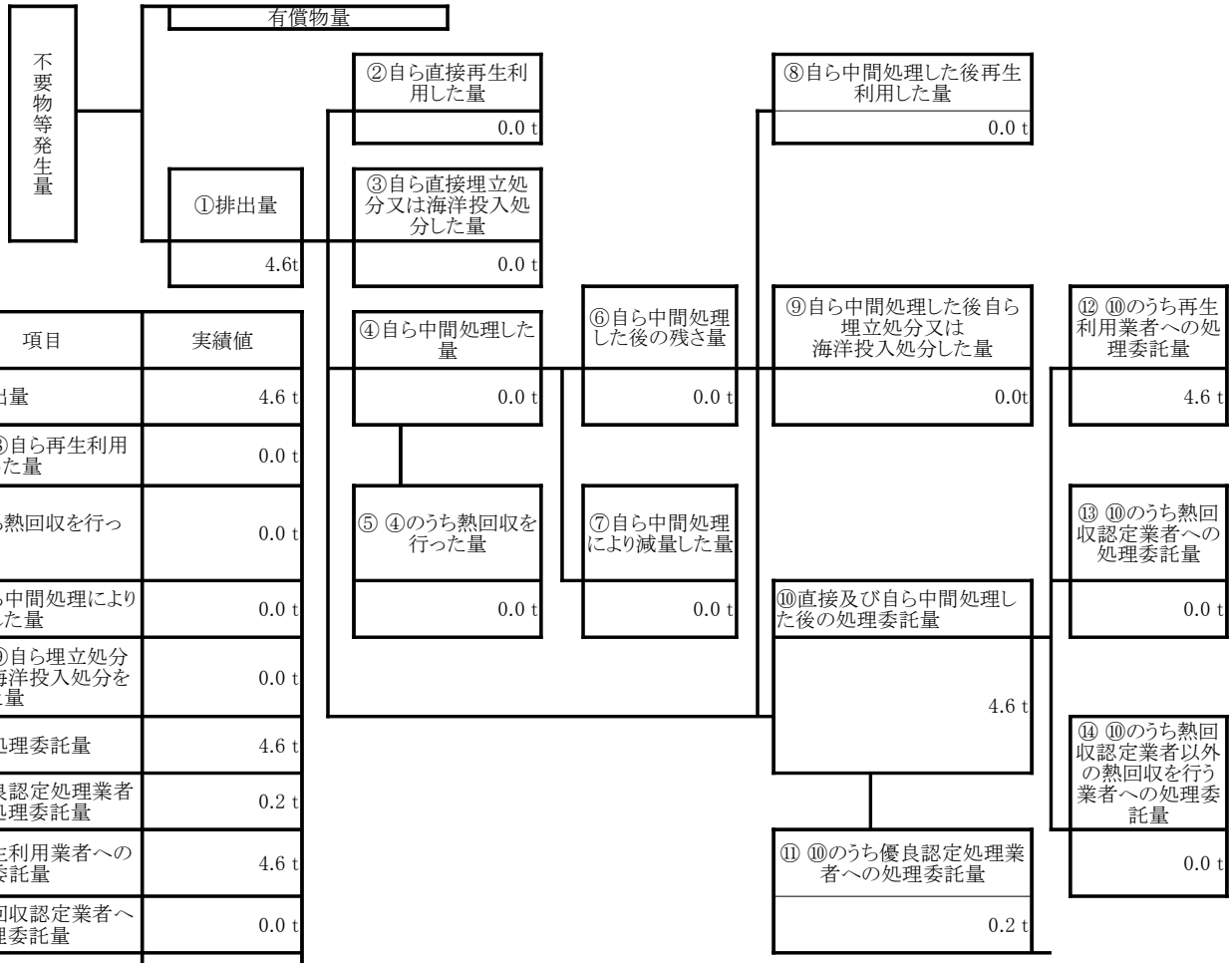


項目	実績値
①排出量	563.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	563.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	563.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



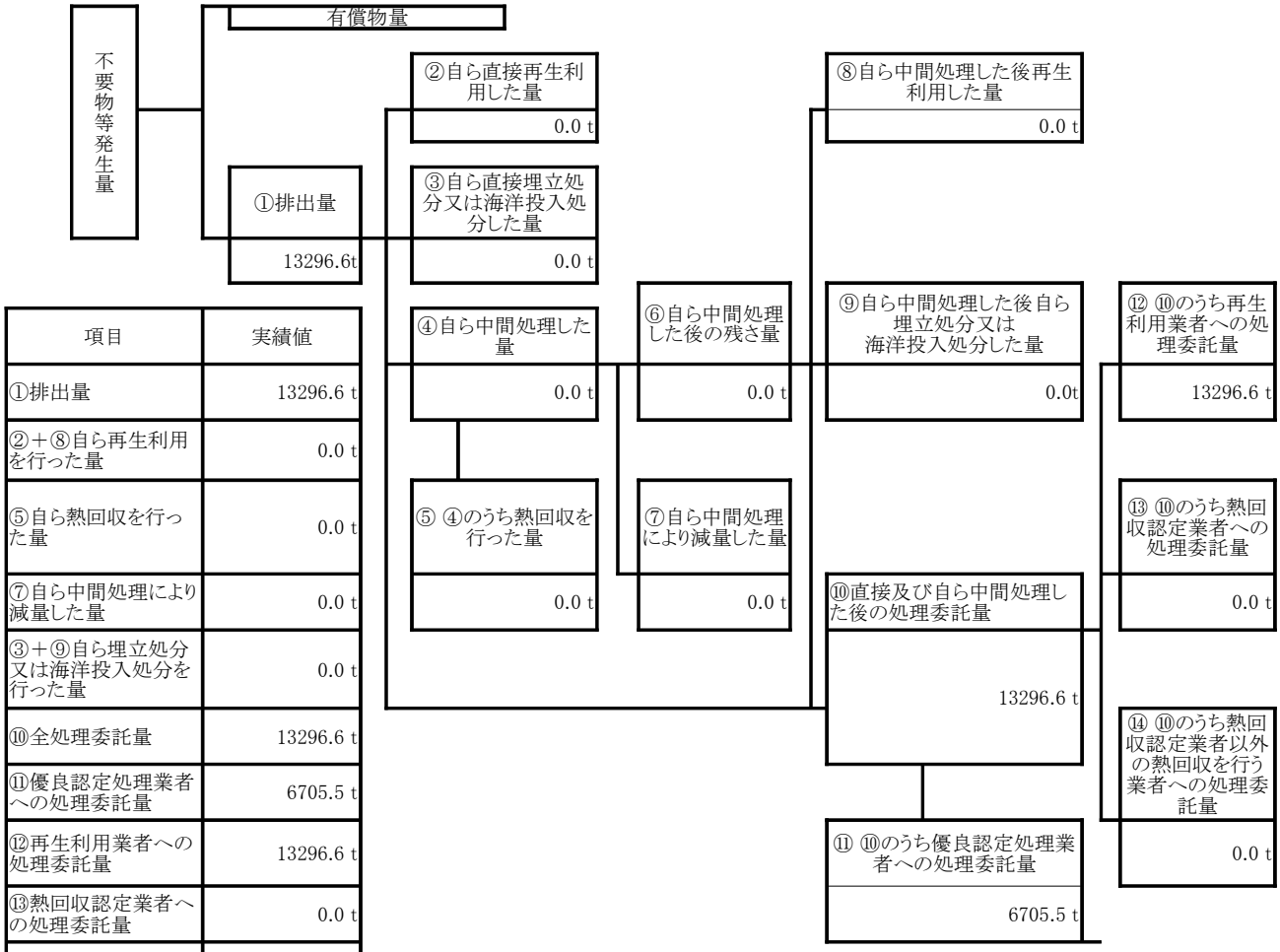
項目	実績値
①排出量	4.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

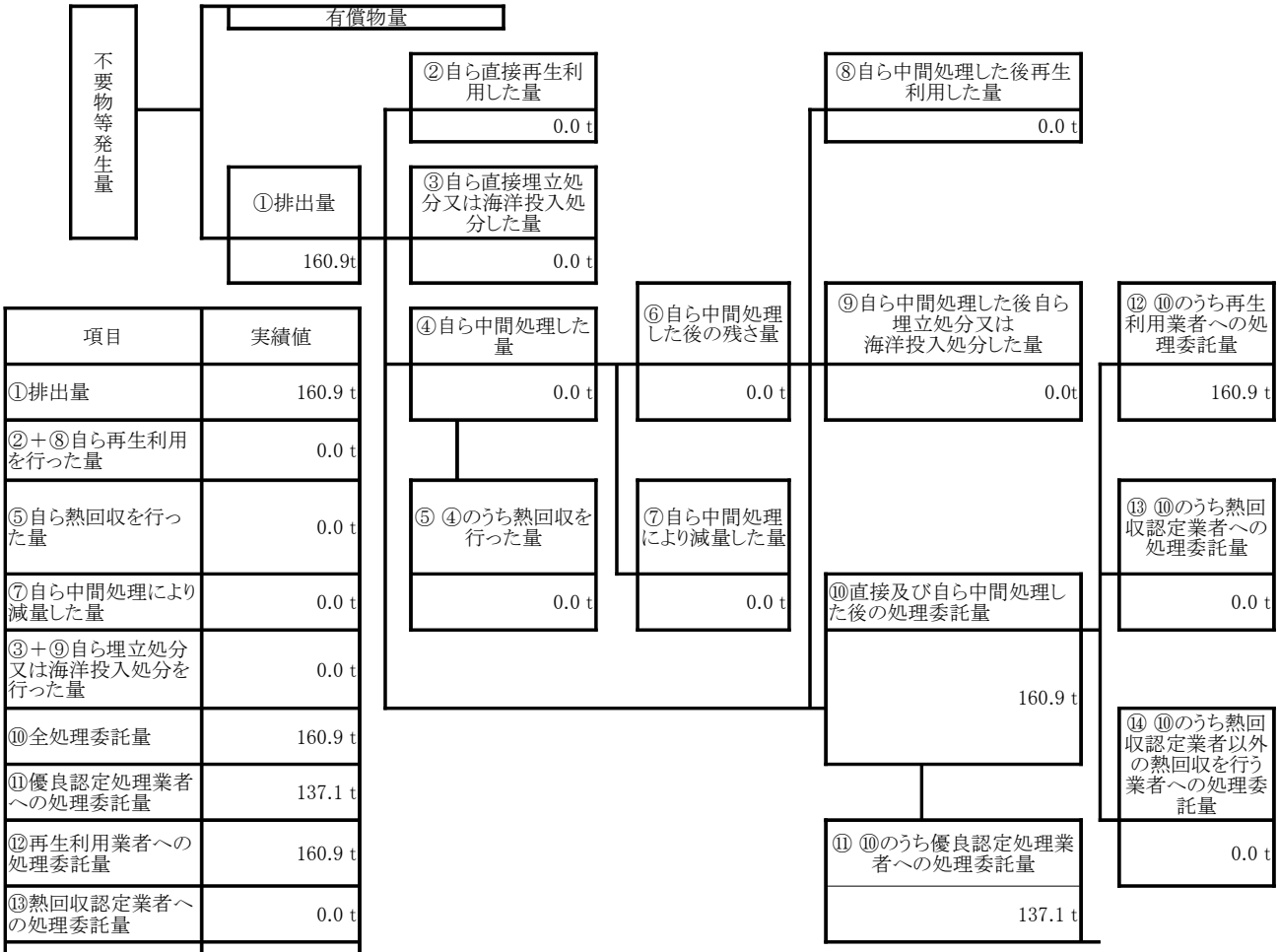


項目	実績値
①排出量	13296.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13296.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6705.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13296.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

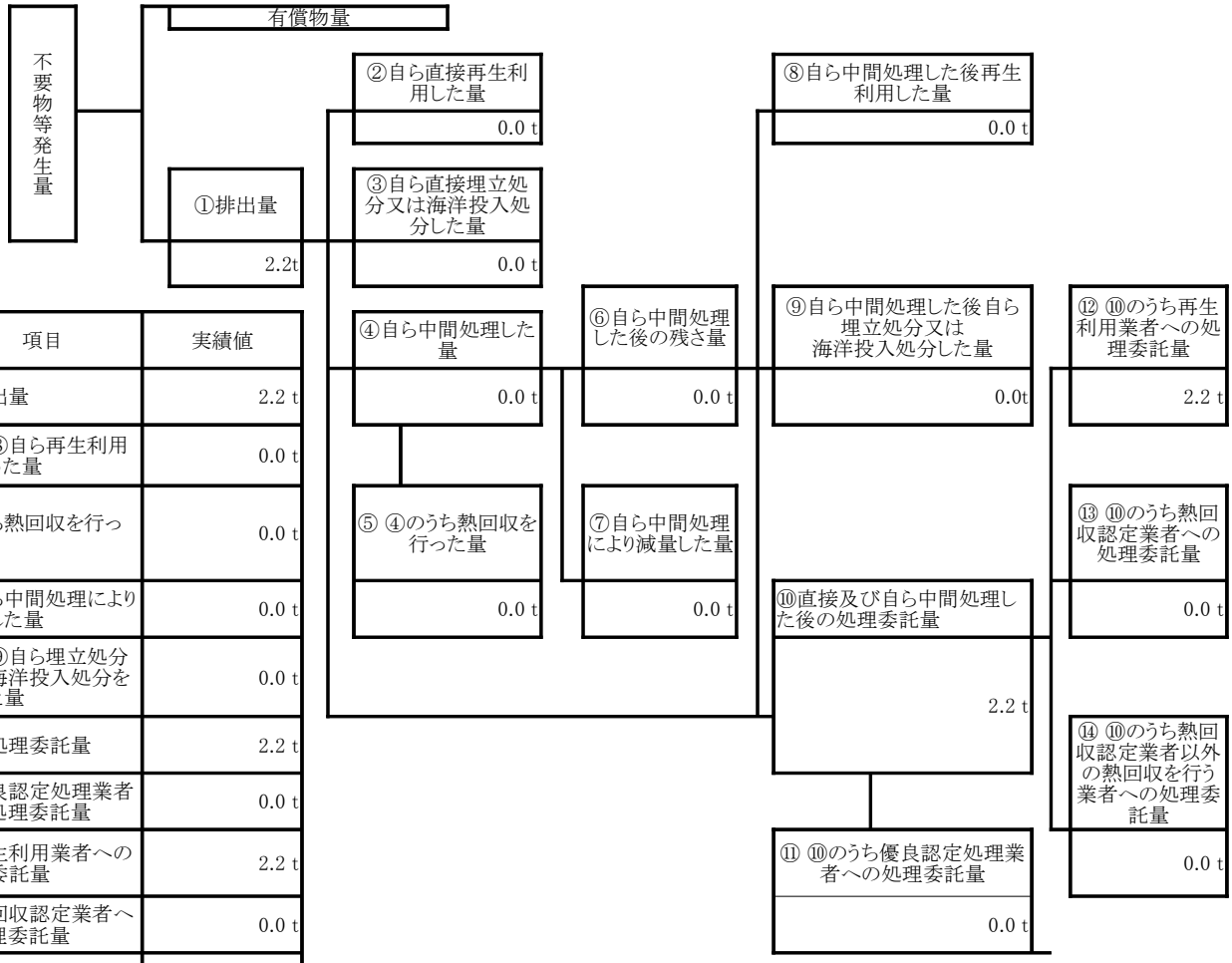


項目	実績値
①排出量	160.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	160.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	137.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	160.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

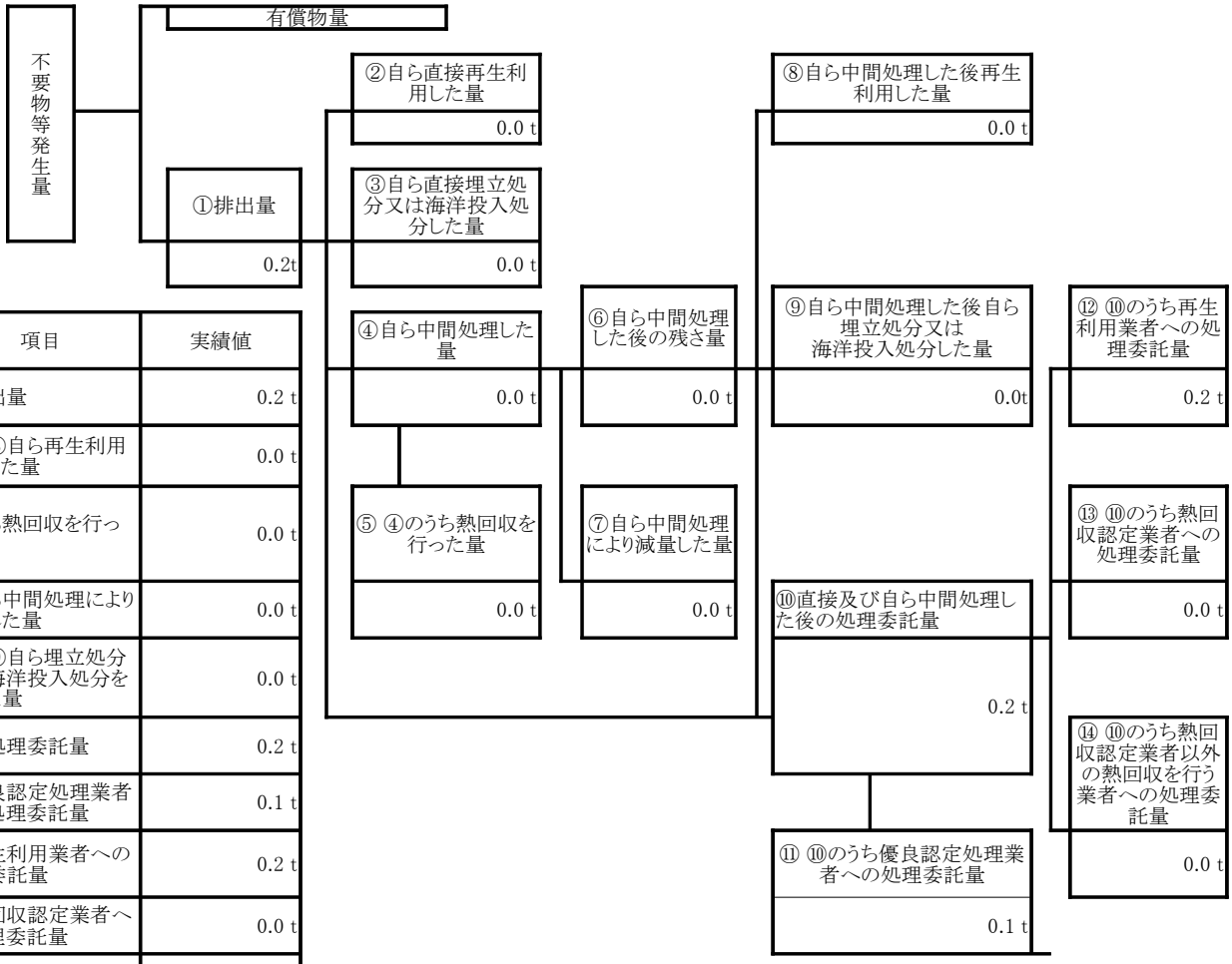


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

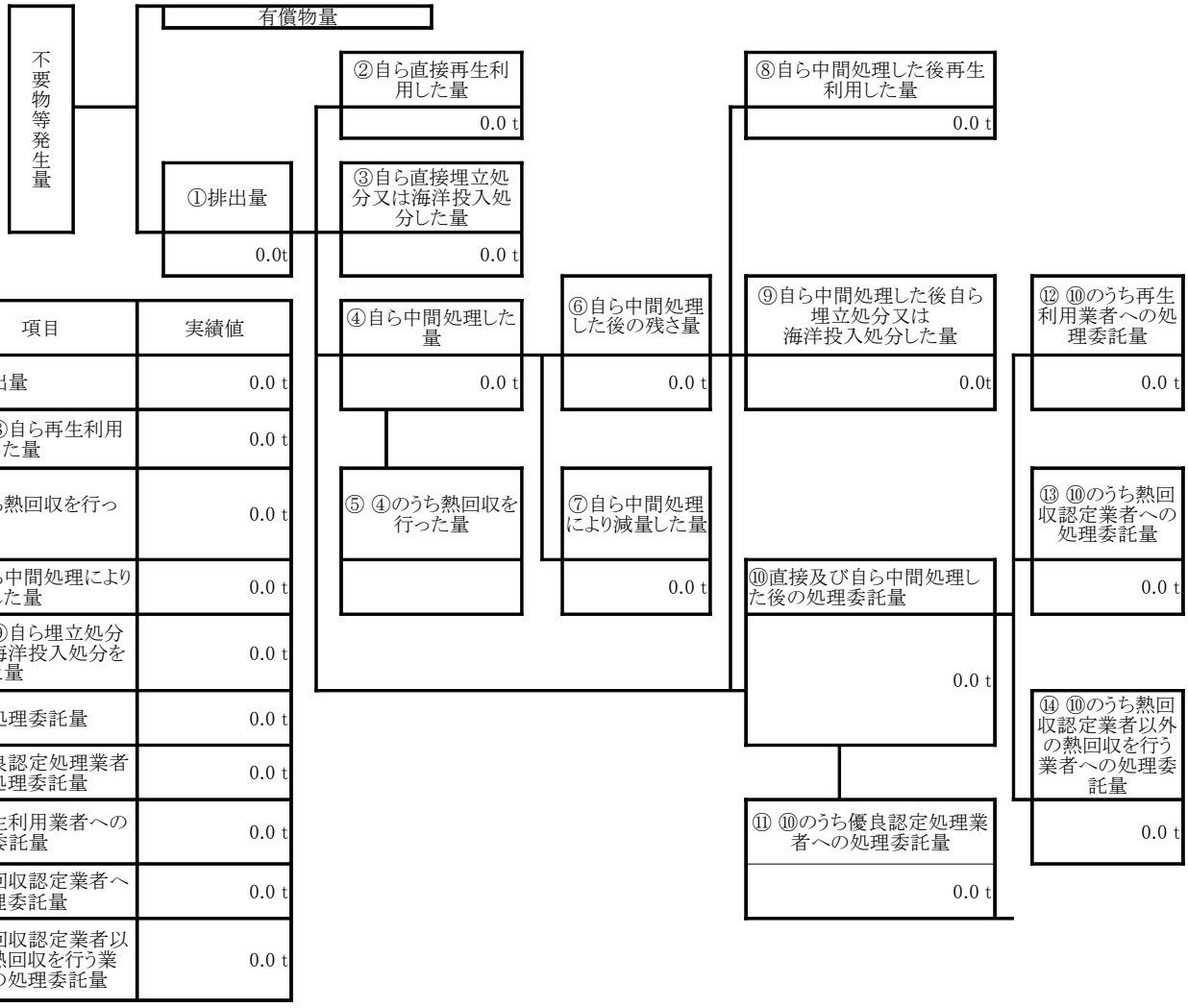


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　クリート・陶磁器くず（石綿含有産）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

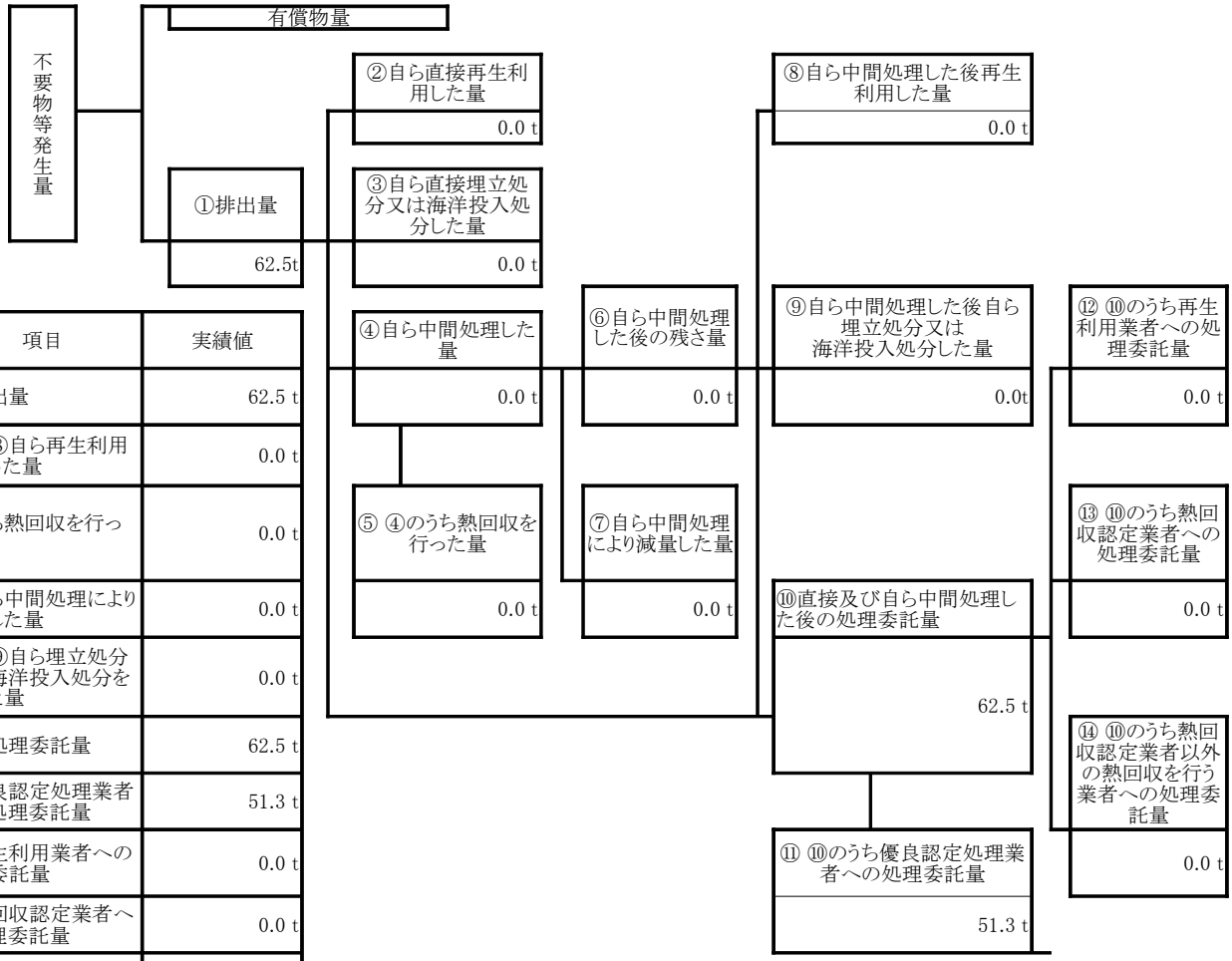


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類（石綿含有産業廃棄物）**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

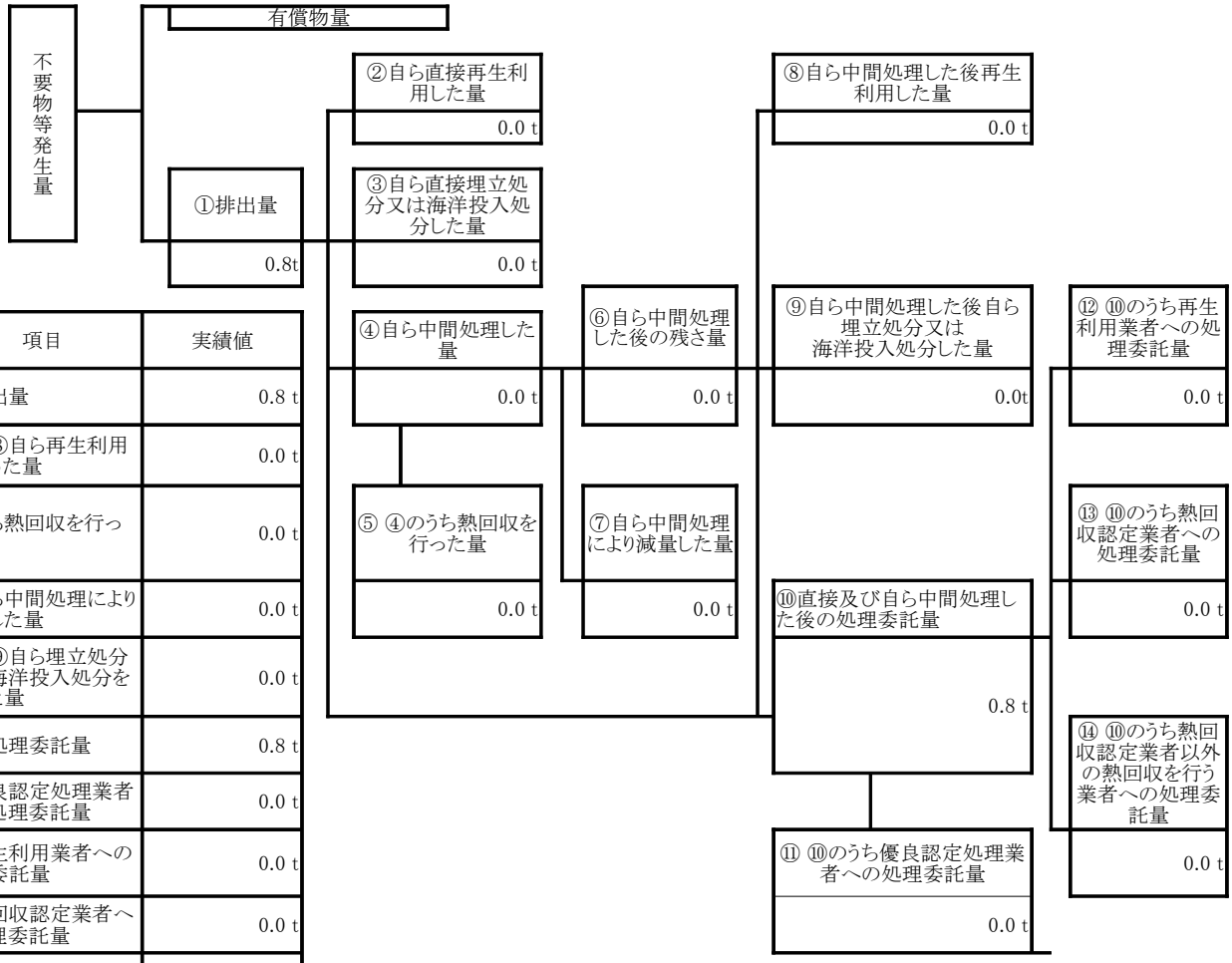


項目	実績値
①排出量	62.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　:混合廃棄物（石綿含有産業廃棄物）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

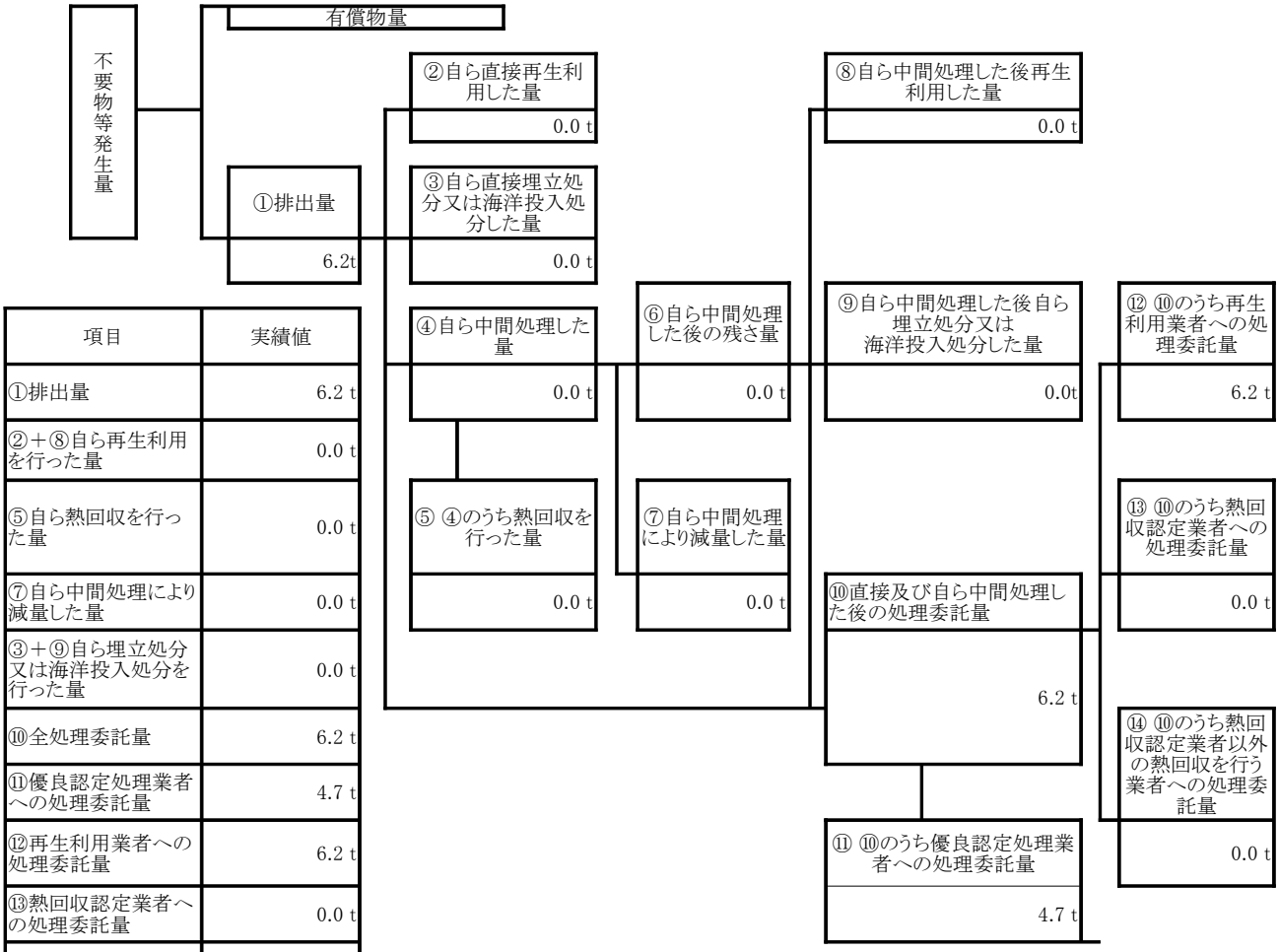


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

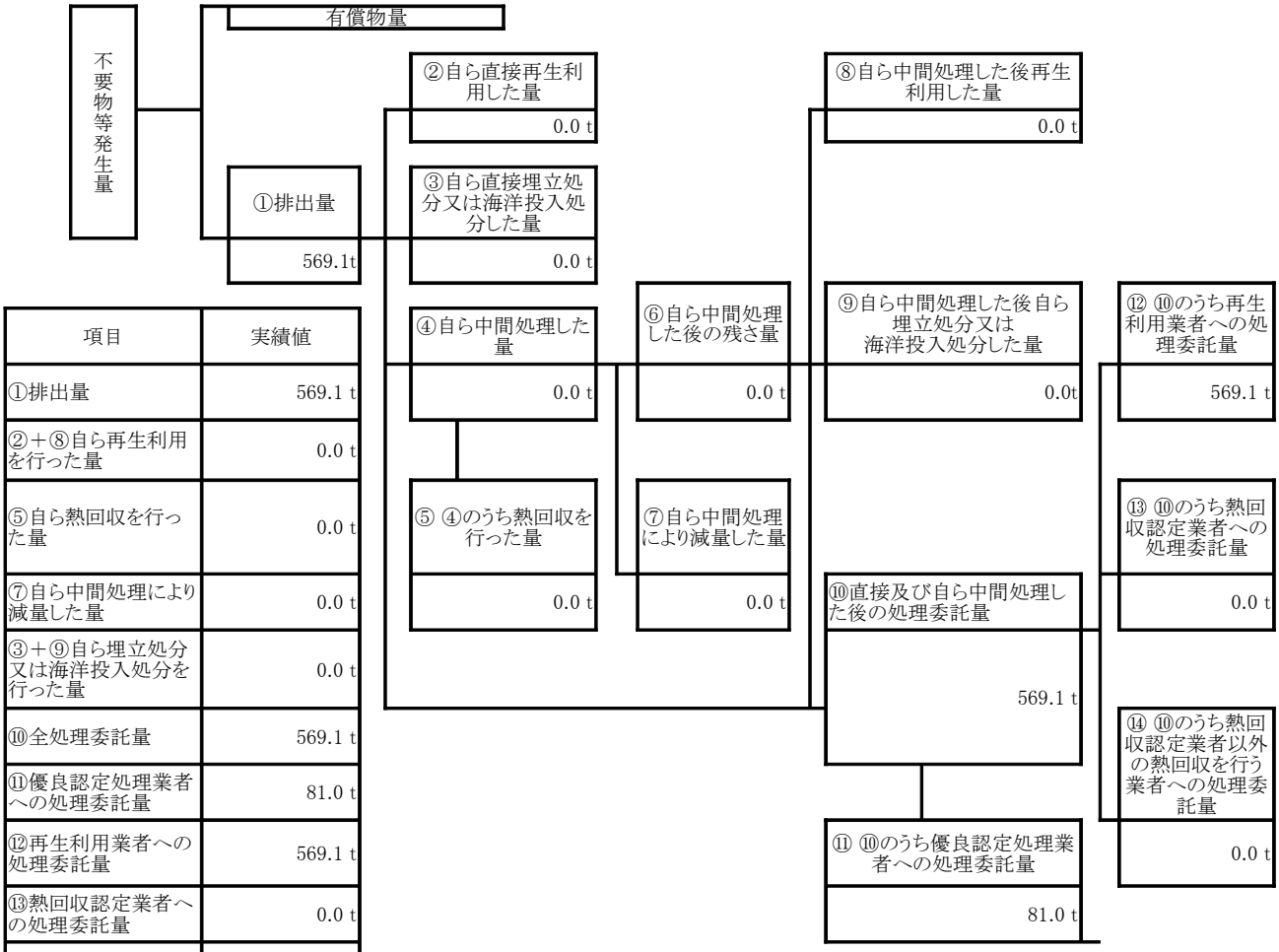


項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

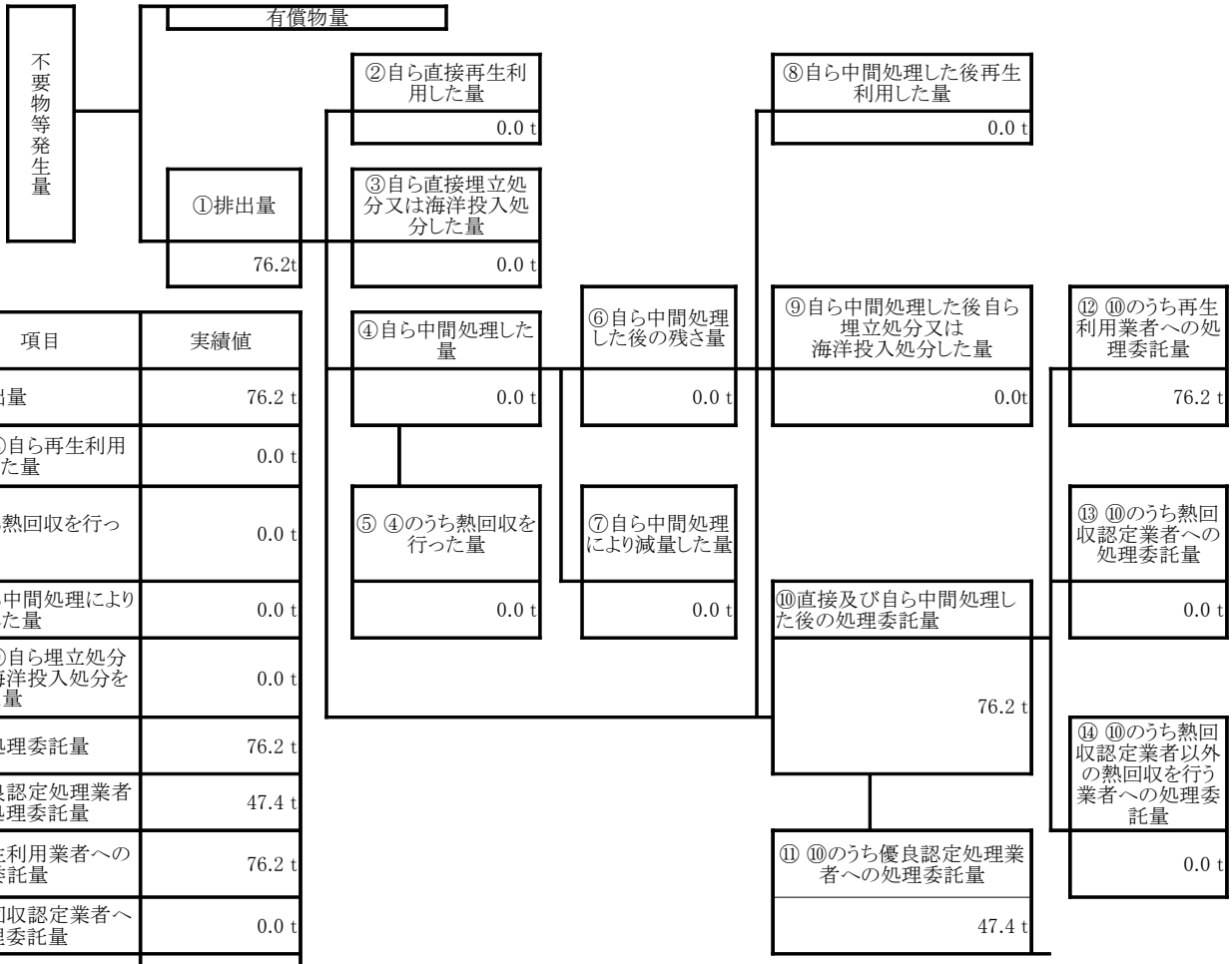


項目	実績値
①排出量	569.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	569.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	81.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	569.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

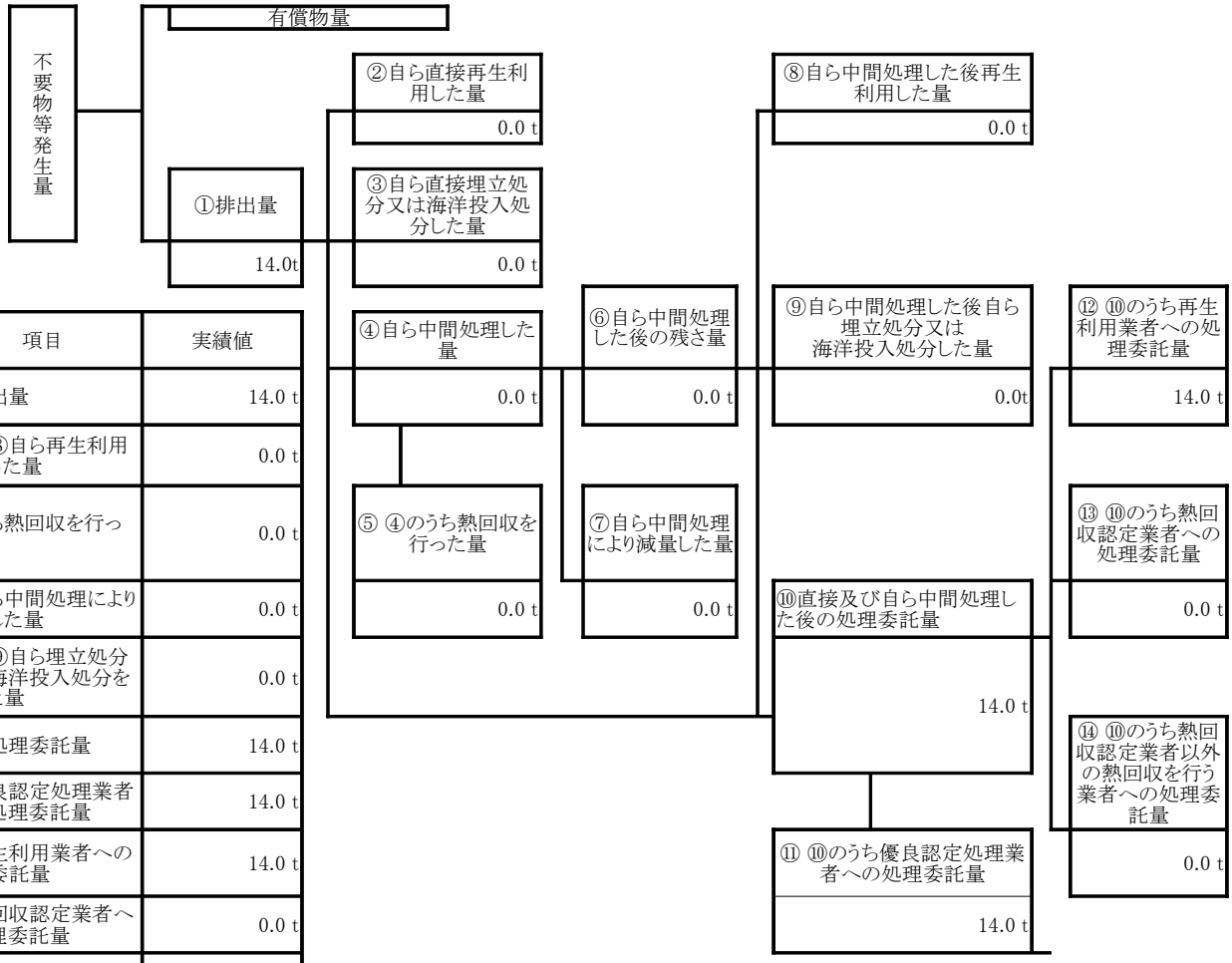


項目	実績値
①排出量	76.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	76.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	76.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	14.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-7367

住所　東京都港区東新橋1-9-1東京汐留ビルディング18階

法人名　ピーエス・コンストラクション株式会社 東京建築支店

代表者 平田 聖二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6385-8100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ピーエス・コンストラクション株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都港区東新橋1－9－1　東京汐留ビルディング18階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

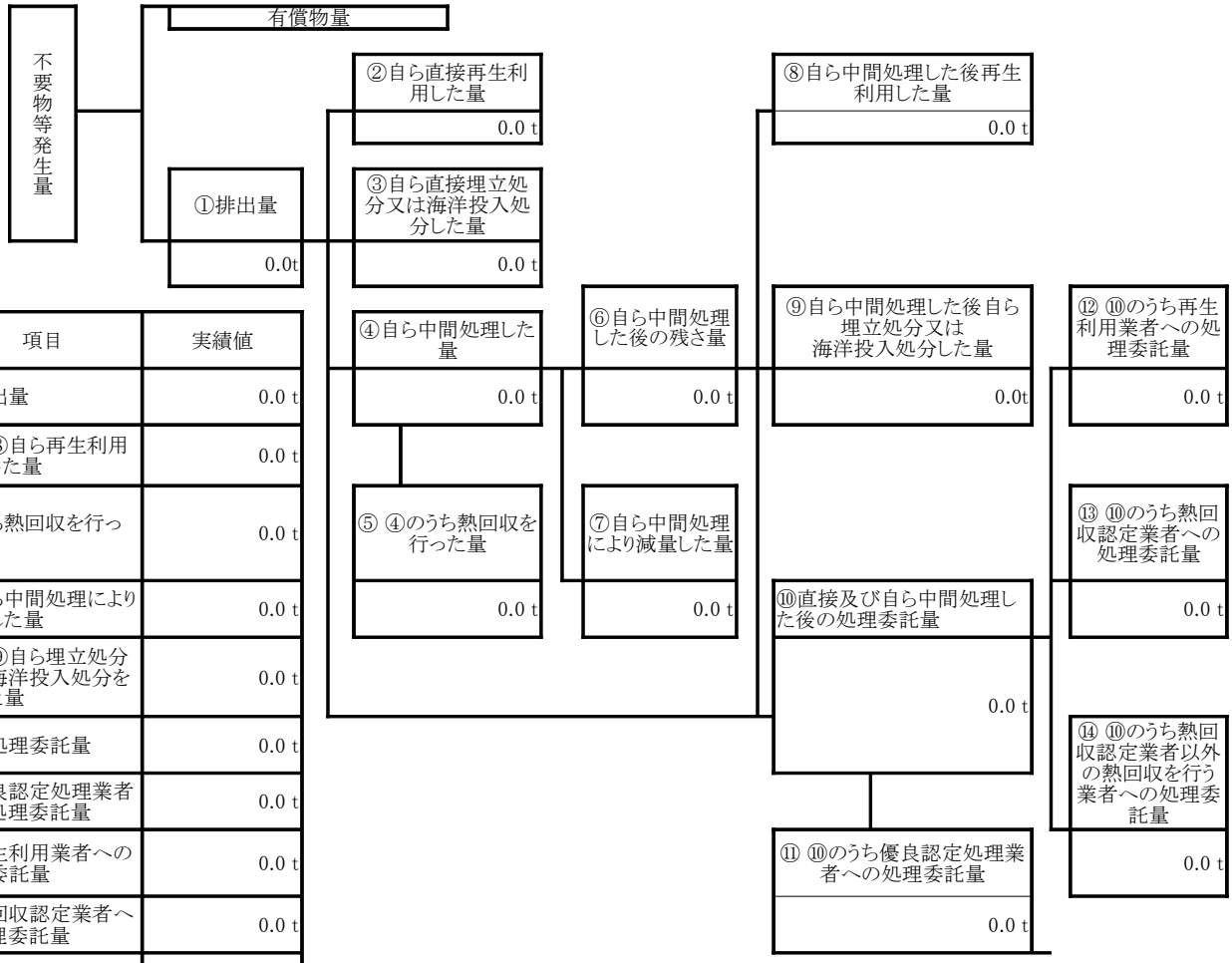
項目	目標値	項目	目標値
排出量	995 t	全処理委託量	995 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	795 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	950 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設汚泥**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

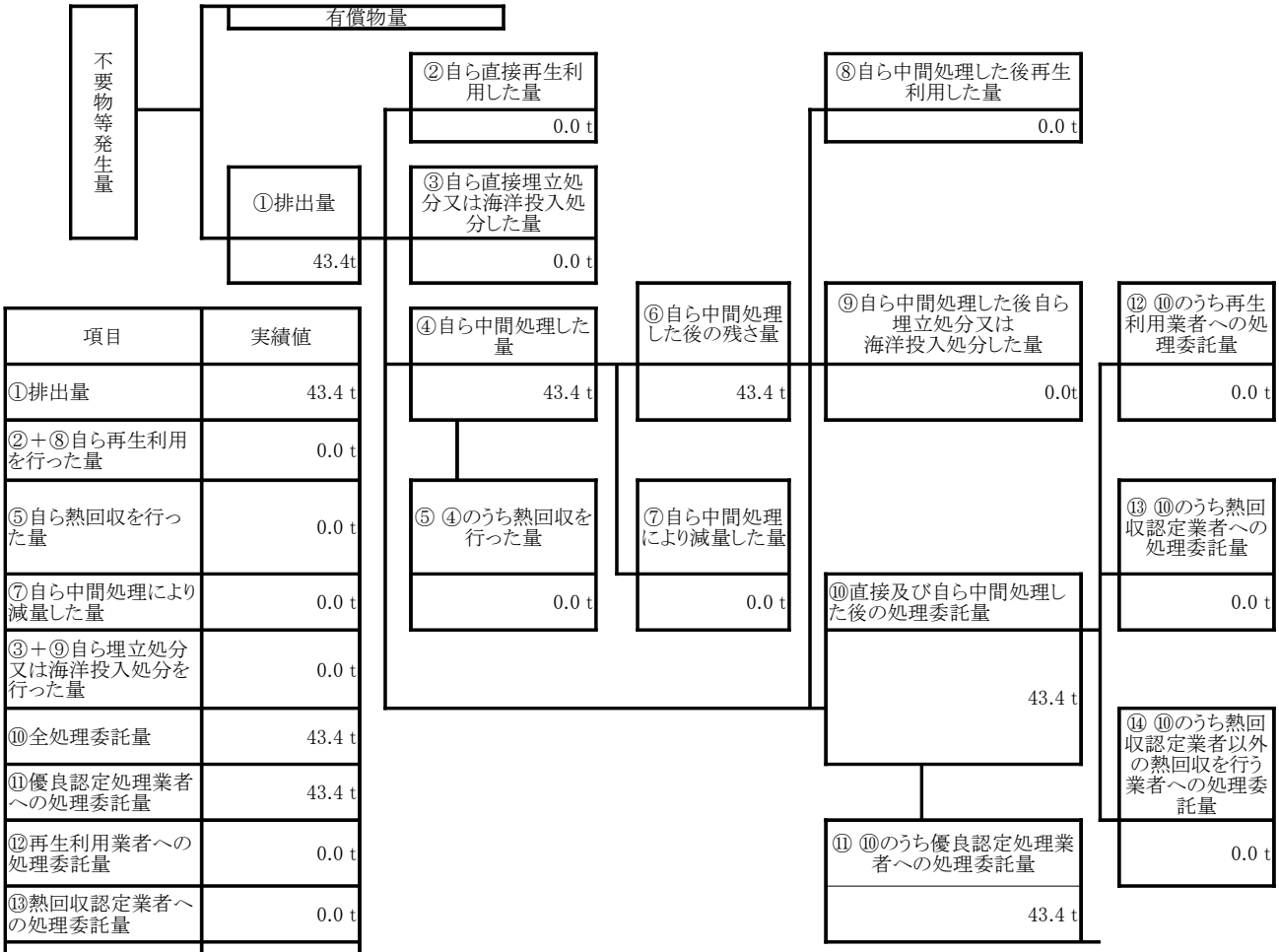


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

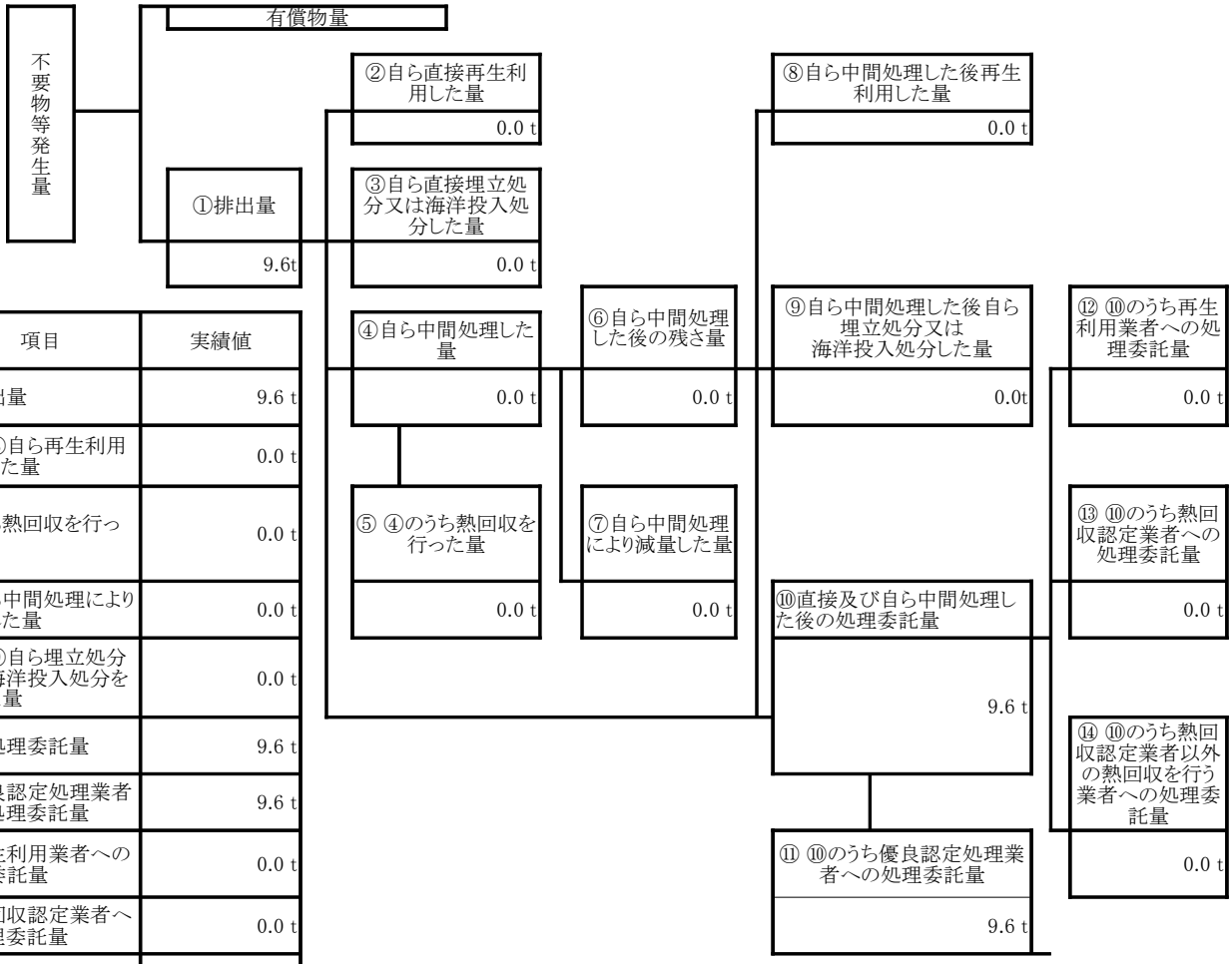


項目	実績値
①排出量	43.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	43.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

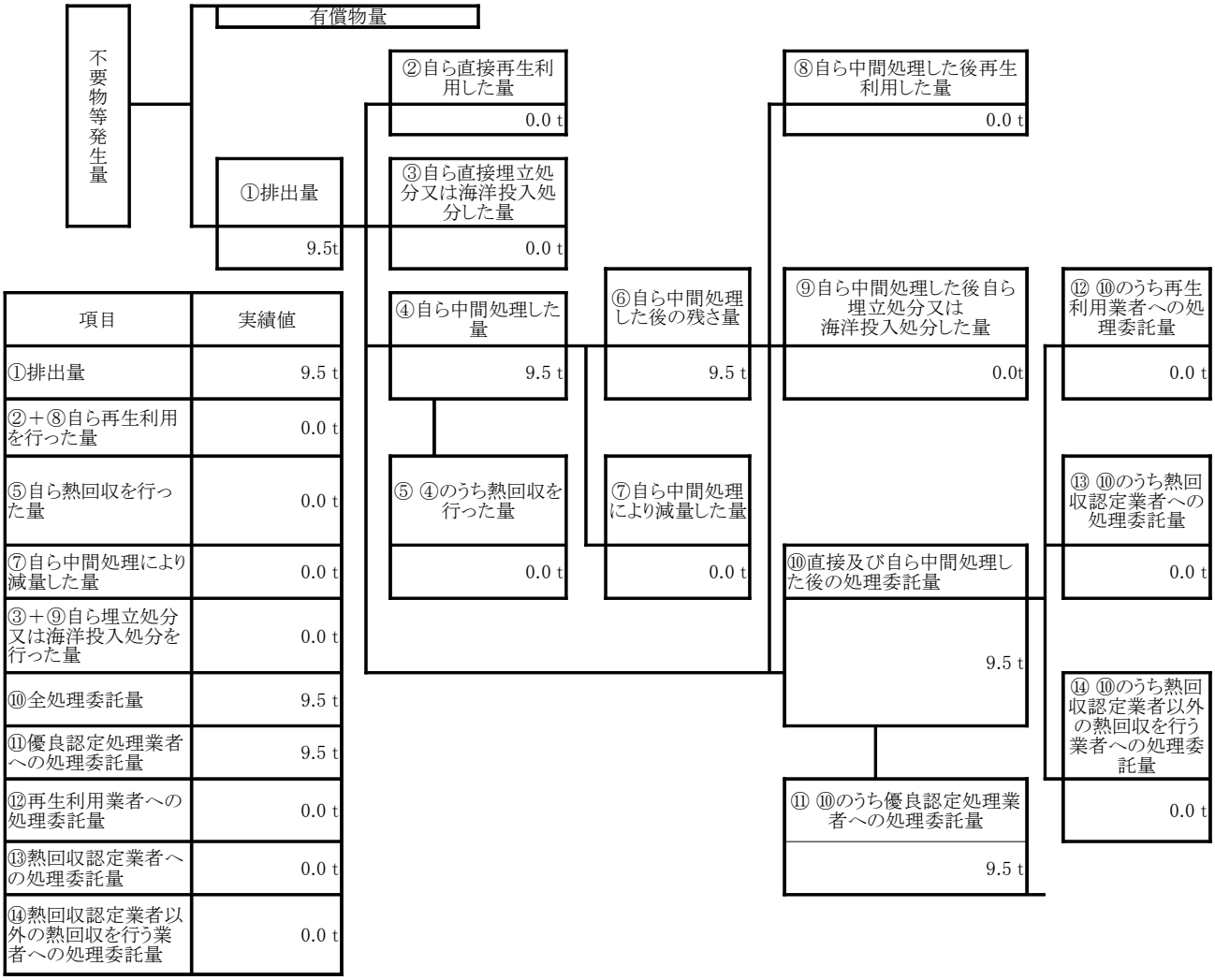


項目	実績値
①排出量	9.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス陶磁器くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



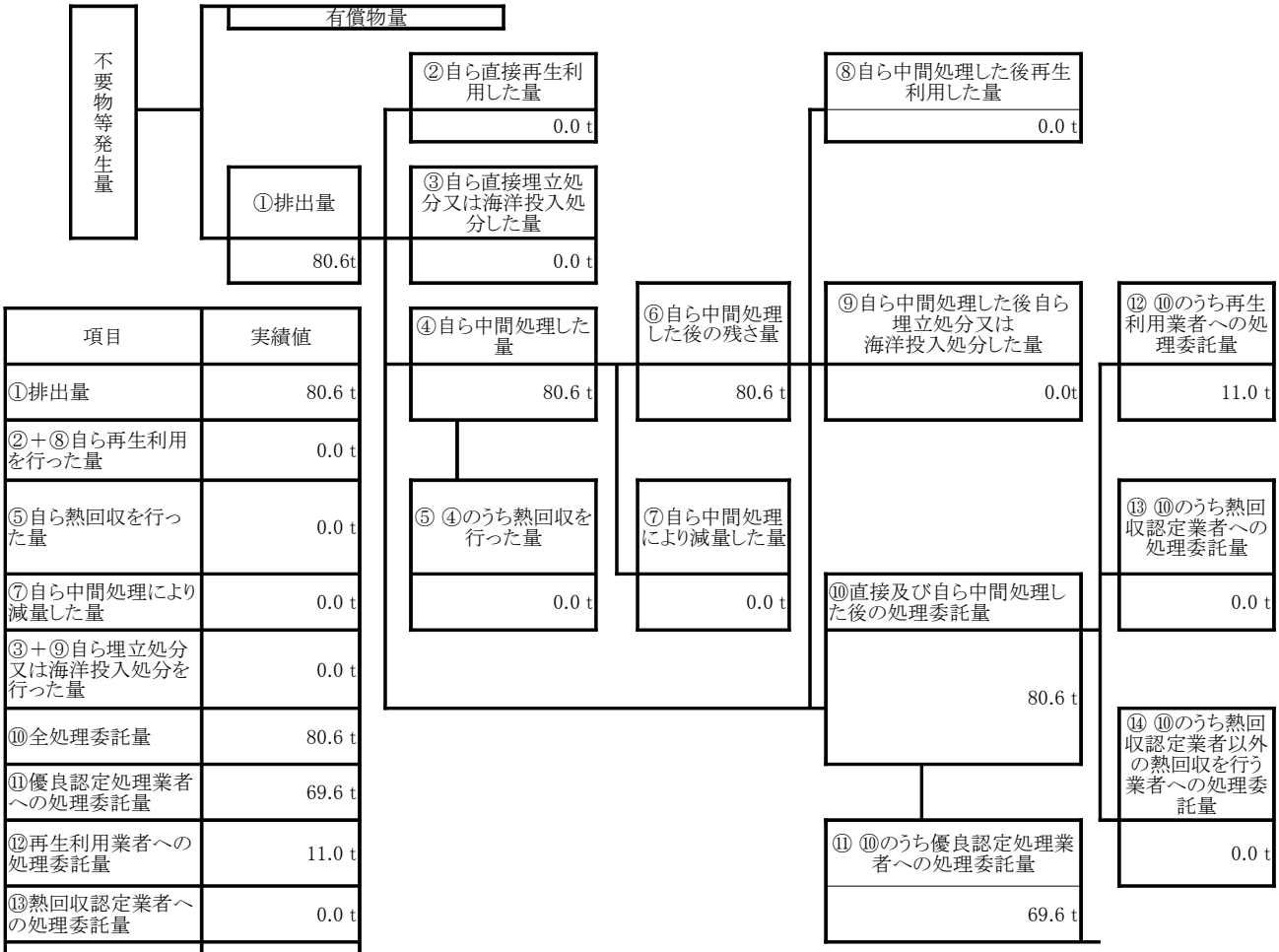
項目	実績値
①排出量	9.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

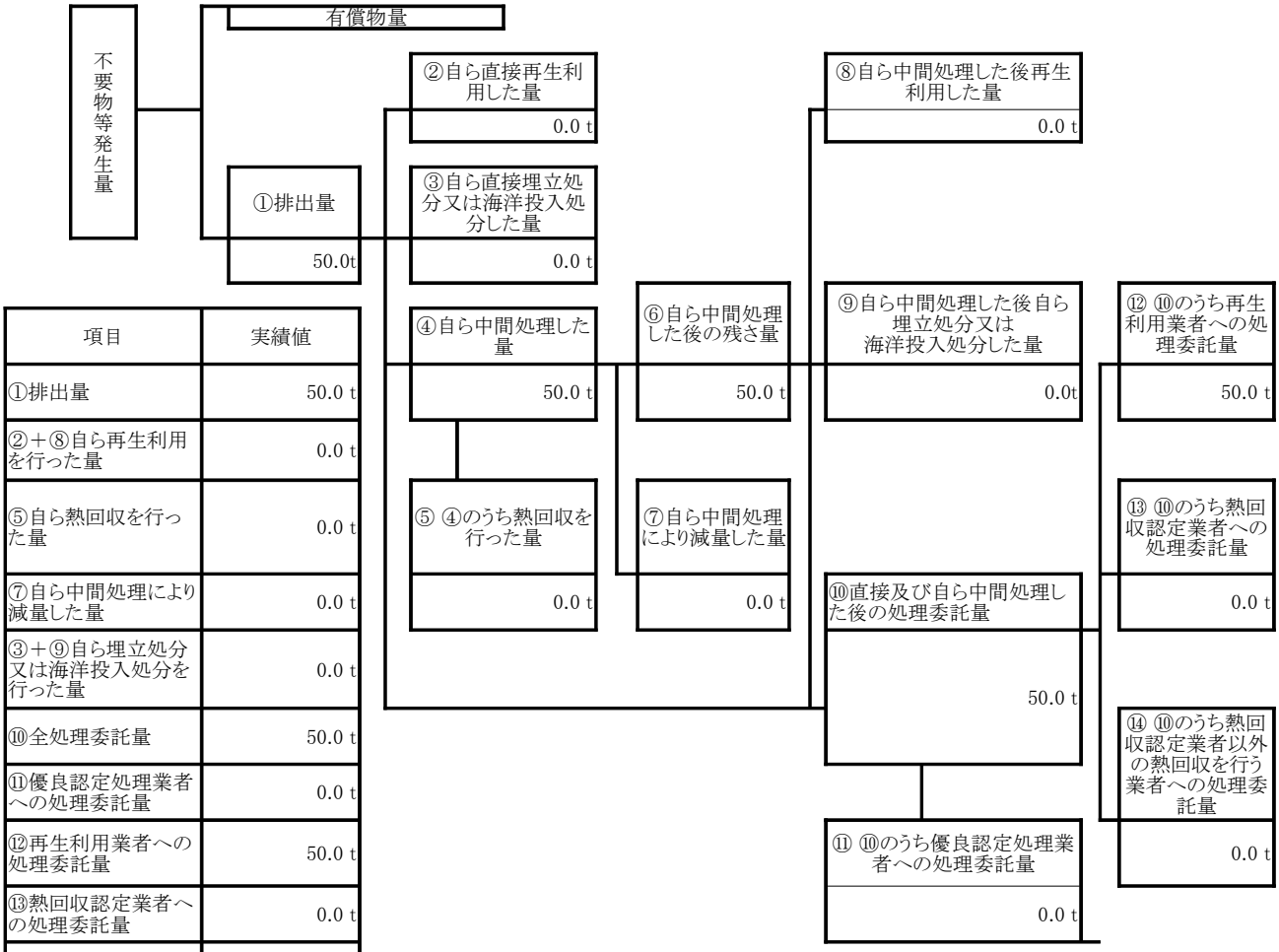


項目	実績値
①排出量	80.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	80.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	69.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃アスファルト　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

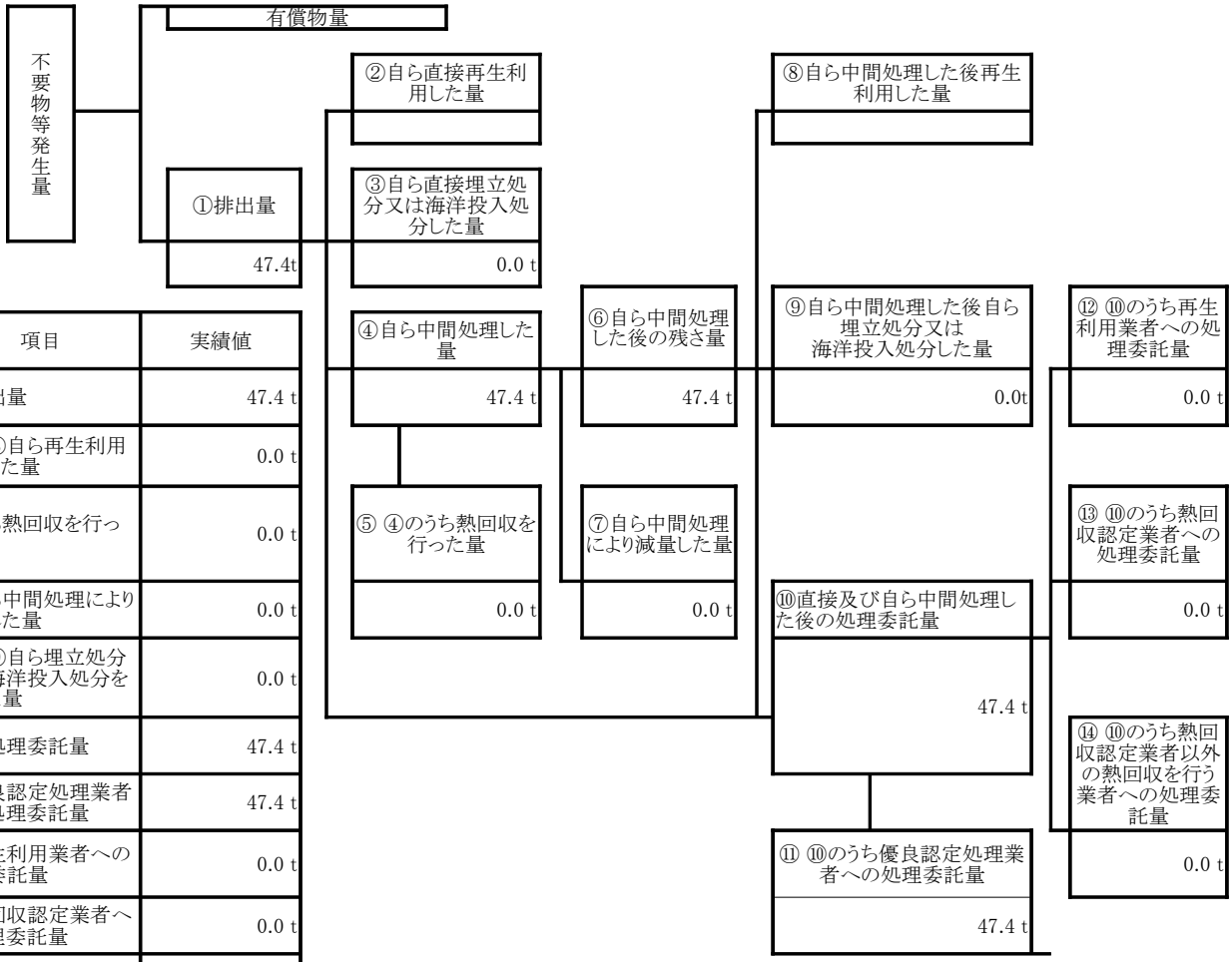


項目	実績値
①排出量	50.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	50.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

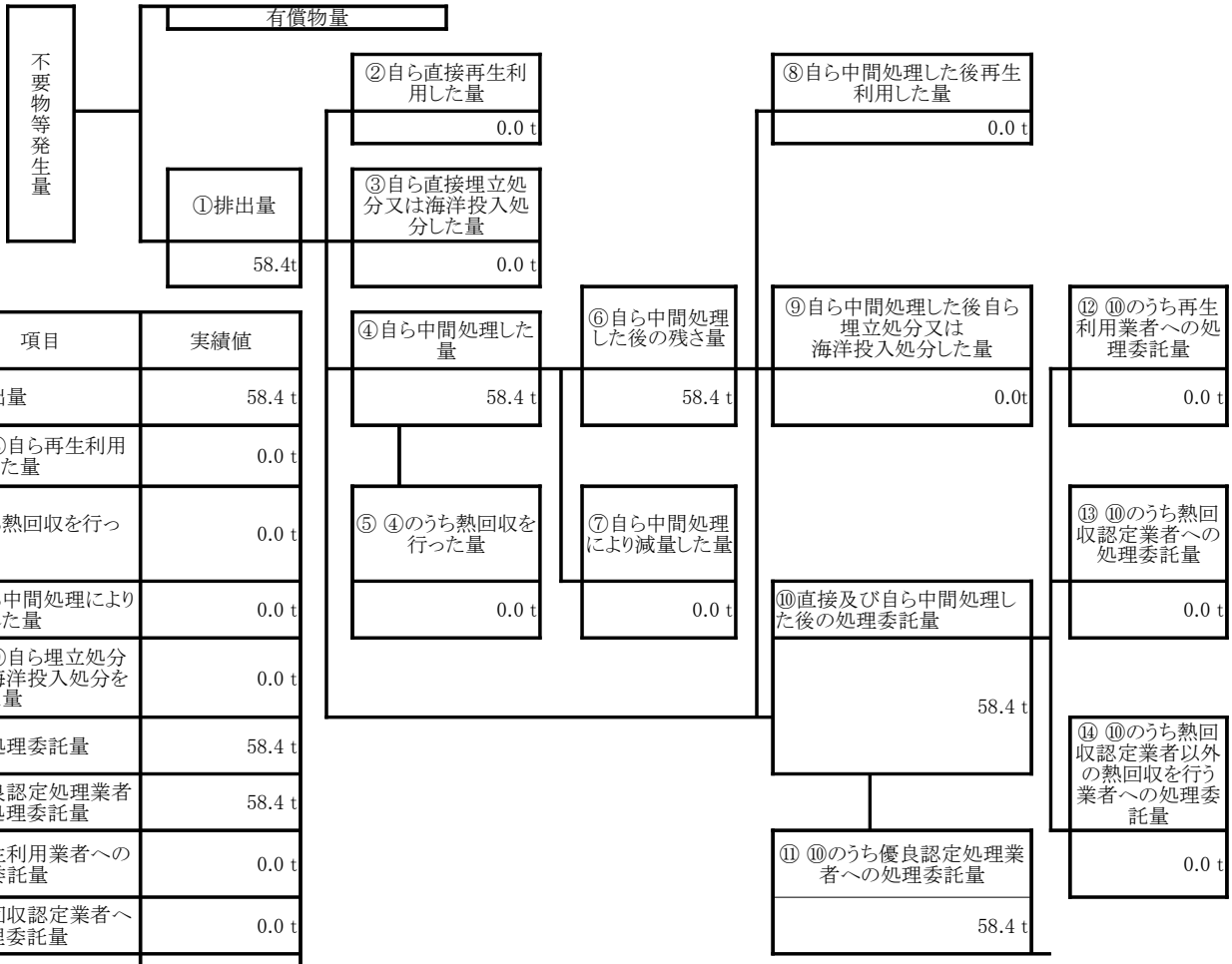


項目	実績値
①排出量	47.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	47.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

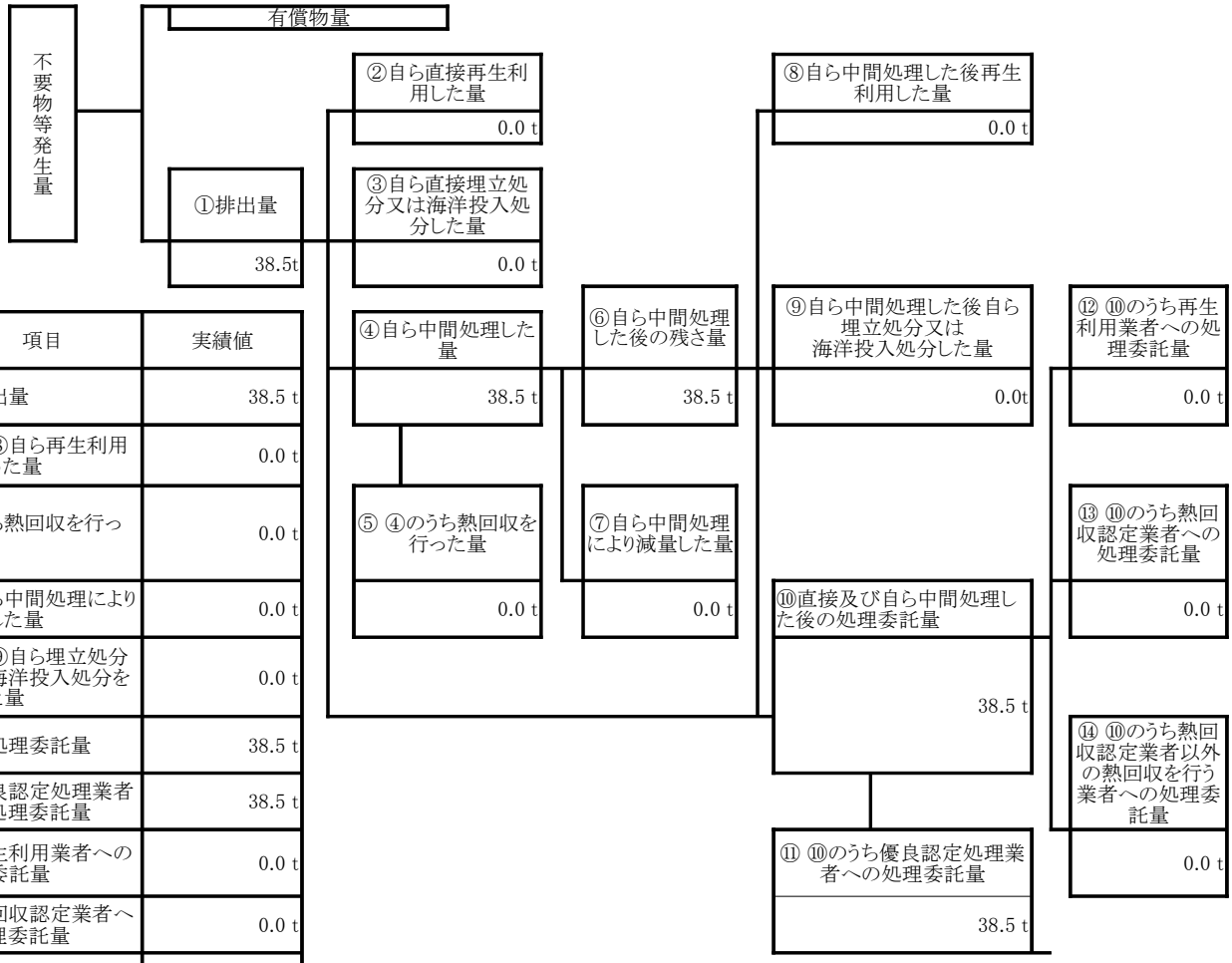


項目	実績値
①排出量	58.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

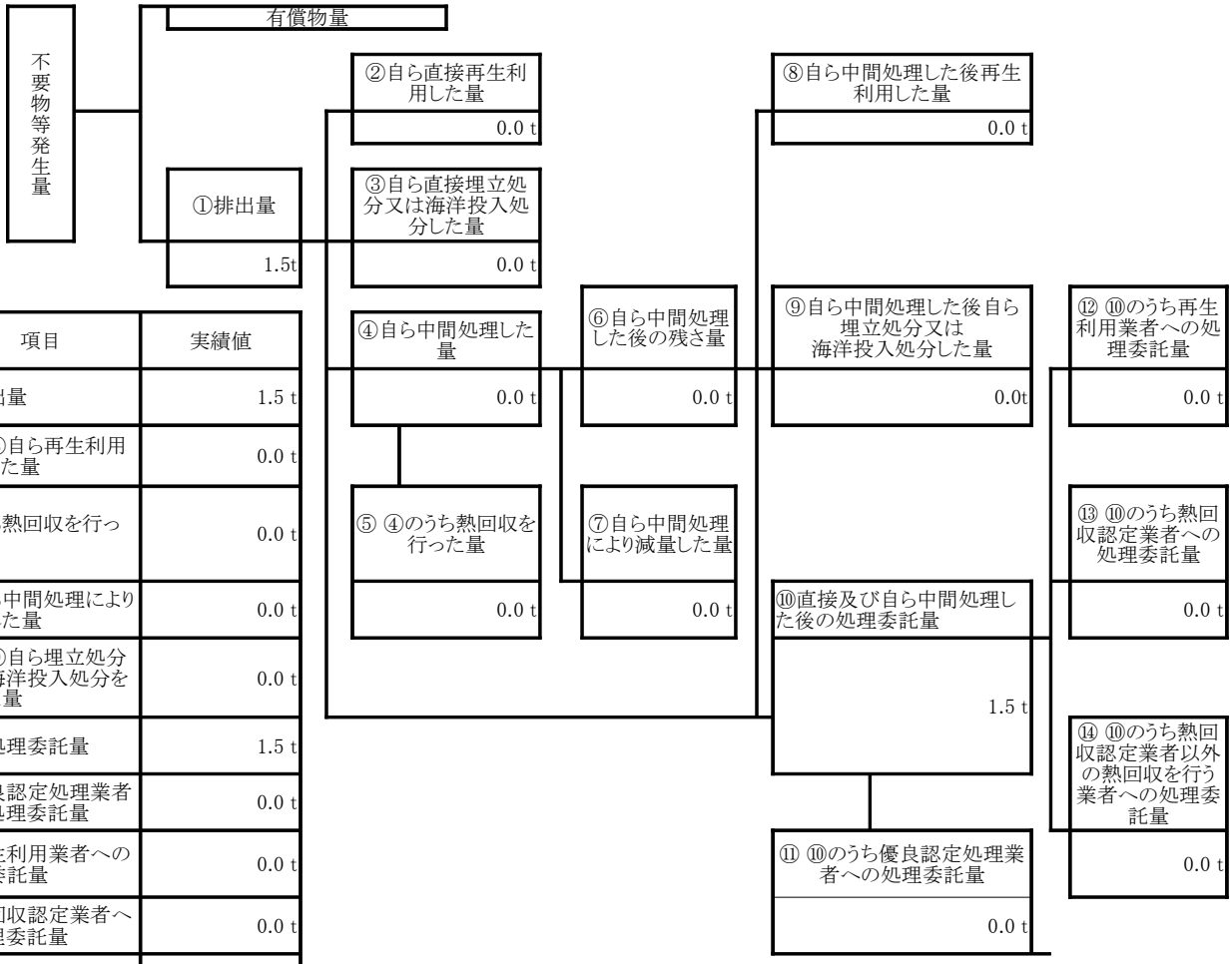


項目	実績値
①排出量	38.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	38.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	38.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

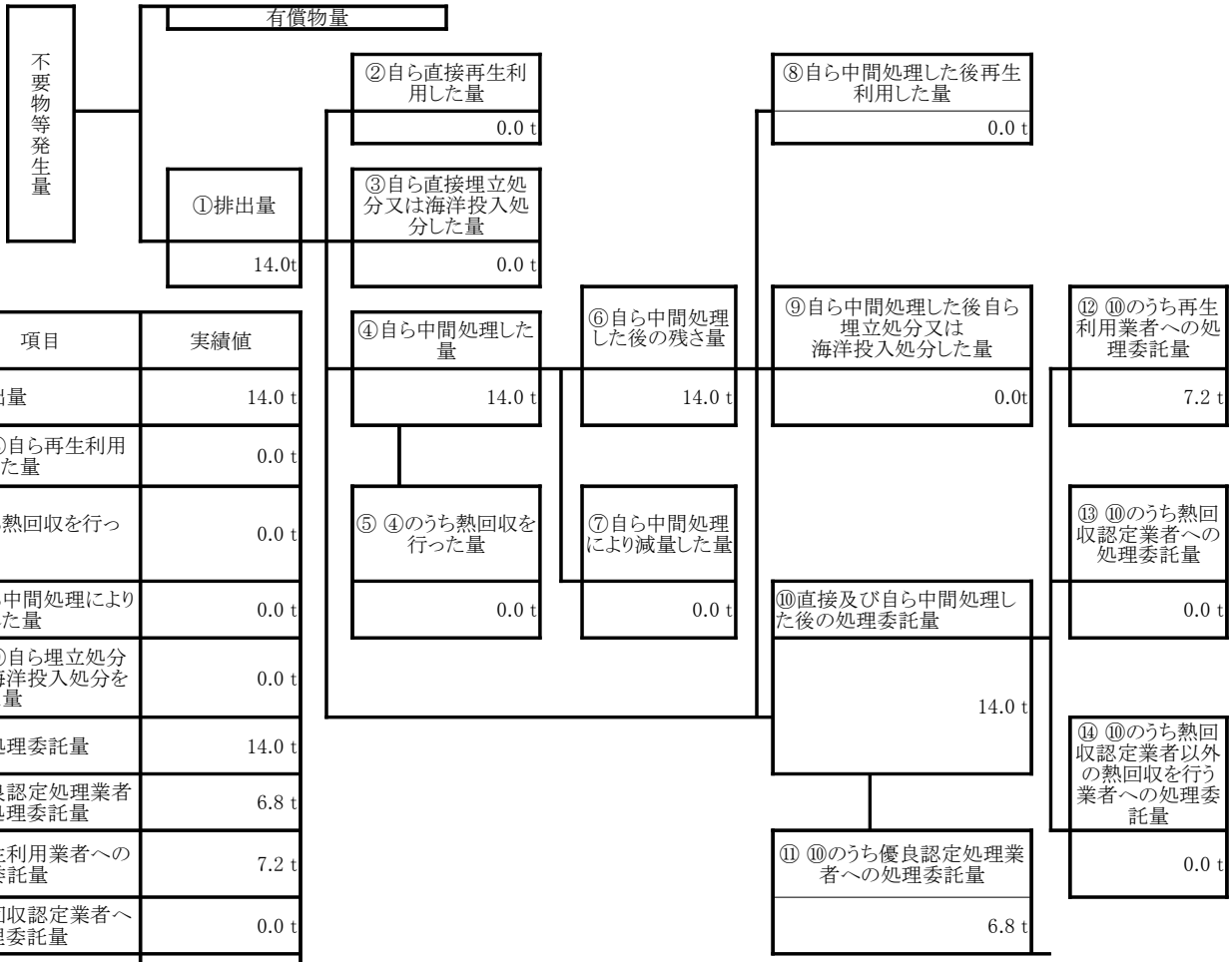


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

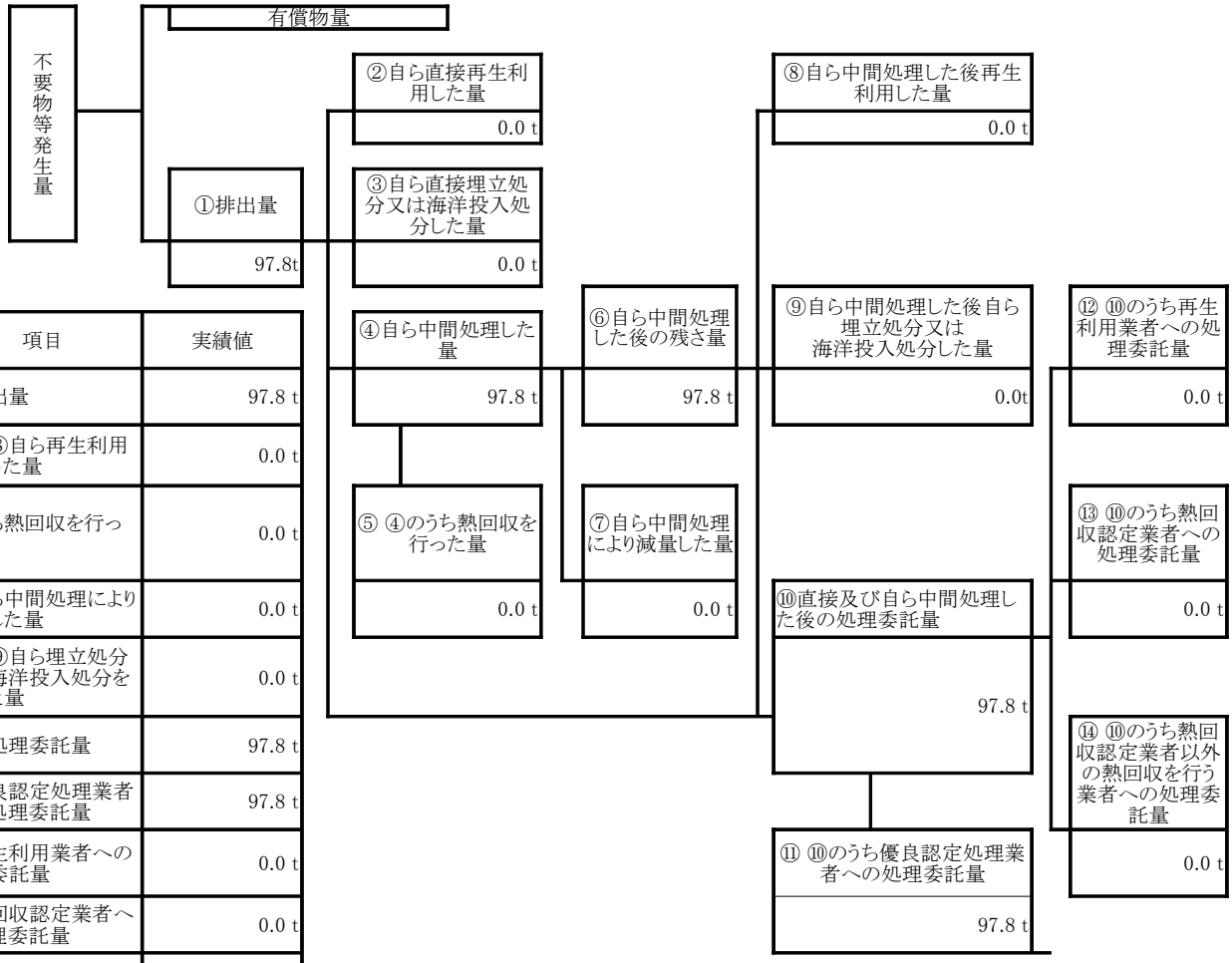


項目	実績値
①排出量	14.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

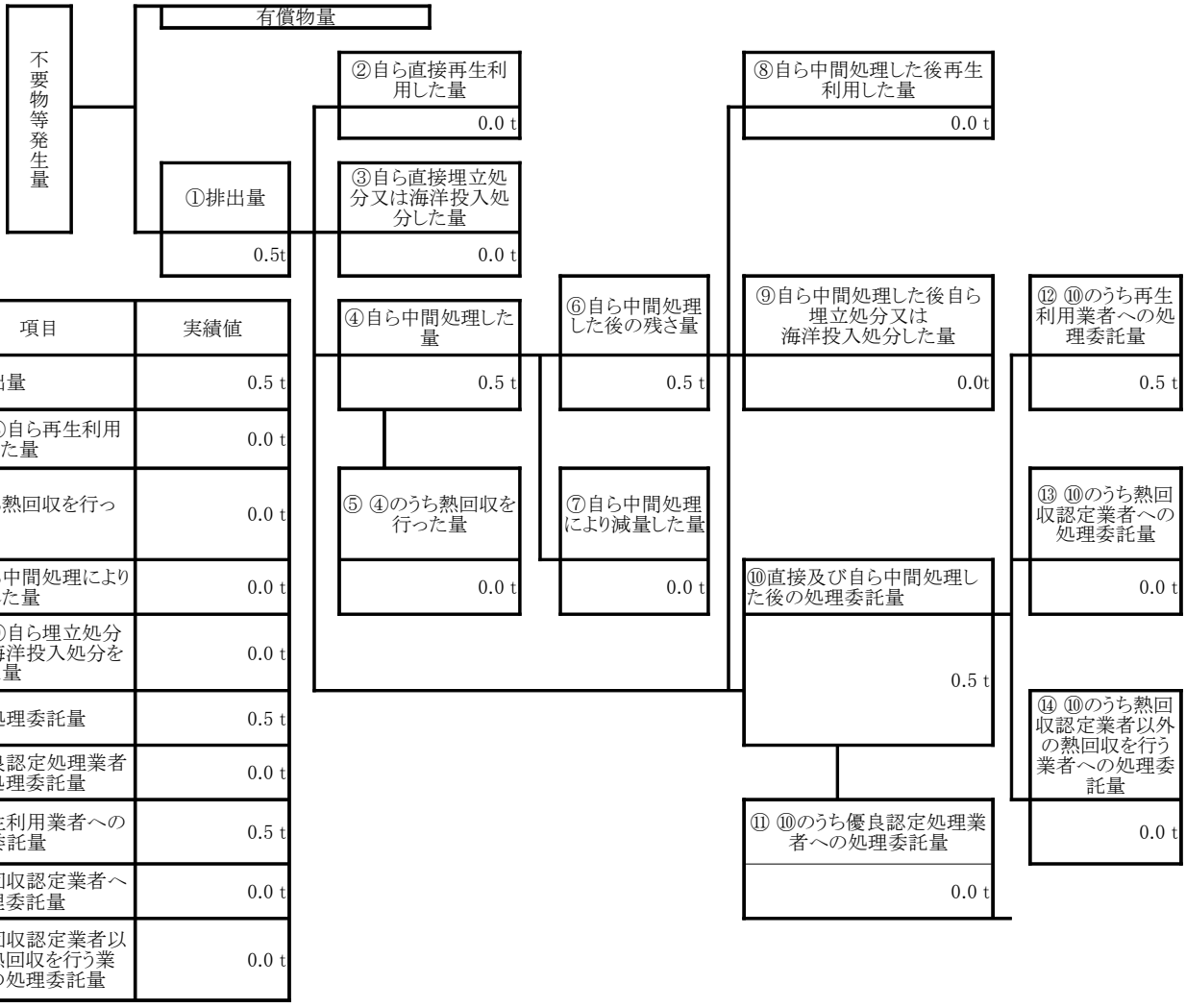


項目	実績値
①排出量	97.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	97.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	97.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月10日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区丸の内1-8-3　丸の内トラストタワー本館23階

氏 名　㈱ヒノキヤグループ　レスコ土地活用カンパニー

COO 日置　文彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　050-1799-0010

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	㈱ヒノキヤグループ　レスコ土地活用カンパニー　工事部
事業場の所在地	東京都江戸川区篠崎町7-21-8　第二江戸鉄ビル201号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	100億円（元請完成工事高）
③従業員数	161人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
廃棄物分別の徹底
余剰部材の再利用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
プレカット材の採用による廃棄物排出の抑制を継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
木材・紙・金属・段ボール・石膏ボード・その他をコンテナまたは分別用袋にて分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
混合廃棄物の分別細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
委託業者の選定</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現状の取り組みを引き続き進めていく</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

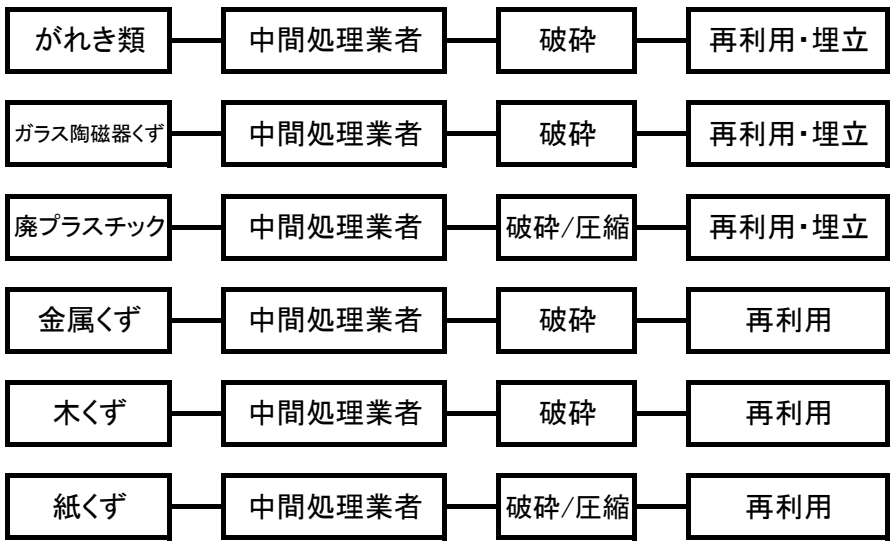
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

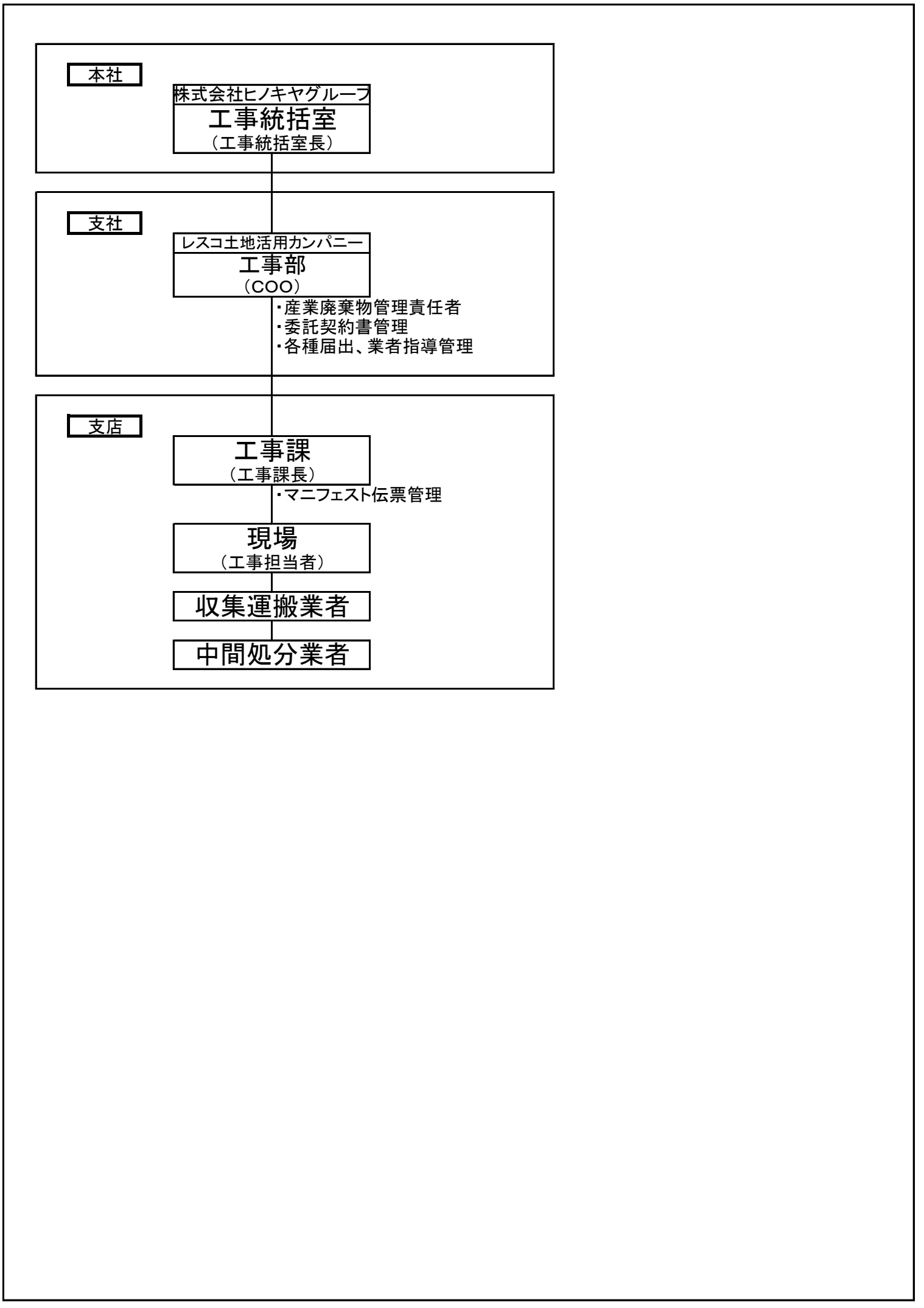
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図


がれき類
中間処理業者
破砕
再利用・埋立
ガラス陶磁器くず
中間処理業者
破砕
再利用・埋立
廃プラスチック
中間処理業者
破砕/圧縮
再利用・埋立
金属くず
中間処理業者
破砕
再利用
木くず
中間処理業者
破砕
再利用
紙くず
中間処理業者
破砕/圧縮
再利用

別添２ 管理体制図


本社
株式会社ヒノキヤグループ
工事統括室
（工事統括室長）
支社
レスコ土地活用カンパニー
工事部
（COO）
・産業廃棄物管理責任者
・委託契約書管理
・各種届出、業者指導管理
支店
工事課
（工事課長）
・マニフェスト伝票管理
現場
（工事担当者）
収集運搬業者
中間処分業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排　出　量	133.10 t	60.04 t	296.14 t	0.30 t	34.62 t	34.00 t	22.80 t	2,283.66 t	116.00 t	161.70 t	2.08 t	54.99 t	2.96 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排　出　量	119.79 t	54.04 t	266.53 t	0.27 t	31.16 t	30.60 t	20.52 t	2,055.29 t	104.40 t	145.53 t	1.87 t	49.49 t	2.66 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	133.10 t	60.04 t	296.14 t	0.30 t	34.62 t	34.00 t	22.80 t	2,283.66 t	116.00 t	161.70 t	2.08 t	54.99 t	2.96 t					
優良認定処理業者への処理委託量	81.24 t	13.74 t	202.36 t	0.00 t	6.89 t	33.40 t	20.10 t	2,140.66 t	116.00 t	8.00 t	2.08 t	7.28 t	2.96 t					
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	119.79 t	54.04 t	266.53 t	0.27 t	31.16 t	30.60 t	20.52 t	2,055.29 t	104.40 t	145.53 t	1.87 t	49.49 t	2.66 t					
優良認定処理業者への処理委託量	73.12 t	12.37 t	182.12 t	0.00 t	6.20 t	30.06 t	18.09 t	1,926.59 t	104.40 t	7.20 t	1.87 t	6.55 t	2.66 t					
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月22日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館23階

氏 名　桧家住宅カンパニー

COO　伊藤正信

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　050-1702-1925

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	桧家住宅カンパニー 千葉支社
事業場の所在地	千葉県柏市柏377-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②事業の規模	70億円（元請完成工事高）
③従業員数	140人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
廃棄物分別の徹底
余剰部材の再利用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
プレカット材の採用による廃棄物排出の抑制を継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
木材、紙、金属、段ボール、石膏ボード、その他をコンテナまたは
分別用袋にて分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
混合廃棄物の分別細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
委託業者の選定</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
委託業者および下請業者の処理経路管理</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

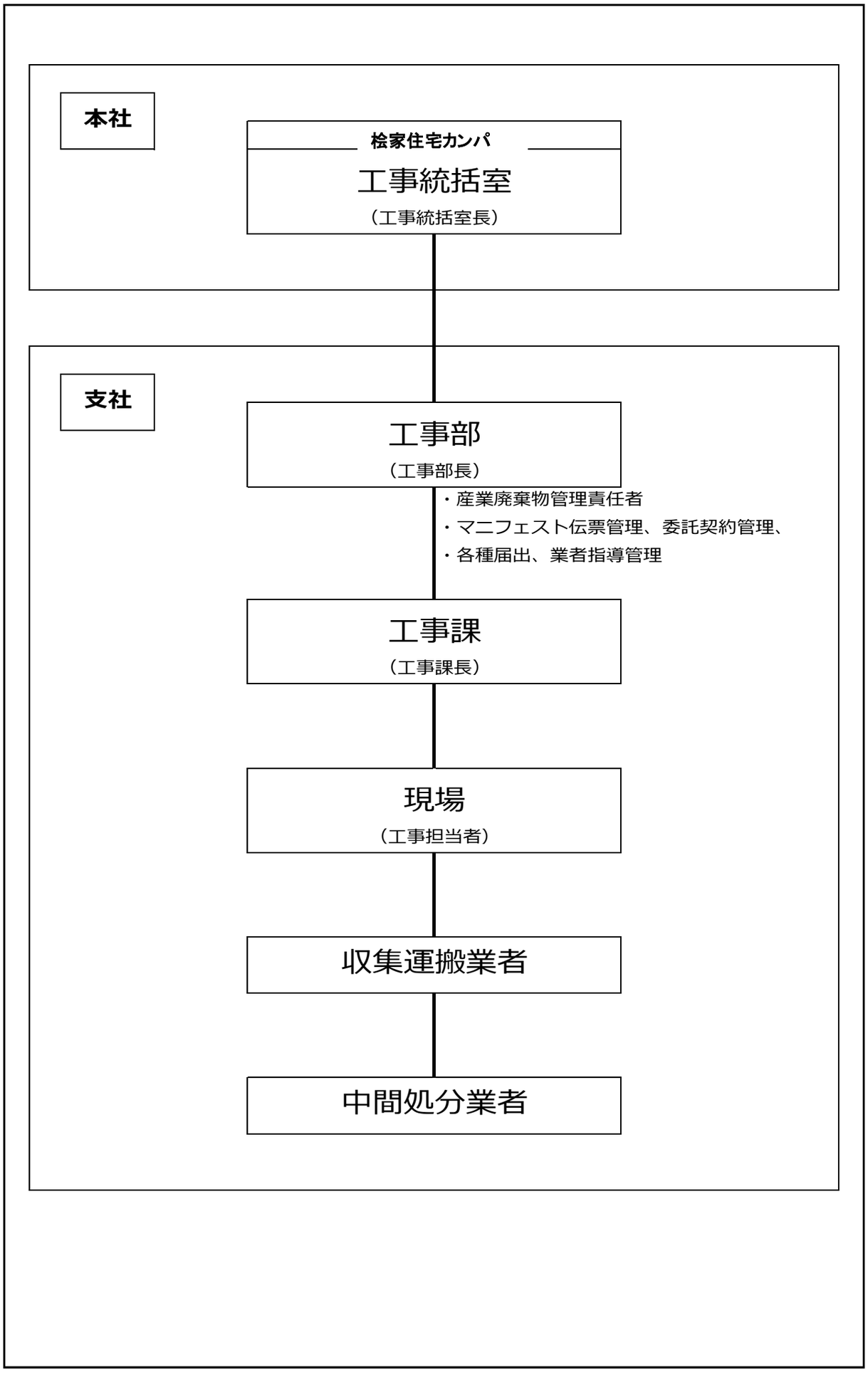
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

主な処理の工程

別添２ 管理体制図


本社
桧家住宅カンパ
工事統括室
（工事統括室長）
支社
工事部
（工事部長）
・産業廃棄物管理責任者
・マニフェスト伝票管理、委託契約管理、
・各種届出、業者指導管理
工事課
（工事課長）
現場
（工事担当者）
収集運搬業者
中間処分業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排出量	256.68 t	232.47 t	1,918.36 t	1.21 t	37.10 t	164.16 t	145.47 t	406.80 t	11.00 t	147.18 t	0.10 t	365.48 t	25.90 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
排出量	231.01 t	209.22 t	1,726.52 t	1.09 t	33.39 t	147.74 t	130.92 t	366.12 t	9.90 t	132.46 t	0.09 t	328.93 t	23.31 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	256.68 t	232.47 t	1,918.36 t	1.21 t	37.10 t	164.16 t	145.47 t	406.80 t	11.00 t	147.18 t	0.10 t	365.48 t	25.90 t					
優良認定処理業者への処理委託量	191.12 t	149.97 t	1,721.08 t	0.00 t	26.59 t	150.10 t	74.76 t	82.62 t	0.00 t	1.48 t	0.00 t	6.63 t	22.94 t					
再生利用業者への処理委託量	256.68 t	232.47 t	1,918.36 t	1.21 t	37.10 t	164.16 t	145.47 t	404.80 t	11.00 t	144.18 t	0.10 t	365.48 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	231.01 t	209.22 t	1,726.52 t	1.09 t	33.39 t	147.74 t	130.92 t	366.12 t	9.90 t	132.46 t	0.09 t	328.93 t	23.31 t					
優良認定処理業者への処理委託量	172.01 t	134.97 t	1,548.97 t	0.00 t	23.93 t	135.09 t	67.28 t	74.36 t	0.00 t	1.33 t	0.00 t	5.97 t	20.65 t					
再生利用業者への処理委託量	231.01 t	209.22 t	1,726.52 t	1.09 t	33.39 t	147.74 t	130.92 t	364.32 t	9.90 t	129.76 t	0.09 t	328.93 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月22日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館23階

氏 名 桧家住宅カンパニー

COO 伊藤正信

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 050-1702-1925

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	桧家住宅カンパニー 千葉支社
事業場の所在地	千葉県柏市柏377-3
事業の種類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

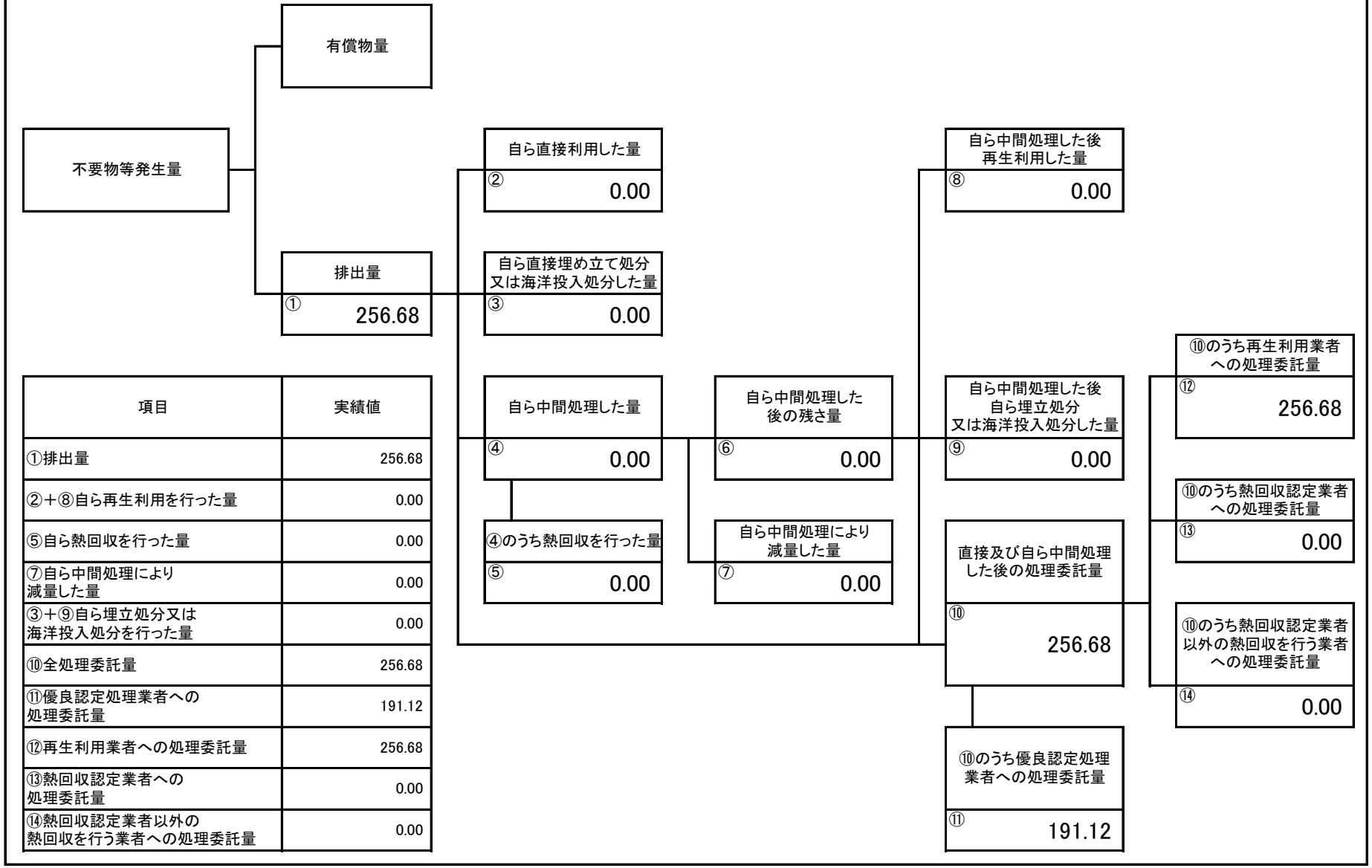
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,905.96 t	全処理委託量	2,905.96 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,568.90 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	2,878.71 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

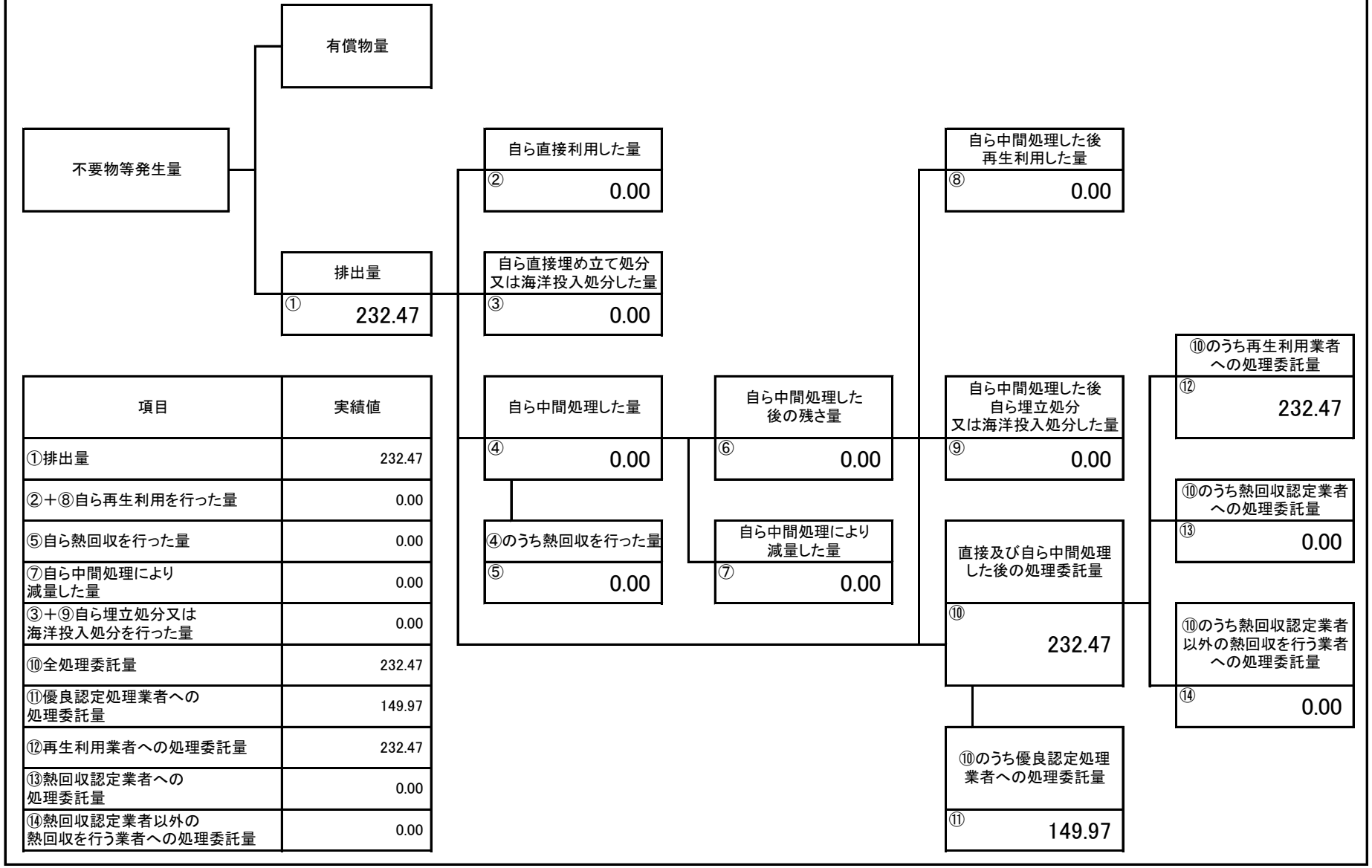


項目	実績値
①排出量	256.68
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	256.68
⑪優良認定処理業者への処理委託量	191.12
⑫再生利用業者への処理委託量	256.68
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず ）

（単位：トン）

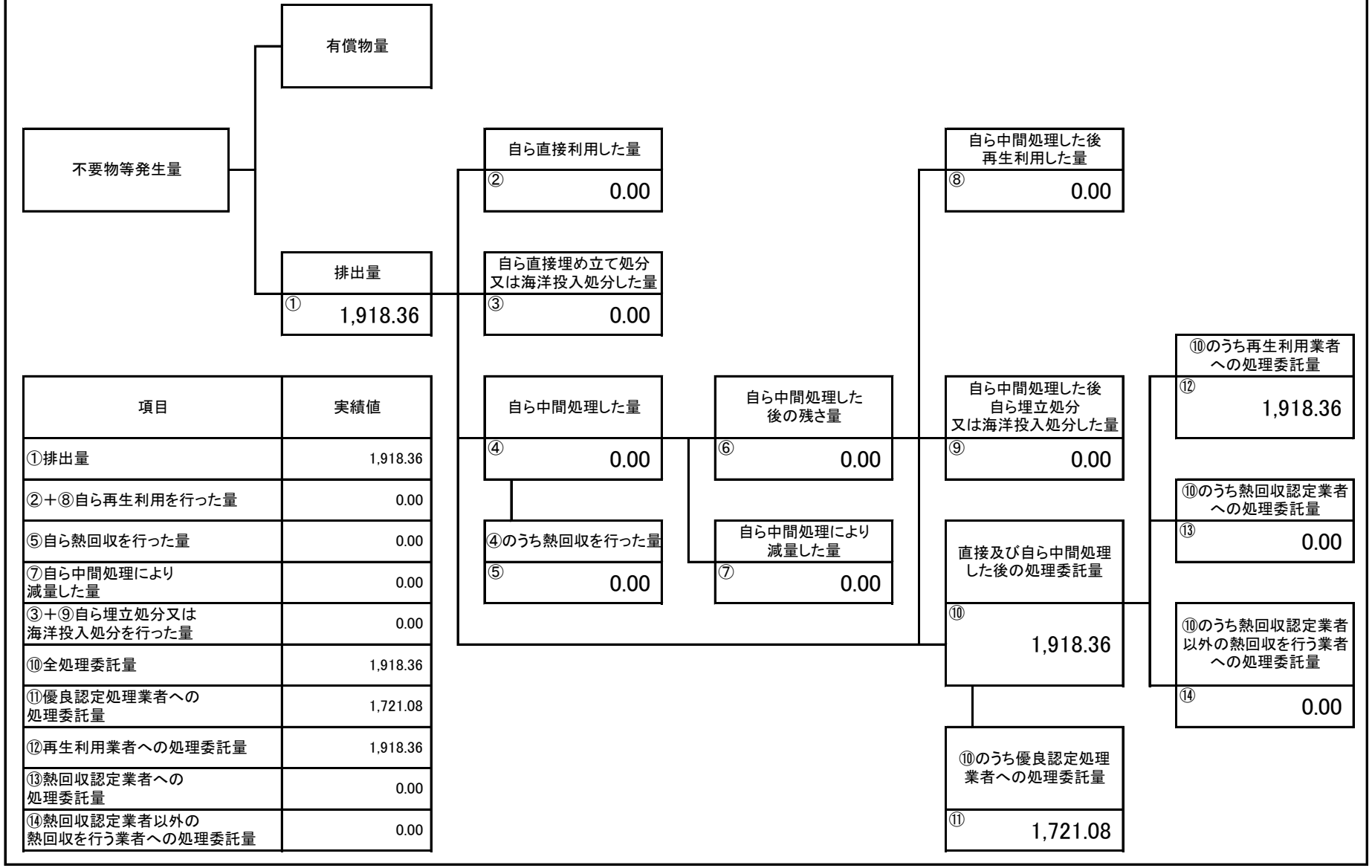


項目	実績値
①排出量	232.47
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	232.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	149.97
⑫再生利用業者への処理委託量	232.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

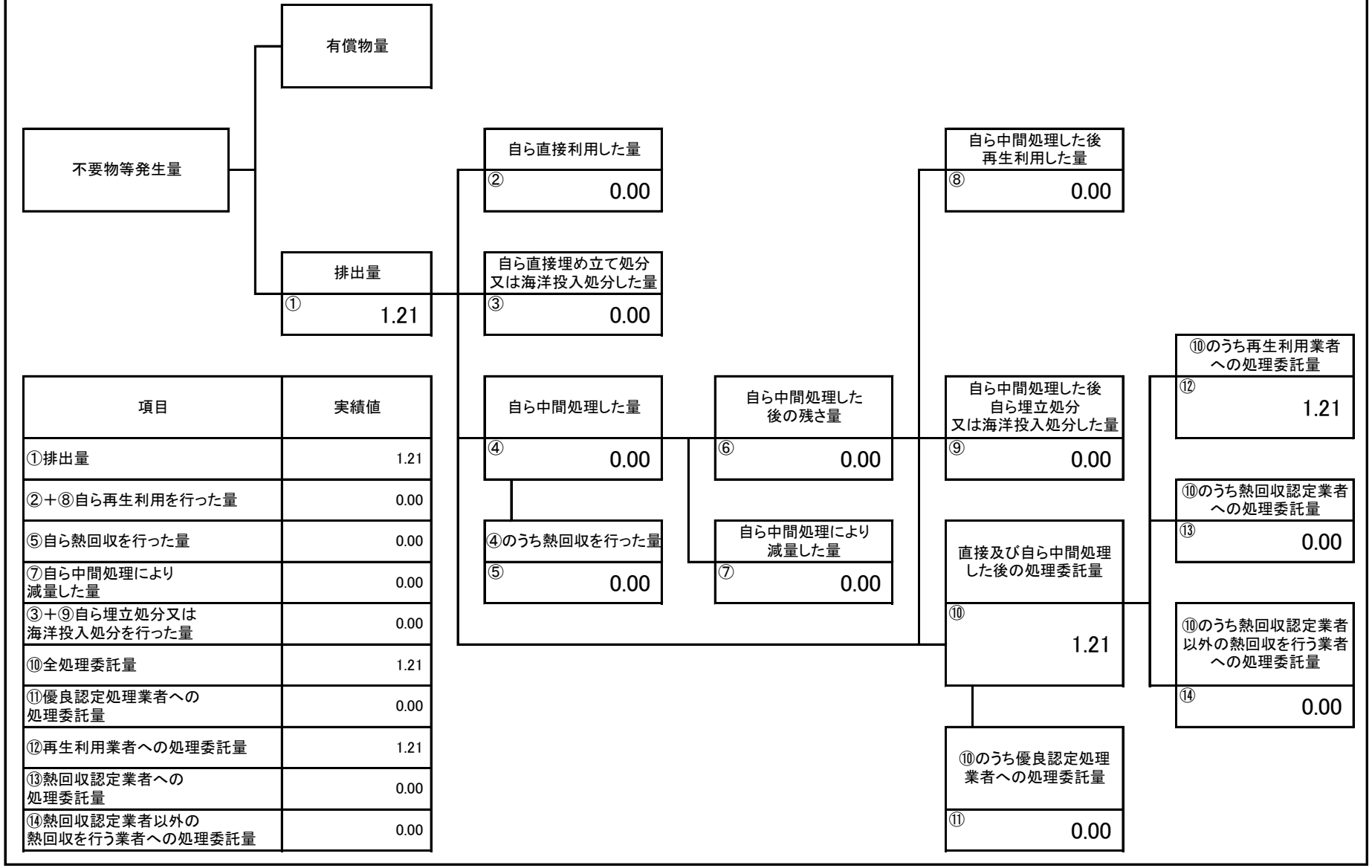


項目	実績値
①排出量	1,918.36
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,918.36
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,721.08
⑫再生利用業者への処理委託量	1,918.36
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類繊維くず　　）

（単位：トン）

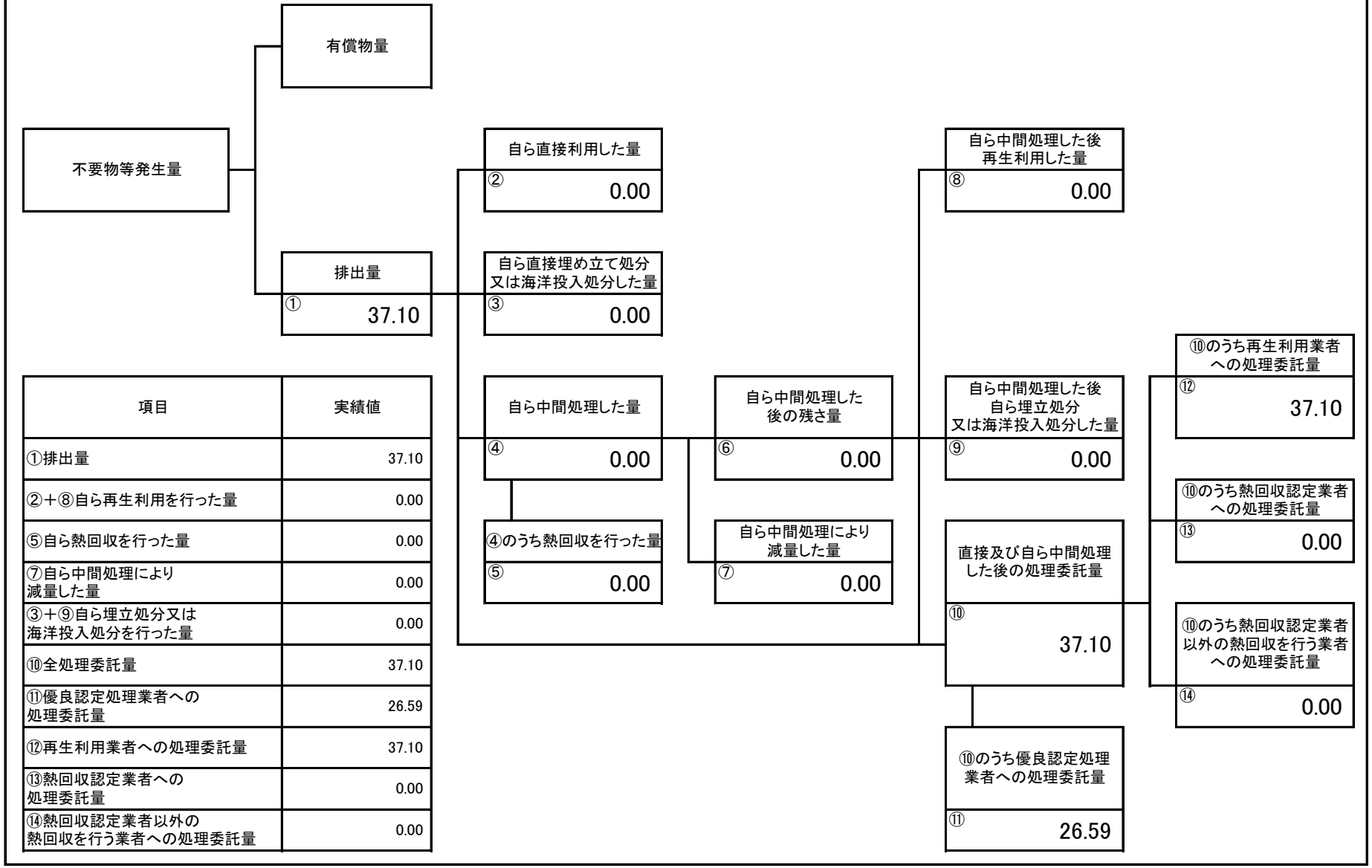


項目	実績値
①排出量	1.21
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.21
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1.21
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 金属くず ）

（単位：トン）

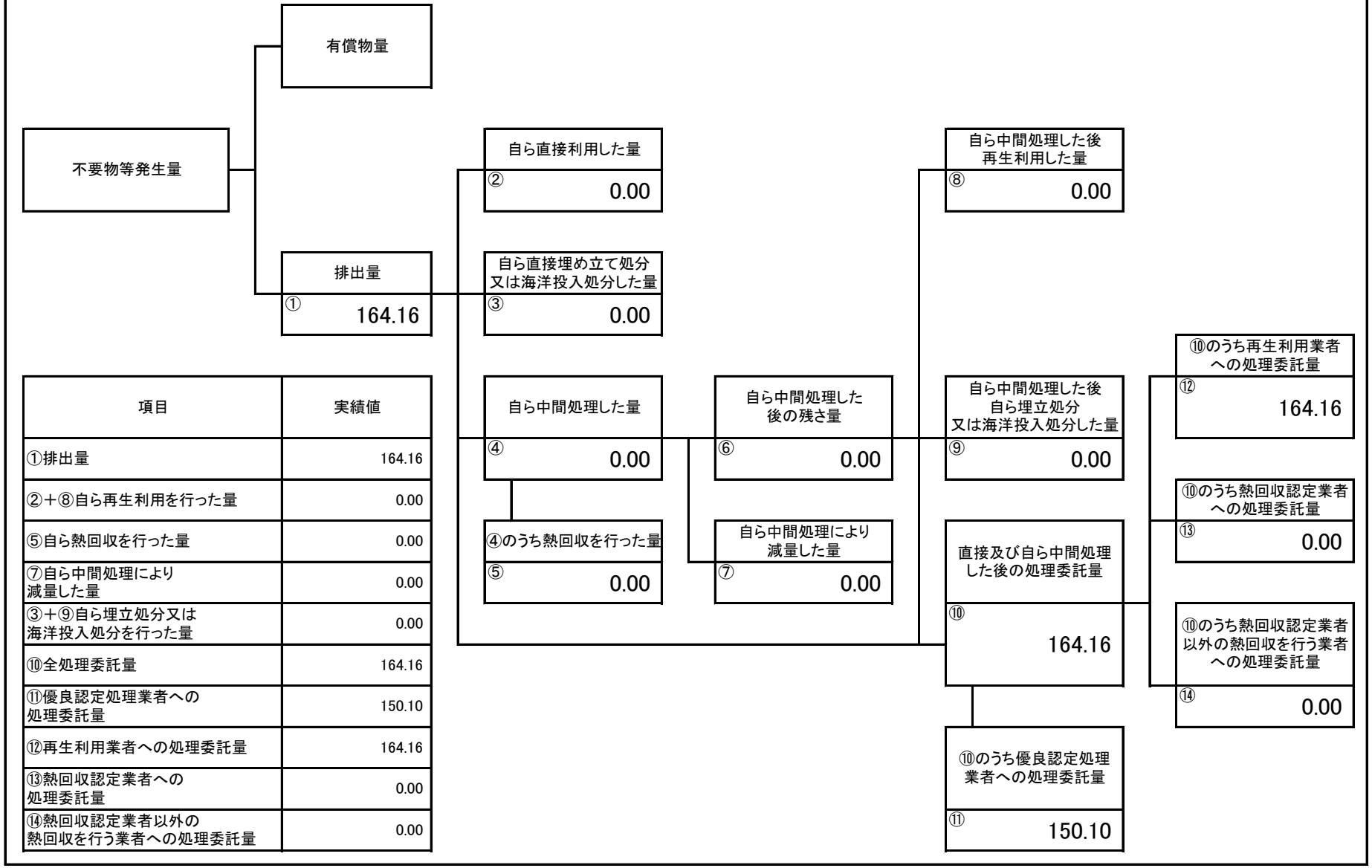


項目	実績値
①排出量	37.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	37.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.59
⑫再生利用業者への処理委託量	37.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

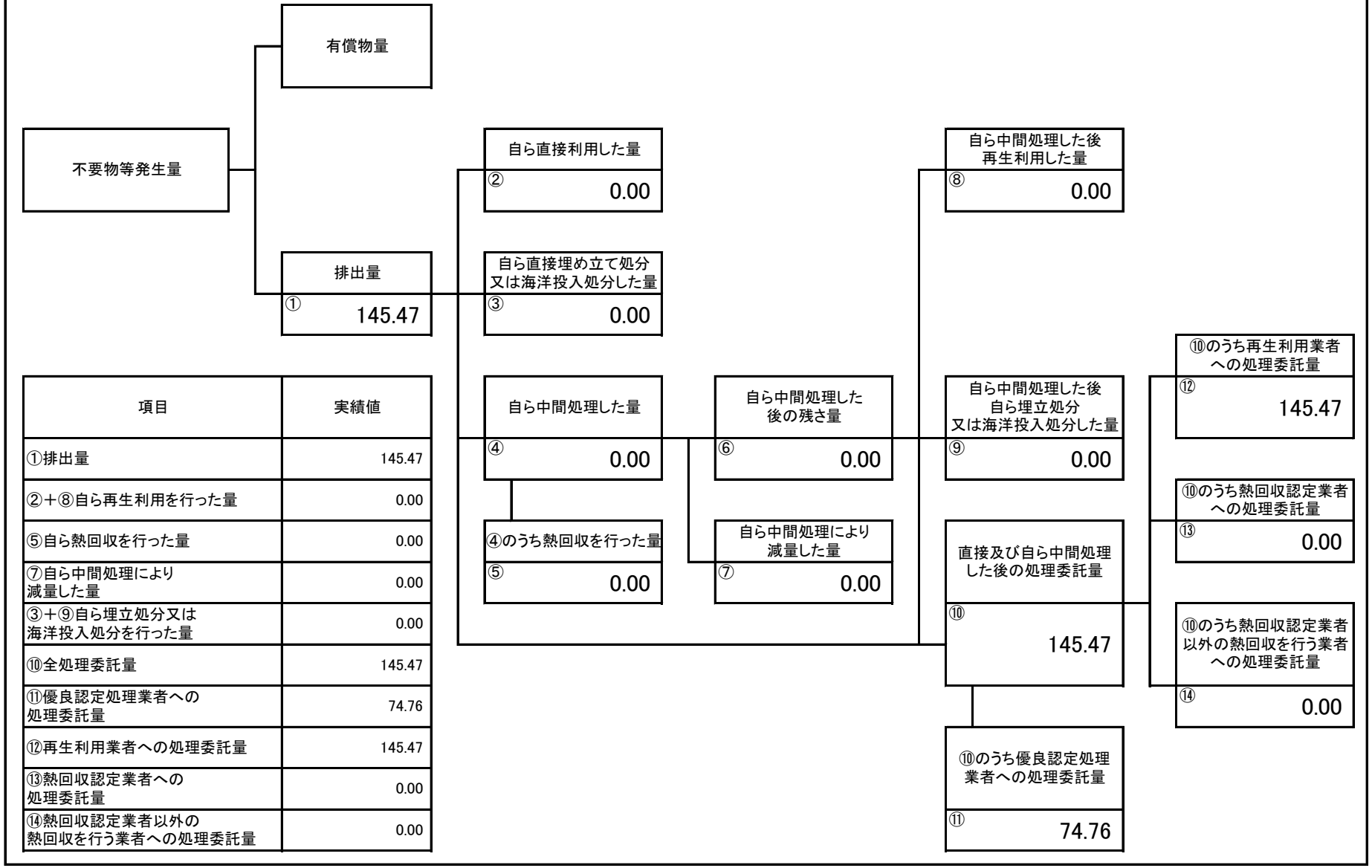


項目	実績値
①排出量	164.16
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	164.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	150.10
⑫再生利用業者への処理委託量	164.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃石膏ボード　　）

（単位：トン）

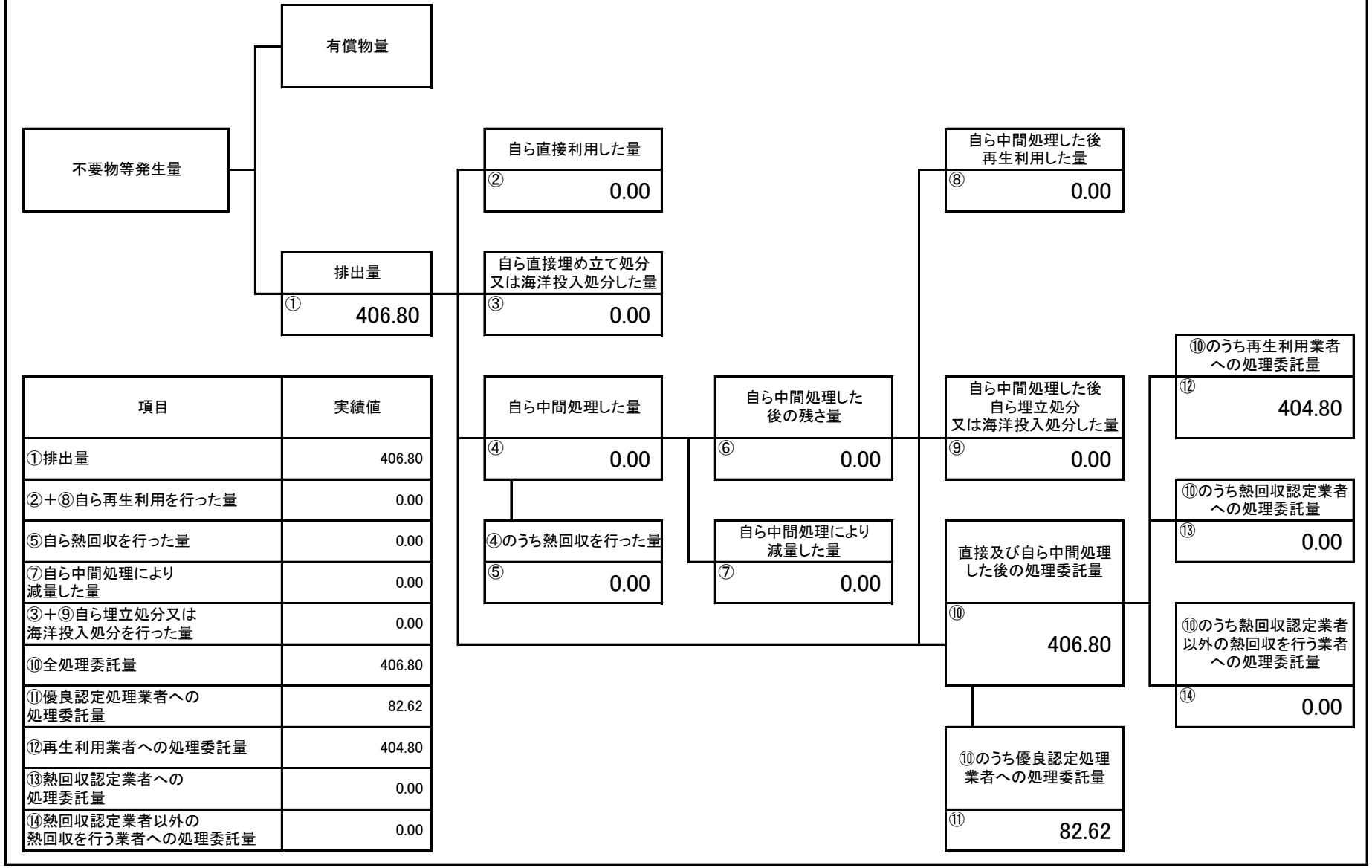


項目	実績値
①排出量	145.47
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	145.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.76
⑫再生利用業者への処理委託量	145.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

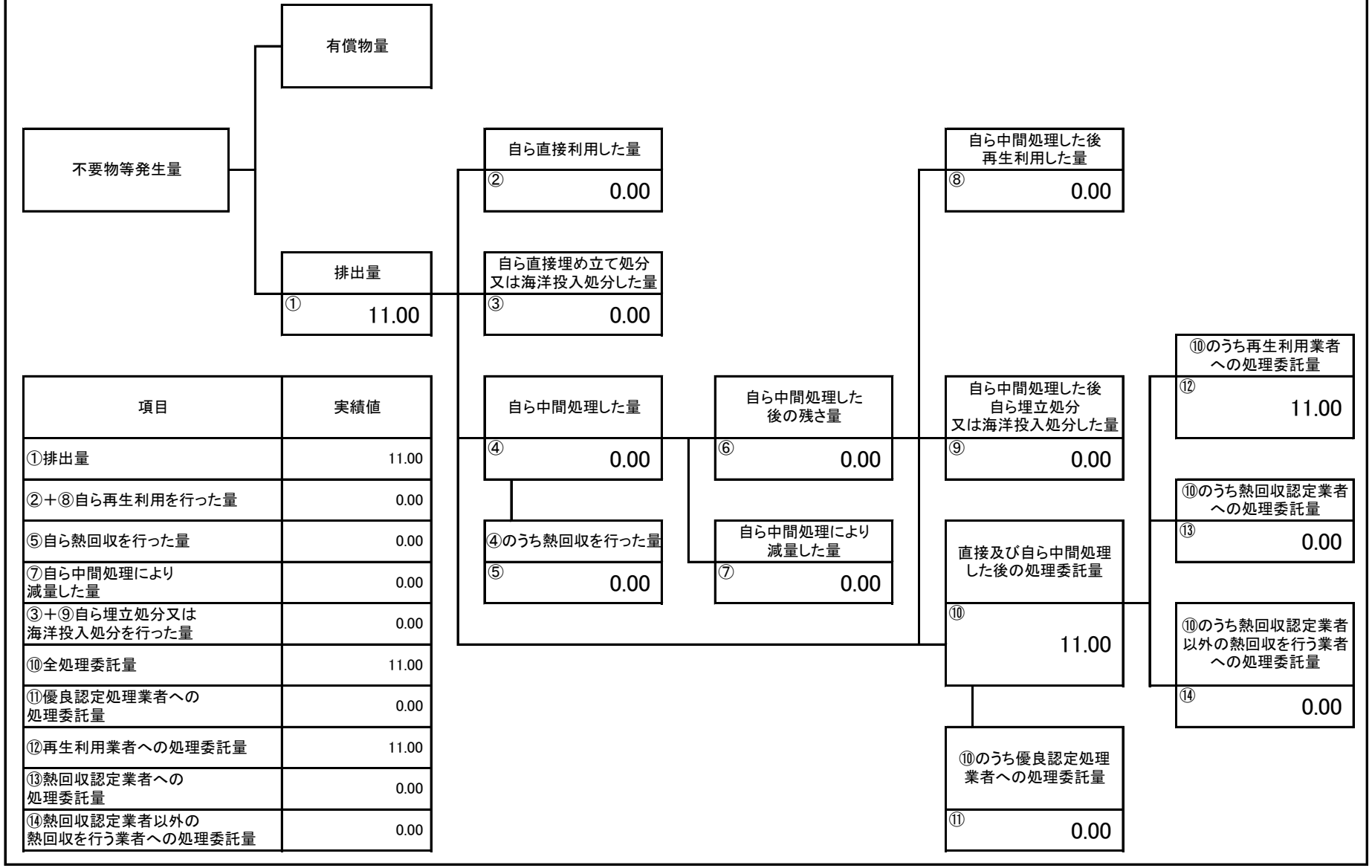


項目	実績値
①排出量	406.80
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	406.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	82.62
⑫再生利用業者への処理委託量	404.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

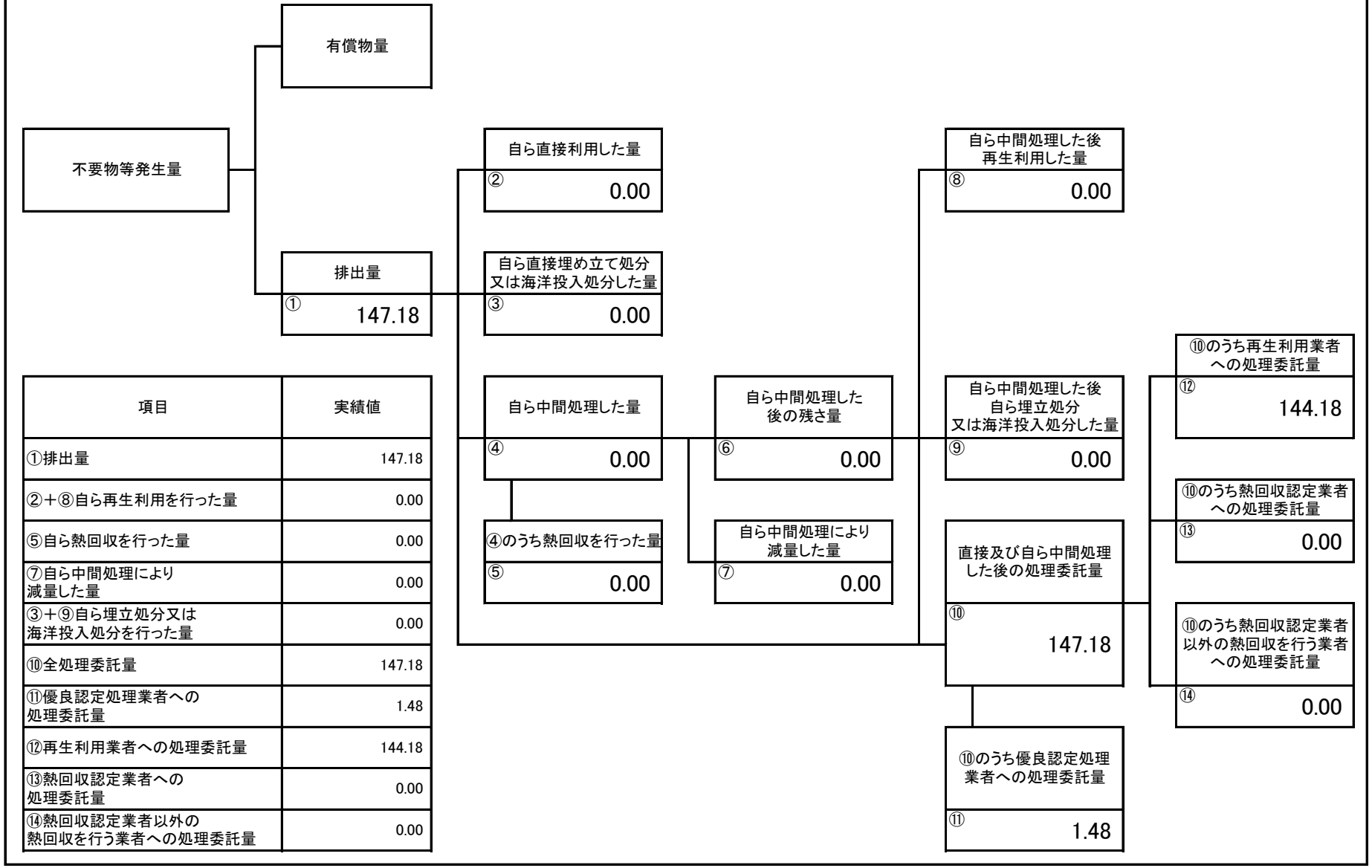


項目	実績値
①排出量	11.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	11.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類その他がれき類　　）

（単位：トン）

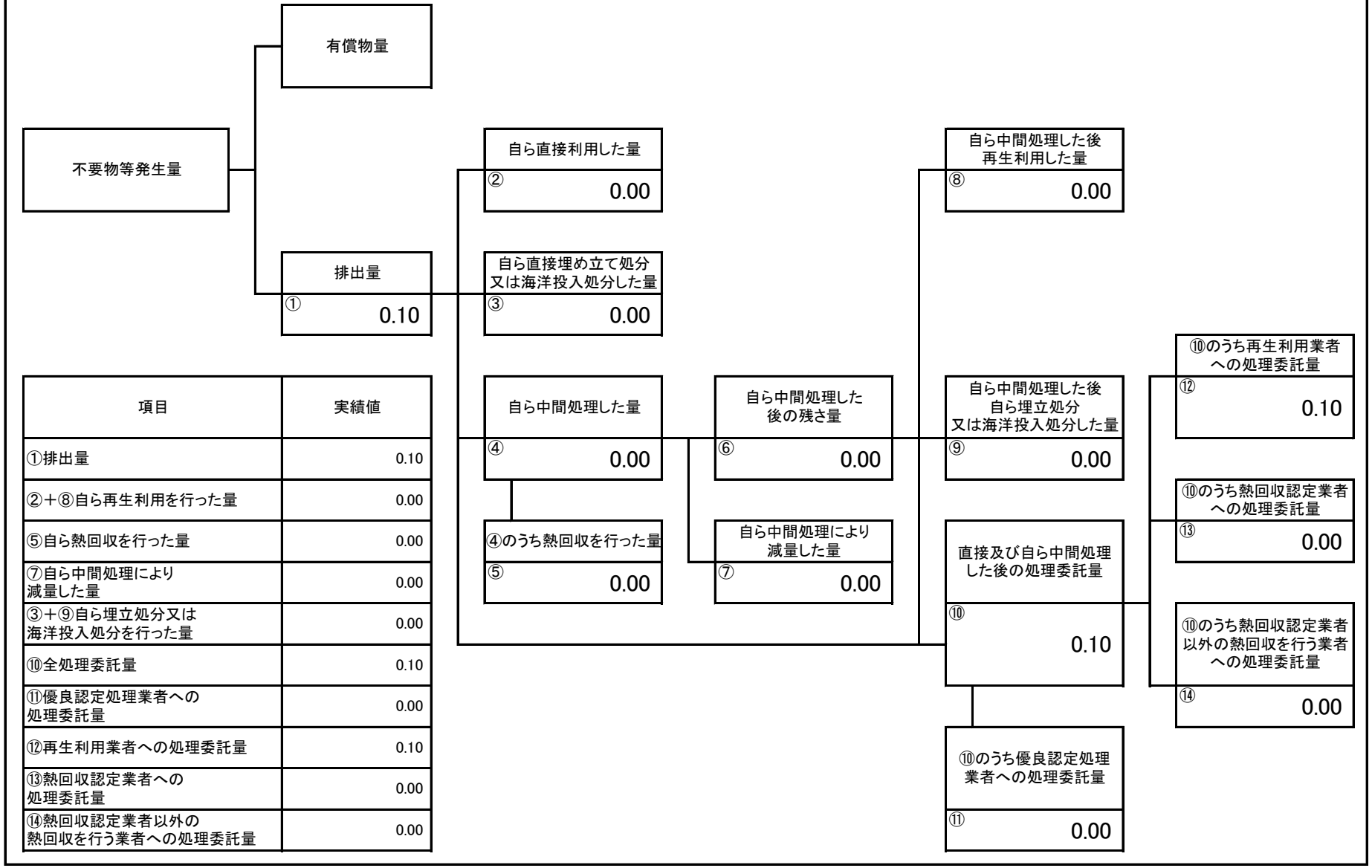


項目	実績値
①排出量	147.18
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	147.18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.48
⑫再生利用業者への処理委託量	144.18
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（安定型））

（単位：トン）

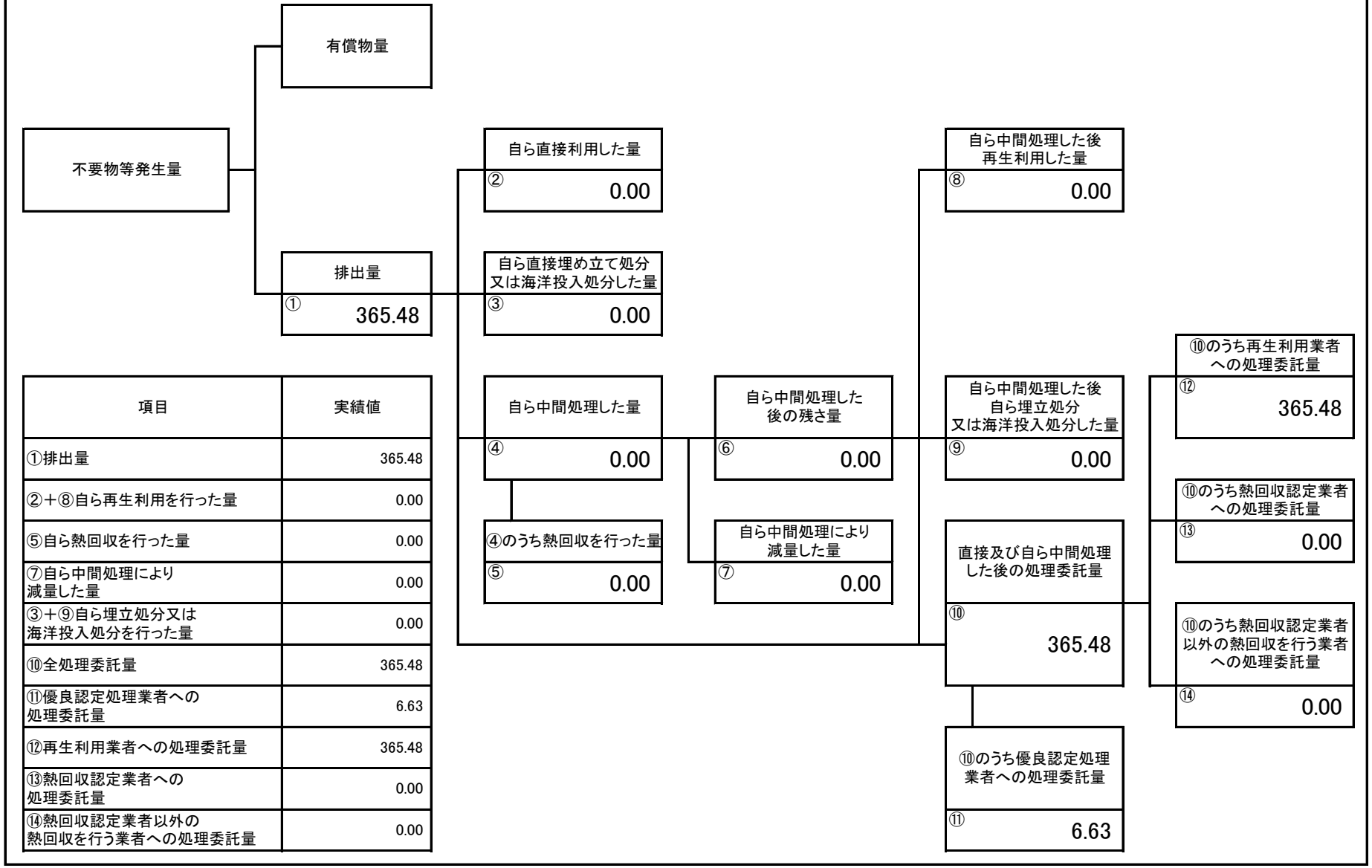


項目	実績値
①排出量	0.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

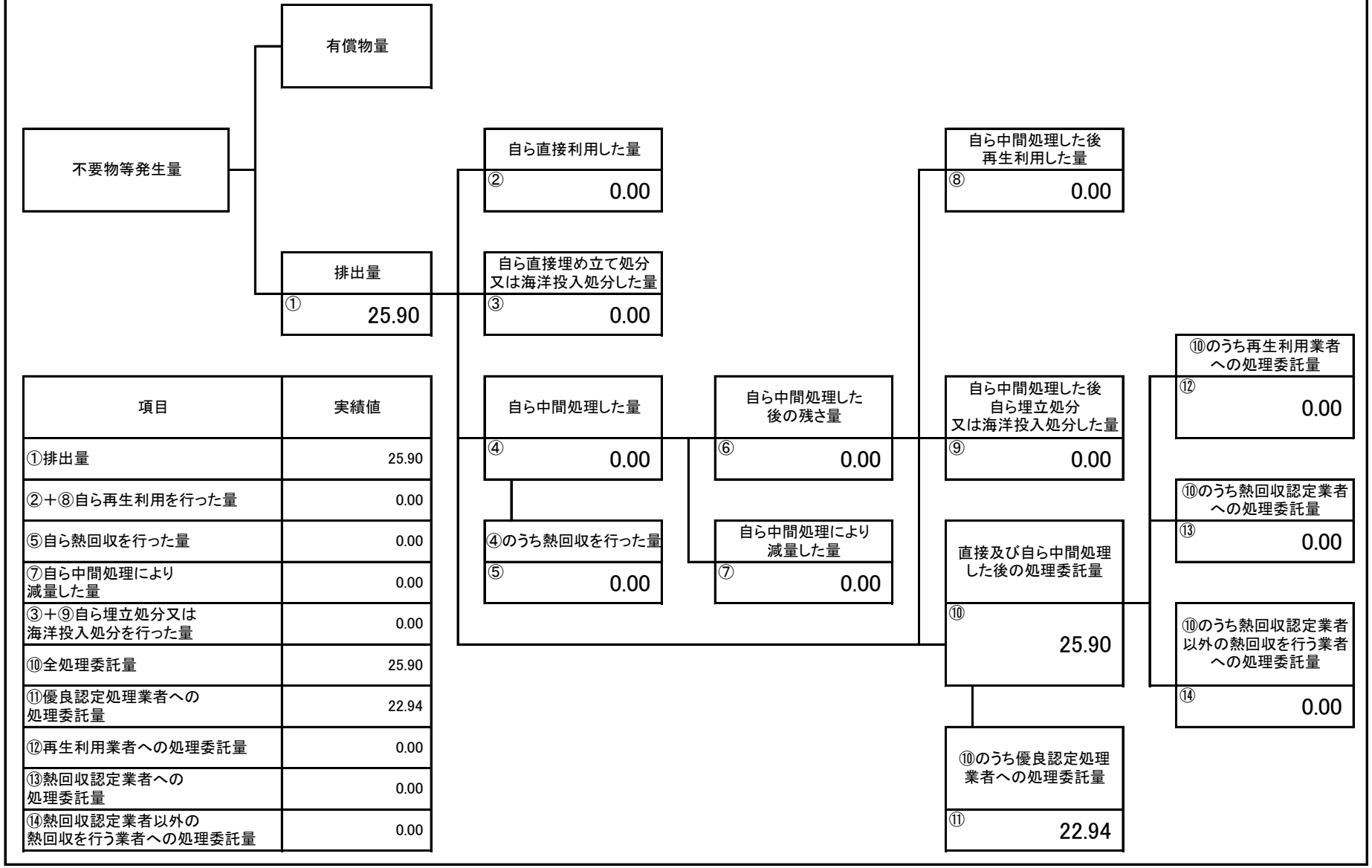


項目	実績値
①排出量	365.48
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	365.48
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.63
⑫再生利用業者への処理委託量	365.48
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	25.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	25.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.94
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　277-0863

住　所　千葉県柏市豊四季1004番地

法人名　広島建設株式会社

代表者　島田 秀貴

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7143-1110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	広島建設株式会社
事業場の所在地	千葉県柏市豊四季1004番地
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	286億円
③従業員数	356人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	8441.74 t	t
	（これまでに実施した取組） ・余剰材の回収、抑制 ・梱包材の簡素化、養生材の削減 ・発生抑制に関する情報収集 ・一部現場の外壁材のﾌﾟﾚｶｯﾄ化 ・実寸発注の実施（木くずの削減）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	7597.57 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・上記の継続実施、品質向上 ・設備材のﾌﾟﾚｶｯﾄ化 ・外壁材のﾌﾟﾚｶｯﾄ化の全棟実施推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・木くず、ダンボール、石膏ボード、廃プラスチックを分別 ・品目毎の専用カゴの設置 ・分別に関する情報収集 ・現場毎の分別作業の確認及び指導
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記の継続実施、品質向上

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・委託基準に従って委託できる業者の選定
・電子マニフェストの運用、管理
・可能なかぎり優良認定業者から選定する
・委託処分事業者の現地確認の実施
・再生処理を中心にした業者選定の促進</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・上記の継続実施		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

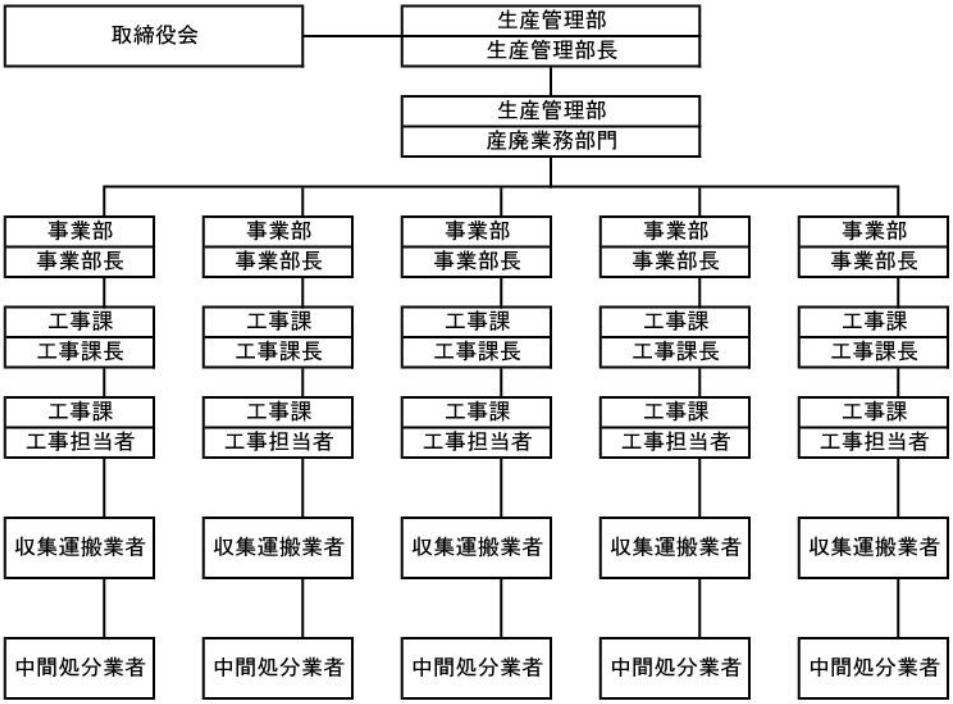
別添１ 処理工程図

主な処理の工程

廃プラスチック　→　破砕/圧縮　→　再利用又は埋立
紙くず　→　破砕/圧縮　→　再利用
木くず　→　破砕　→　再利用
金属くず　→　破砕　→　再利用
ガラス、陶磁器くず　→　破砕　→　再利用又は埋立
がれき類　→　破砕　→　再利用又は埋立

収集運搬及び中間処分・最終処分を業者に委託　（委託先処理業者によって内容が異なる場合有）

別添２ 管理体制図


取締役会
生産管理部
生産管理部長
生産管理部
産廃業務部門
事業部
事業部長
工事課
工事課長
工事課
工事担当者
収集運搬業者
中間処分業者
事業部
事業部長
工事課
工事課長
工事課
工事担当者
収集運搬業者
中間処分業者
事業部
事業部長
工事課
工事課長
工事課
工事担当者
収集運搬業者
中間処分業者
事業部
事業部長
工事課
工事課長
工事課
工事担当者
収集運搬業者
中間処分業者
事業部
事業部長
工事課
工事課長
工事課
工事担当者
収集運搬業者
中間処分業者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		排　出　量	855.20 t	555.90 t	1,642.73 t	24.65 t	16.40 t	555.30 t	648.40 t	1,381.87 t	67.90 t	62.67 t	39.22 t	2,545.00 t	46.50 t						
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		排　出　量	769.68 t	500.31 t	1,478.46 t	22.19 t	14.76 t	499.77 t	583.56 t	1,243.68 t	61.11 t	56.40 t	35.30 t	2,290.50 t	41.85 t						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																					
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	②計画	【目標】																			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	855.20 t	555.90 t	1,642.73 t	24.65 t	16.40 t	555.30 t	648.40 t	1,381.87 t	67.90 t	62.67 t	39.22 t	2,545.00 t	46.50 t					
種Ｄ認定処理業者への処理委託量	766.90 t	546.90 t	1,532.03 t	0.50 t	14.40 t	501.10 t	569.10 t	83.40 t	30.90 t	1.60 t	21.50 t	45.60 t	36.50 t					
再生利用業者への処理委託量	525.40 t	398.70 t	976.89 t	1.95 t	4.30 t	385.50 t	480.70 t	102.10 t	0.20 t	1.50 t	0.00 t	33.10 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	4.00 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
全処理委託量	769.68 t	500.31 t	1,478.46 t	22.19 t	14.76 t	499.77 t	583.56 t	1,243.68 t	61.11 t	56.40 t	35.30 t	2,290.50 t	41.85 t					
種Ｄ認定処理業者への処理委託量	690.21 t	492.21 t	1,378.83 t	0.45 t	12.96 t	450.99 t	512.19 t	75.06 t	27.81 t	1.44 t	19.35 t	41.04 t	32.85 t					
再生利用業者への処理委託量	472.86 t	358.83 t	879.20 t	1.76 t	3.87 t	346.95 t	432.63 t	91.89 t	0.18 t	1.35 t	0.00 t	29.79 t	0.00 t					
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	3.60 t					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月27日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　277-0863

住所 千葉県柏市豊四季1004番地

法人名 広島建設株式会社

代表者 島田 秀貴

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7143-1110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	広島建設株式会社
事業場の所在地	千葉県柏市豊四季1004番地
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

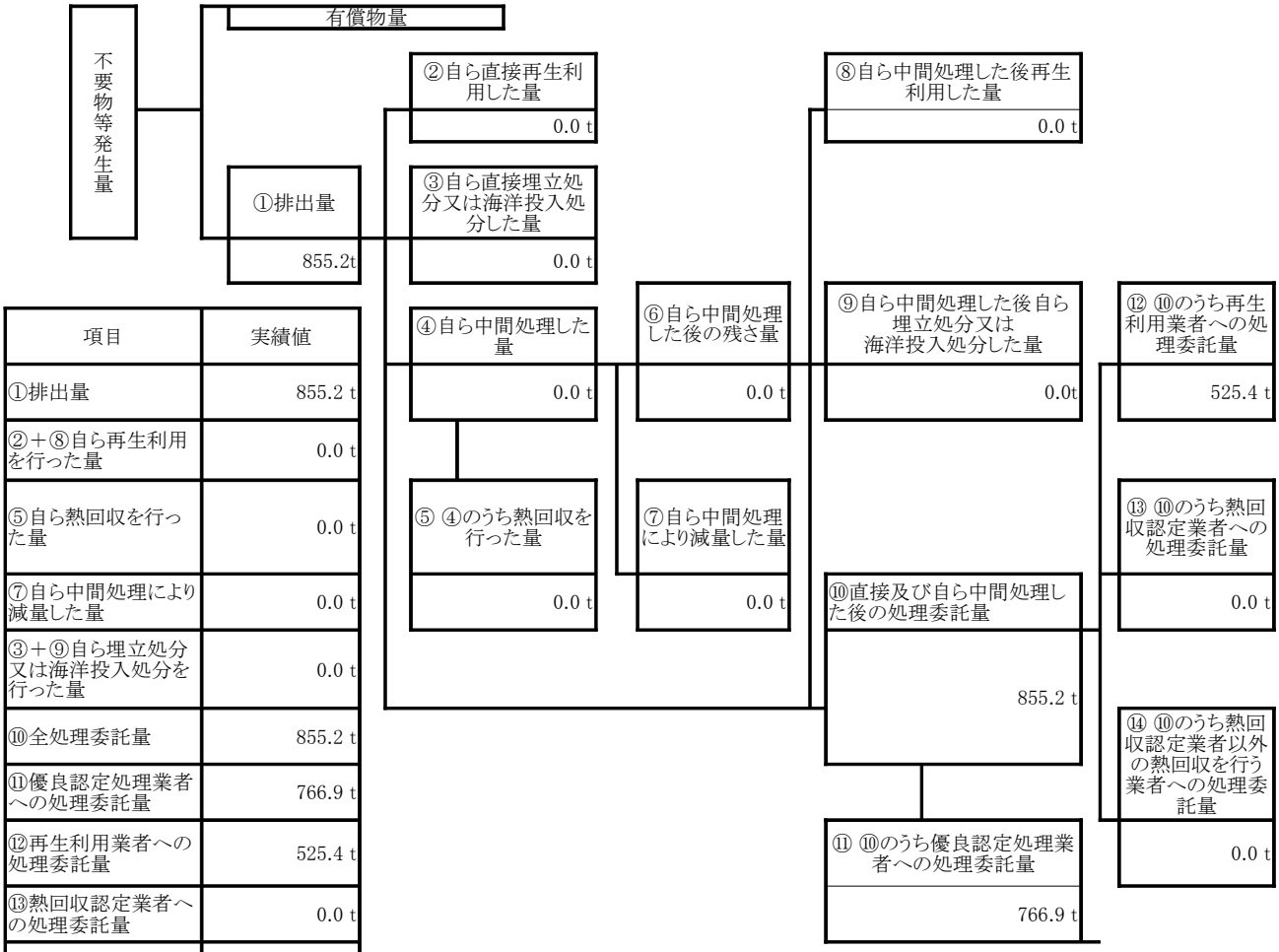
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7525.92 t	全処理委託量	7525.92 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3870.54 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3192.17 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

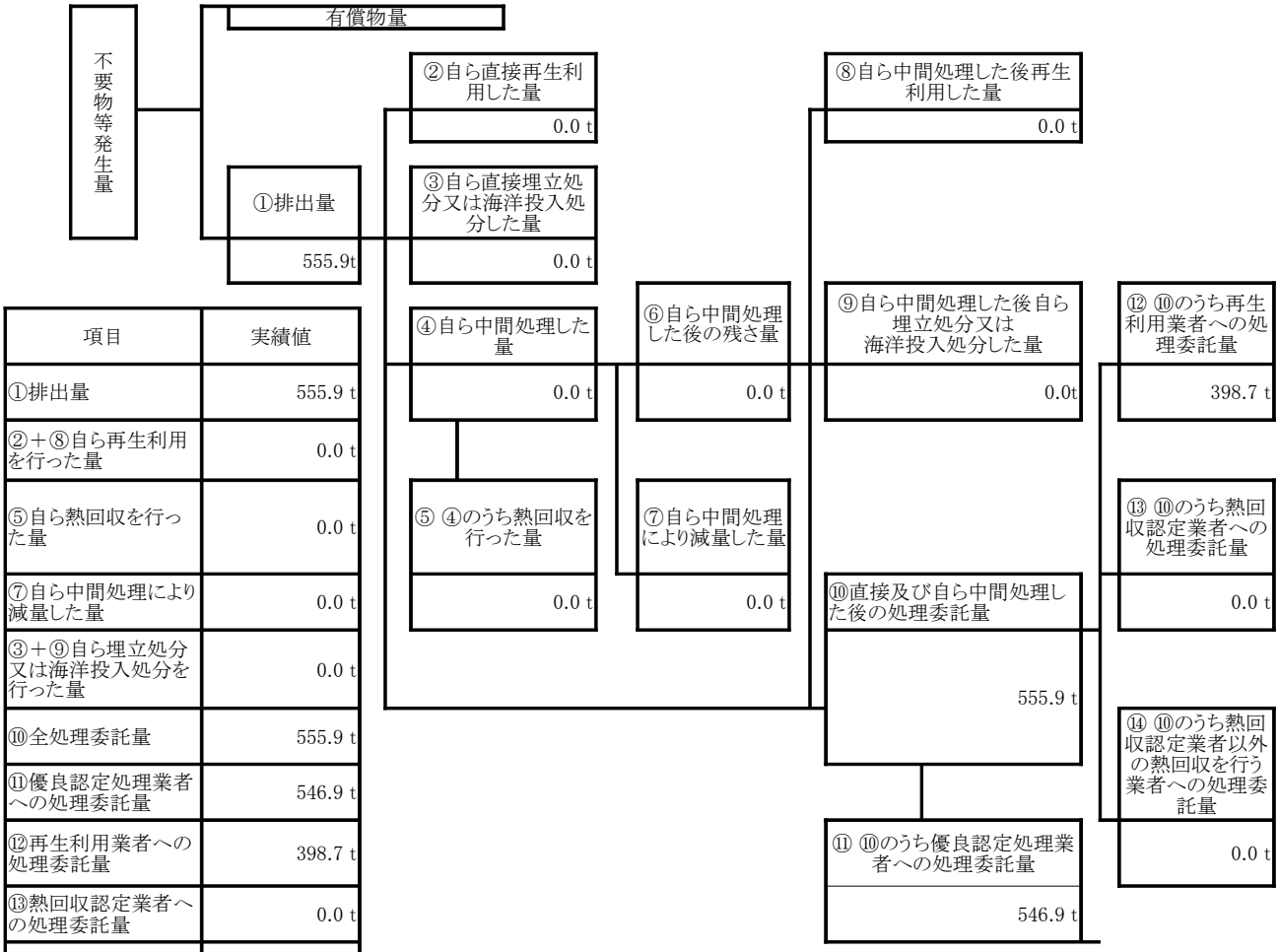


項目	実績値
①排出量	855.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	855.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	766.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	525.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

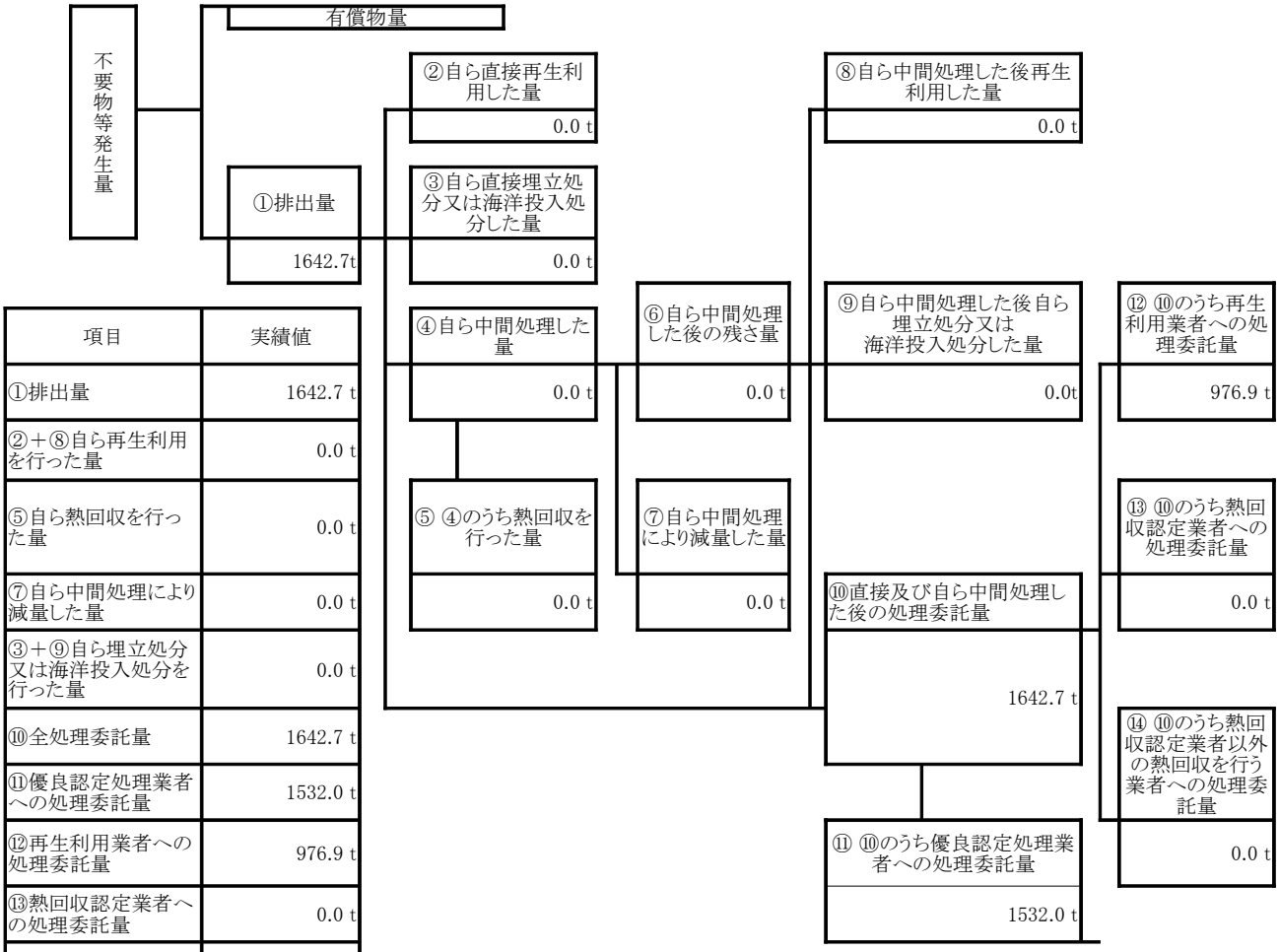


項目	実績値
①排出量	555.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	555.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	546.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	398.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

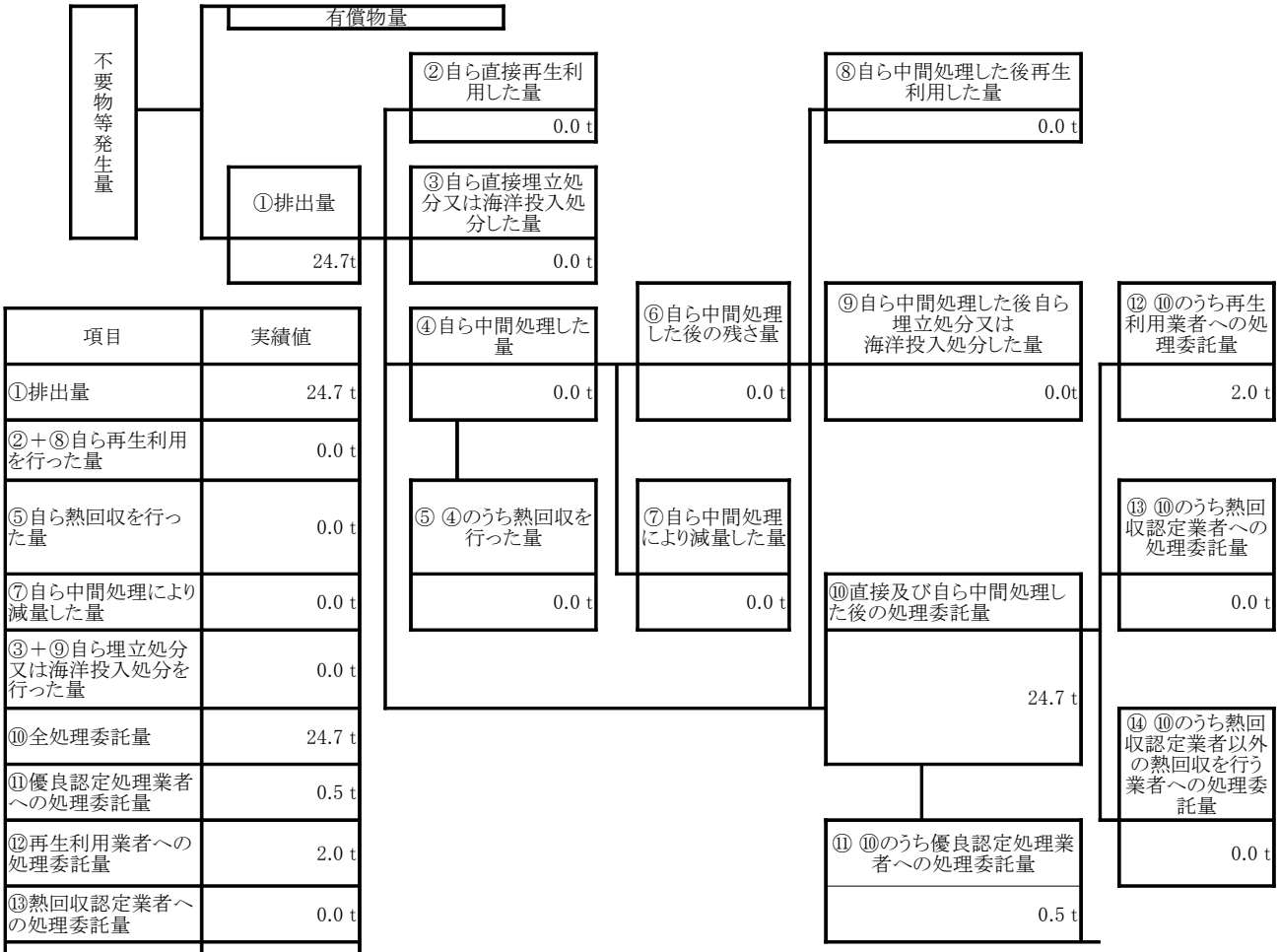


項目	実績値
①排出量	1642.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1642.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1532.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	976.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

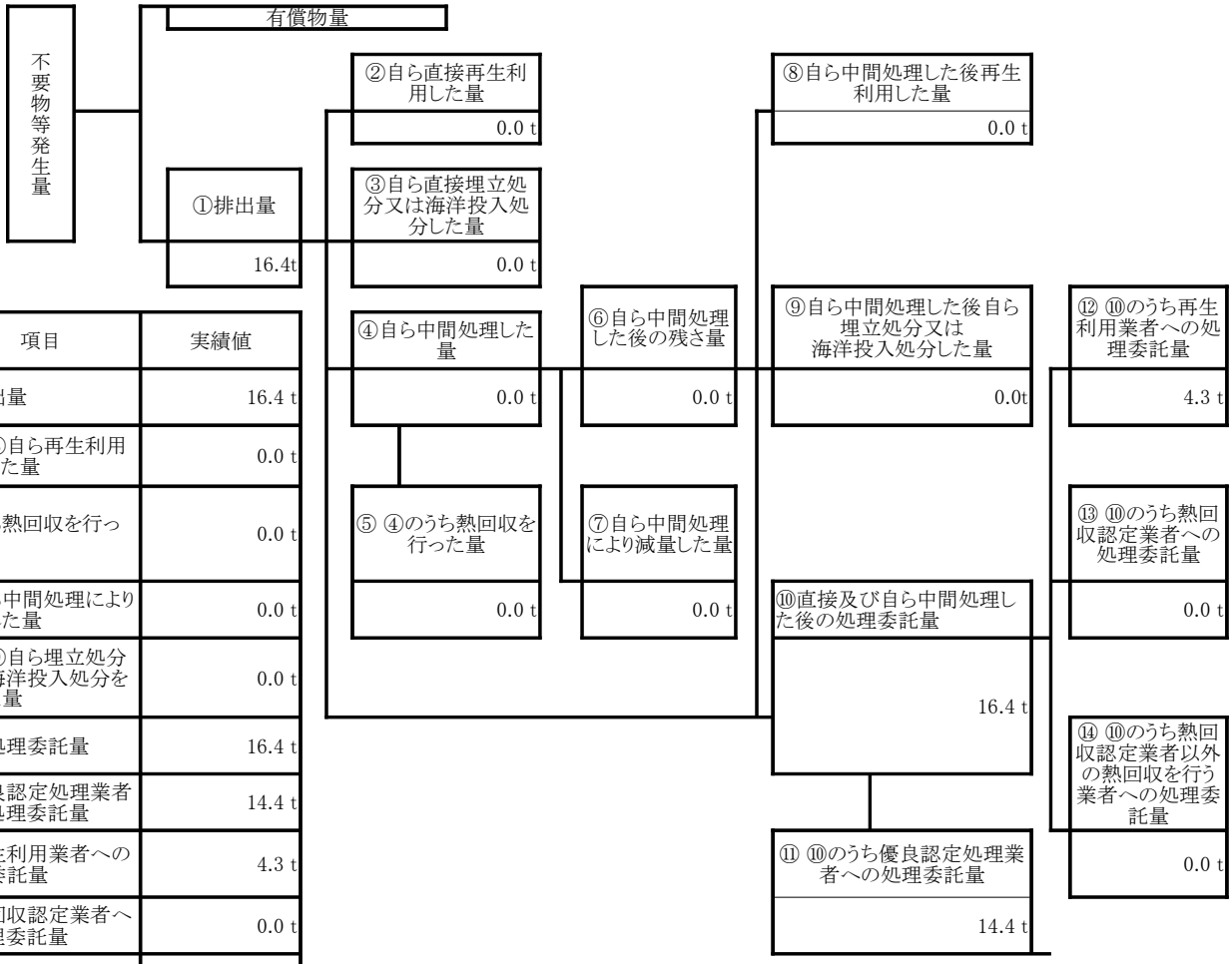


項目	実績値
①排出量	24.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



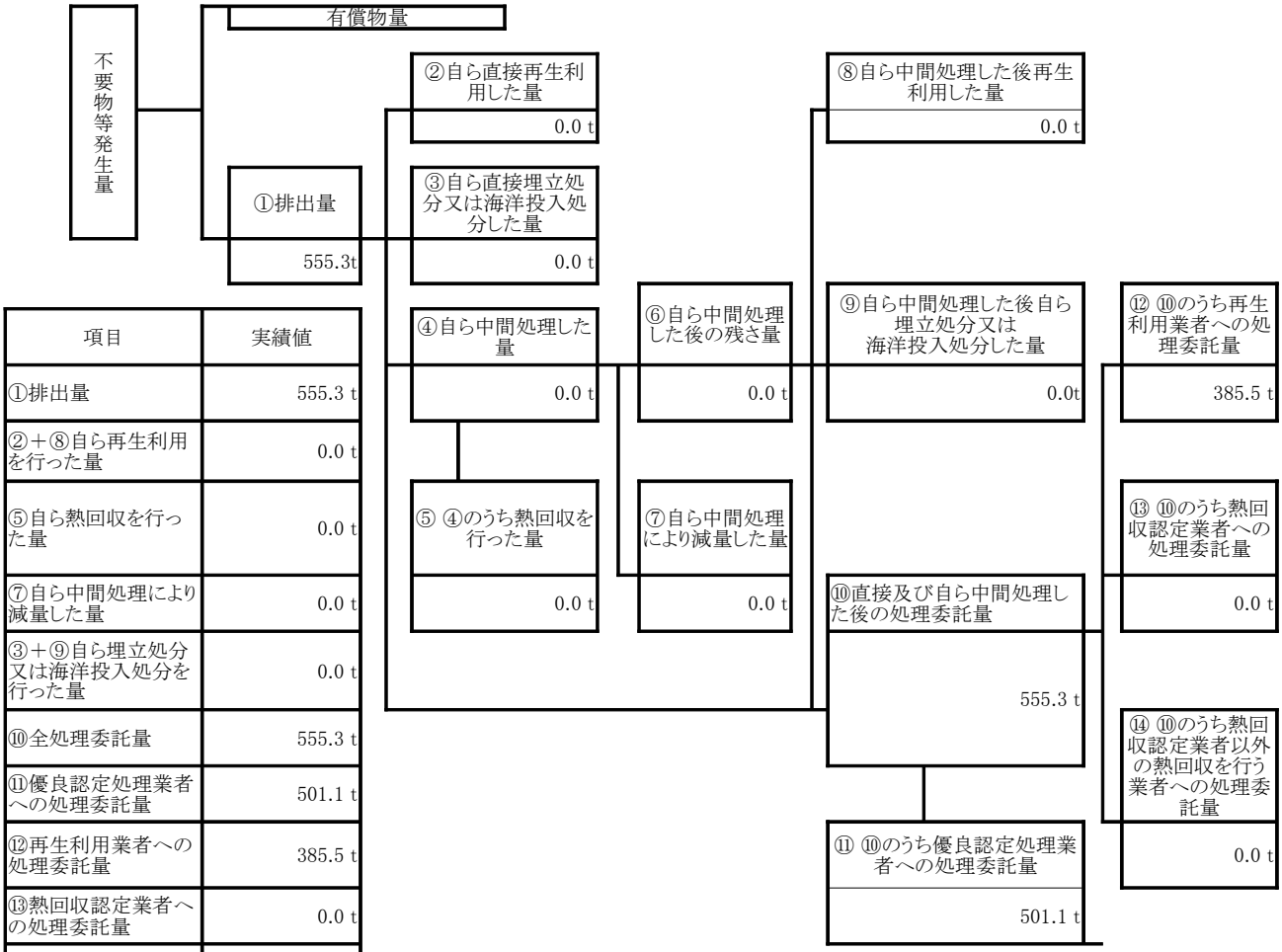
項目	実績値
①排出量	16.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラス陶磁器等くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

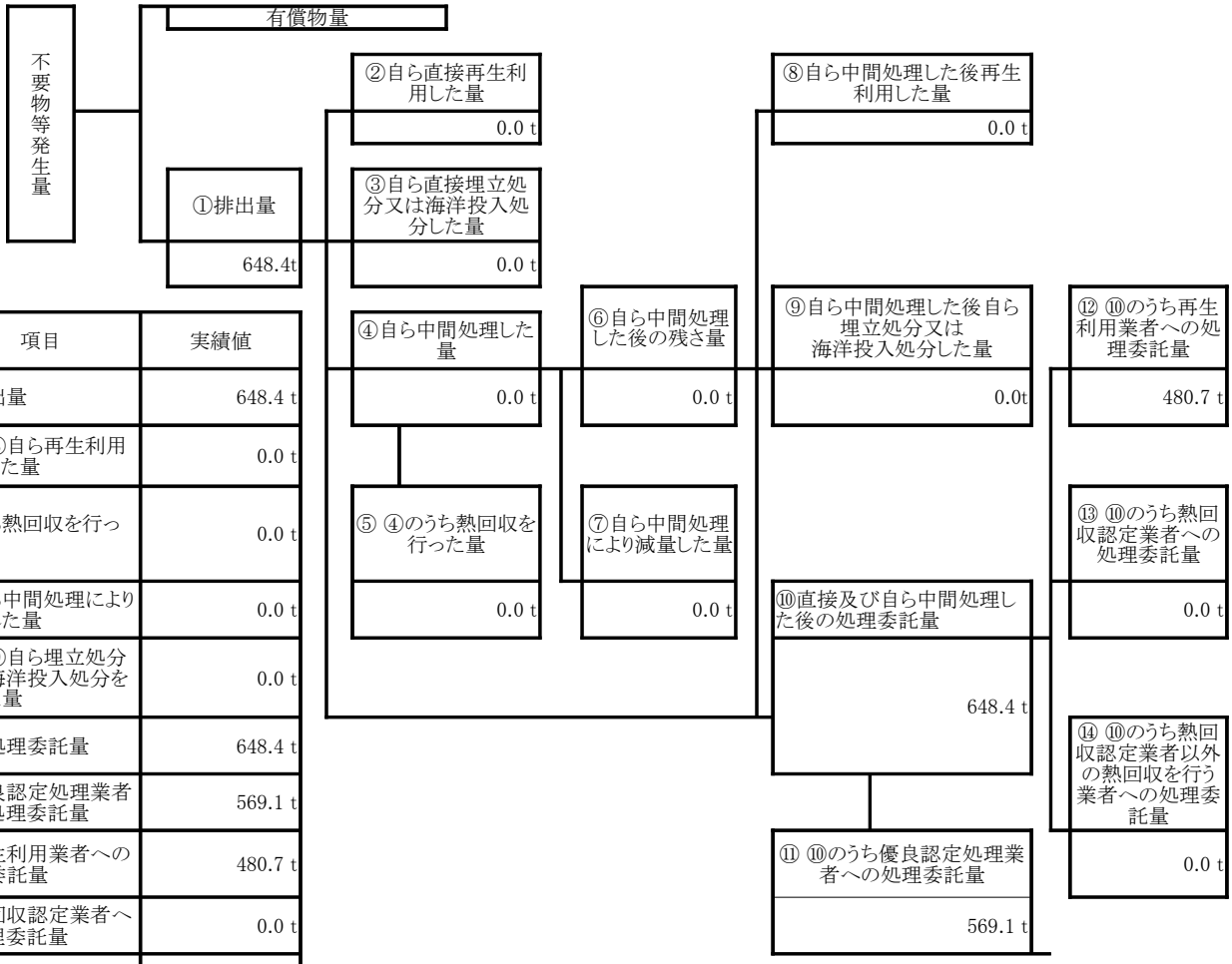


項目	実績値
①排出量	555.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	555.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	501.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	385.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

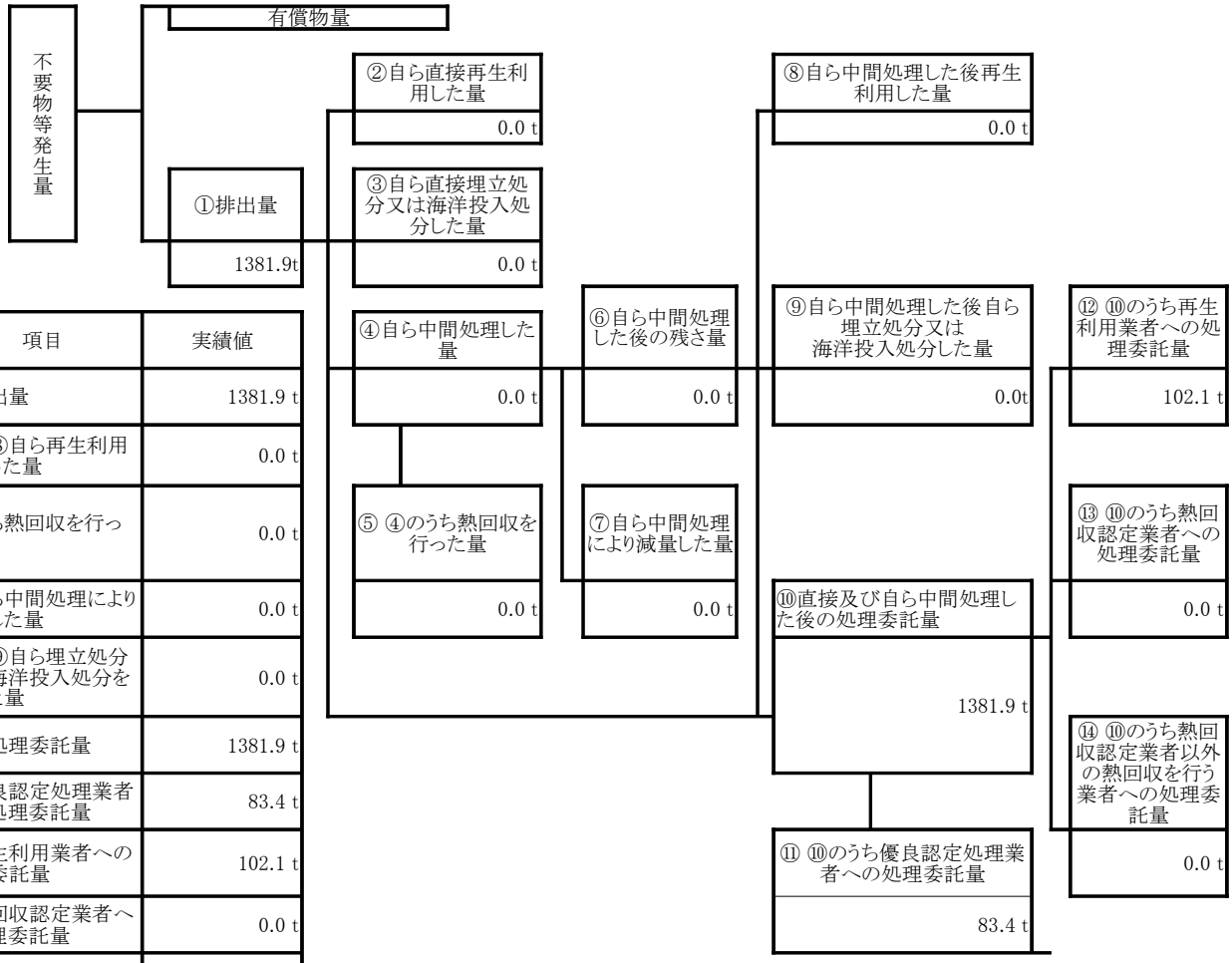


項目	実績値
①排出量	648.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	648.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	569.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	480.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

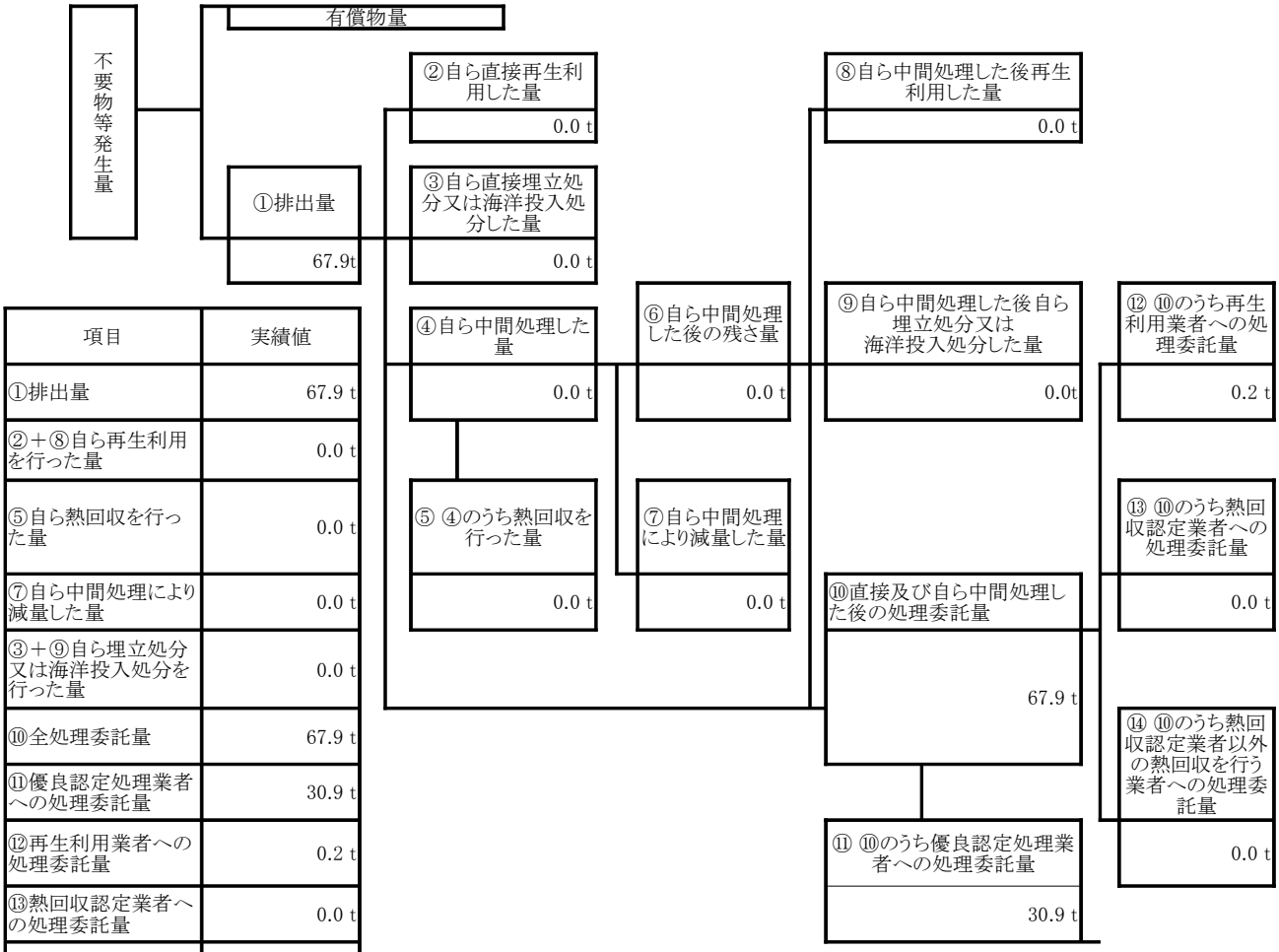


項目	実績値
①排出量	1381.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1381.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	83.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	102.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

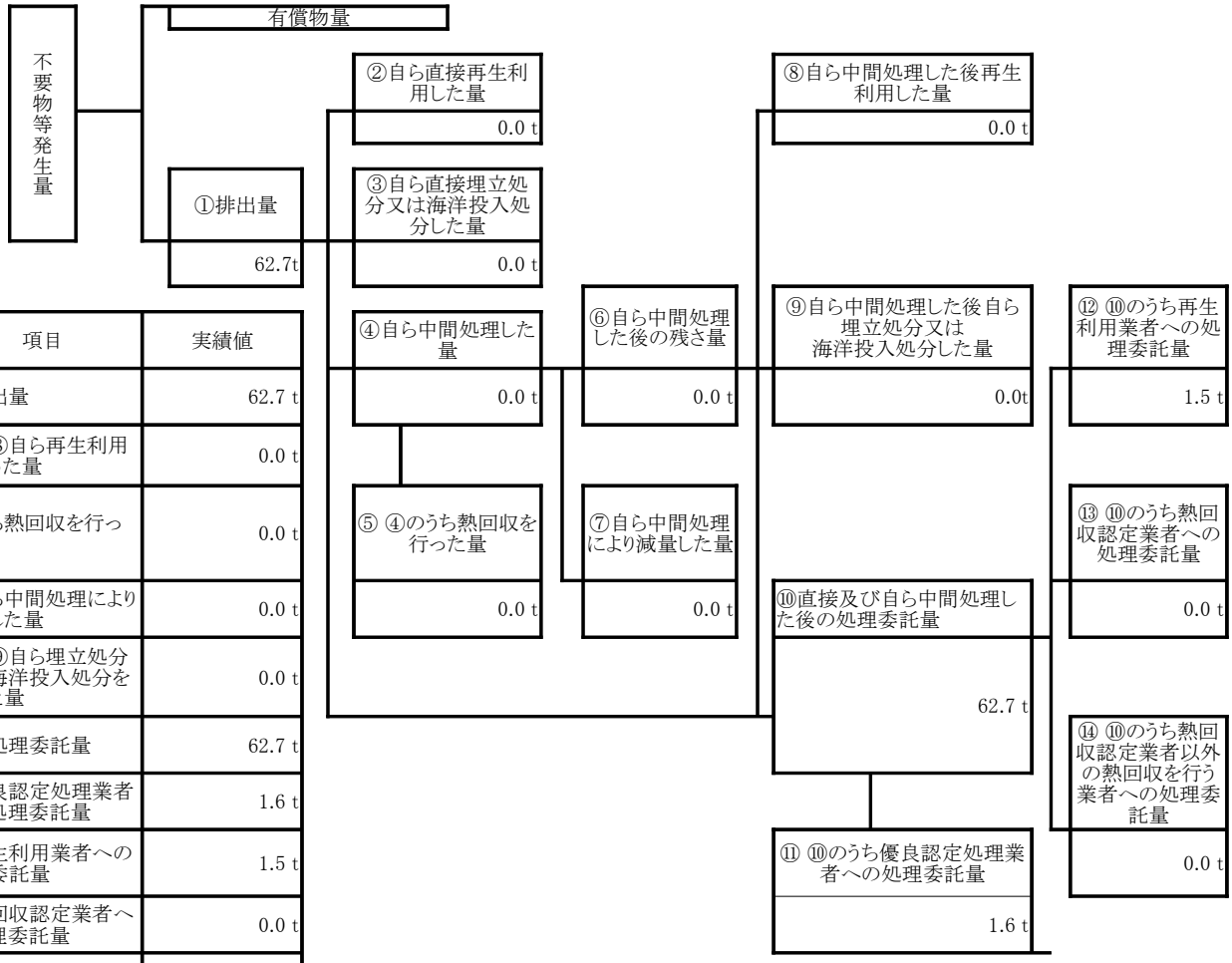


項目	実績値
①排出量	67.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

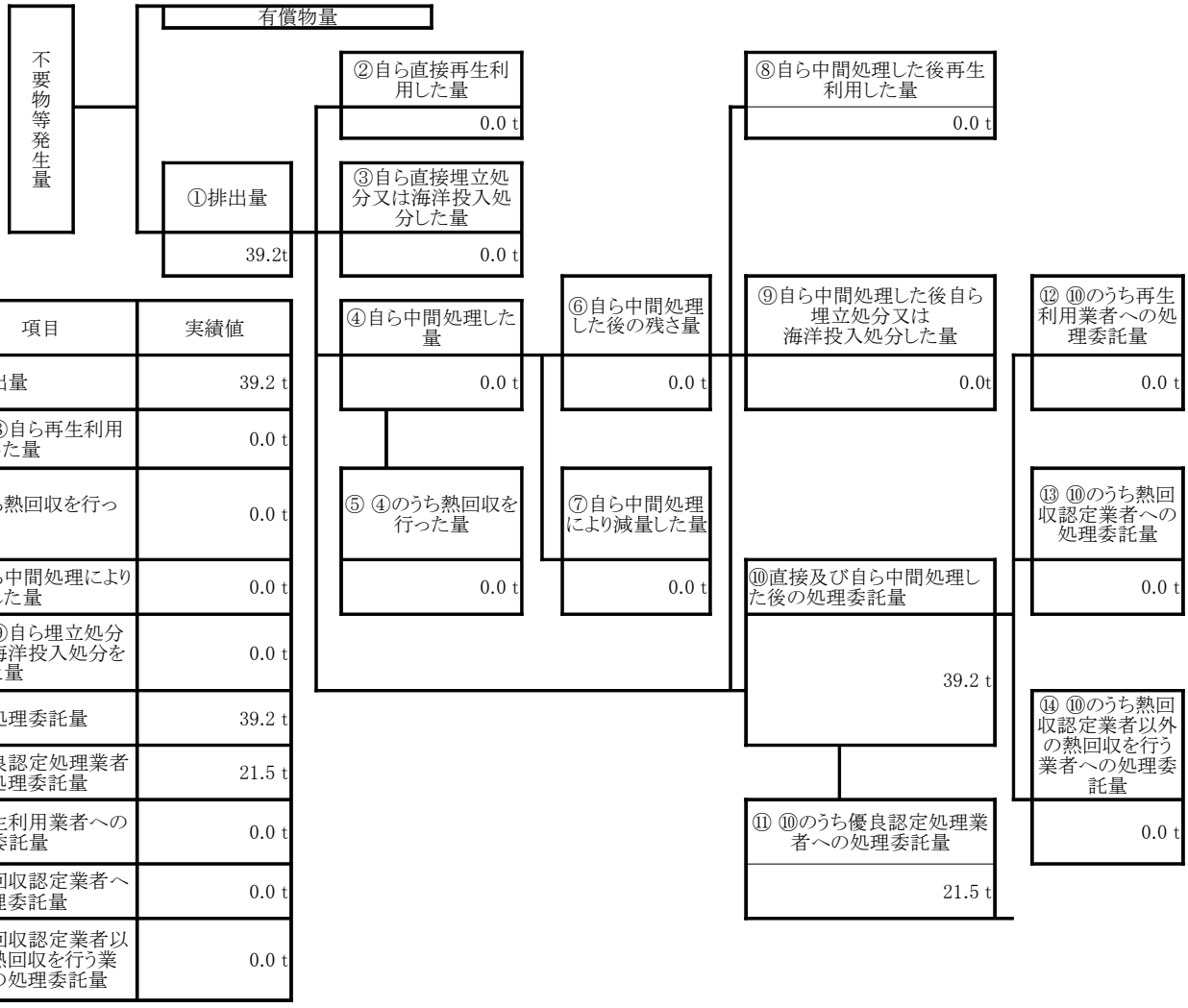


項目	実績値
①排出量	62.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（安定型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

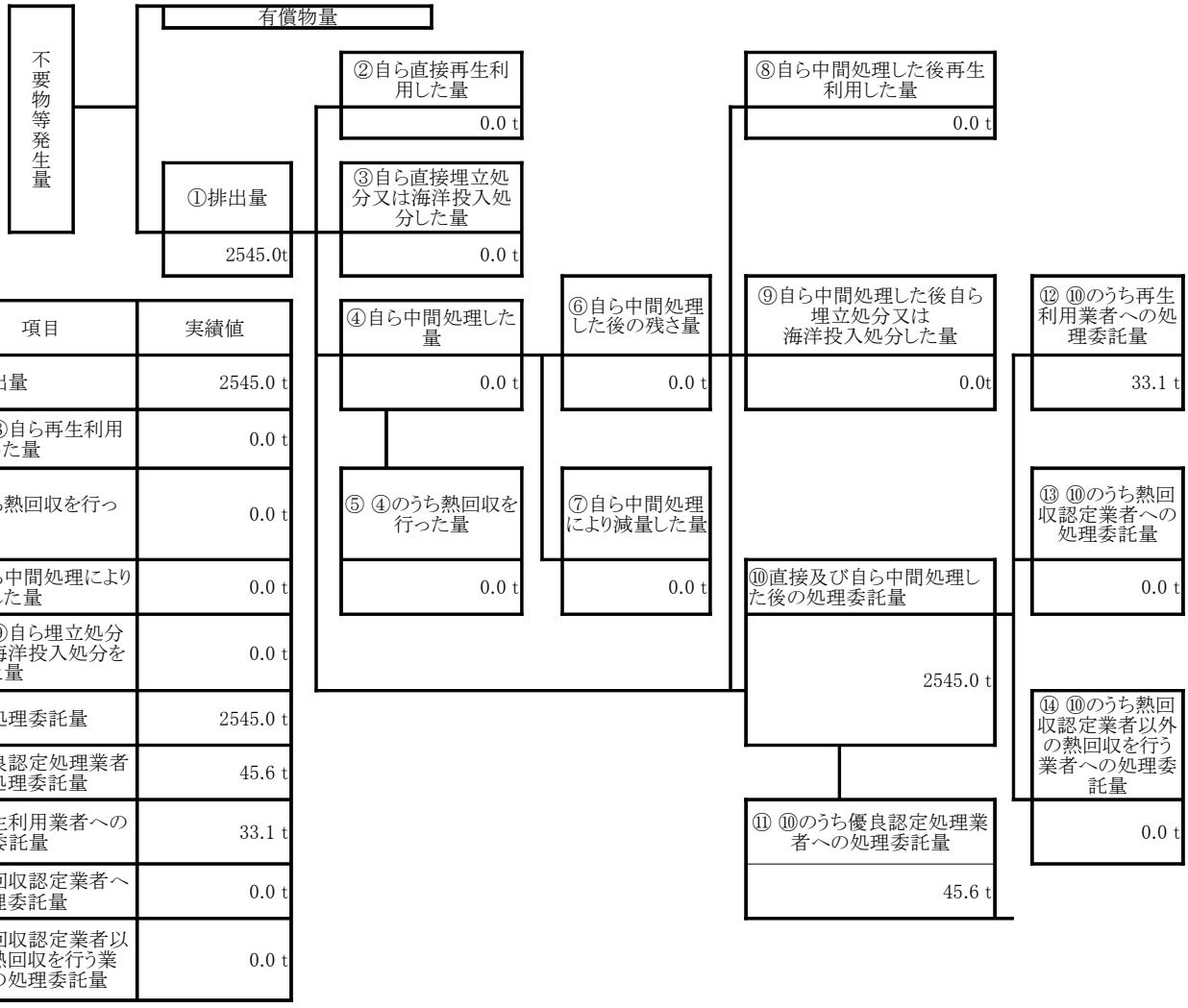


項目	実績値
①排出量	39.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

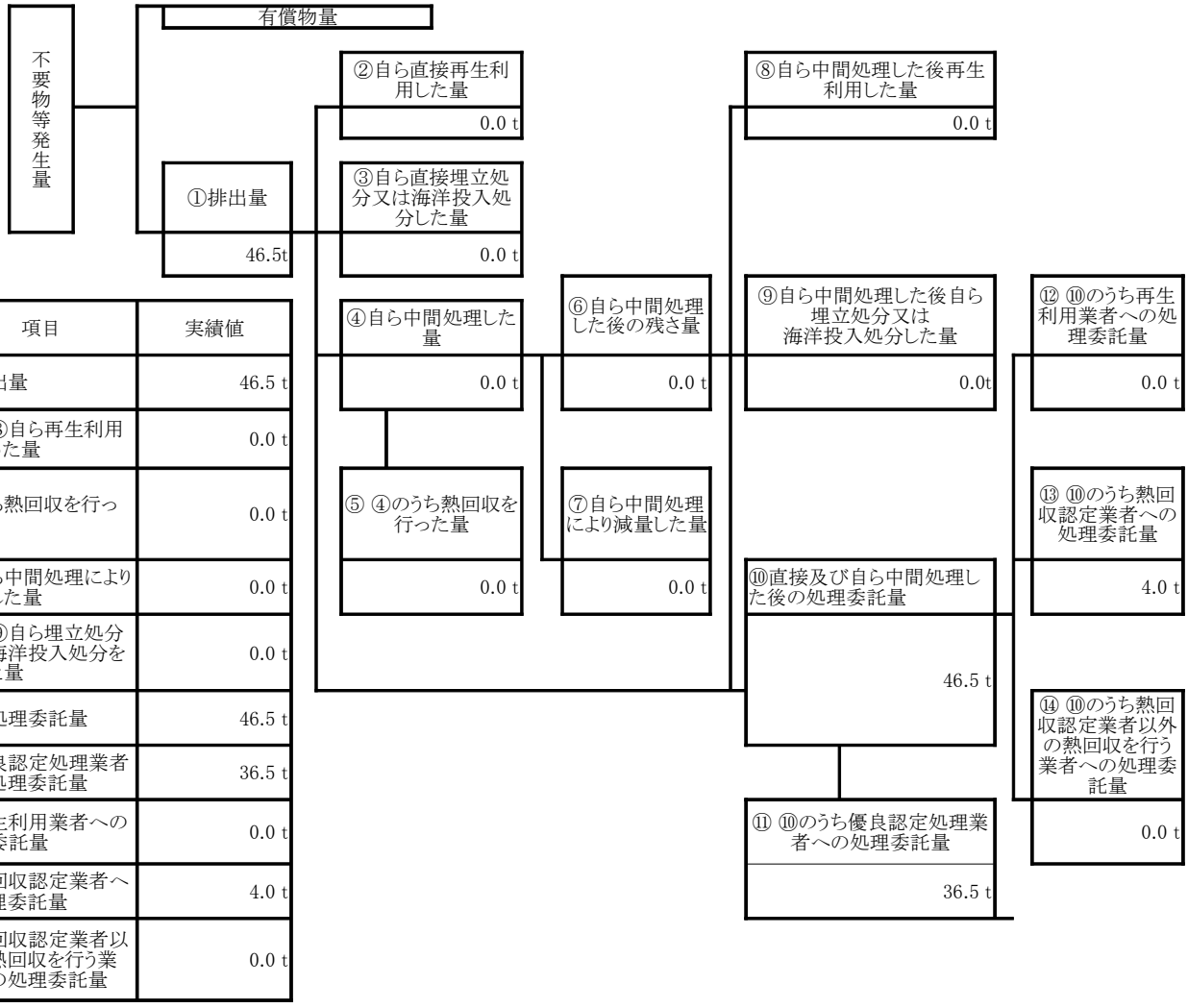


項目	実績値
①排出量	2545.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2545.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	46.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　105-0001

住　所　東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー10階

法人名　株式会社フィールド・パートナーズ

代表者　長沢 泰輔

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6268-8857

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社フィールド・パートナーズ
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー10階
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　D06－総合工事業
②事業の規模	売上26,790百万円（2024年度）
③従業員数	185名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→委託（中間処理：固形化)→再生利用 廃プラスチック類→委託（中間処理：破砕･圧縮減容）→再生利用・燃料使用 木くず→委託（中間処理：破砕）→再生利用 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず →委託（中間処理：破砕･圧縮減容）→再生利用・最終処分 鉱さい→委託（中間処理：破砕）→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
浄化技術本部長
浄化技術部長
作業所長（産業廃棄物処理計画書作成、産業廃棄物管理）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	615.2 t	3 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	553.7 t	2.7 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・単品袋詰め、またはコンテナに単品集積。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・単品袋詰め、またはコンテナに単品集積し、分別保管のスペースを確保する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃油
全処理委託量		615.2ｔ	３ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	再生利用業者への処理委託量	615.2ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

・再生利用先が確立された中間処理業者を選定した。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>553.7 t</td><td>2.7 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>553.7 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・再生利用先が確立された中間処理業者を選定する。
・優良認定処理業者を優先的に選定する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		排　出　量	158.56 t	0.12 t	1,067.50 t	0.30 t	2.49 t	266.05 t	973.19 t	15,800.08 t	48.81 t	1,028.84 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		排　出　量	142.70 t	0.11 t	960.75 t	0.27 t	2.24 t	239.45 t	875.87 t	14,220.07 t	43.93 t	925.96 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	②計画	【目標】										
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	158.56 t	0.12 t	1,067.50 t	0.30 t	2.49 t	266.05 t	973.19 t	15,800.08 t	48.81 t	1,028.84 t
優良認定処理業者への処理委託量	158.56 t	0.12 t	824.63 t	0.30 t	2.49 t	266.05 t	0.00 t	2,157.84 t	48.81 t	1,026.34 t
再生利用業者への処理委託量	158.56 t	0.12 t	1,067.50 t	0.30 t	2.49 t	264.05 t	973.19 t	15,800.08 t	47.61 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	混合廃棄物その他	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	142.70 t	0.11 t	960.75 t	0.27 t	2.24 t	239.45 t	875.87 t	14,220.07 t	43.93 t	925.96 t
優良認定処理業者への処理委託量	142.70 t	0.11 t	742.17 t	0.27 t	2.24 t	239.45 t	0.00 t	1,942.06 t	43.93 t	923.71 t
再生利用業者への処理委託量	142.70 t	0.11 t	960.75 t	0.27 t	2.24 t	237.65 t	875.87 t	14,220.07 t	42.85 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月19日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　105-0001

住所　東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー10階

法人名 株式会社フィールド・パートナーズ

代表者 長沢 泰輔

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6268-8857

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フィールド・パートナーズ
事業場の所在地	東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー10階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

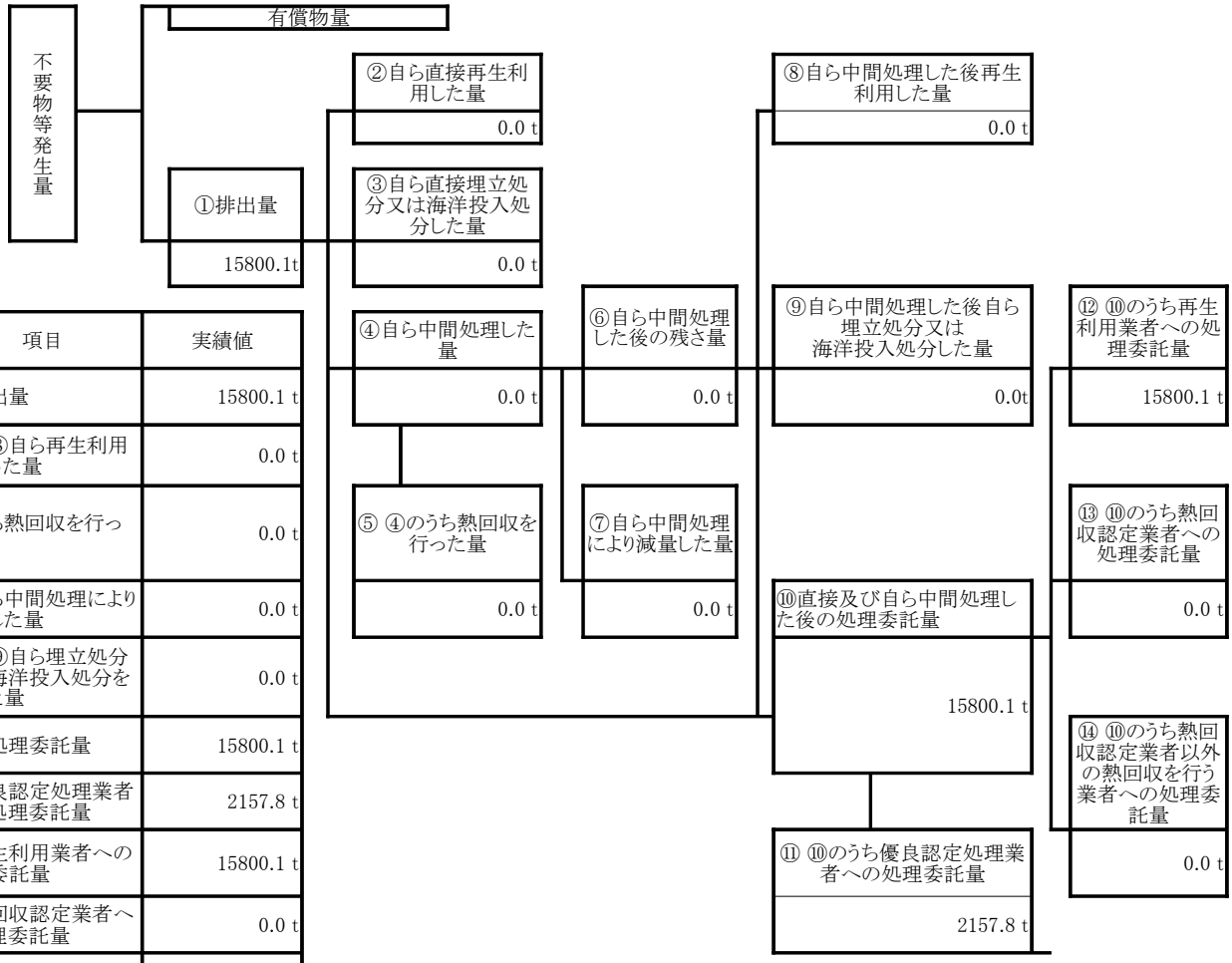
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3881.3 t	全処理委託量	3881.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	434.9 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3585.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（日本産業規格　A列4番）

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

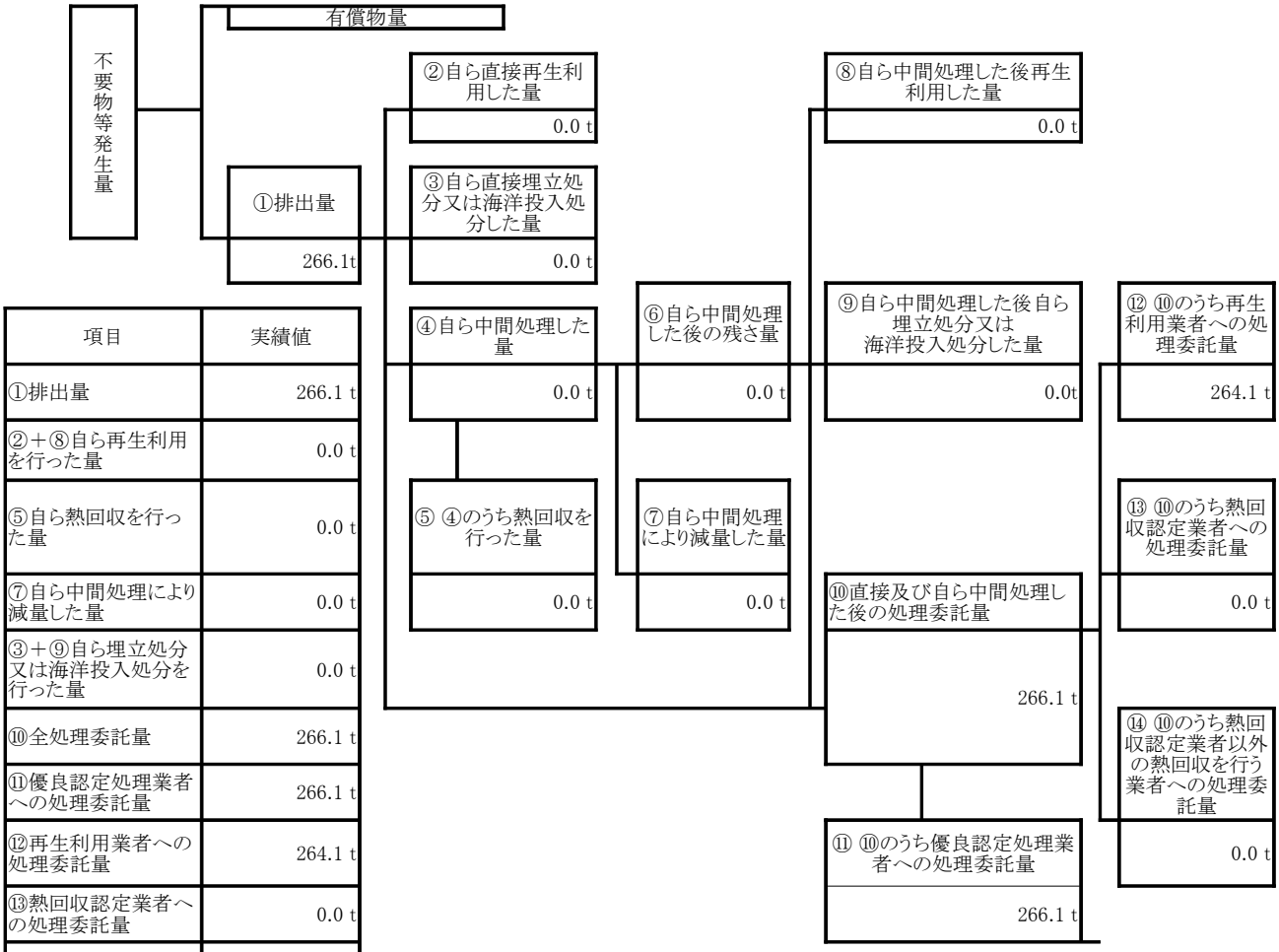


項目	実績値
①排出量	15800.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15800.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2157.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15800.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず、コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



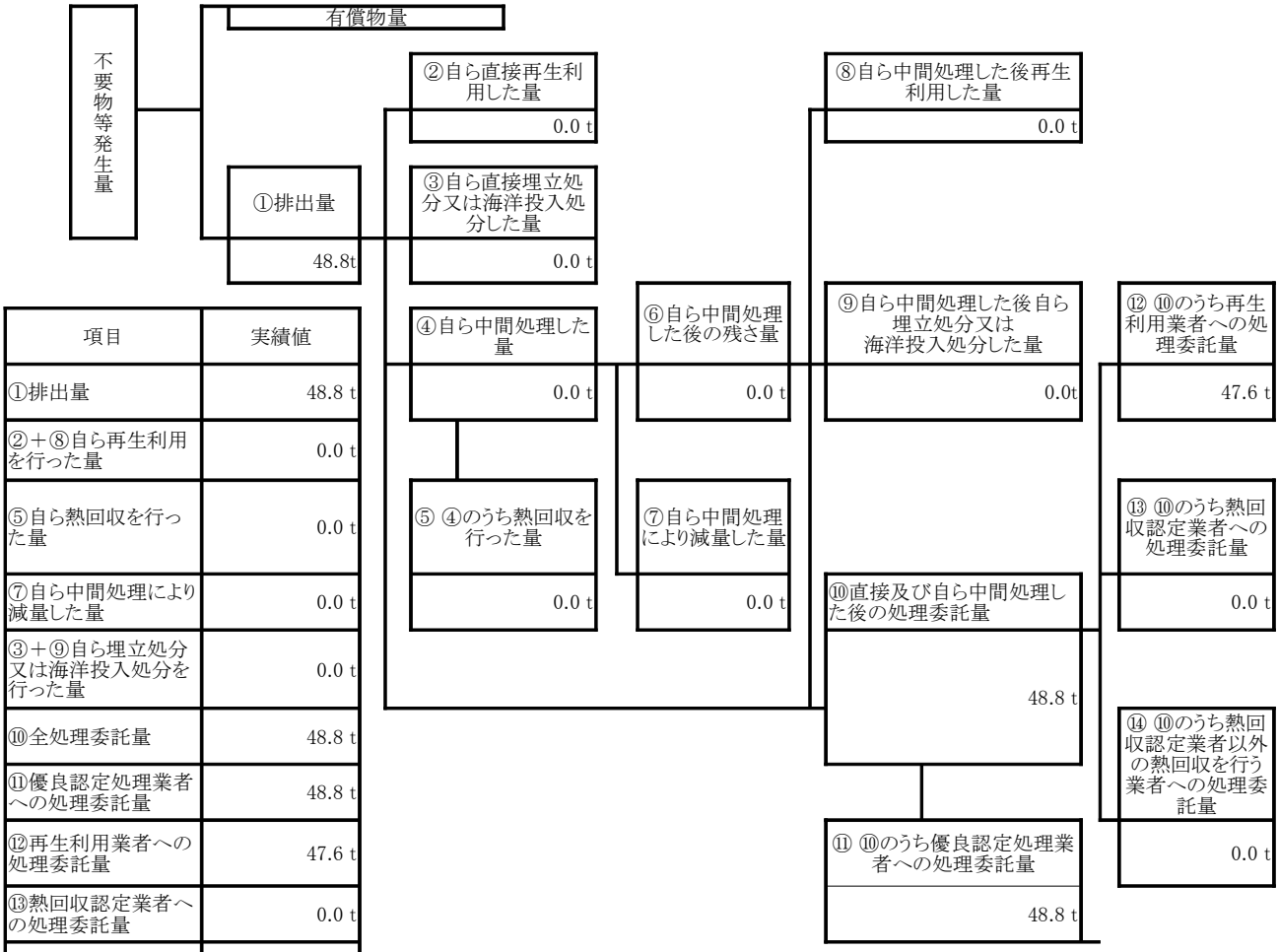
項目	実績値
①排出量	266.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	266.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	266.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	264.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**混合廃棄物その他**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

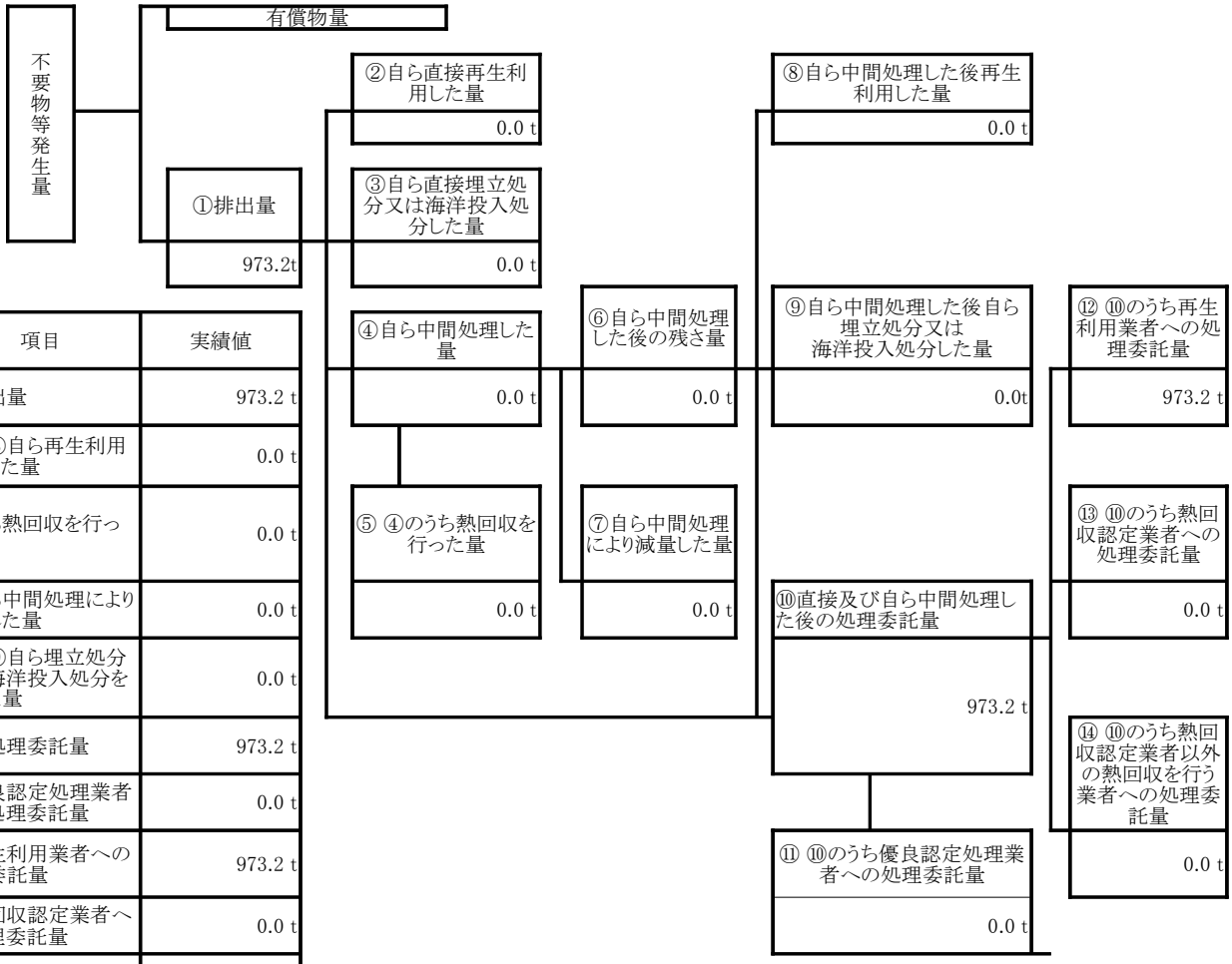


項目	実績値
①排出量	48.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	48.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	48.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **鉱さい** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

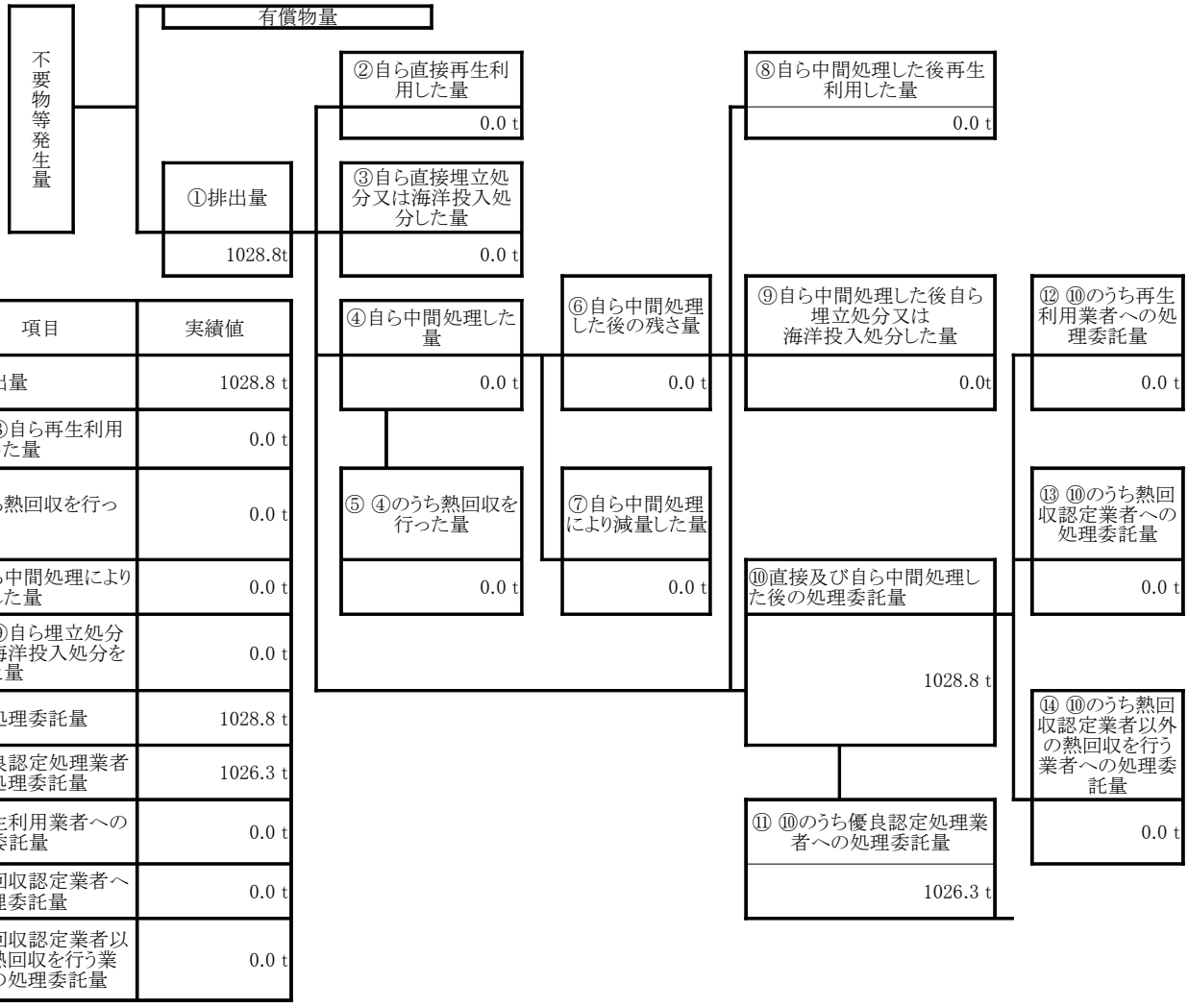


項目	実績値
①排出量	973.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	973.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	973.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**石綿含有産業廃棄物**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

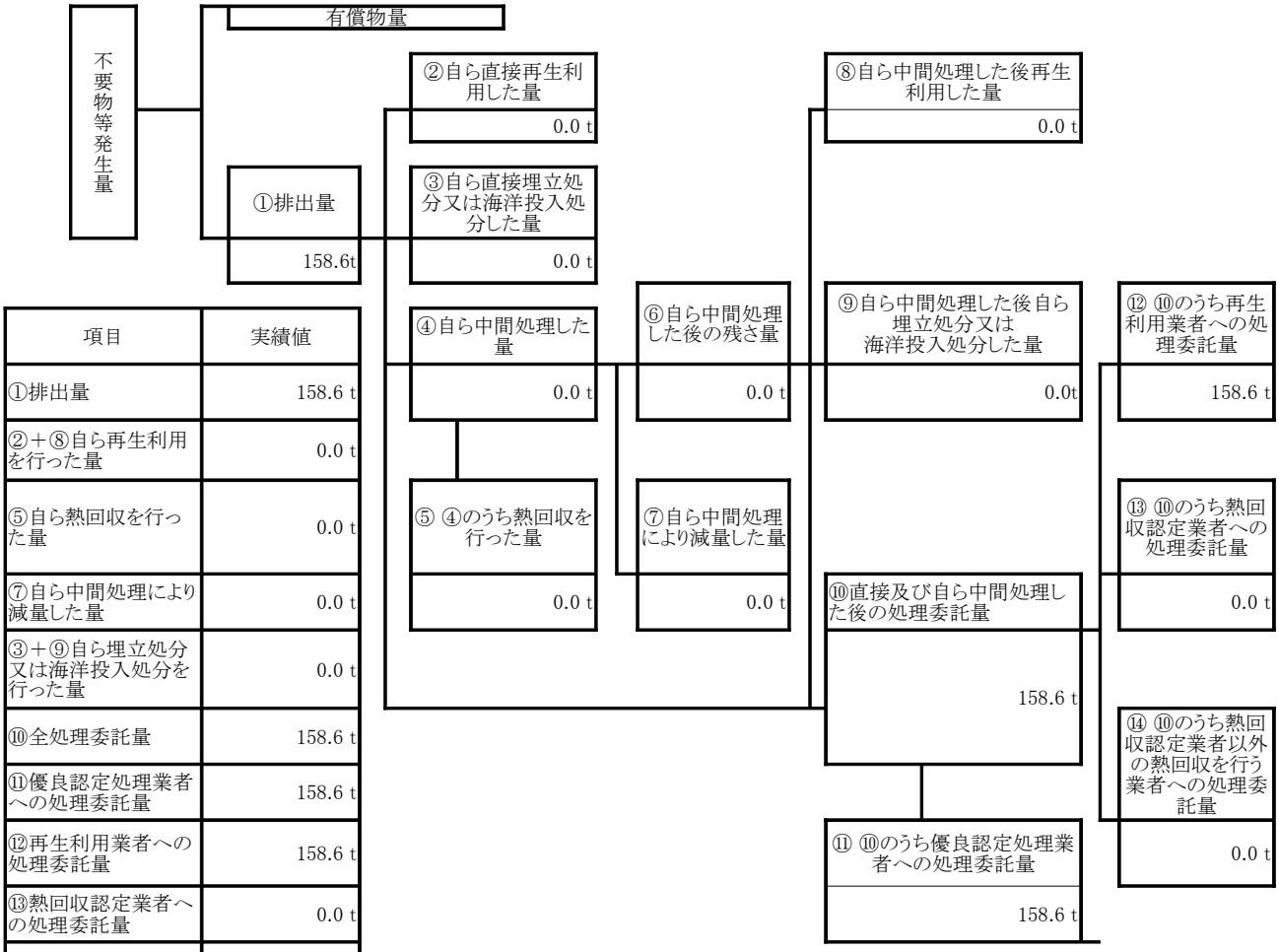


項目	実績値
①排出量	1028.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1028.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1026.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

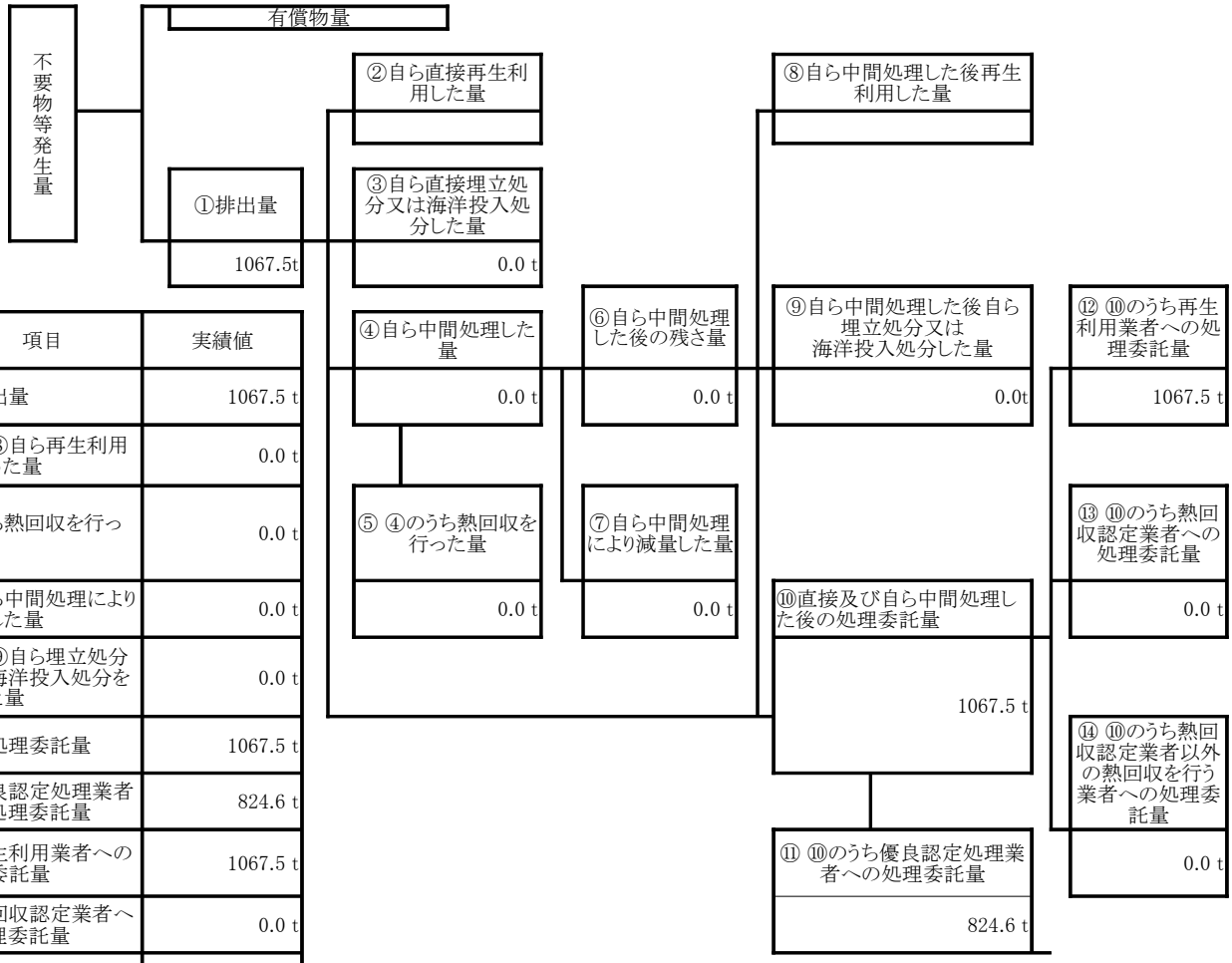


項目	実績値
①排出量	158.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	158.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	158.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	158.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

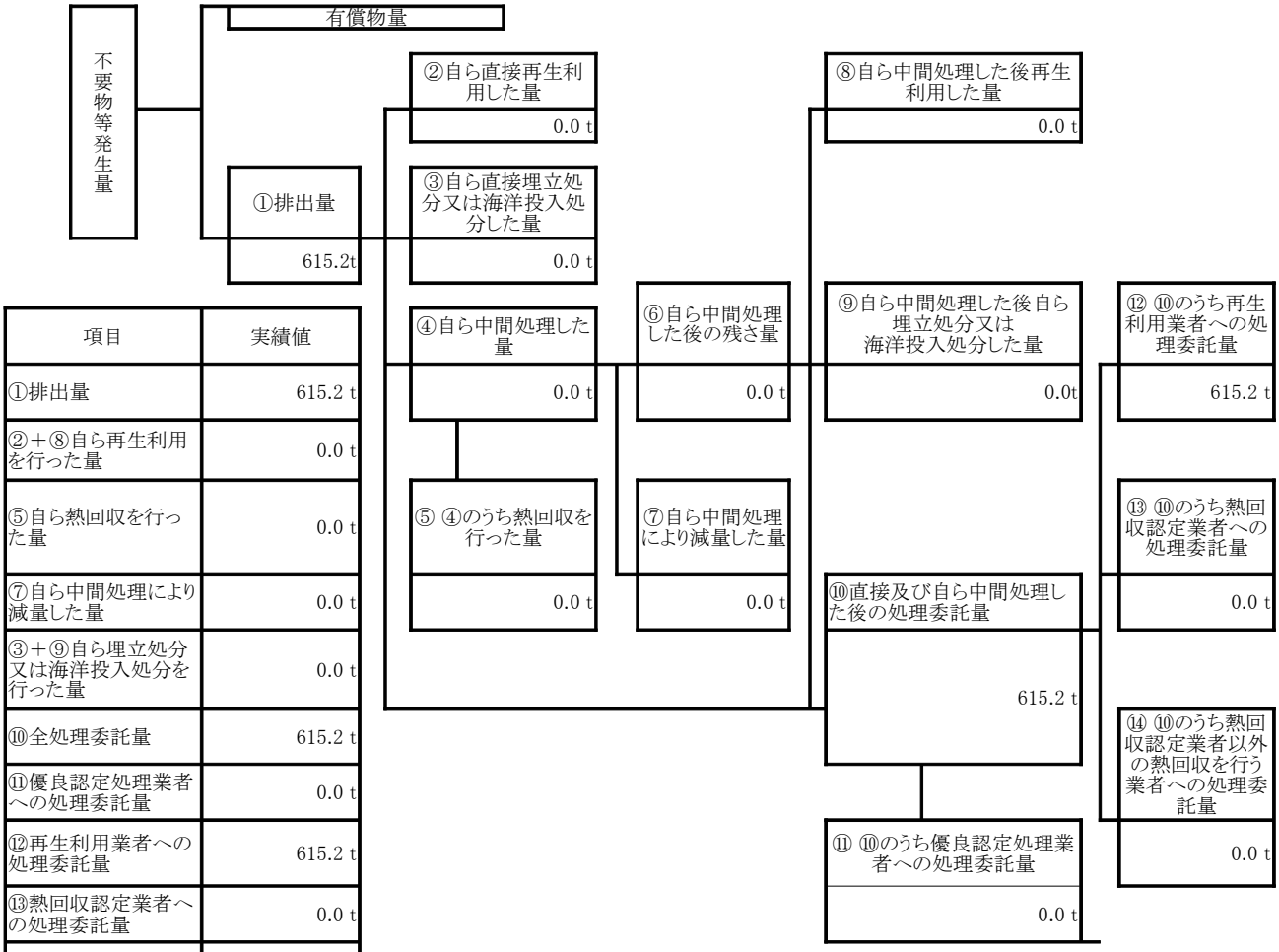


項目	実績値
①排出量	1067.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1067.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	824.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1067.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 汚泥 ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

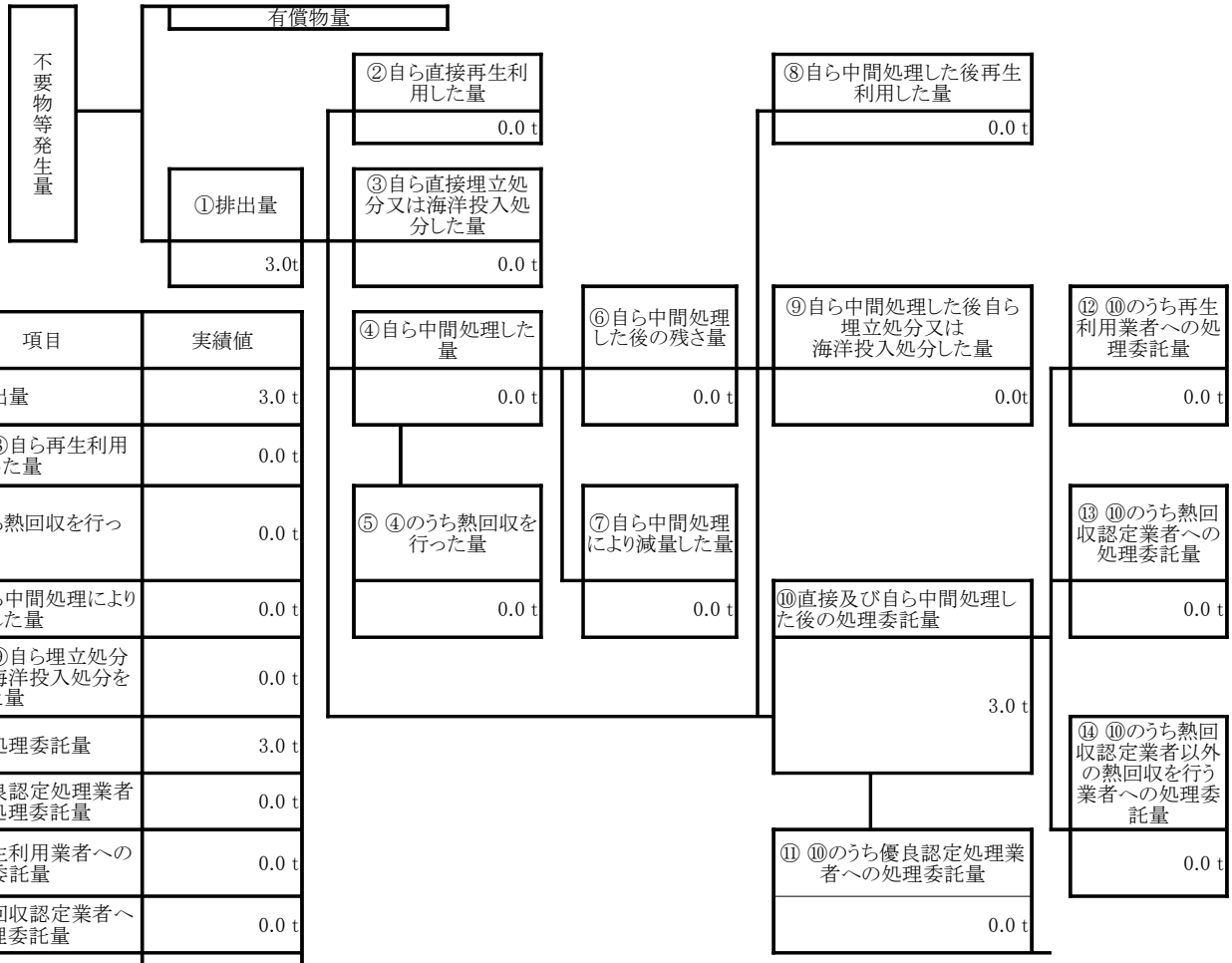


項目	実績値
①排出量	615.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	615.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	615.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

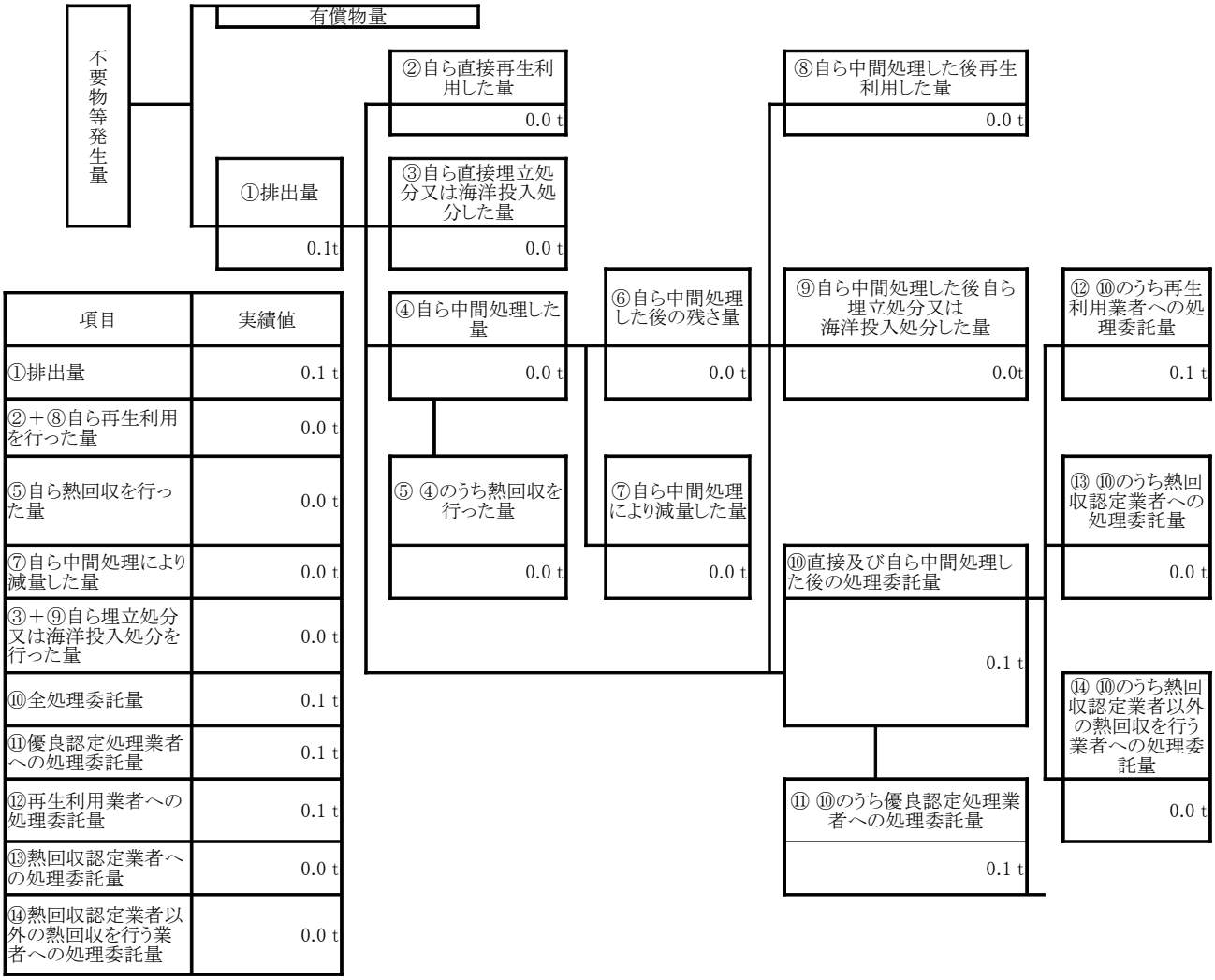


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

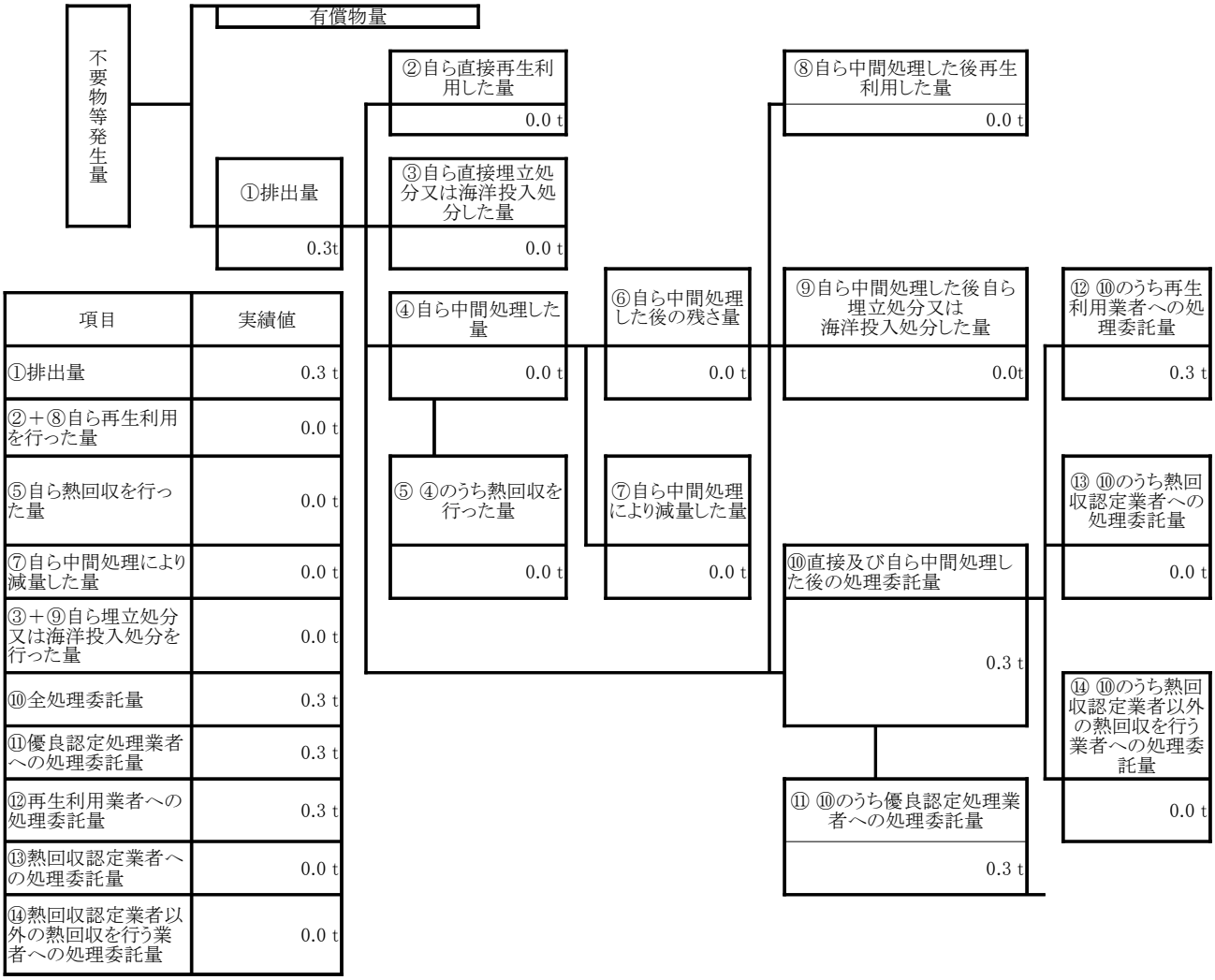


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

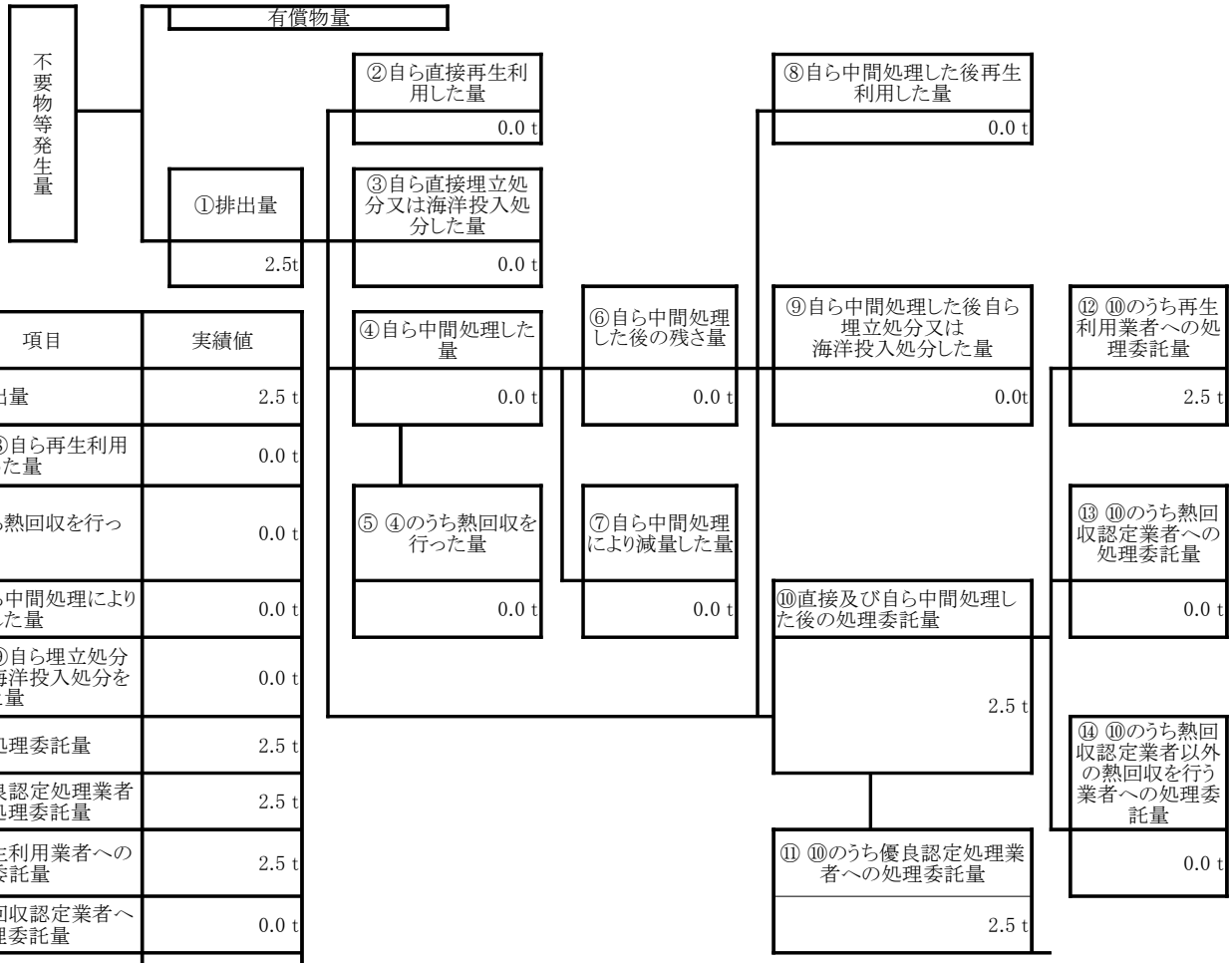


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　102-0073

住　所　東京都千代田区九段北3-2-4

法人名　株式会社福田組　東京本店

代表者　須田 敏明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5216-4885

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社福田組　東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区九段北３－２－４（現場：市川市、松戸市、他）
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	建設工事元請完成工事高　29,301,986,062円
③従業員数	225名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
排出量	1993 t	202 t

（これまでに実施した取組）

当初の設計数量より過剰に産業廃棄物を発生させないよう指導しています。契約数量に対しある程度の増減は許容しますが、大幅に増えている品目については重点管理を行いました。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
排出量	1793.7 t	181.8 t

（今後実施する予定の取組）

分別の徹底を図るとともに、梱包材などは軽微（リデュース）または引き取らせる（リユース）などし、発生自体の抑制を行います。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

土木工事では混合廃棄物の削減に取り組み、「安定型のみ」「管理型含む」の分別を徹底し最終処分量の削減を目指しています。建築工事では施工面積の原単位当りの廃棄物発生抑制に取り組み、集合住宅や店舗などといった工作物ごとに発生量の目標をもうけ監視しています。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

施工計画の段階でおおよそどの品目がどれくらい発生しそうかを想定し、それに見合った分別ボックスを設置するように指導します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アス・コン片	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		アス・コン片	コンクリート片
全処理委託量		1993 t	202 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	90 t
	再生利用業者への処理委託量	1993 t	202 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

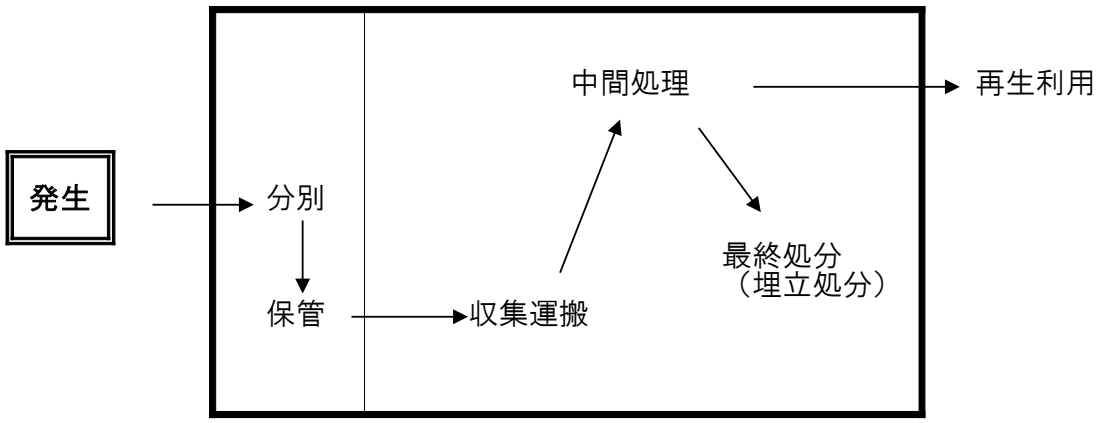
（これまでに実施した取組）

データベースを用いたシステムにより、マニフェスト及び排出量の管理を行っています。これによりマニフェストの回収漏れ（中間処理・最終処分の遅滞）、異常発生（短期間に大量処分）がないか監視できるスキームを構築しています。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アス・コン片</td><td>コンクリート片</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1793.7 t</td><td>181.8 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>179.37 t</td><td>18.18 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1793.7 t</td><td>181.8 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者を積極的に徴用することが望ましいと考えます。現状では優良認定処理業者がまだ少なく、発生場所である現場から遠いなど立地的な問題もありますが、発生場所からほぼ同距離であれば、不法処理・処分などのリスクが少ない優良認定処理業者を積極的に選定するよう指導していきたいと考えます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

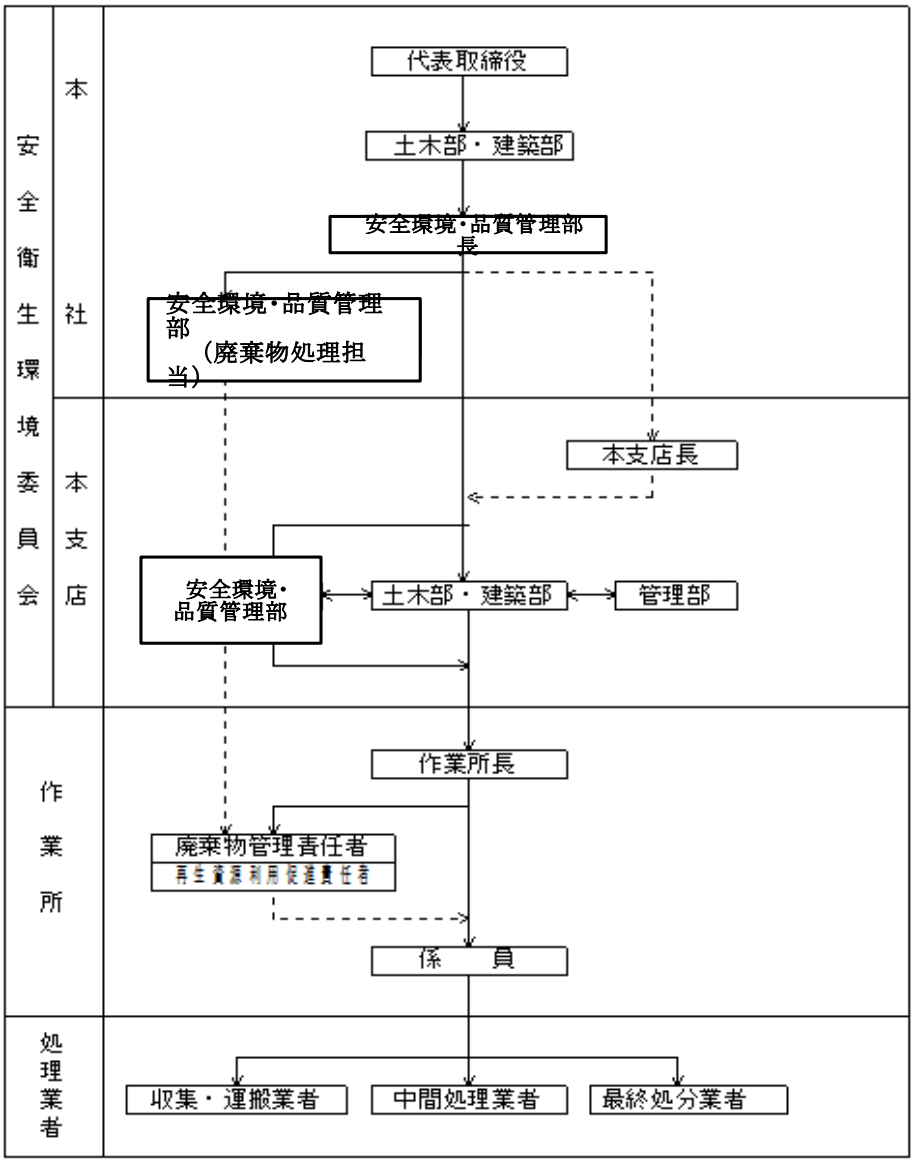
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１　処理工程図



別添２　管理体制図

株式会社　福田組



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状①現

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
出　量排　出	0.59 t	13.00 t	0.30 t	20.70 t	0.40 t	0.45 t	202.00 t	1,993.00 t	17.25 t	46.05 t								

②計画②計

【目標】【目標】

産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
出　量排　出	0.53 t	11.70 t	0.27 t	18.63 t	0.36 t	0.41 t	181.80 t	1,793.70 t	15.53 t	41.45 t								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状①現

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画②計

【目標】【目標】

棄物の種類産業廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状①現	【前年度（令和6年度）実績】																		
	類産業廃棄物の種類産	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
	ら埋立処分又は自ら 廃棄物の量産業廃棄	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
②計画②計	【目標】【目標】【目標】																		
	類産業廃棄物の種類産	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
	埋立処分又は 洋投入処分を行う海洋 産業廃棄物の量産業	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状①現	【前年度（令和6年度）実績】																		
	類産業廃棄物の種類産	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
	全処理委託量全処理委	0.59 t	13.00 t	0.30 t	20.70 t	0.40 t	0.45 t	202.00 t	1,993.00 t	17.25 t	46.05 t								
	認定処理業者への優良認定 処理業者への 処理委託量処理委	0.31 t	13.00 t	0.30 t	20.70 t	0.40 t	0.45 t	90.00 t	0.00 t	17.25 t	46.05 t								
	再生利用業者への 処理委託量処理委	0.59 t	13.00 t	0.30 t	20.70 t	0.40 t	0.45 t	202.00 t	1,993.00 t	17.25 t	46.05 t								
	認定熱回収業者への 処理委託量処理委	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
	収業者以外の認定熱回収業 行う業者への熱回収を行う 処理委託量処理委	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
②計画②計	【目標】【目標】																		
	棄物の種類産業廃棄物	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）								
	全処理委託量全処理委	0.53 t	11.70 t	0.27 t	18.63 t	0.36 t	0.41 t	181.80 t	1,793.70 t	15.53 t	41.45 t								
	認定処理業者への優良認定 処理業者への 処理委託量処理委	0.05 t	1.17 t	0.03 t	1.86 t	0.04 t	0.04 t	18.18 t	179.37 t	1.55 t	4.15 t								
	再生利用業者への 処理委託量処理委	0.53 t	11.70 t	0.27 t	18.63 t	0.36 t	0.41 t	181.80 t	1,793.70 t	15.53 t	41.45 t								
	定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t								

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　102-0073

住所 東京都千代田区九段北3-2-4

法人名 株式会社福田組　東京本店

代表者 須田 敏明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5216-4885

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社福田組　東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区九段北3－2－4(現場:市川市、松戸市、他)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

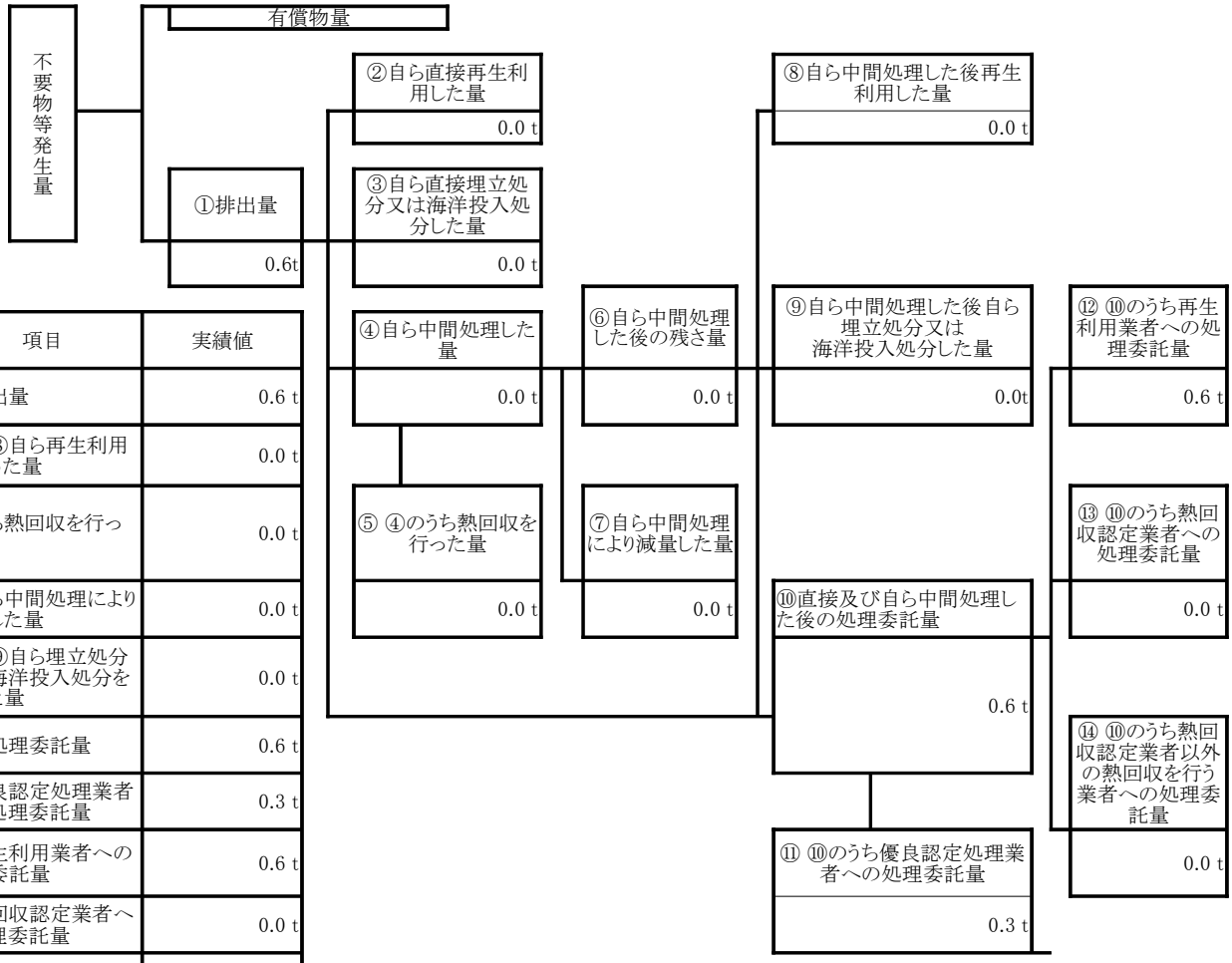
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3744.77 t	全処理委託量	3774.77 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	377.49 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3774.77 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

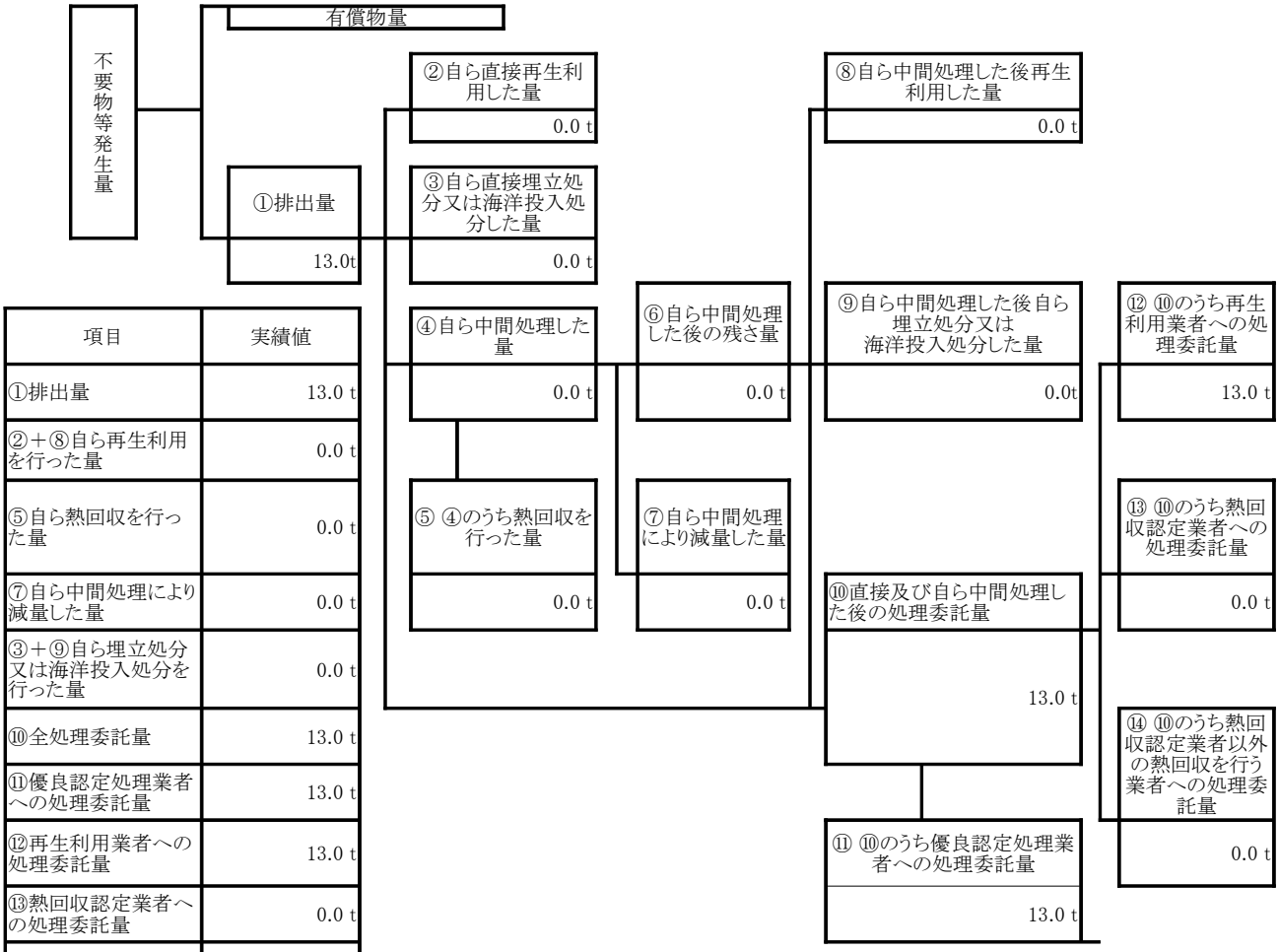


項目	実績値
①排出量	0.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

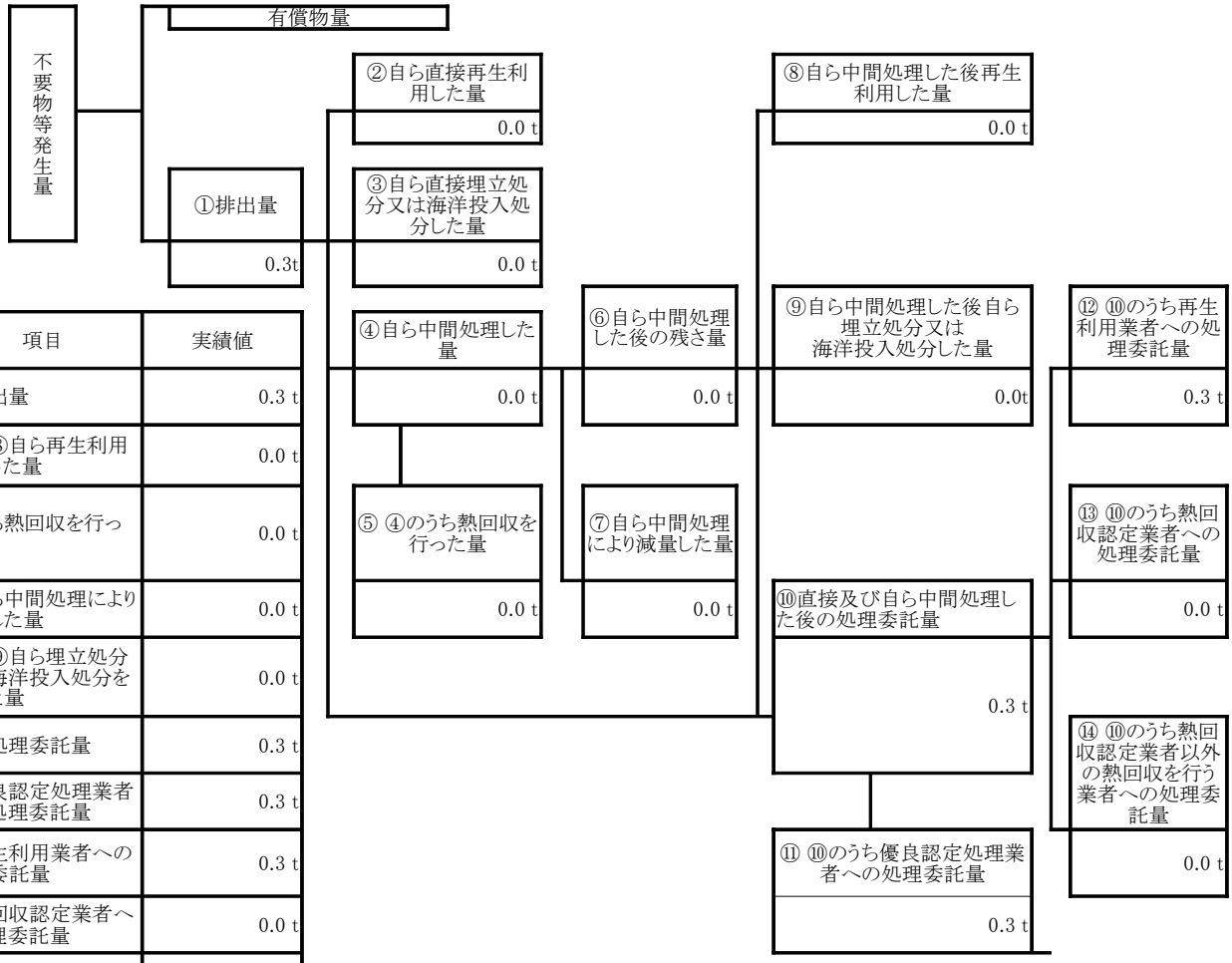


項目	実績値
①排出量	13.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

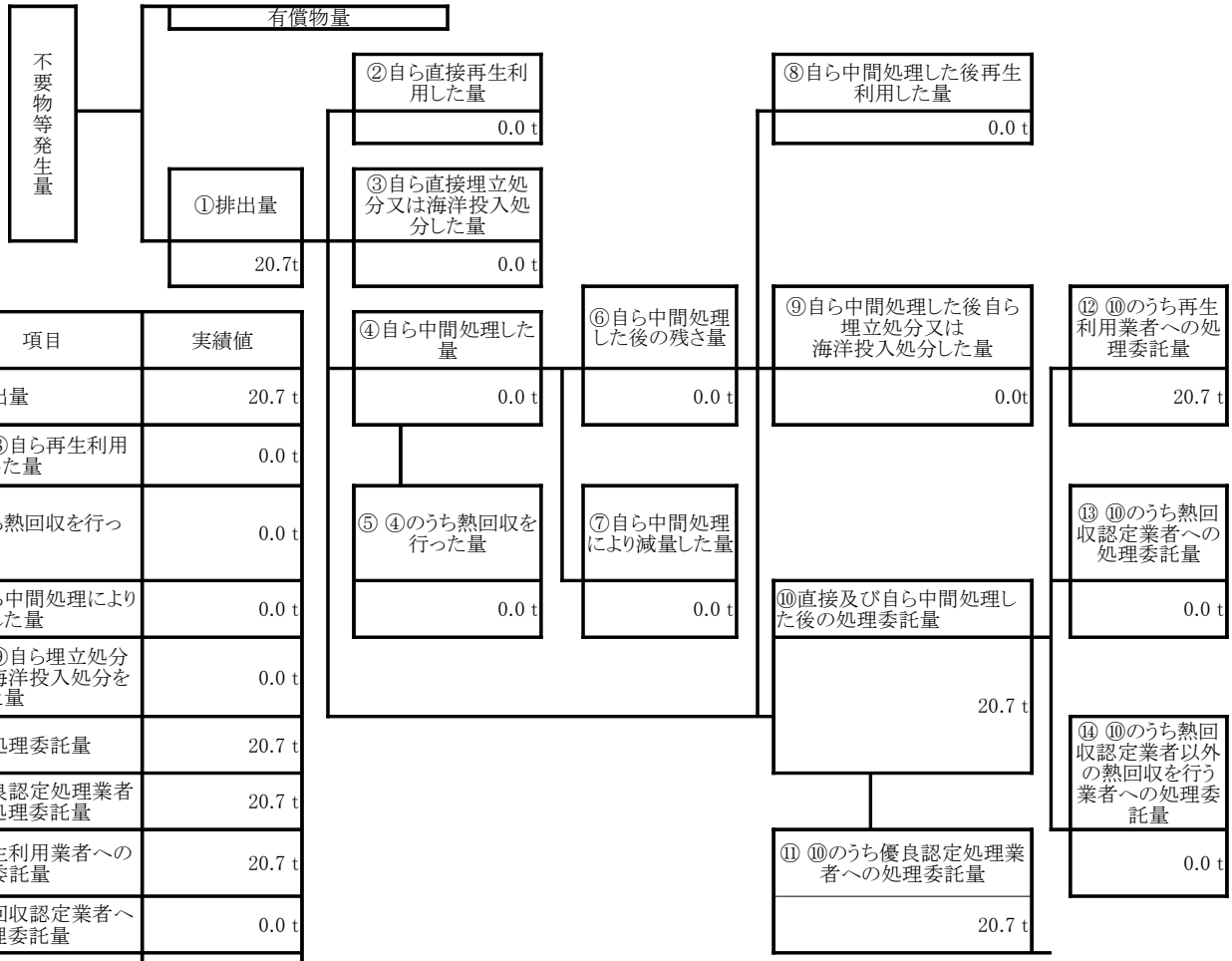


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

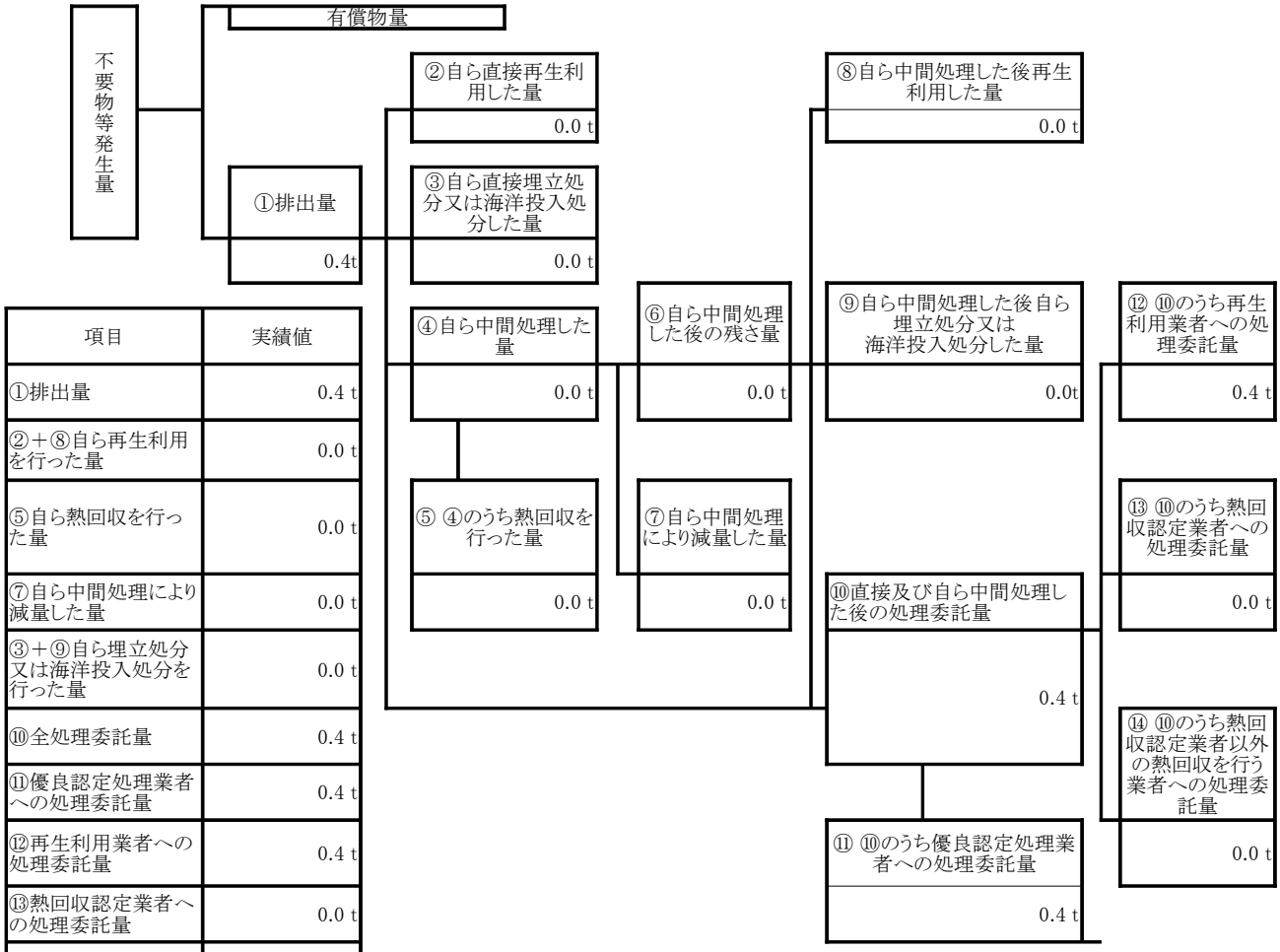


項目	実績値
①排出量	20.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

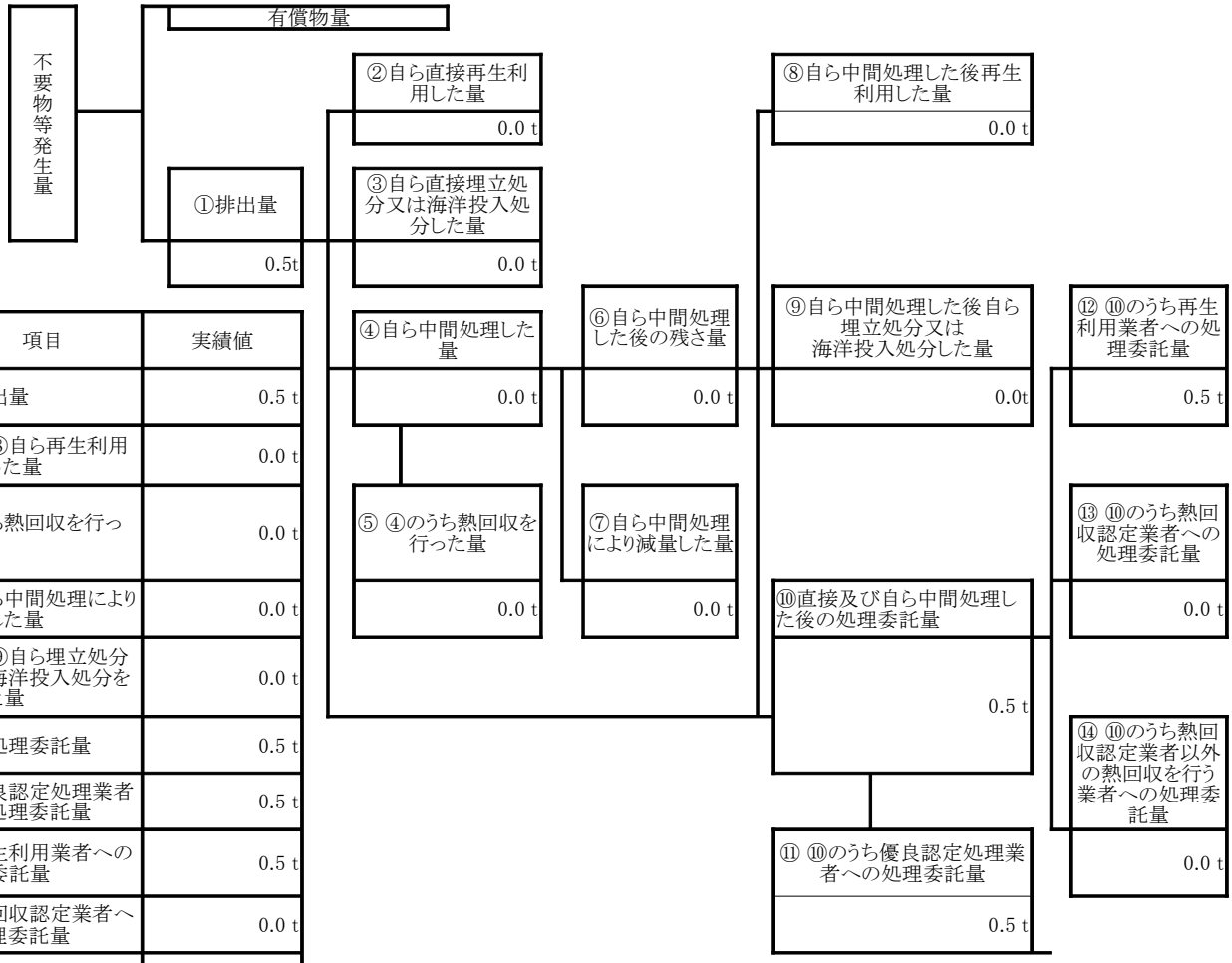


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

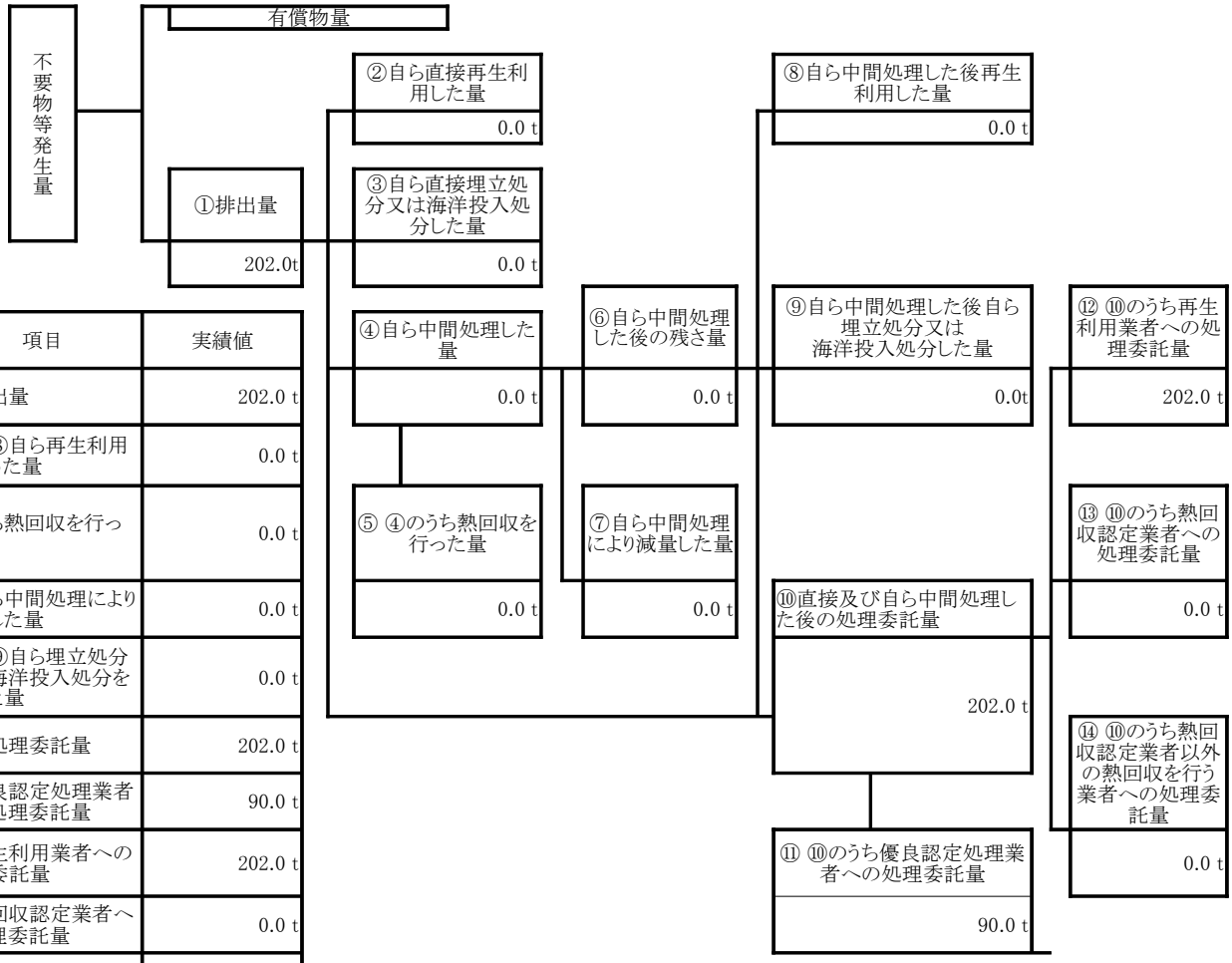


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

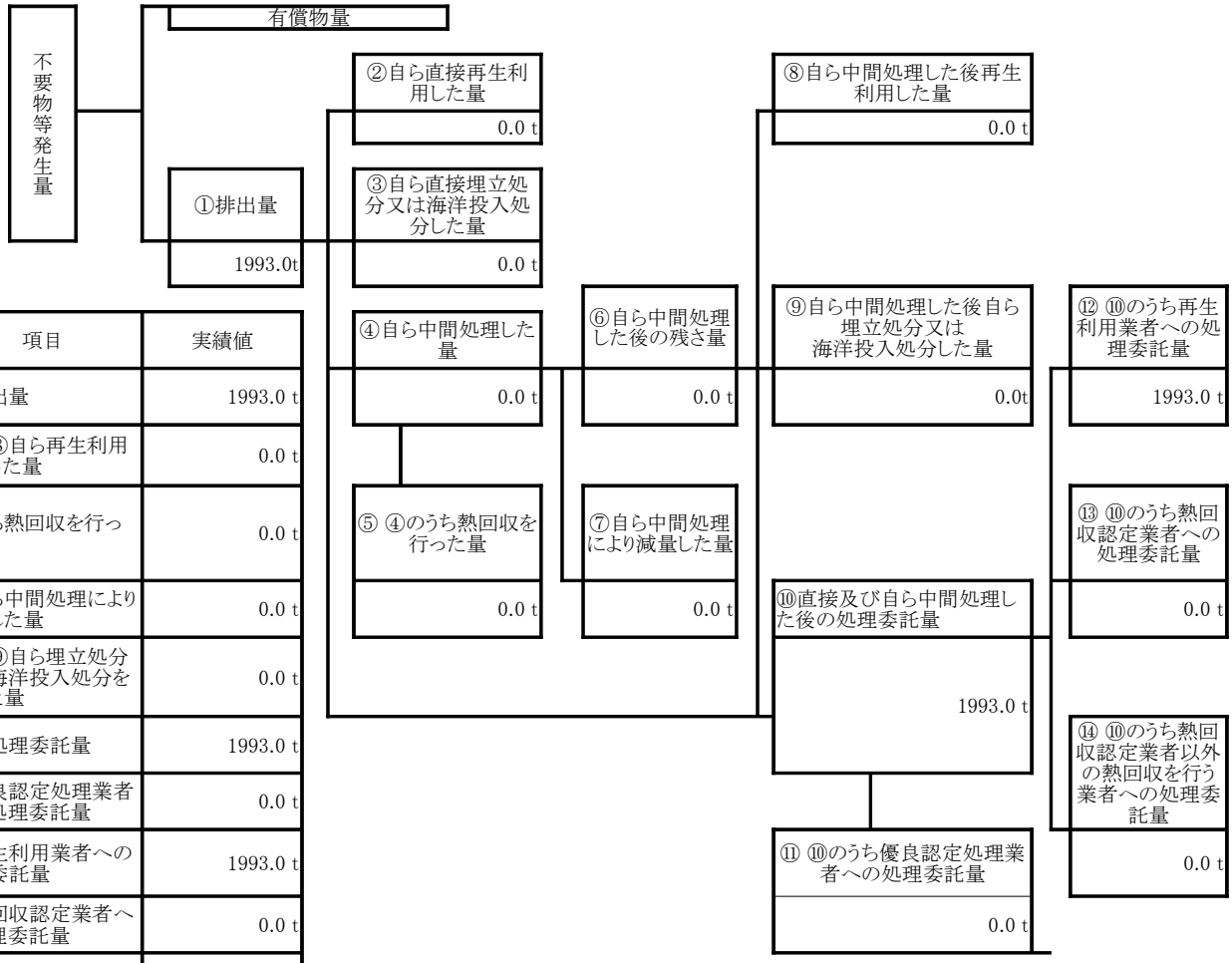


項目	実績値
①排出量	202.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	202.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	90.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	202.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アス・コン片　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

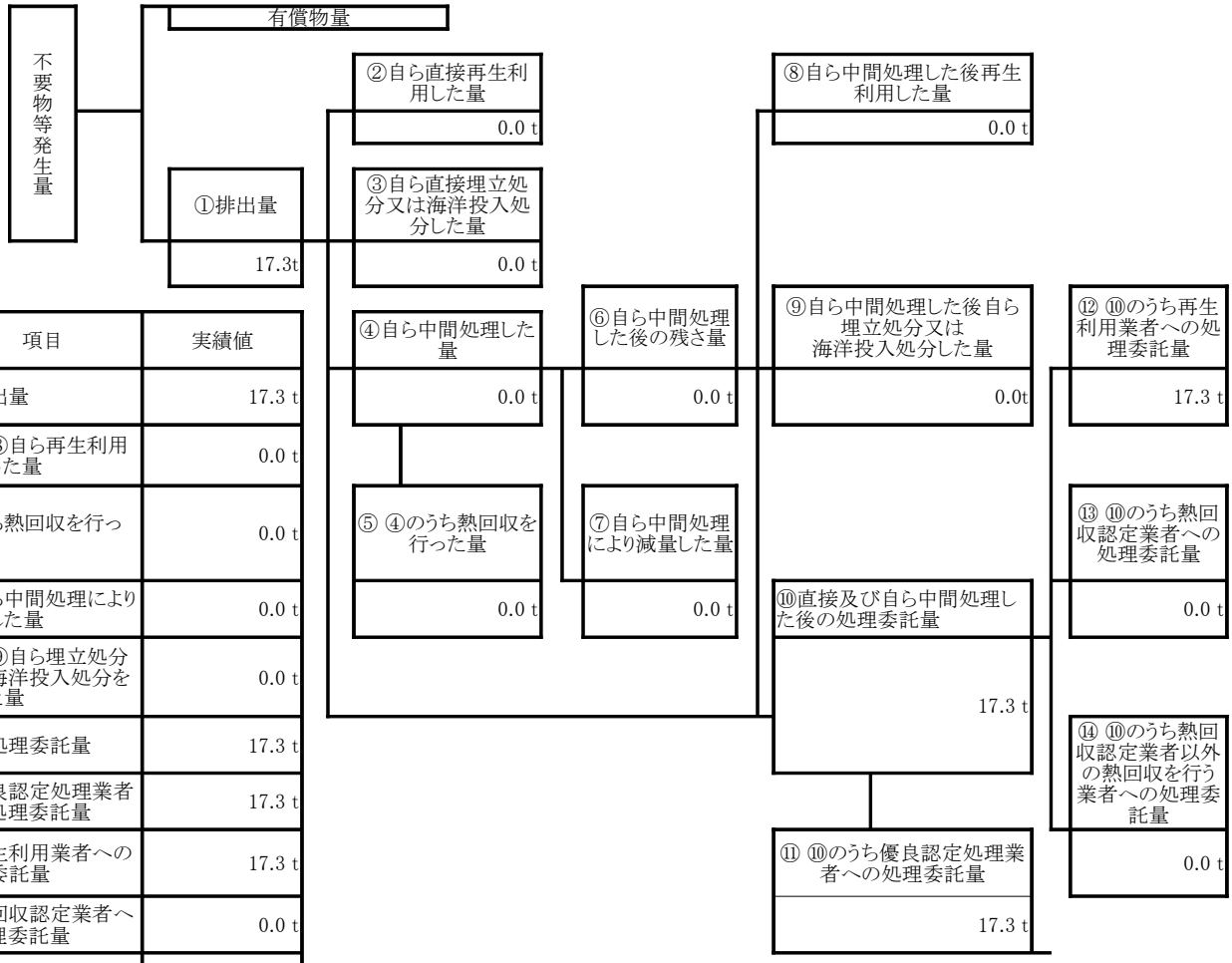


項目	実績値
①排出量	1993.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1993.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1993.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

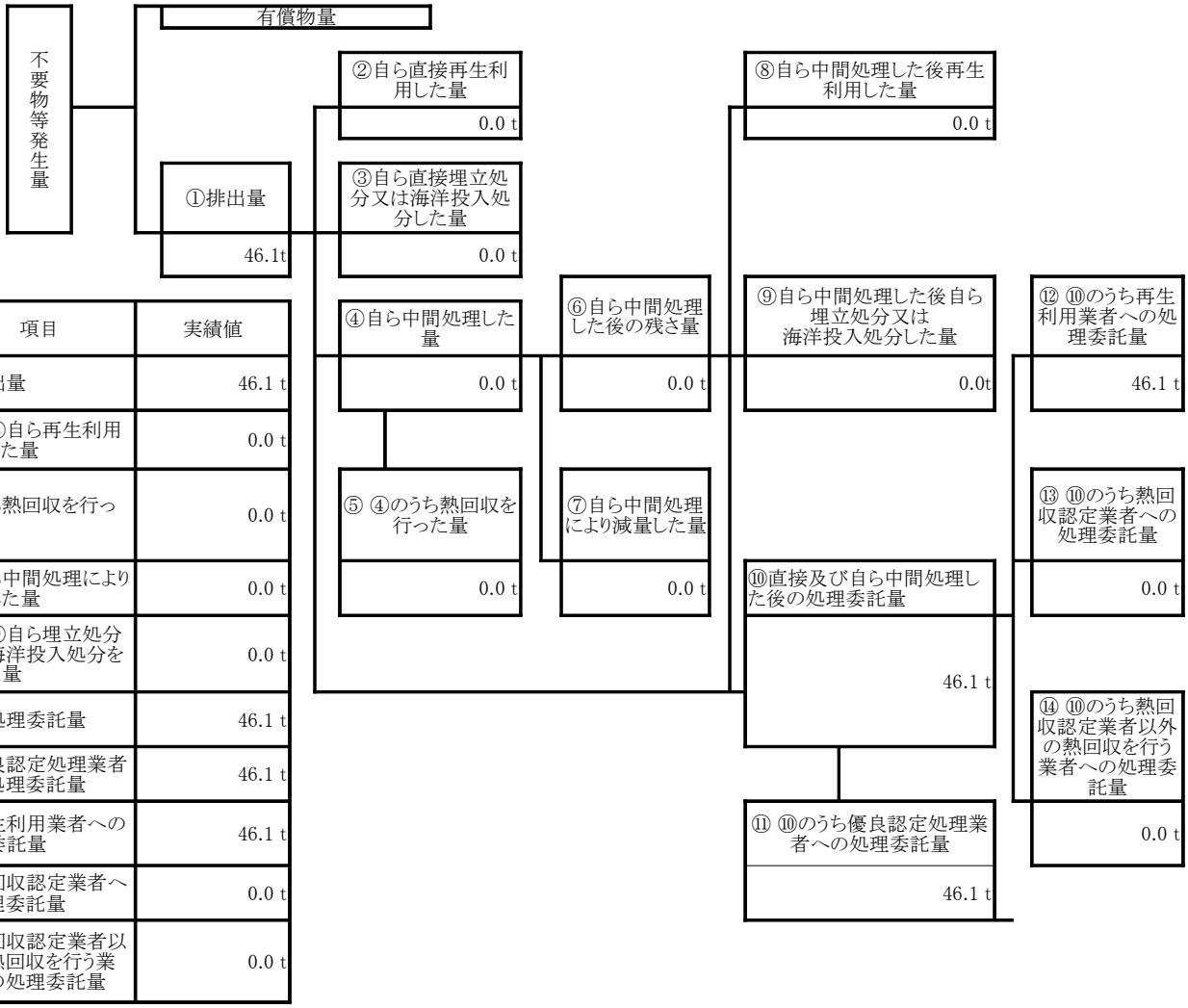


項目	実績値
①排出量	17.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物（管理型）**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	46.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　264-0028

住所 千葉県千葉市若葉区桜木7-7-7

法人名 福田道路株式会社千葉営業所

代表者 酒井 裕

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-233-7721

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	福田道路株式会社千葉営業所
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	大分類　建設業　中分類
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

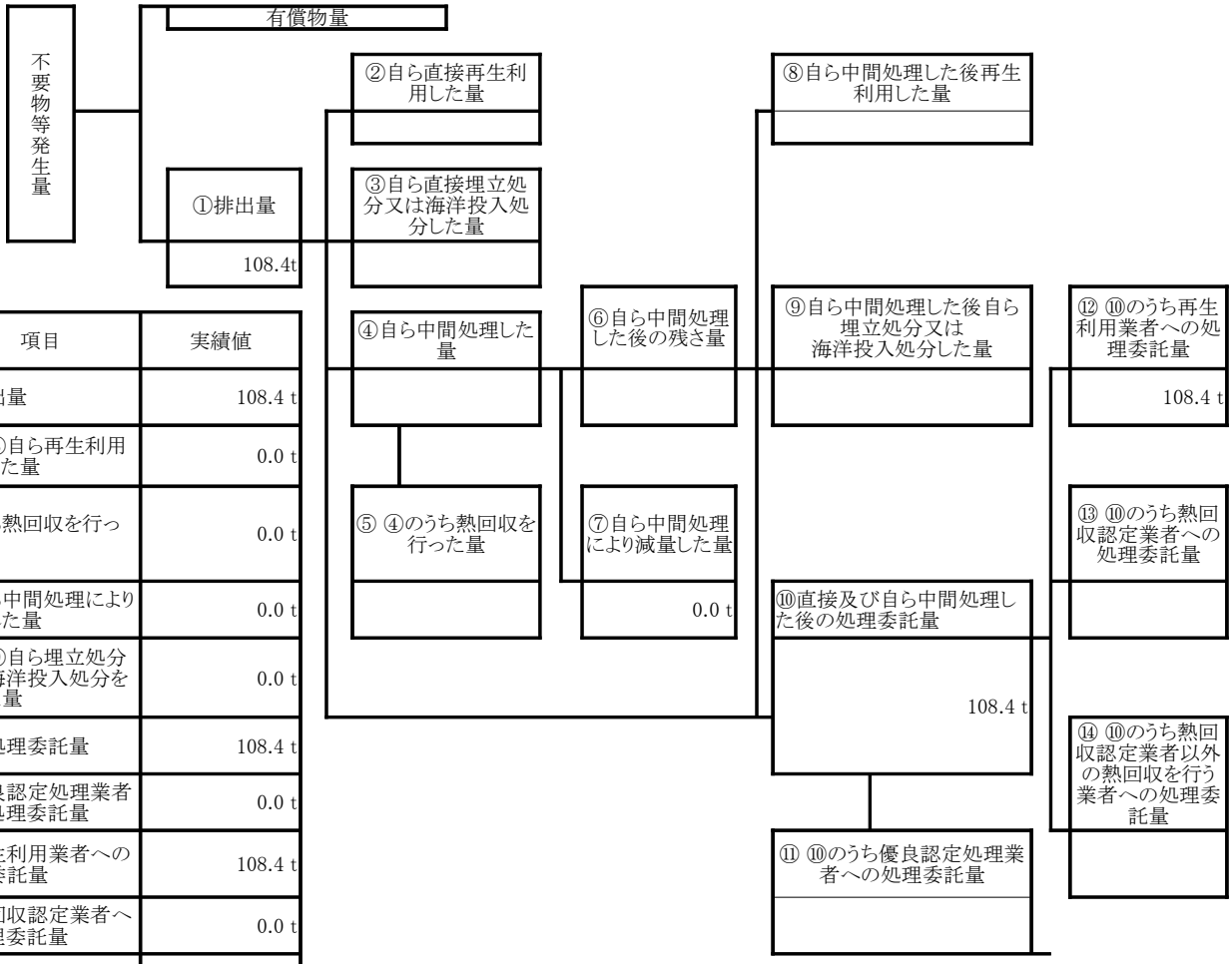
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1152.7 t	全処理委託量	1152.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1152.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトコンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

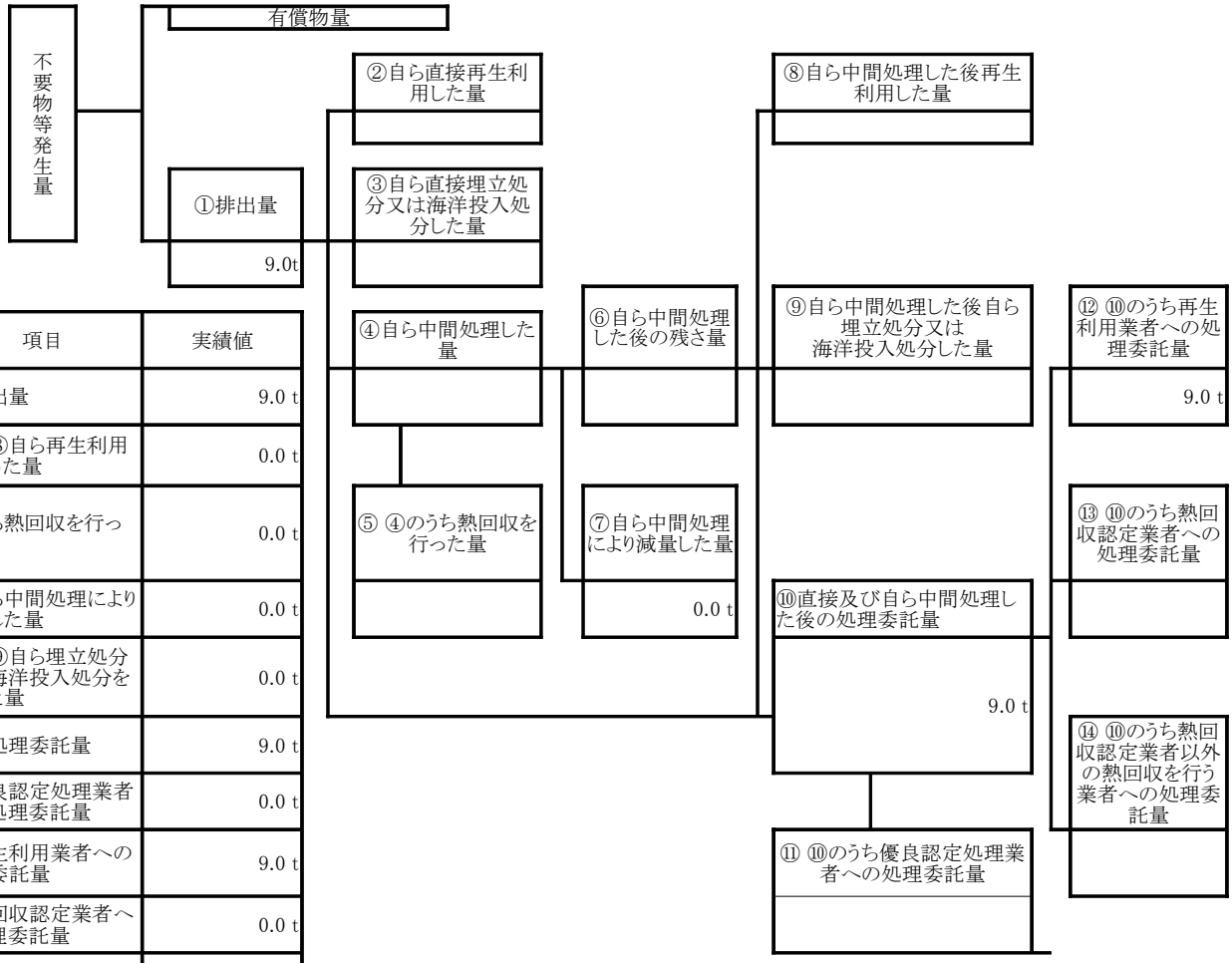


項目	実績値
①排出量	108.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	108.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

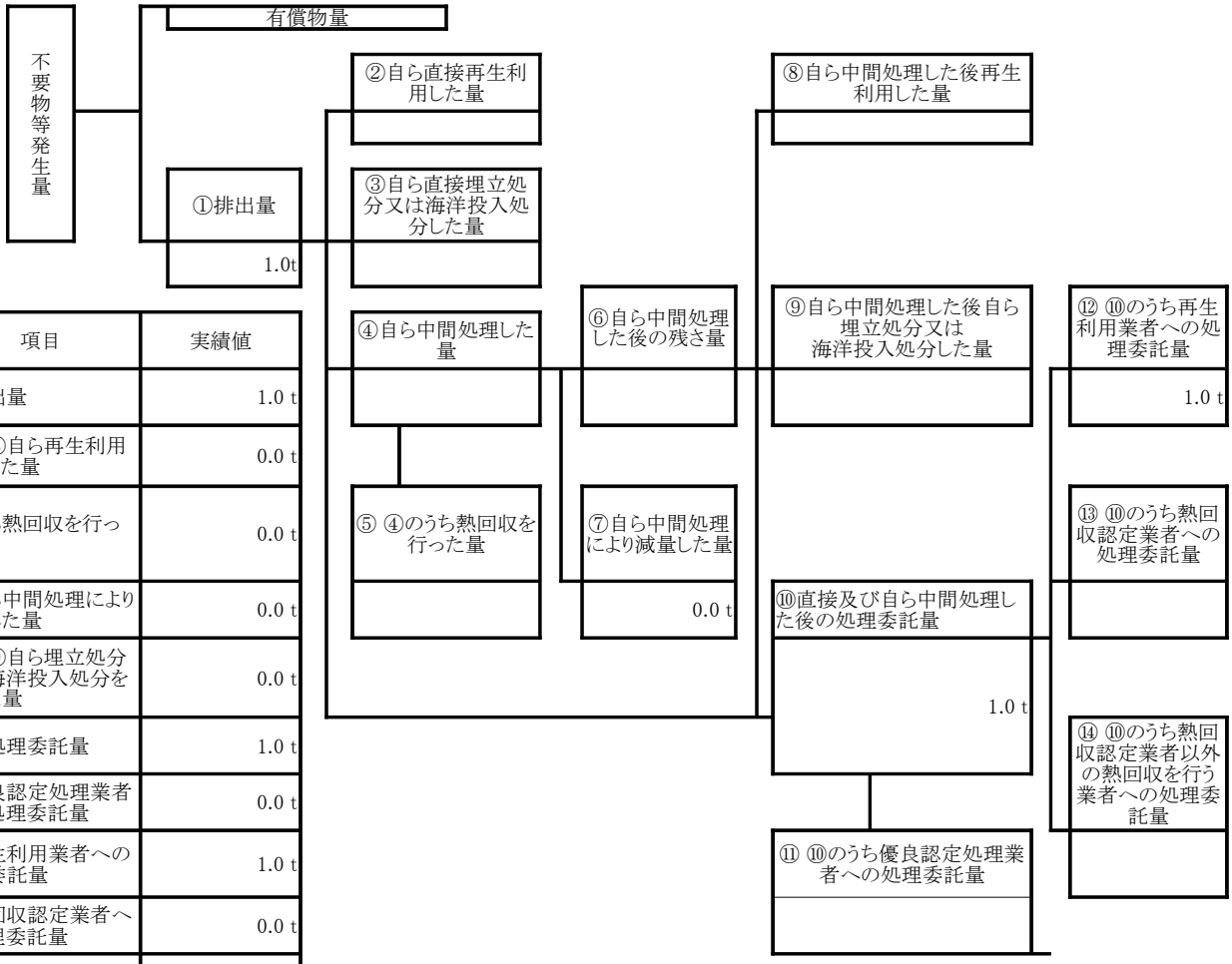


項目	実績値
①排出量	9.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

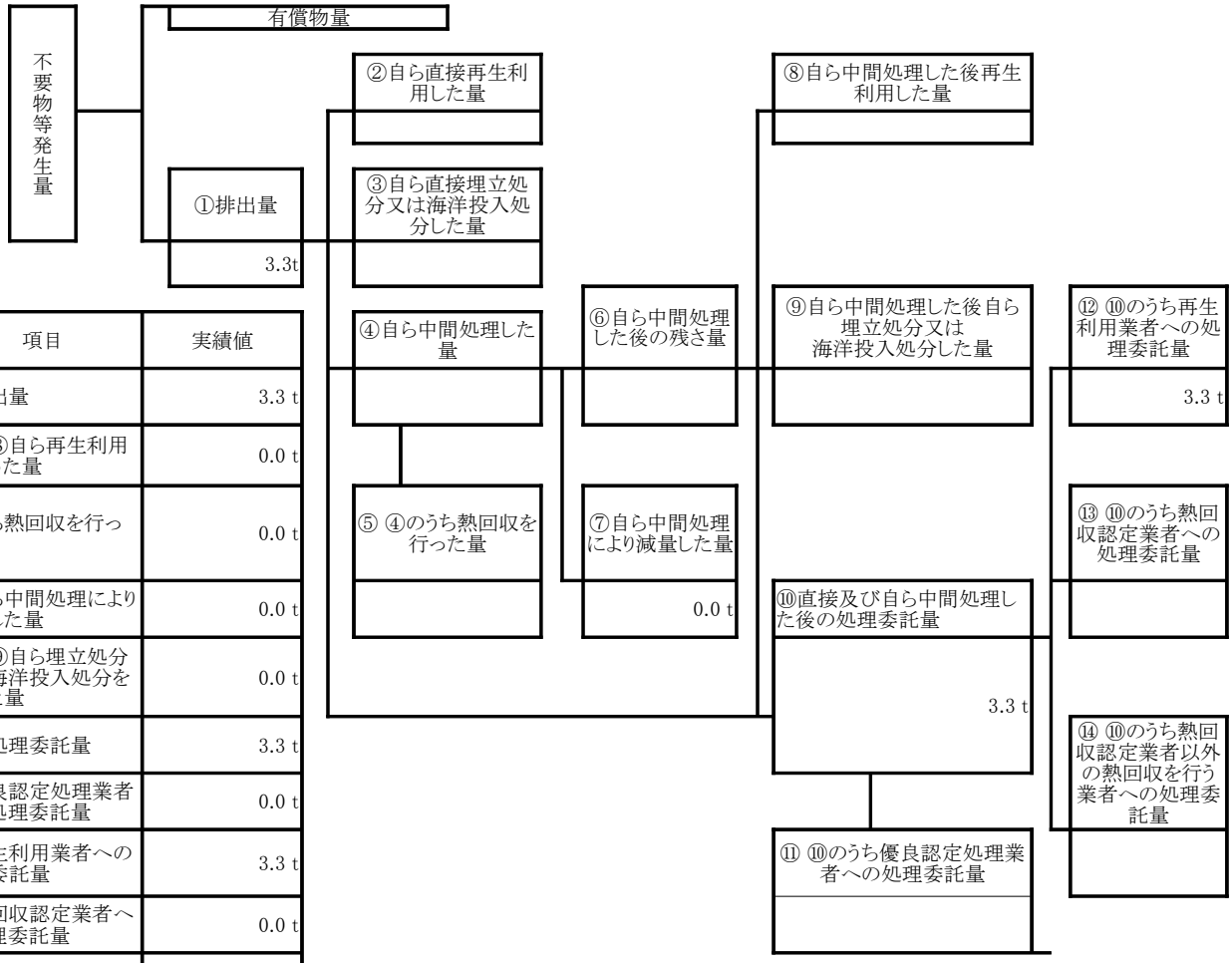


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



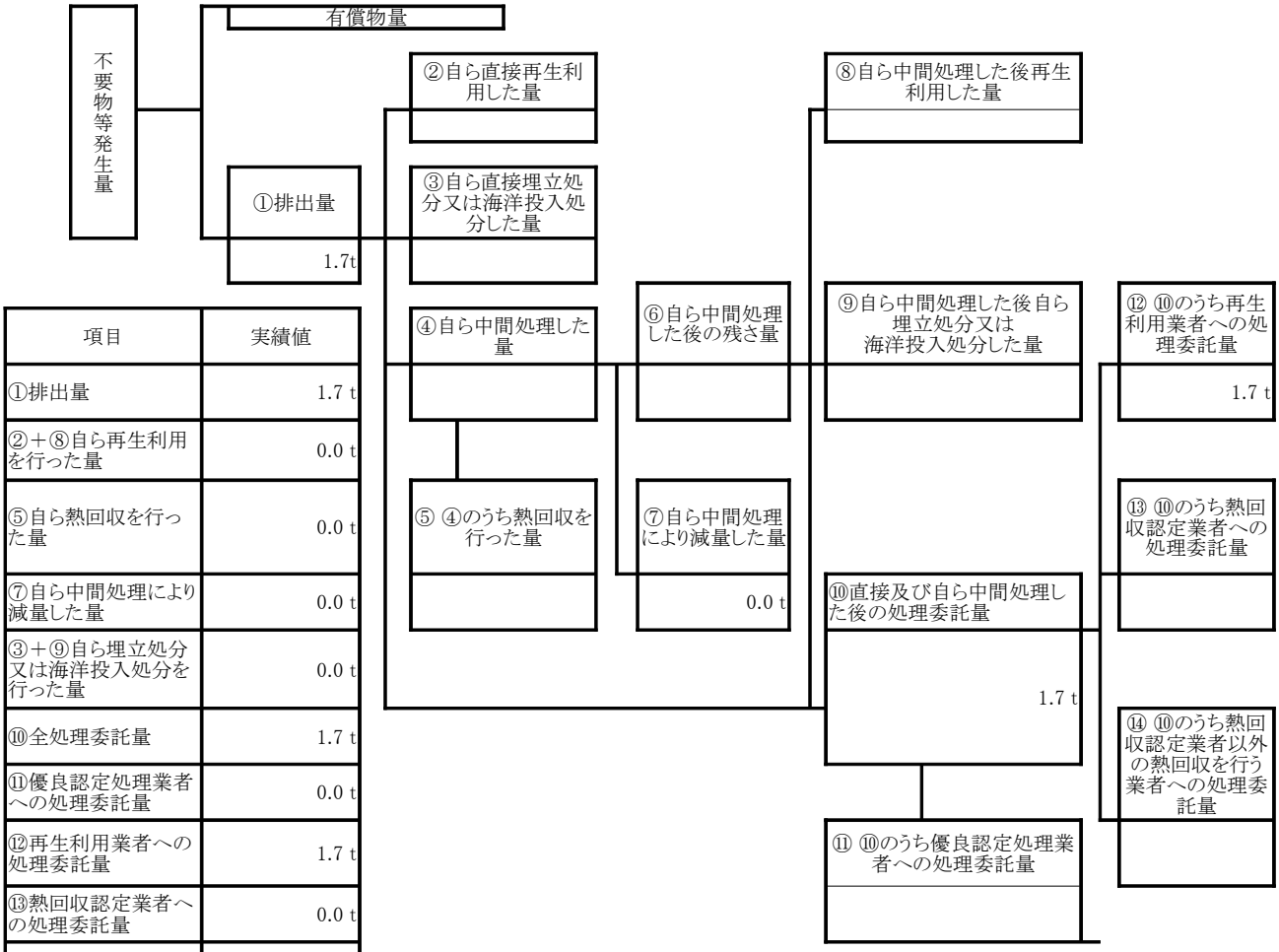
項目	実績値
①排出量	3.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和　7　年　6　月　1日

(宛先)
千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　埼玉県上尾市東町2-9-20
氏　名　　株式会社富士住建
代表取締役　竹田　雅男
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　048-778-3310

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　富士住建　千葉県内事業場
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区寒川町2-201-2、その他
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　35億6千万円
③従業員数	58名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

株式会社富士住建　本社

生産統括部〔産業廃棄物管理統括〕

工務所長〔産業廃棄物管理責任者〕

工事現場監督〔産業廃棄物管理担当者〕

下請け会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排　出　量	別紙2のとおり	
	（これまでに実施した取組） 別紙3のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排　出　量	別紙2のとおり	
	（今後実施する予定の取組） 別紙3のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙3のとおり
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙3のとおり

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　6　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙２のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　6　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

別紙3のとおり</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙2のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

別紙3のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

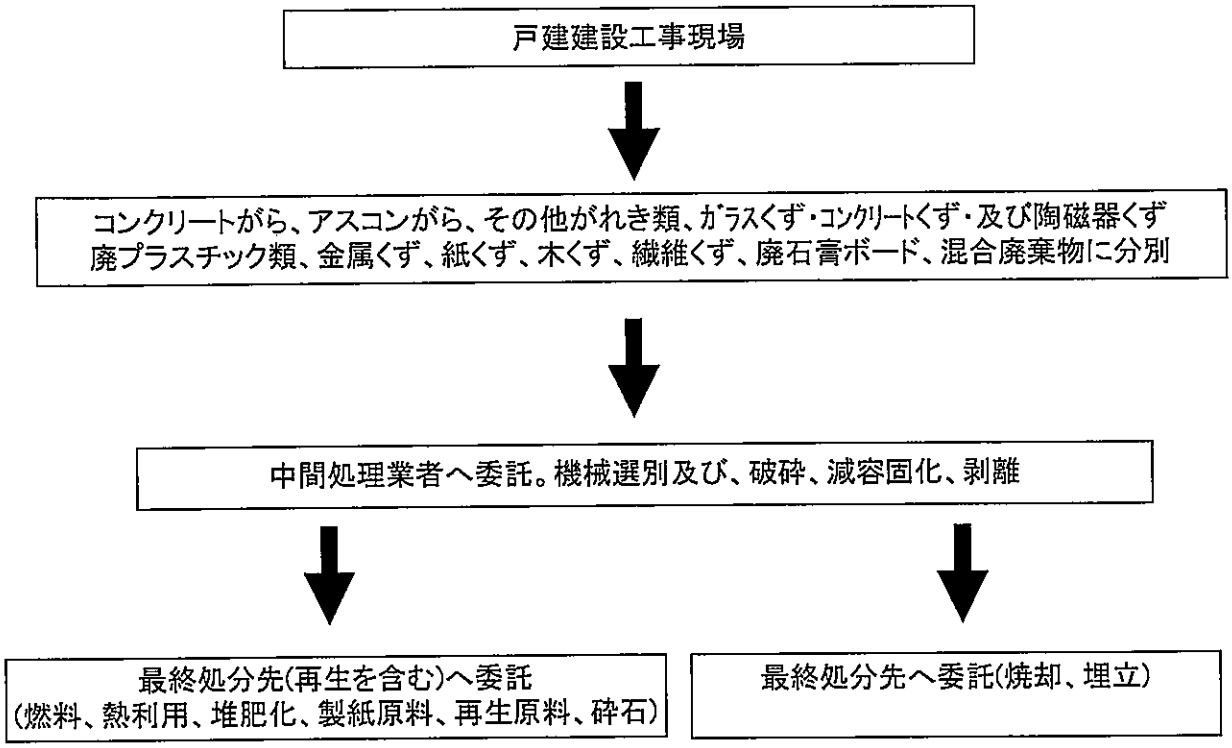
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1(産業廃棄物の一連の処理工程)



2025別紙2 工業		計画									
名　称	現状／計画	A 排出量 (t)	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 産業廃棄物の全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量(t)	H 再生利用業者への処理委託量(t)	I 認定熱回収業者への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績／今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
木くず	現状	550.6	－	－	－	－	550.6	356.2	523.1	－	－
	計画	495.5	－	－	－	－	495.5	338.4	470.8	－	－
繊維くず	現状	1.7	－	－	－	－	1.7	0.4	1.6	－	－
	計画	1.5	－	－	－	－	1.5	0.4	1.4	－	－
紙くず	現状	168.8	－	－	－	－	168.8	138.6	160.5	－	－
	計画	151.9	－	－	－	－	151.9	131.7	144.3	－	－
金属くず	現状	30.8	－	－	－	－	30.8	26.0	29.3	－	－
	計画	27.8	－	－	－	－	27.8	24.7	27.8	－	－
廃プラスチック類	現状	284.2	－	－	－	－	284.2	234.0	270.0	－	－
	計画	255.8	－	－	－	－	255.8	222.3	243.0	－	－
ガラスコンクリート陶磁器等くず	現状	306.9	－	－	－	－	306.9	251.6	291.6	－	－
	計画	276.2	－	－	－	－	276.2	239.0	262.4	－	－
がれき類	現状	646.4	－	－	－	－	646.4	0.0	614.1	－	－
	計画	581.7	－	－	－	－	581.7	0.0	552.7	－	－
建設混合廃棄物	現状	109.4	－	－	－	－	109.4	55.7	103.9	－	－
	計画	98.4	－	－	－	－	98.4	52.9	93.5	－	－
合計	現状	2098.8	0	0	0	0	2098.8	1062.5	1993.9	0	0
	計画	1888.9	0	0	0	0	1888.9	1009.3	1795.9	0	0

別紙3

■産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
・新築工事:材料のプレカット化	・羽柄材プレカット化 ・梱包材の簡素化

■産業廃棄物の分別に関する事項

分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
・木材、紙くず、廃プラ、石膏ボード、ダンボール、金属くず、ガラスくず、がれき類はそれぞれ分別し保管。	・先内容の継続

■自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

該当なし

■自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

該当なし

■自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

該当なし

■産業廃棄物の処理の委託に関する事項

これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
・新築工事・解体工事、リサイクル率の高い処分先への持込 ・解体工事、中間処理業者・最終処分業者視察	・先内容の継続

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　7　年　6　月　24日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　　埼玉県上尾市東町2-9-20
氏　名　　株式会社富士住建
代表取締役　竹田　雅男
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　048-778-3310

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和６年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　富士住建　千葉県内事業場
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区寒川町2-201-2　その他
事業の種類	06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

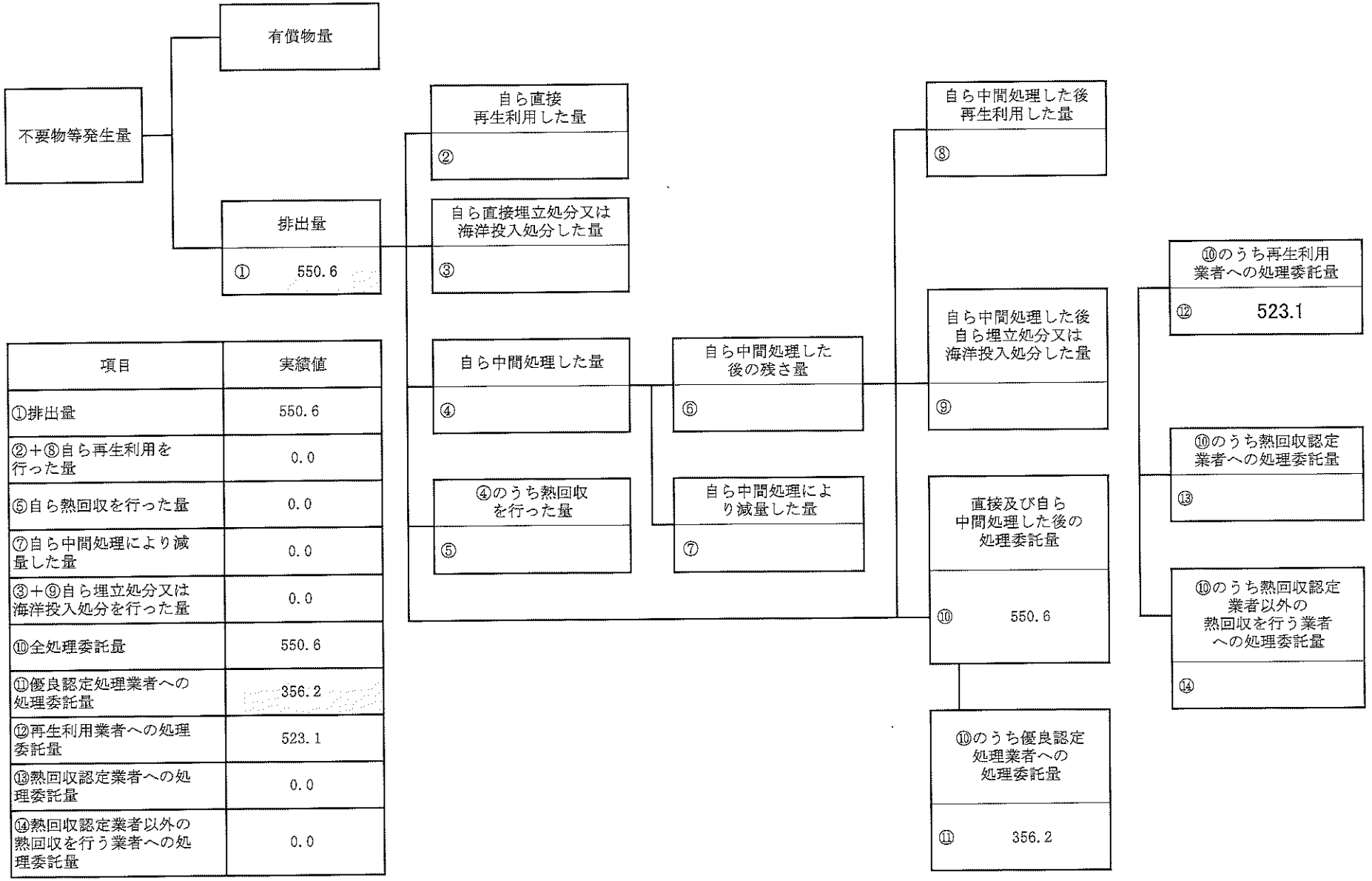
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1676.9ｔ	全処理委託量	1676.9ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	優良認定処理業者への処理委託量	929.7ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	再生利用業者への処理委託量	1595.4ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙の通り	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列４番）

計画の実施状況

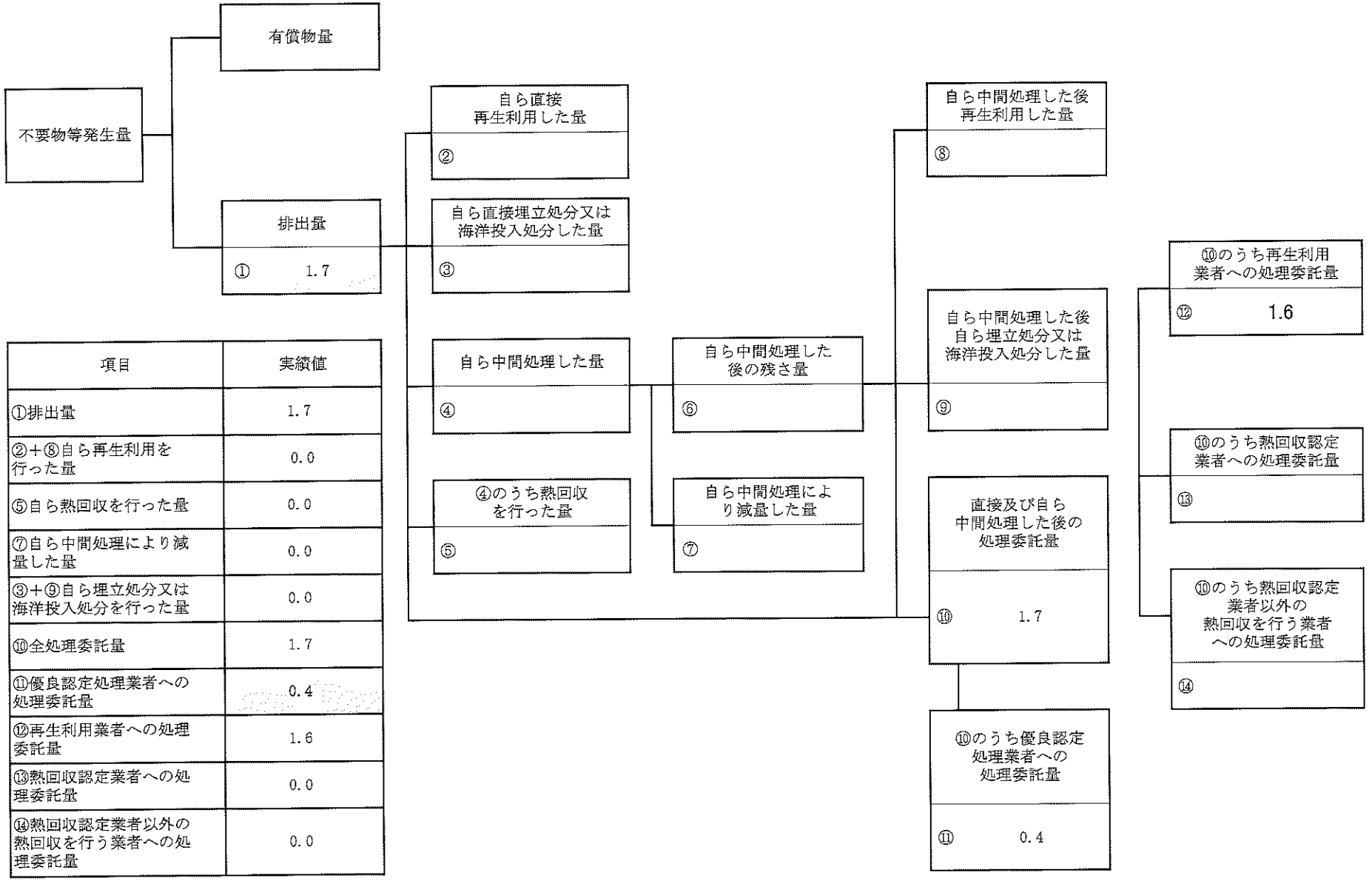
（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	550.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	550.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	356.2
⑫再生利用業者への処理委託量	523.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

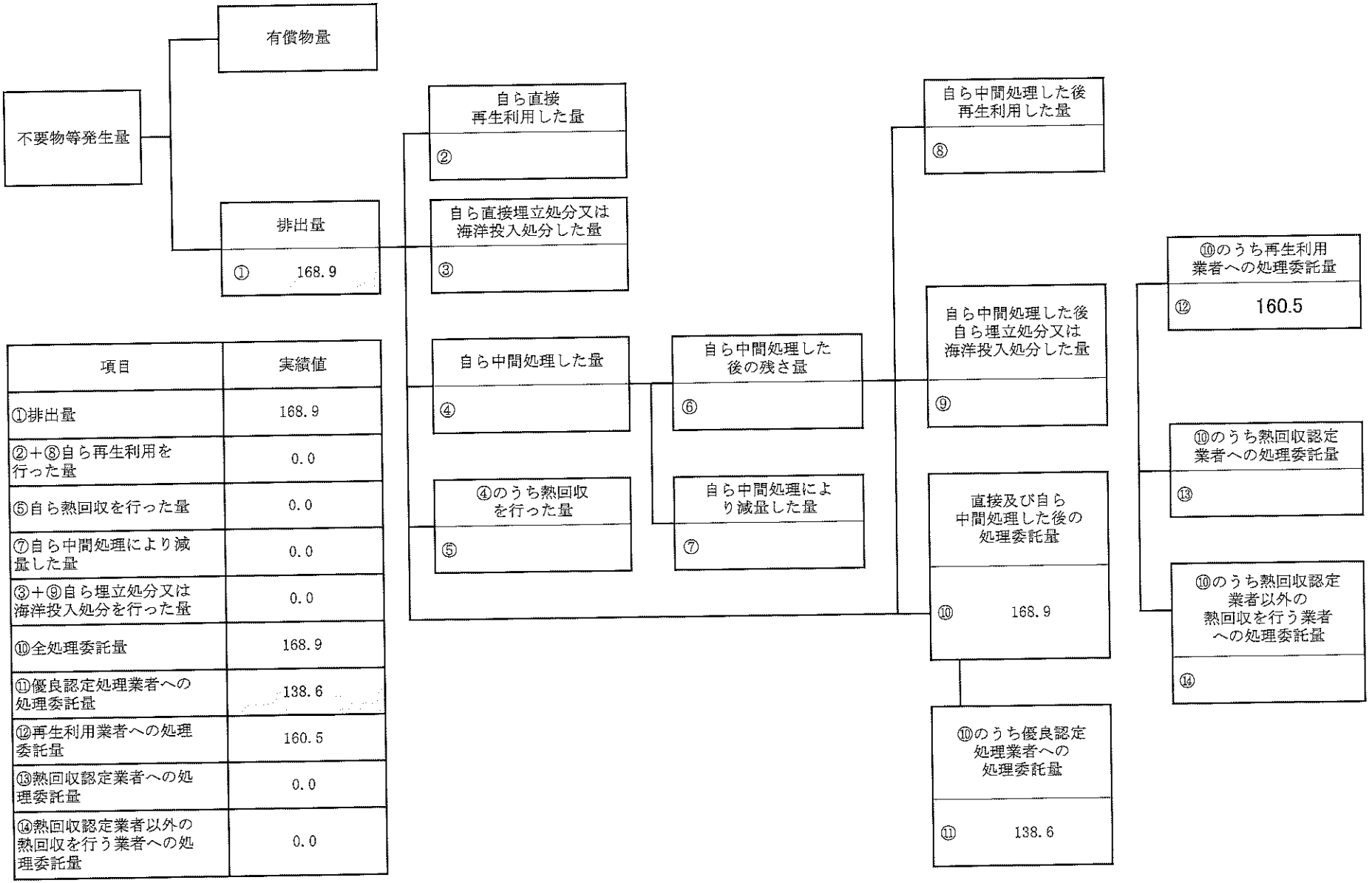
（産業廃棄物の種類：　　繊維くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.7
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	1.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4
⑫再生利用業者への処理委託量	1.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

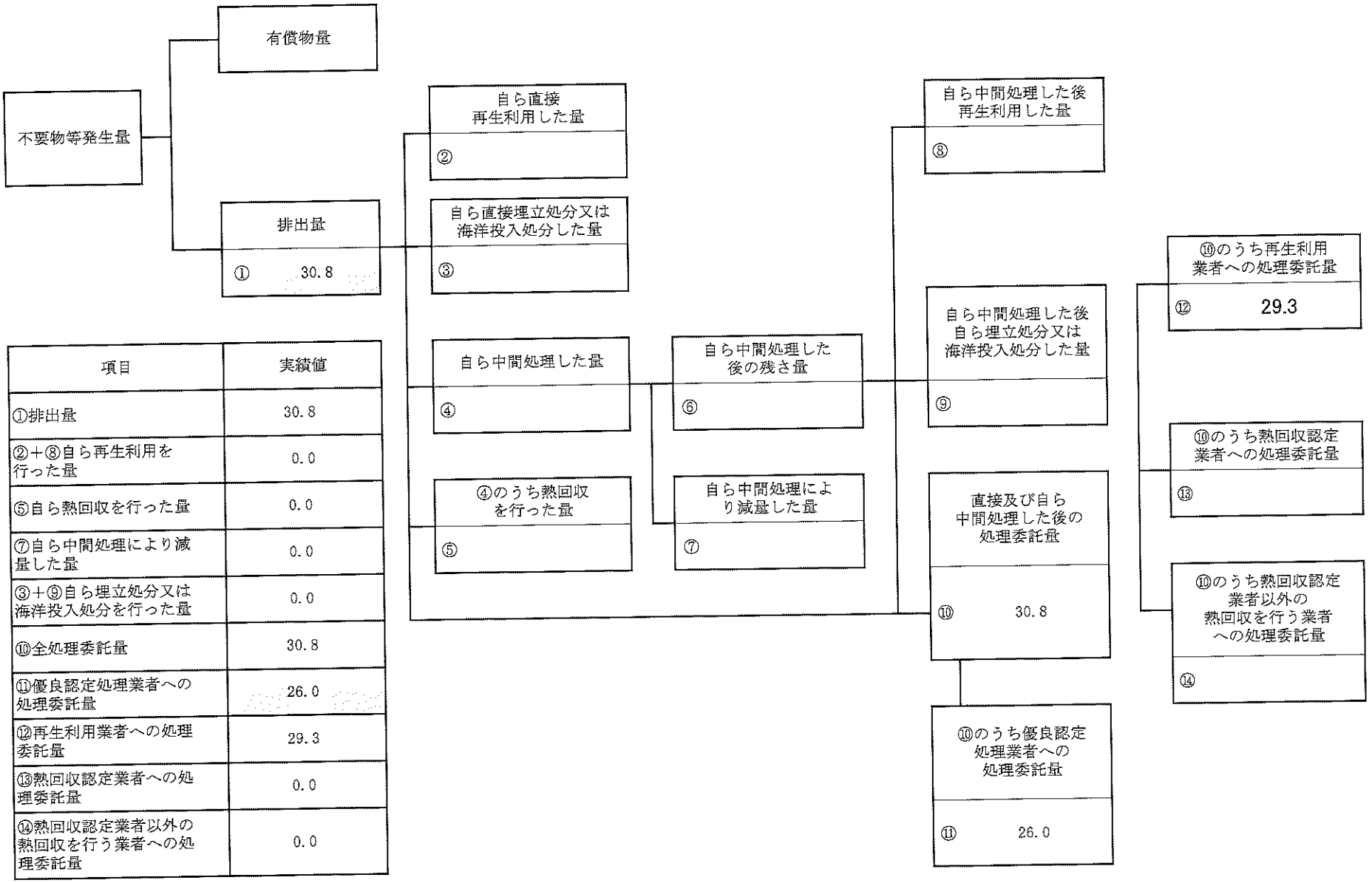
（産業廃棄物の種類：　　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	168.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	168.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	138.6
⑫再生利用業者への処理委託量	160.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

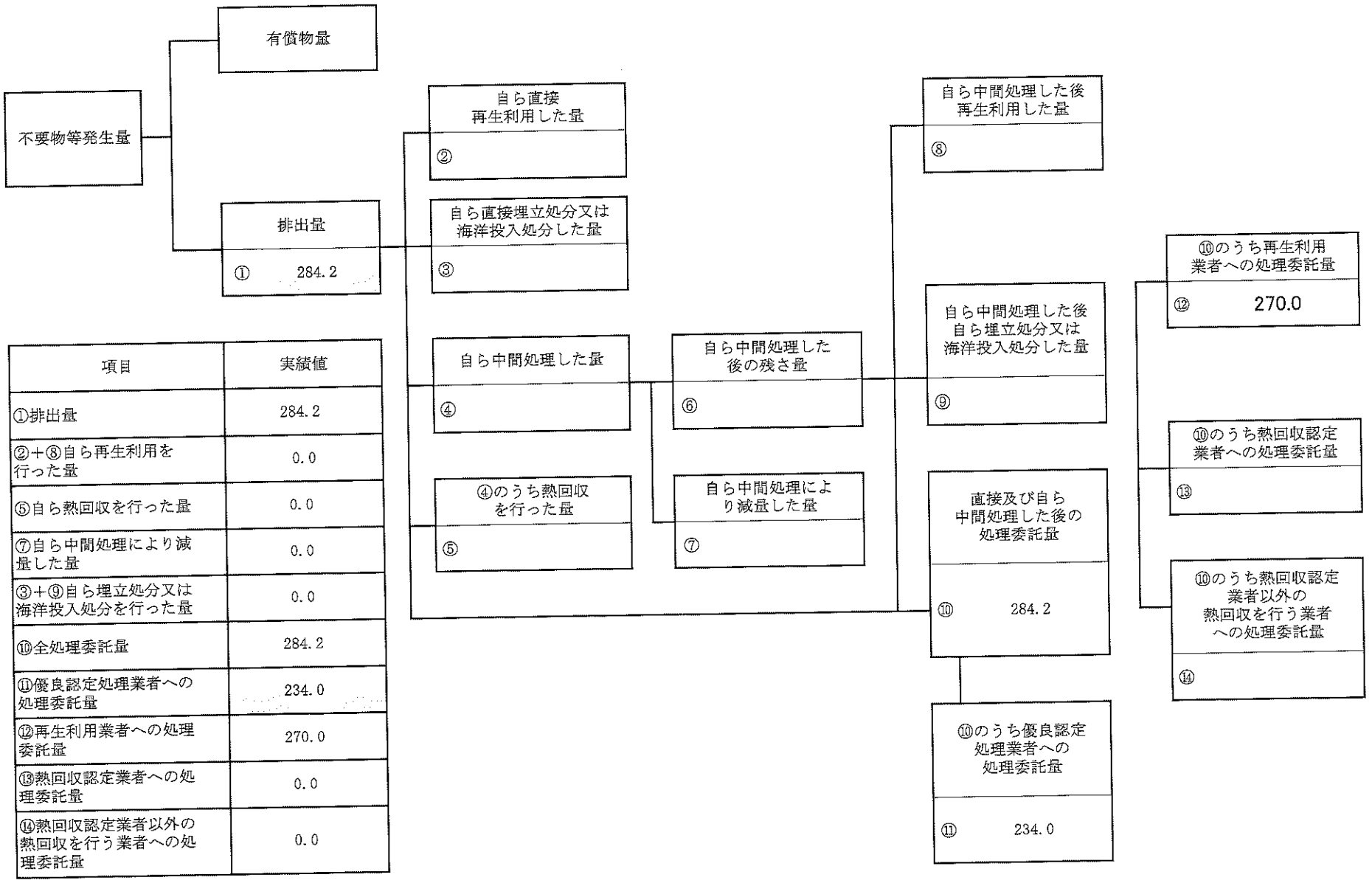
（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	30.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	30.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.0
⑫再生利用業者への処理委託量	29.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

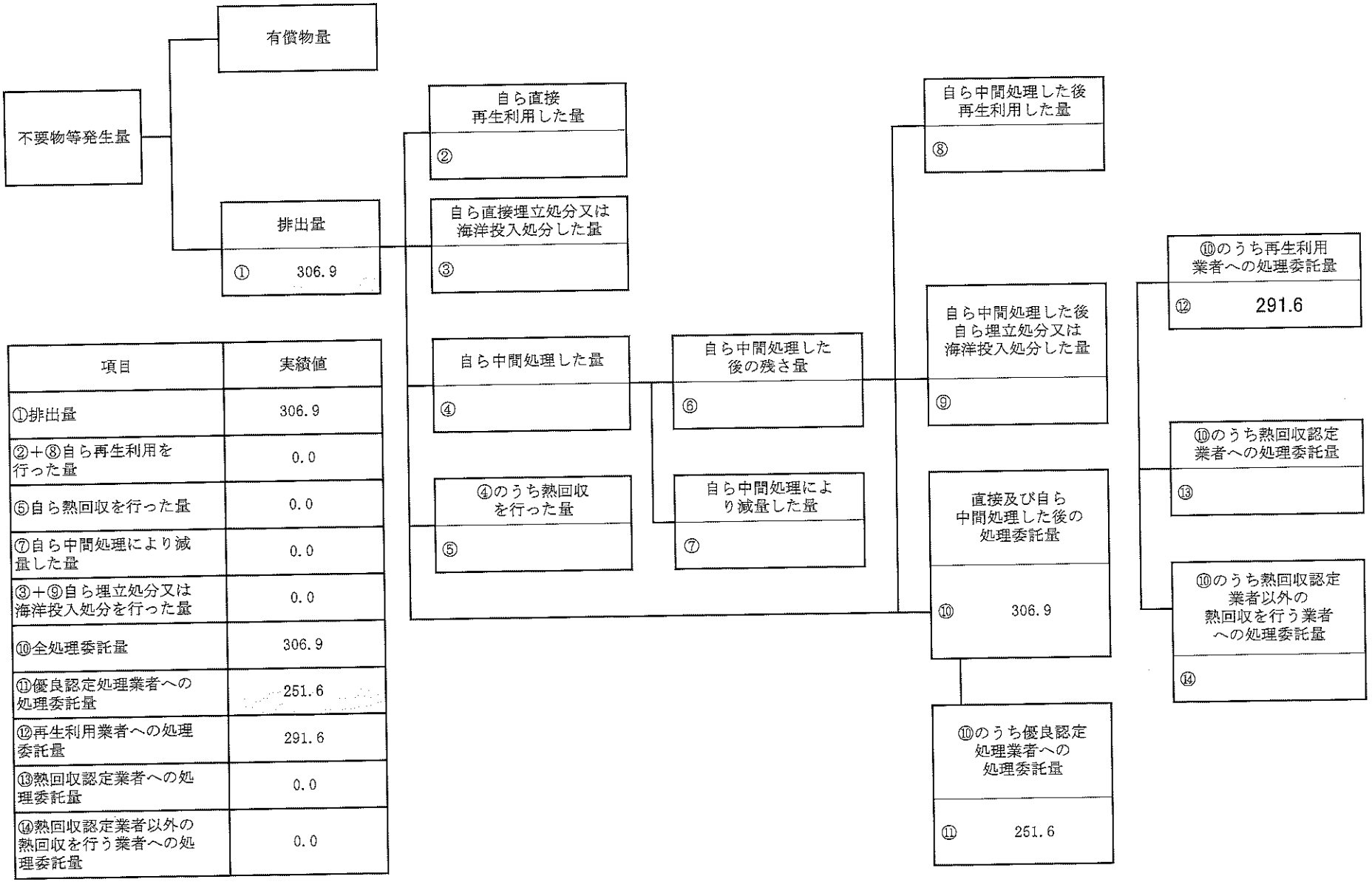
（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	284.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	284.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	234.0
⑫再生利用業者への処理委託量	270.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

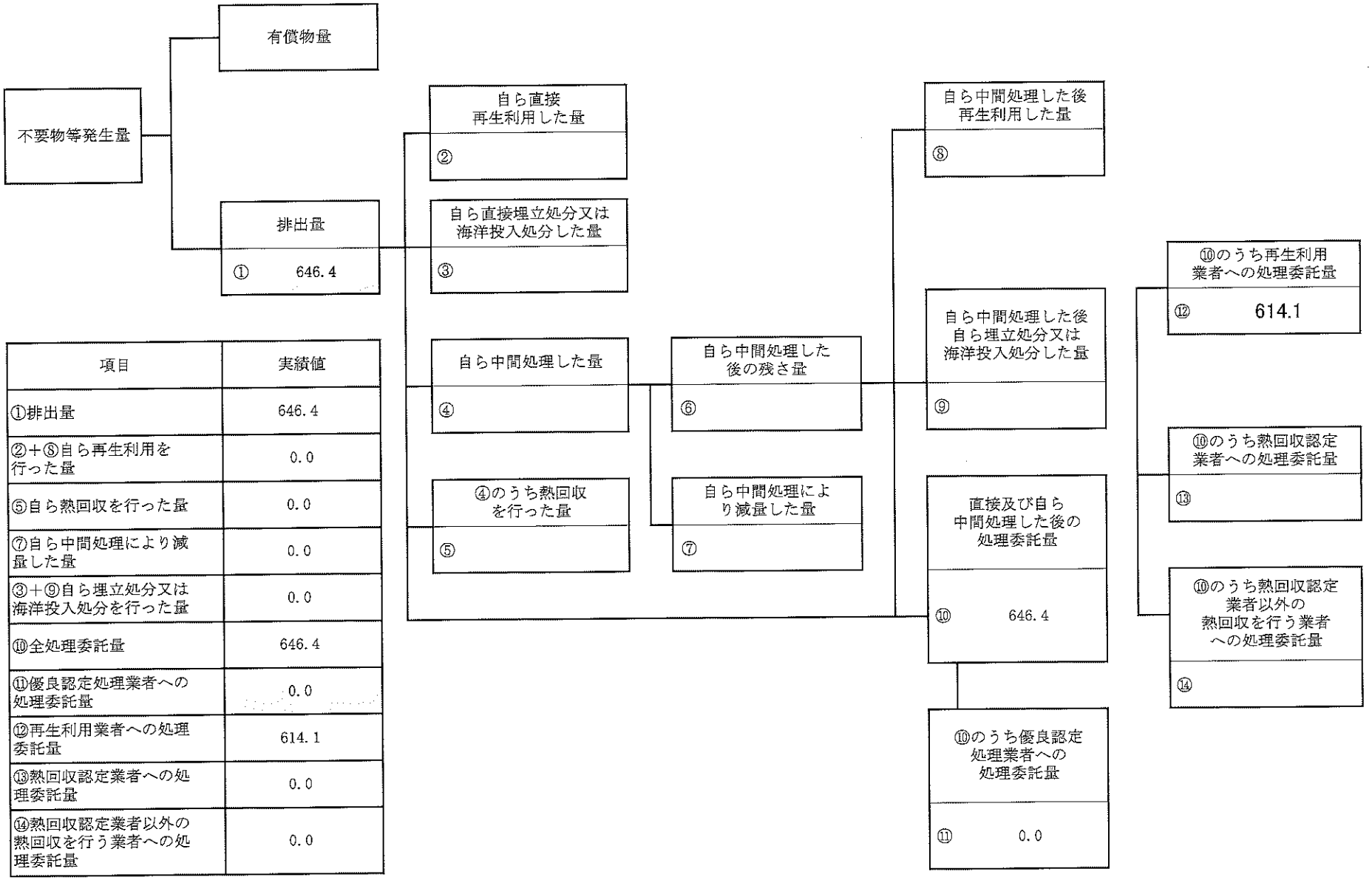
（産業廃棄物の種類：　　ガラス陶磁器等くず　　）



項目	実績値
①排出量	306.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	306.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	251.6
⑫再生利用業者への処理委託量	291.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

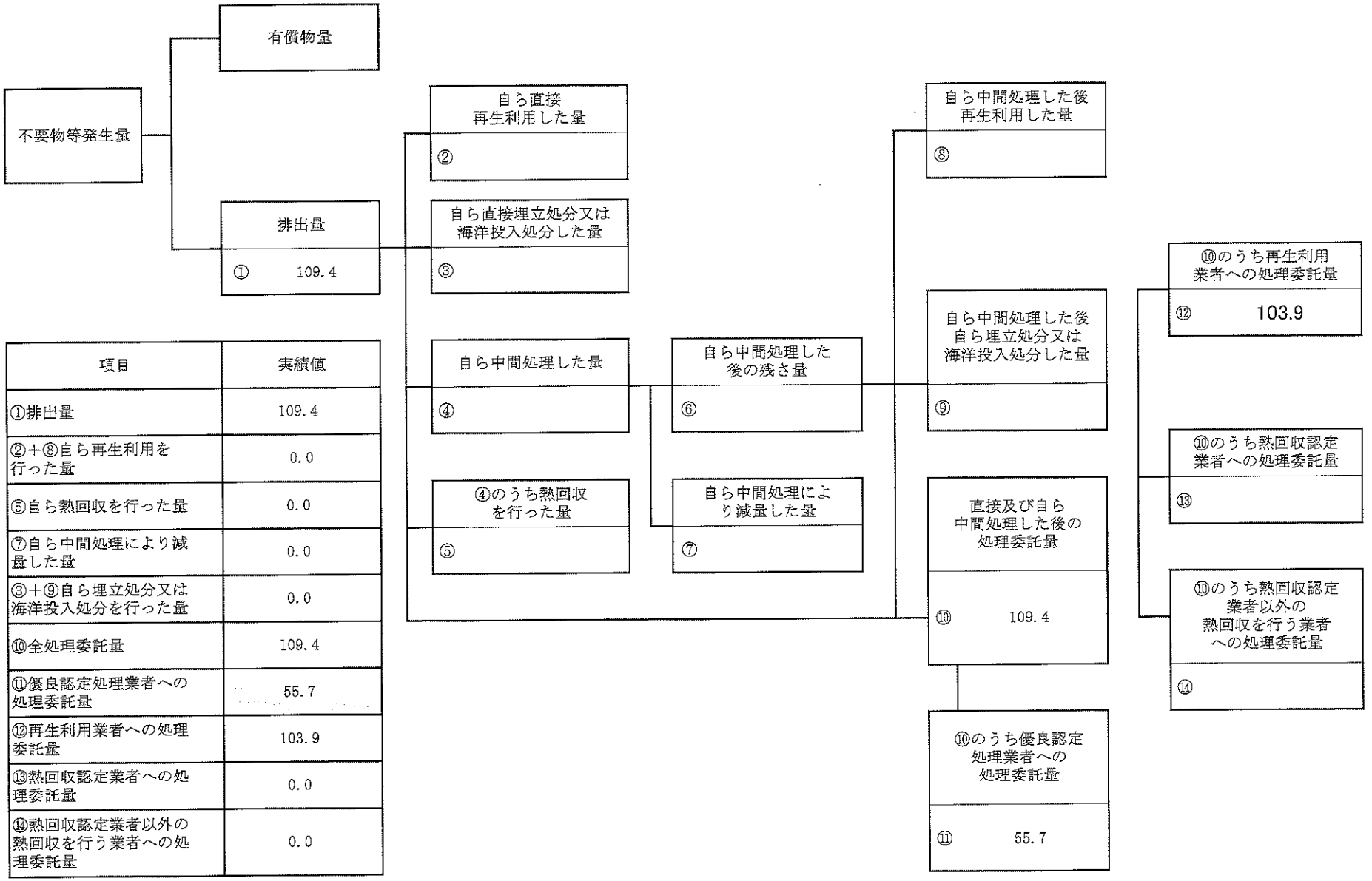
（産業廃棄物の種類：　　がれき　　）



項目	実績値
①排出量	646.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	646.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理委託量	614.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

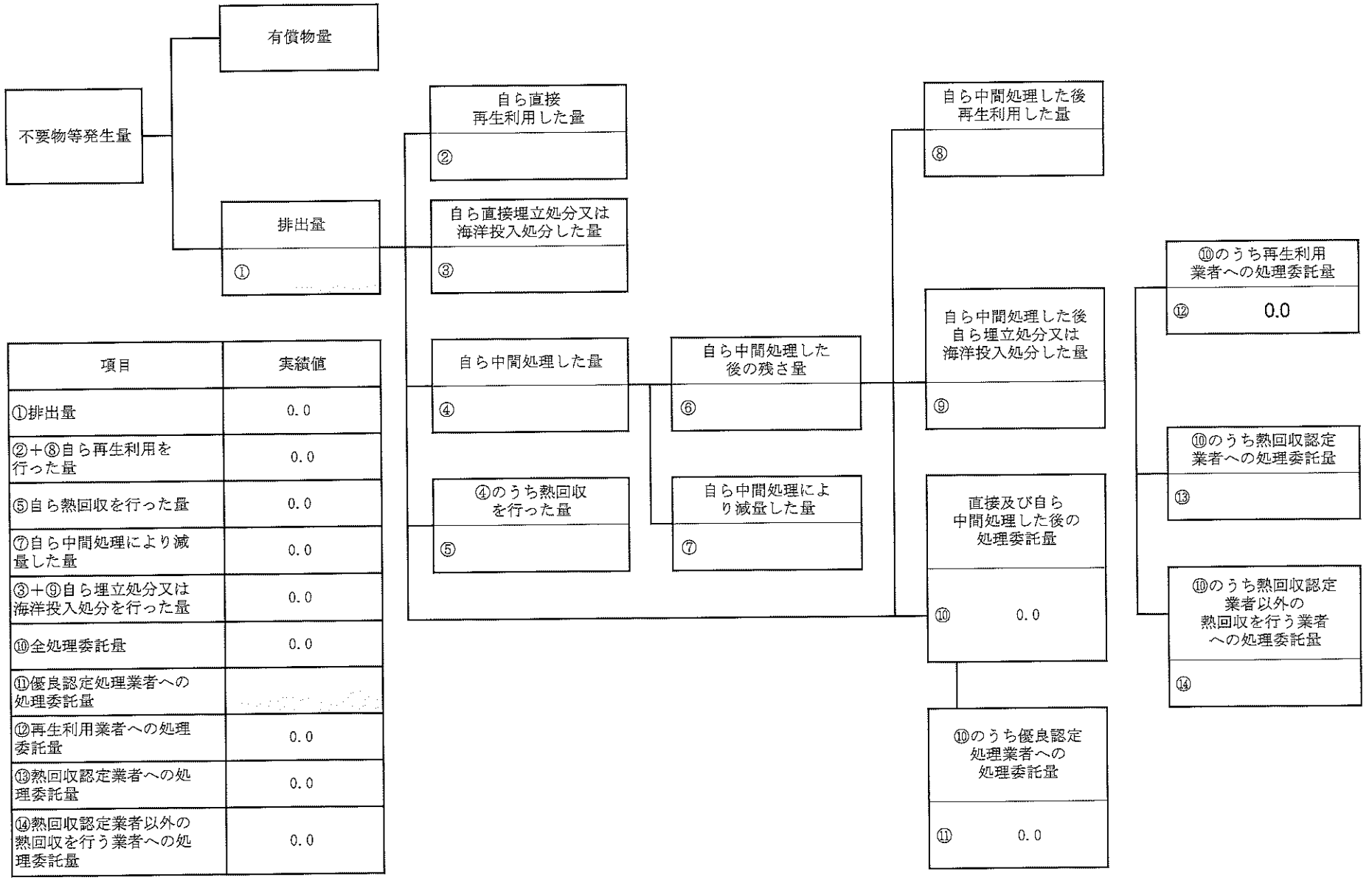
（産業廃棄物の種類：　　建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	109.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	109.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.7
⑫再生利用業者への処理委託量	103.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリート破片　　）



項目	実績値
①排出量	0.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

別紙　千葉県		計画									
名　称	計画	A 排出量 (t)	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 産業廃棄物の全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量(t)	H 再生利用業者への処理委託量(t)	I 認定熱回収業者への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績／今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量（I、J除く）	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
木くず	目標	447.9					447.9	370.9	425.5	–	–
繊維くず	目標	2.0					2.0	0.6	1.9	–	–
紙くず	目標	167.6					167.6	149.9	159.2	–	–
金属くず	目標	47.0					47.0	46	47.0	–	–
廃プラスチック類	目標	259.2					259.2	215.5	246.2	–	–
ガラス陶磁器等くず	目標	604.0					604.0	84.5	573.8	–	–
がれき類	目標	47.2					47.2	3.4	44.8	–	–
建設混合廃棄物	目標	102.1					102.1	59	97.0	–	–
	目標										
		1676.9					1676.9	929.7	1595.4		

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒264-0023

住　所　千葉市若葉区貝塚町1097-1

氏　名　フジタ道路株式会社　首都圏支店
東関東営業所
営業所長　佐藤　茂樹

電話番号　043-312-3824

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジタ道路株式会社　首都圏支店　東関東営業所
事業場の所在地	東京都中央区晴海1-8-10晴海トリトンスクエアＸ棟３Ｆ
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

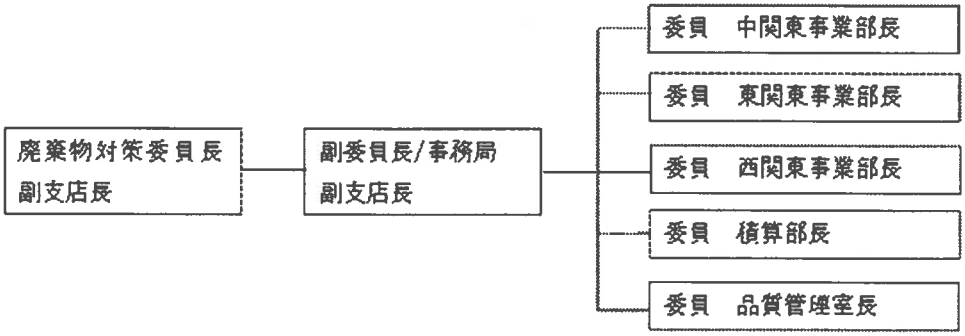
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	完了工事額　350,000,000円
③　従業員数	６名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	廃アスファルト塊⇒中間処理施設（破砕）⇒再生骨材　再生利用 コンクリート塊⇒中間処理施設（破砕）⇒再生骨材　再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	排出量	10 t	1950 t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
	排出量	100 t	500 t
	（今後実施する予定の取組） 今後共、廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行っていく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 当社で廃棄物の多くを占めるのはアスファルト塊及びコンクリート塊である。アスファルト塊とコンクリート塊が混載されないように取壊しの際に分別して取壊し混載の防止に努めた。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後共、アスファルト塊とコンクリート塊の混載とならないように、取壊しの際に分別取壊しを行い混載防止に努め再生資源として利用しやすい状態での搬出を行っていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
今後共、廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行っていく。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
今後共、焼却処理は行わない。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分または海洋投入処分を行ったことは無い。アスベストに関しては管理型の埋立処分を専門業者に委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

今後共、自社で埋立処分または海洋投入処分する予定はない。アスベストに関しては管理型の埋立処分を専門業者に委託している。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	10 t	1950 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	10 t	1950 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行った。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	コンクリート片	廃アスファルト
		全処理委託量_	100 t	500 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	100 t	500 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 今後共、廃棄物の種類毎に分別し、再生資源化施設へ搬出して再資源化を行っていく。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　５月 14 日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　千葉県松戸市六高台2-125
氏　名　株式会社藤田土木
　　代表取締役　藤田　智久
電話番号　０４７－３８７－５１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社藤田土木
事業場の所在地	千葉県松戸市六高台2-125
計画期間	令和　７年　４月　１日　～　令和　８年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業　　中分類；総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高　　６億円
③ 従業員数	２５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事現場→がれき類など→中間処理業者委託処理

千葉県 産業廃棄物課収受事務所 -7.5.14 収受

日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

現場担当者（廃棄物担当・処理計画作成担当）→回収されたマニュフェストは竣工後、
↓　↑　　現場ごとに箱に入れて書庫で保管する
↓　↑　　（処理計画統括責任者　工事部）
発行　↓　↑　回収
↓　↑
再生処理プラント

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状

【前年度（　　６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
排　　出　　量	1,042.57ｔ	3.47ｔ	13.98ｔ

（これまでに実施した取組）
再生処理プラントへの搬入
（請負工事の内容による）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
排　　出　　量	1,000.0ｔ	3.0ｔ	10.0ｔ

（今後実施する予定の取組）
再生処理プラントへの搬入
（請負工事の内容による）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、汚泥、木くず　　再生処理プラントへの搬入

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
がれき類、汚泥、木くず　　再生処理プラントへの搬入

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

現場担当者（廃棄物担当・処理計画作成担当）→回収されたマニュフェストは竣工後、
↓　↑　　現場ごとに箱に入れて書庫で保管する
↓　↑　　（処理計画統括責任者　工事部）
発行　↓　↑　回収
↓　↑
再生処理プラント

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状

【前年度（　　６年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	金属くず	
排　　出　　量	7.0ｔ	1.0ｔ	ｔ

（これまでに実施した取組）
再生処理プラントへの搬入
（請負工事の内容による）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	金属くず	
排　　出　　量	5.0ｔ	0.5ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）
再生処理プラントへの搬入
（請負工事の内容による）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設混合廃棄物、金属くず　再生処理プラントへの搬入

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
建設混合廃棄物、金属くず　再生処理プラントへの搬入

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（　　６年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず
	全処理委託量	1,042.57 t	3.47 t	13.98 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,042.57 t	3.47 t	13.98 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生処理プラントへの搬入 建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行った			

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="4">【前年度（　　６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設混合廃棄物</td><td>金属くず</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>7.0ｔ</td><td>1.0ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>7.0ｔ</td><td>1.0ｔ</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）
再生処理プラントへの搬入
建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行った</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="6">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>汚泥</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1,000.0ｔ</td><td>3.0ｔ</td><td>10.0ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,000.0ｔ</td><td>3.0ｔ</td><td>10.0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再生処理プラントへの搬入
建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行う</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設混合廃棄物</td><td>金属くず</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>5.0ｔ</td><td>0.5ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>5.0ｔ</td><td>0.5ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再生処理プラントへの搬入
建設廃棄物処理委託契約書に基づき、適切な委託処理を行う</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　７年　５月１４日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　千葉県松戸市六高台2-125
氏　名　株式会社藤田土木
　　代表取締役　藤田　智久
電話番号　０４７－３８７－５１１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和６年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　藤田土木
事業場の所在地	千葉県松戸市六高台2-125
事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和　６年　４月　１日　～　令和　７年　３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

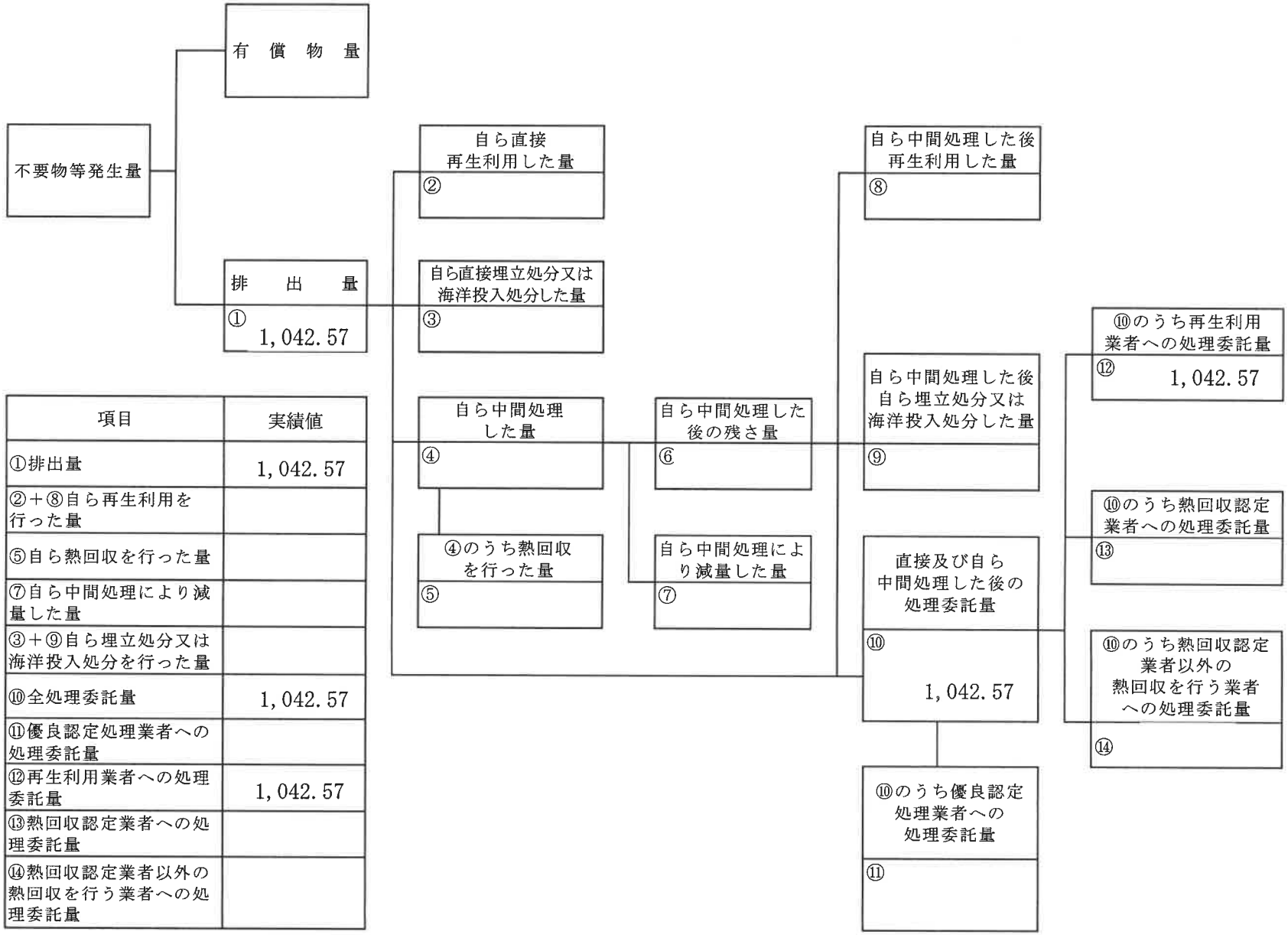
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,223.0 t	全処理委託量	3,223.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3,223.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

千葉県 -7.5.14 収受

(日本工業規格　A列４番)

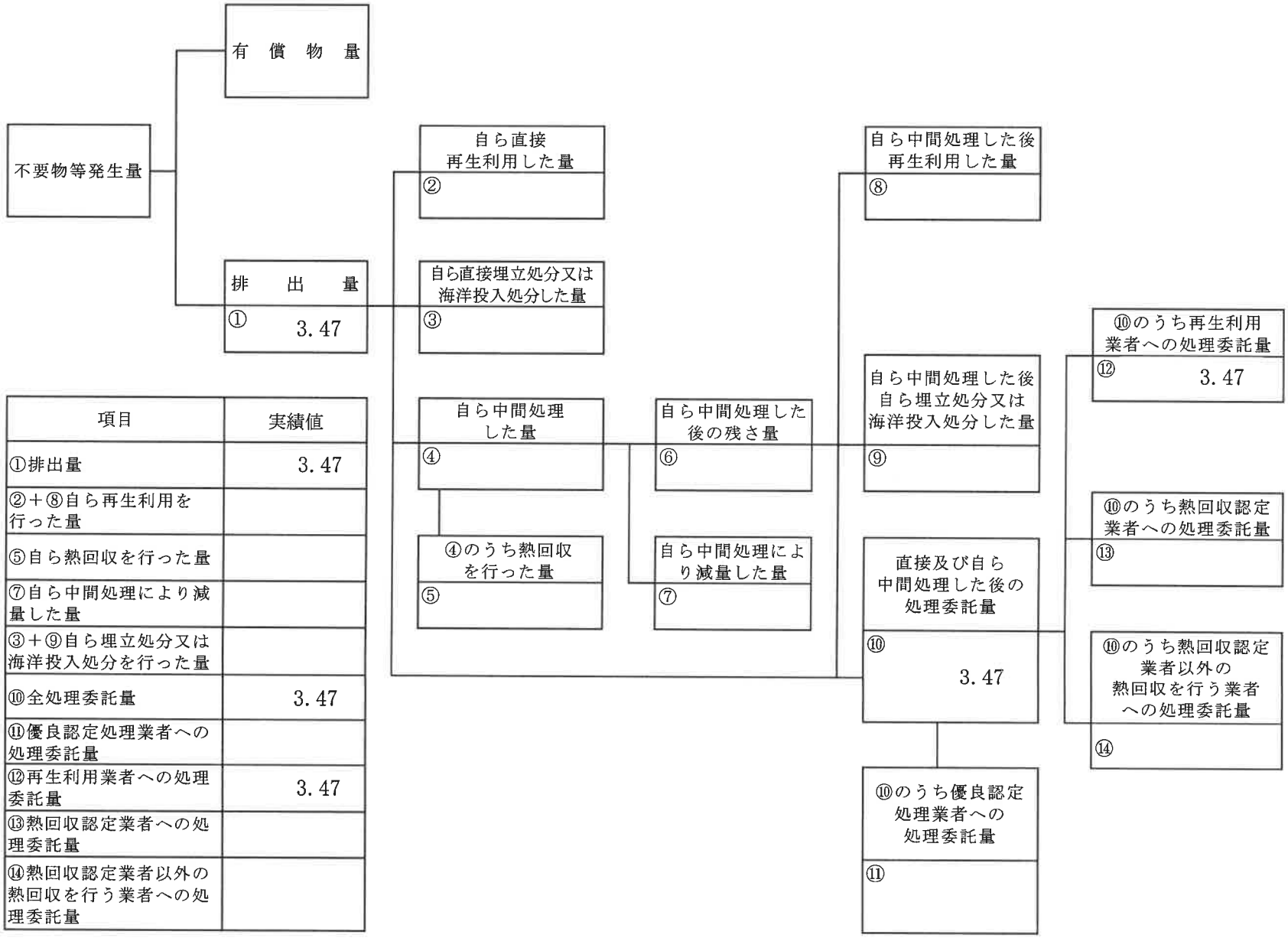
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	1,042.57
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1,042.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,042.57
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　汚泥　　）

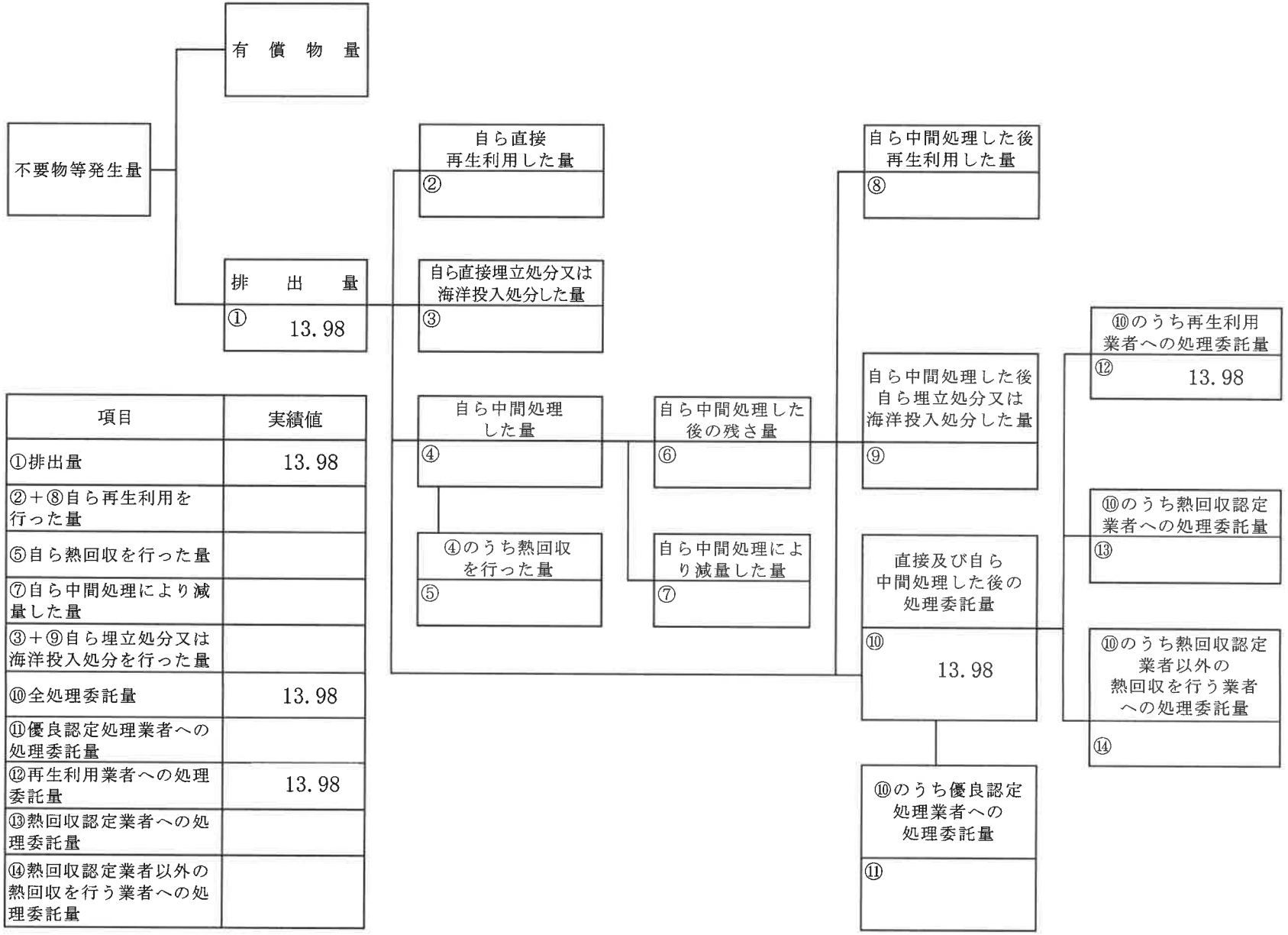


項目	実績値
①排出量	3.47
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	3.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	3.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　　）

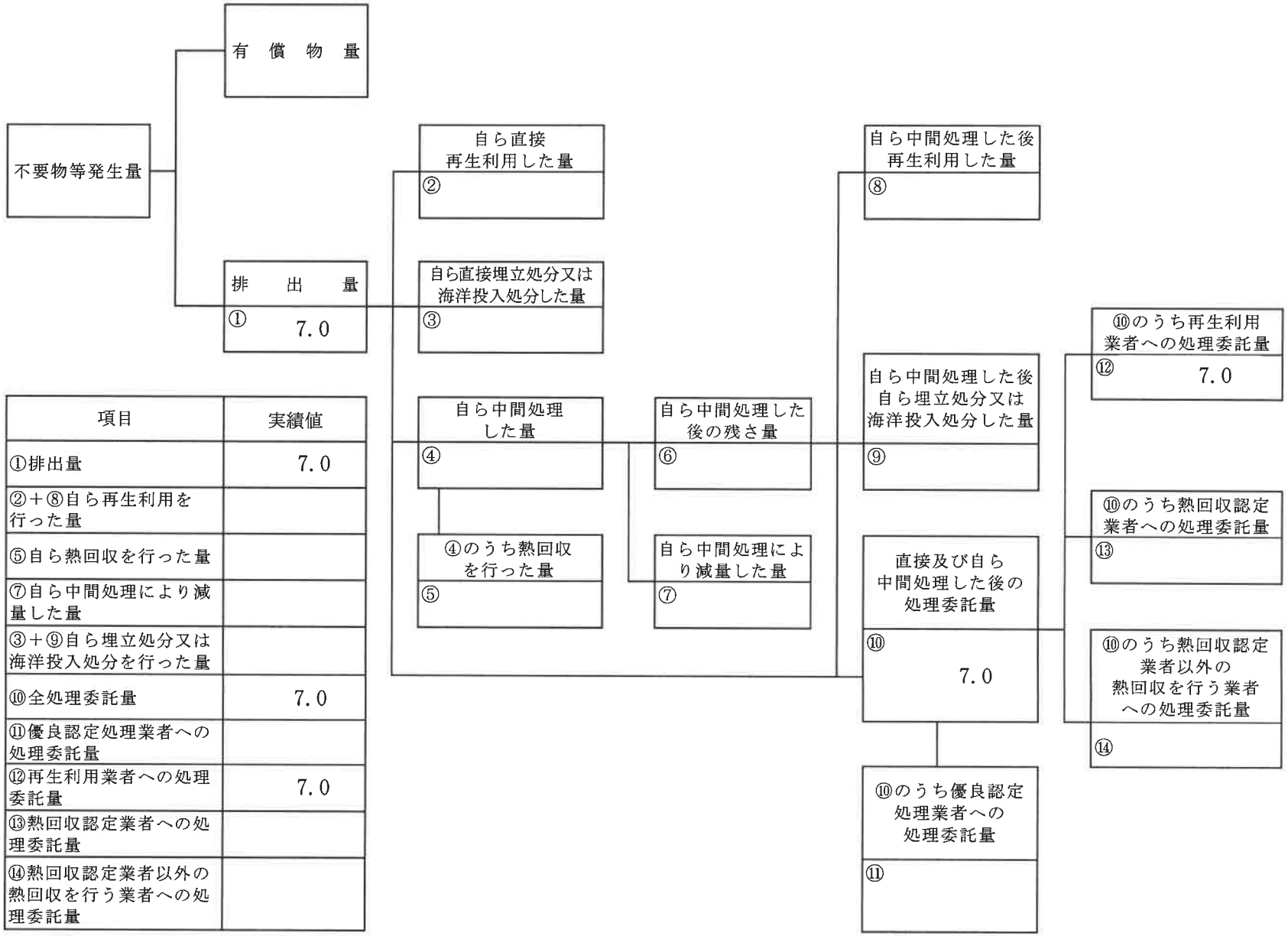


項目	実績値
①排出量	13.98
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	13.98
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	13.98
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

計画の実施状況

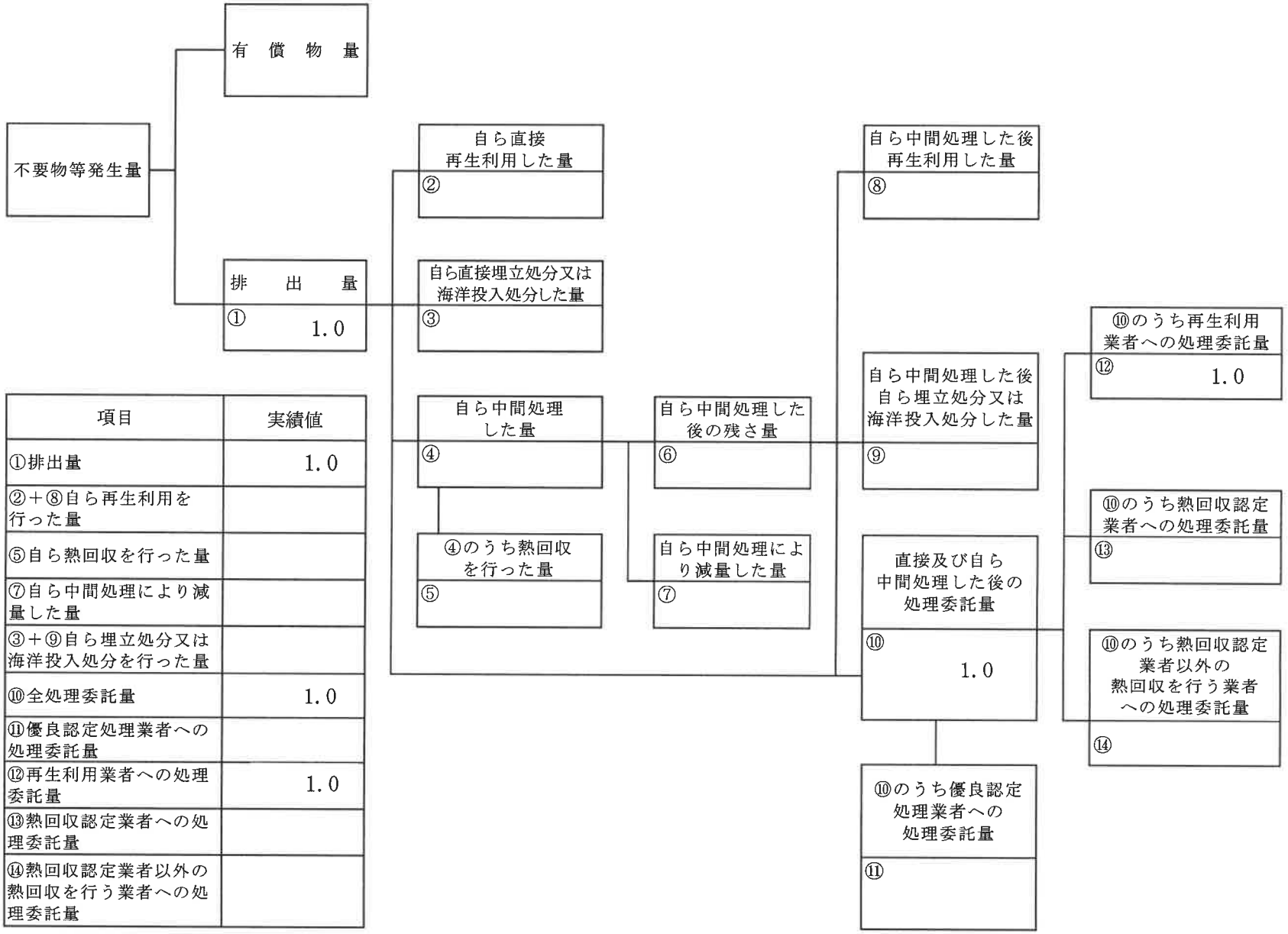
（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	7.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	7.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	7.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7　年　6　月　30　日

千葉県知事　熊谷俊人　殿

提出者

住所　東京都新宿区西新宿4-32-22

氏名　株式会社フジタ　東京支店

上席執行役員支店長　金子孝一

電話番号　03－5309－2100（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

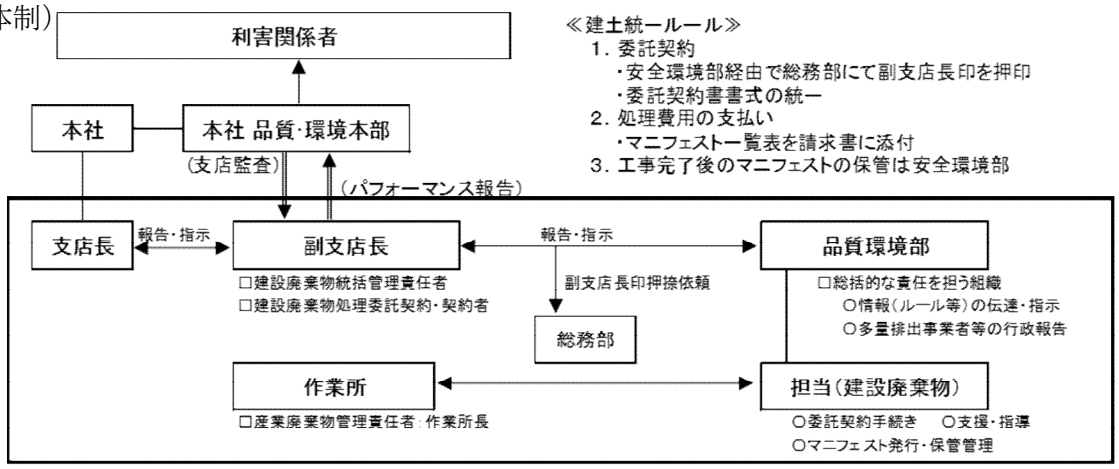
事業場の名称	株式会社フジタ　東京支店
事業場の所在地	千葉県内各所（千葉市・船橋市・柏市を除く）
計画期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業　06. 総合工事業　061. 一般土木建築工事業
② 事業の規模	4,295　百万円
③ 従業員数	東京支店　450　人（全店　3,390　人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	燃え殻　→ 焼成 → セメントの原料 → 埋立 汚泥　→ 脱水、固化（凝集・造粒・薬注）→ 改良土 有機汚泥　→ 脱水・発酵 → 肥料 → メタン発酵 → メタンガス・燃料 廃油　→ 油水分離・再生 → 再生油 廃酸、廃アルカリ → 中和・脱水 → 造粒固化 → 改良土・埋立 → 焼成 → セメント原料 廃プラスチック類（a）→ 破砕・圧縮 → 再生プラスチック原料、RPF原料 → 破砕・焼成 → セメント原燃料 → 破砕・切断・圧縮 → 埋立 紙くず（b）→ 圧縮 → 製紙原料、RPF原料 木くず（c）→ 破砕 → 燃料チップ、セメント燃料、堆肥化 繊維くず（d）→ 破砕 → RPF原料、セメント燃料、堆肥化 金属くず（e）→ 圧縮 → 金属製品原料等 がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（f） → 破砕 → 再生骨材、埋立 コンクリート破片、アスファルトコンクリート破片（g）→ 破砕 → 再生骨材 廃石膏ボード→ 破砕 →（粉）石膏ボード原料、土壌改良材 （紙）製紙原料 石綿含有産業廃棄物 → 最終処分場にて埋立 蛍光ランプ類（水銀使用製品産業廃棄物） → 破砕 → グラスウール原料、精製水銀、金属製品原料等 建設混合廃棄物 → 分別 →（a）～（g） 廃電気機械器具 → 家電リサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 ※ 廃棄物の種類及び数量は、別紙“**資料1**”参照	【前年度（　6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	排出量	― t	― t
	（これまでに実施した取組） ・分別活動推進による混合廃棄物の排出量の低減 ・内装工事等でのユニット化、プレカット化活動		
②計画 ※ 廃棄物の種類及び数量は、別紙“**資料1**”参照	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	排出量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） ・上記活動の継続的推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・コンクリート塊、アスファルト･コンクリート塊、木くず、紙くず、金属くず ・広域認定制度の紹介、分別先の広報
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度(　6　年度)実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">(これまでに実施した取組)
実績なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">(今後実施する予定の取組)
予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度(　6　年度)実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
した産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">(これまでに実施した取組)
実績なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
する産業廃棄物の量</td><td>― t</td><td>― t</td></tr>
<tr><td colspan="3">(今後実施する予定の取組)
予定なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実績なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状
※ 廃棄物の種類及び数量は、別紙“資料1”参照</td><td colspan="3">【前年度（　6　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者
への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・処理施設点検の実施
・同業他社との情報交換</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画

※ 廃棄物の種類及び数量は、別紙“資料1”参照</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・ 処理施設点検の実施
・ 同業他社との情報交換</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

資料1：産業廃棄物処理計画書　第２面・第４面・第５面　一括表

（単位:t）

	平成6年度実績						令和7年度目標					
	排出量 ※第2面	全処理委託量 ※第4面	優良認定処理業者への処理委託量 ※第4面	再生利用業者への処理委託量 ※第4面	熱回収認定業者への処理委託量 ※第4面	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ※第4面	排出量 ※第2面	全処理委託量 ※第5面	優良認定処理業者への処理委託量 ※第5面	再生利用業者への処理委託量 ※第5面	熱回収認定業者への処理委託量 ※第5面	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ※第5面
燃え殻												
その他汚泥												
建設汚泥	4,066.20	4,066.20	50.40	4,066.20			4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00		
廃油												
廃酸	5.00	5.00	5.00	5.00								
廃アルカリ	5.00	5.00	5.00	5.00								
廃プラスチック類	51.69	51.69	51.29	51.69			50.00	50.00	50.00	50.00		
紙くず	48.66	48.66	48.66	48.66			50.00	50.00	50.00	50.00		
木くず	75.96	75.96	45.06	75.96			70.00	70.00	70.00	70.00		
繊維くず	0.88	0.88	0.88	0.88								
金属くず	9.60	9.60	9.60	9.60			10.00	10.00	10.00	10.00		
ガラス陶磁器くず	259.67	259.67	228.62	259.67			250.00	250.00	250.00	250.00		
鉱さい												
他がれき類	272.02	272.02	272.02	272.02			270.00	270.00	270.00	270.00		
コンクリート片	20,674.55	20,674.55	7,397.55	20,674.55			20,020.00	20,020.00	20,020.00	20,020.00		
アスファルトコンクリート片	971.90	971.90	130.90	971.90			950.00	950.00	950.00	950.00		
ばいじん												
建設混合廃棄物	339.22	339.22	326.74	339.22			330.00	330.00	330.00	330.00		
石綿含有産業廃棄物	95.71	95.71										
水銀使用製品産業廃棄物	1.34	1.34	1.34	1.34								
廃電気機械器具												
廃電池類												
合　　計	26,877.40	26,877.40	8,573.06	26,781.69	0.00	0.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	0.00	0.00

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　7　年　6　月　30　日

千葉県知事 熊谷俊人 殿

提出者

住所 東京都新宿区西新宿4-32-22

氏名 株式会社フジタ東京支店

上席執行役員支店長 金子孝一

電話番号　03-5309-2100(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和　6　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フジタ東京支店
事業場の所在地	千葉県内各所(千葉市・船橋市・柏市を除く)
事業の種類	D. 建設業　06. 総合工事業　061. 一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　～　令和7年3月31日

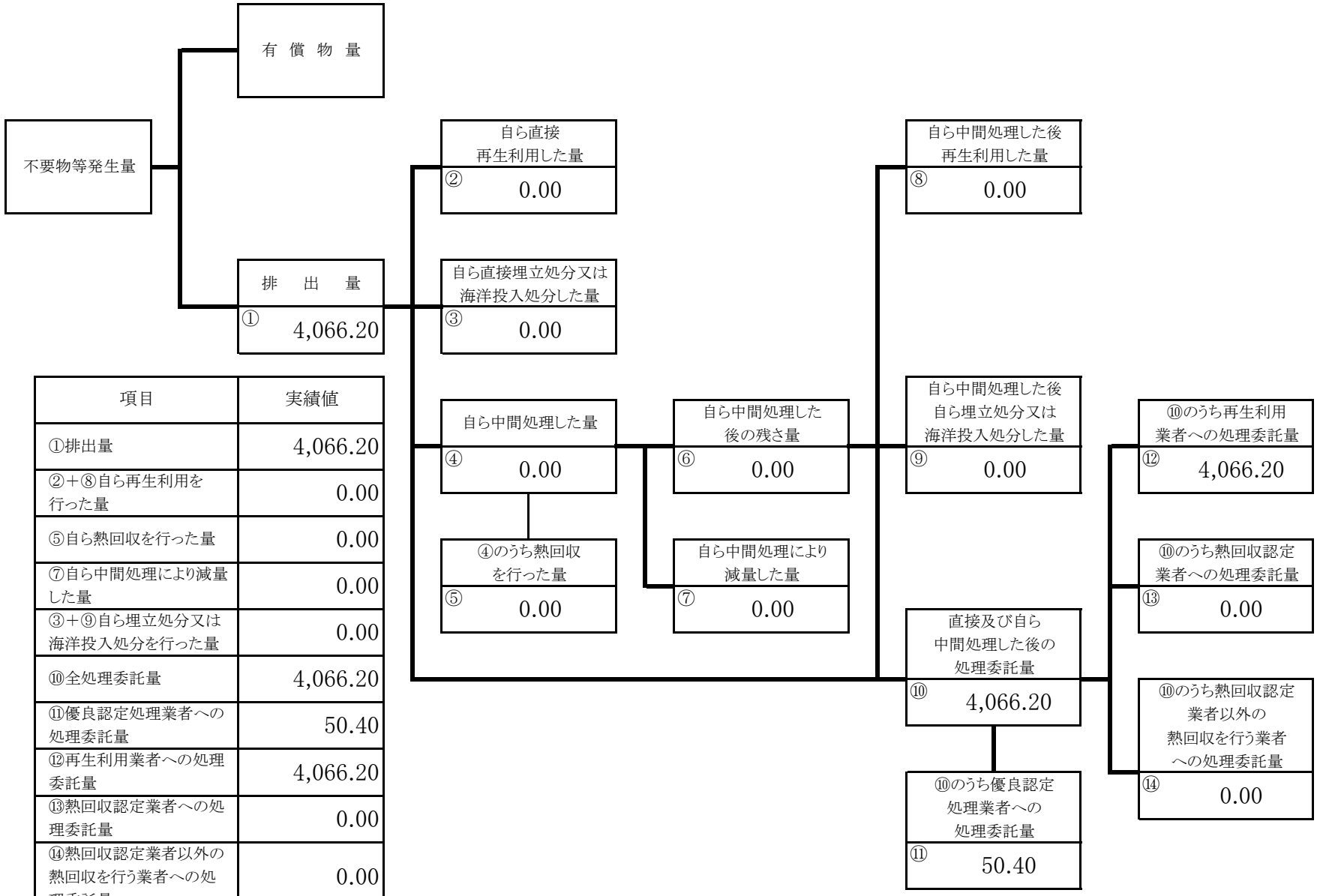
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	30,000.00 t	全処理委託量	30,000.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	優良認定処理業者への処理委託量	30,000.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処理委託量	30,000.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

※ 事務処理欄	

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設汚泥　）

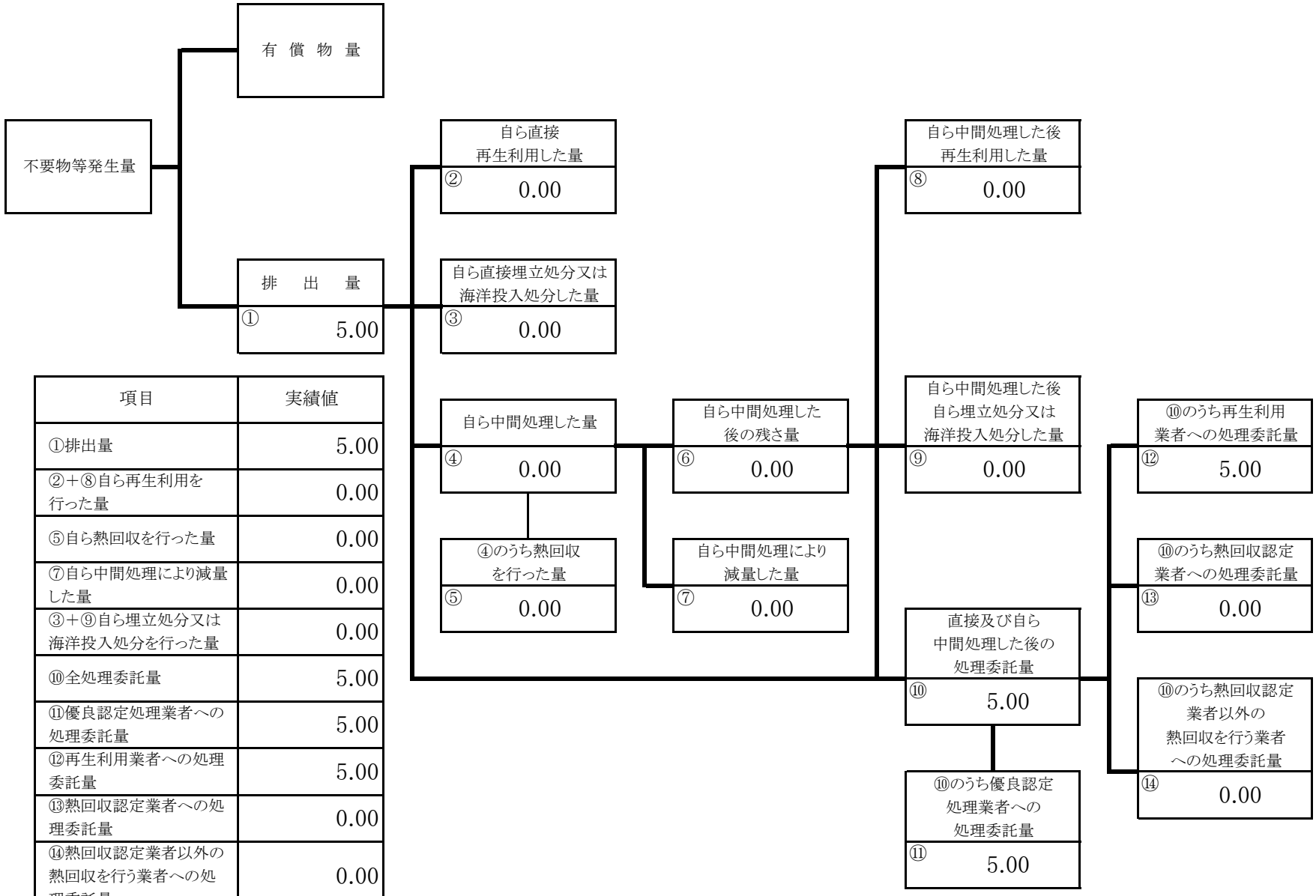


項目	実績値
①排出量	4,066.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4,066.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.40
⑫再生利用業者への処理委託量	4,066.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃酸　）

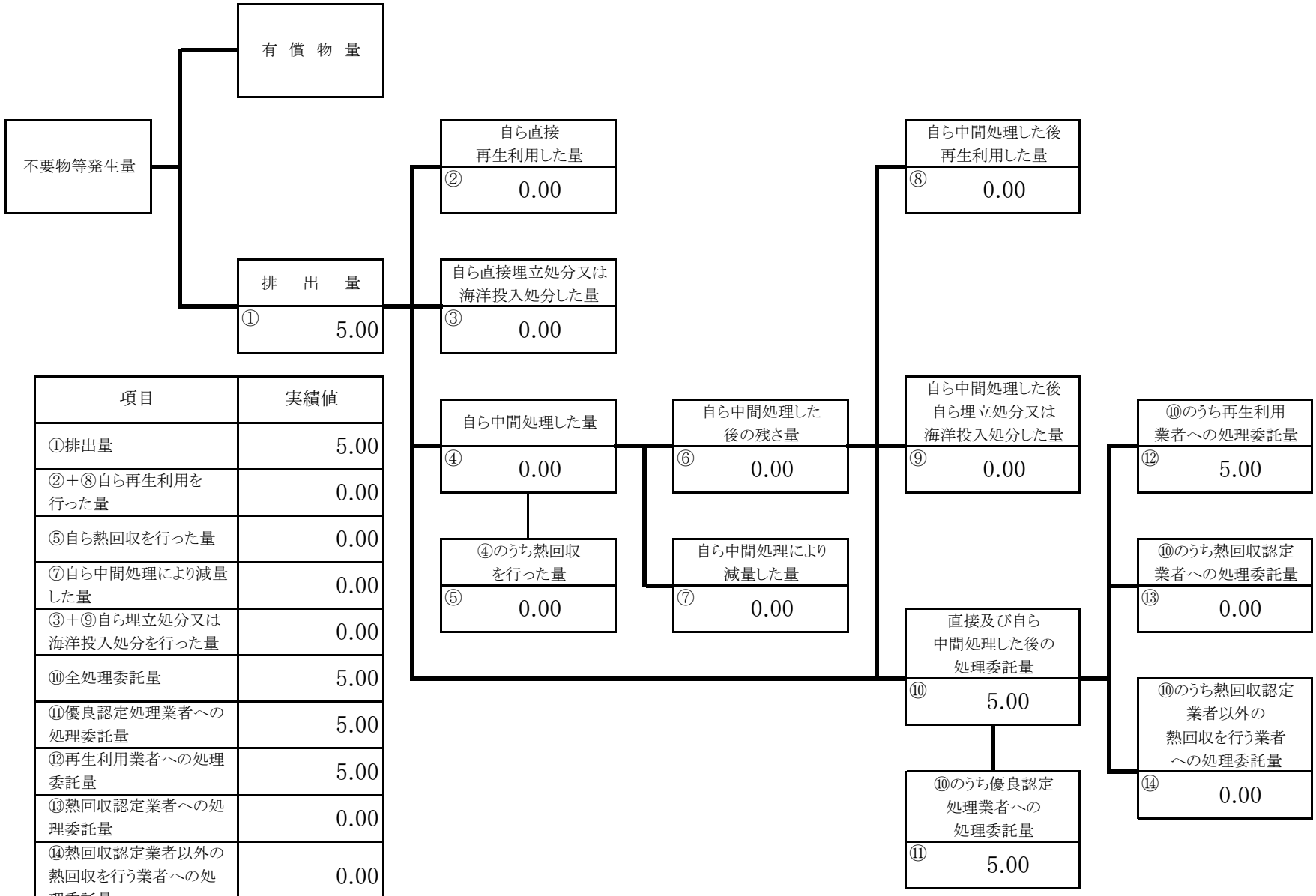


項目	実績値
①排出量	5.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.00
⑫再生利用業者への処理委託量	5.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）

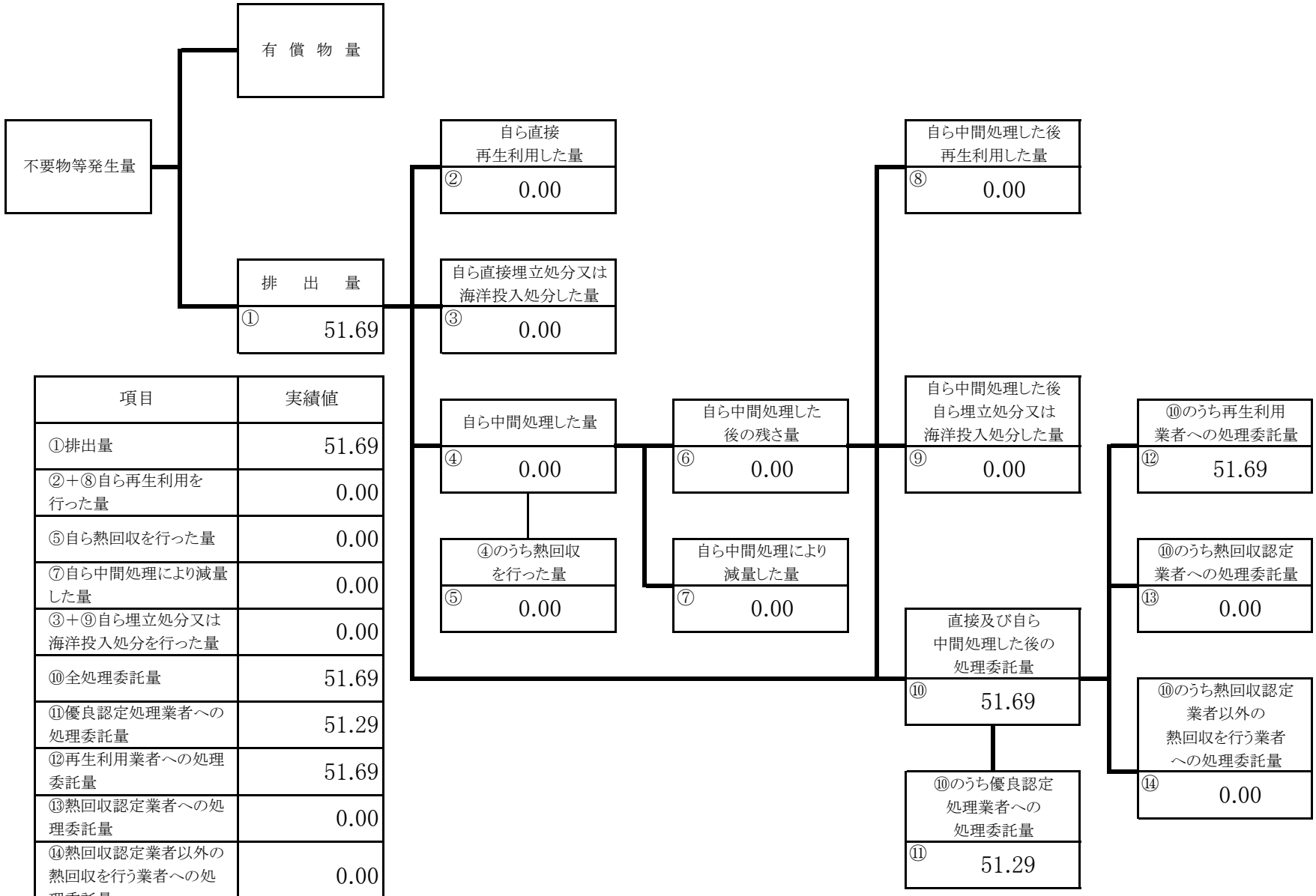


項目	実績値
①排出量	5.00
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.00
⑫再生利用業者への処理委託量	5.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

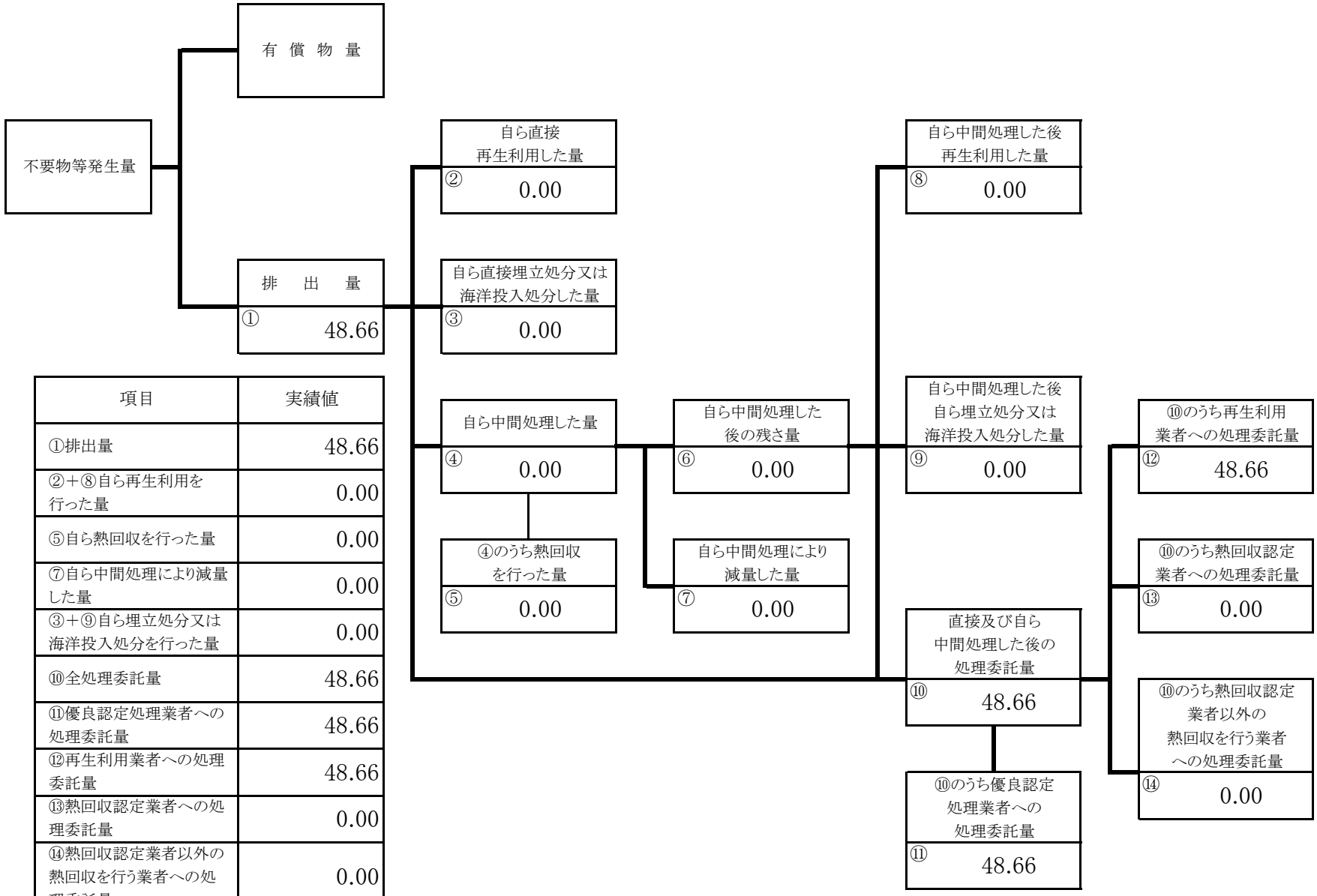


項目	実績値
①排出量	51.69
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	51.69
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.29
⑫再生利用業者への処理委託量	51.69
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　紙くず　）

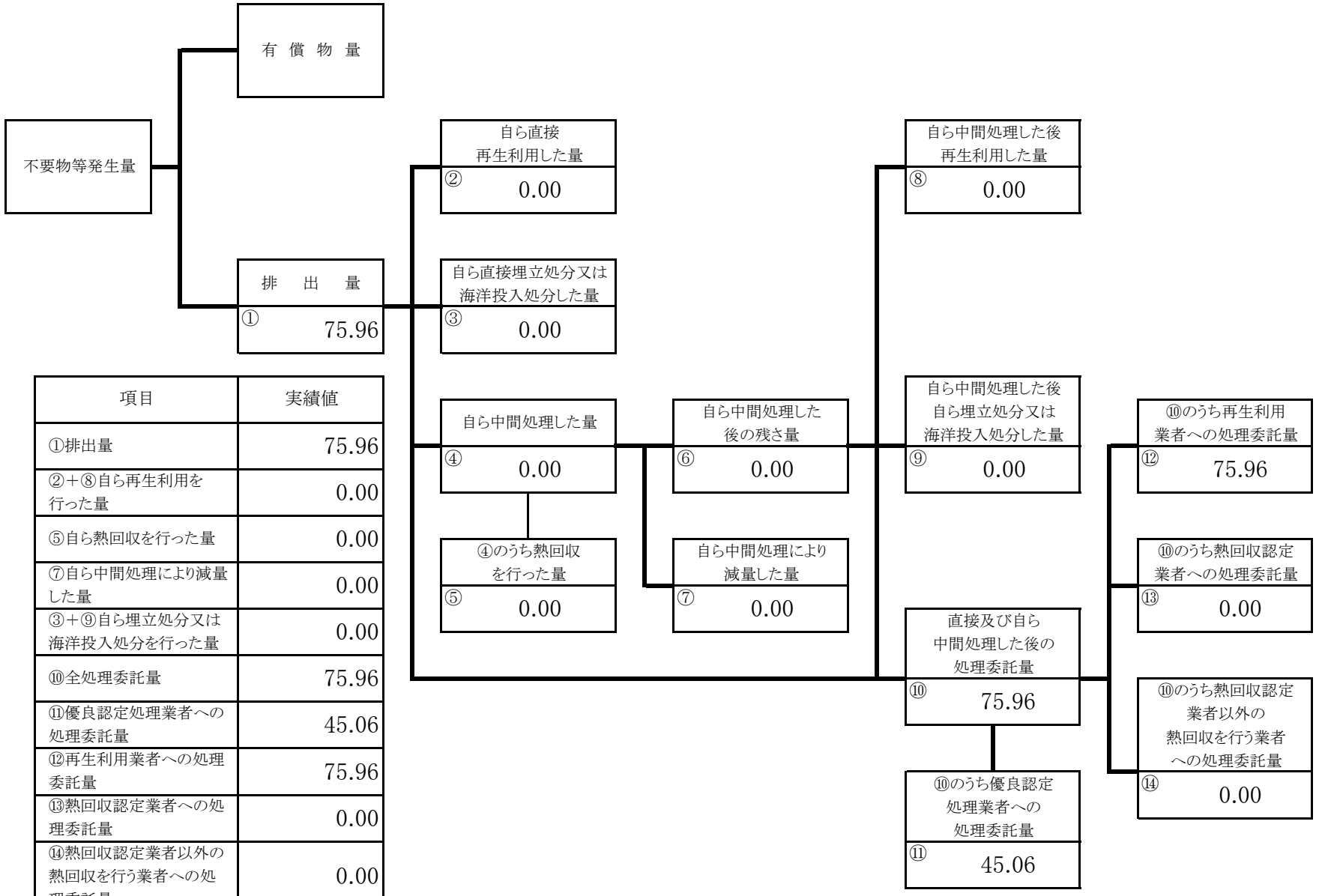


項目	実績値
①排出量	48.66
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	48.66
⑪優良認定処理業者への処理委託量	48.66
⑫再生利用業者への処理委託量	48.66
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

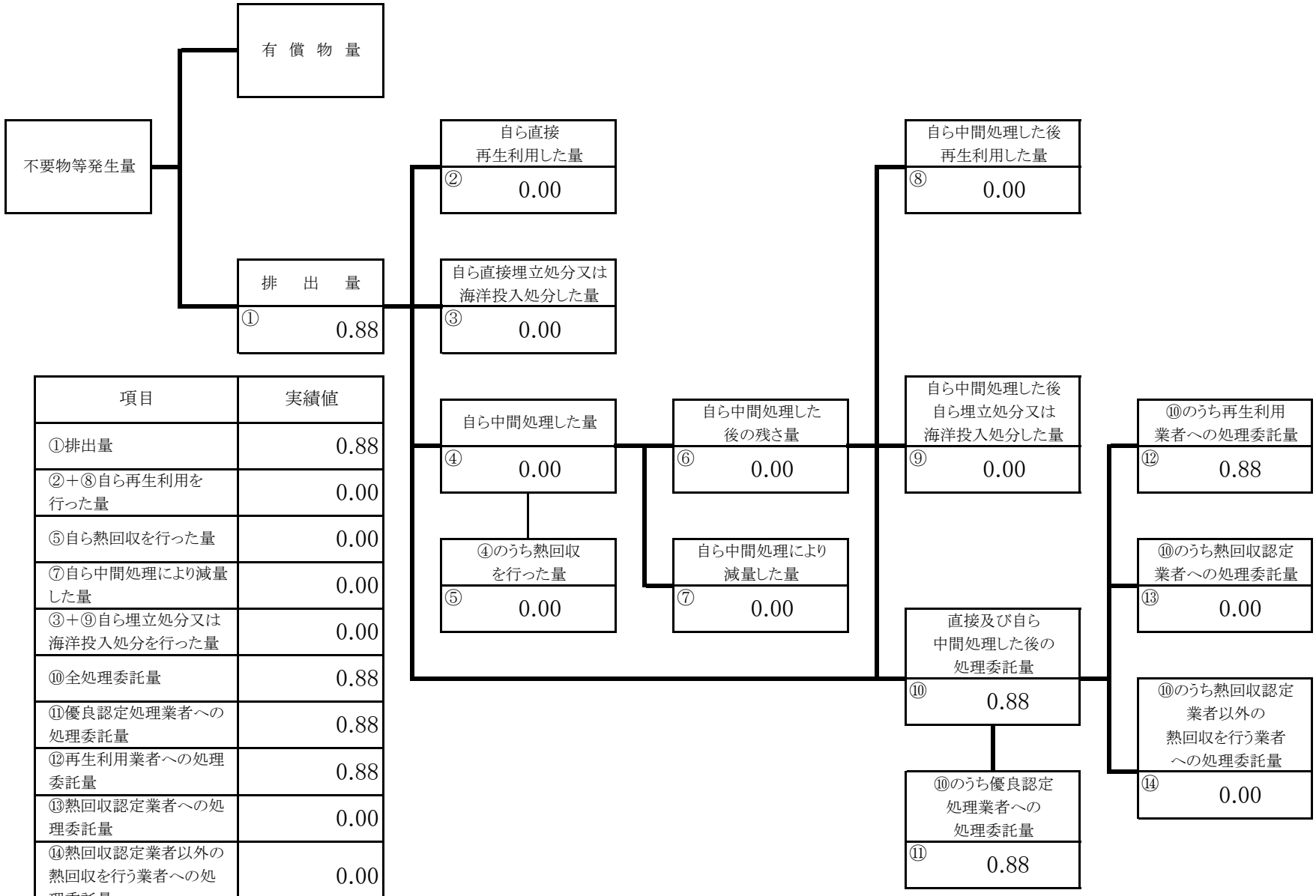


項目	実績値
①排出量	75.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	75.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.06
⑫再生利用業者への処理委託量	75.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）

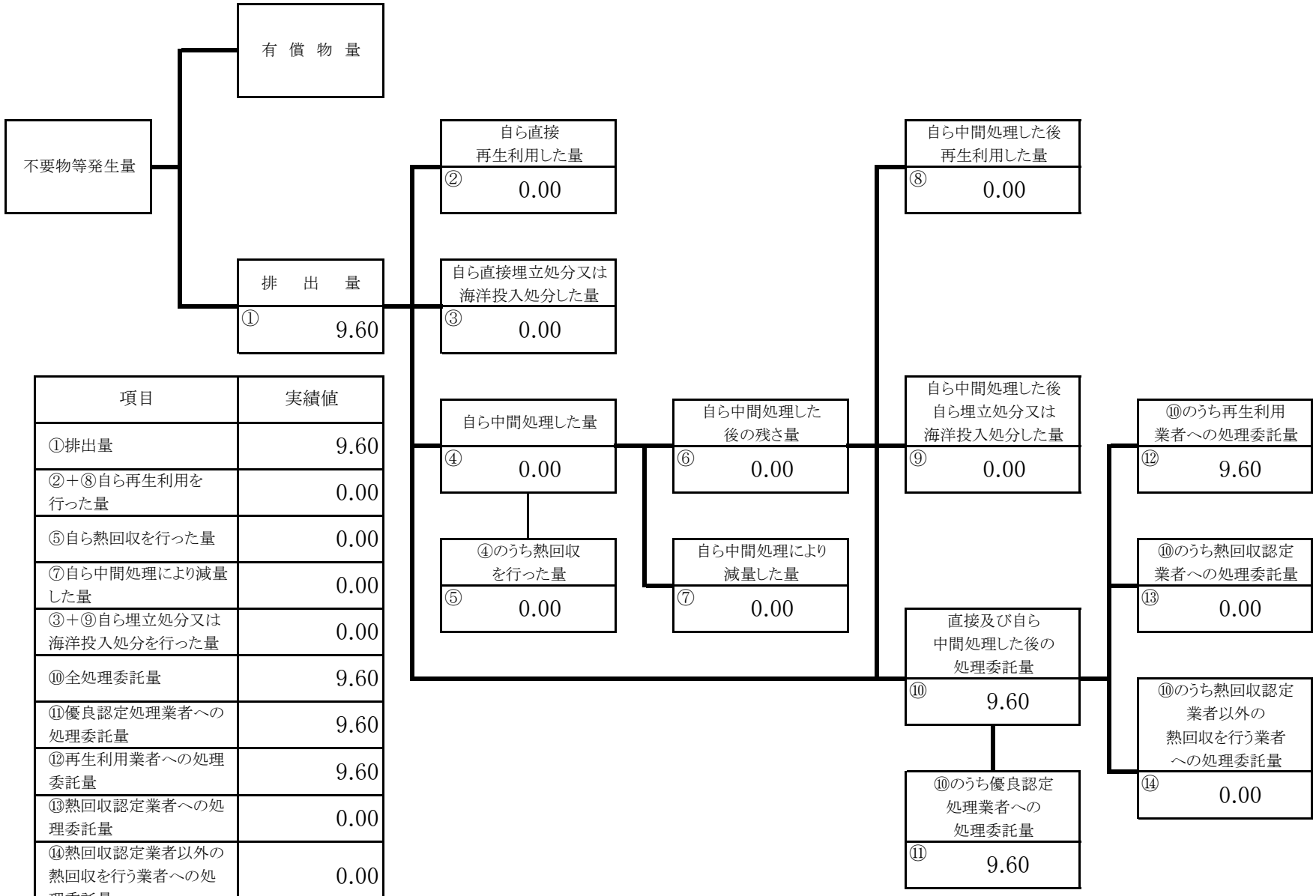


項目	実績値
①排出量	0.88
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.88
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.88
⑫再生利用業者への処理委託量	0.88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）

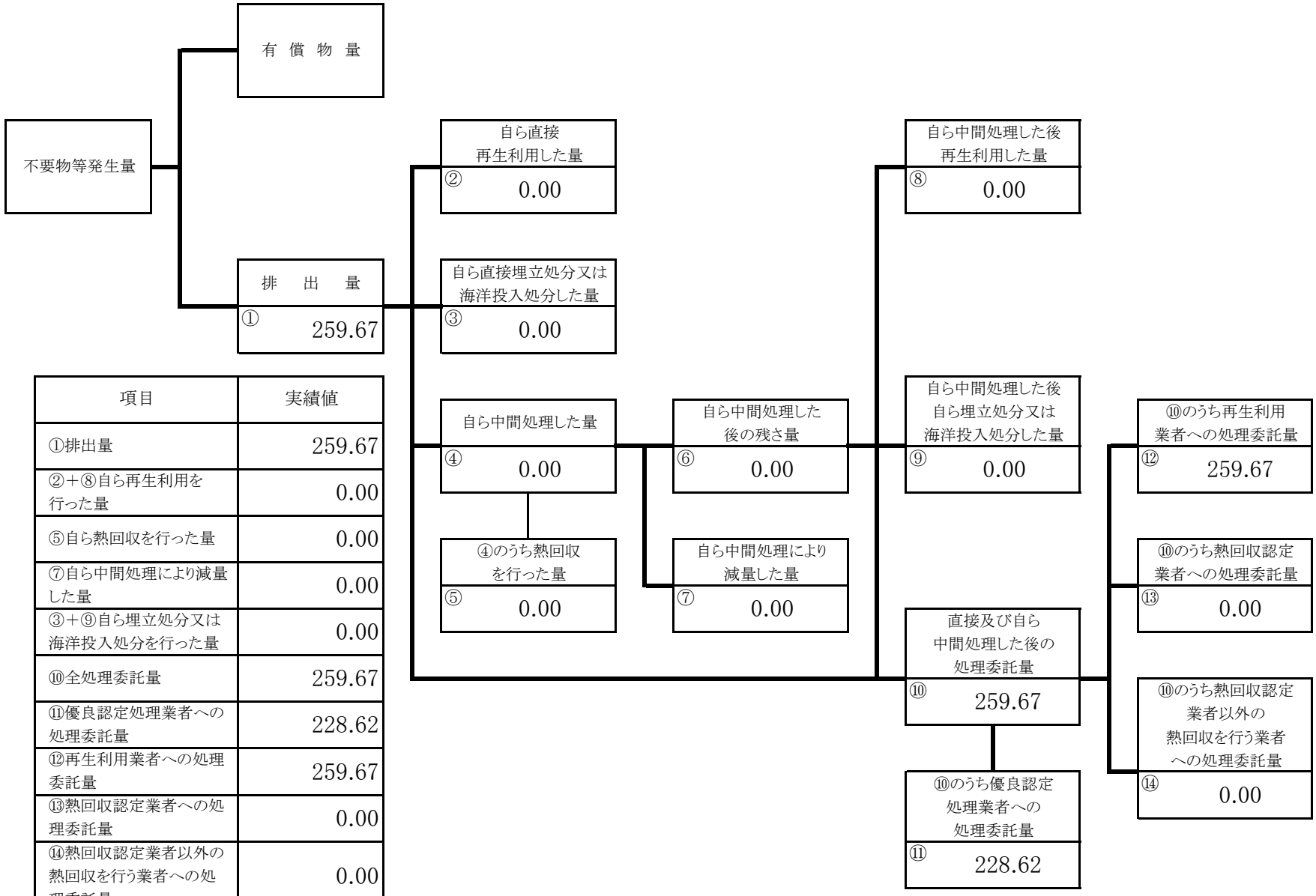


項目	実績値
①排出量	9.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	9.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.60
⑫再生利用業者への処理委託量	9.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス陶磁器くず　）

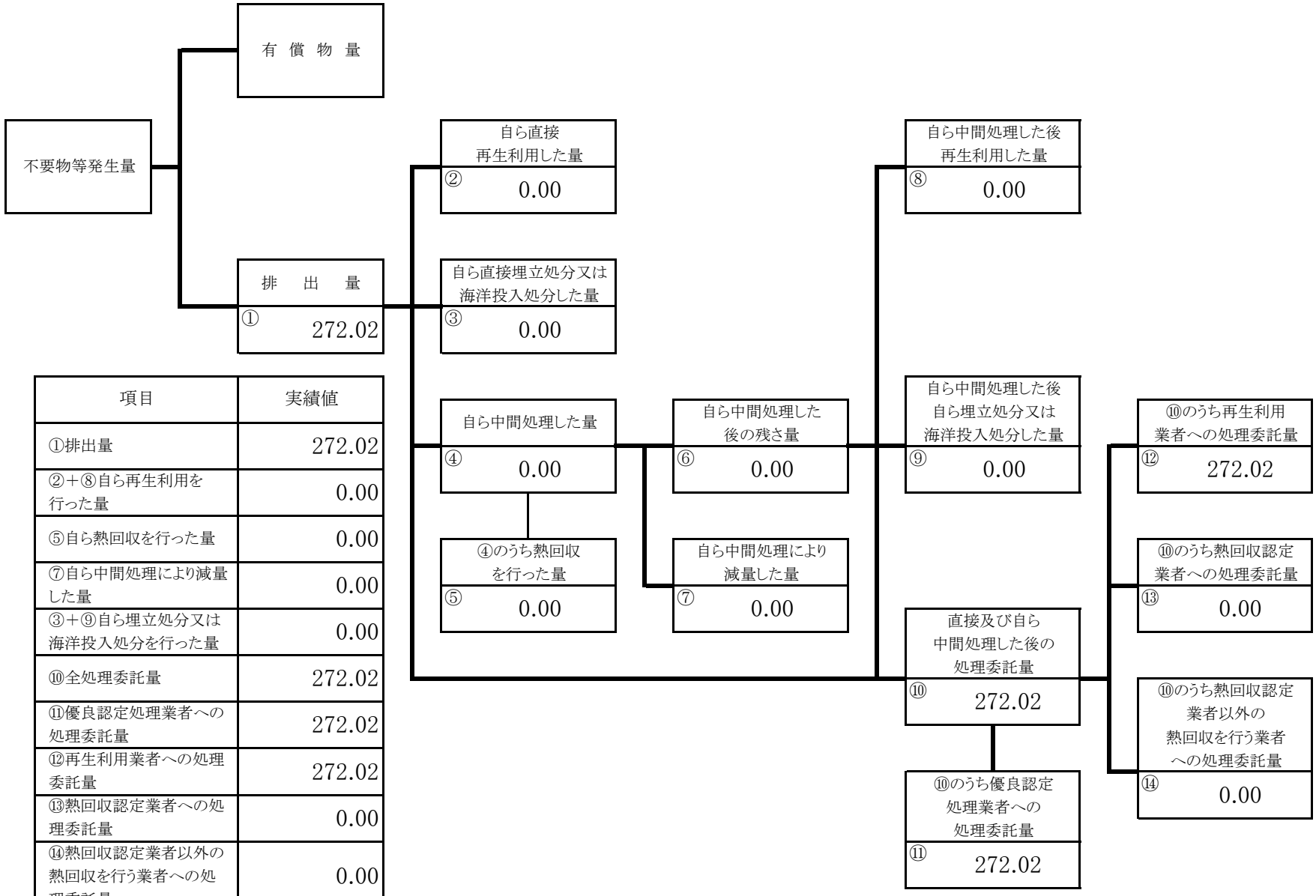


項目	実績値
①排出量	259.67
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	259.67
⑪優良認定処理業者への処理委託量	228.62
⑫再生利用業者への処理委託量	259.67
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　他がれき類　）

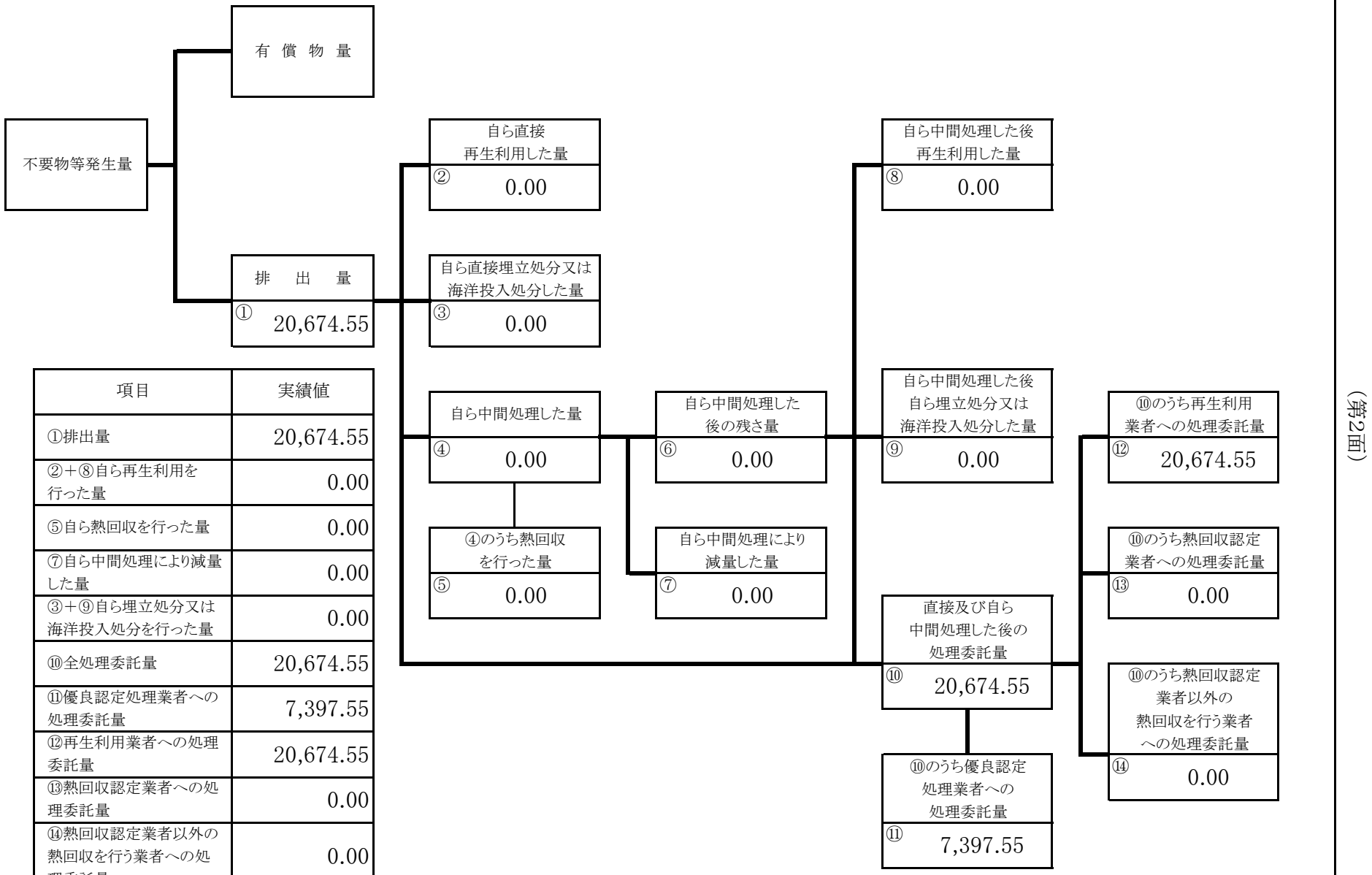


項目	実績値
①排出量	272.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	272.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	272.02
⑫再生利用業者への処理委託量	272.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート片　）

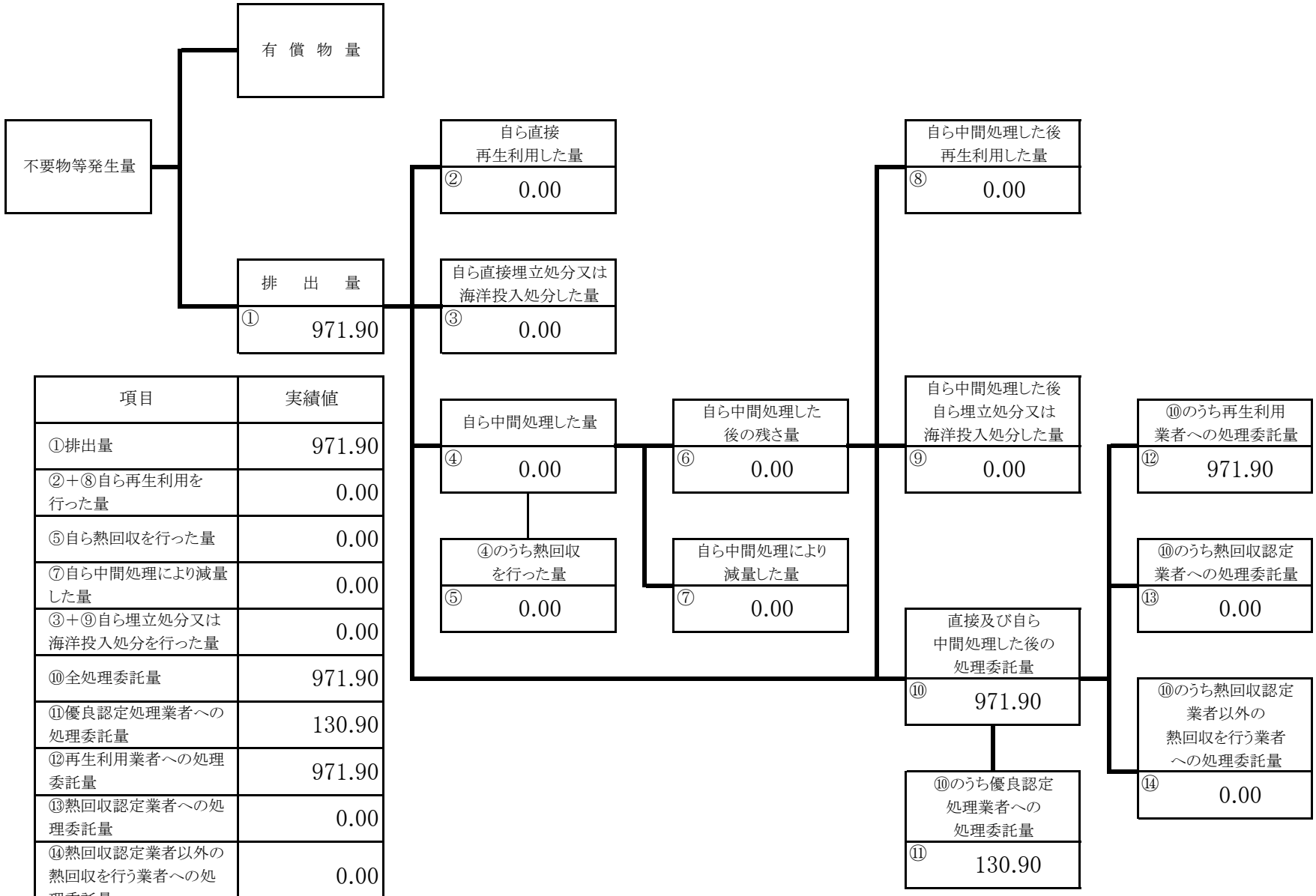


項目	実績値
①排出量	20,674.55
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	20,674.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7,397.55
⑫再生利用業者への処理委託量	20,674.55
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルトコンクリート片　　）

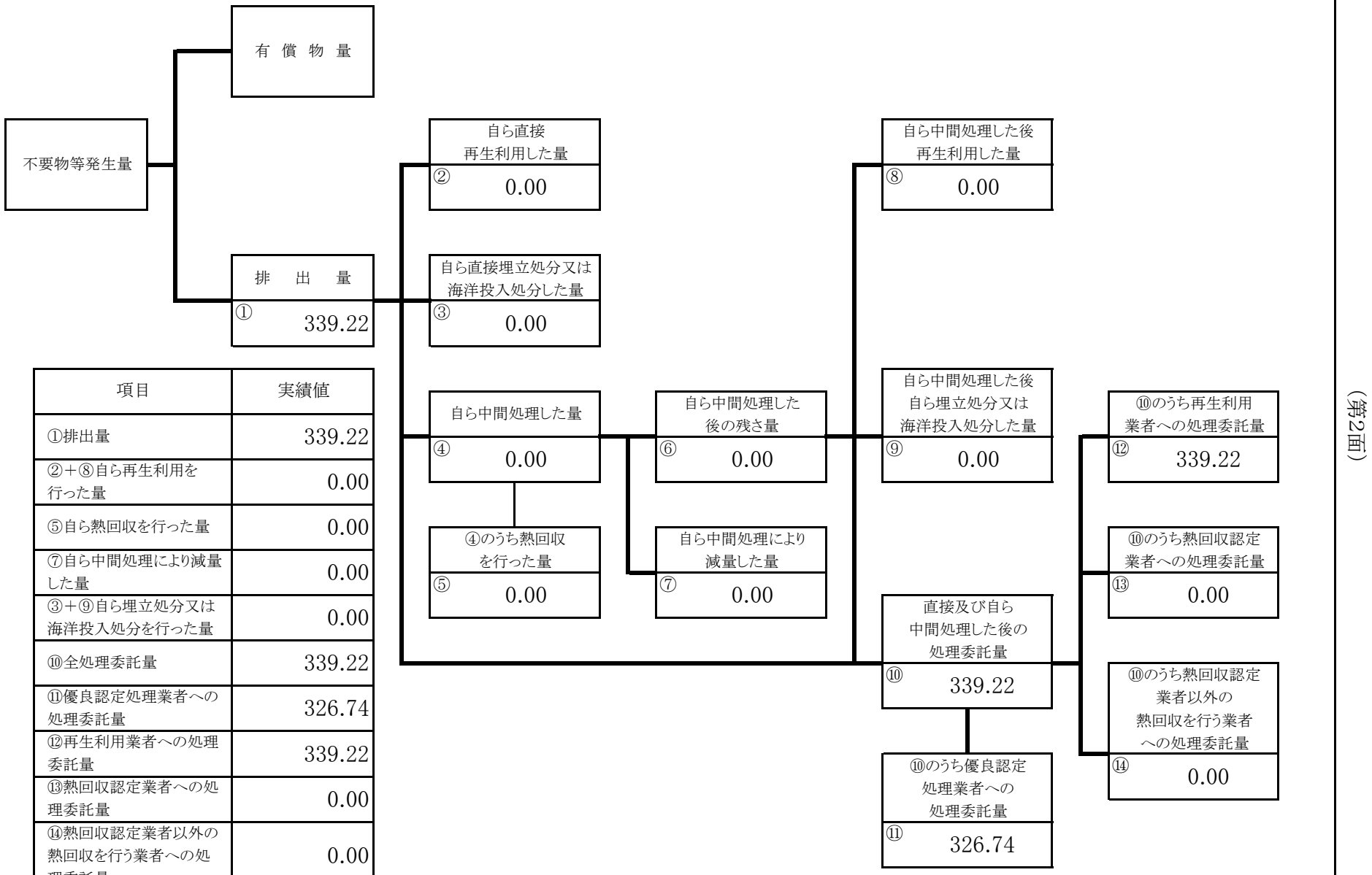


項目	実績値
①排出量	971.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	971.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.90
⑫再生利用業者への処理委託量	971.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）

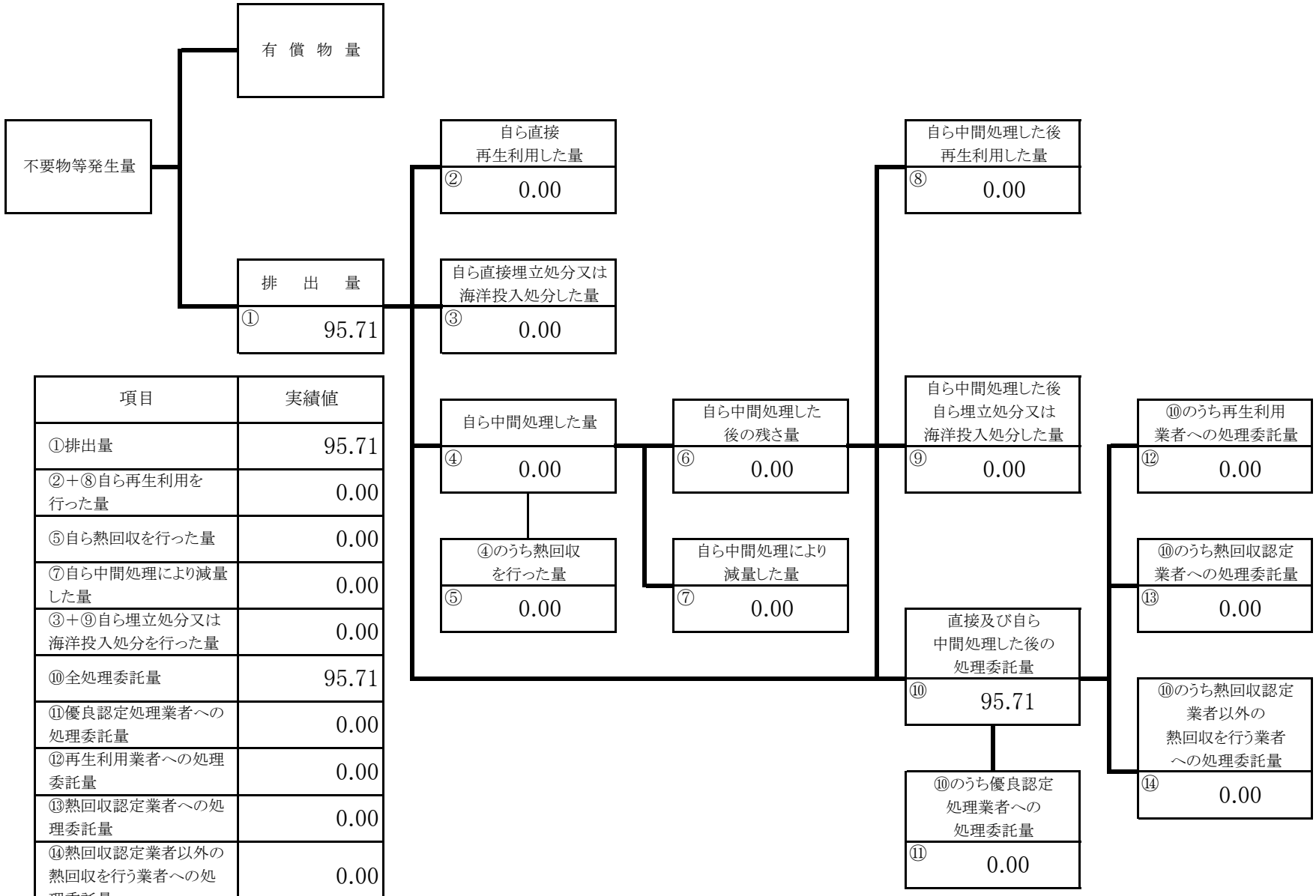


項目	実績値
①排出量	339.22
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	339.22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	326.74
⑫再生利用業者への処理委託量	339.22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産業廃棄物　）

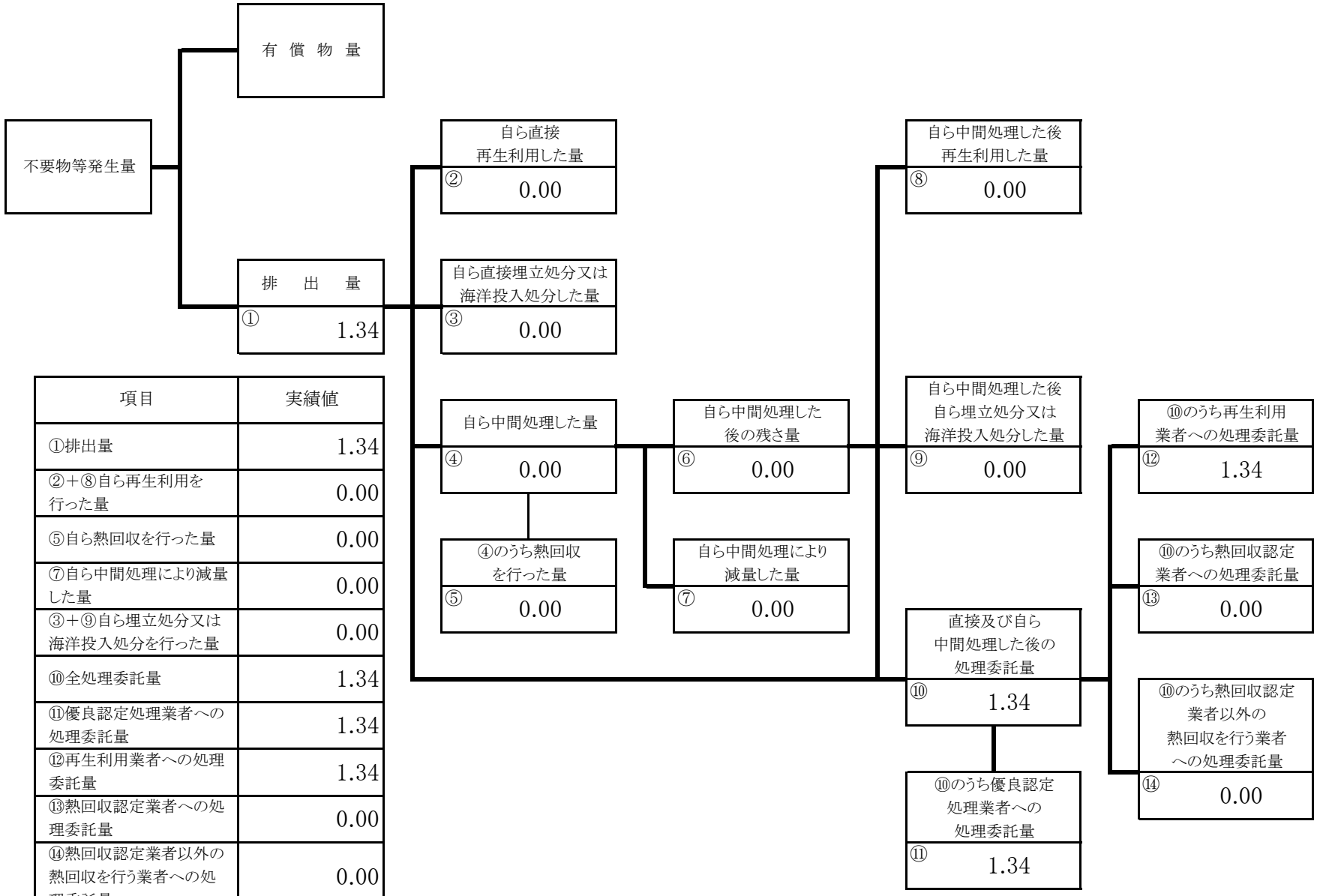


項目	実績値
①排出量	95.71
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	95.71
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用製品産業廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	1.34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.34
⑫再生利用業者への処理委託量	1.34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月 27日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒212-0013
住 所　神奈川県川崎市幸区堀川町580
氏 名　富士電機E&C株式会社
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
安全・品質保証統括部　品質保証部　鈴木靖二
電話番号 044－548－4385

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	富士電機E&C株式会社
事業場の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

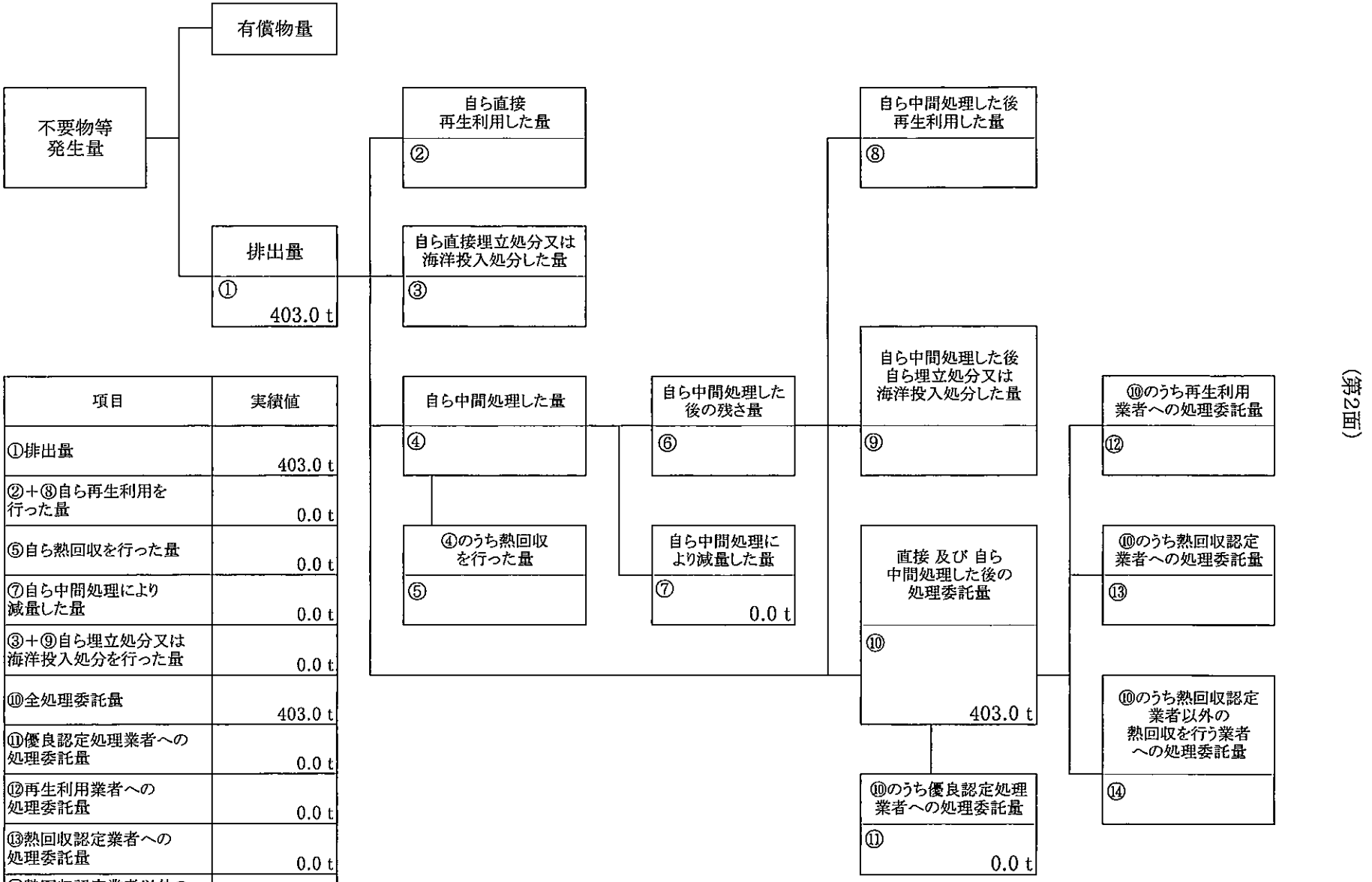
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	780.0 t	全処理委託量	780.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	780.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

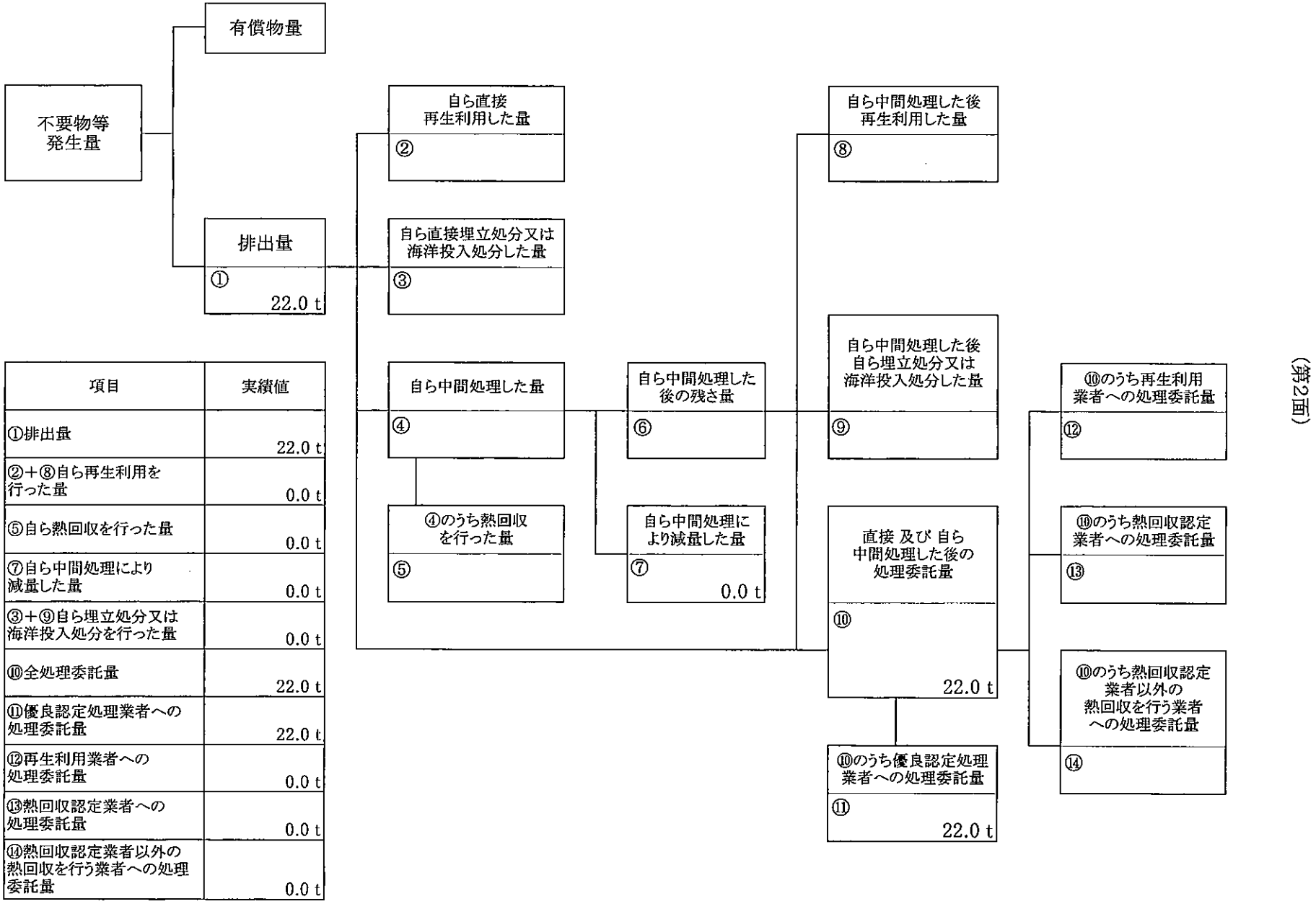


項目	実績値
①排出量	403.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	403.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

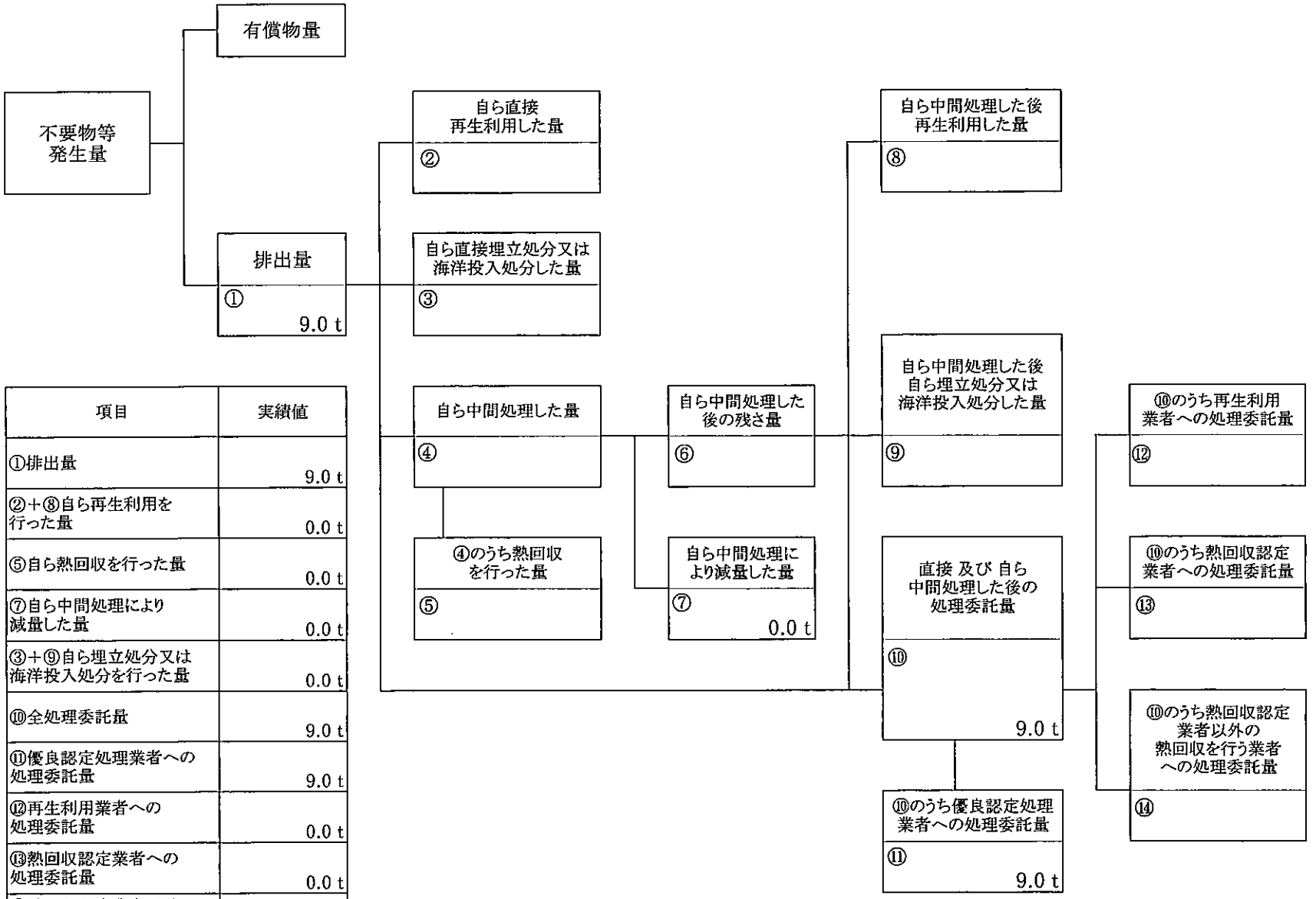


項目	実績値
①排出量	22.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　段ボール　　）

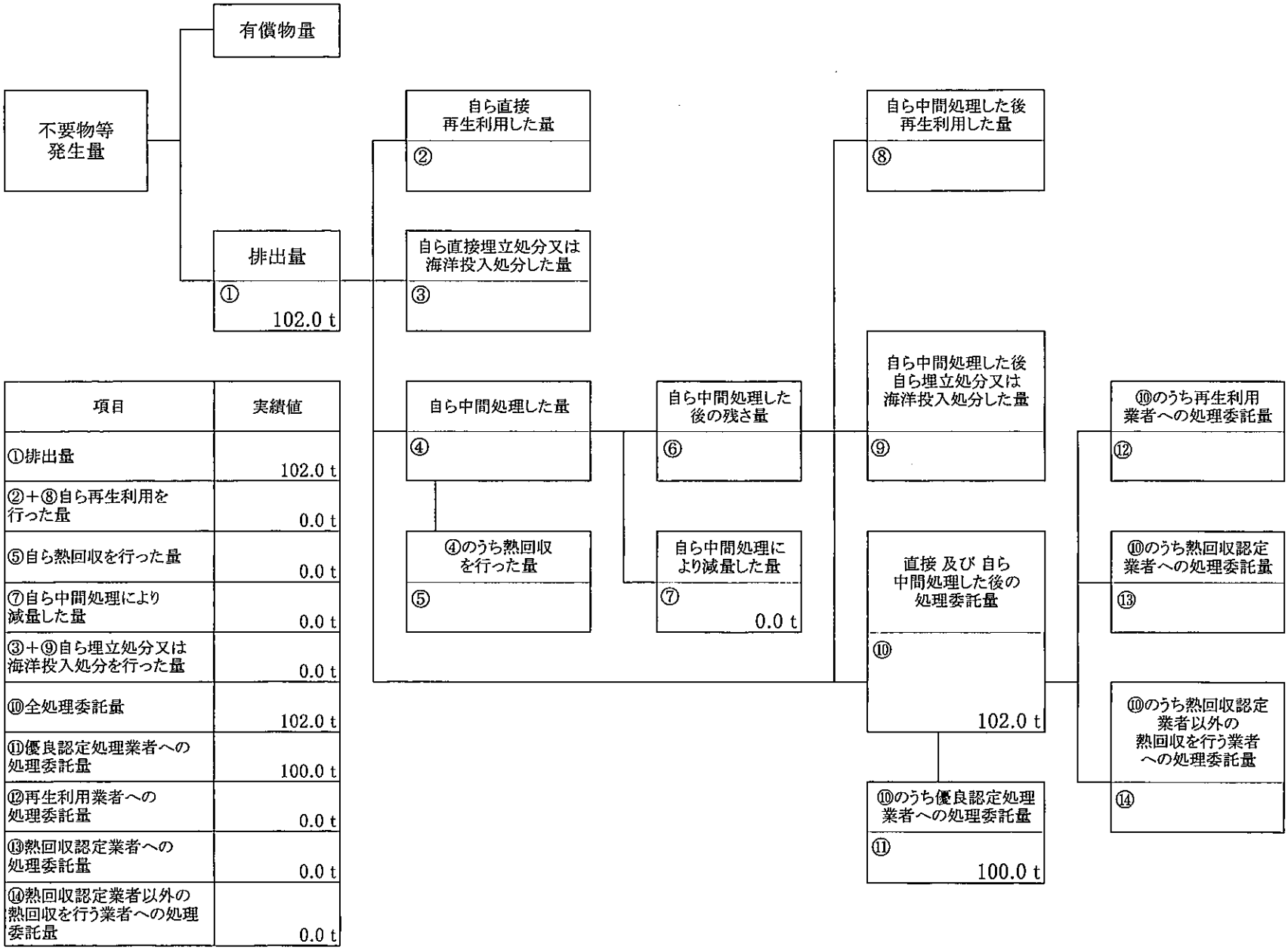


項目	実績値
①排出量	9.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

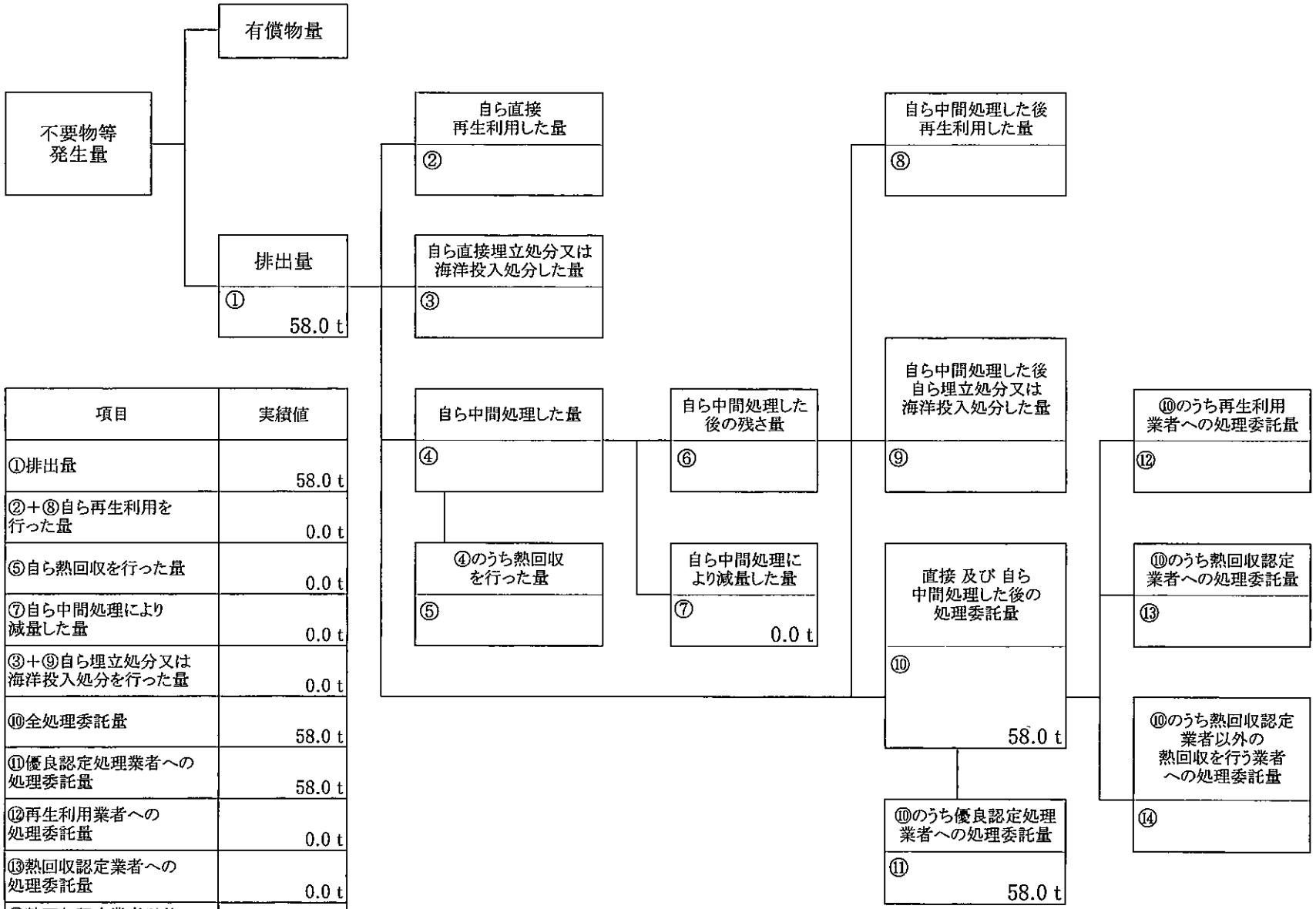


項目	実績値
①排出量	102.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	102.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

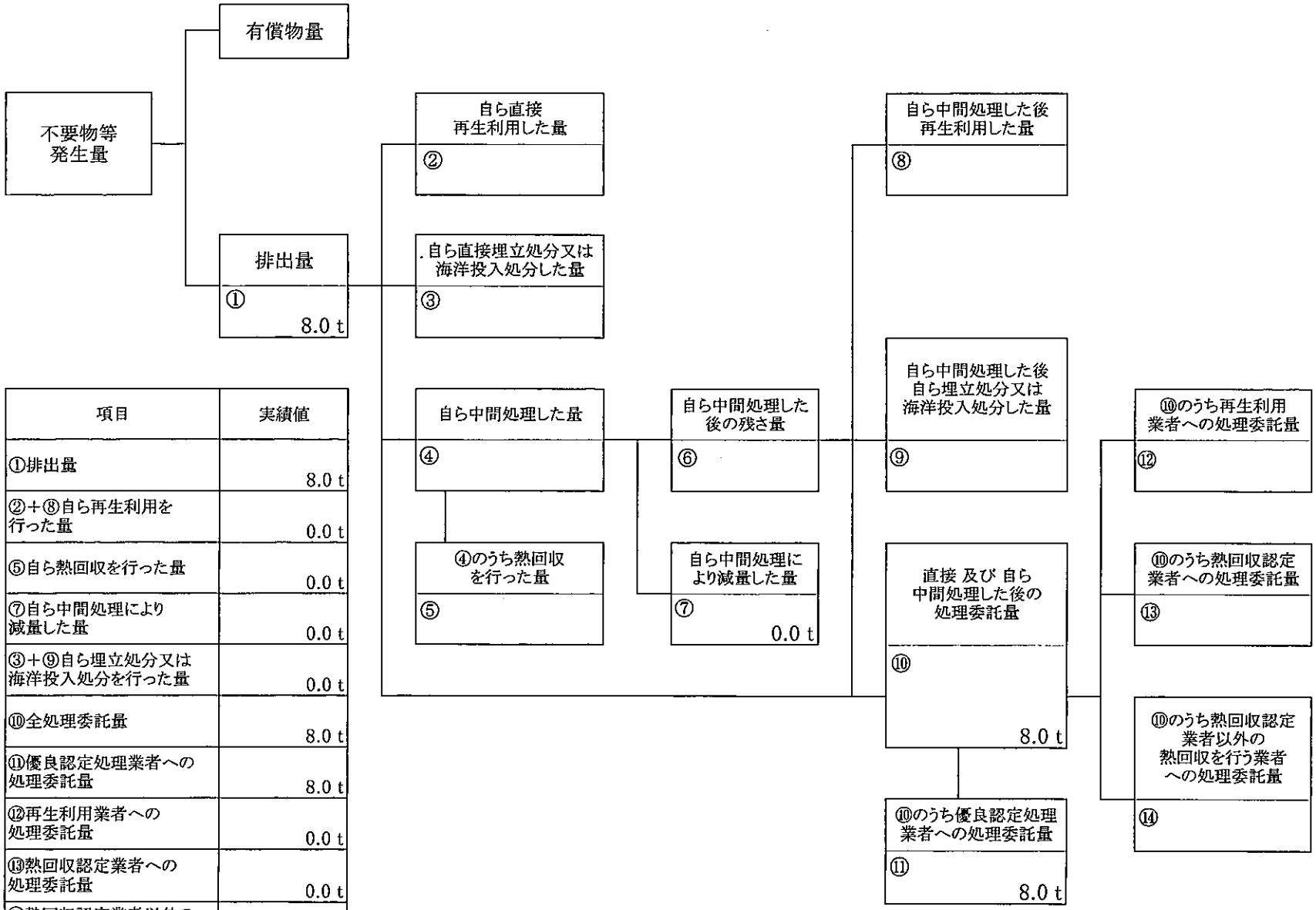


項目	実績値
①排出量	58.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず）

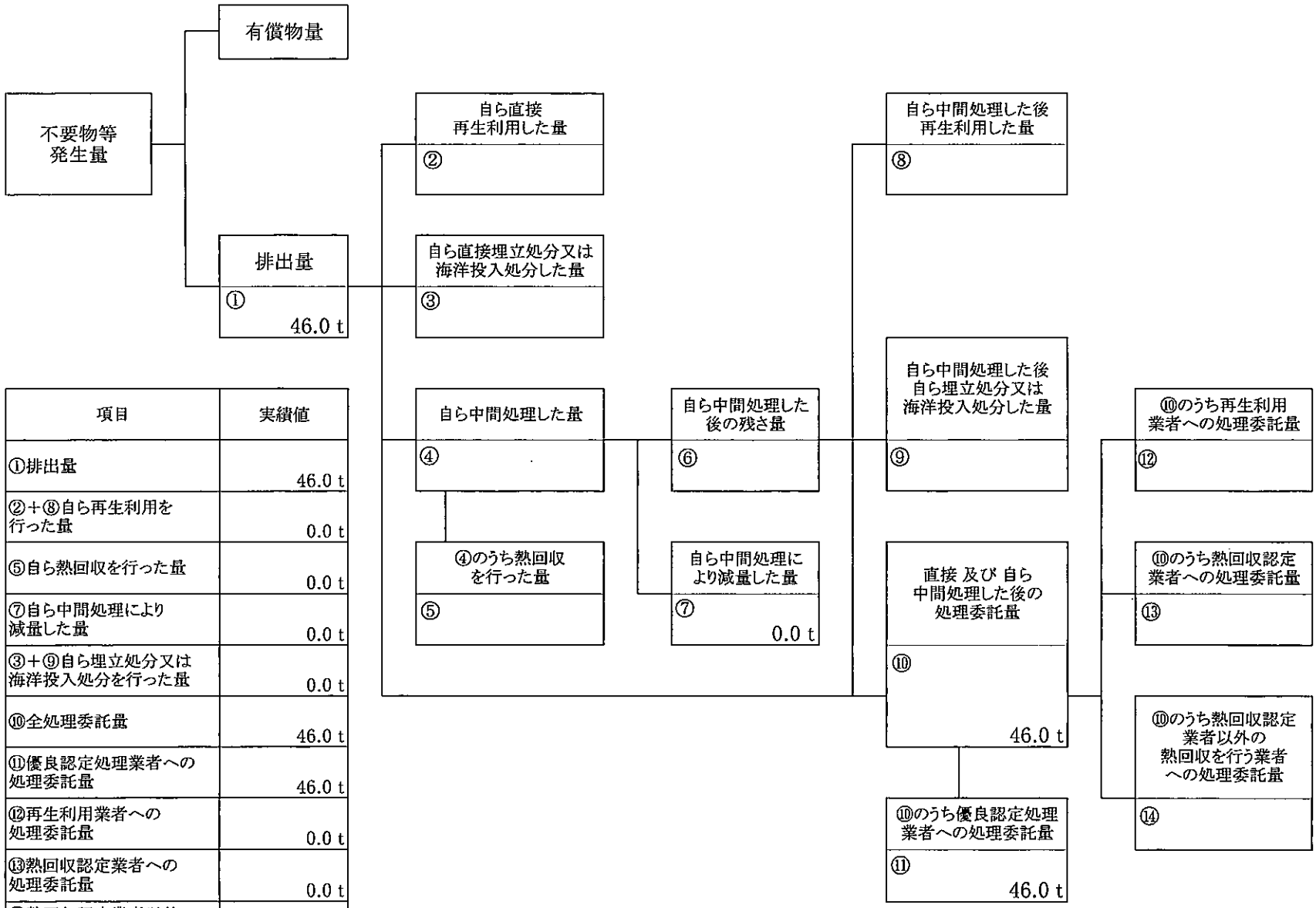


項目	実績値
①排出量	8.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類（コンクリート・アスファルト）　）

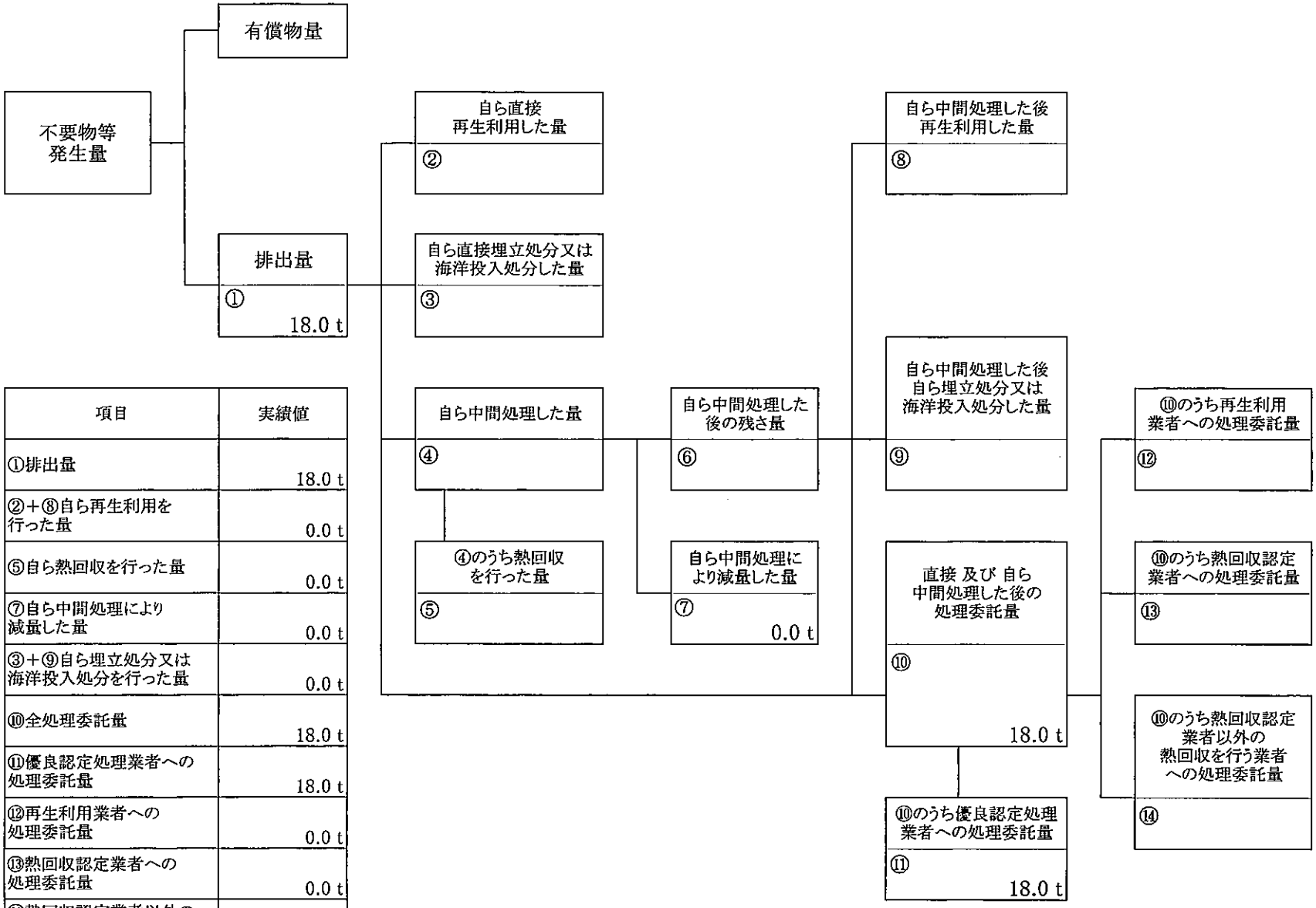


項目	実績値
①排出量	46.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　建設混合廃棄物　　）

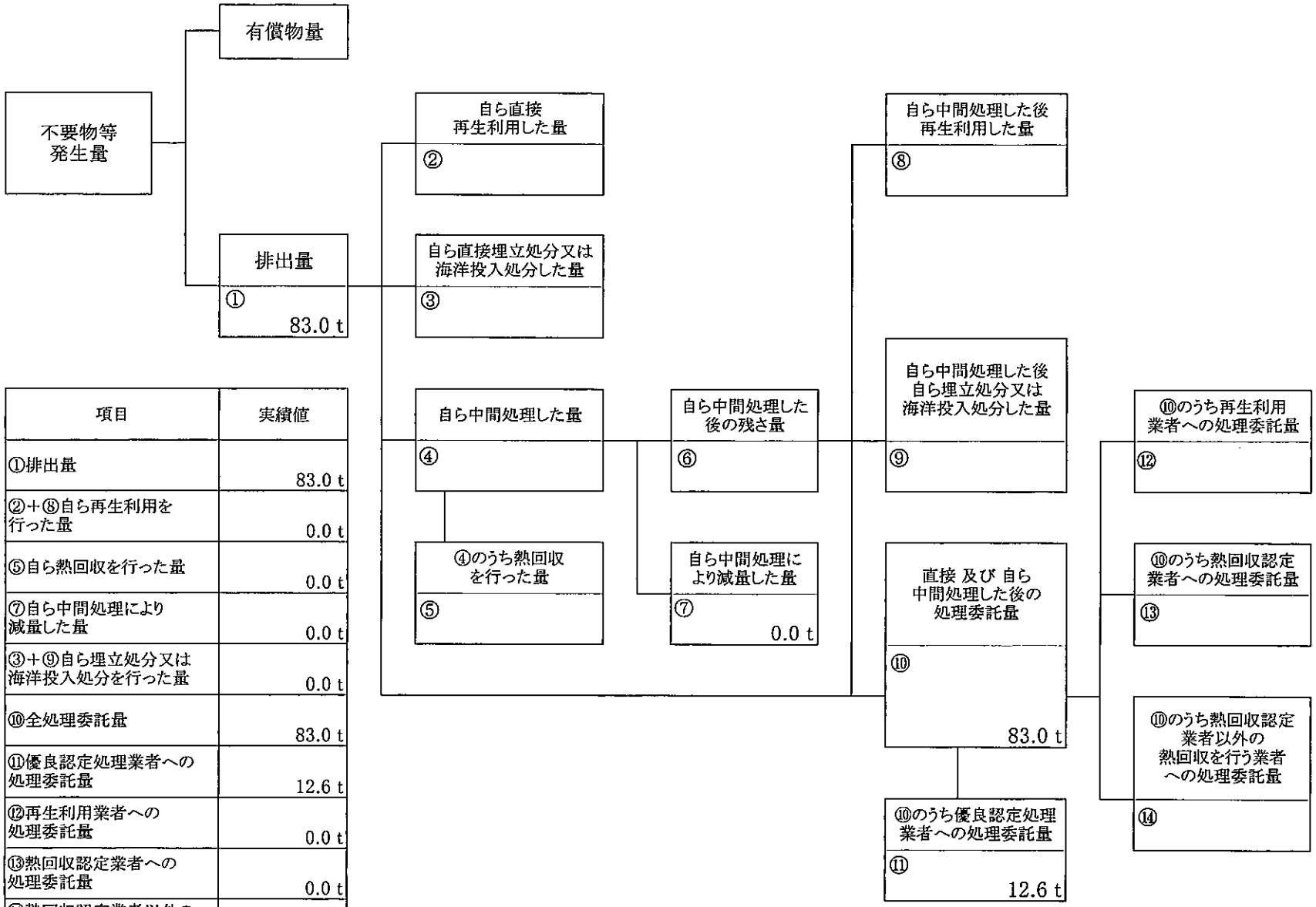


項目	実績値
①排出量	18.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルト・コンクリートがら　　）

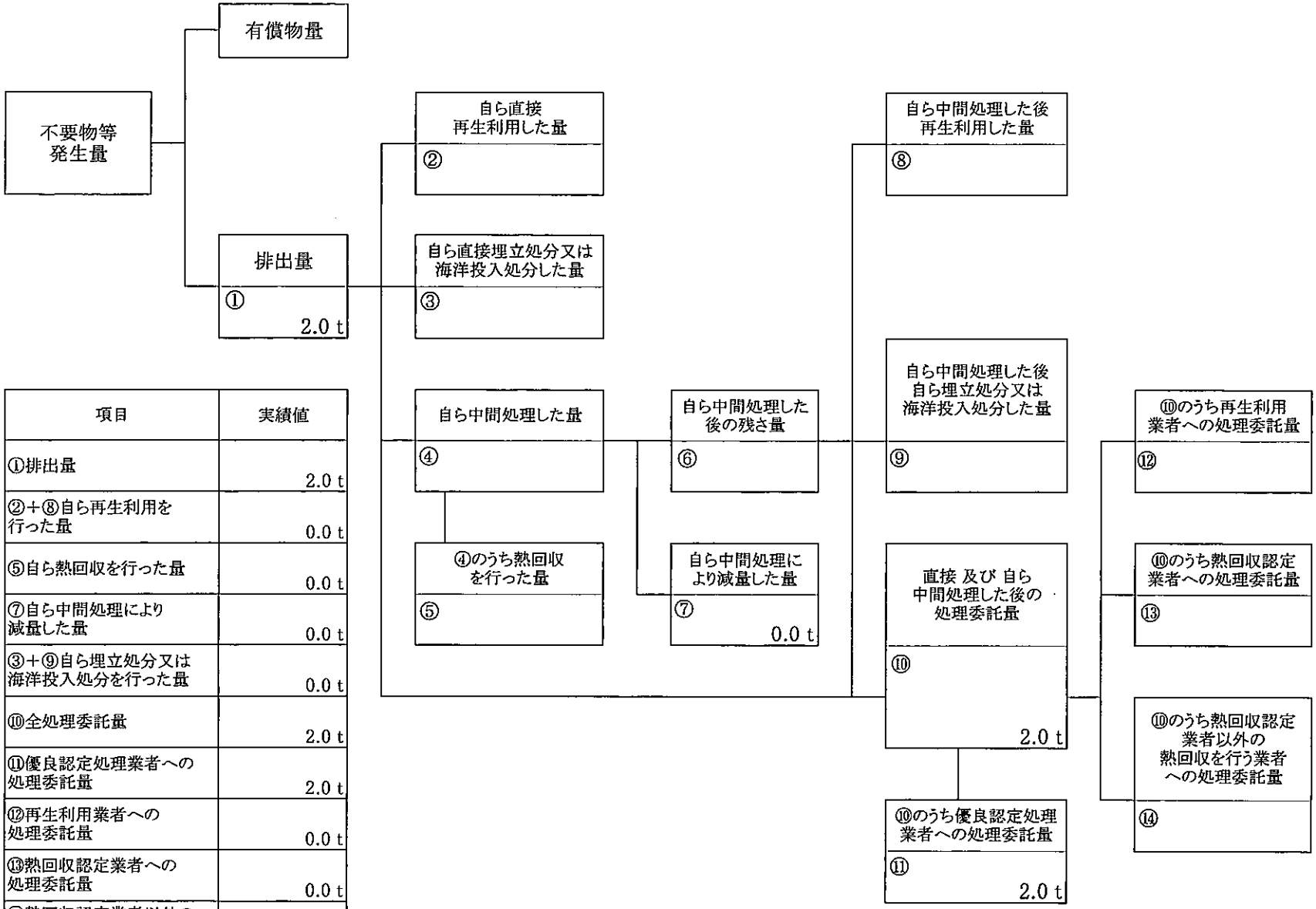


項目	実績値
①排出量	83.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	83.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　安定型混合廃棄物　　）

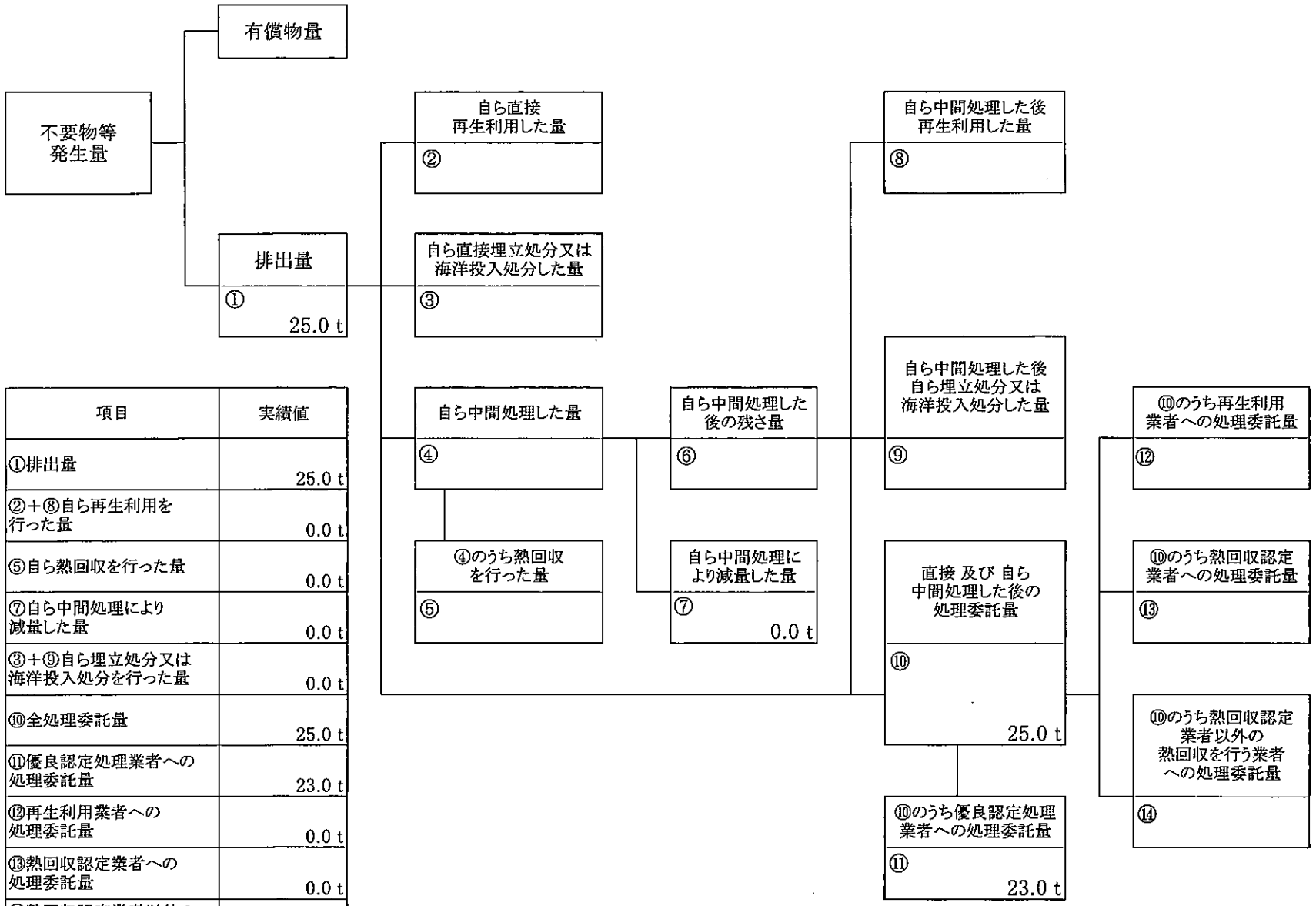


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

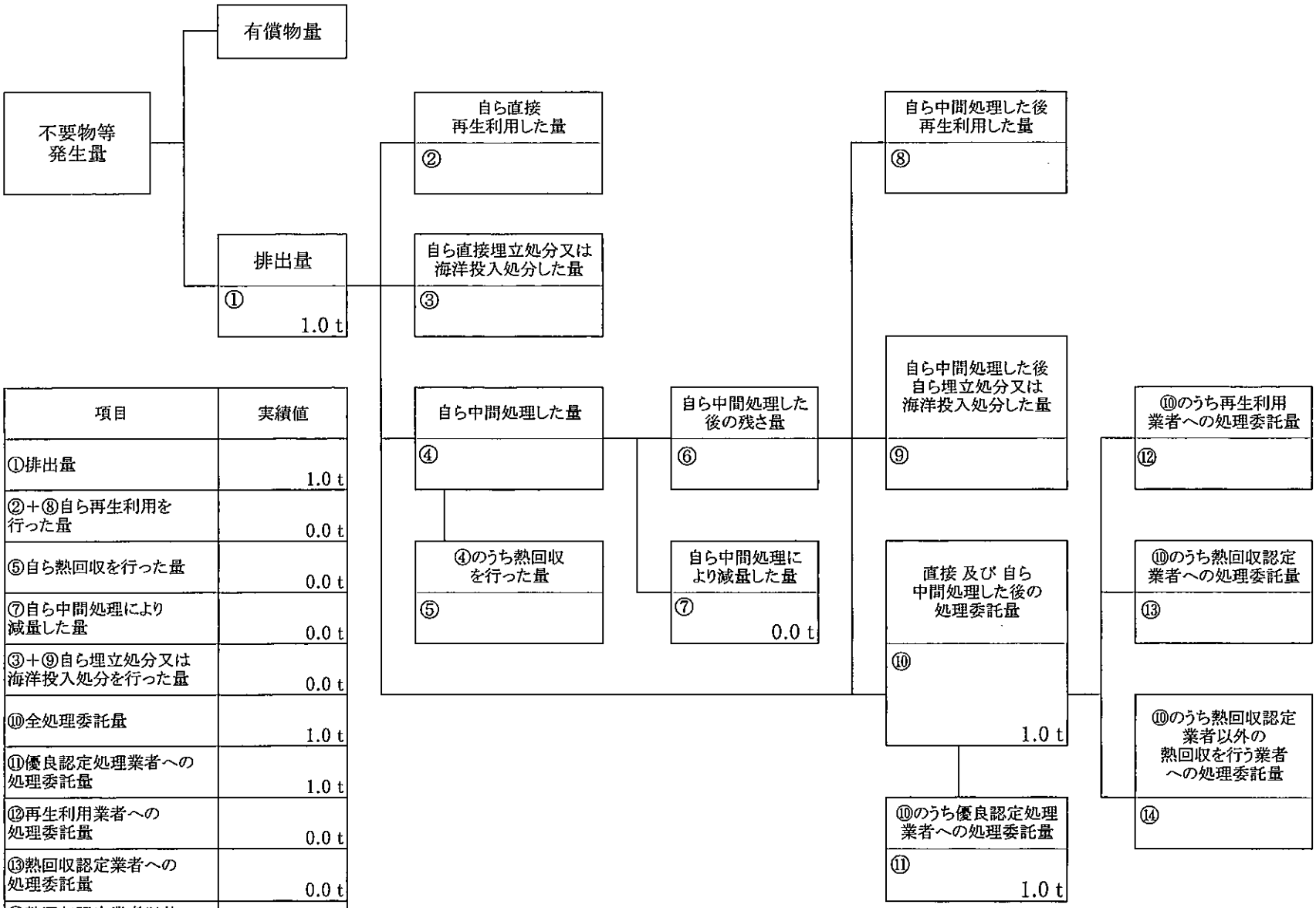


項目	実績値
①排出量	25.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	25.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物））

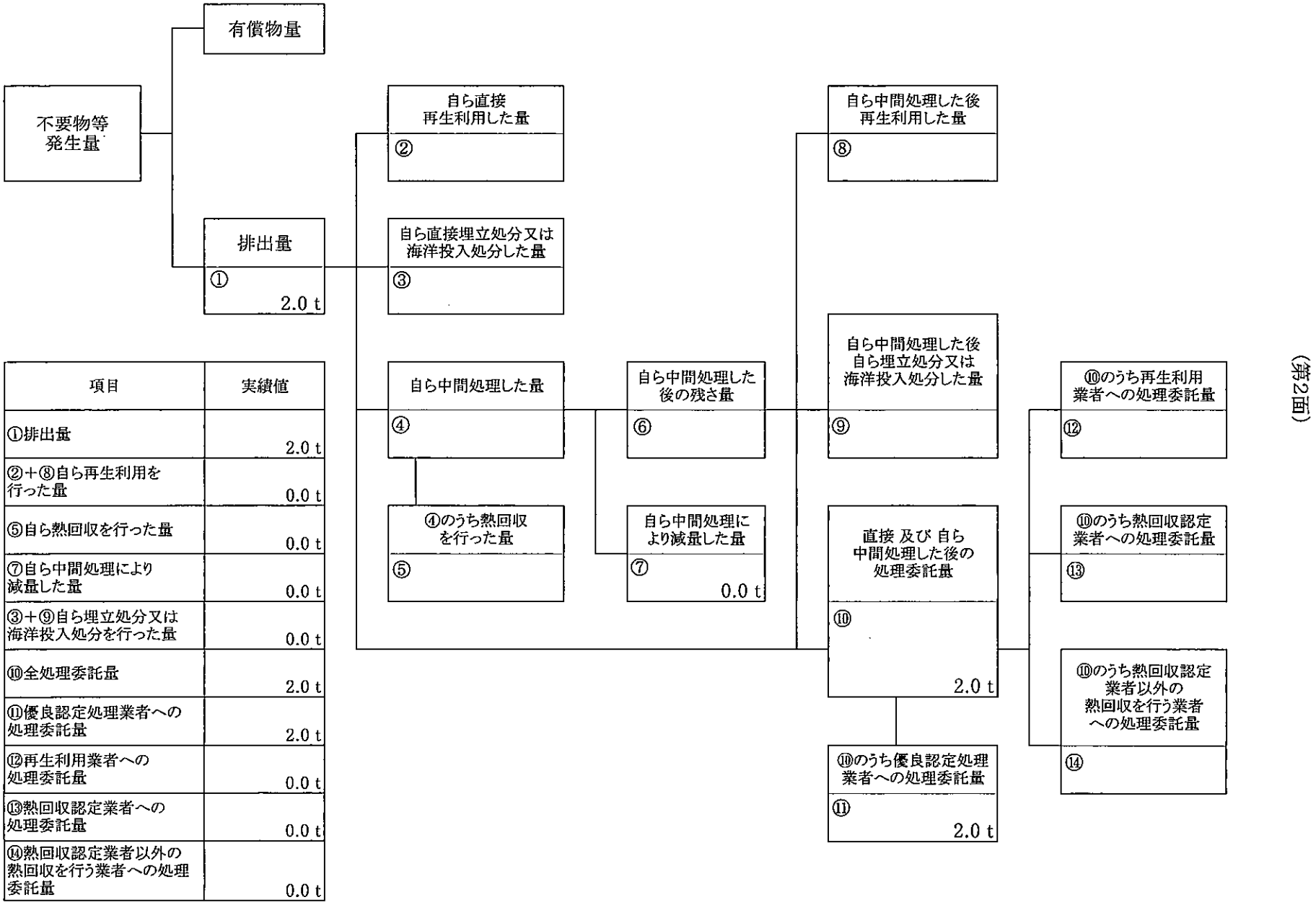


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　その他混合廃棄物　　）

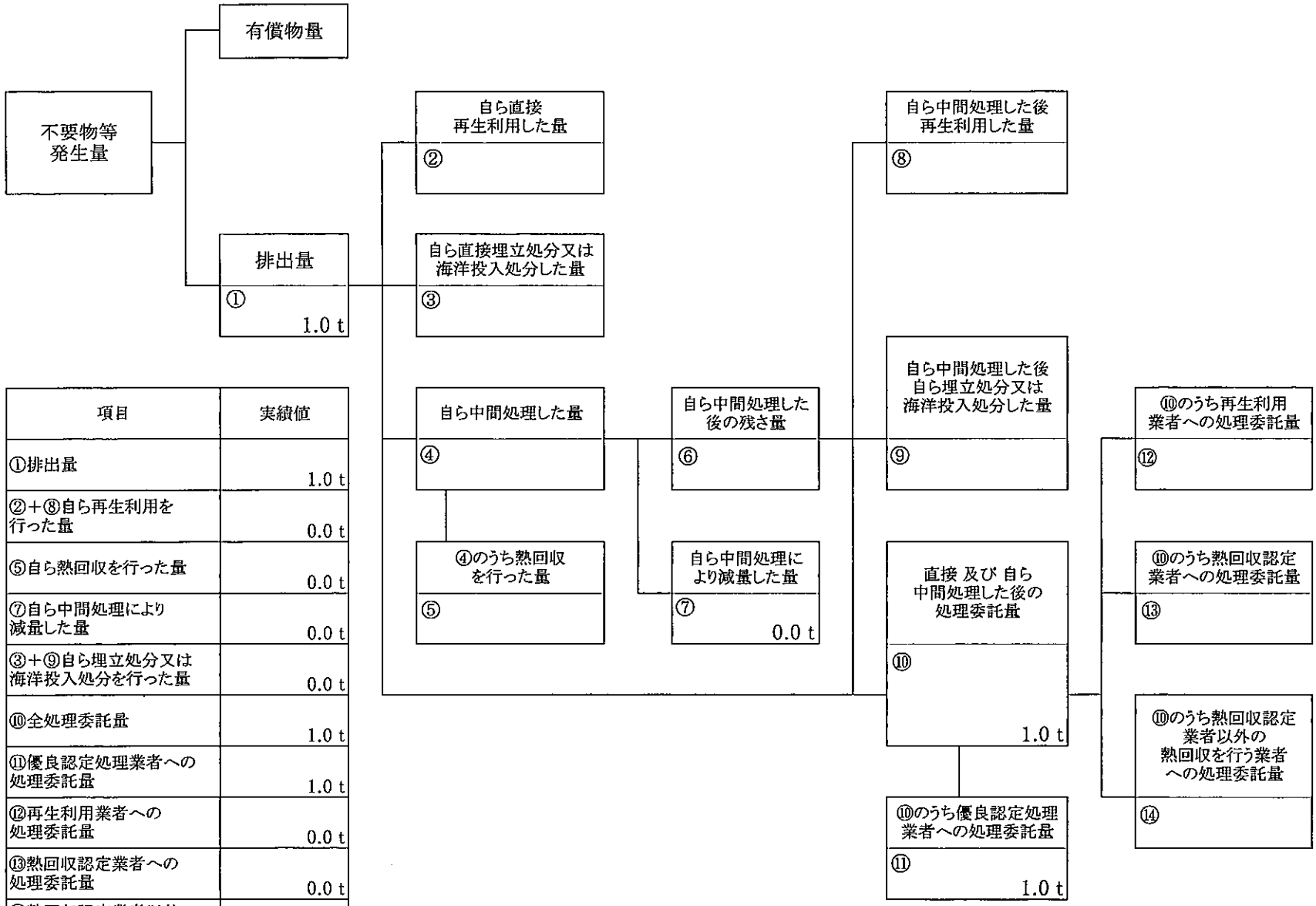


項目	実績値
①排出量	2.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）（石綿含有産業廃棄物）



項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月4日

千葉県知事 殿

提出者

住 所　愛知県岡崎市羽根東町三丁目3番地9

氏 名　株式会社不動産SHOPナカジツ

代表取締役　鳥居　守

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0564-55-0015

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	愛知県岡崎市羽根東町三丁目3番地9
事業場の所在地	株式会社不動産SHOPナカジツ
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高：23,800百万円
③従業員数	600人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（これまでに実施した取組）
・余剰材の発生抑制を図るため、発注内容の精度向上を図っております。
・資材管理を徹底した余剰材の有効活用等により排出抑制に努めております。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	―
排　　出　　量	t	t

（今後実施する予定の取組）
廃棄物の排出抑制を図るため、発注内容の見直し、工事現場への意識付けを強化していきます。また、商品・工法の標準化を推進することにより、使用材料の正確な把握と削減に努めてまいります。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
適切な処理が出来るように現場内で廃棄物の種類毎の分別を徹底しております。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
今後も適切な処理が出来るように、現場内での分別等徹底してまいります。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・許可証・処分場確認等により適切な業者を選定し、委託契約を締結した上で処理委託を行っております。
・電子マニフェストを導入し、処理状況の迅速・正確な把握に努めると共に、適正なマニフェスト管理を実施しております。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・電子マニフェストの運用により、適正なマニフェスト管理を継続してまいります。
・定期的に委託処分場の現地視察を実施し、処分状況の確認を行ってまいります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

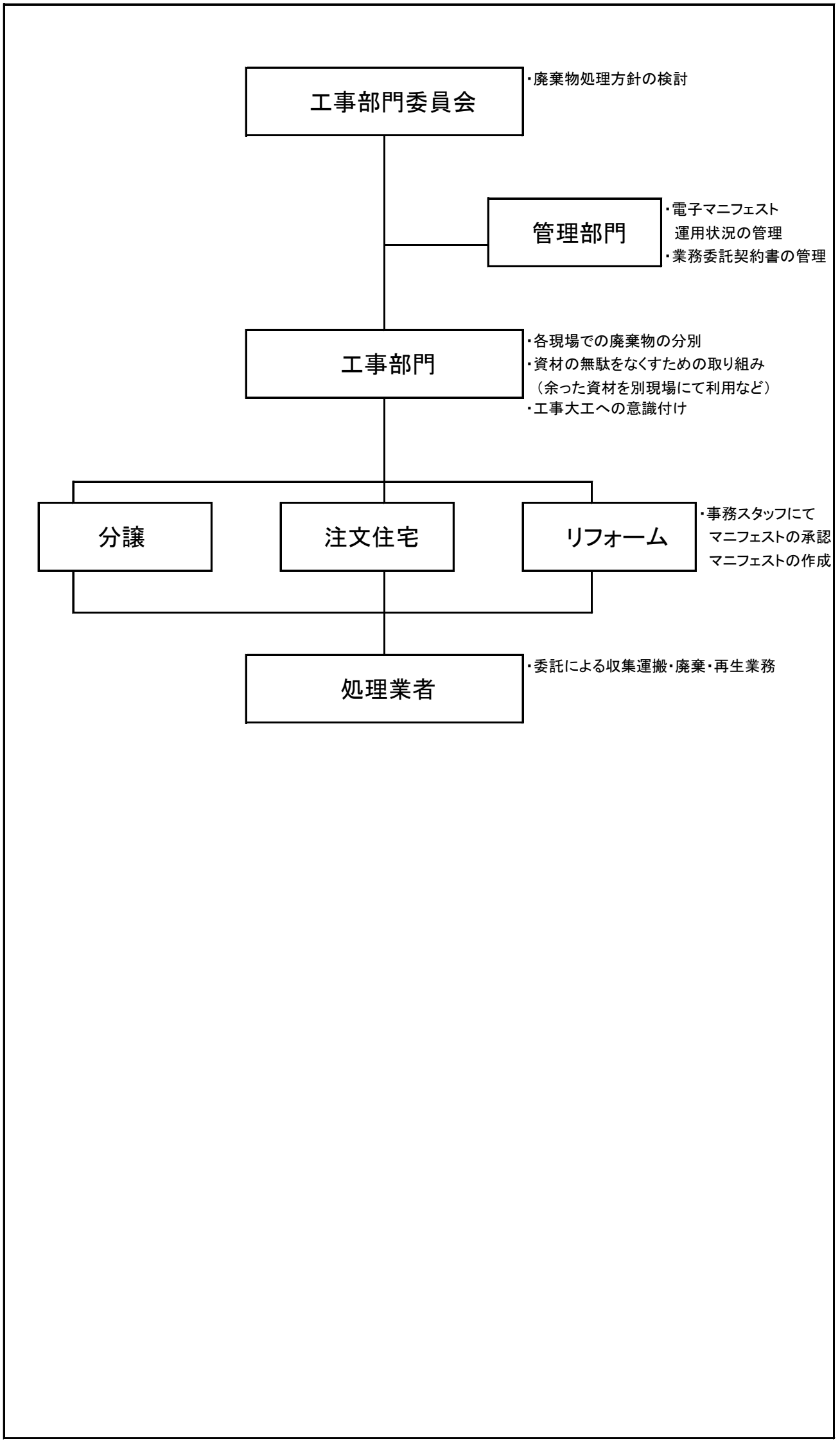
別添１ 処理工程図

工事現場・建設現場　⇒　収集運搬（一部委託）　⇒　中間処理場（品目により破砕等の処理）（委託）

⇒
再生　⇒　建築・工事資材へ再資源化

再生出来ない廃棄物　⇒　最終処分場（埋め立て）

別添２ 管理体制図


工事部門委員会
・廃棄物処理方針の検討
管理部門
・電子マニフェスト
運用状況の管理
・業務委託契約書の管理
工事部門
・各現場での廃棄物の分別
・資材の無駄をなくすための取り組み
（余った資材を別現場にて利用など）
・工事大工への意識付け
分譲
注文住宅
リフォーム
・事務スタッフにて
マニフェストの承認
マニフェストの作成
処理業者
・委託による収集運搬・廃棄・再生業務

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	排　出　量	18.74 t	13.65 t	241.88 t	2.14 t	7.80 t	56.08 t	648.32 t	42.18 t	6.52 t	83.25 t	2.30 t							
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	排　出　量	16.87 t	12.29 t	217.69 t	1.93 t	7.02 t	50.47 t	583.49 t	37.96 t	5.87 t	74.93 t	2.07 t							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
全処理委託量	18.74 t	13.65 t	241.88 t	2.14 t	7.80 t	56.08 t	648.32 t	42.18 t	6.52 t	83.25 t	2.30 t							
優良認定処理業者への処理委託量	12.54 t	11.85 t	180.47 t	1.26 t	7.80 t	37.35 t	9.78 t	0.30 t	1.22 t	64.66 t	1.30 t							
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物							
全処理委託量	16.87 t	12.29 t	217.69 t	1.93 t	7.02 t	50.47 t	583.49 t	37.96 t	5.87 t	74.93 t	2.07 t							
優良認定処理業者への処理委託量	11.29 t	10.67 t	162.42 t	1.13 t	7.02 t	33.62 t	8.80 t	0.27 t	1.10 t	58.19 t	1.17 t							
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月12日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　103-0016

住　所　東京都中央区日本橋小網町7-2

法人名　株式会社不動テトラ　東京本店

代表者　服部 慶二郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-5644-8550

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社不動テトラ　東京本店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋小網町7-2
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業（総合工事業）　中分類：
②事業の規模	2024年度元請完成工事高　1,057,833万円
③従業員数	277名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１　処理工程図のとおり

（日本産業規格　A列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
混合廃棄物を抑制し、有価物利用と廃棄物の削減を推進。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
前年度の取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
産業廃棄物はそれぞれに分別して保管している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別の徹底を継続する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
すべて再生利用業者に委託する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙廃棄物集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
前年度の取組を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

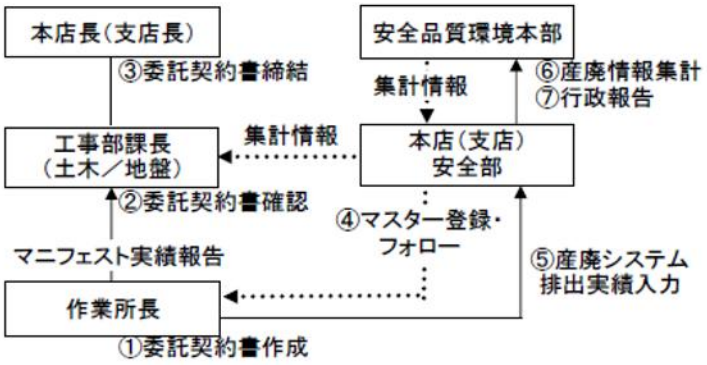
備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

がれき類→再生砕石として再資源化
木くず→破砕後、再生木材・パルプ・燃料として再資源化
紙くず→破砕後、再生古紙・燃料として再資源化
金属くず→破砕後、鉄鋼原料として再資源化
廃プラスチック→破砕後、プラスチック原材料として再資源化
建設汚泥→脱水後、埋め戻し材等として再資源化
混合廃棄物→選別後、非鉄金属等原材料として再資源化

別添２ 管理体制図

＜産廃処理に関する管理組織図＞



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	排　出　量	2,220.46 t	9.98 t	1.20 t	9.08 t	590.94 t	104.15 t	0.52 t	2.34 t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	排　出　量	1,998.41 t	8.98 t	1.08 t	8.17 t	531.85 t	93.74 t	0.47 t	2.11 t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
全処理委託量	2,220.46 t	9.98 t	1.20 t	9.08 t	590.94 t	104.15 t	0.52 t	2.34 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	9.98 t	1.20 t	9.08 t	0.00 t	0.00 t	0.52 t	2.34 t	
再生利用業者への処理委託量	2,220.46 t	9.98 t	1.20 t	9.08 t	590.94 t	104.15 t	0.52 t	2.34 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	
全処理委託量	1,998.41 t	8.98 t	1.08 t	8.17 t	531.85 t	93.74 t	0.47 t	2.11 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	8.98 t	1.08 t	8.17 t	0.00 t	0.00 t	0.47 t	2.11 t	
再生利用業者への処理委託量	1,998.41 t	8.98 t	1.08 t	8.17 t	531.85 t	93.74 t	0.47 t	2.11 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　4月　17日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒276-0034

住　所　千葉県八千代市八千代台西8-11-4

氏　名　株式会社船越組

代表取締役　船越文徳

電話番号　047-482-2621

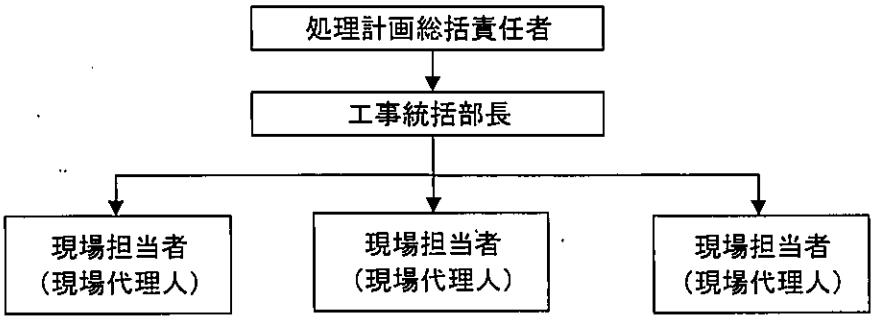
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社船越組
事業場の所在地	千葉県八千代市八千代台西８－１１－４
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度完成工事高97千万円
③従業員数	18人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルト・コンクリート塊・がれき類・カッター汚泥・汚泥・木くず・金属く 工事受注 → 廃材運搬 → 委託処理（再生利用業者で処理） 再生アスファルト・再生砕石 伐採・木くず → 廃材運搬 → 委託処理（再生利用業者で処理）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の量と質による		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の量と質による		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場の作業員に指導する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場の作業員に指導する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類＿	別紙の通り		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	（これまでに実施した取組） なし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類＿	別紙の通り		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	
	（今後実施する予定の取組） なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類＿	別紙の通り		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	（これまでに実施した取組） 受注工事の量と質による			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類＿	別紙の通り		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	
	（今後実施する予定の取組） 受注工事の量と質による			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
再生利用業者への処理を優先する

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙の通り	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 再生利用業者への処理を優先する		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	排　出　量	3484 t	1786 t	991 t	1002 t	1746 t	67 t	0 t	10 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	排　出　量	1000 t	500 t	500 t	200 t	500 t	20 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	全処理委託量	3484 t	1786 t	991 t	1002 t	1746 t	67 t	0 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	1002 t	t	t	t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	3484 t	1786 t	991 t	t	1746 t	67 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ァルト・コンクリ	コンクリート殻	がれき類	カッター汚泥	汚泥	木くず	金属くず	その他混合廃棄物
	全処理委託量	1000 t	500 t	500 t	200 t	500 t	20 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	200 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	500 t	500 t	t	500 t	20 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　4月　17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒276-0034
住 所　千葉県八千代市八千代台西8-11-4
氏 名　株式会社 船越組
（法人にあ 代表取締役 船越文徳
電話番号 047(482)2621

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社船越組
事業場の所在地	千葉県八千代市八千代台西8-11－4
事業の種類	大分類:建設業　中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

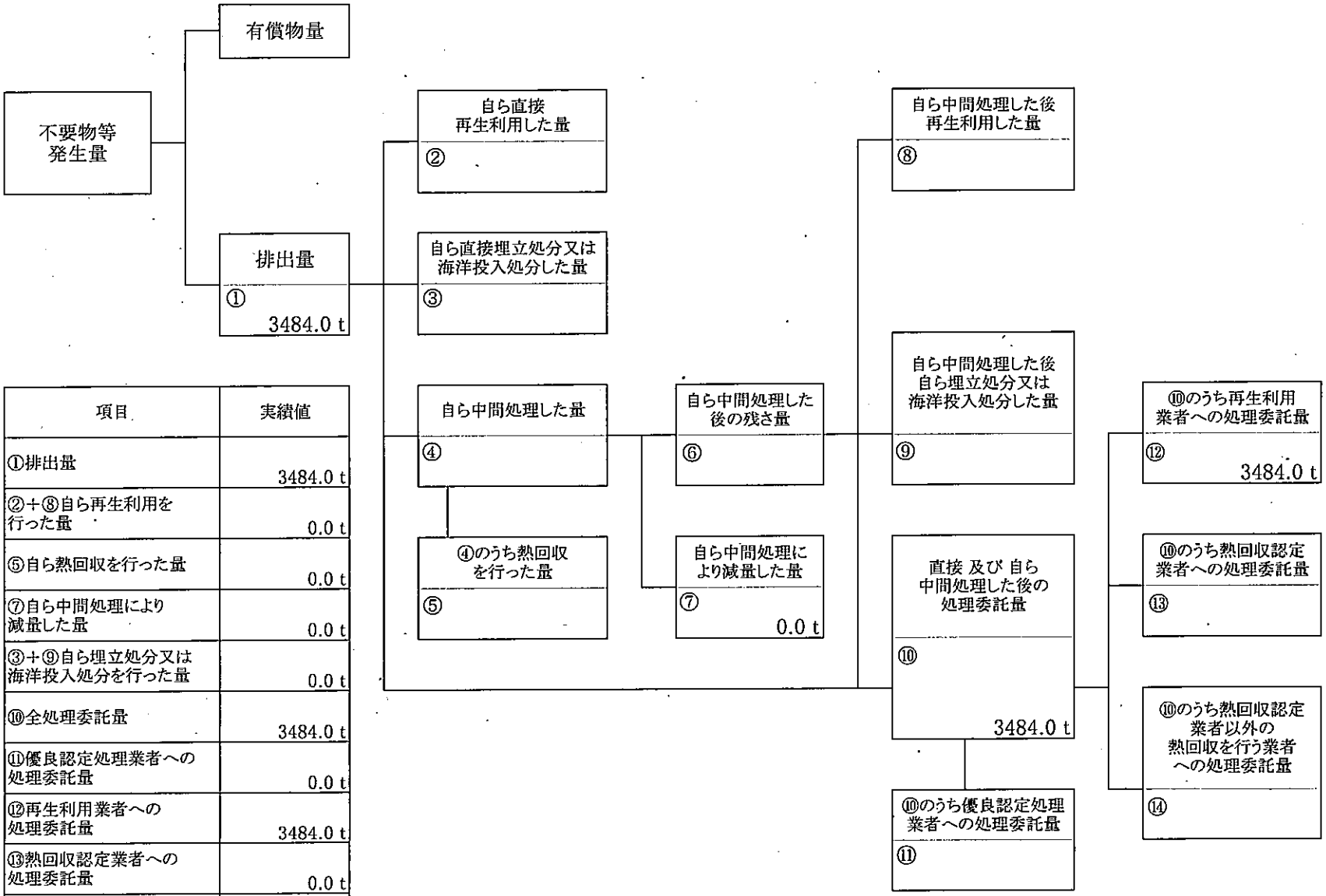
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1722.0 t	全処理委託量	1722.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1720.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　アスファルト・コンクリート殻　　）

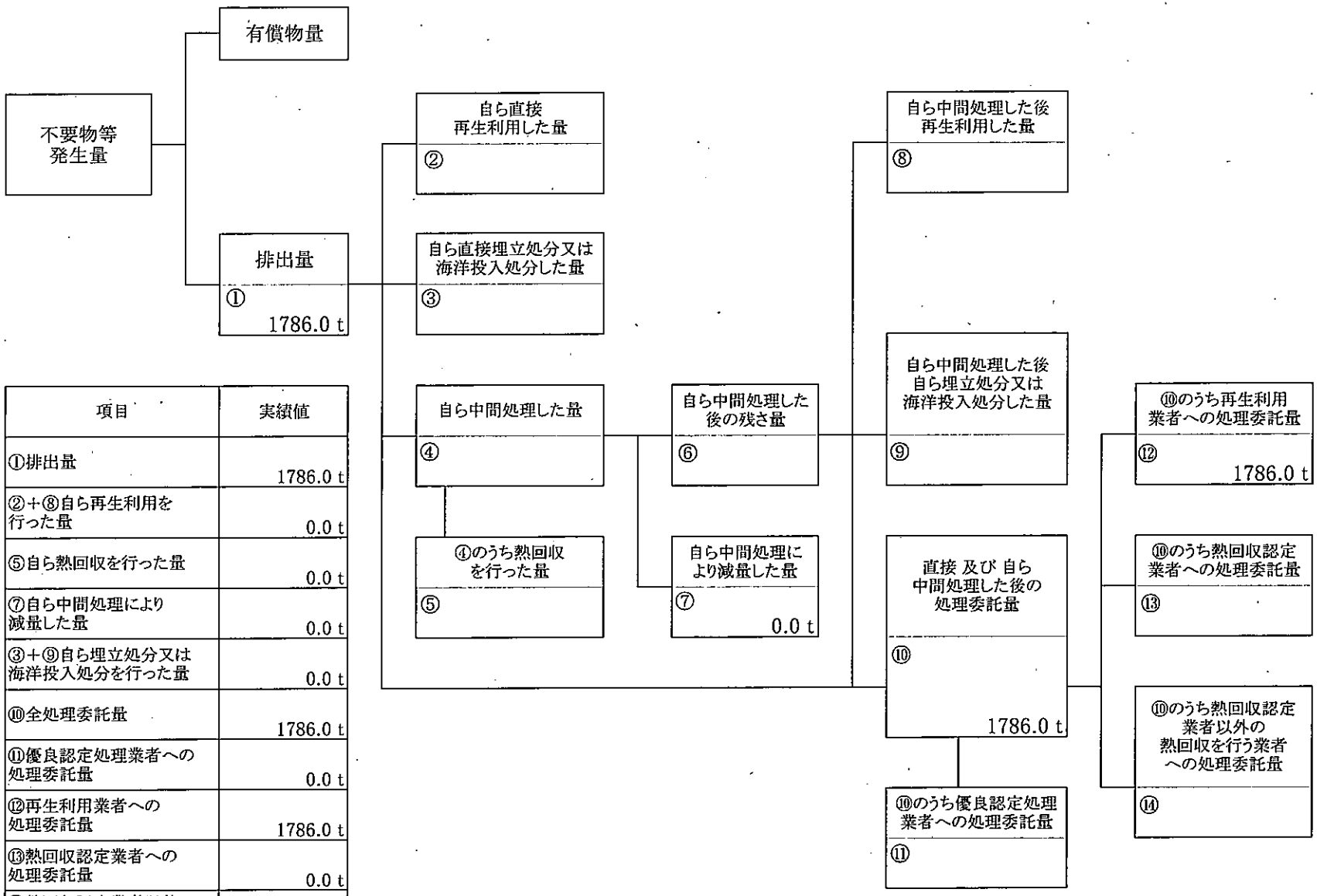


項目	実績値
①排出量	3484.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3484.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3484.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　コンクリート殻　　）

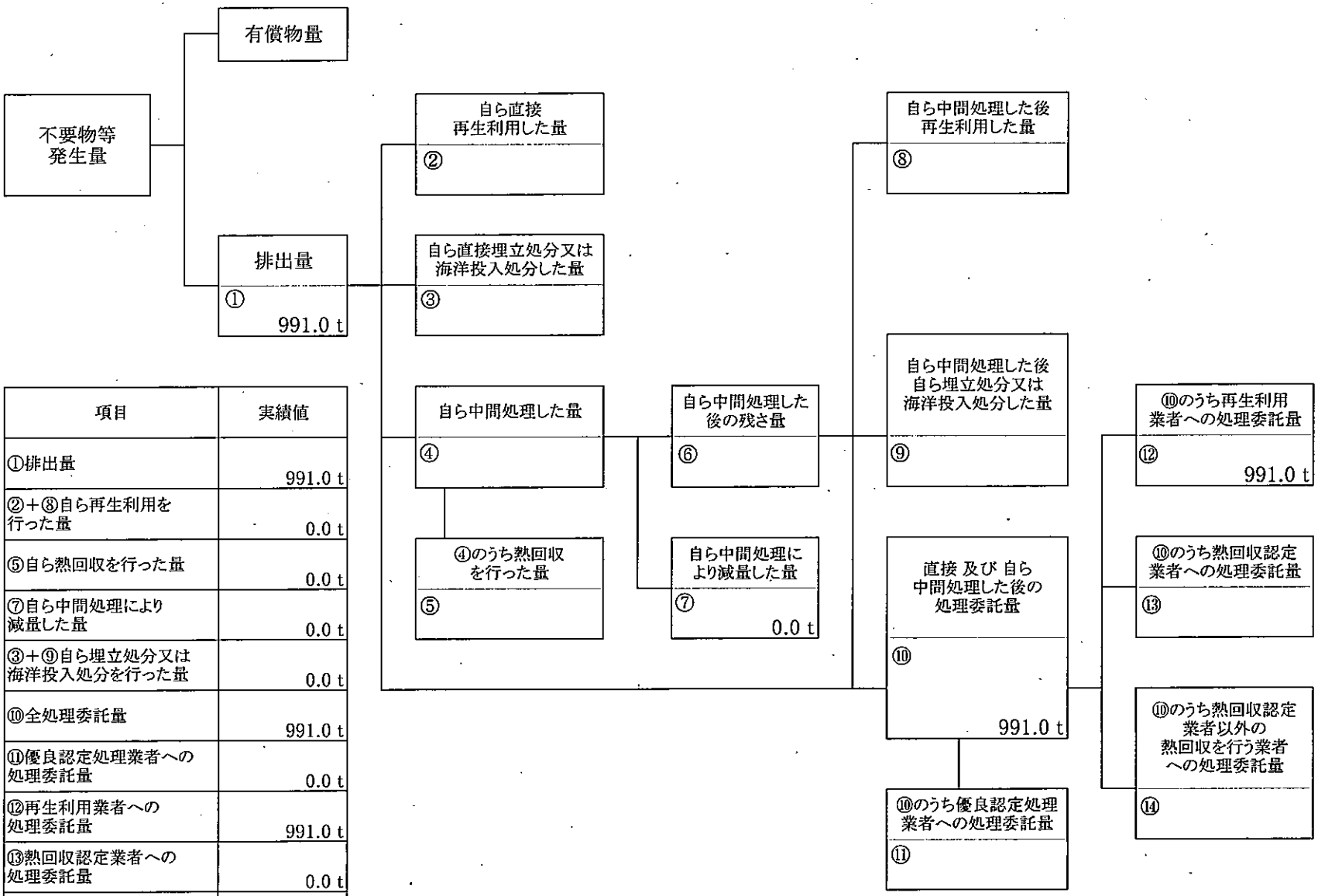


項目	実績値
①排出量	1786.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1786.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1786.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

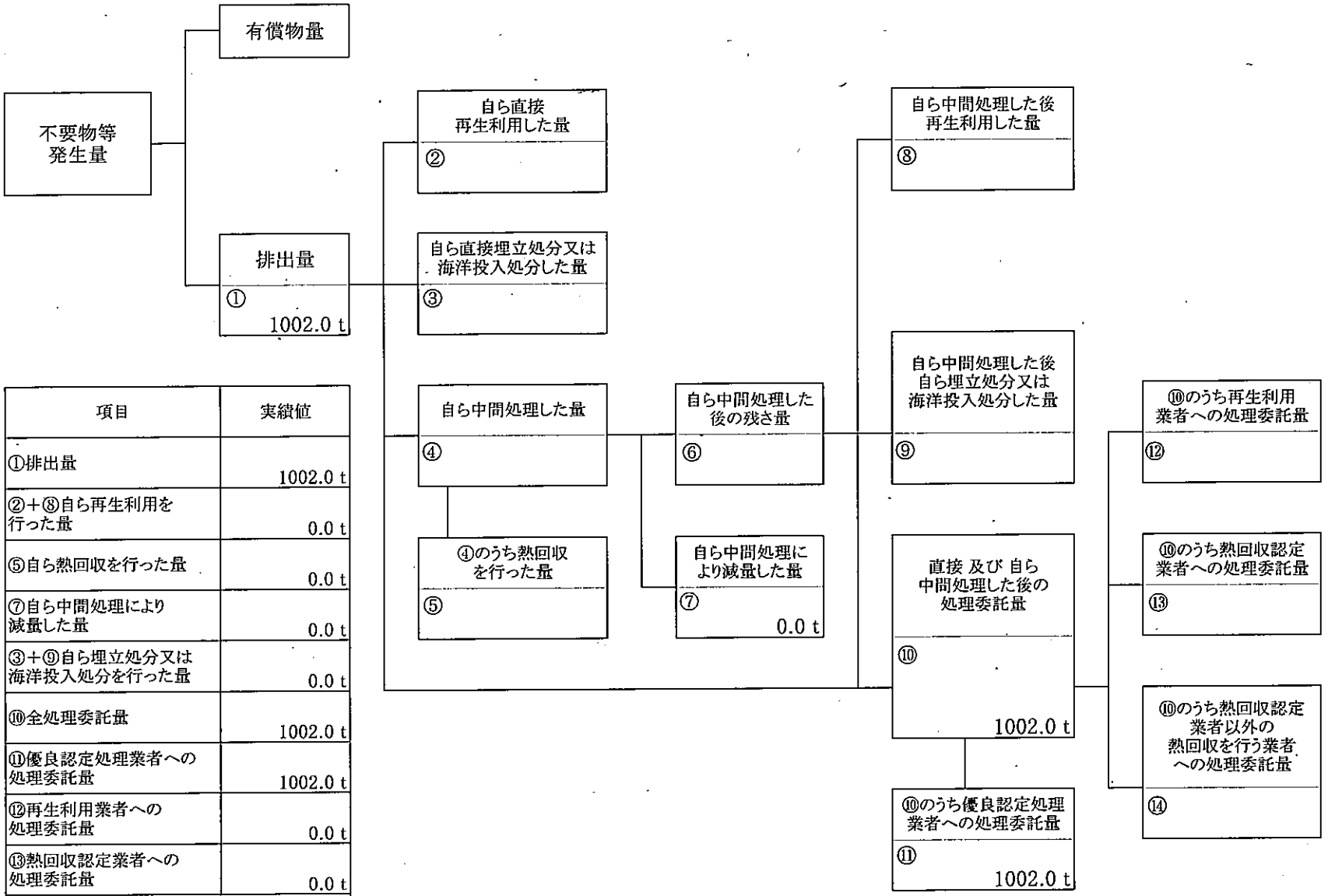


項目	実績値
①排出量	991.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	991.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	991.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　カッター汚泥　）

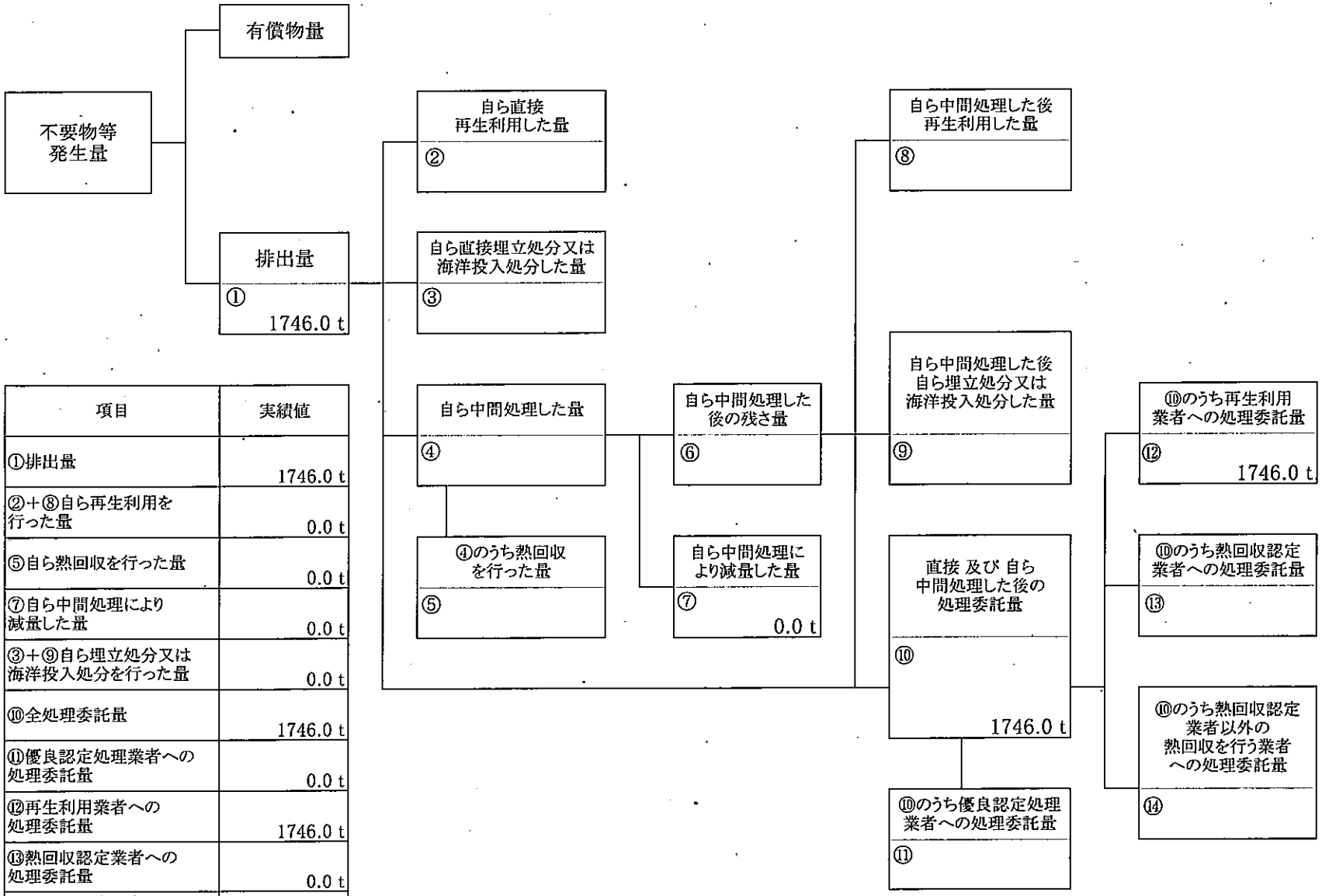


項目	実績値
①排出量	1002.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1002.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1002.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

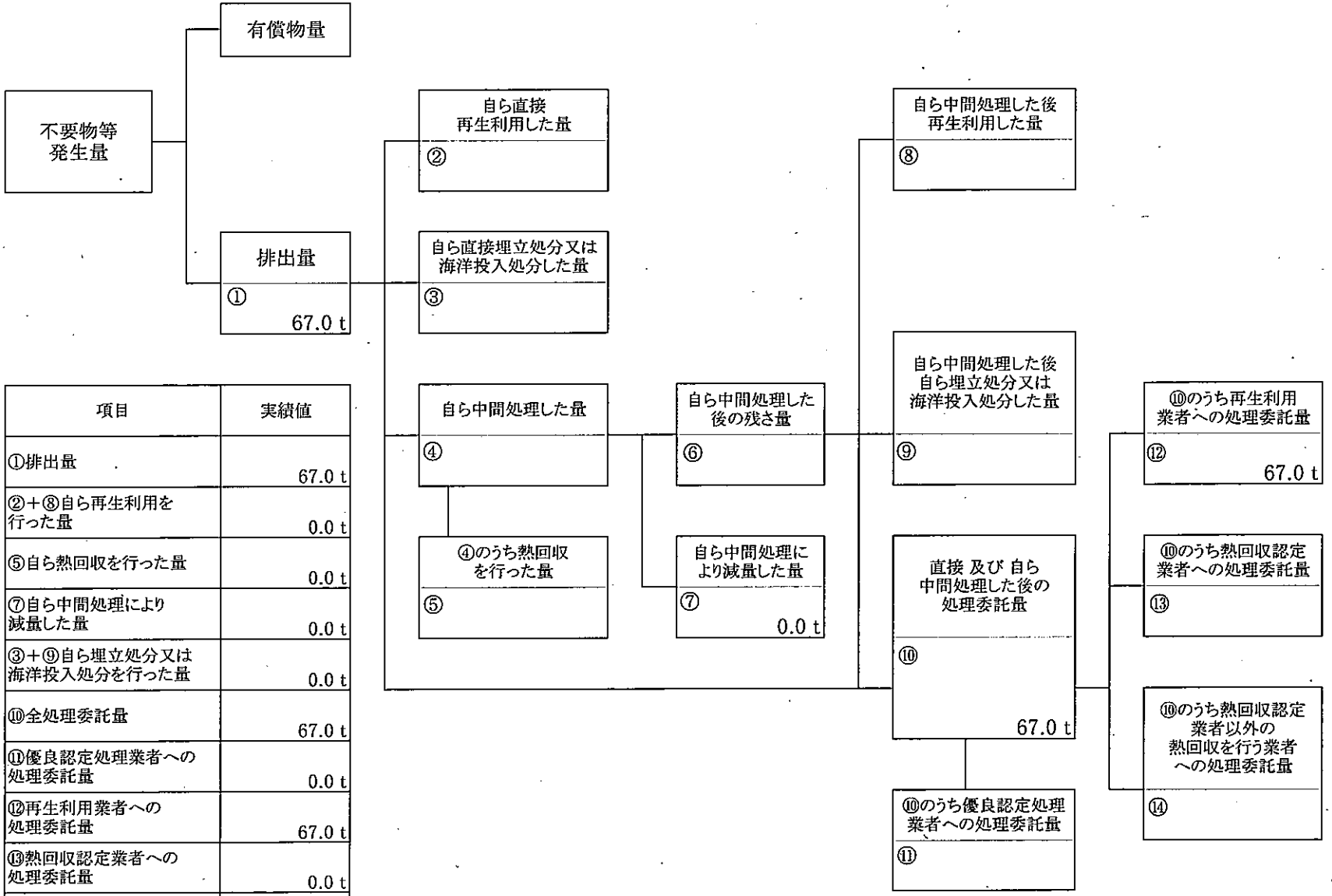


項目	実績値
①排出量	1746.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1746.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1746.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

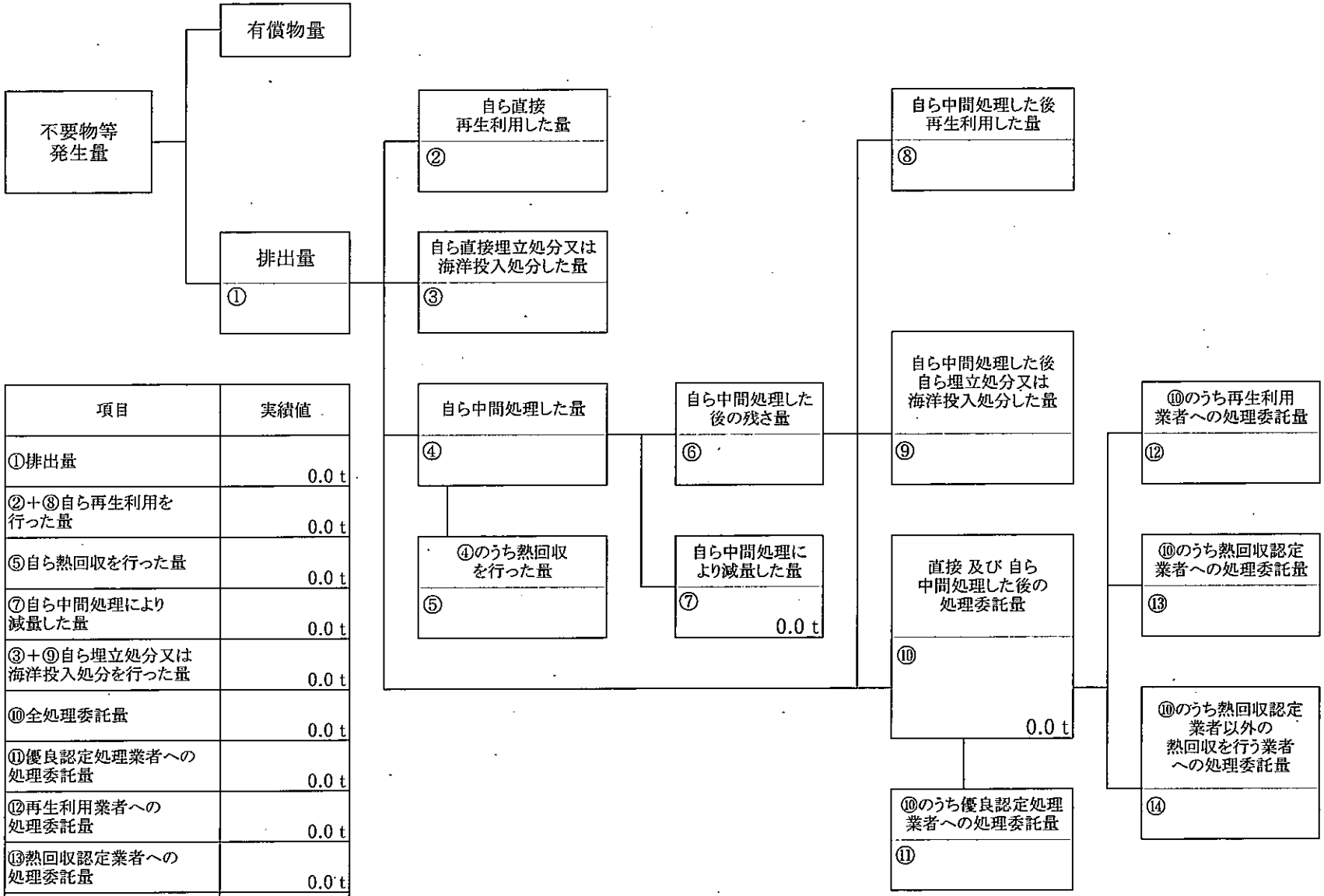


項目	実績値
①排出量	67.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	67.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

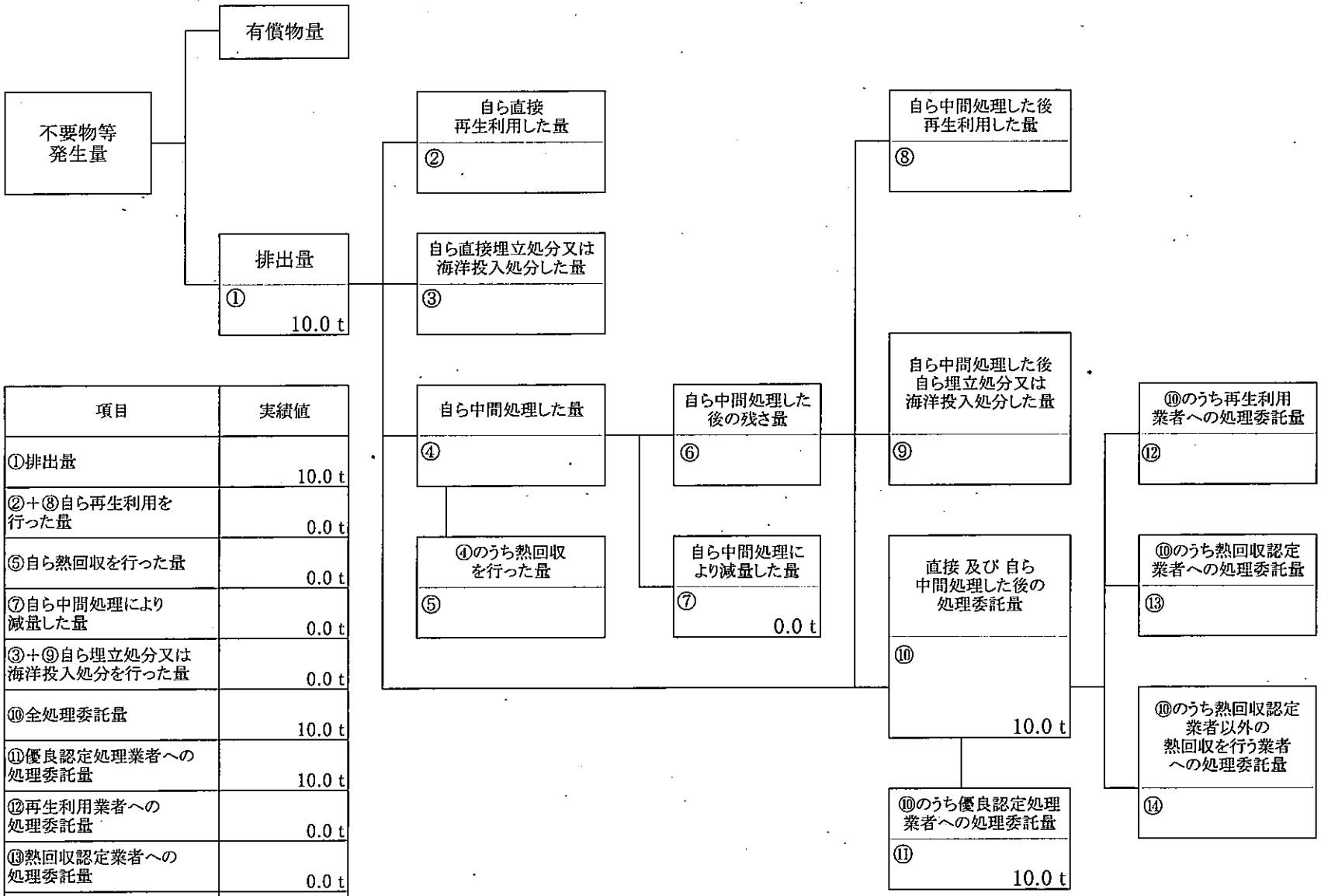


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　その他混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒737-2311
住 所　広島県江田島市沖美町岡大王2500番27
氏 名　株式会社フルサワ 代表取締役 古澤公憲
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　0823-27-6470

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井E&S造船 千葉工場設備他撤去工事
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通1番地
事業の種類	D07－職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

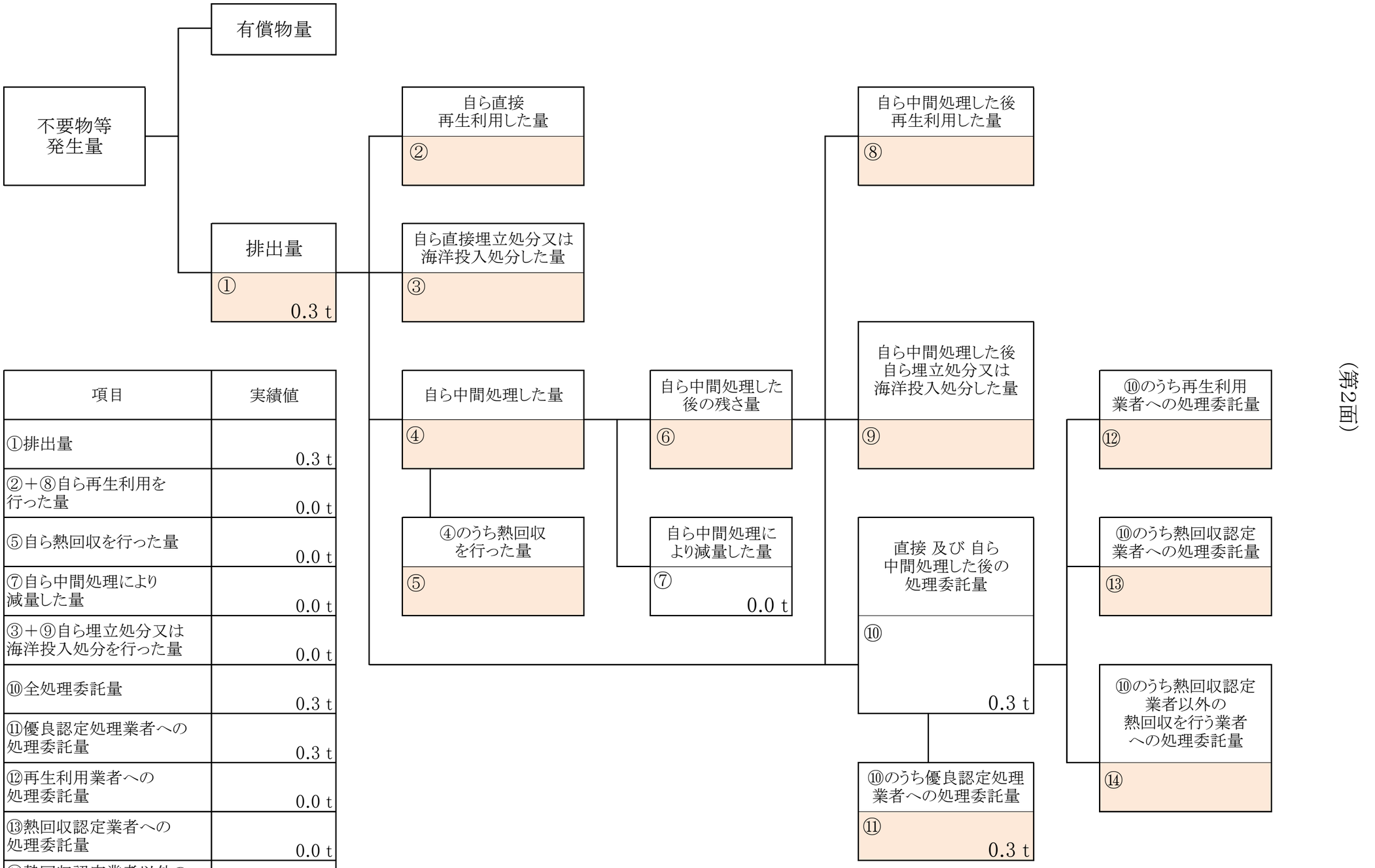
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	70.0 t	全処理委託量	70.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	30.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

(日本産業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃タイヤ**）

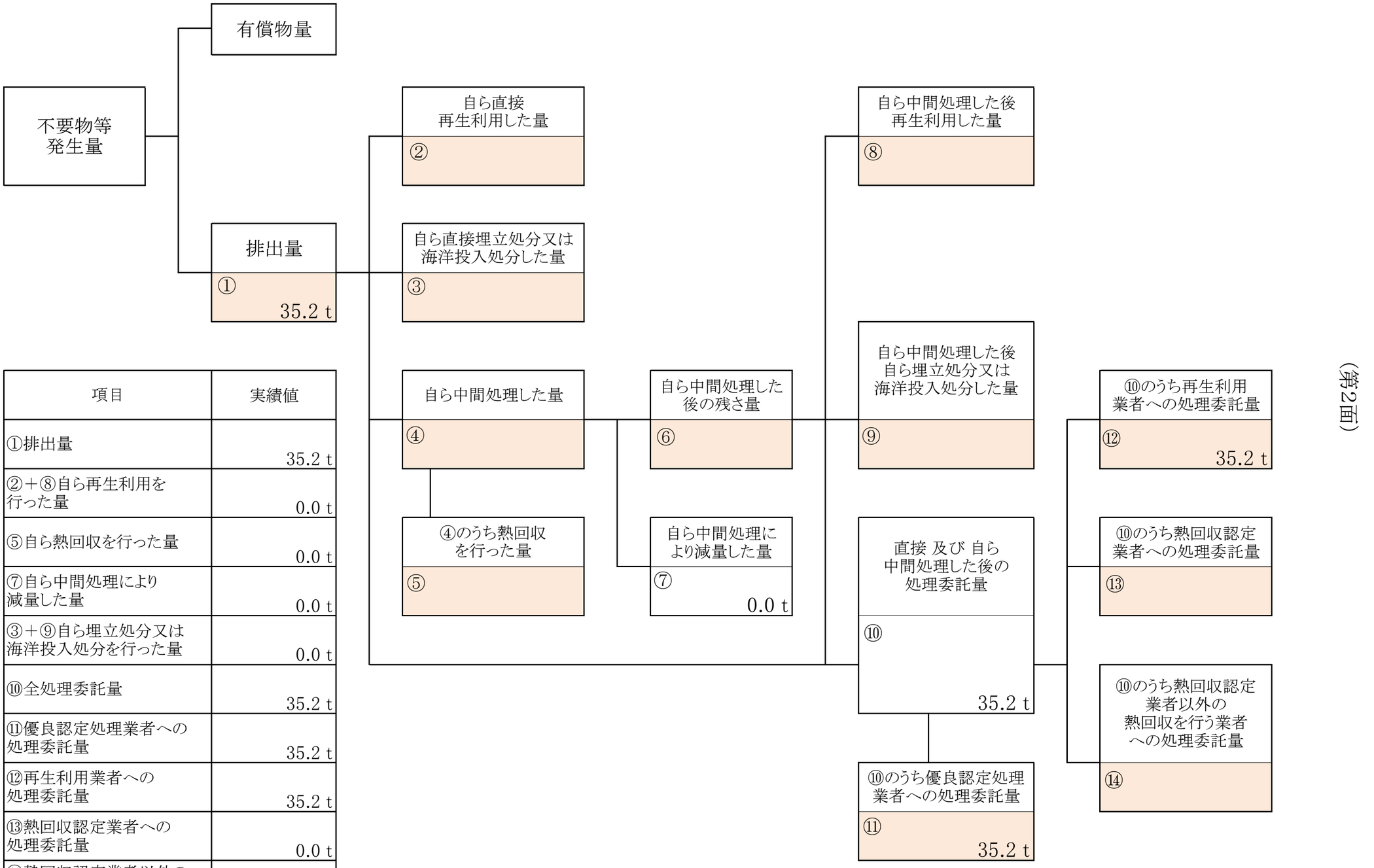


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

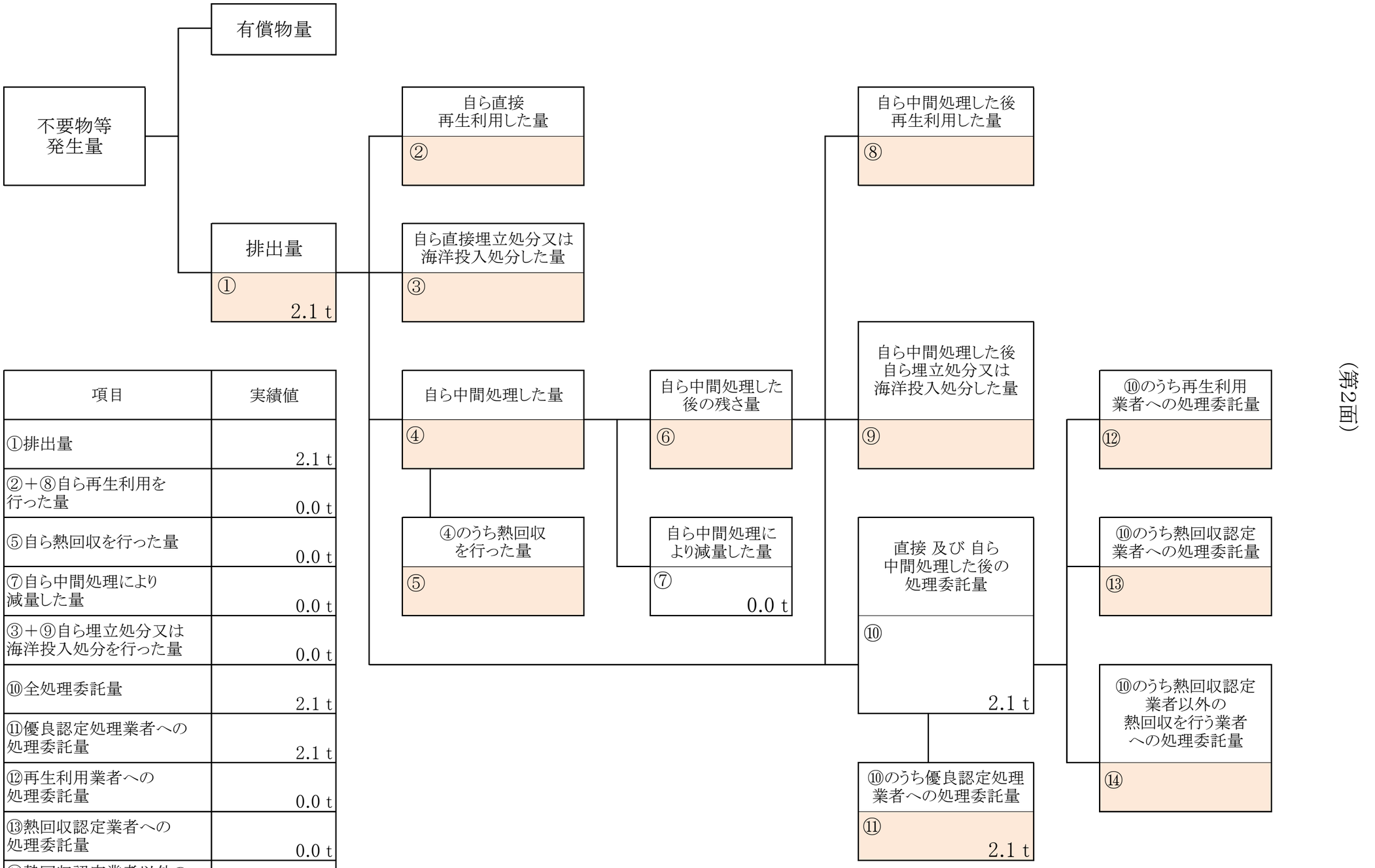


項目	実績値
①排出量	35.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	35.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	35.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ロックウール）

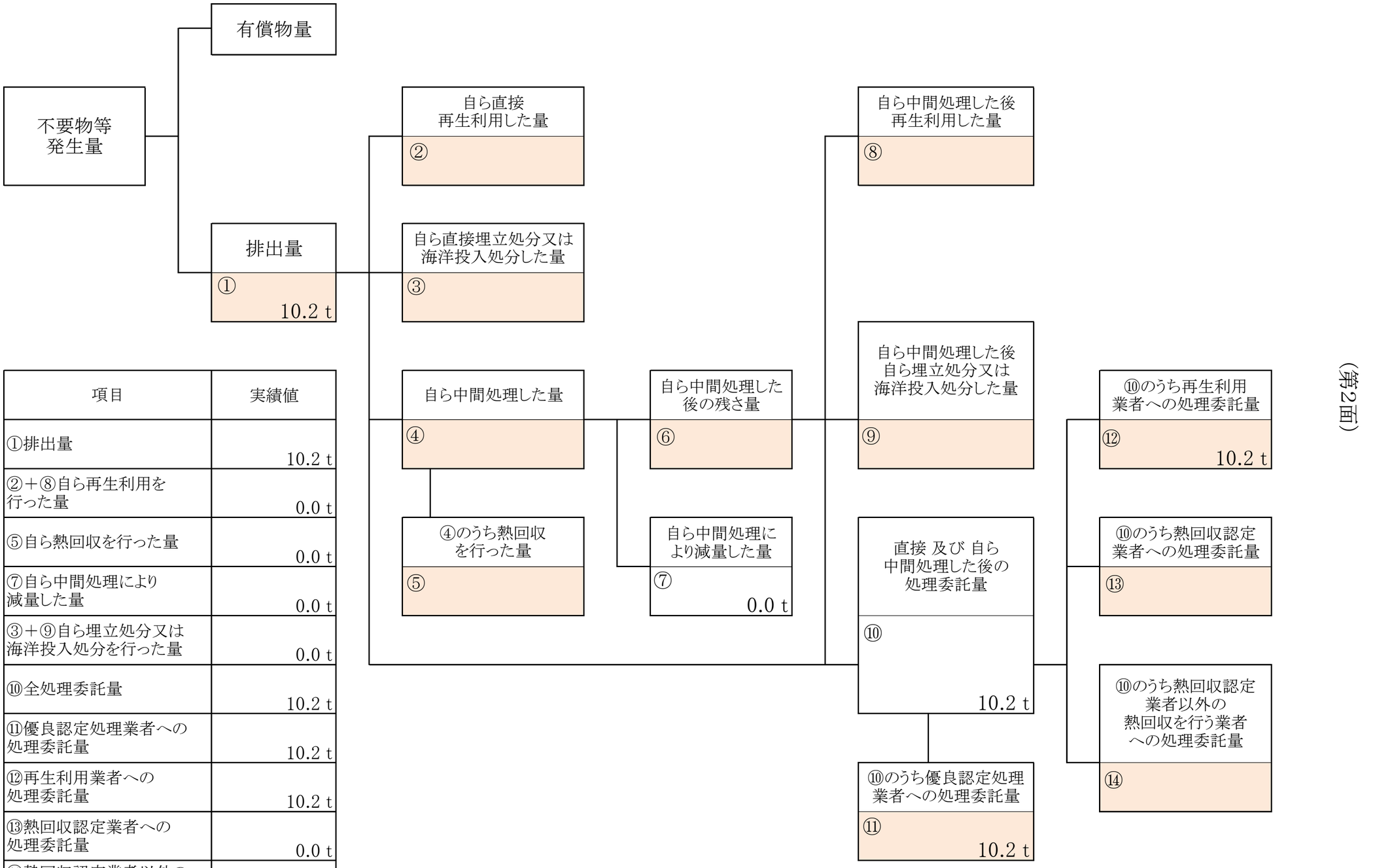


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石膏ボード**）

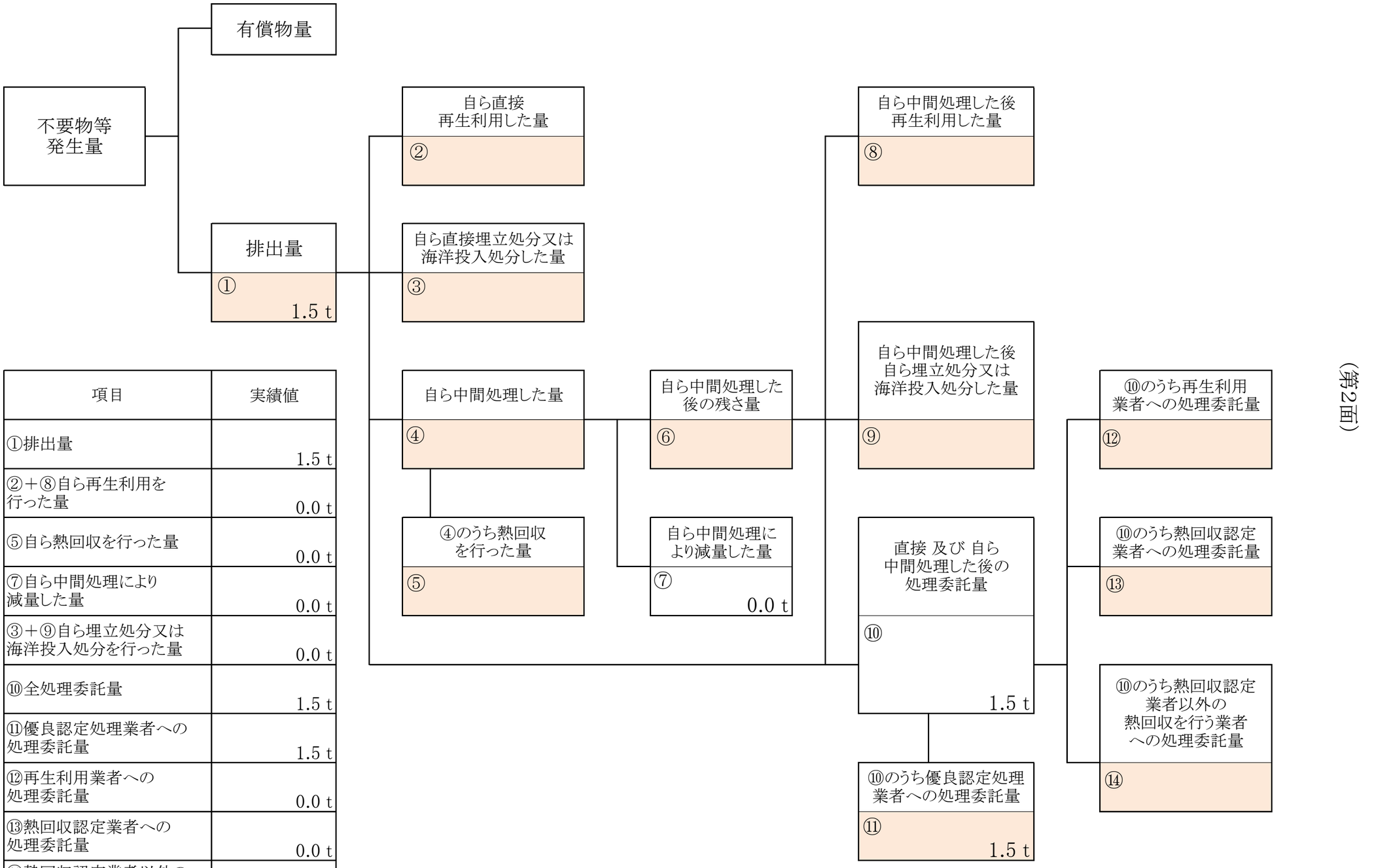


項目	実績値
①排出量	10.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

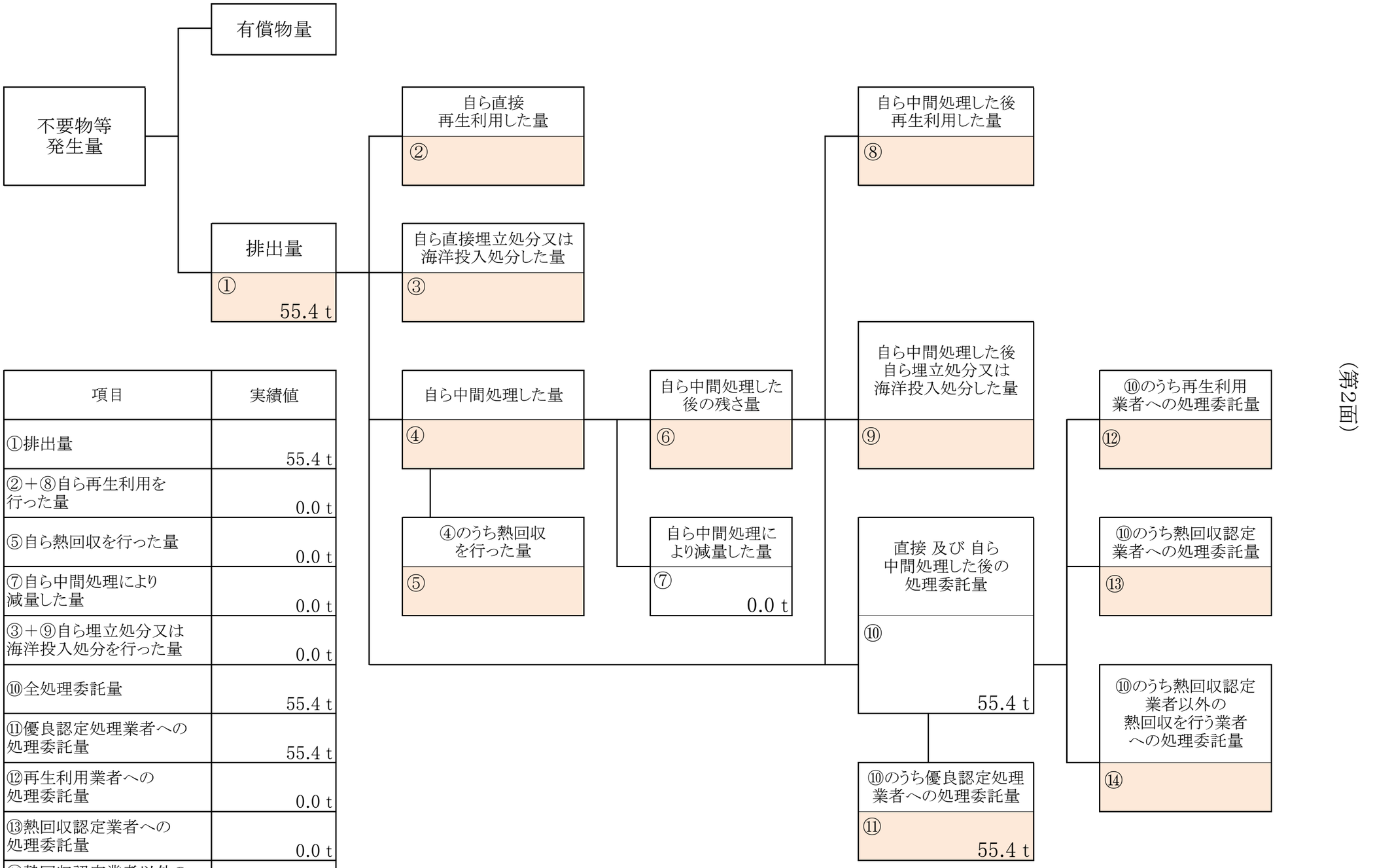


項目	実績値
①排出量	1.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型建設混合廃棄物**）

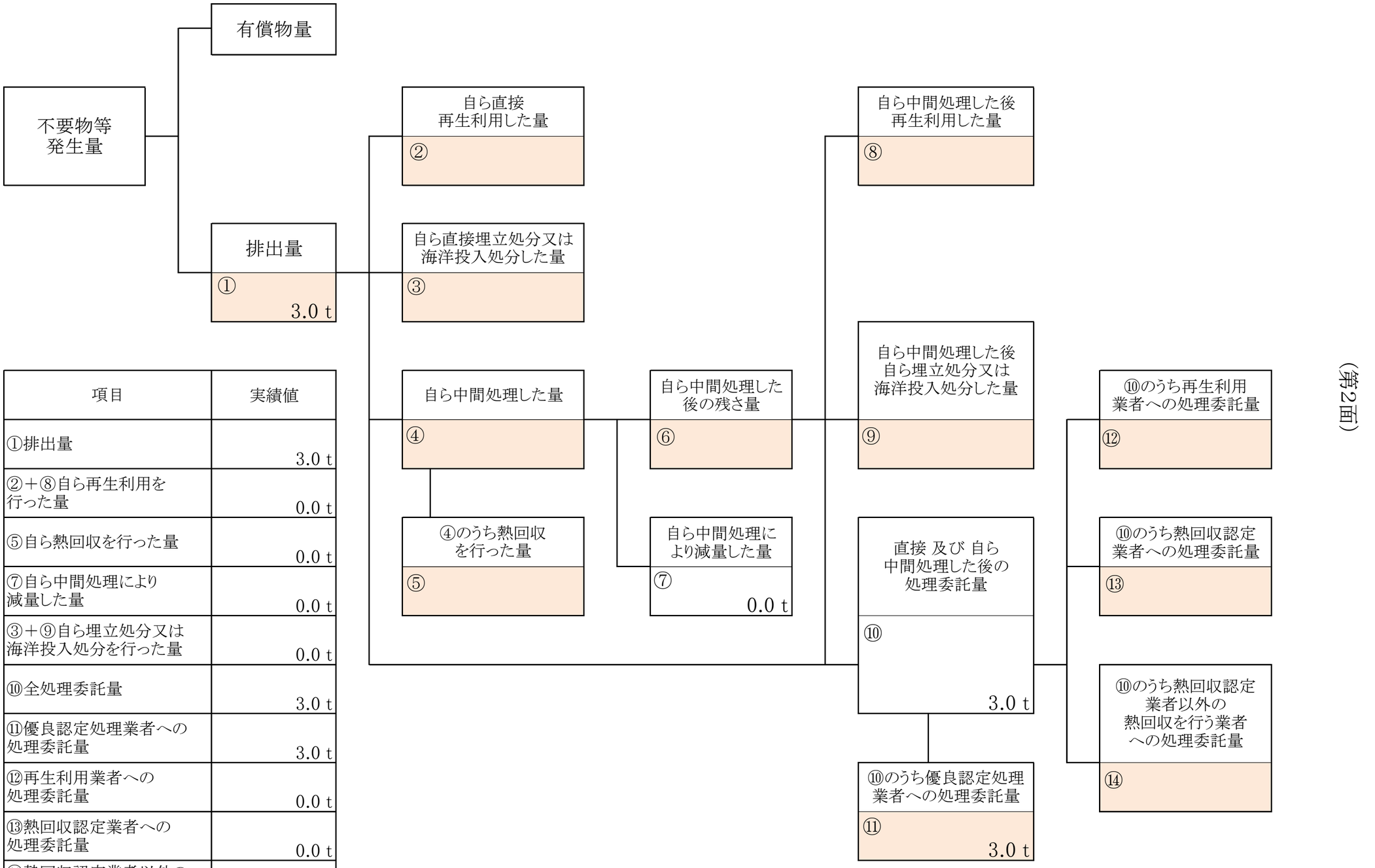


項目	実績値
①排出量	55.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	55.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類（石綿含有産業廃棄物）**）



項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月27日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　289-1733

住　所　千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1

法人名　古谷建設株式会社

代表者　古谷 秀一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0479-82-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古谷建設株式会社
事業場の所在地	〒289-1733　千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1（現場：横芝光町）
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　93億円
③従業員数	92人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※（別紙１）のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

※（別紙２）のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	771.1 t	0.2 t

（これまでに実施した取組）

・杭汚泥が主であるが、委託量の観点からは試験杭にて施工精度と排泥量の関係性を十分に検証し、本杭施工時では施工精度の向上を図り、設計以上の排泥抑制に努めている。
・発注者に対して、場内再利用等の提案・協議を行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	770 t	0.15 t

（今後実施する予定の取組）

・現在まで実施している取組みを継続的に実施し、施工精度・品質の向上を図り、排出抑制に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・工種・現場環境等により、分別精度が良好とは言えない現状であり、混合廃棄物としての搬出が多い中で、木くず・がれき類・コンクリートがら・アスファルトがら・石膏ボードの分別を実施。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

前年度から実施している以下の取組みをさらに強化し、分別に努める。
・分別ヤードについて発注者と協議のうえ、確保するようにする。
・現場ごとに推奨分別品目を指導する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（今後実施する予定の取組） ―		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ
	（今後実施する予定の取組） ―		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ｔ	－ｔ

（今後実施する予定の取組）

―

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	771.1ｔ	0.2ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ	0.2ｔ
再生利用業者への処理委託量	712.8ｔ	0.2ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

・コスト・地域性を優先した上でも、リサイクル率の高い処理業者を選定し委託している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>770 t</td><td>0.15 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0.15 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>770 t</td><td>0.15 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
前年度に引き続き以下を実施する。
・処理業者施設現地確認にて、優良認定処理業者開拓を強化し、地域性等を考慮した上で可能な限り優良認定処理業者に委託する。
・処理業者施設現地確認にて、よりリサイクル率の高い優良な処理業者を選定・委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

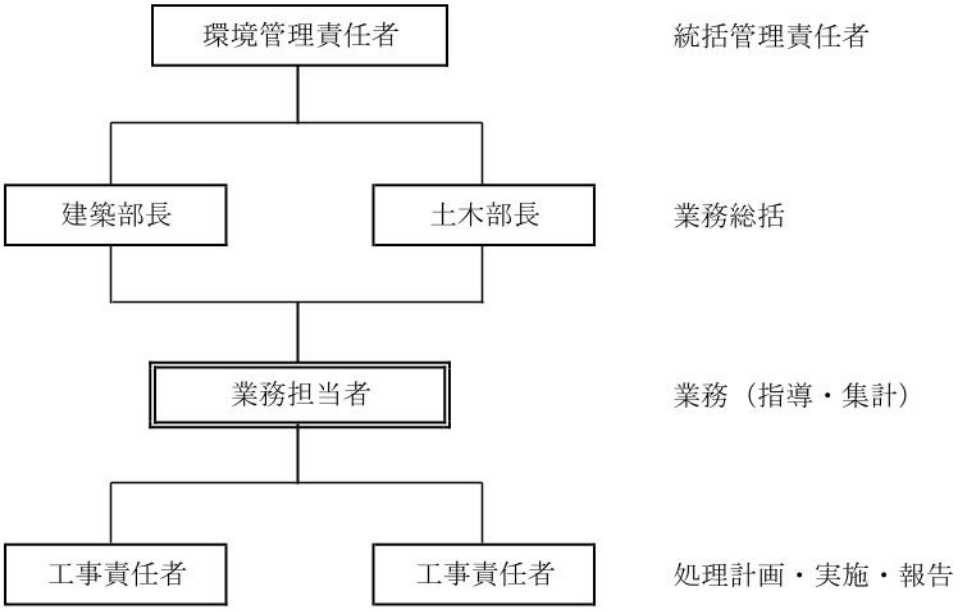
（別紙1）

④産業廃棄物の一連の処理工程

（別紙2）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	がれき類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
		排　出　量	15.40 t	342.81 t	58.15 t	1,568.60 t	4,848.23 t	1,074.24 t	332.72 t	2.60 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	がれき類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
		排　出　量	15.00 t	340.00 t	58.00 t	1,560.00 t	4,800.00 t	1,000.00 t	330.00 t	2.50 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	がれき類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	15.40 t	342.81 t	58.15 t	1,568.60 t	4,848.23 t	1,074.24 t	332.72 t	2.60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.40 t	44.55 t	58.15 t	22.94 t	0.00 t	22.20 t	332.72 t	2.60 t
	再生利用業者への処理委託量	14.40 t	342.81 t	54.15 t	1,461.94 t	4,297.08 t	1,056.24 t	329.21 t	2.60 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.40 t	342.81 t	58.15 t	28.14 t	0.00 t	22.20 t	332.72 t	2.60 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	がれき類	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	15.00 t	340.00 t	58.00 t	1,560.00 t	4,800.00 t	1,000.00 t	330.00 t	2.50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.00 t	50.00 t	58.00 t	50.00 t	100.00 t	30.00 t	330.00 t	2.50 t
	再生利用業者への処理委託量	15.00 t	340.00 t	58.00 t	1,500.00 t	4,800.00 t	1,000.00 t	330.00 t	2.50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.00 t	340.00 t	58.00 t	50.00 t	50.00 t	30.00 t	330.00 t	2.50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物 (ｶｯﾀｰ汚泥)							
		排　出　量	2.43 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物 (ｶｯﾀｰ汚泥)							
		排　出　量	2.00 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物（ｶｯﾀｰ汚泥）								
	全処理委託量	2.43 t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	2.43 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	その他混合廃棄物（ｶｯﾀｰ汚泥）								
	全処理委託量	2.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	2.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月5日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　289-1733

住所 千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1

法人名 古谷建設 株式会社

代表者 古谷 秀一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0479-82-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	古谷建設 株式会社
事業場の所在地	〒289-1733　千葉県山武郡横芝光町栗山3195番地1(現場:山武郡横芝光町)
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

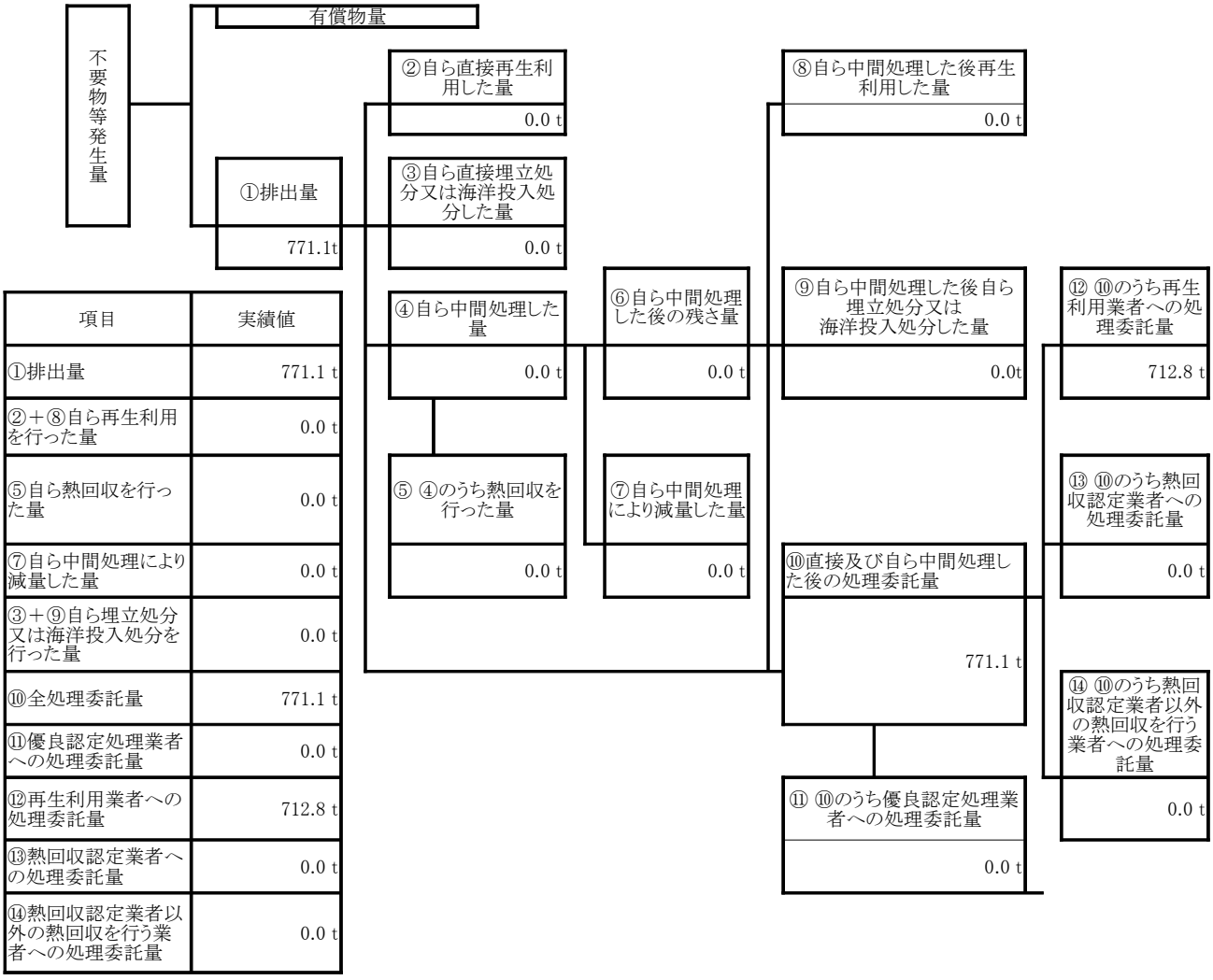
項目	目標値	項目	目標値
排出量	21895.65 t	全処理委託量	21895.65 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	9340.25 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	14592.25 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	480 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	62.5 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

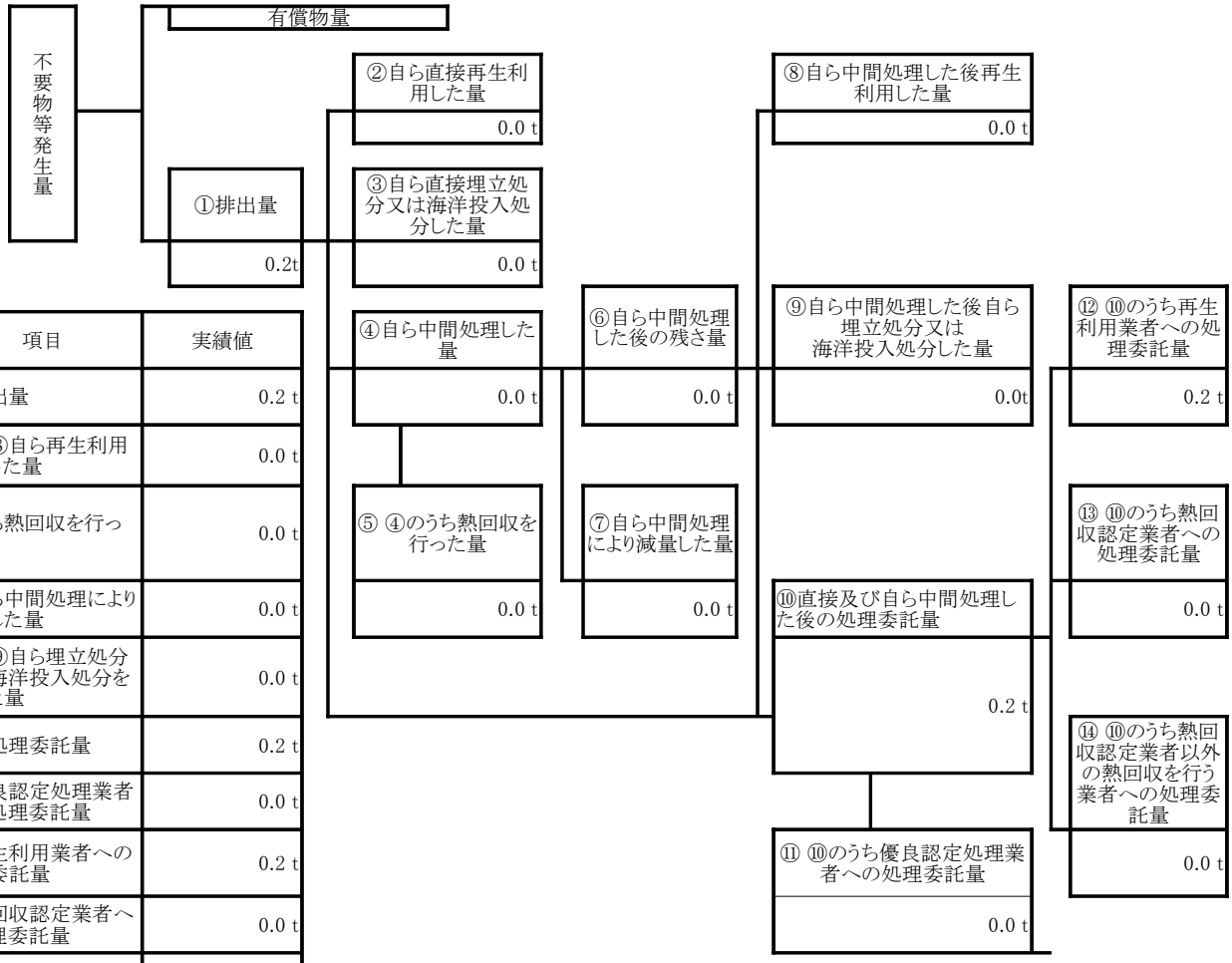


項目	実績値
①排出量	771.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	771.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	712.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

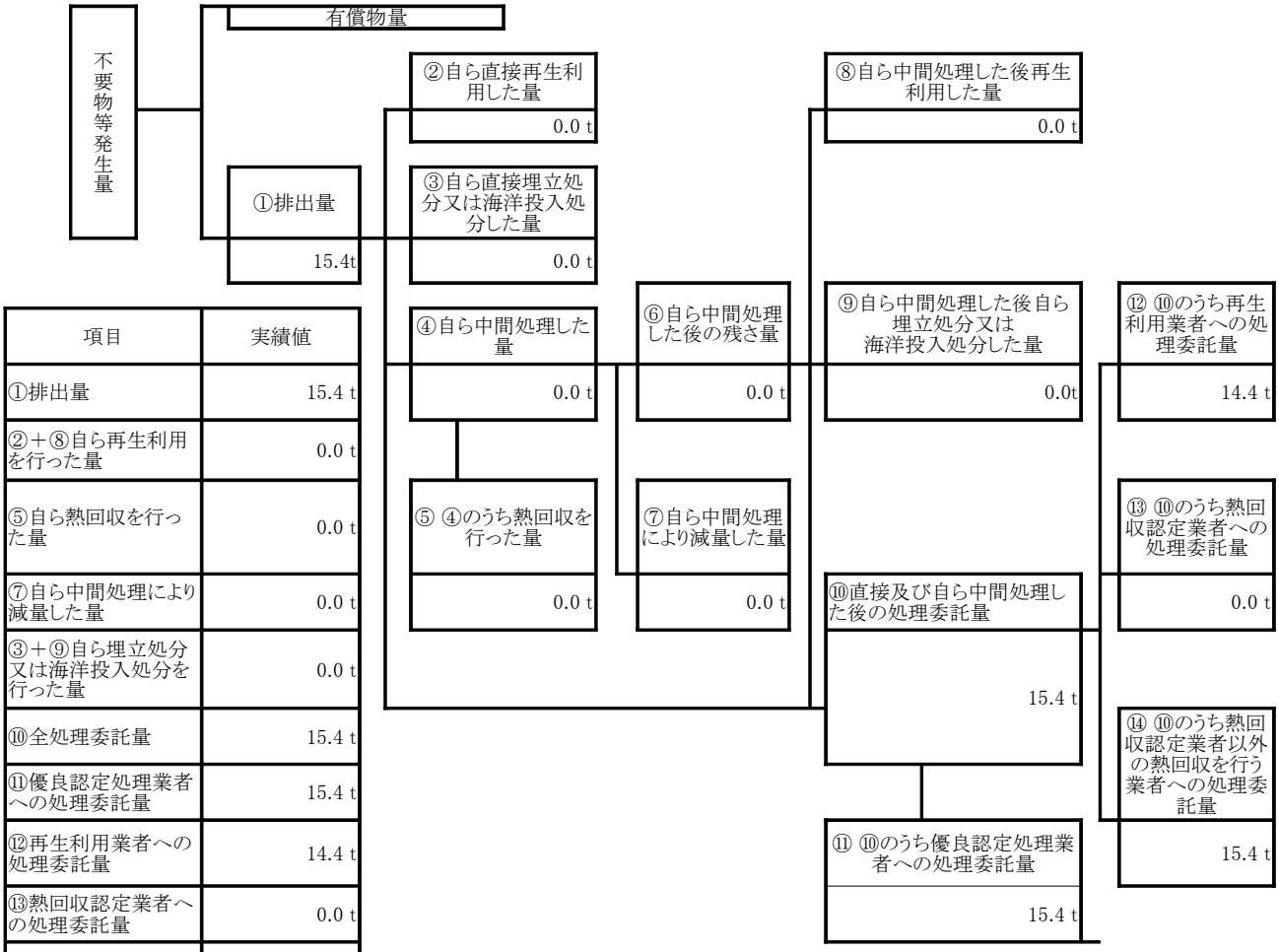


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



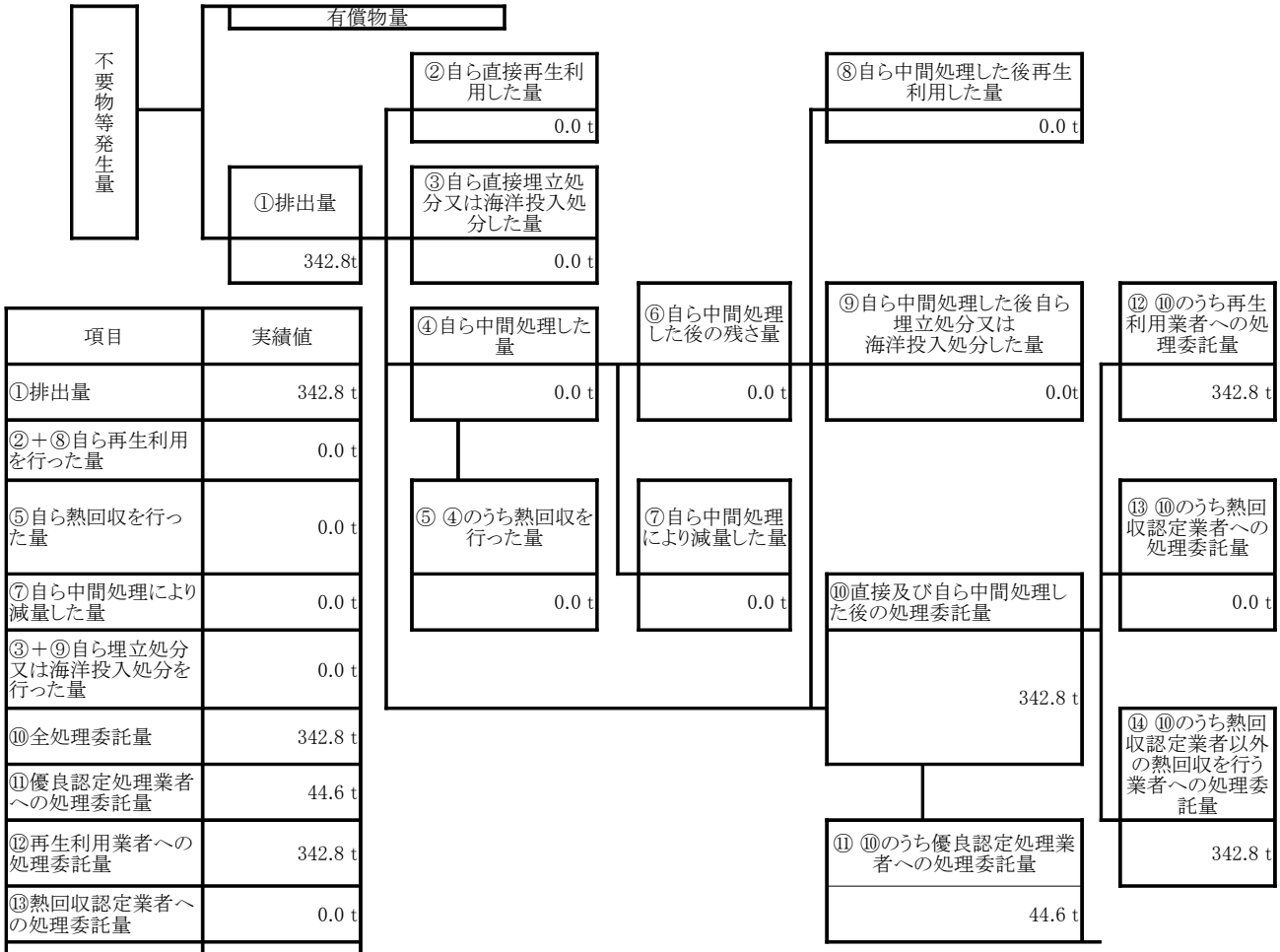
項目	実績値
①排出量	15.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.4 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

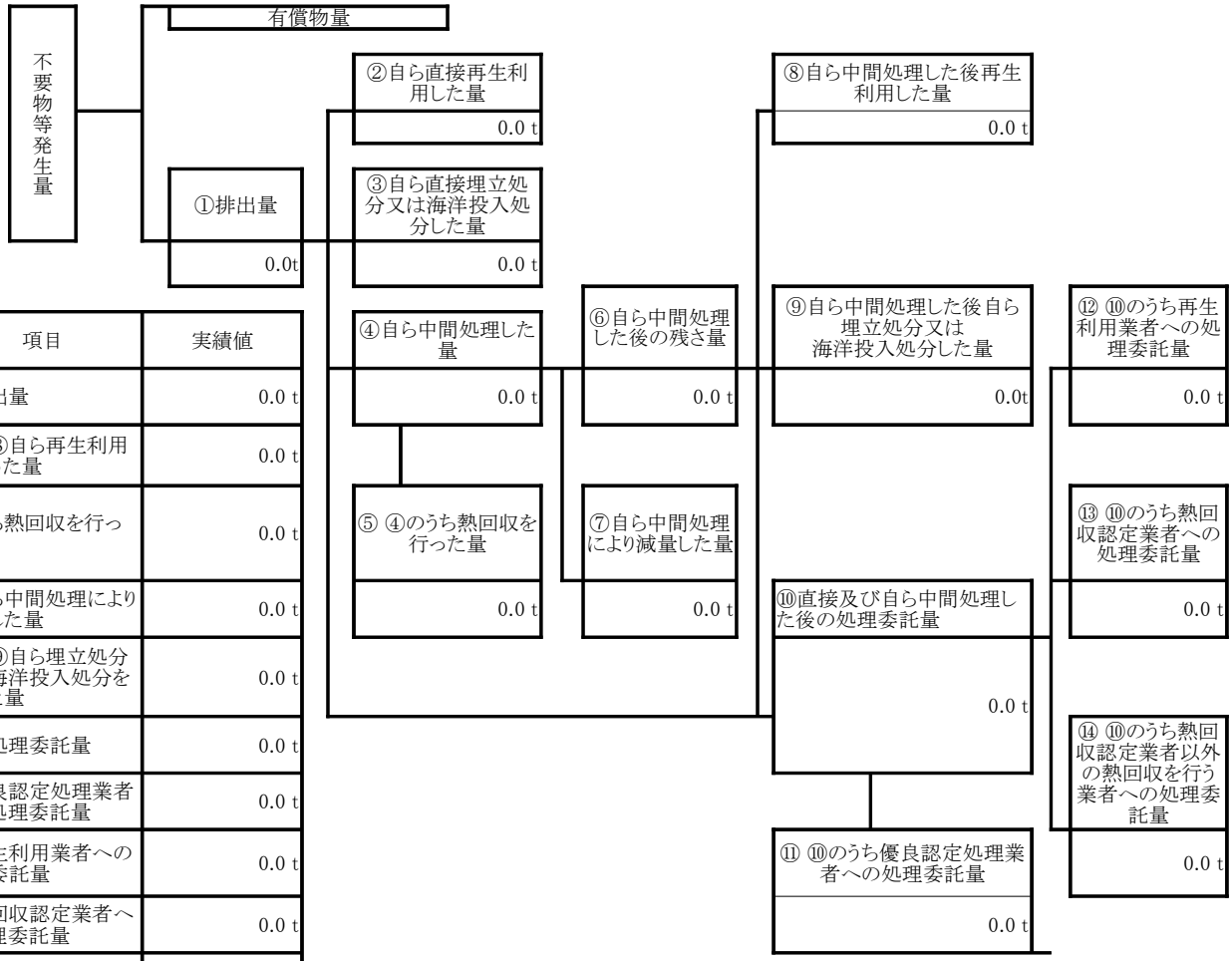


項目	実績値
①排出量	342.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	342.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	342.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	342.8 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



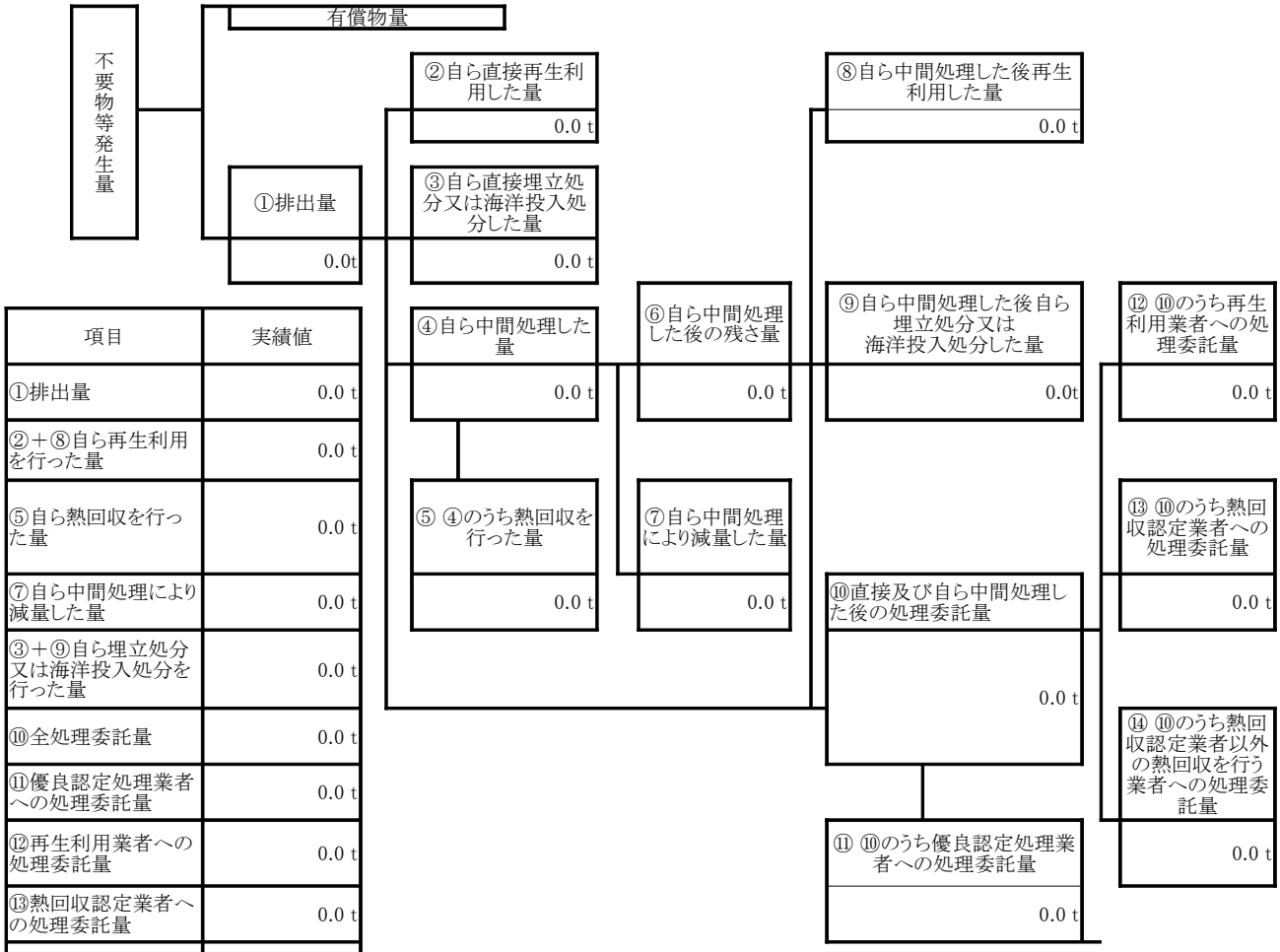
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

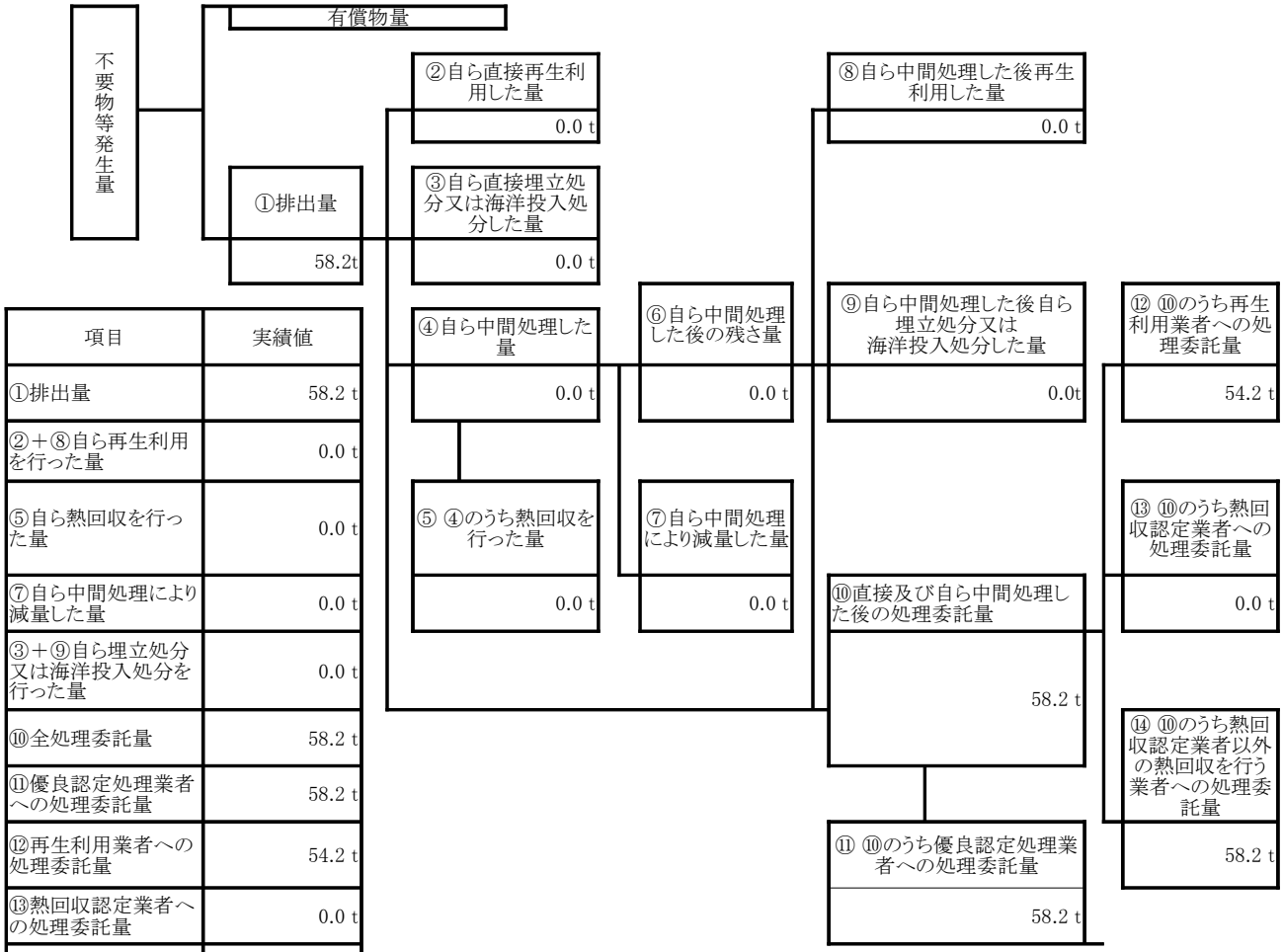


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

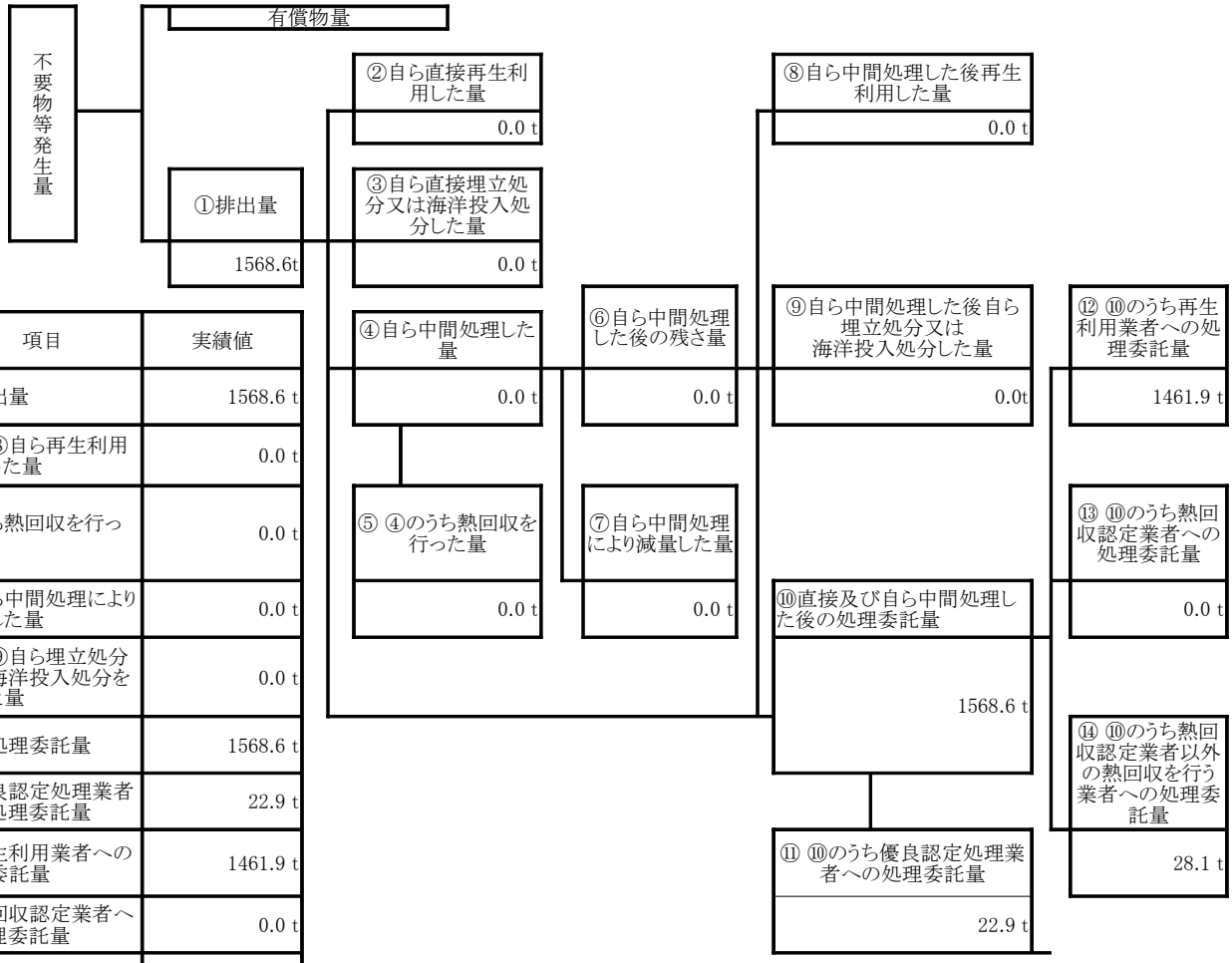


項目	実績値
①排出量	58.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	58.2 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

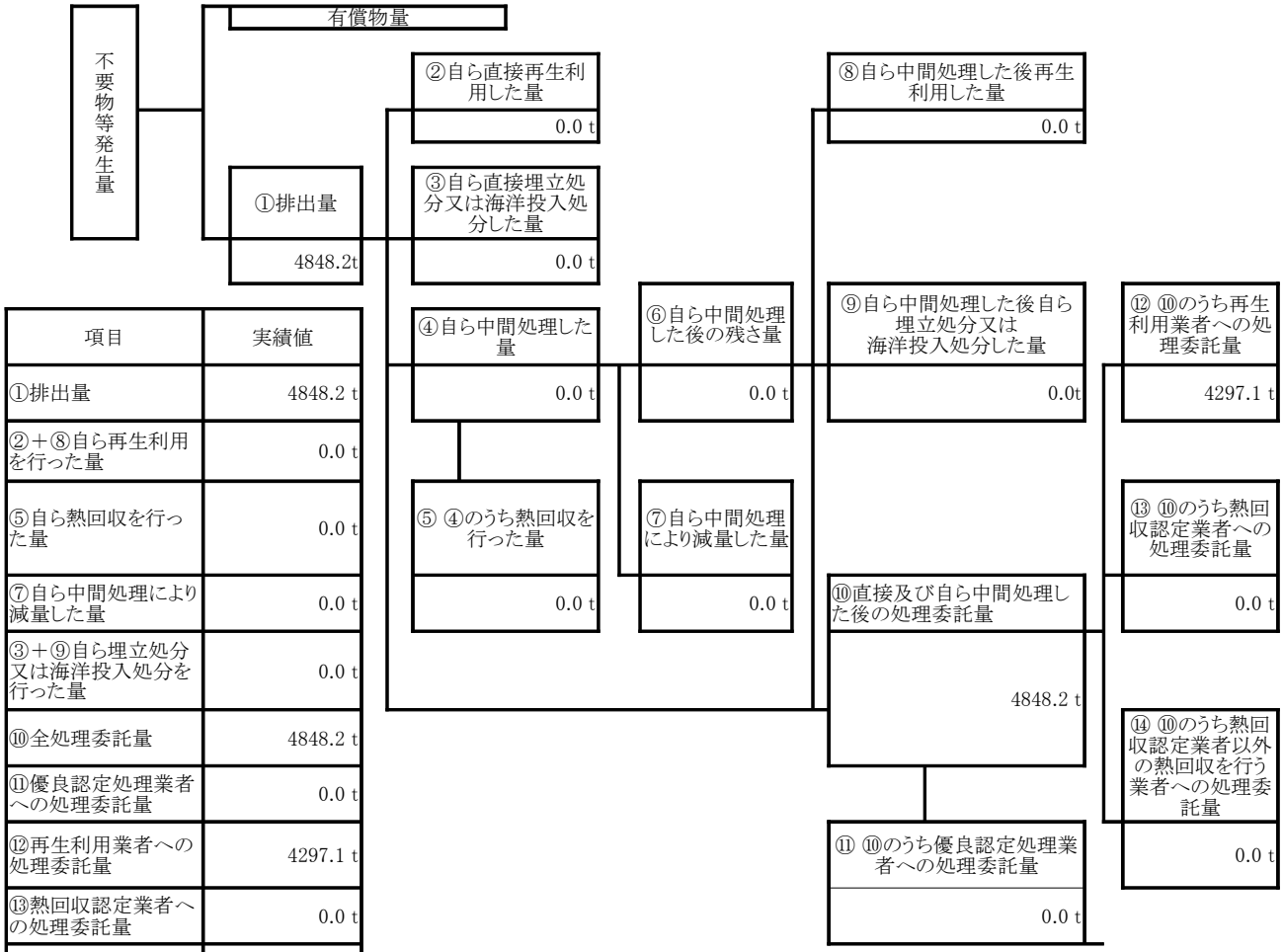


項目	実績値
①排出量	1568.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1568.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1461.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	28.1 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルト・コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



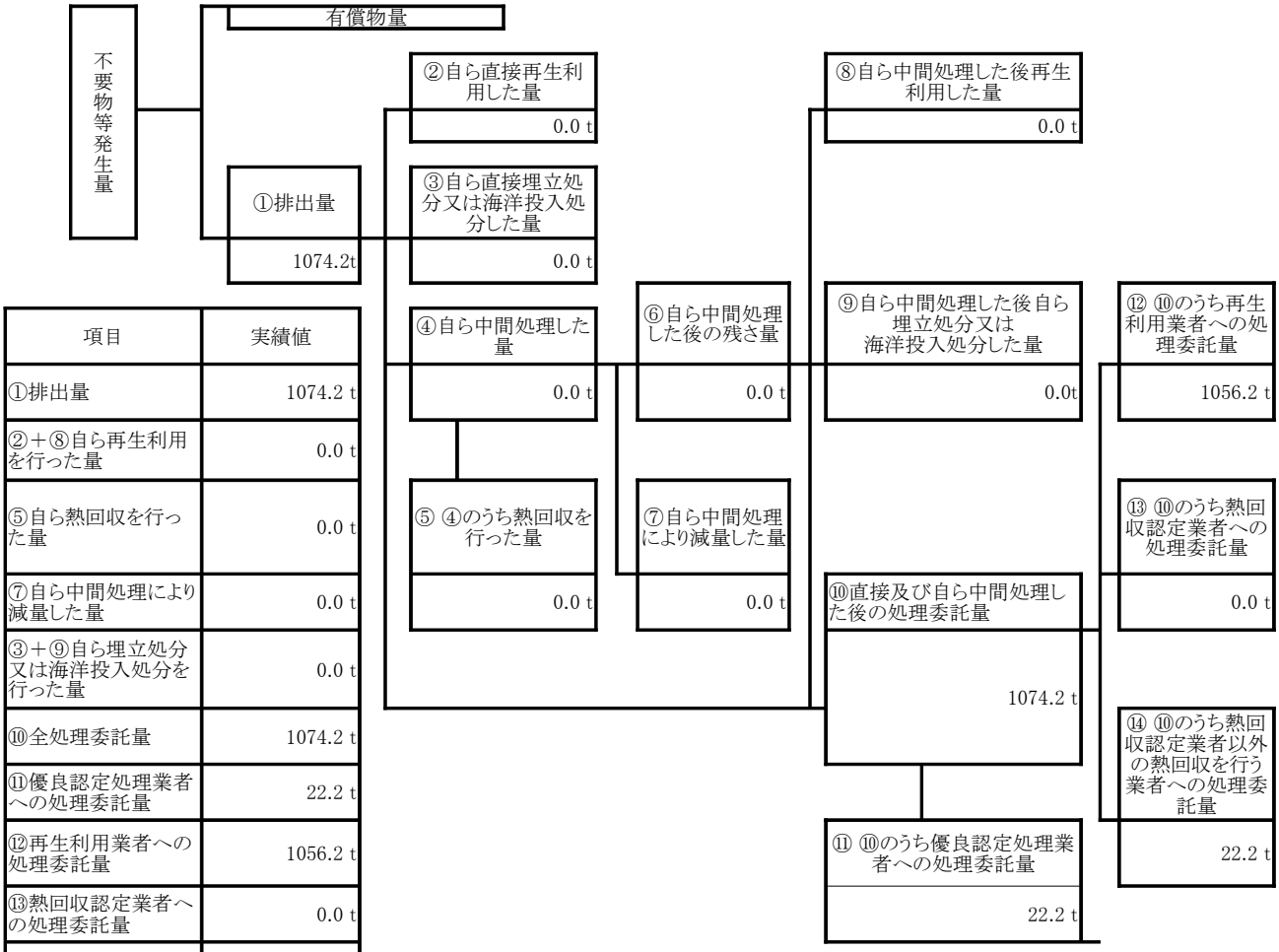
項目	実績値
①排出量	4848.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4848.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4297.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

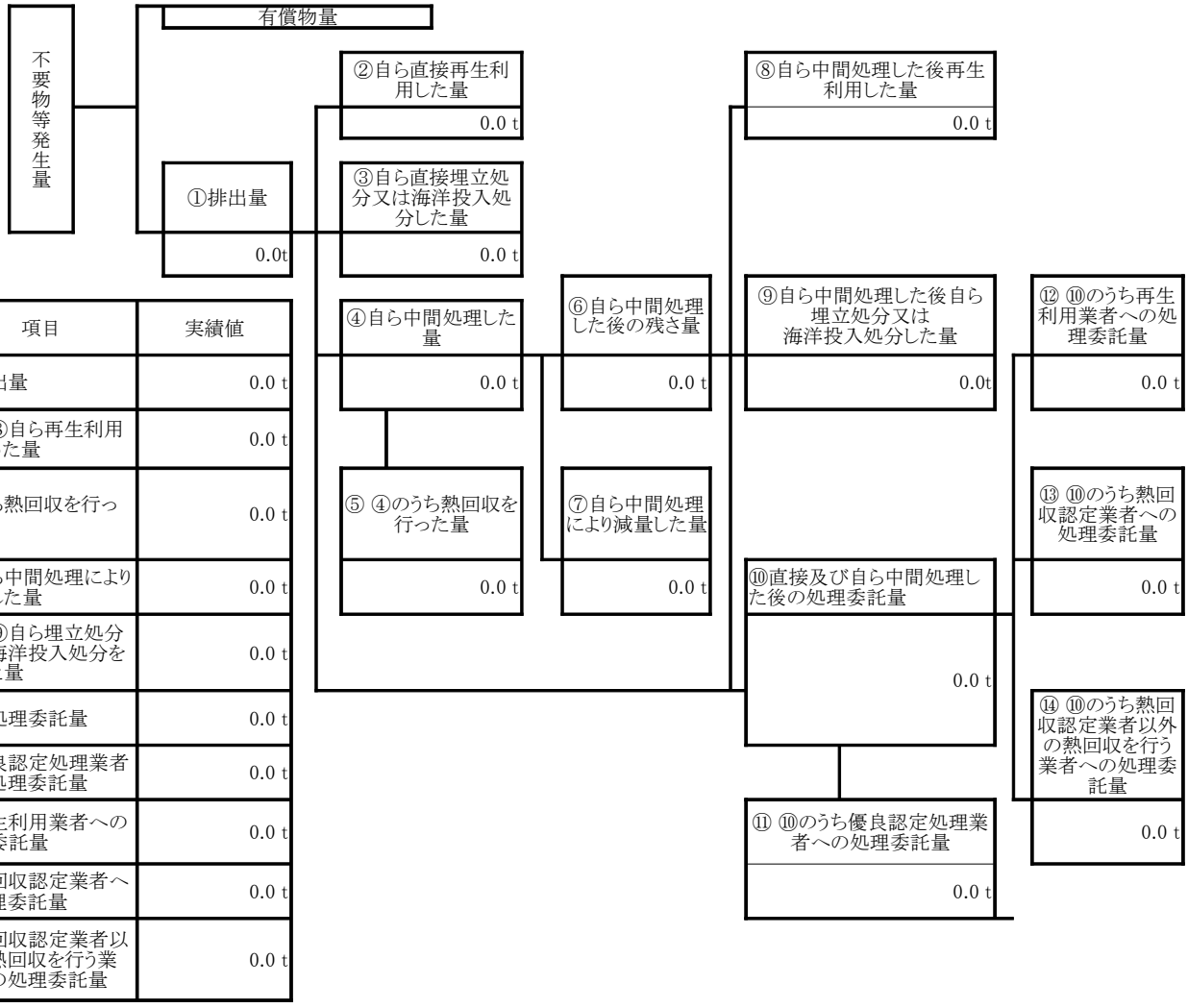


項目	実績値
①排出量	1074.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1074.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1056.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	22.2 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ﾟラスチック類(石綿含有産業廃棄

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

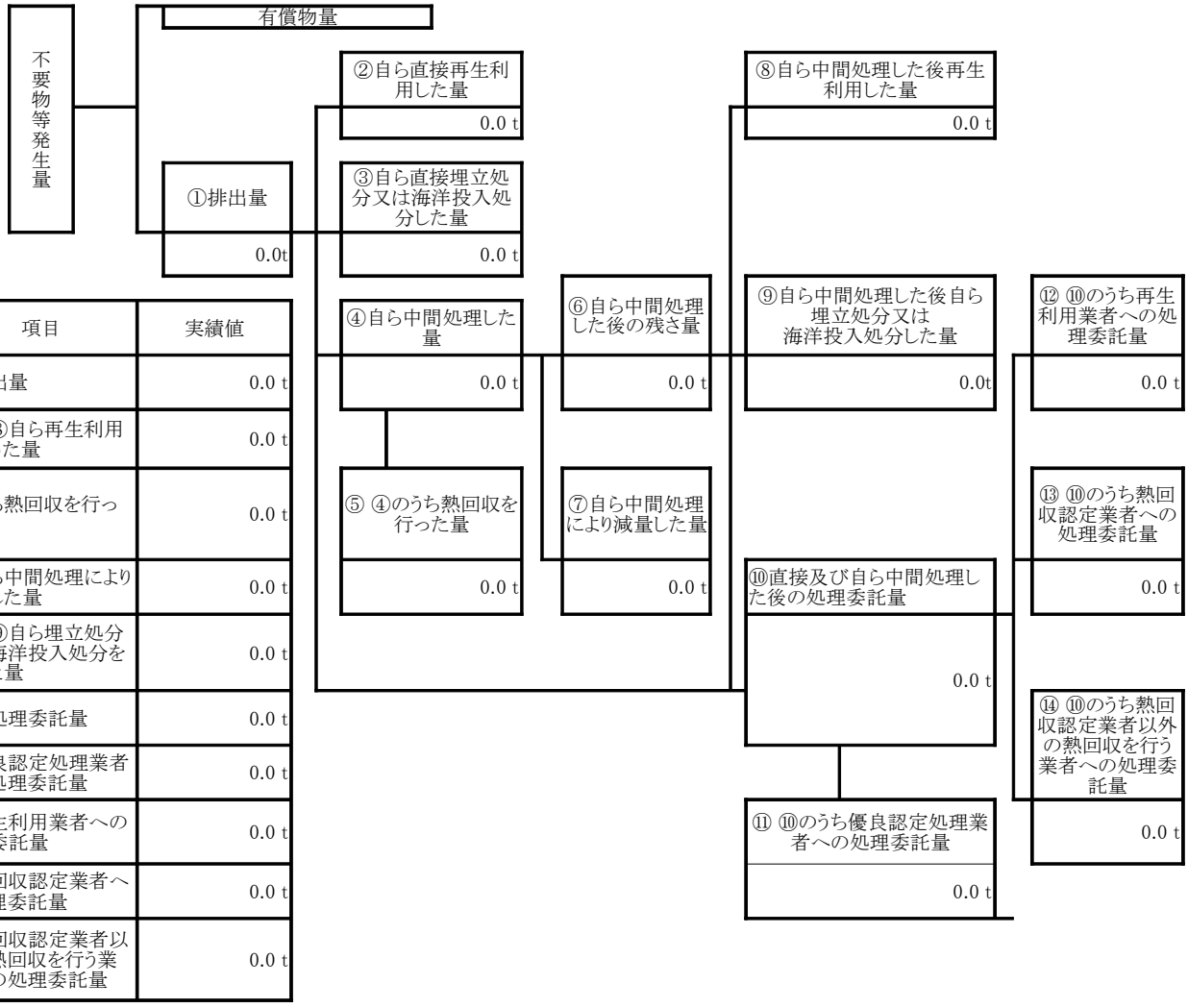


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類(石綿含有廃棄物)**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

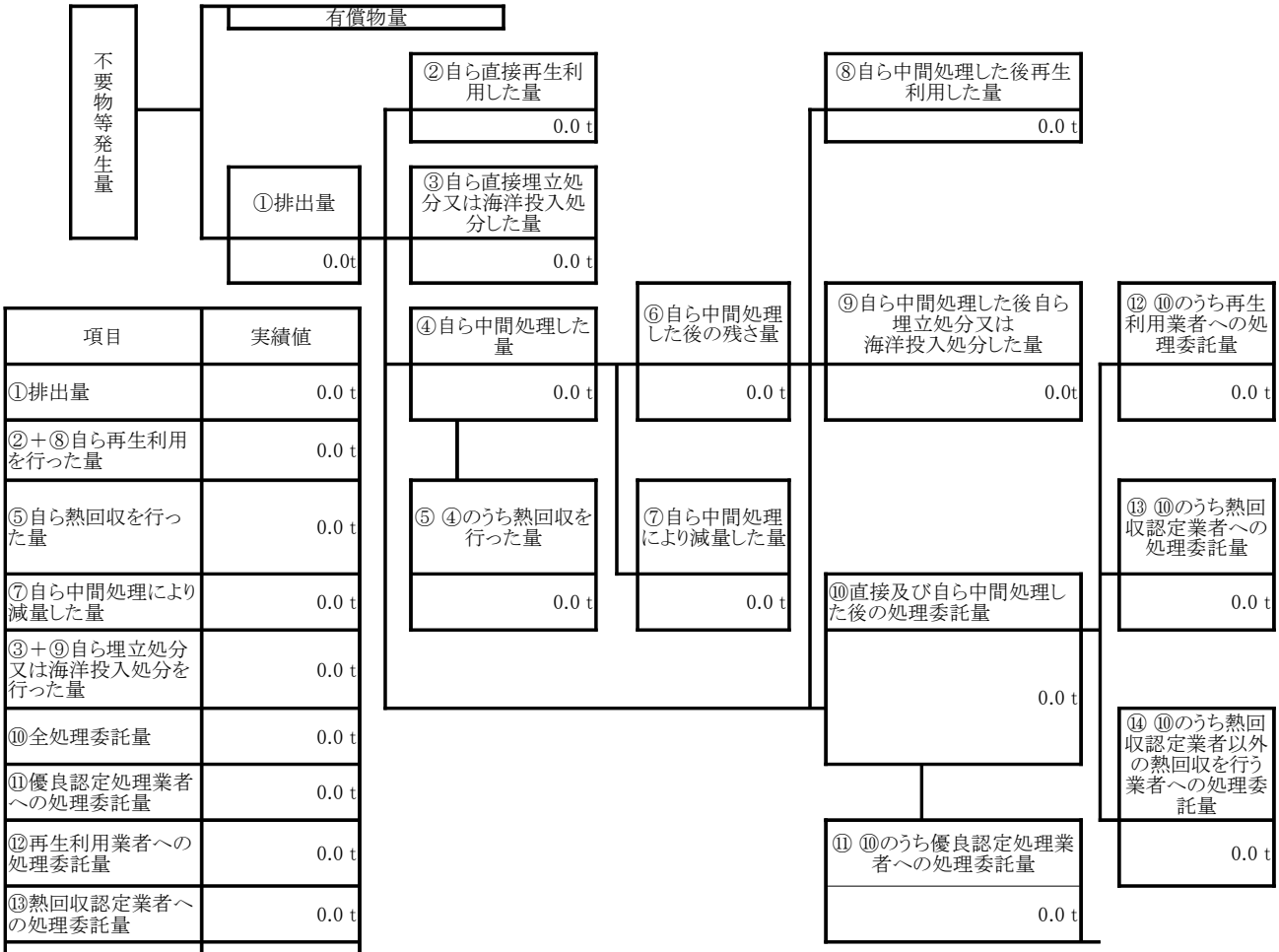


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

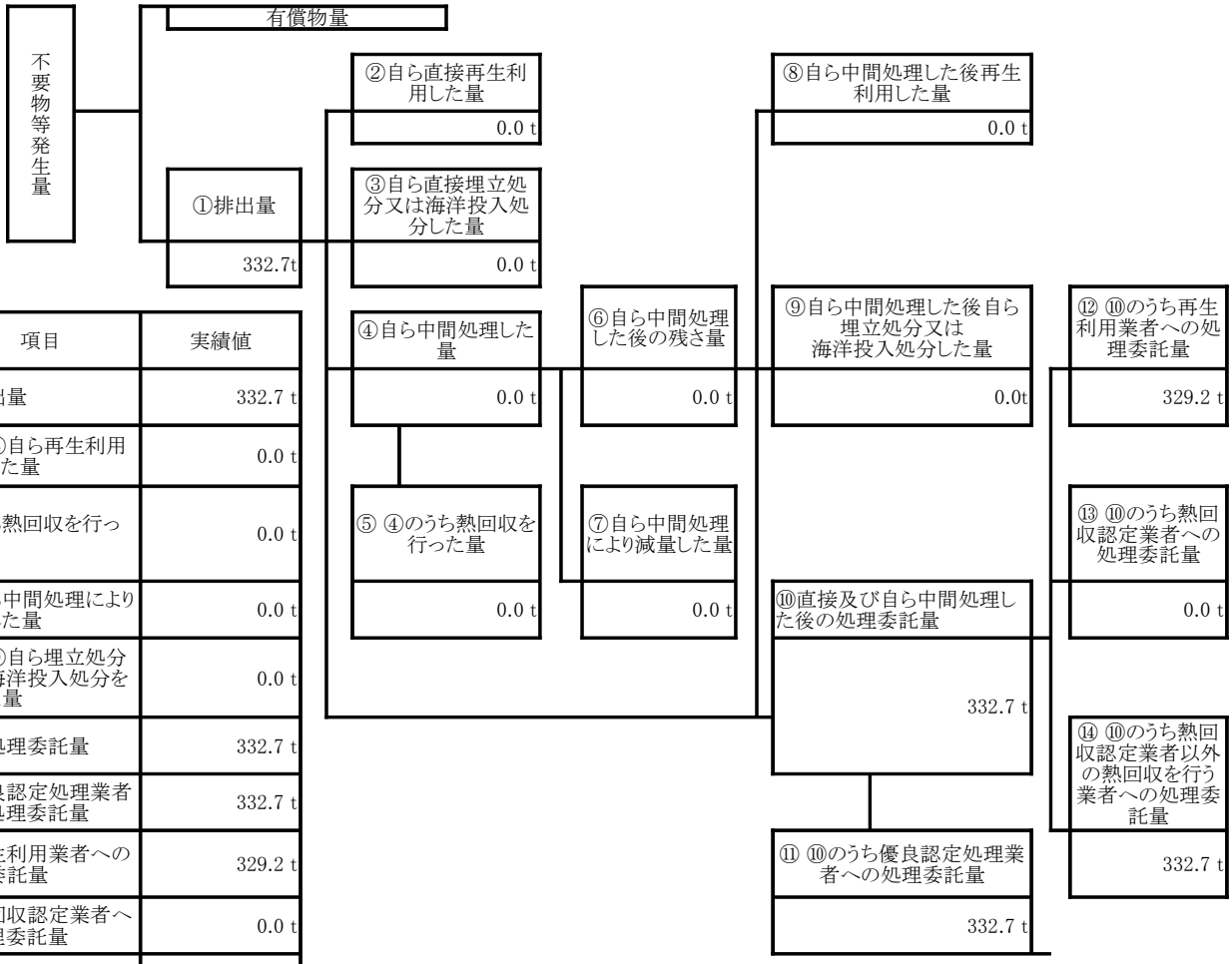


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

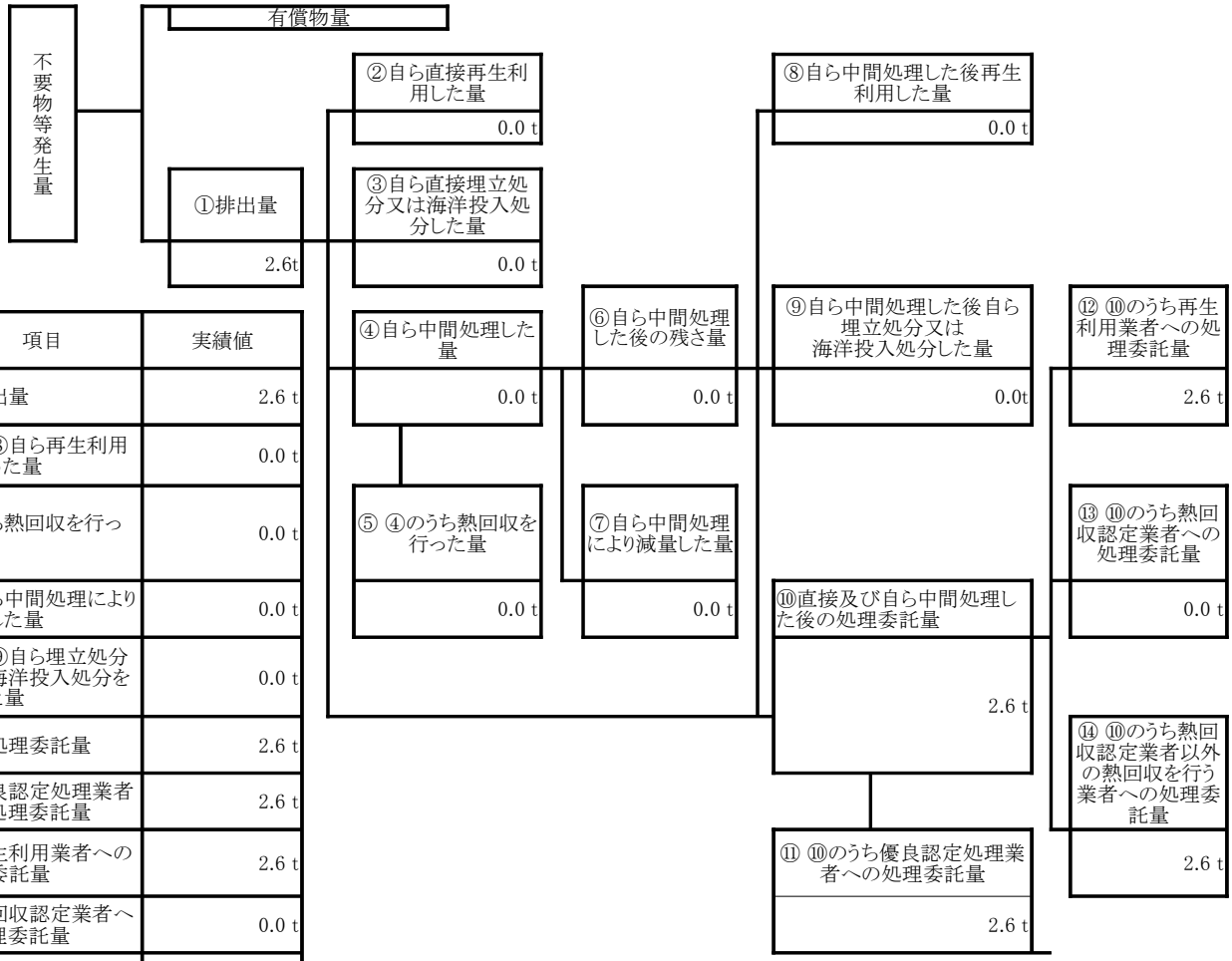


項目	実績値
①排出量	332.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	332.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	332.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	329.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	332.7 t

N0.15

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**安定型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

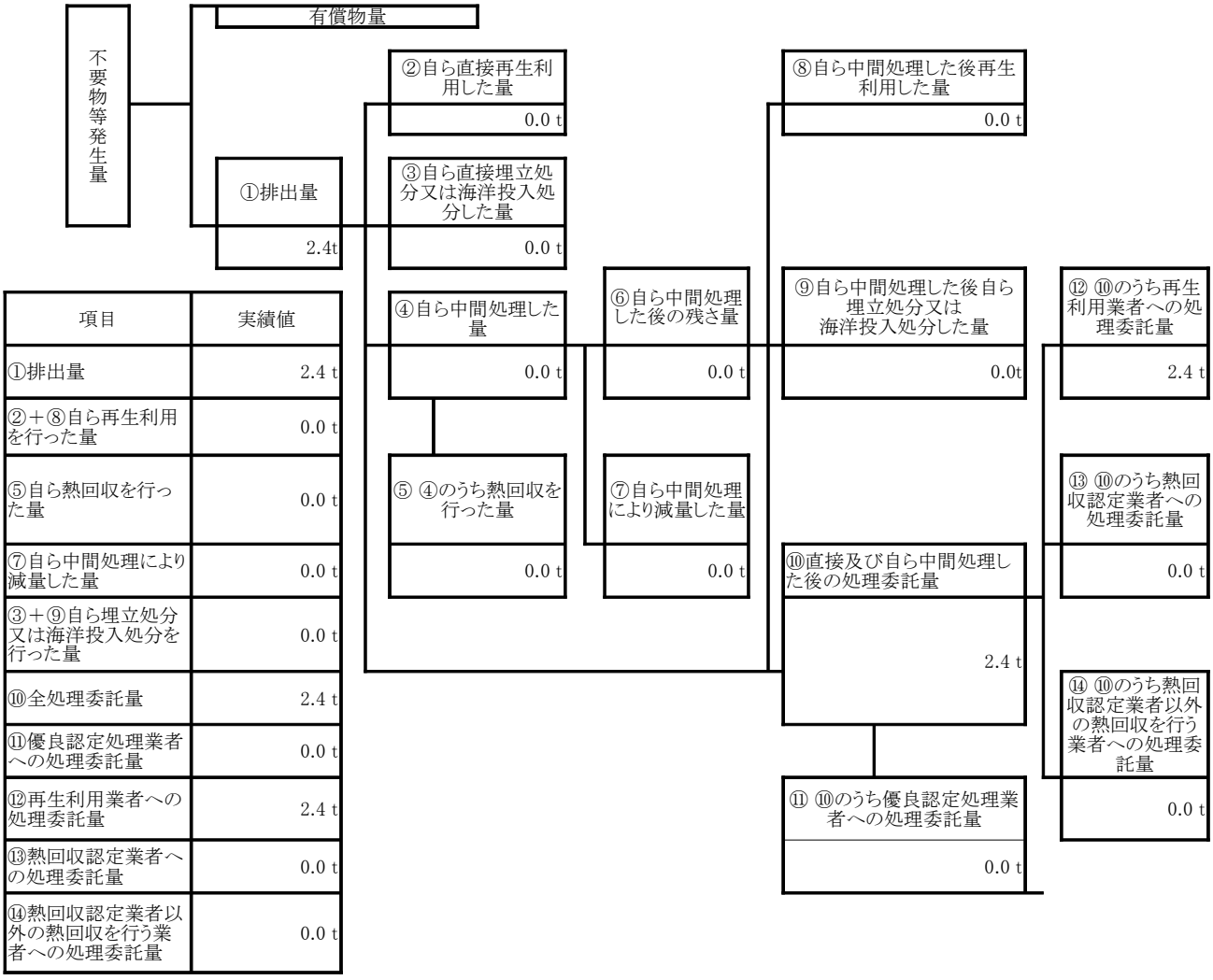


項目	実績値
①排出量	2.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.6 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**その他混合廃棄物(カッター汚泥)**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

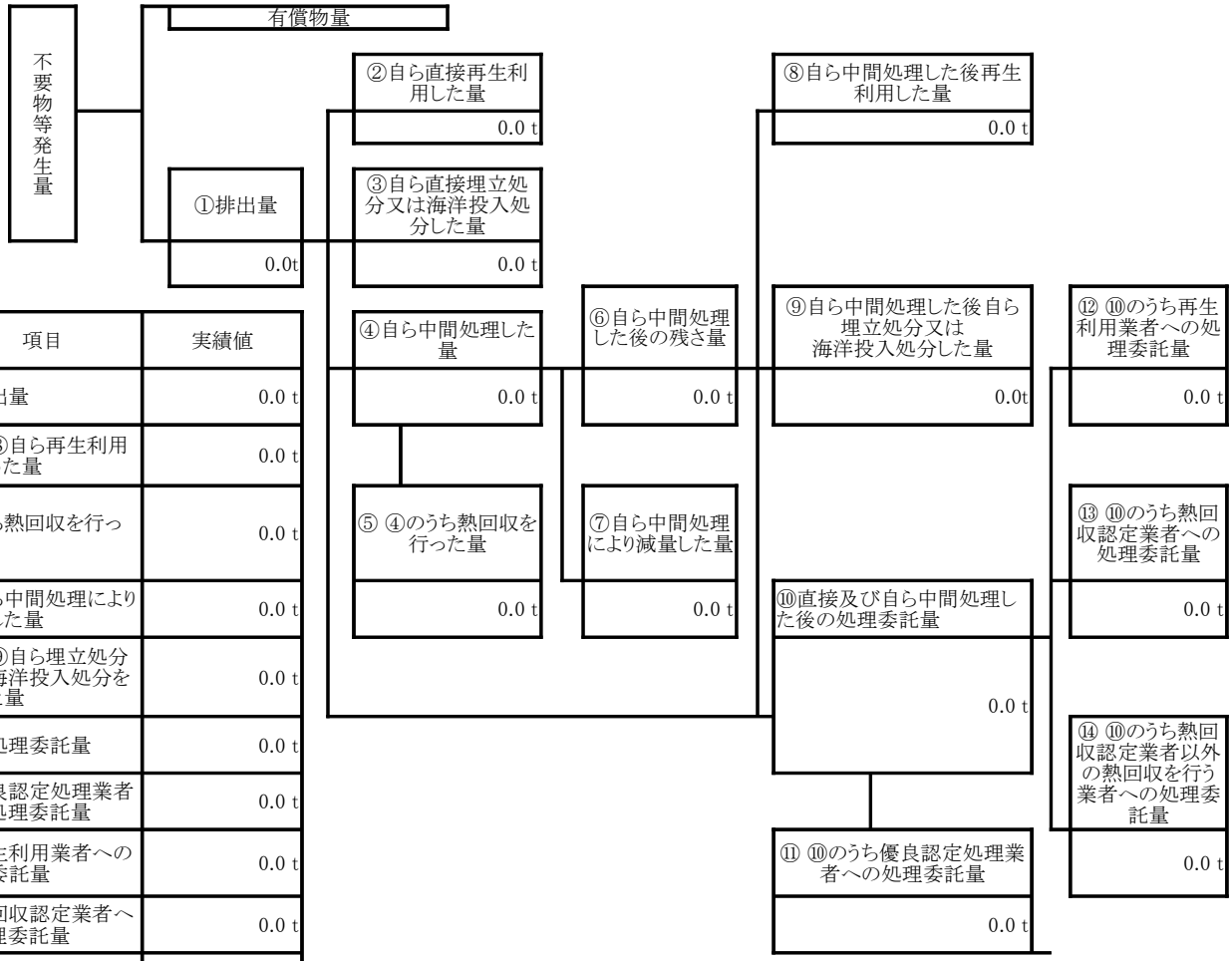


項目	実績値
①排出量	2.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　の他混合廃棄物(水銀使用蛍光灯)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



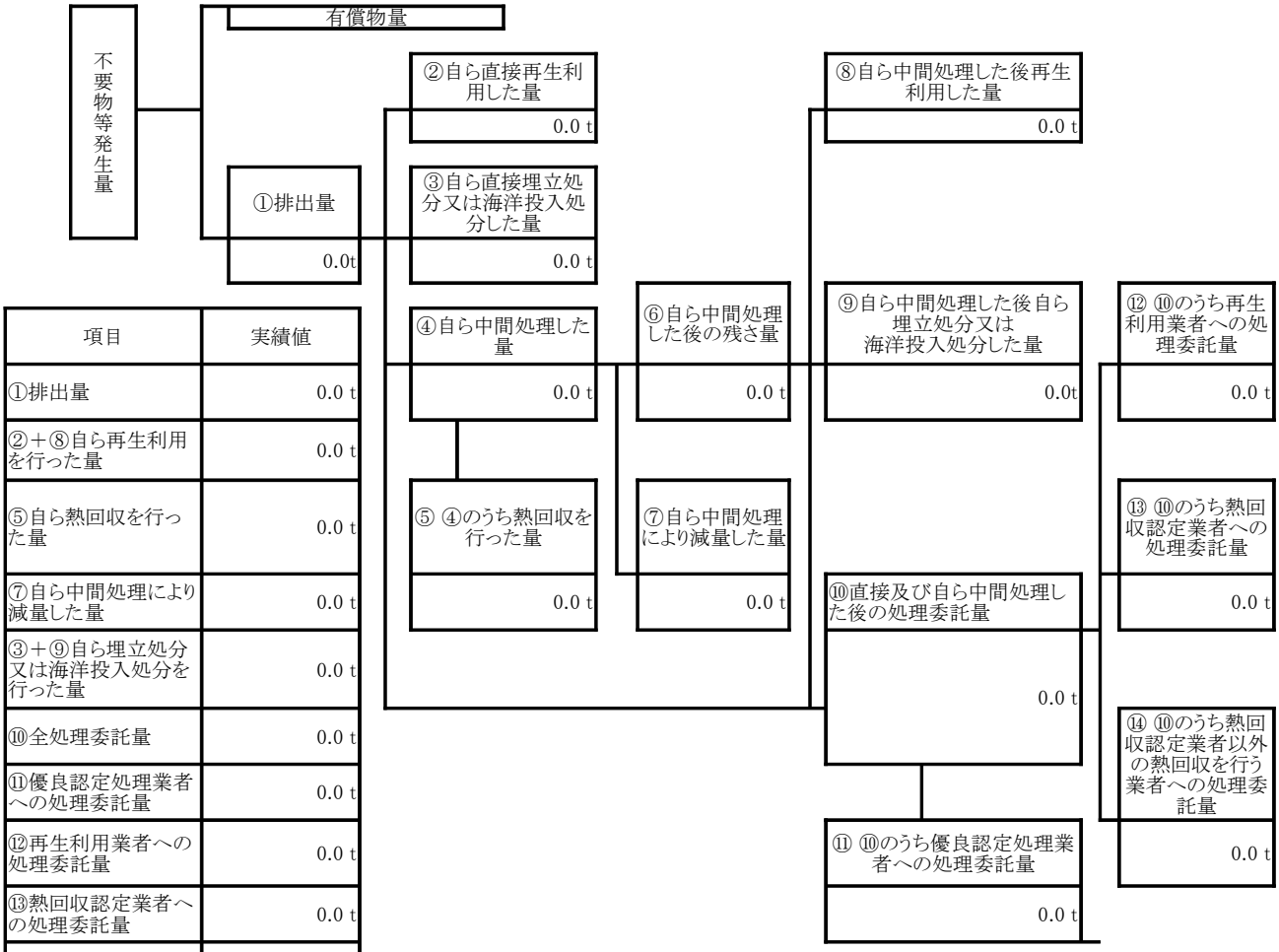
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃電気機械器具**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月13日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　千葉県千葉市中央区千葉寺町1210-5

氏　名　株式会社　フレスコ

代表取締役社長　妹尾 賢二郎

電話番号　043-209-2045

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　フレスコ
事業場の所在地	千葉市中央区千葉寺町1210-5
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：建設業/中分類：総合工事業/業種名：木造建築工事業
②　事業の規模	前年度の建築売上高　34億
③　従業員数	122名（正社員107人、常勤関係職員15人）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別表１の通り

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別表２の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別表３の通り	
	排　　出　　量_	t	t
	（これまでに実施した取組） ①OSプレカット推進の対象物件を拡大することによって木材投入量を削減し、現場排出量を抑制した。 ②構造材、羽柄材、外壁材プレカット推進の対象物件を拡大することによって、投入量を削減し、現場排出量を抑制した。 ③現場投入量の削減策を検討し、試行した。 ④部資材ロット単位や拾い基準の見直しによる排出量の削減を推進した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別表３の通り	
	排　　出　　量_	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①OSプレカット推進の対象物件を拡大することによって木材投入量を削減し、現場排出量を抑制する。 ②構造材、羽柄材、外壁材プレカット推進の対象物件を拡大することによって、投入量を削減し、現場排出量を抑制する。 ③現場投入量の削減策を検討し、試行する。 ④部資材ロット単位や拾い基準の見直しによって、排出量の削減を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分類し排出するように関係者への指導、徹底を行った。〈袋詰め排出〉１．廃石膏ボード　２．廃プラスチック類　３．木くず　４．紙くず　５．金属くず　６．その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートくず他）〈束ねて排出〉７．長尺材（ランバー等）８．段ボール ②解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体の推進を指導した。また特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設へ処理委託を推進した。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分類し排出する。　〈袋詰め排出〉１．廃石膏ボード　２．廃プラスチック類　３．木くず　４．紙くず　５．金属くず　６．その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートくず他）〈束ねて排出〉７．長尺材（ランバー等）８．段ボール ②解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体を行う。 また特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設へ処理委託を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	――――	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	――――	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和6　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	――――	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	――――	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和6　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	――――	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	――――	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（ 令和6　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別表４の通り	
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） ①産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底している。 ②廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握する為廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行った。 ③廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。 ④新築系においては可能な限り袋詰め分別を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進した。 ⑤委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認した。		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類_</td><td>別表４の通り</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量_</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
①産業廃棄物の収集運搬、処理処分を委託する場合には、事前に収集運搬業者と処理処分業者のそれぞれ個別に書面により委託基本契約を締結する。
②処理の工程の確認は、廃棄物管理票（マニフェスト）により行う。
③新築系においては可能な限り袋詰め分別排出を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進する。
④委託契約先処理施設の現場確認を行う。
中間処理現場及びリサイクル施設―年１回
処理処分場―３年に１回</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

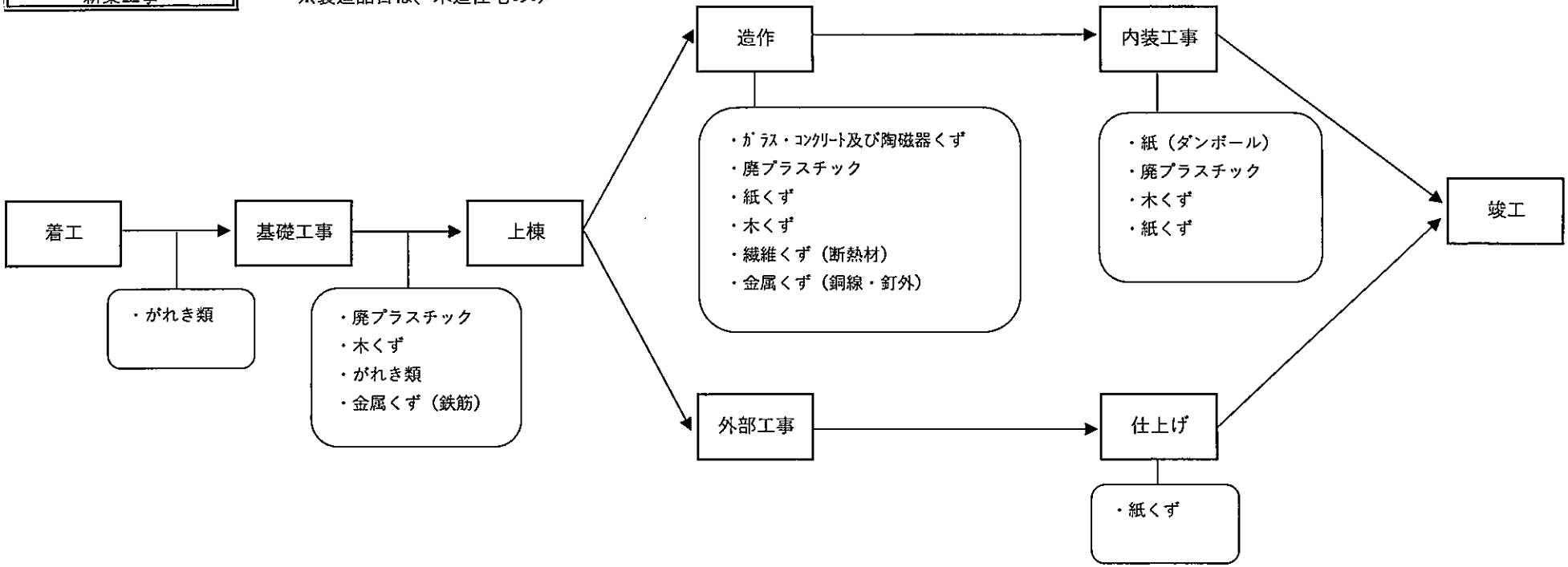
5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

【別表１】

新築工事　※製造品目は、木造住宅のみ



解体工事　※既存家屋解体工事

がれき類/ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器くず/廃プラスチック/紙くず/木くず/繊維くず/金属くず/廃石膏ボード/混合廃棄物（管理型含む）

【別表２】　千葉県

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

廃棄物管理責任者	㈱フレスコ　施工管理部　工事課　次長
廃棄物処理統括責任者	㈱フレスコ　施工管理部　部長
廃棄物処理責任者	廃棄物管理責任者が任命した者
廃棄物処理担当者	㈱フレスコ　施工管理部　工事課　担当者

廃棄物管理責任者	
職位	㈱フレスコ　施工管理部　工事課　次長
権限	産業廃棄物に関する業務の責任者として、㈱フレスコ建設部施工課の業務遂行を指揮・管理する
役割	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する ○委託契約の締結 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ・事務局　建設部　施工課

廃棄物処理統括責任者	
職位	㈱フレスコ　施工管理部　工事課　部長
権限	廃棄物処理に関する㈱フレスコ　施工管理部の最高責任者として、部下を指揮・監督し、業務執行を統括する
役割	○廃棄物処理方針の策定 ○建設部の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種運用事項の決定、承認

廃棄物処理責任者	
職位	廃棄物管理責任者が任命した者
権限	廃棄物処理に関する業務を遂行する
役割	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○監督官庁への各種報告

廃棄物処理担当者	
職位	㈱フレスコ　施工管理部　工事課　担当者
権限	廃棄物処理責任者の命を受け、廃棄物に関する業務を遂行する
役割	○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関連する事項

【別表３】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量	
	①現状	①計画
	前年度（令和6年度）実績	今年度（令和7年度）目標
廃プラスチック類	610.7	598.49
発泡スチロール	0	0
紙くず	401.3	393.27
木くず	596.9	584.96
繊維くず	0	0
金属くず	27	26.46
ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	262	256.76
石膏ボード	330.3	323.69
がれき類	3.9	3.82
混合廃棄物（管理型含む）	23	22.54
総計　（ｔ）	2255.1	2210.0

【別表４】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	①現状 前年度（令和6年度）実績					②計画 今年度（令和7年度）目標				
	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収を行う業者への処理委託量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収を行う業者への処理委託量
廃プラスチック類	610.7	610.7	――	――	――	598.49	598.49	――	――	――
発泡スチロール	0	0	――	――	――	0	0	――	――	――
紙くず	401.3	401.3	――	――	――	393.27	393.27	――	――	――
木くず	596.9	596.9	――	――	――	584.96	584.96	――	――	――
繊維くず	0	0	――	――	――	0	0	――	――	――
金属くず	27	27	――	――	――	26.46	26.46	――	――	――
ｶﾞﾗｽくず、コンクリートくず　及び陶磁器くず	262	262	――	――	――	256.76	256.76	――	――	――
石膏ボード	330.3	330.3	――	――	――	323.69	323.69	――	――	――
がれき類	3.9	3.9	――	――	――	3.82	3.82	――	――	――
混合廃棄物（管理型）	23	23	――	――	――	22.54	22.54	――	――	――
総計　　（ｔ）	2255.1	2255.1	――	――	――	2210.0	2210.0	――	――	――

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月13日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒260-0844
住 所　千葉県千葉市中央区千葉寺町1210-5
氏 名　株式会社フレスコ
代表取締役社長　妹尾 賢二郎
電話番号 043-209-2045

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フレスコ
事業場の所在地	千葉市中央区千葉寺町1210-5
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

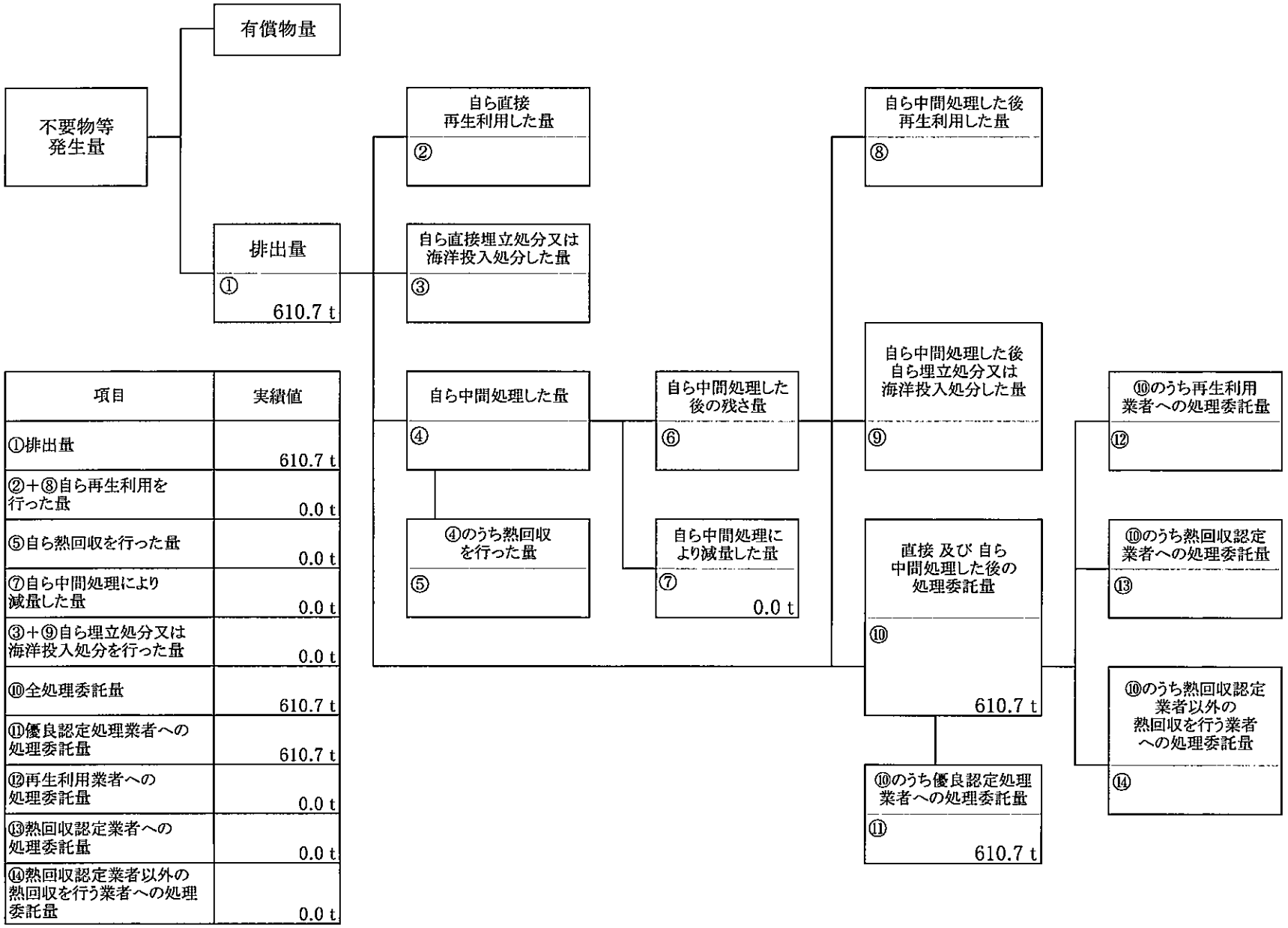
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1543.99 t	全処理委託量	1543.99 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1543.99 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

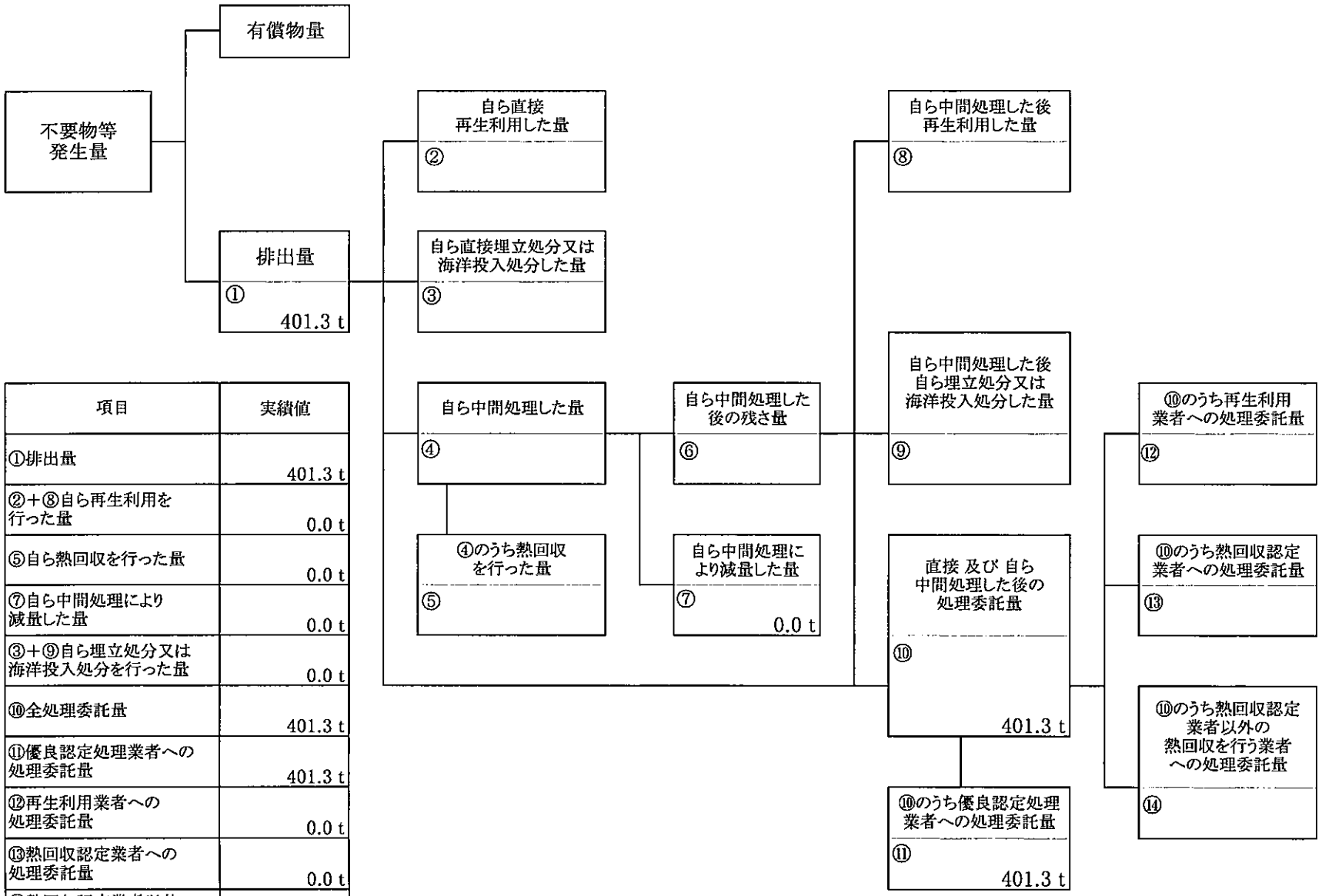


項目	実績値
①排出量	610.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	610.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	610.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

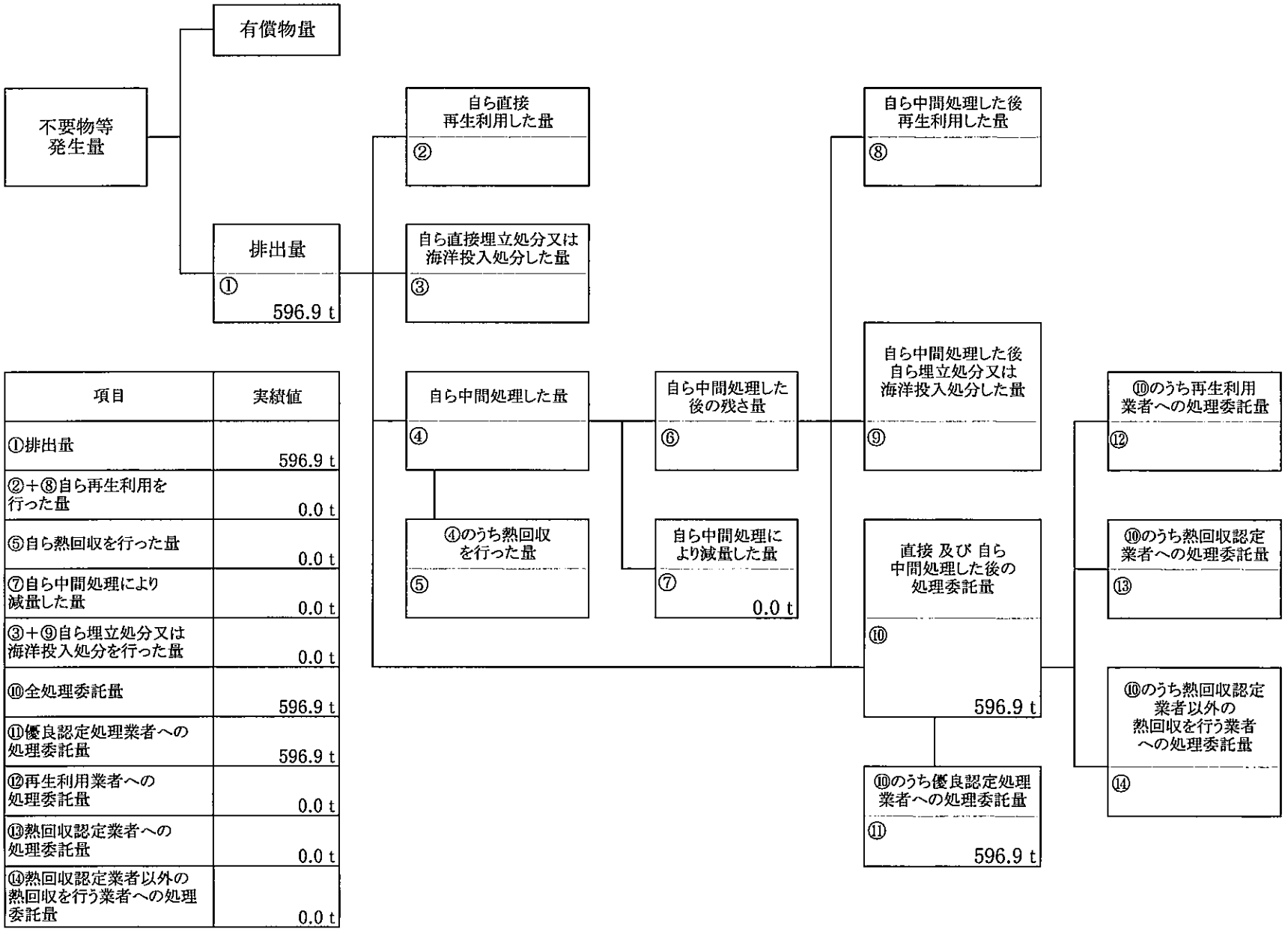


項目	実績値
①排出量	401.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	401.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	401.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　木くず　　）

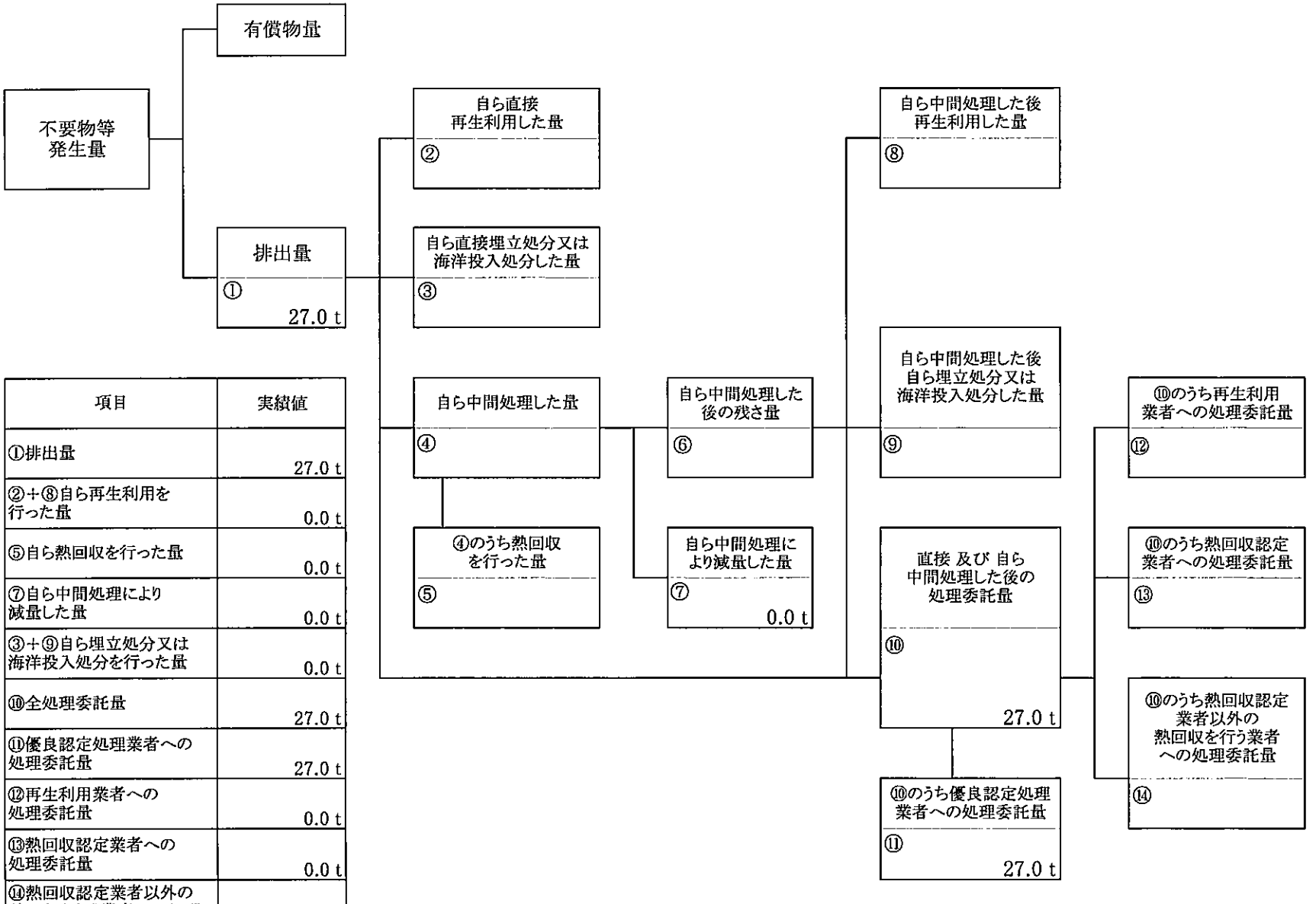


項目	実績値
①排出量	596.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	596.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	596.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

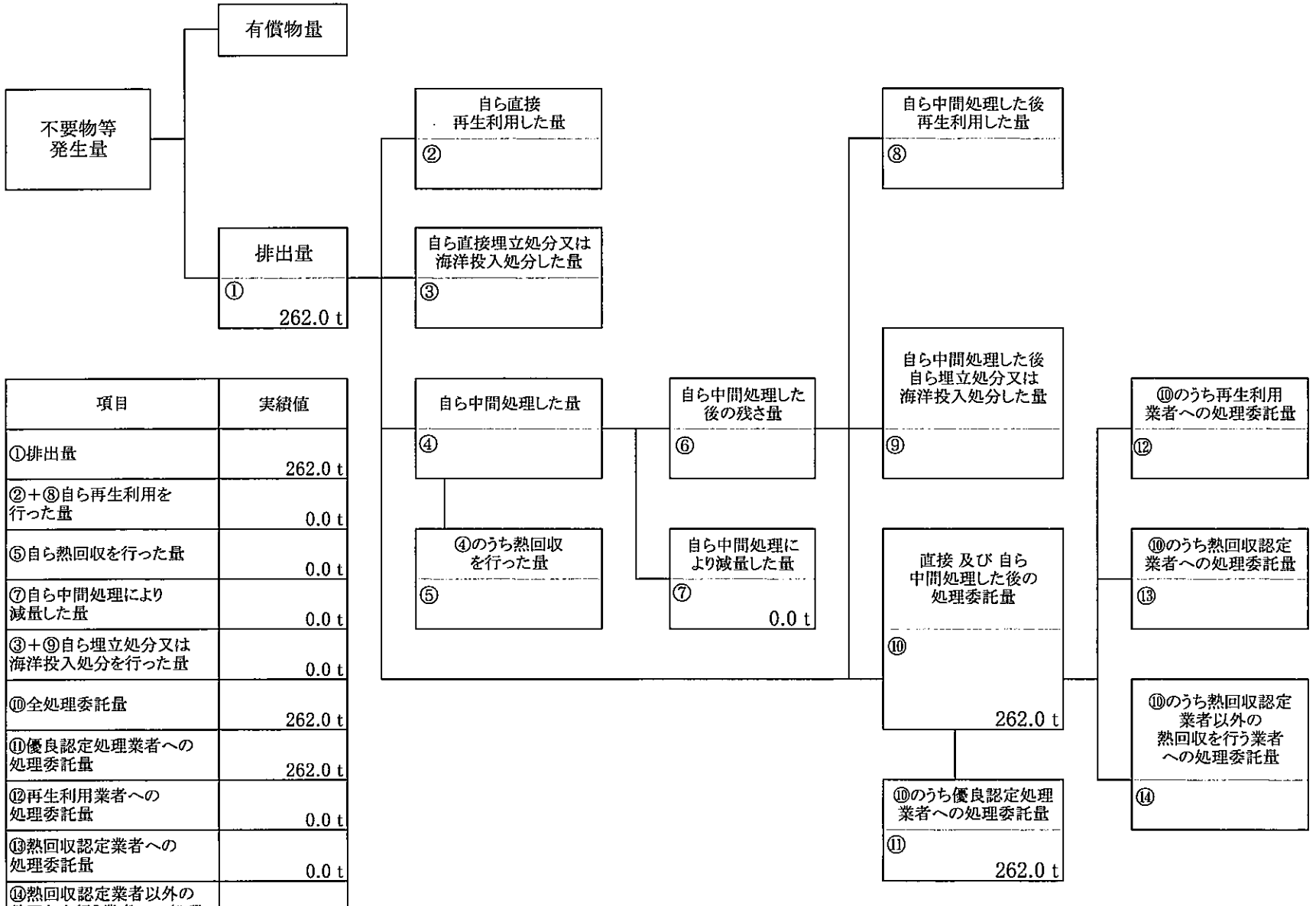


項目	実績値
①排出量	27.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、陶磁器くず　）

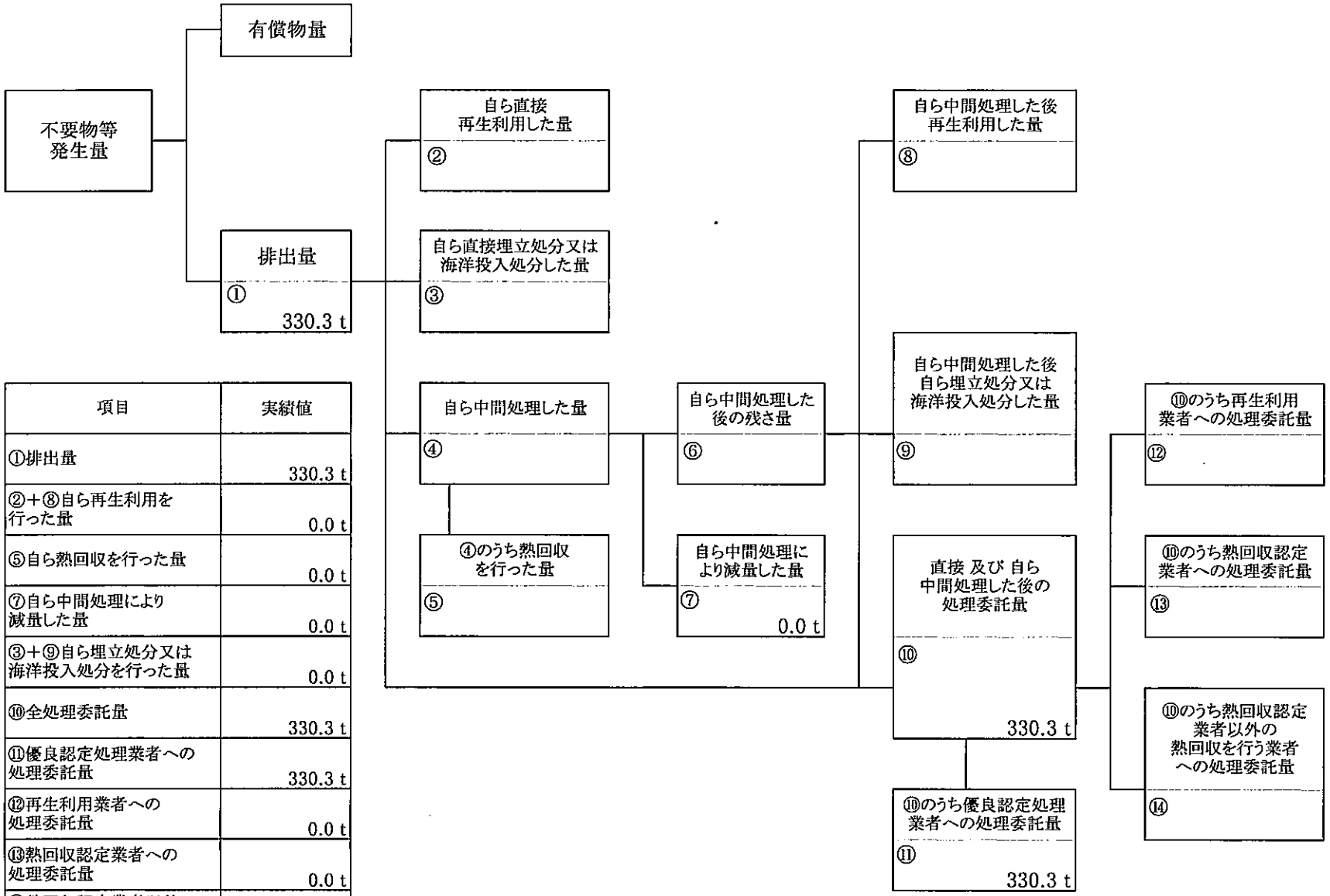


項目	実績値
①排出量	262.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	262.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	262.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃石膏ボード　　）

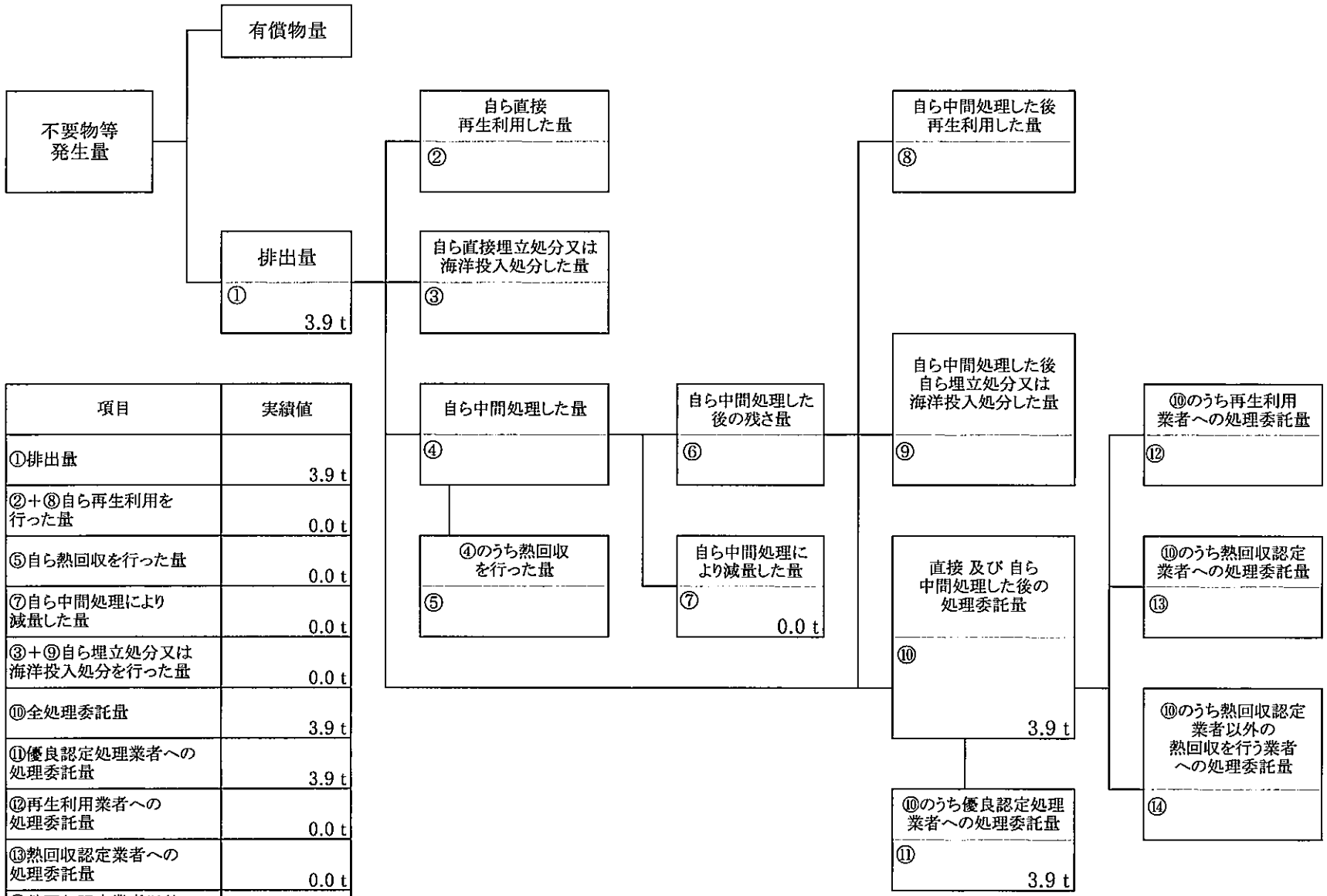


項目	実績値
①排出量	330.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	330.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	330.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　その他がれき類　　）

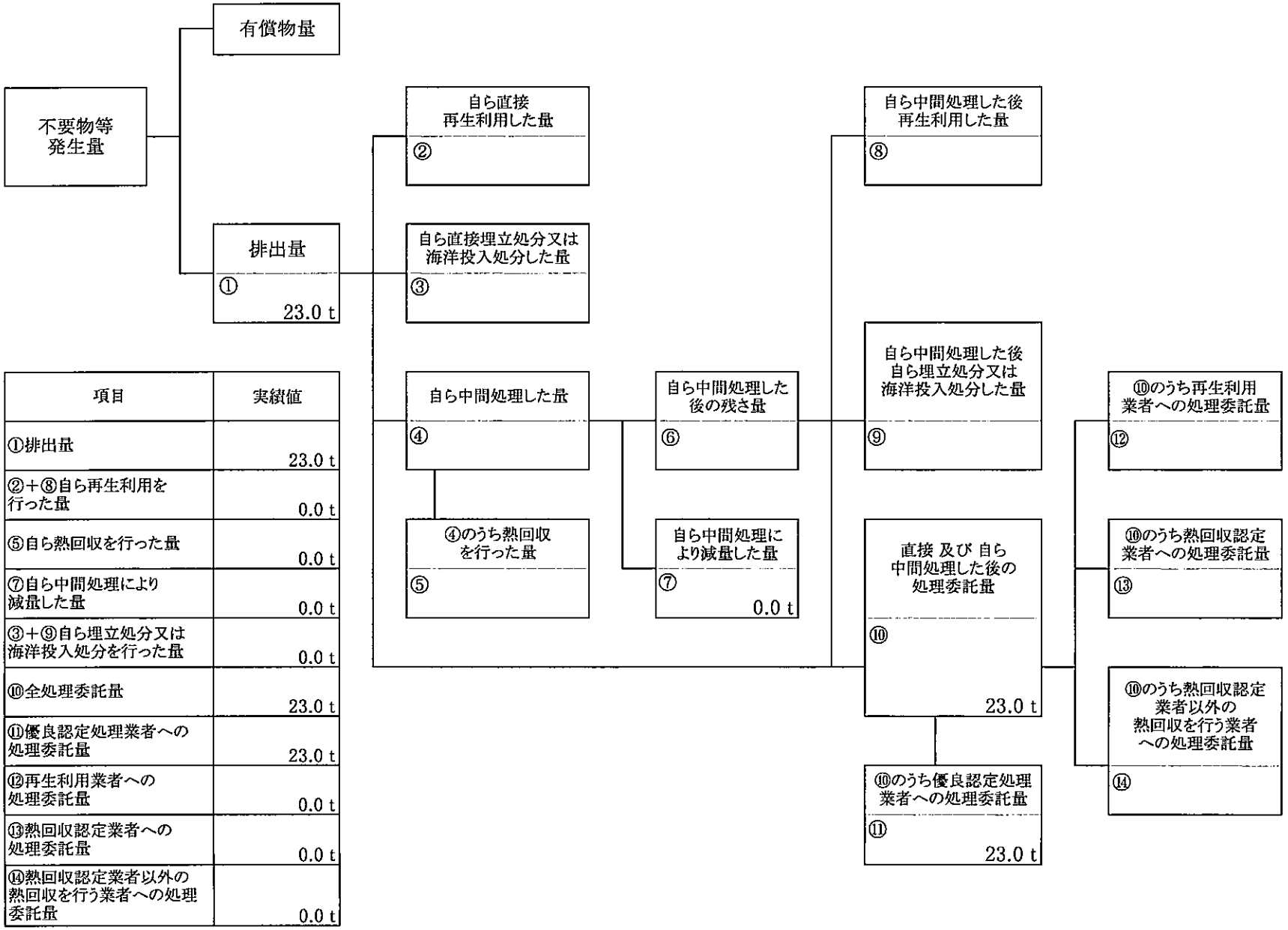


項目	実績値
①排出量	3.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　混合（管理型含）　　）



項目	実績値
①排出量	23.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　135-0023

住　所　東京都江江東区平野三丁目２番６号 木場パークビル

法人名　ベステラ　株式会社

代表者　本田 豊

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3630-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	SF装置撤去工事（令和　６年　８月竣工）　3HY装置撤去工事（令和　７年　８月竣工予定）　2R-GT設備撤去工事（令和　８年　２月竣工予定）
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸2-1（出光興産（株）千葉事業所）
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　建設業　　中分類：　職別工事業（解体工事）
②事業の規模	金　136,070,000.円（工事請負契約代金額）　金　463,010,900.円（工事
③従業員数	３名、４名、３名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 廃石綿等→処理業者へ委託

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付ファイルの通り

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
排出量	139.23 t	t

（これまでに実施した取組）
分析を行い、分析の結果　石綿含有なしとなった場合は、通常の産業廃棄物として処理を行った。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
排出量	65 t	t

（今後実施する予定の取組）
分析を行い、分析の結果　石綿含有なしとなった場合は、通常の産業廃棄物として処理を行う。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃石綿
保管場所に保管標識を掲示し、危険物としての注意喚起を実施。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃石綿
保管場所に保管標識を掲示し、危険物としての注意喚起する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	
	全処理委託量	139.23 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託前に業者の処理施設見学を実施し、許可証の写し・契約書を保管した。		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃石綿等</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>65 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
委託前に業者の処理施設見学を実施し、許可証の写し・契約書を保管する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 139.23 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
通信環境の悪い山間部等を除き、電子マニュフェストを運用（使用）している。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

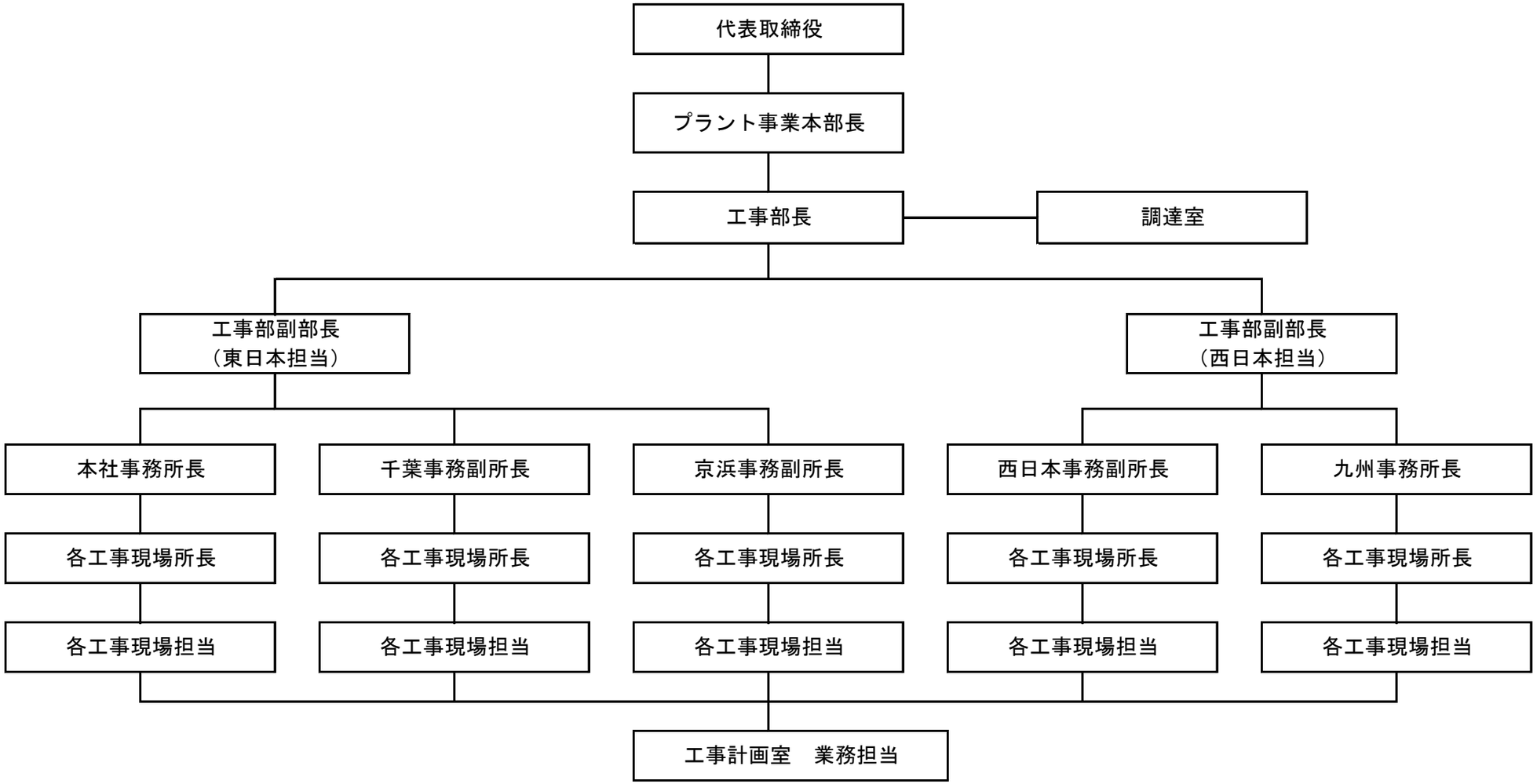
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

産業廃棄物の処理に係る管理体制



※　産業廃棄物処理委託契約書　管理担当

※　紙マニュフェスト　管理担当

※　電子マニュフェスト　事務担当

※　調達室は、金属スクラップの売却先の選定を行う。

※　現場規模により、工事現場所長と工事現場担当は同一の場合あり

※　各工事現場所長が、現場毎の排出処理計画を策定し管理を行う。

※　各工事現場担当が、現場での搬出時の立会い等を行う。

壊すことを、美しく。ベステラ
BESTERRA
ベ ス テ ラ　株式会社

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒302-0110

住　所　茨城県守谷市百合ヶ丘1-4808-221

氏　名　株式会社ベスト・ワーク
代表取締役　須賀　大明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0297-46-1246

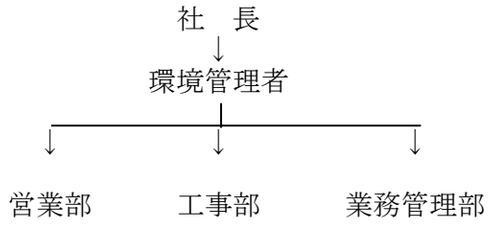
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ベスト・ワーク
事業場の所在地	茨城県守谷市百合ヶ丘1-4808-221
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D07－職別工事業（設備工事業を除く）
②　事業の規模	土木解体工事　売上15億円
③　従業員数	45名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	建物解体　→　廃棄物分別　→　搬出運搬　→　委託処分

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	72.2 t	2,289 t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の分別を行い、再利用化を促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排出量	72.2 t	2,289 t
	（今後実施する予定の取組） 上記内容を継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ　木くず　紙くず　繊維くず　金属くず　石膏ボード　がれき コンクリートガラ　アスファルト　ガラス陶器　蛍光灯　に分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記内容を継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
全処理委託量	72.2 t	2,289 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	2,031 t
再生利用業者への処理委託量	72.2 t	2,289 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

廃棄物の分別を行い、再生利用化を促進

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック		木くず	
		全処理委託量＿	72.2	t	2,289	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0	t	2,031	t
		再生利用業者への処理委託量	72.2	t	2,289	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t
		（今後実施する予定の取組） 上記内容を継続				
※事務処理欄						

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		排　　出　　量	33.7　t	5.5　t	349.6　t	54.7　t	1323.6　t	45.9　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		排　　出　　量	33.7　t	5.5　t	349.6　t	54.7　t	1323.6　t	45.9　t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
	全処理委託量	33.7 t	5.5 t	349.6 t	54.7 t	1323.6 t	45.9 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	422 t	40.64 t	6.6 t	577.38 t	20.55 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	33.7 t	5.5 t	320.57 t	54.7 t	1323.6 t	45.9 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず・繊維くず	金属くず	がれき類	石膏ボード	コンクリートガラ	混合廃棄物		
	全処理委託量	33.7 t	5.5 t	349.6 t	54.7 t	1323.6 t	45.9 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	422 t	40.64 t	6.6 t	577.38 t	20.55 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	33.7 t	5.5 t	320.57 t	54.7 t	1323.6 t	45.9 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　７年　６月　19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　　〒288-0037

住　所　千葉県銚子市北小川町２４３２番地の１

氏　名　　有限会社　星山リサイクル

代表取締役　星山　龍則

電話番号　　0479-25-3766

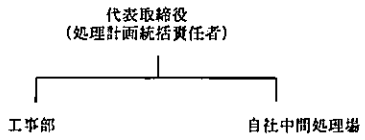
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社　星山リサイクルセンター
事業場の所在地	千葉県銚子市小浜町２５４３－５　外
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：職別工事業(設備工事業を除く)
②事業の規模	前年度の元請完成工事高　　３，５０４万円
③従業員数	３人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類、ガラ陶、廃プラスチック類、木くず、建設混合廃棄物 各工事現場 → 収集 → 中間処理 → 最終処分 ↓ 販売　または　最終処分

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　令和　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
排出量	2,503.7ｔ	94.3ｔ	1.6ｔ	495.0ｔ	46.4ｔ	0ｔ		

①現状

（これまでに実施した取組）
・現場毎に混合廃棄物の排出目標を定め、分別の徹底を行う。

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
排出量	2,600ｔ	95ｔ	5ｔ	500ｔ	50ｔ	5ｔ		

②計画

（今後実施する予定の取組）

・上記取り組みを継続実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・特定建築資材廃棄物および石綿含有廃棄物の分別の徹底

・委託契約書のとおり種類毎に分別・適正処理を行っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・上記取り組みを継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①　現状

【前年度（令和　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,409ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		

（これまでに実施した取組）自社で破砕後、売却しております

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,500ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		

（今後実施する予定の取組）自社で破砕後、売却を予定しております

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ	0ｔ		

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（　令和　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず
全処理委託量		94.7 t	94.3 t	4.6 t	495.0 t	46.4 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	63.6 t	72.1 t	4.6 t	458.2 t	15.2 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）事前の契約に基づき、適正処分をしています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		がれき類	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	金属くず	
全処理委託量		100 t	95 t	5 t	500 t	50 t	5 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	64 t	73 t	5 t	460 t	16 t	5 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

（今後実施する予定の取組）事前の契約に基づき、適正処分を予定しています。

※事務処理欄

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 19 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒288-0037
住 所　千葉県銚子市北小川町2432番地の1
氏 名　有限会社 星山リサイクル
代表取締役 星山 龍則

電話番号 0479-25-3766

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 星山リサイクルセンター
事業場の所在地	千葉県銚子市小浜町2543－5 外
事業の種類	大分類:建設業　中分類:職別工事業(設備工事業を除く)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

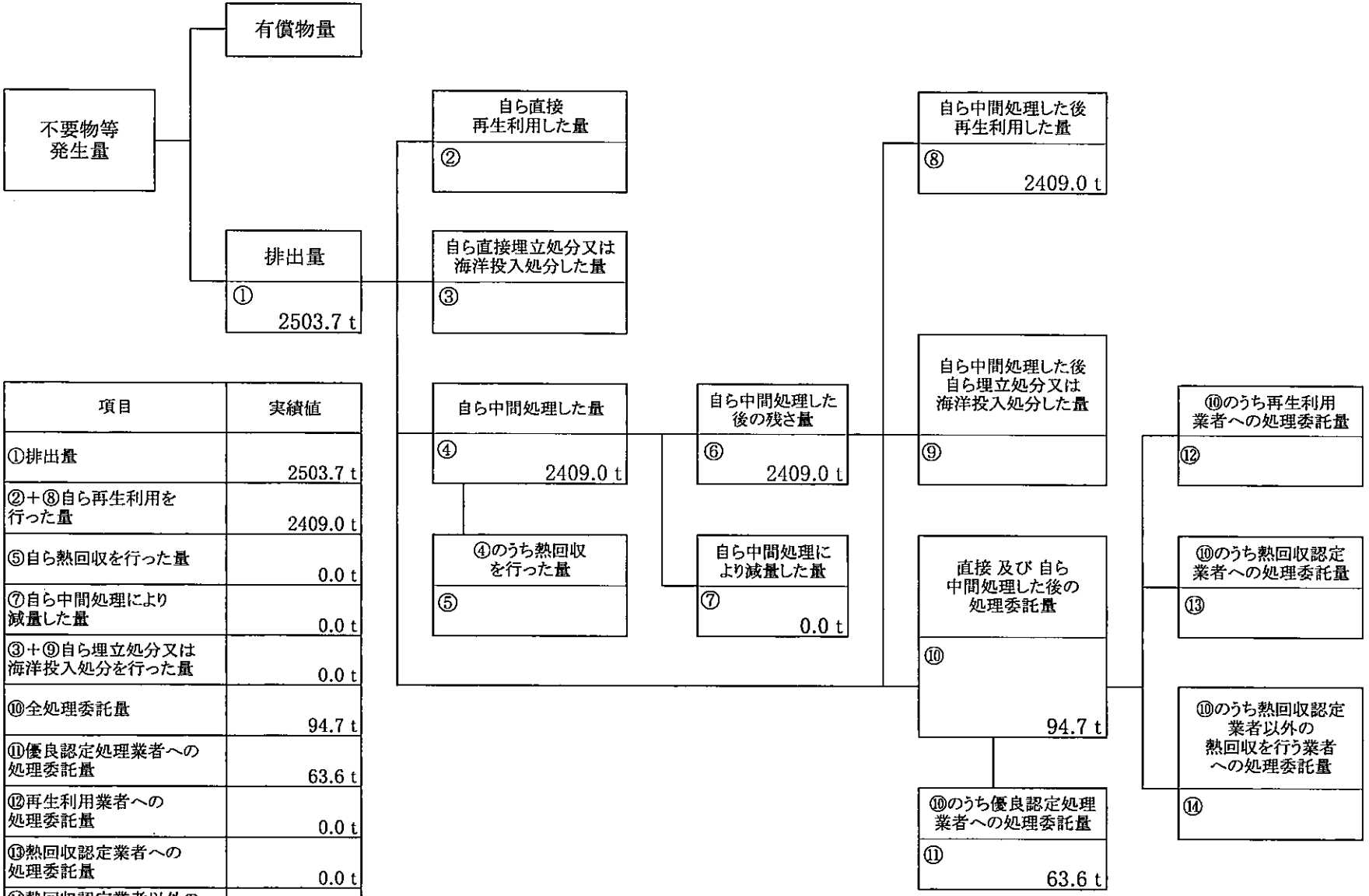
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1430.0 t	全処理委託量	530.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	900.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	60.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　がれき類　　）

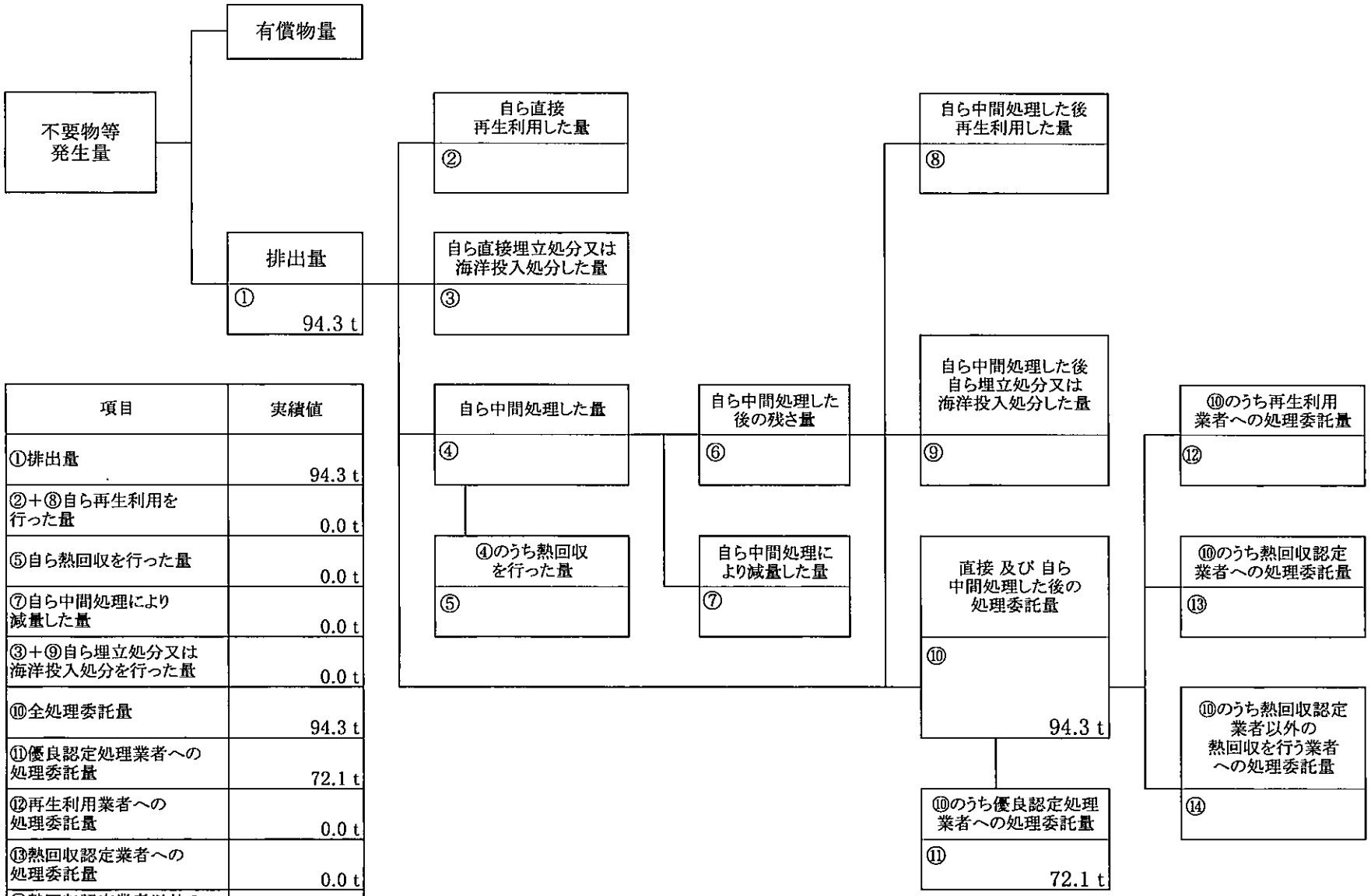


項目	実績値
①排出量	2503.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	2409.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	63.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

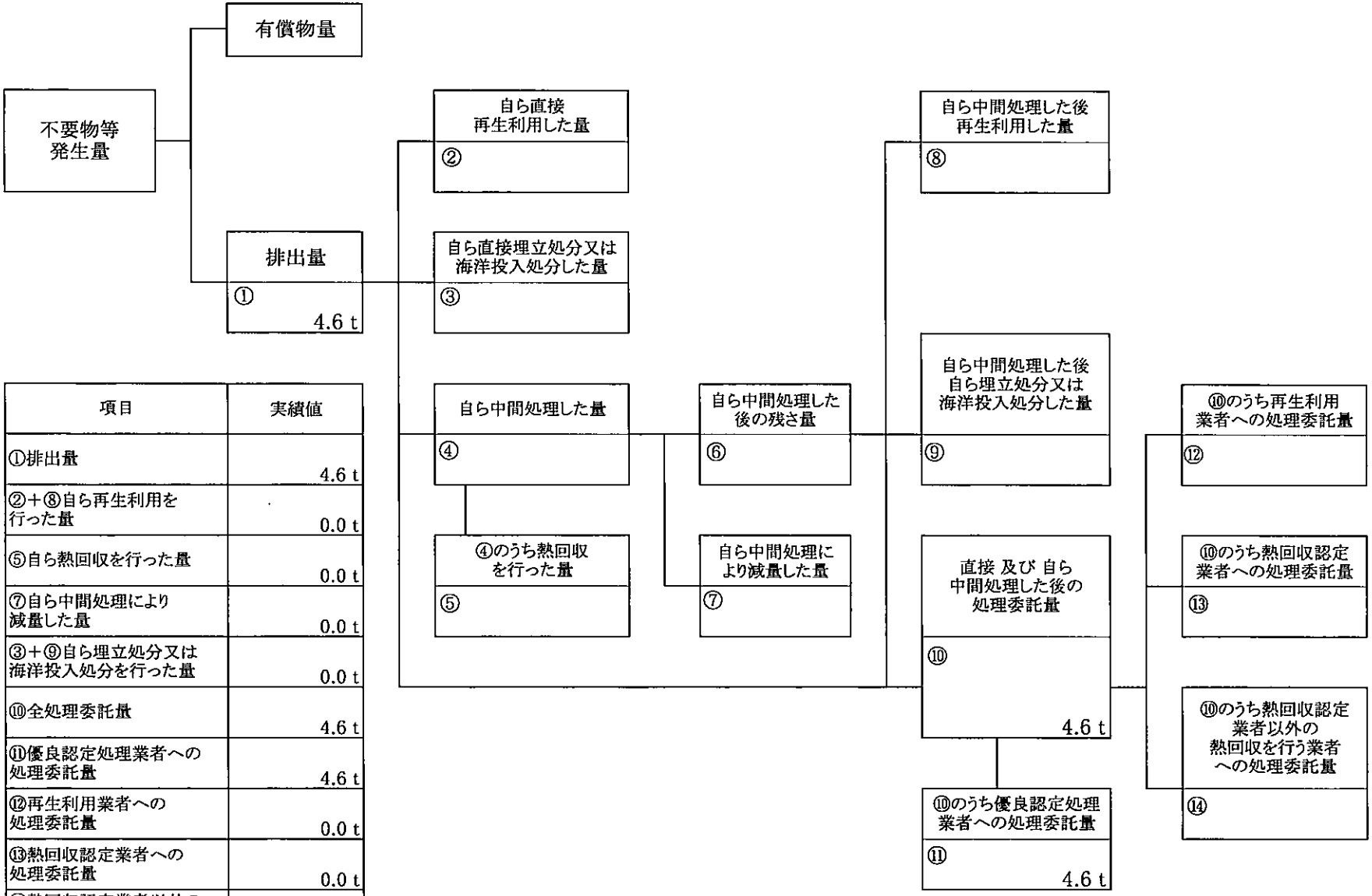


項目	実績値
①排出量	94.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

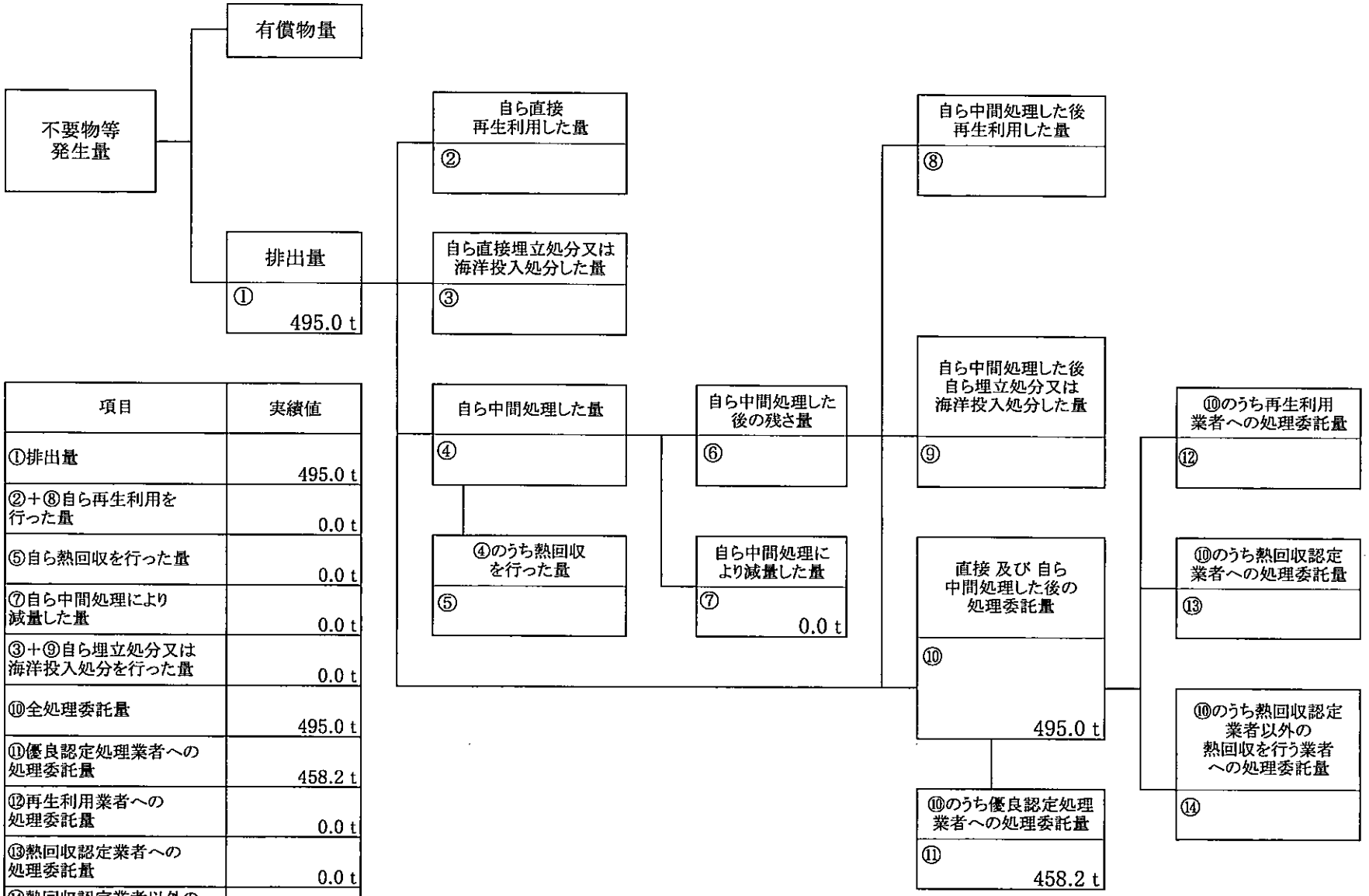


項目	実績値
①排出量	4.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

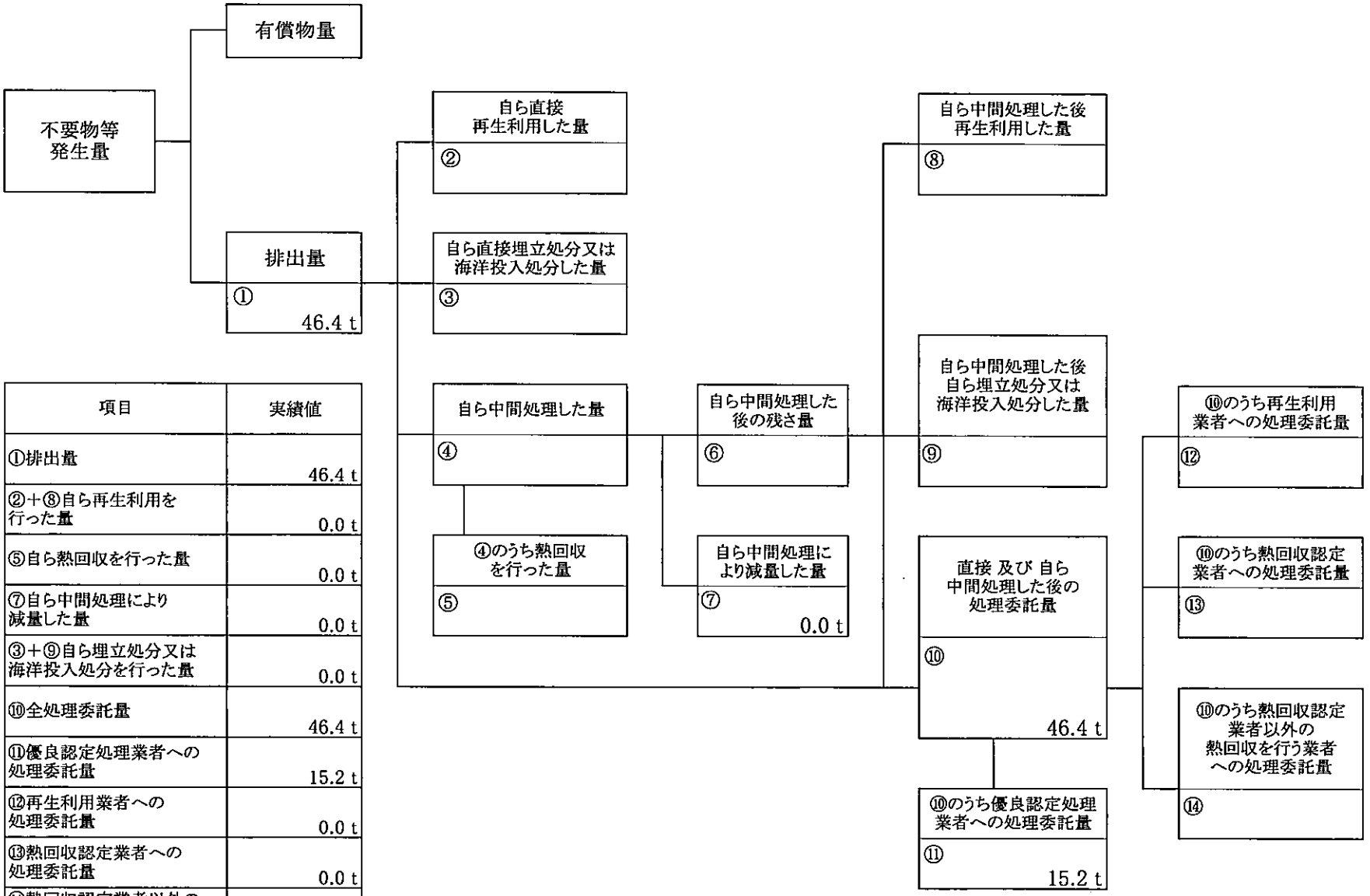


項目	実績値
①排出量	495.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	495.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	458.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物　）

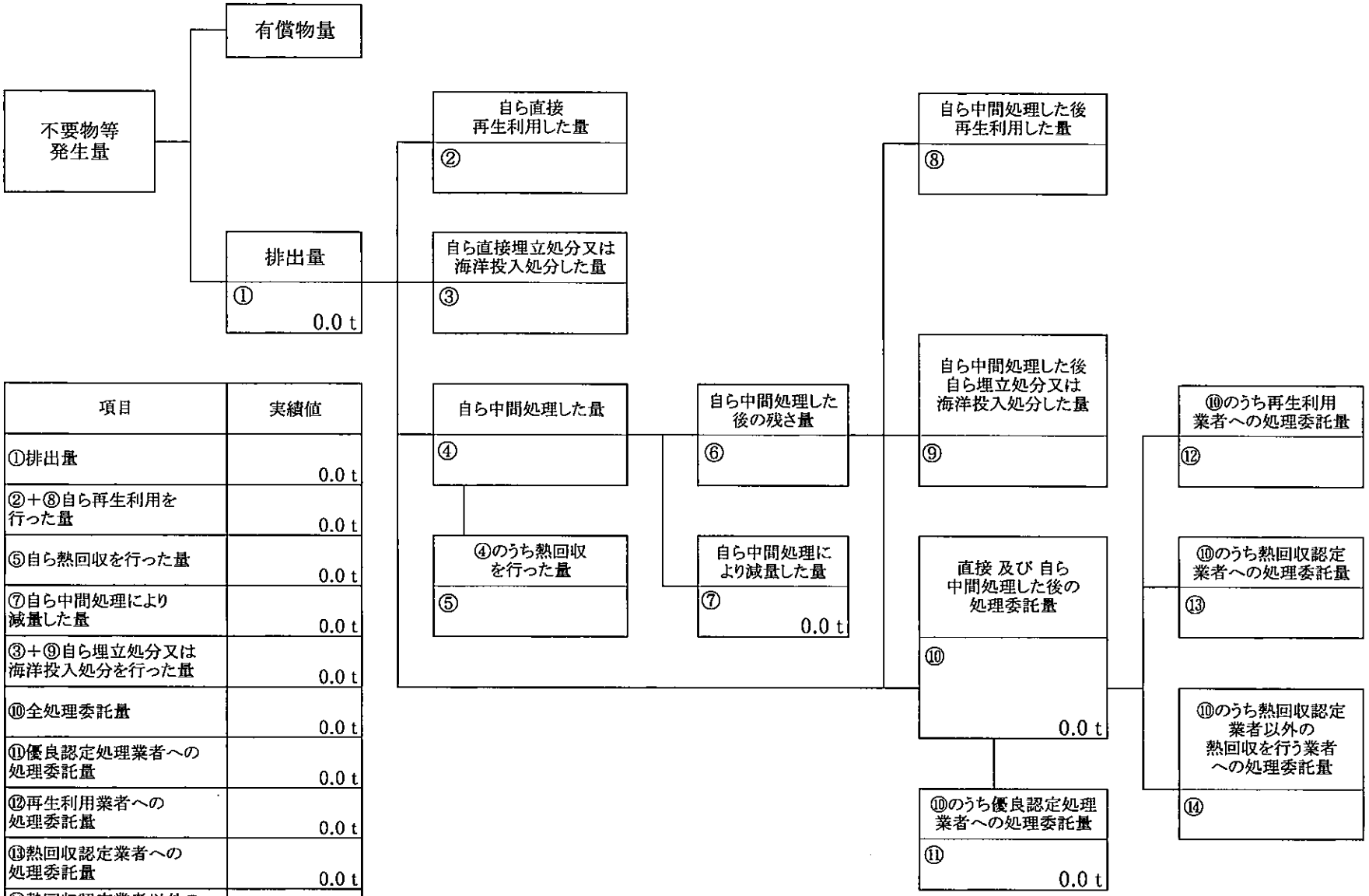


項目	実績値
①排出量	46.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属くず　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　　6月　25日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　　〒343-0857

住　所　埼玉県越谷市新越谷1-71-2　3F

氏　名　ポラテック株式会社

代表取締役　中内　晃次郎

電話番号　　047-309-7723

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：ポラテック株式会社東葛事業支店
事業場の所在地	千葉県松戸市八ヶ崎8-31-10　Ｂ1Ｆ
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

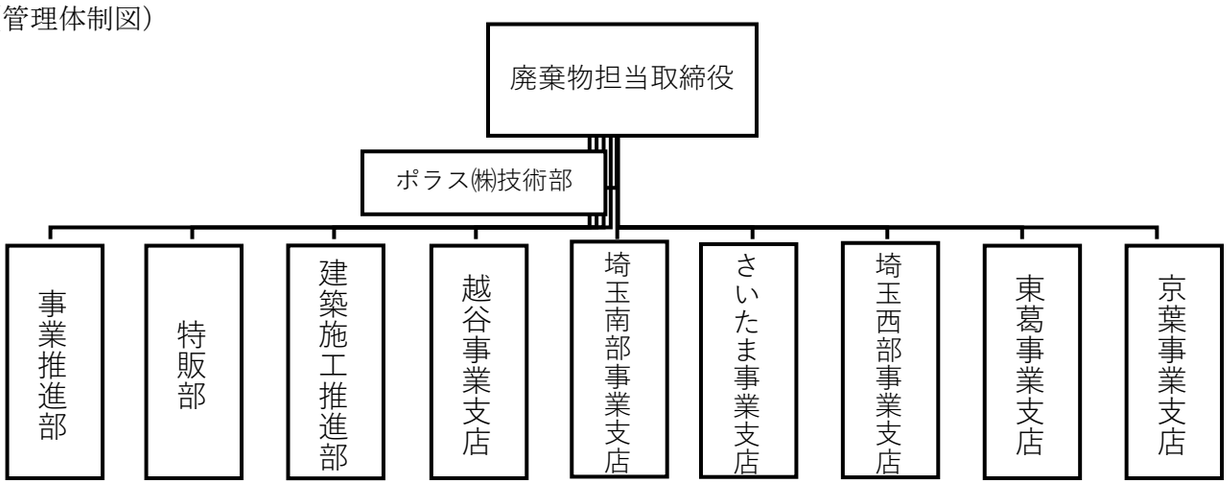
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	元請完成工事高　7,241,012,000円
③　従業員数	98名

	④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 紙屑→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ○パネル化の向上 ○専らを筆頭に工事現場での分別 ○端材が発生しない精度の高い積算・木拾い ○余剰材は他現場で転用 ○余剰材が他現場で転用できるよう汎用性の高い資材を選定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記①を一層向上させる		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・ 廃プラ（塩素系を除く）の一部を分別し、できるだけ再生委託
	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

	②計画	同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生処理・加工を行って利用しているものはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら再生処理・加工を行って利用しているものはない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら熱回収・中間処理を行っているものはない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	任意様式参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

		自ら熱回収・中間処理を行っているものはない

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	任意様式参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立・海洋投入は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	任意様式参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立・海洋投入は行っていない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	任意様式参照	
	全処理委託量＿	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

		新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは 広域認定メーカーへ再生委託

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿	任意様式参照	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 上記の実績と同様		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書　提出にあたっての注意点

事業所名	エラー:520
担当者名	
メールアドレス	

※メールアドレスは、本届出業務に係る連絡（内容の修正・確認・通知等）にのみ利用させていただきます。

・電子メールで御提出いただく場合、入力したExcelファイルをそのままお送りください。
・千葉県電子申請サービスで御提出いただく場合、各項目を直接入力し提出が可能のため、ExcelファイルやPDF等での提出は不要です。
（ただし、多数の廃棄物の取り扱いがある場合等は必要に応じて別紙の添付が必要となります。）
・紙（郵送・持参）により御提出いただく場合、計画書(様式)及び任意様式（使った場合）を印刷して御提出ください。
・第1面から第6面を御提出ください。排出する産業廃棄物の種類が3種類以上の場合、任意様式を併せて御提出ください。
・セルフチェックシート及び注意点（このシート）は御提出いただく必要はありません。
・業務効率化、デジタルトランスフォーメーションの観点から、可能な限り電子メール・千葉県電子申請サービスを御利用ください。

・報告書は、廃棄物処理法に基づき千葉県HPで公開されます。法人情報（社印）や個人情報（担当者携帯番号等）を入力しないよう御注意ください。
・産業廃棄物処理計画実施状況報告書を提出している場合、第2面以降の「現状」と当該書類の報告値が一致するようにしてください。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	排　出　量	512.7 t	108.6 t	372.8 t	0.1 t	207.9 t	167.5 t	2860.1 t	337.5
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	排　出　量	738.3 t	156.4 t	536.8 t	0.1 t	299.3 t	241.2 t	4118.5 t	485.9

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投

		【前年度（令和６年度）実績】							
①現状①	額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った海洋投入処分を行った産業廃棄物の量産業廃棄物の量産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
②計画②	【目標】								
	額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	は自ら埋立処分又は自う海洋投入処分を行う海量産業廃棄物の量産	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関

		【前年度（令和６年度）実績】							
①現状①	額産業廃棄物の種類産	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	託量全処理委託量全処	512.7 t	108.6 t	372.8 t	0.1 t	207.9 t	167.5 t	2860.1 t	337.5
	の優良認定処理業者への優理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	業者への再生利用理委託量処理委託	512.7 t	0 t	372.8 t	0 t	0 t	167.5 t	0 t	0
	収業者への認定熱回収理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	収業者以外の認定熱回収業行う業者への熱回収を行理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
②計画②	【目標】【目標】								
	棄物の種類産業廃棄物	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	混合廃棄物
	処理委託量全処理委託	738.3 t	156.4 t	536.8 t	0.1 t	299.3 t	241.2 t	4118.5 t	485.9
	処理業者への優良認定処理理委託量処理委託	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	業者への再生利用理委託量処理委託	738.3 t	0 t	536.8 t	0 t	0 t	241.2 t	0 t	0
	収業者への認定熱回収処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0

物

t

物

t

物

t

物

t

物

t

t

物

t

t

物

t

物

t

物

t

t

t

t

t

物

t

t

t

t

t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　343-0857

住所 埼玉県越谷市新越谷1-71-2 3F

法人名 ポラテック株式会社

代表者 中内 晃次郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-347-2100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	建設業:ポラテック株式会社東葛事業支店
事業場の所在地	千葉県松戸市八ヶ崎8-31-10 B1F
事業の種類	大分類　D06建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5067.7 t	全処理委託量	5067.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1371.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

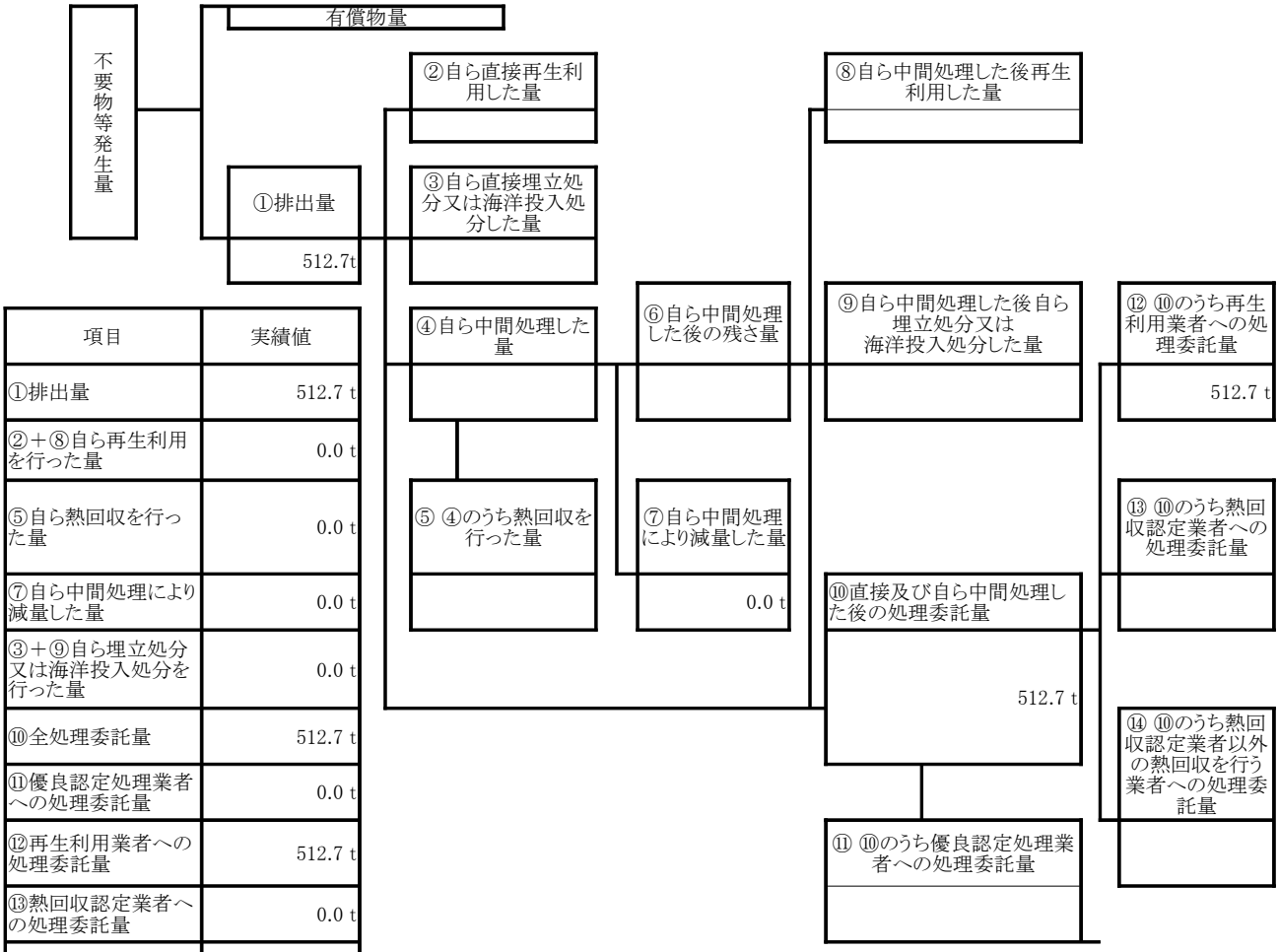
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

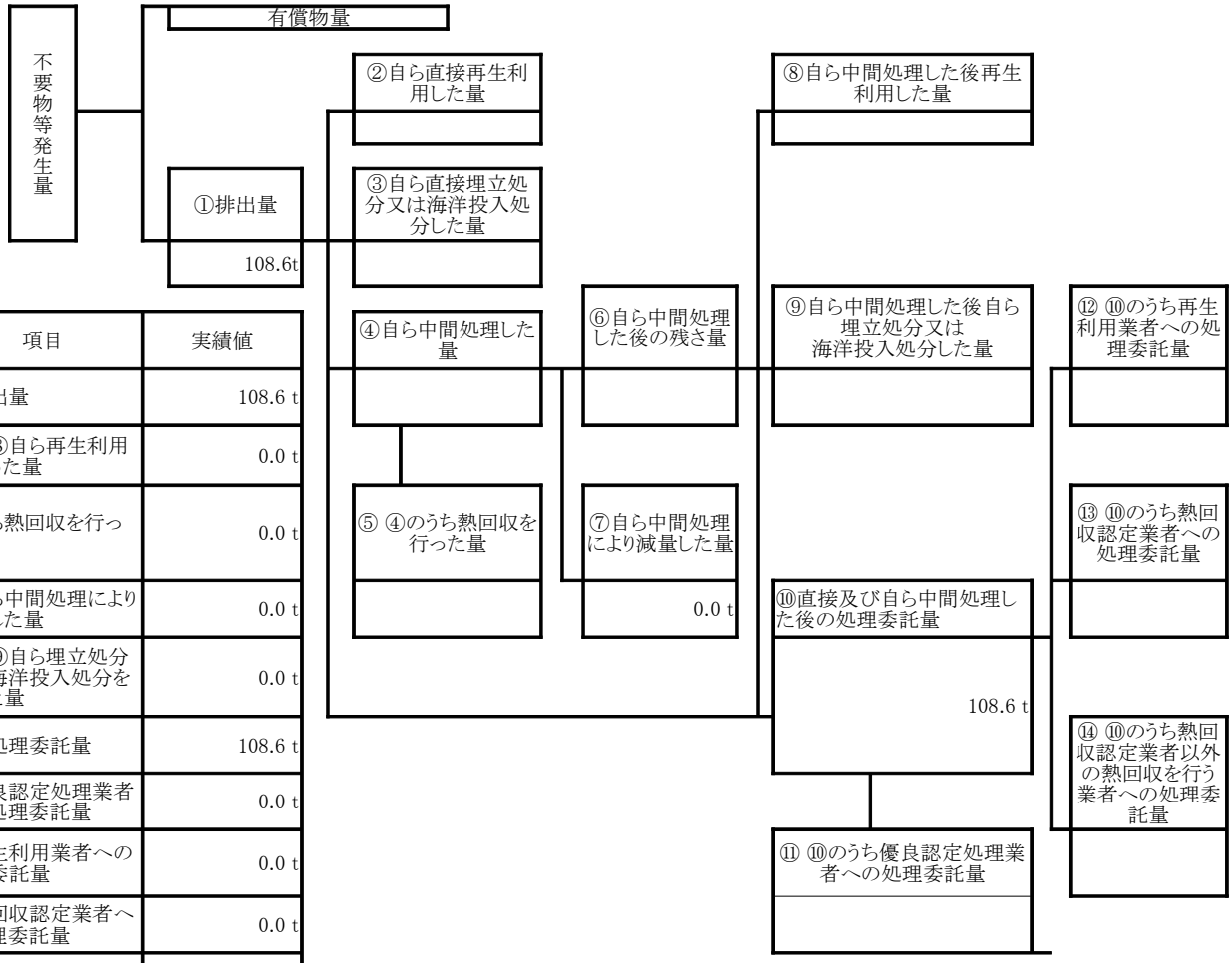


項目	実績値
①排出量	512.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	512.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	512.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

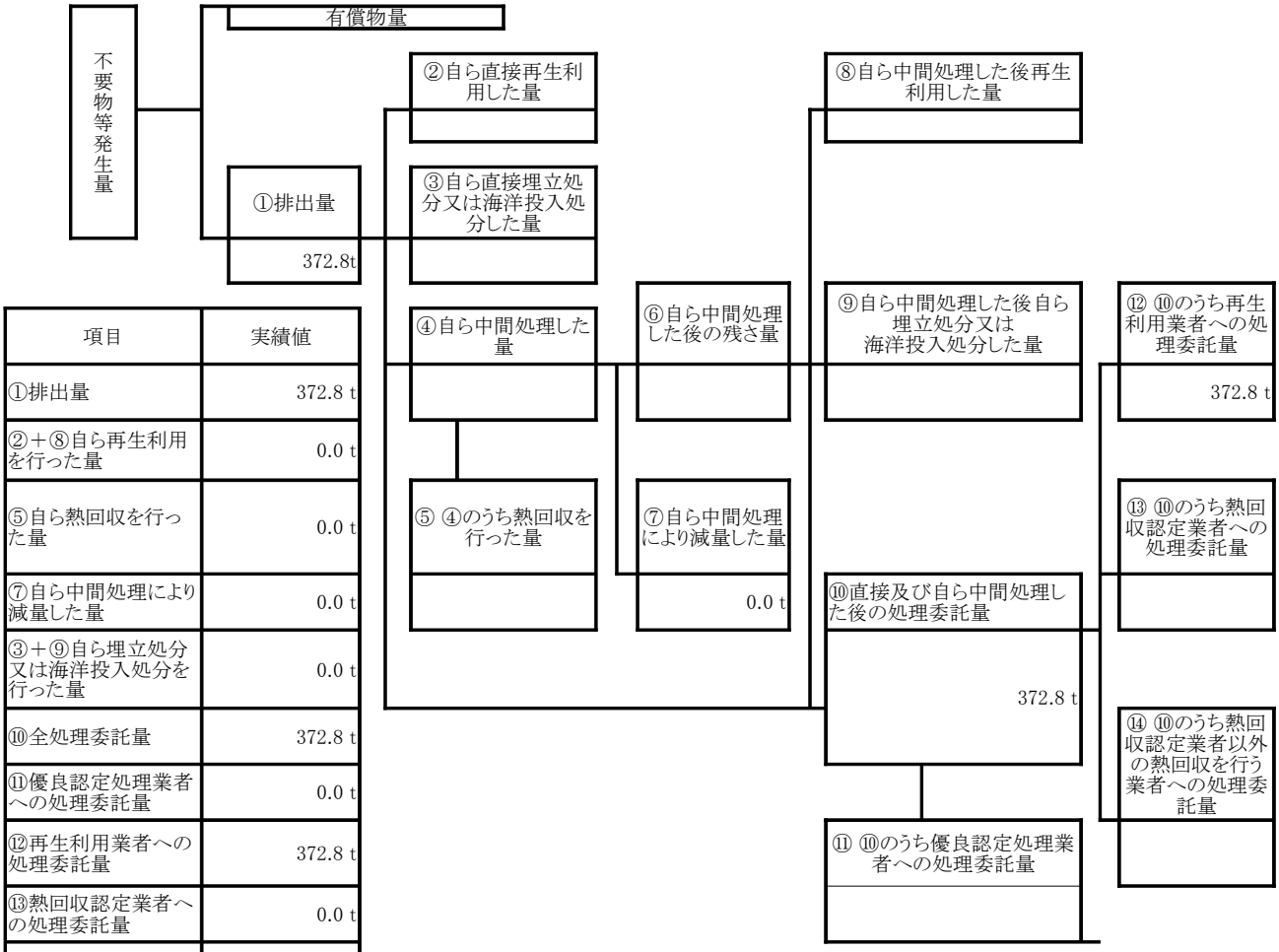


項目	実績値
①排出量	108.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

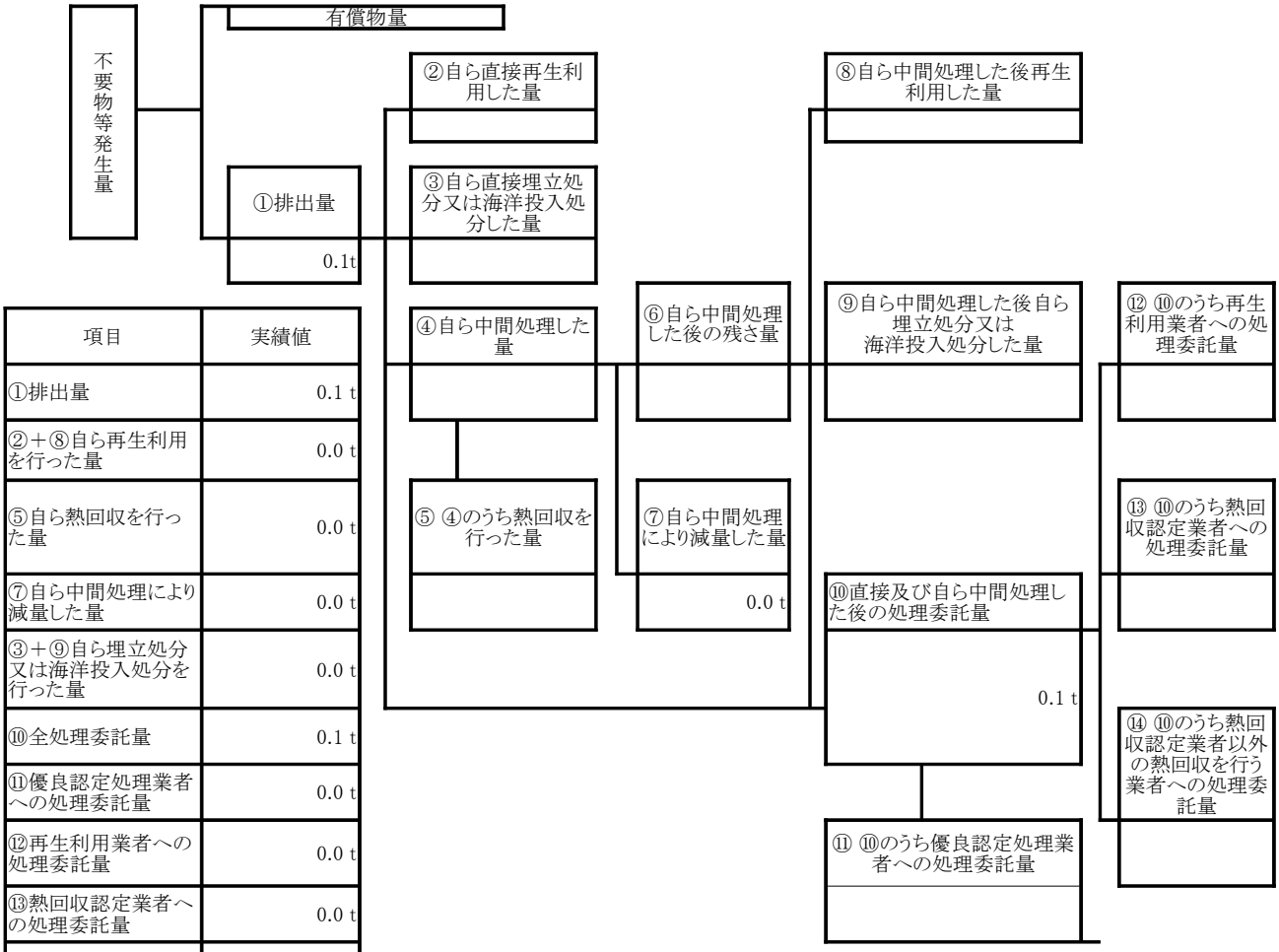


項目	実績値
①排出量	372.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	372.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	372.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



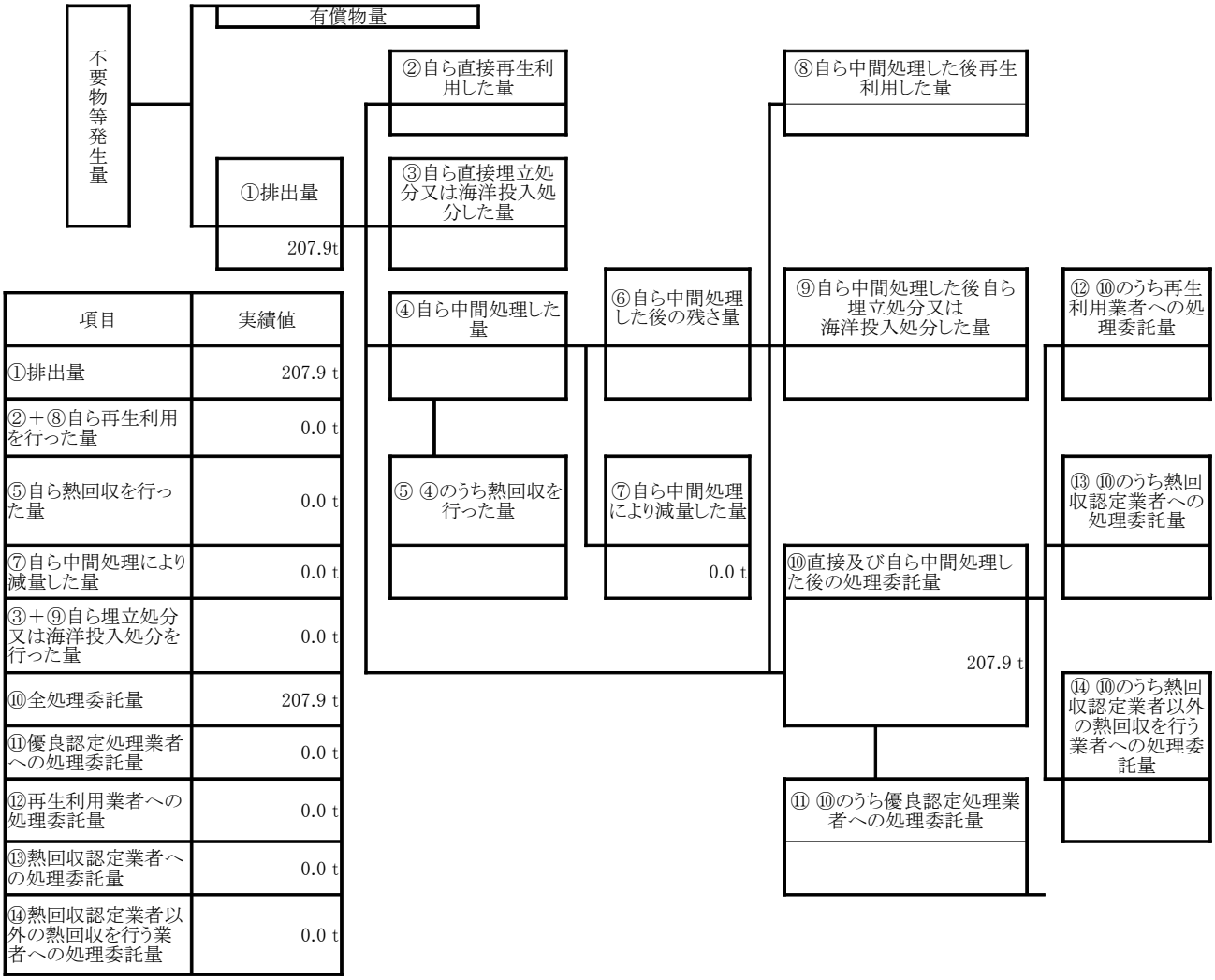
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

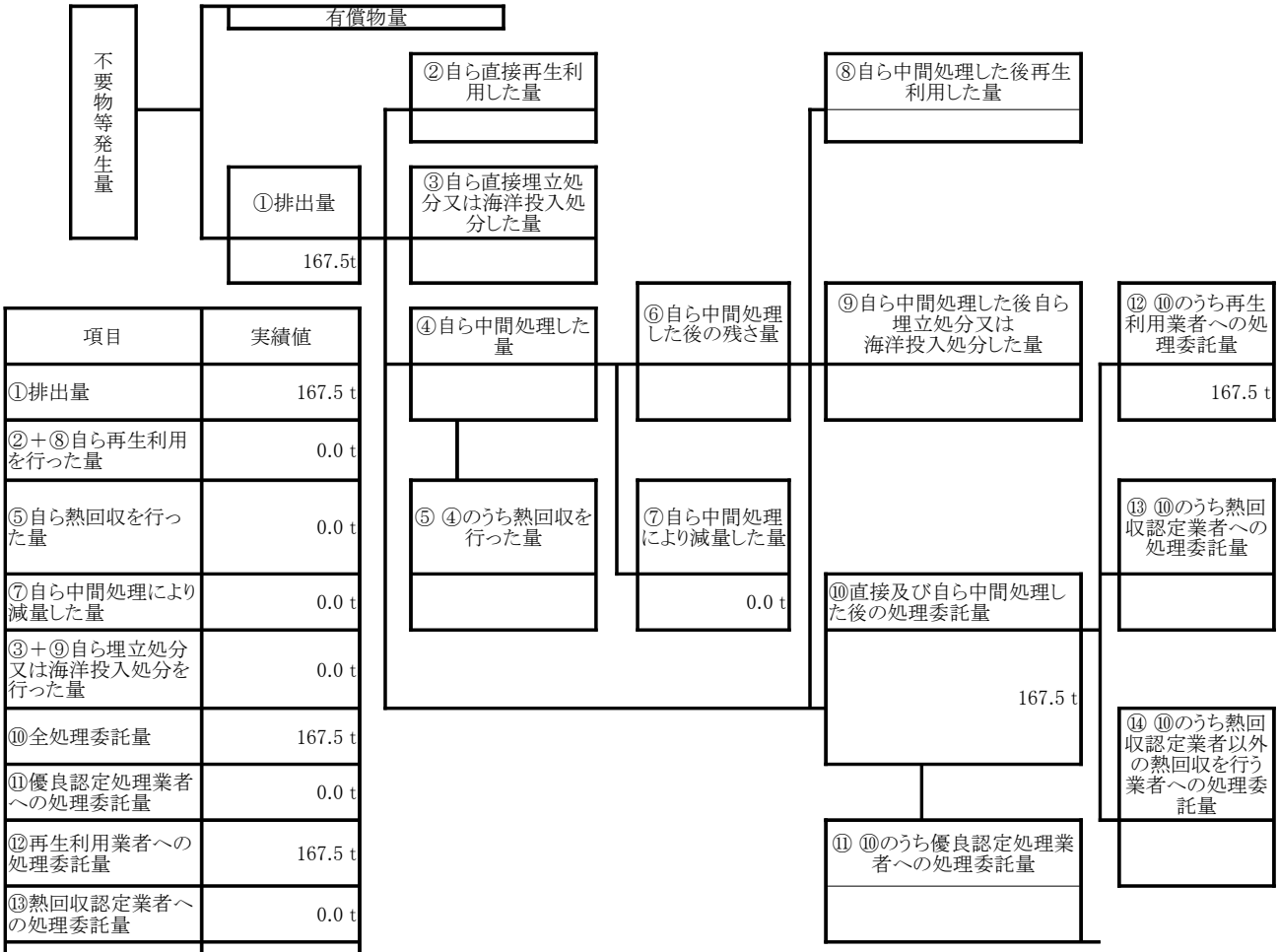


項目	実績値
①排出量	207.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	207.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

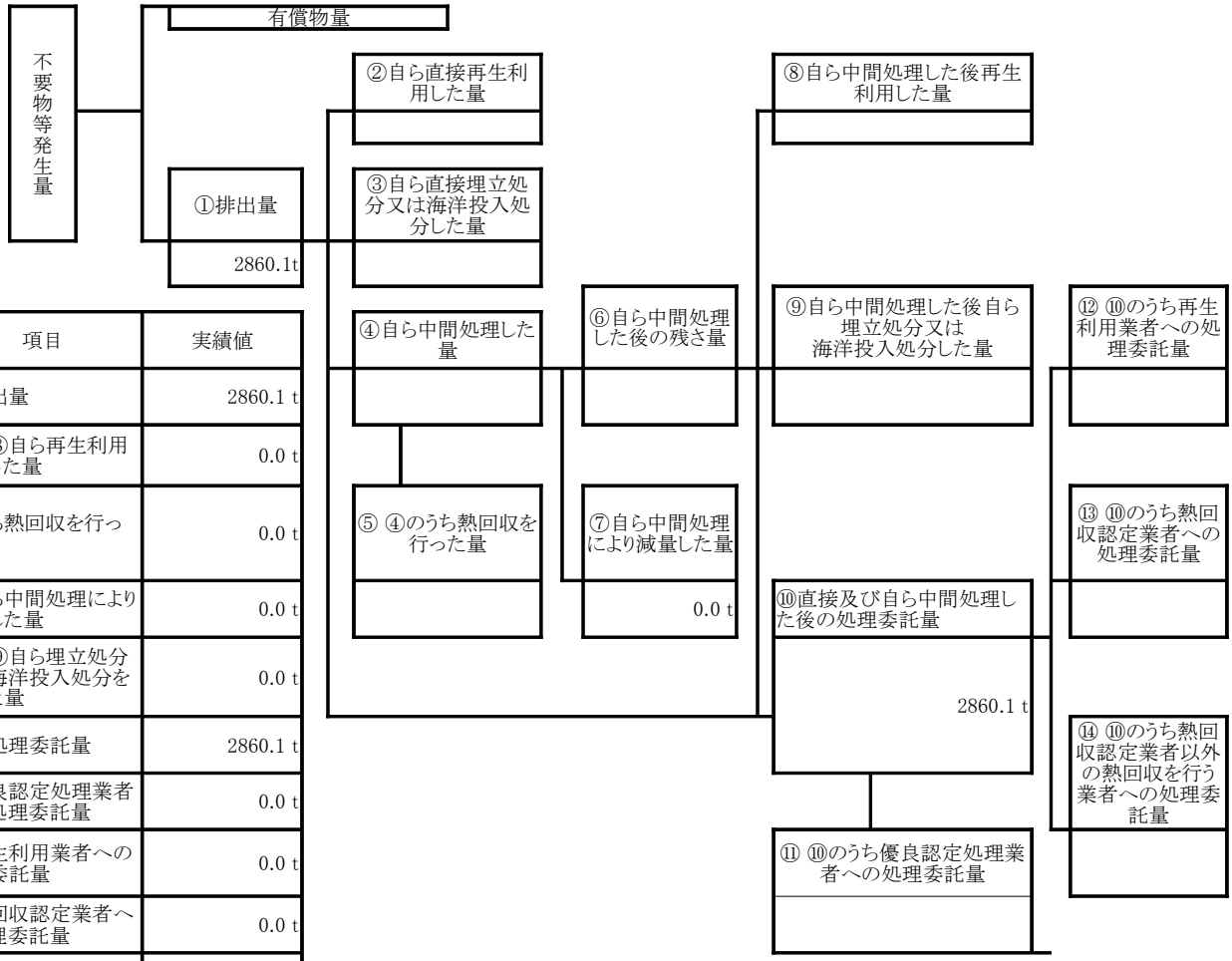


項目	実績値
①排出量	167.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	167.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	167.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス及び陶磁器くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

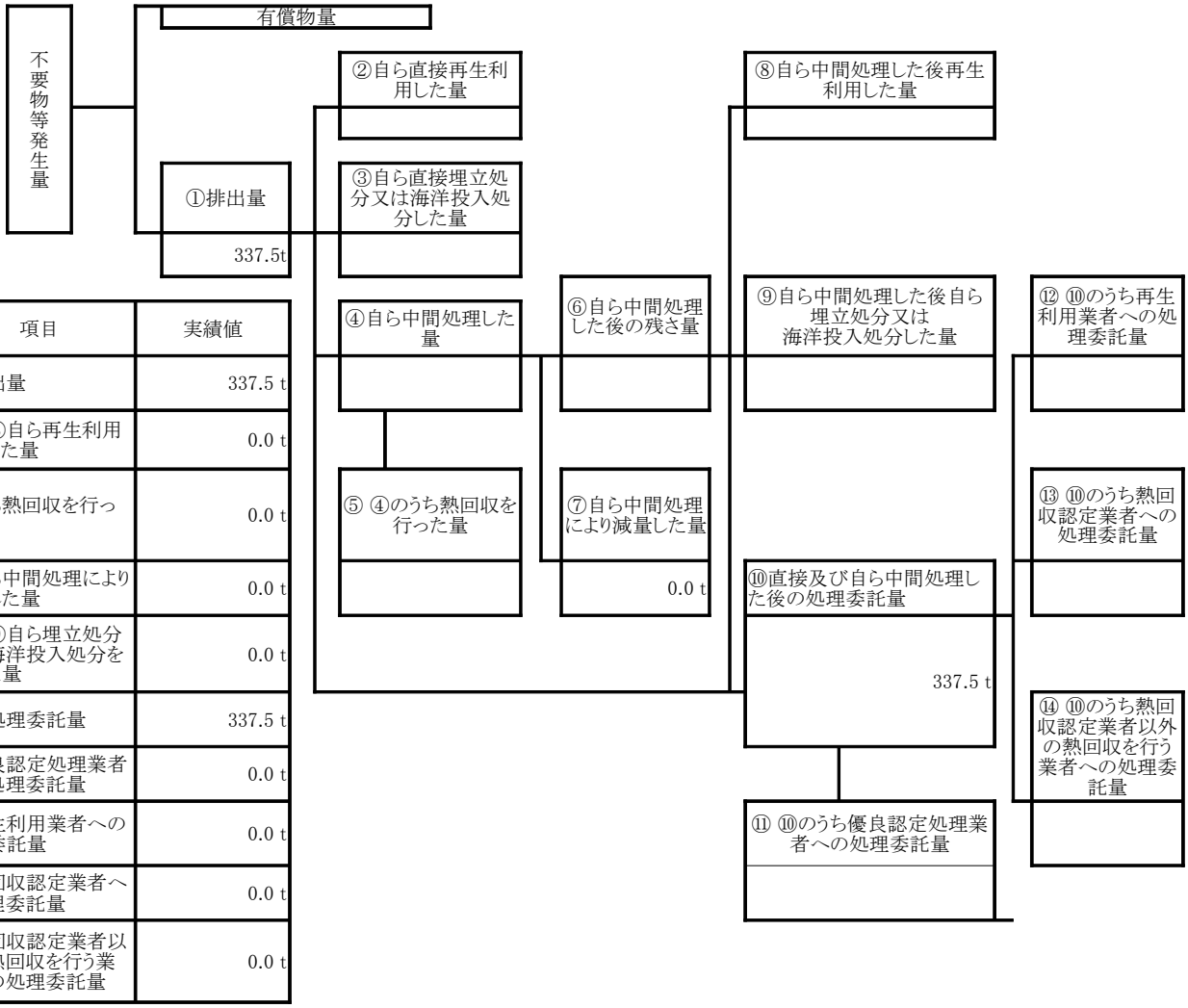


項目	実績値
①排出量	2860.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2860.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	337.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	337.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月25日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　102-0072

住所 東京都千代田区飯田橋1－12－7

法人名 前田建設工業株式会社 東京土木支店

代表者 小島 靖雅

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3222-0980

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都千代田区飯田橋1-12-7
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

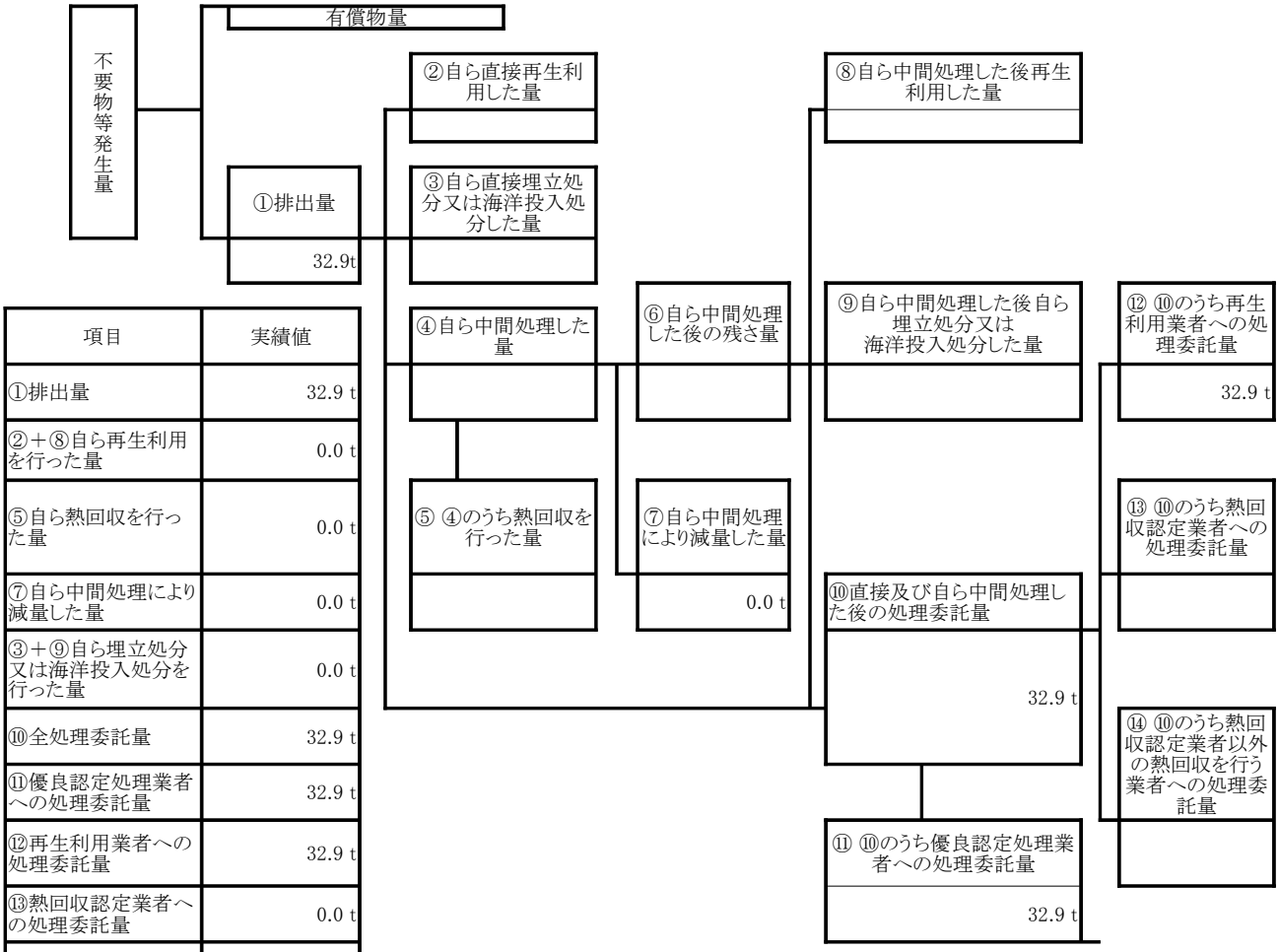
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2481.2 t	全処理委託量	2481.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	446 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2481.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

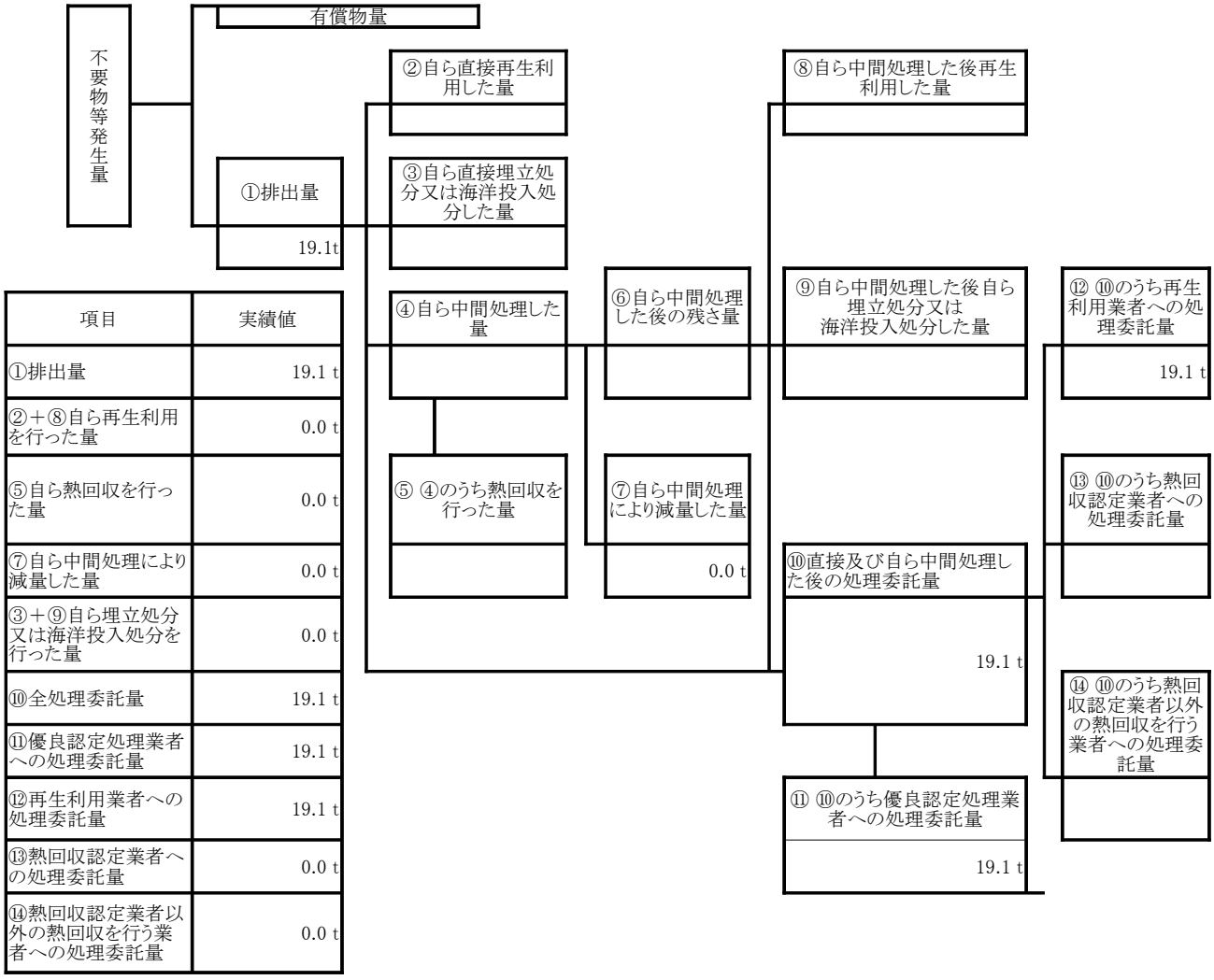


項目	実績値
①排出量	32.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

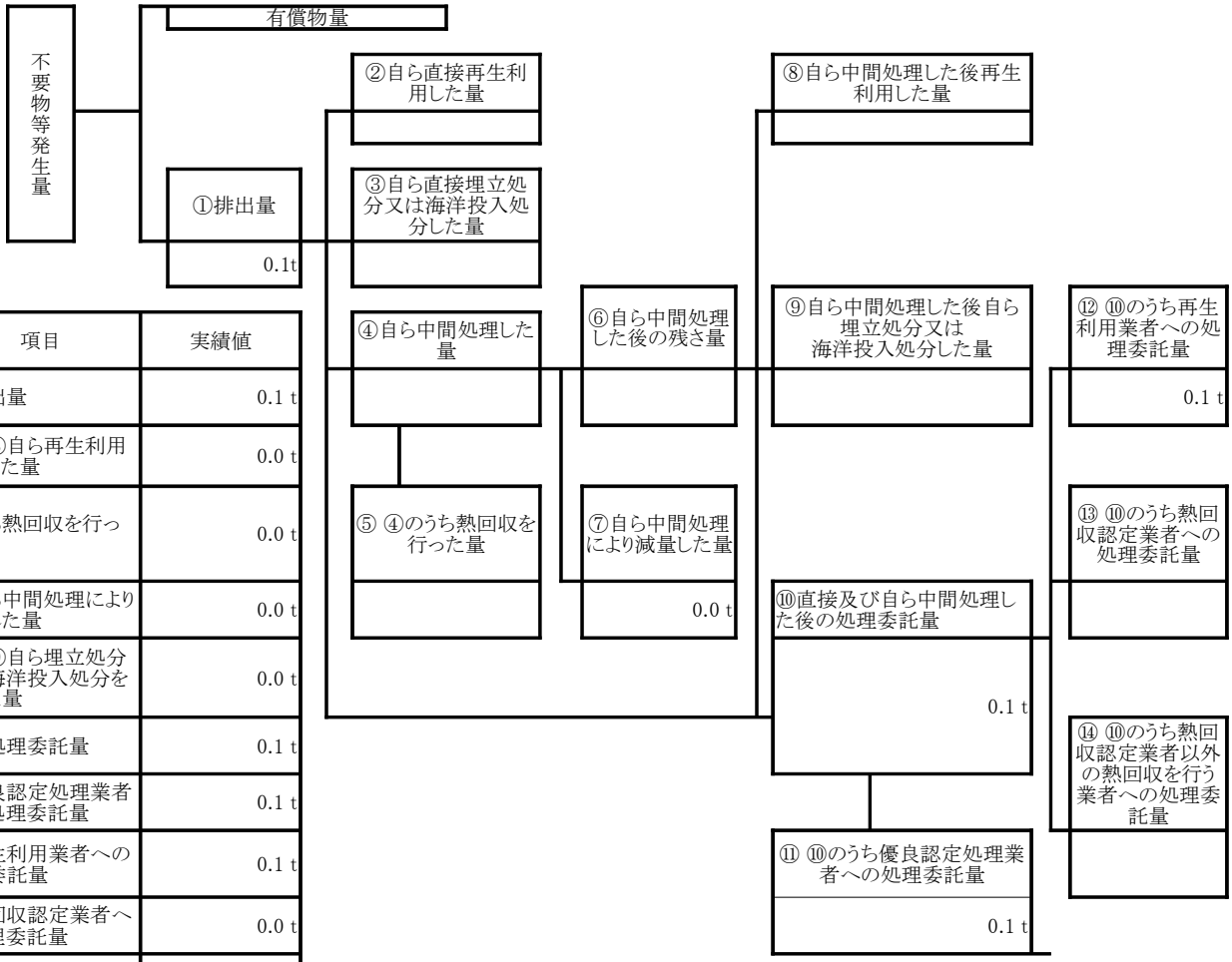


項目	実績値
①排出量	19.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光)**）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

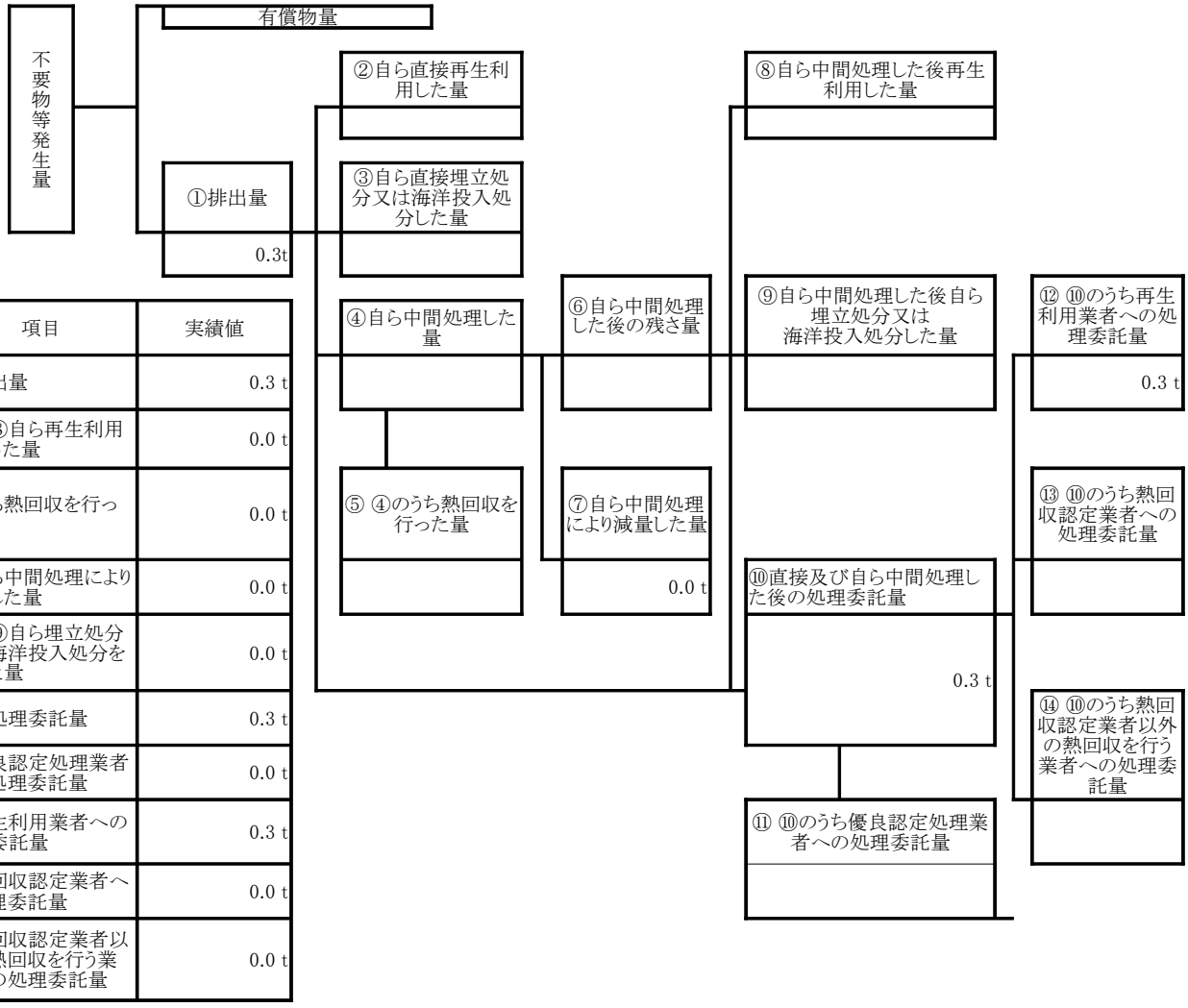


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



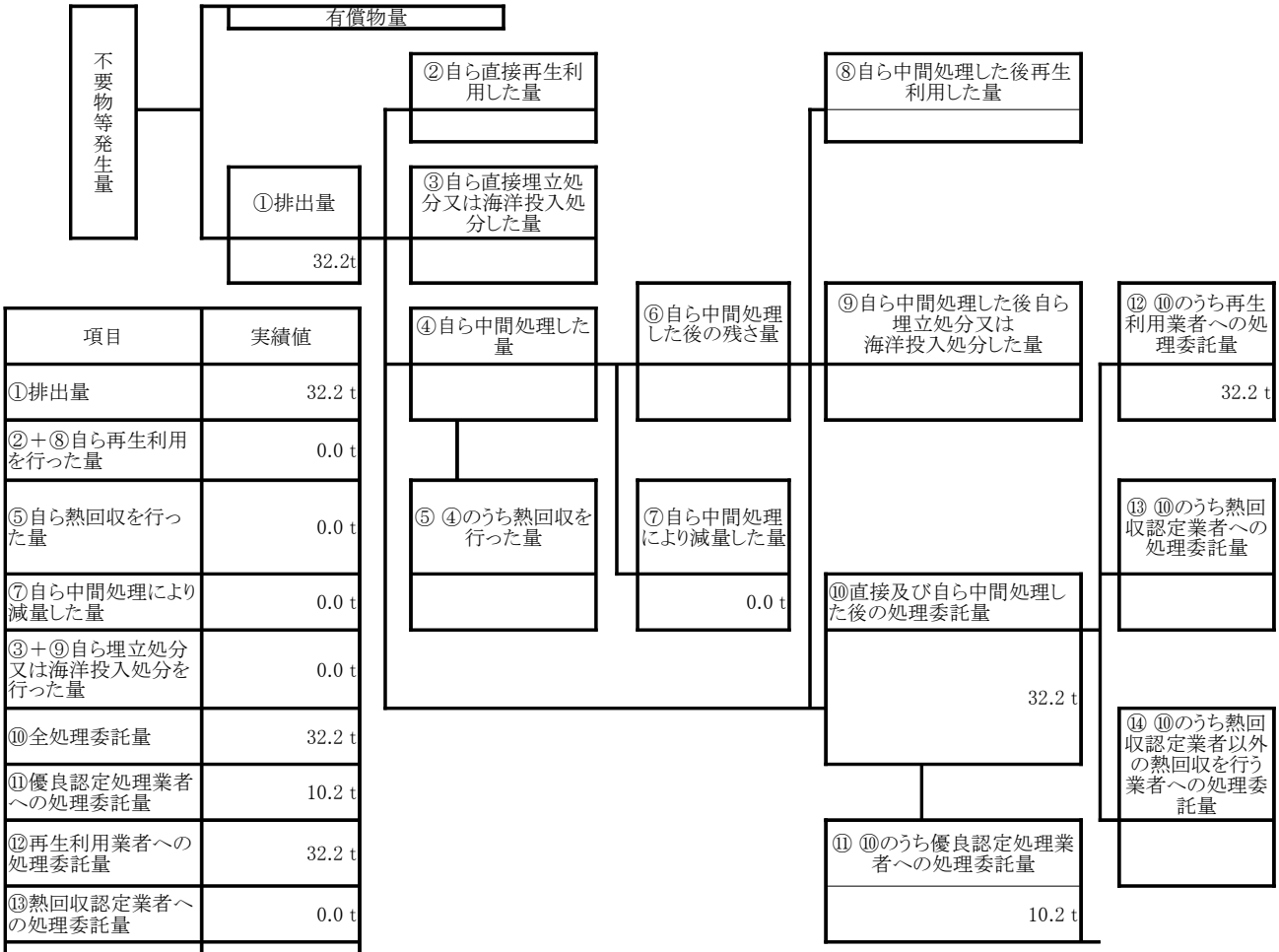
項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

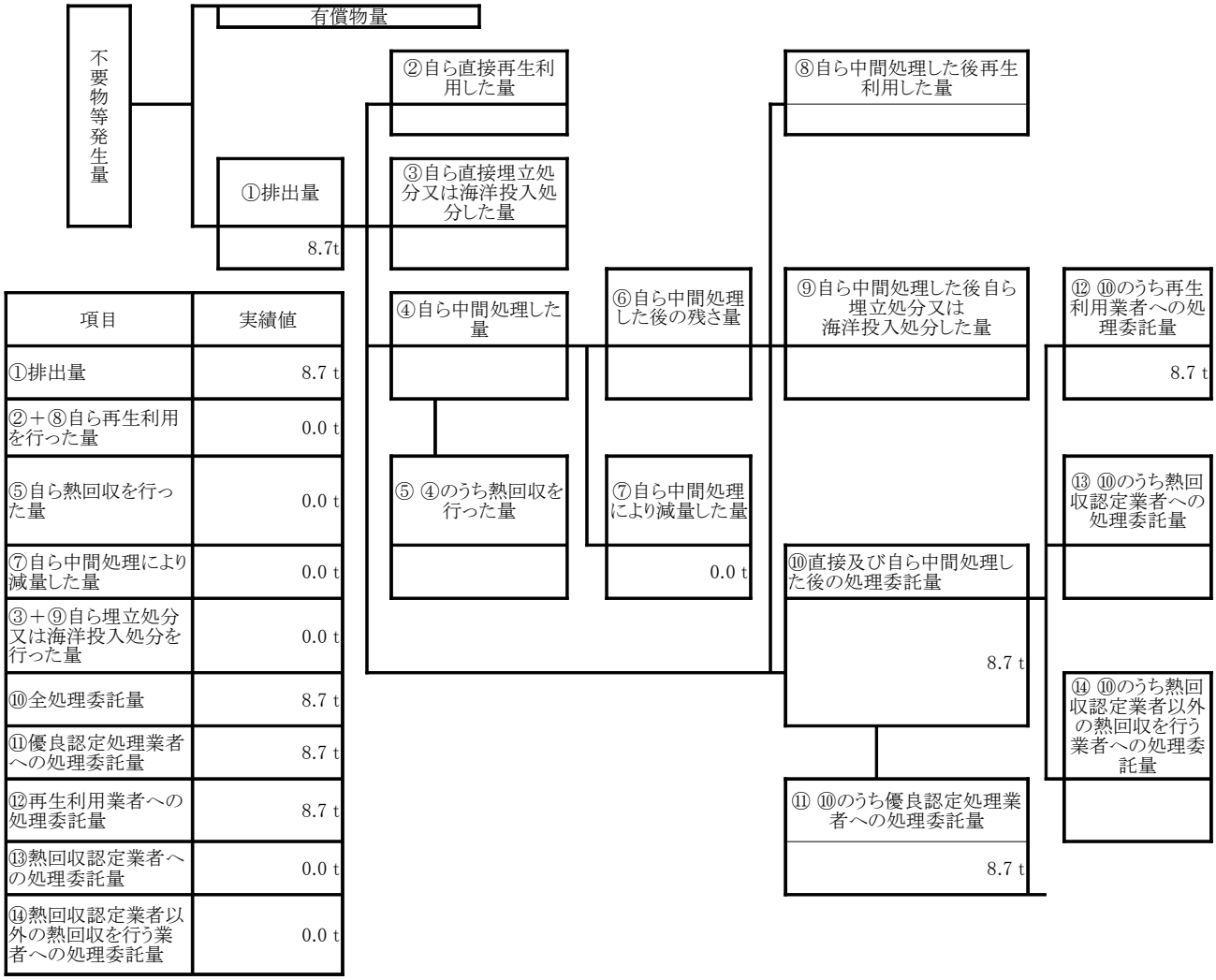


項目	実績値
①排出量	32.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

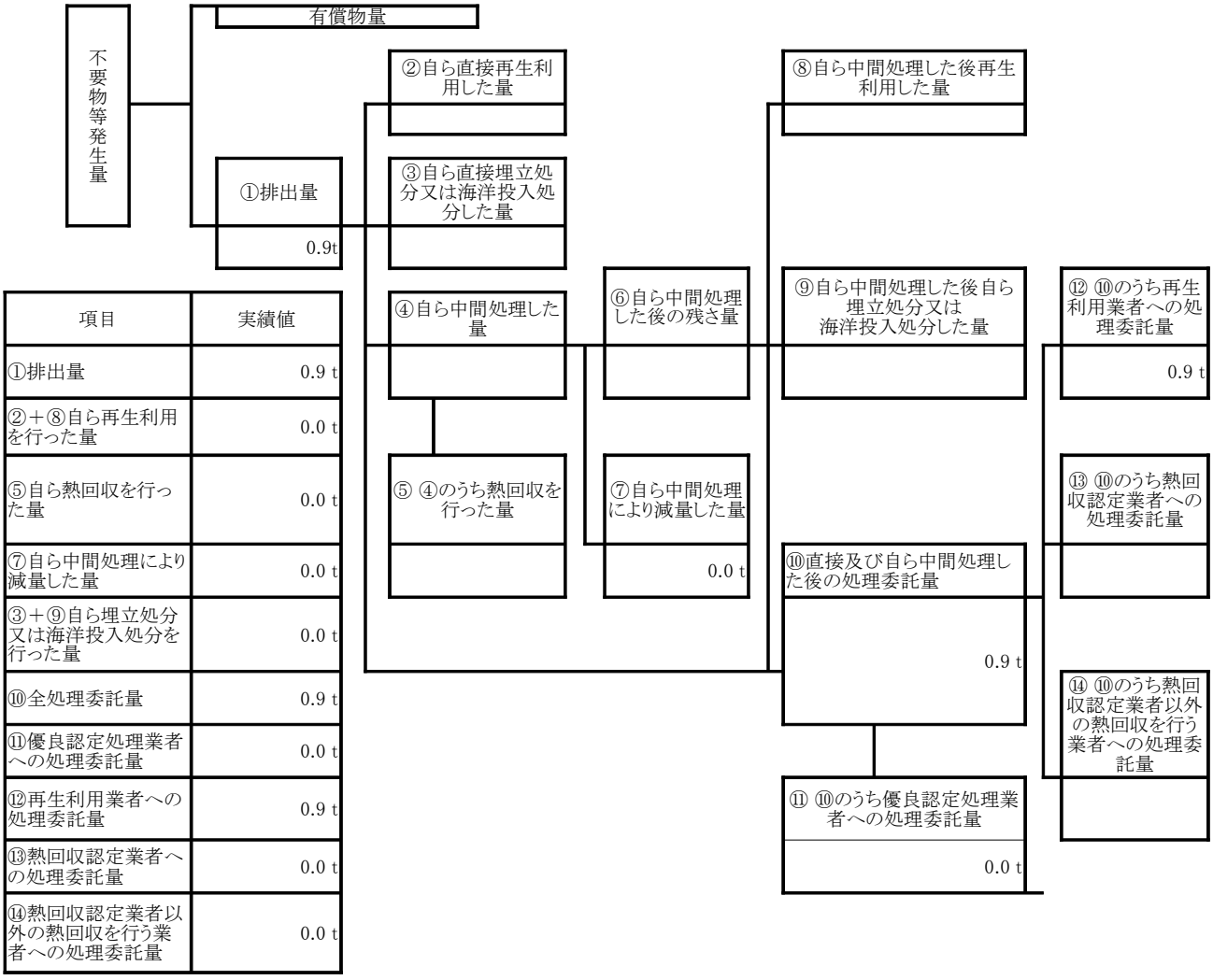


項目	実績値
①排出量	8.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**廃油**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　113-0033

住　所　東京都千代田区九段北４－３－１

法人名　前田建設工業株式会社　東京建築支店

代表者　清末 信行

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-3222-0828

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区九段北４－３－１
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	完成工事高　113億円(東京建築支店令和5年度実績)
③従業員数	576名　（東京建築支店令和7年4月1日現在）
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	廃プラスチック：破砕・圧縮→プラスチック原料等：破砕→製鉄原料,ガラス・コンクリート・陶磁器くず：破砕→再生砕石・砂、がれき類：破砕→再生砕石・砂,汚泥：改良→改良土,木くず：破砕・減容→木質材原料・燃料,紙くず：破砕・減容→再生燃料・製紙材料,繊維くず：破砕→燃料、石綿含有廃棄物：埋立、水銀使用製品(廃蛍光管)：破砕、選別→非鉄材料、製鉄材料、建設資材,廃石膏ボード：破砕→石膏ボード材料

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

管理体制図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙１参照	
排出量	8217.1 t	t

（これまでに実施した取組）

・省梱包、通い箱による資材の現場搬入
・資材、工具、用品を転用し有効利用を図る
・資材のプレカット　　等

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙１参照	
排出量	6573 t	t

（今後実施する予定の取組）

上欄１記載の取り組みを実施継続する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特定４品目(コンがら、コンがら(有筋)、アスコンがら、木材)と石膏ボードの分別は必ず実施し、これら５品目以外についても分別に取組むことを社内ルールで規定している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

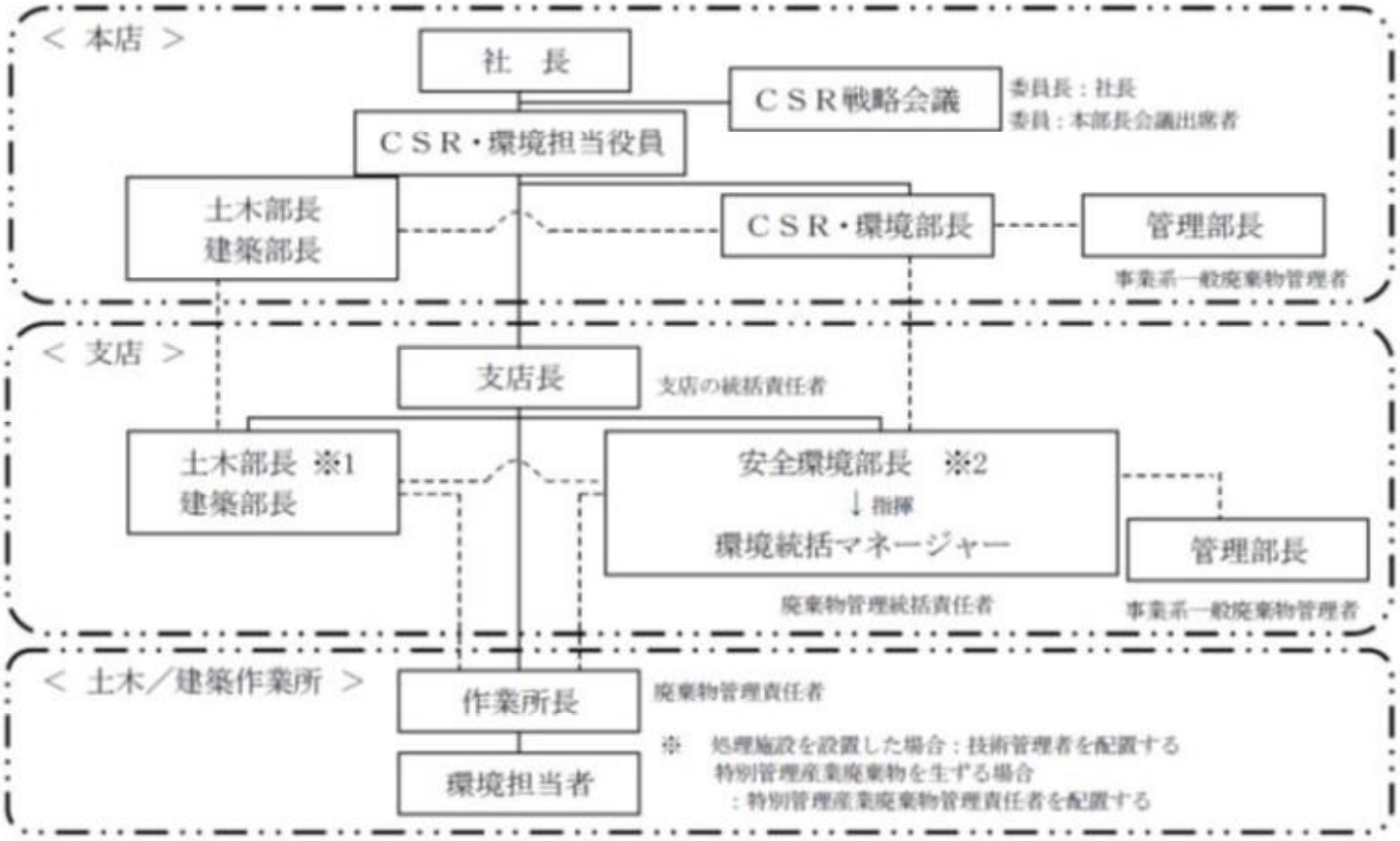
上記１の分別の取り組みを継続する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙１参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
各現場が締結する委託契約に関し、支店でも委託業者の許可情報、業者の過去の実績、行政処分の有無などを確認し、委託可能な業者かどうか確認を行っている。尚、前年度実績の具体的な数値は、別紙２参照。</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙１参照	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 業者選定の際に優良認定業者や電子マニフェスト使用可能業者を選定するように努める。尚、来年度の具体的な計画数値は、別紙２参照。		
※事務処理欄				

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。


＜ 本店 ＞
社　長
ＣＳＲ戦略会議
委員長：社長
委員：本部長会議出席者
ＣＳＲ・環境担当役員
土木部長
建築部長
ＣＳＲ・環境部長
管理部長
事業系一般廃棄物管理者
＜ 支店 ＞
支店長
支店の統括責任者
土木部長 ※1
建築部長
安全環境部長　※2
↓指揮
環境統括マネージャー
管理部長
廃棄物管理統括責任者
事業系一般廃棄物管理者
＜ 土木／建築作業所 ＞
作業所長
廃棄物管理責任者
環境担当者
※　処理施設を設置した場合：技術管理者を配置する
特別管理産業廃棄物を生ずる場合
：特別管理産業廃棄物管理責任者を配置する

別紙1

千葉県

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度(令和6年度)実績】　(単位:t)							
		産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
		排出量	2,399.9	281.0	267.8	54.2	320.5	14.7	23.4	300.4
	②計画	【目標】　(単位:t)							
		産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
		排出量	1,920.0	225.0	214.0	43.0	256.0	12.0	19.0	240.0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度(令和6年度)実績】　(単位:t)							
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード	水銀使用製品廃棄物				合計
		排出量	4,336.2	216.9	2.2				8,217.1
	②計画	【目標】　(単位:t)							
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード	水銀使用製品廃棄物				合計
		排出量	3,469.0	173.0	2.0				6,573.0

別紙2

千葉県

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　（単位：t）

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
全処理委託量	2399.9	281.0	267.8	54.2	320.5	14.7	23.4	300.4
優良認定処理業者への処理委託量	1109.8	264.5	264.3	54.2	273.0	14.2	23.4	224.0
再生利用業者への処理委託量	2399.9	281.0	267.8	54.2	320.5	0.0	23.4	300.4
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②計画

【目標】　（単位：t）

産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	建設混合廃棄物	石綿含有廃棄物	紙くず	木くず
全処理委託量	1,920.0	225.0	214.0	43.0	256.0	12.0	19.0	240.0
優良認定処理業者への処理委託量	888.0	212.0	211.0	43.0	218.0	11.0	19.0	179.0
再生利用業者への処理委託量	1,646.0	225.0	214.0	43.0	256.0	0.0	19.0	240.0
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】　（単位：t）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード	水銀使用製品廃棄物					合計
全処理委託量	4336.2	216.9	2.2					8217.2
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	171.1	0.1					2398.6
再生利用業者への処理委託量	4336.2	216.9	2.2					8202.5
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0					0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0					0.0

②計画

【目標】　（単位：t）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃石膏ボード	水銀使用製品廃棄物					合計
全処理委託量	3,469.0	173.0	2.0					6,573.0
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	136.9	0.0					1,917.9
再生利用業者への処理委託量	3,469.0	173.0	2.0					6,287.0
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0					0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0					0.0

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月20日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　113-0033

住所 東京都千代田区九段北4－3－1

法人名 前田建設工業株式会社 東京建築支店

代表者 佐藤 俊英

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3222-0828

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社 東京建築支店
事業場の所在地	東京都千代田区九段北4－3－1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

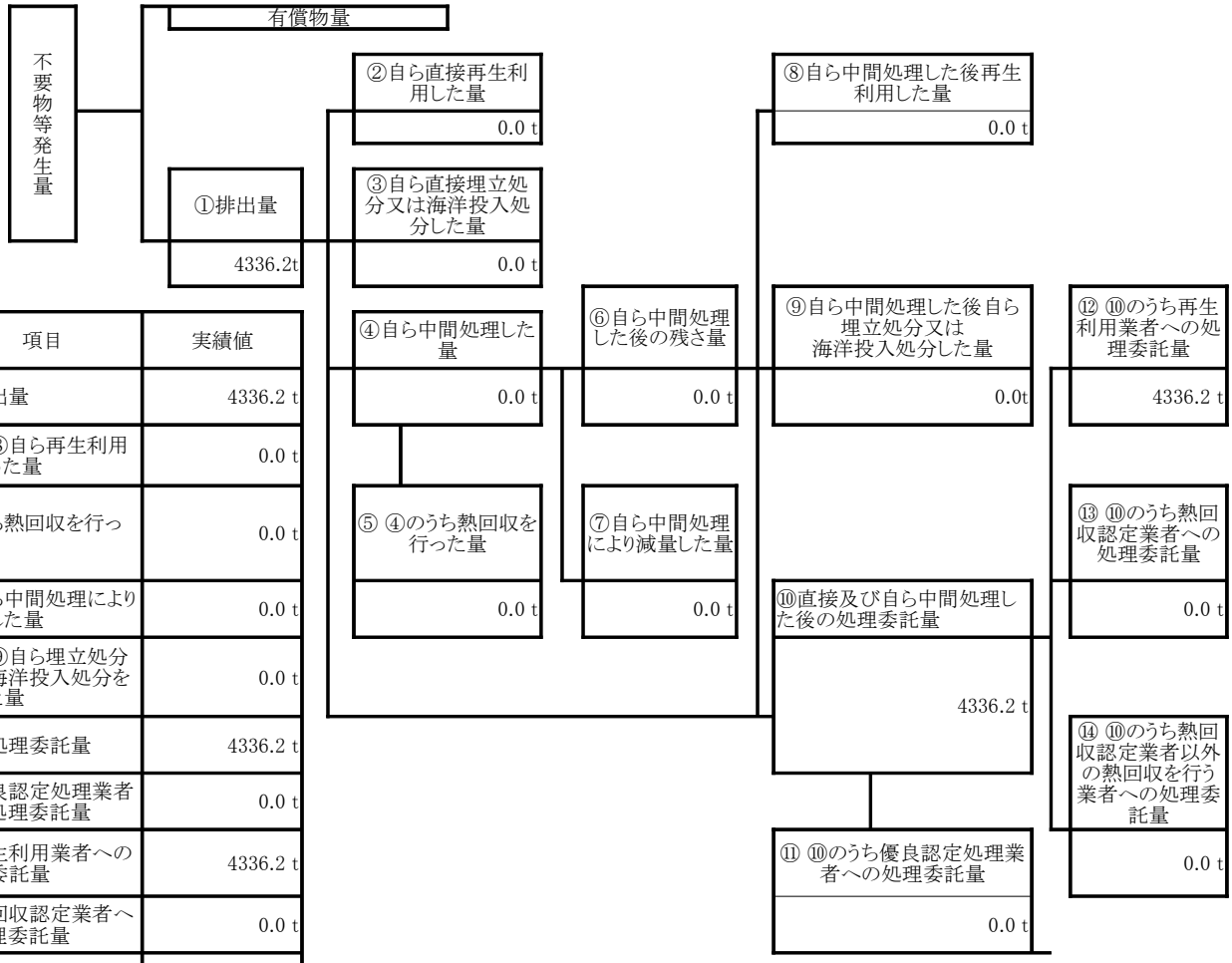
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5807 t	全処理委託量	5807 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2432 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5796 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

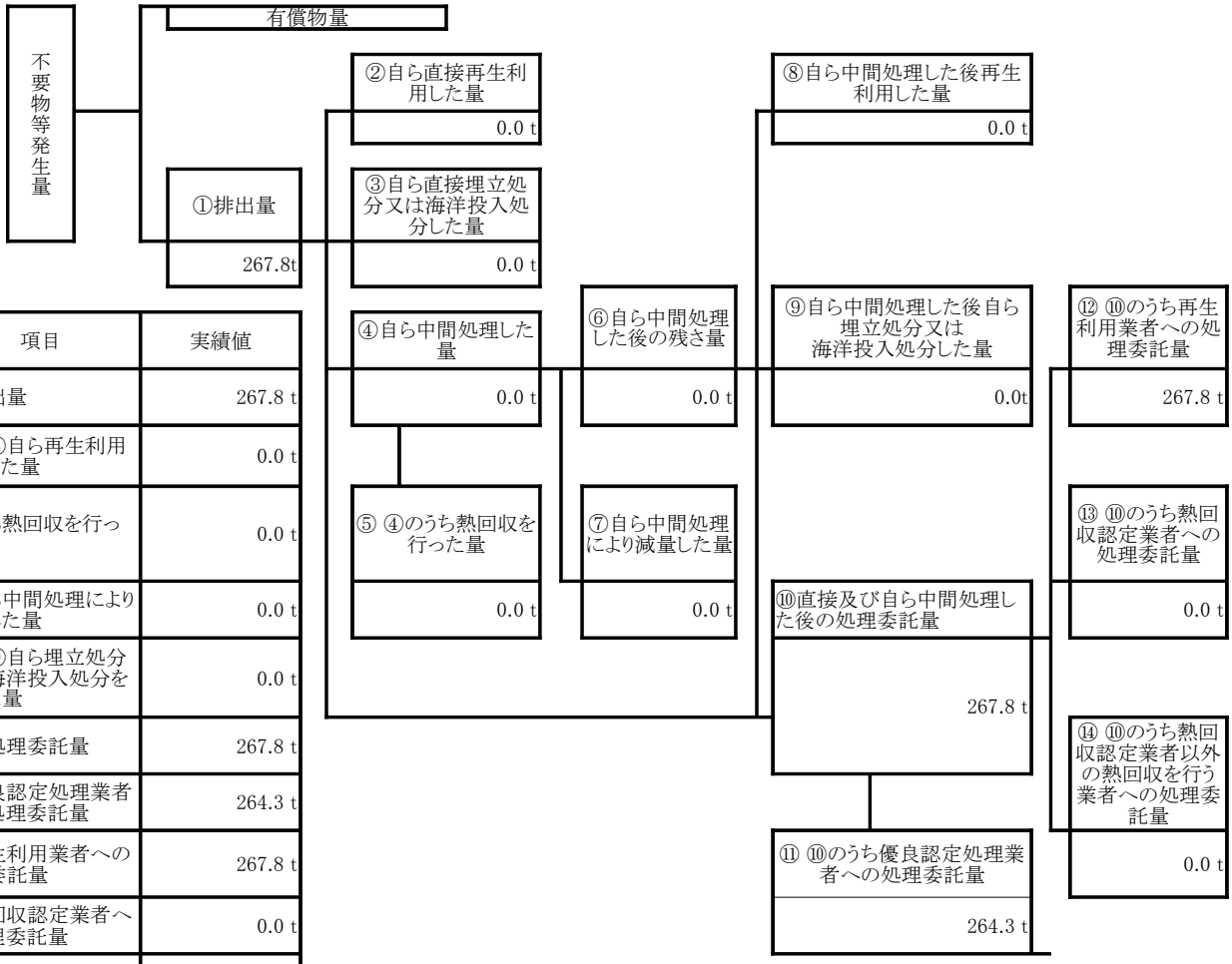


項目	実績値
①排出量	4336.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4336.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4336.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

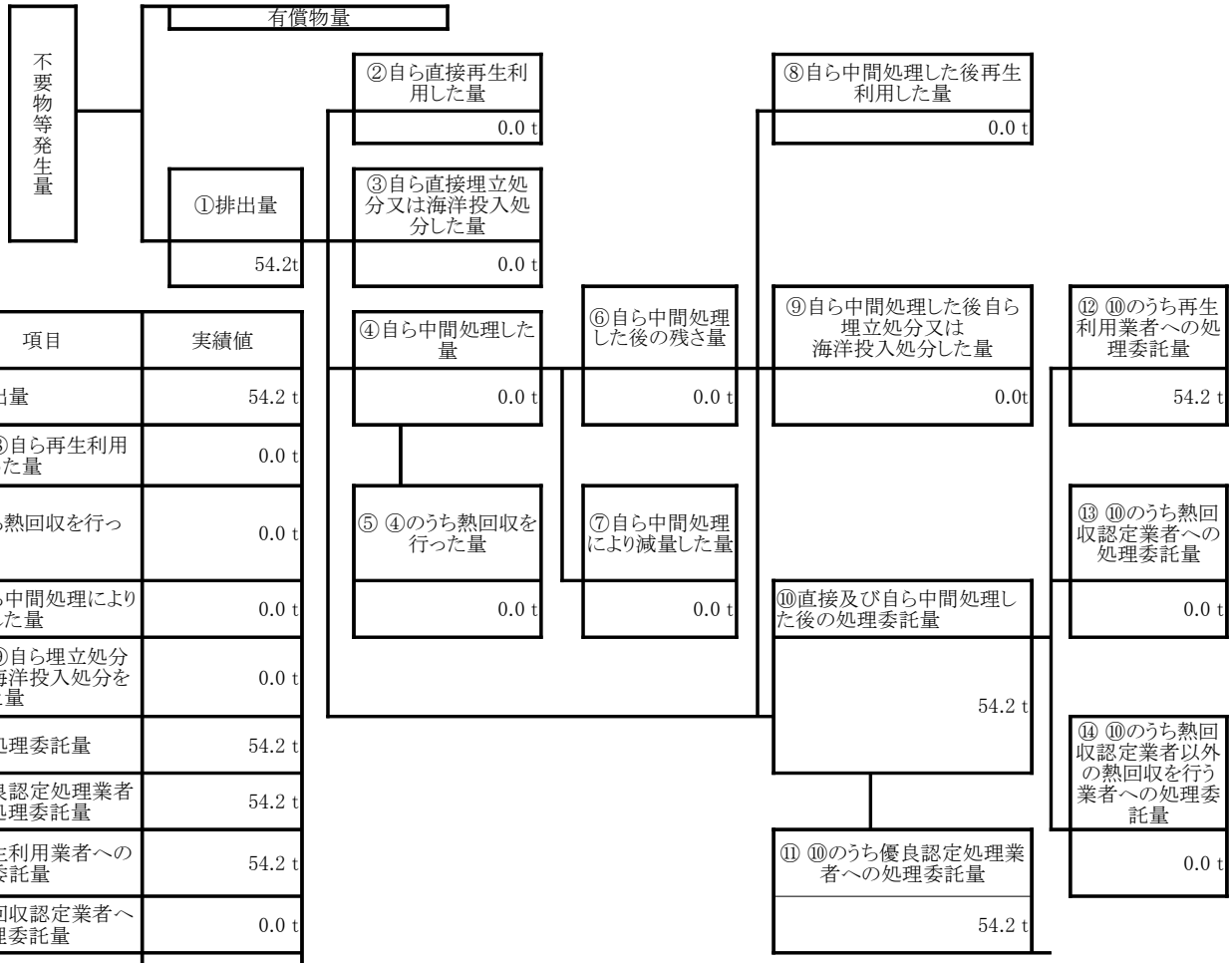


項目	実績値
①排出量	267.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	267.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	264.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	267.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

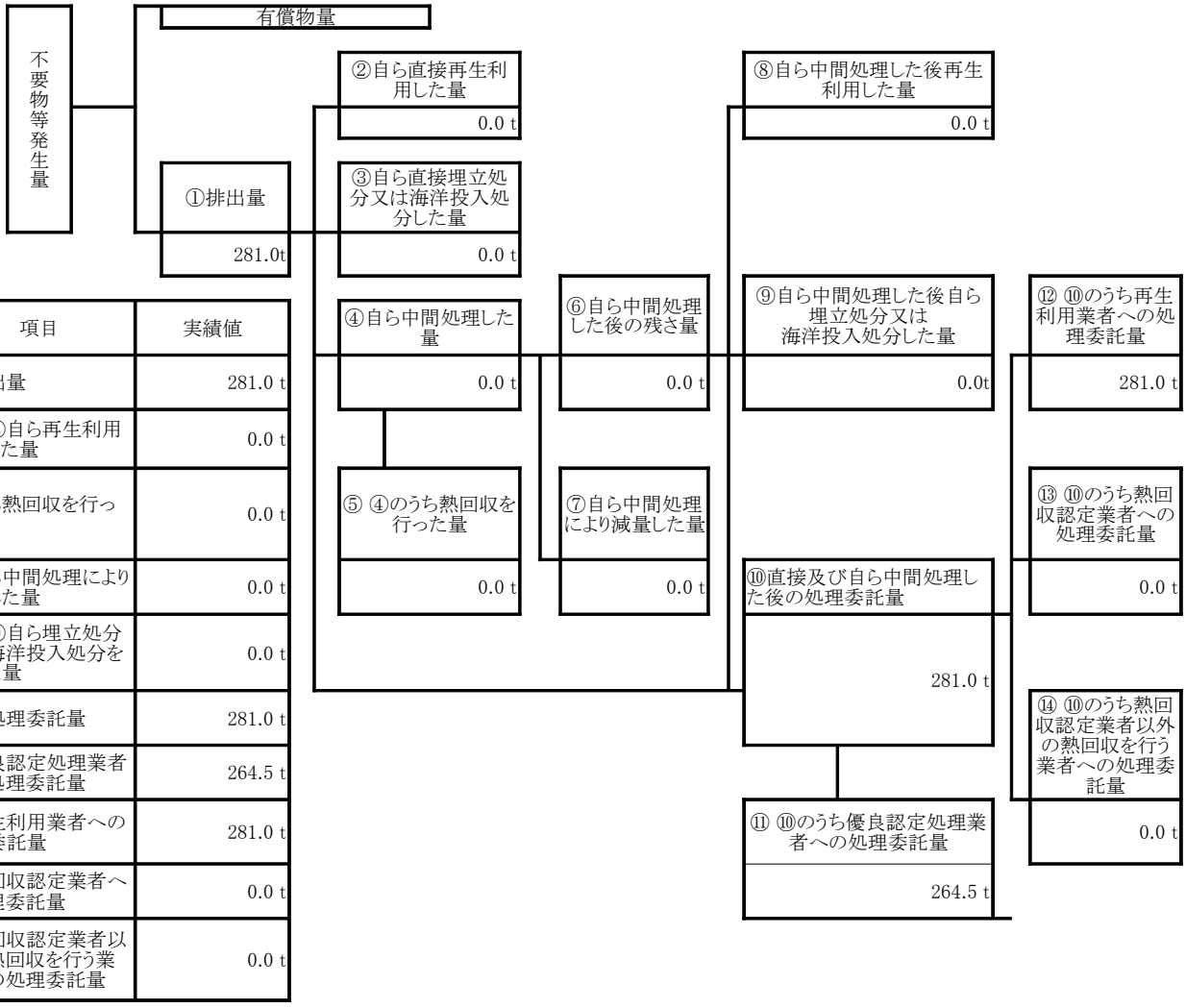


項目	実績値
①排出量	54.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



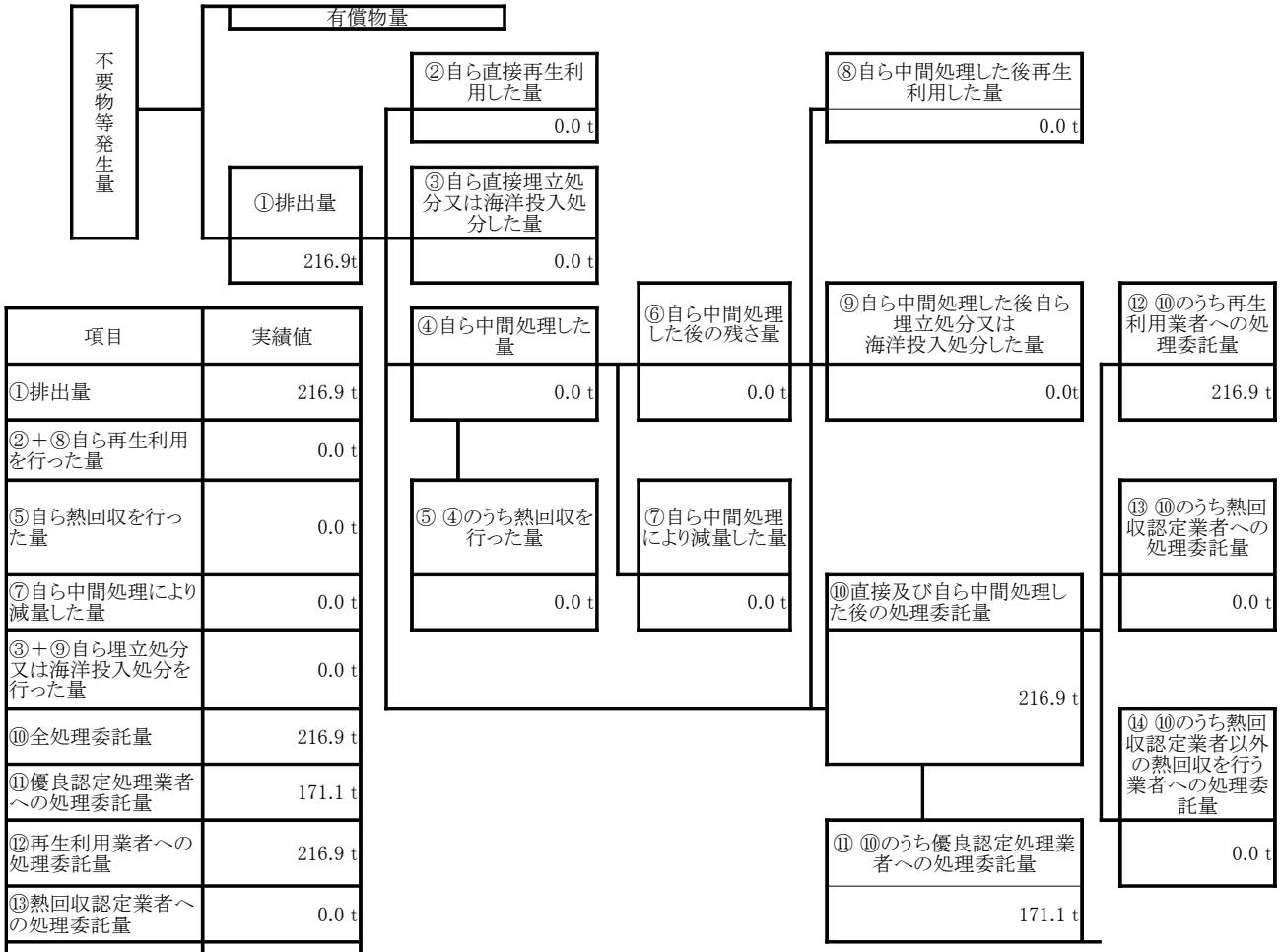
項目	実績値
①排出量	281.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	281.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	264.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	281.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃石膏ボード　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

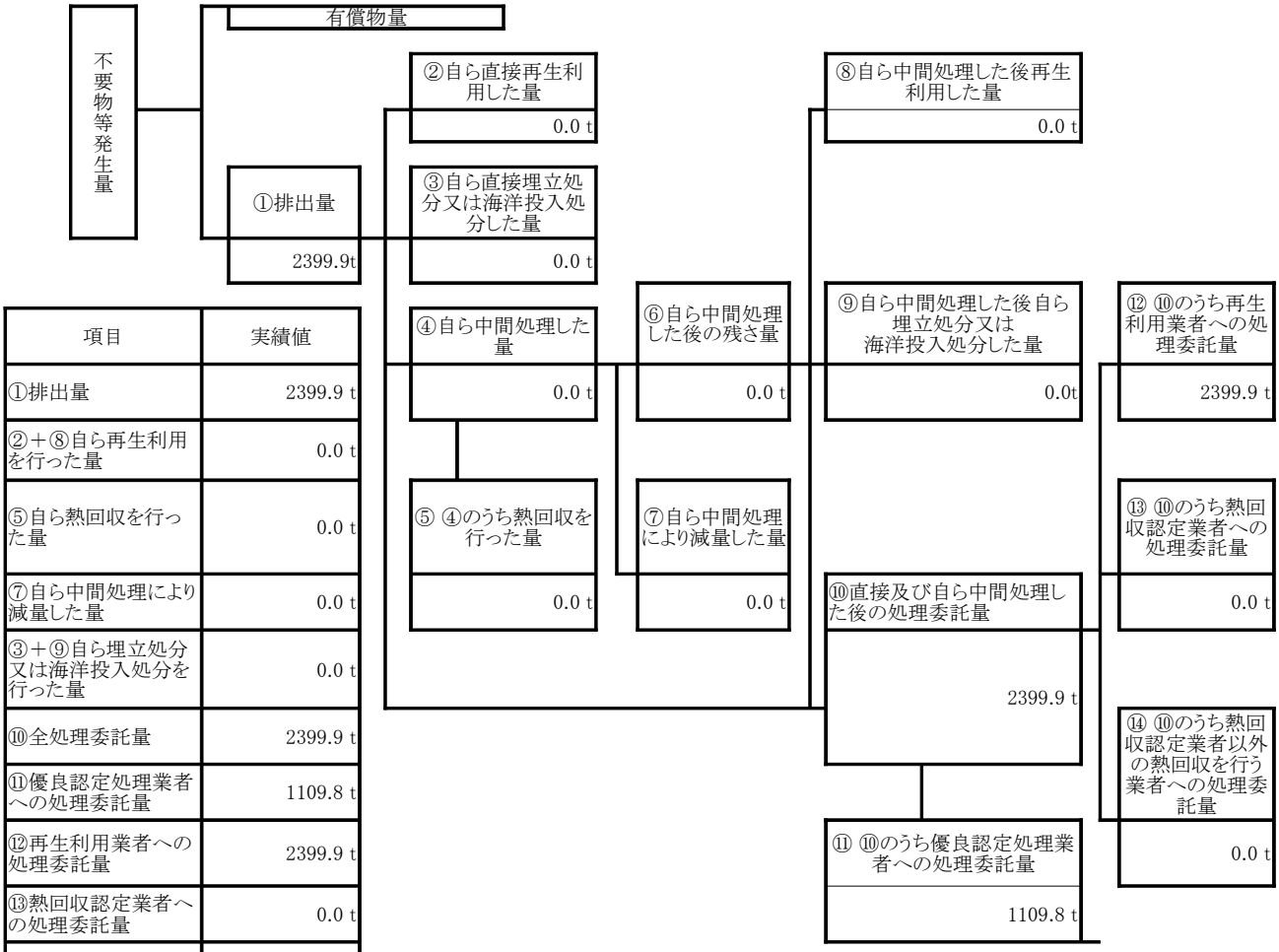


項目	実績値
①排出量	216.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	216.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	171.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	216.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

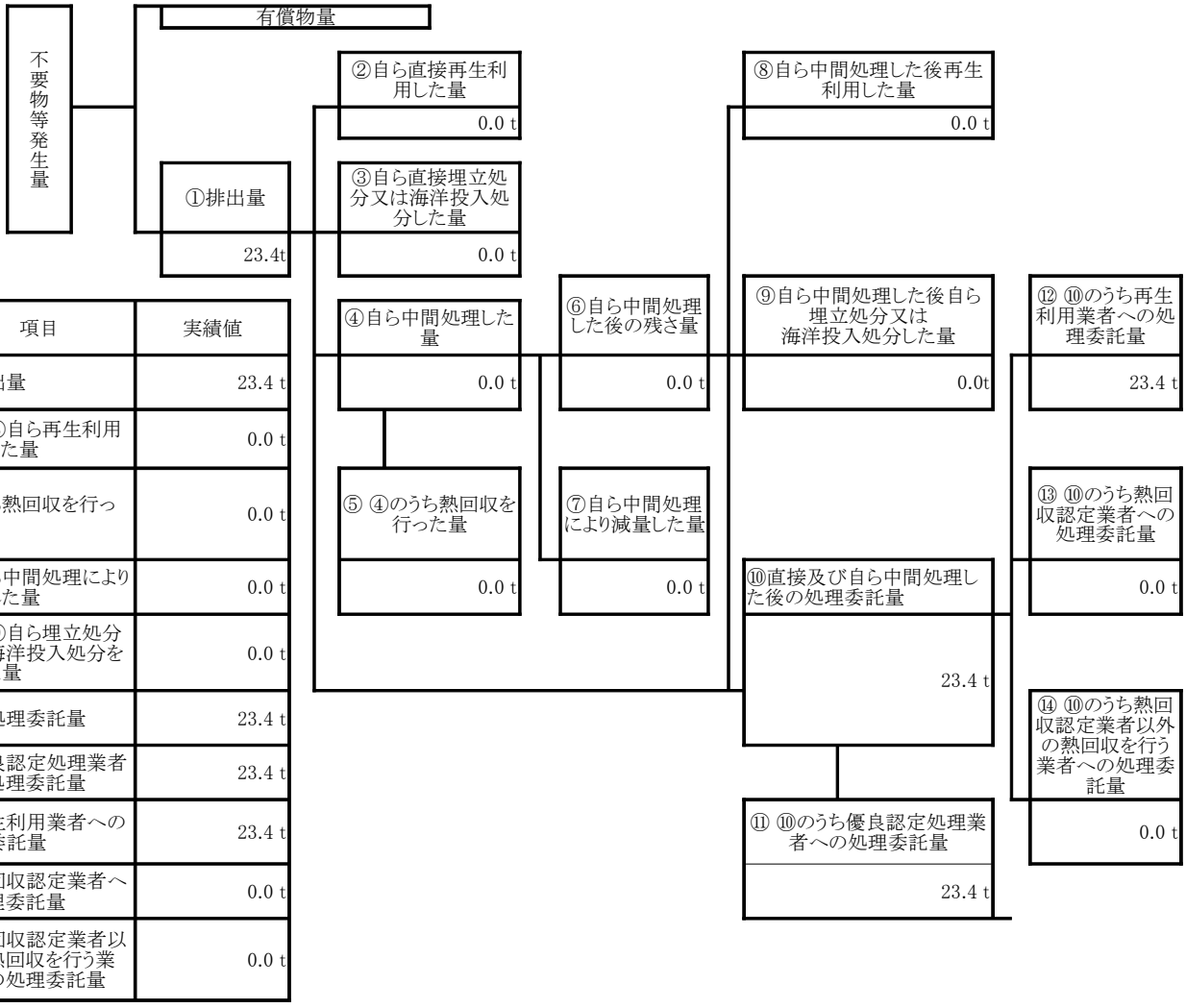


項目	実績値
①排出量	2399.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2399.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1109.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2399.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

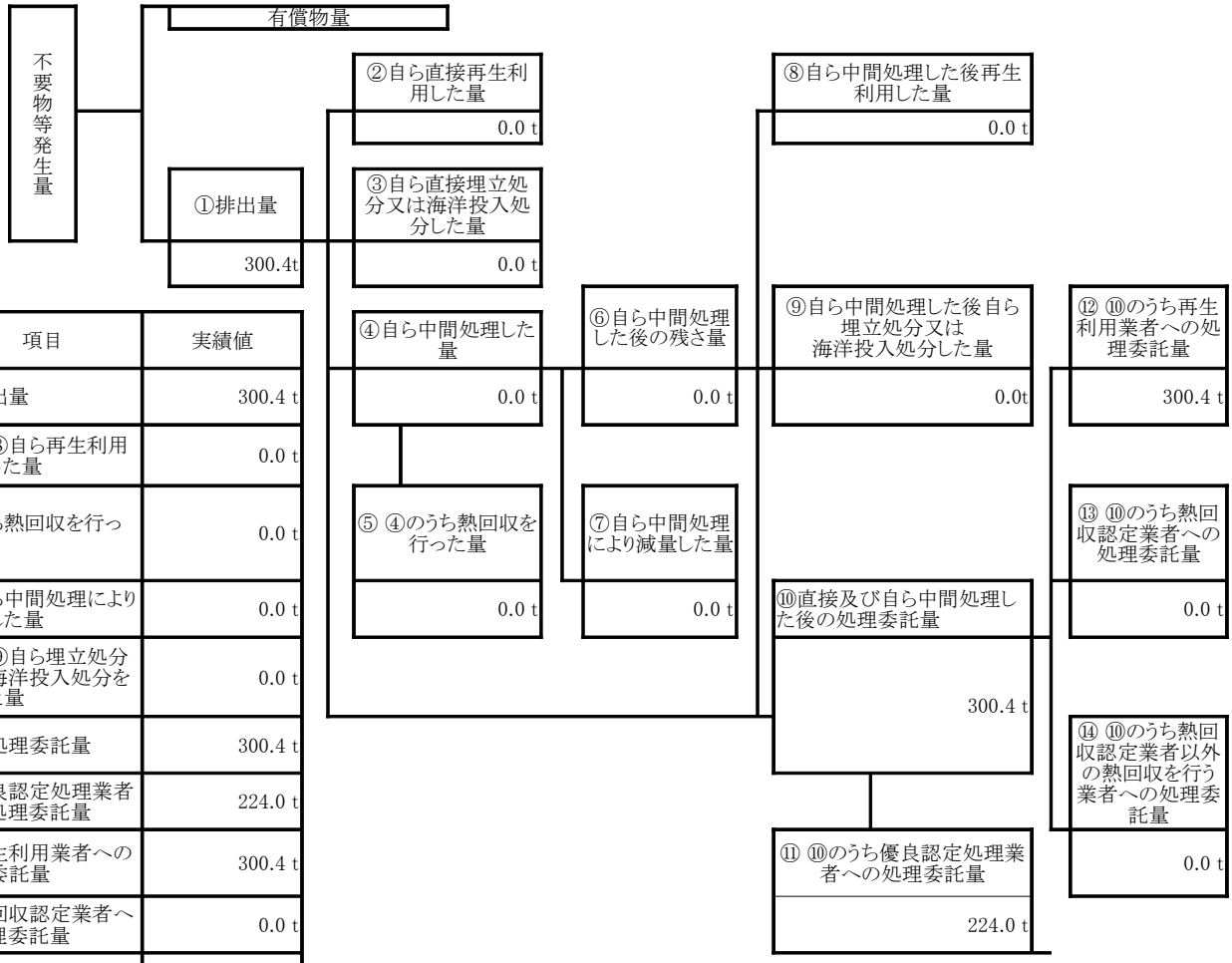


項目	実績値
①排出量	23.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	23.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

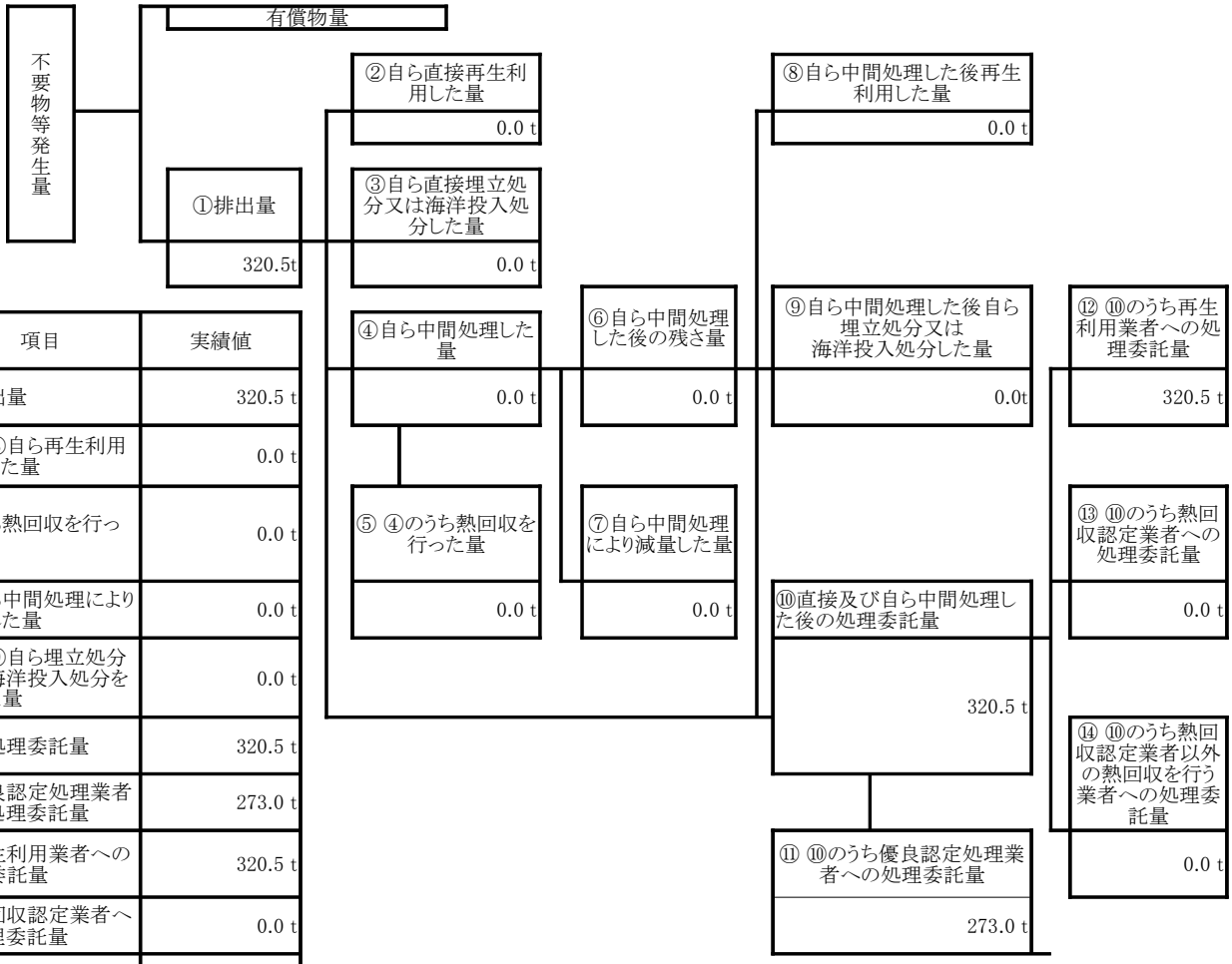


項目	実績値
①排出量	300.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	300.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	224.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	300.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

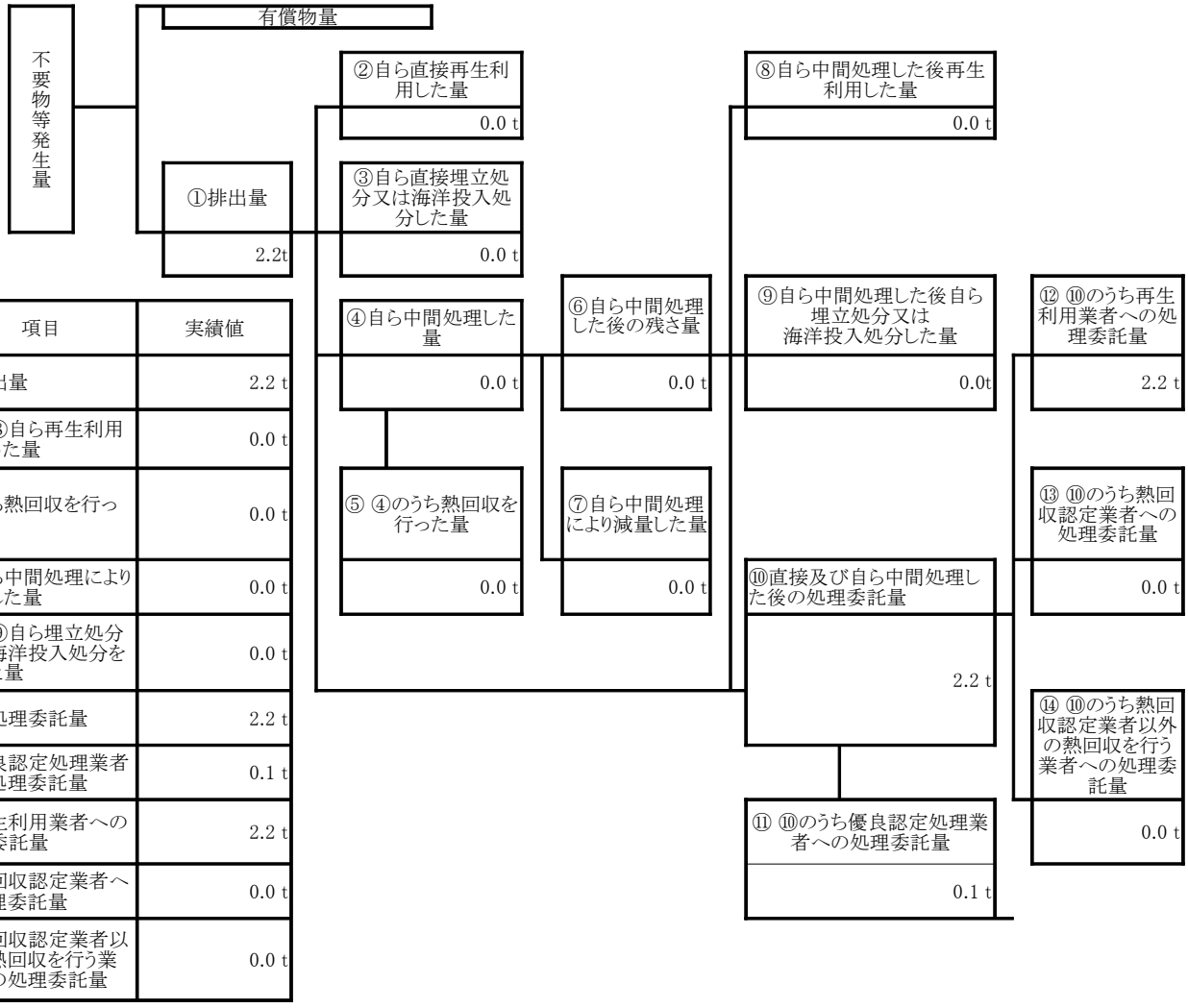


項目	実績値
①排出量	320.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	320.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	273.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	320.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**水銀使用製品産業廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

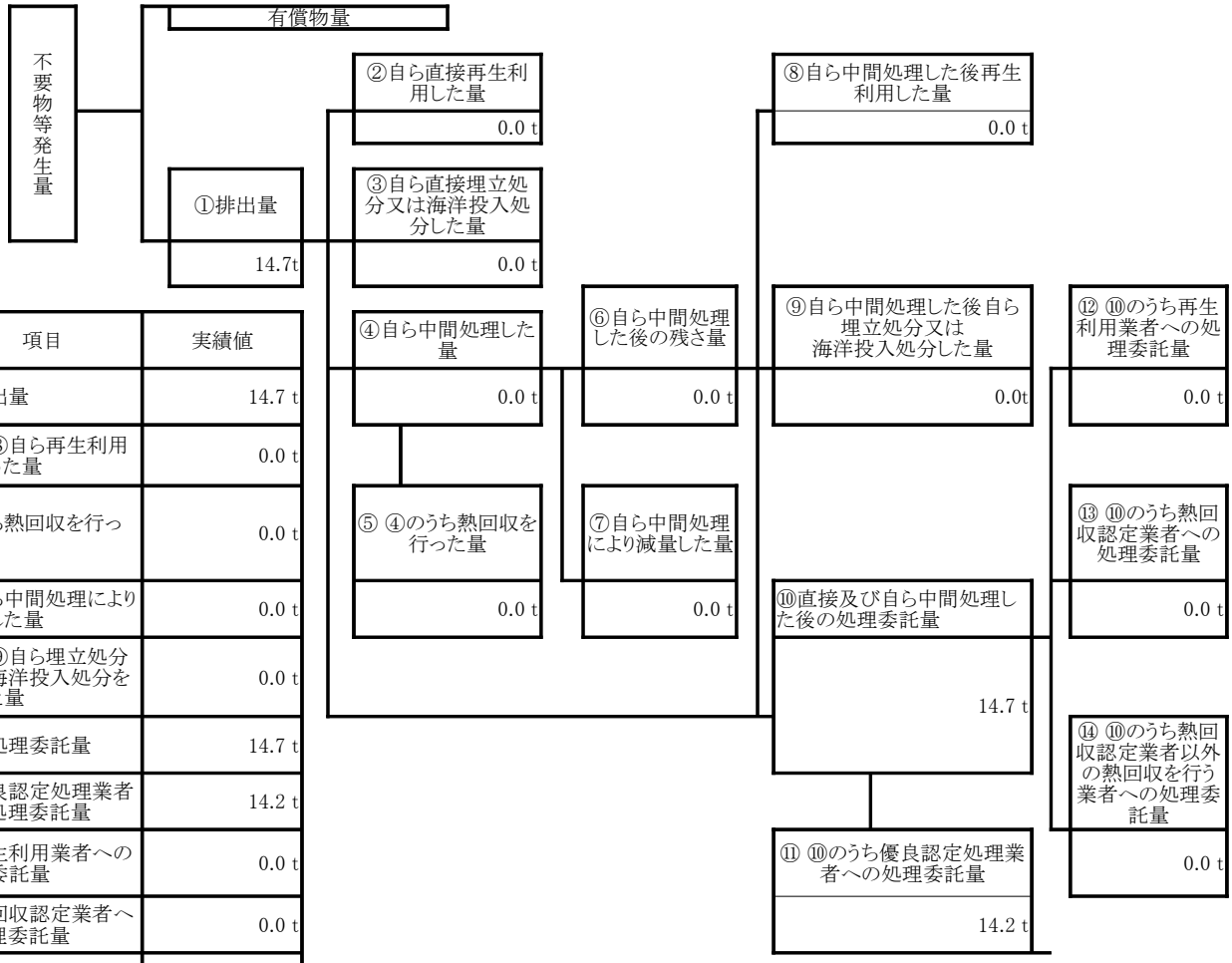


項目	実績値
①排出量	2.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	14.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　5月　27日

千葉県知事

熊谷　俊人　殿

提出者　〒290-0068

住　所　千葉県市原市八幡浦２－８－１

氏　名　前田道路（株）市原営業所

所長　多田　清市

電話番号　0436-43-1162

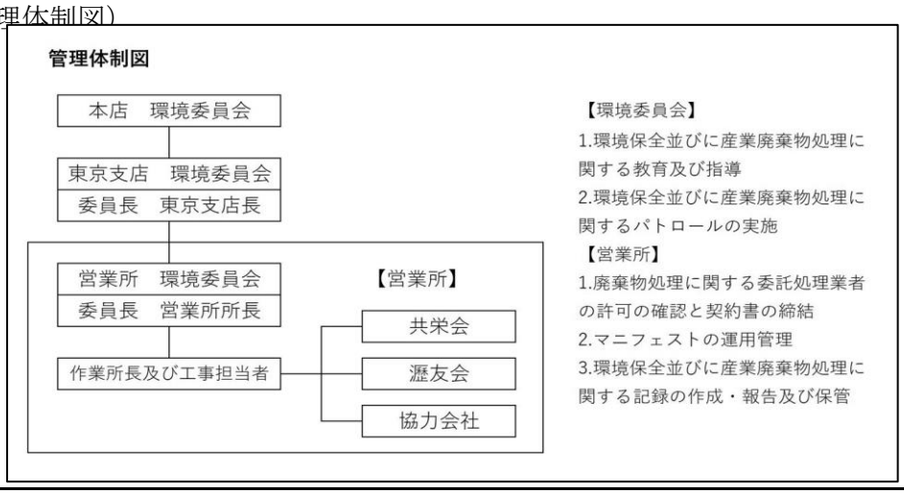
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田道路株式会社市原営業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡浦２－８－１
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	令和6年度　千葉県内　元請工事完成工事額　628百万円
③　従業員数	9名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類⇒破砕⇒再生骨材・再生砕石 汚泥⇒焼成⇒セメント原料 建設混合廃棄物⇒選別処理⇒各再生処理 木くず⇒破砕⇒燃料材

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ①路上表層再生工法等の廃材の出ない工法の提案 ②全天候型高耐久常温合材の開発と販売 ③梱包材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①仮設資材の再利用の促進 ②舗装の長寿命化への研究と推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①アスファルト塊とコンクリート片の分別解体を徹底し、 再生骨材供給を確保する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①建設混合廃棄物の分別の細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙参照	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） ①自社中間処理施設の設置と拡充		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙参照	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ①リサイクリング技術の研究による、他産業排出産業廃棄物の受入 ②自さリサイクリング施設の拡充による、産廃処理能力のアップ		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類_	別紙参照	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙参照	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 埋め立てや海洋投棄した実績はございません。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 計画は前年に同じ		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 埋め立てや海洋投棄した実績はございません。		

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
計画は前年に同じ</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		排　出　量	6505.7 t	1194.6 t	2.3 t	46.7 t	16 t	0.1 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		排　出　量	5000 t	1000 t	2 t	40 t	15 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6351.7 t	1148.6 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5000 t	1000 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	0 t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
	全処理委託量	154 t	46 t	2.3 t	46.7 t	16 t	0.1 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	46.7 t	16 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	154 t	46 t	2.3 t	46.7 t	16 t	0.1 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	汚泥	建設混合廃棄物	木屑	繊維くず		
	全処理委託量	0 t	0 t	2 t	40 t	15 t	0 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	0 t	40 t	15 t	0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	2 t	40 t	15 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 5 月 27 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-0068
住 所　千葉県市原市八幡浦2－8－1
氏 名　前田道路(株)市原営業所
所長 多田 清市
電話番号 0436-43-1162

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前田道路株式会社市原営業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡浦2－8－1
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

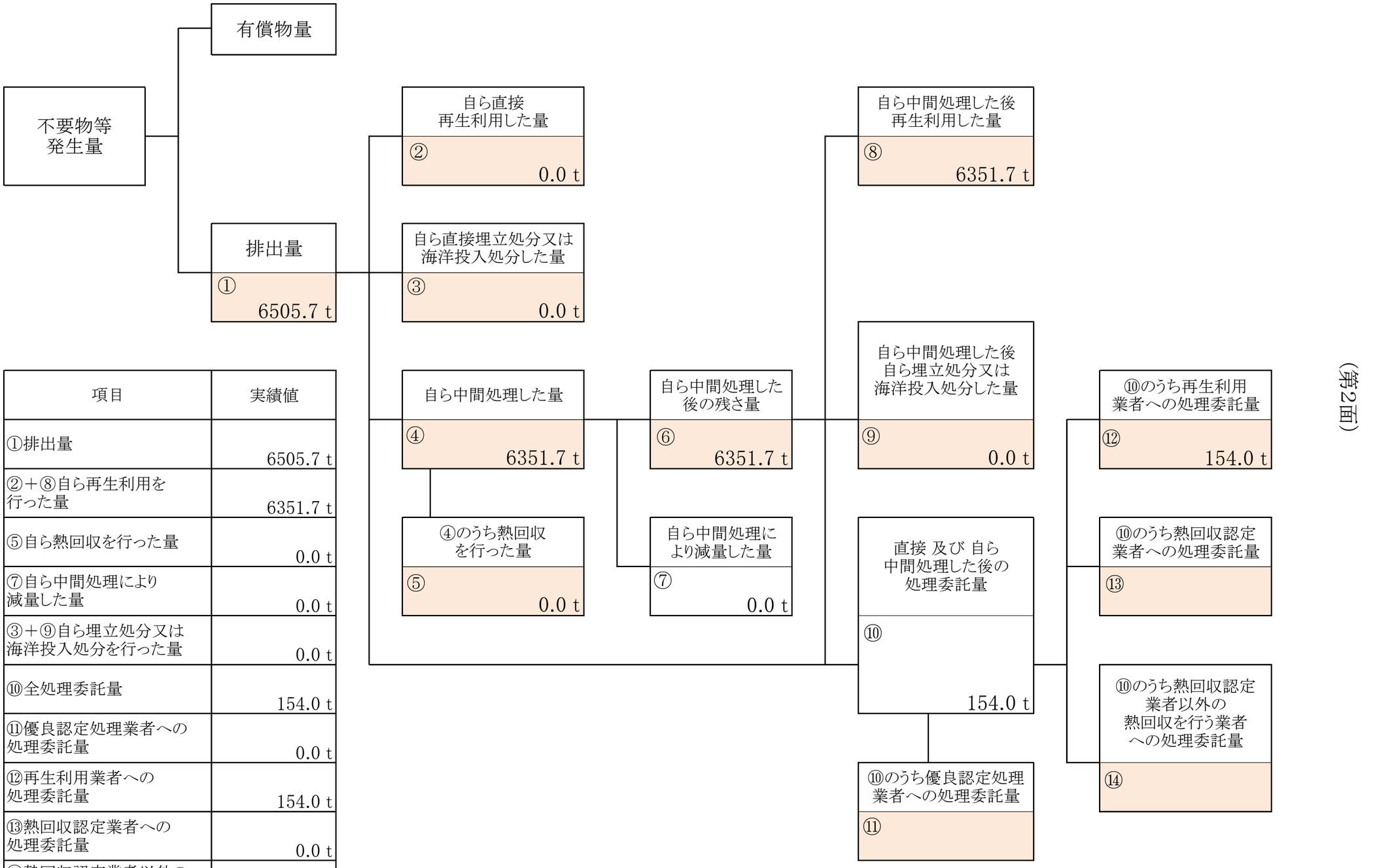
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7064.0 t	全処理委託量	64.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	7000.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	60.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	64.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**アスファルト・コンクリート破片**）

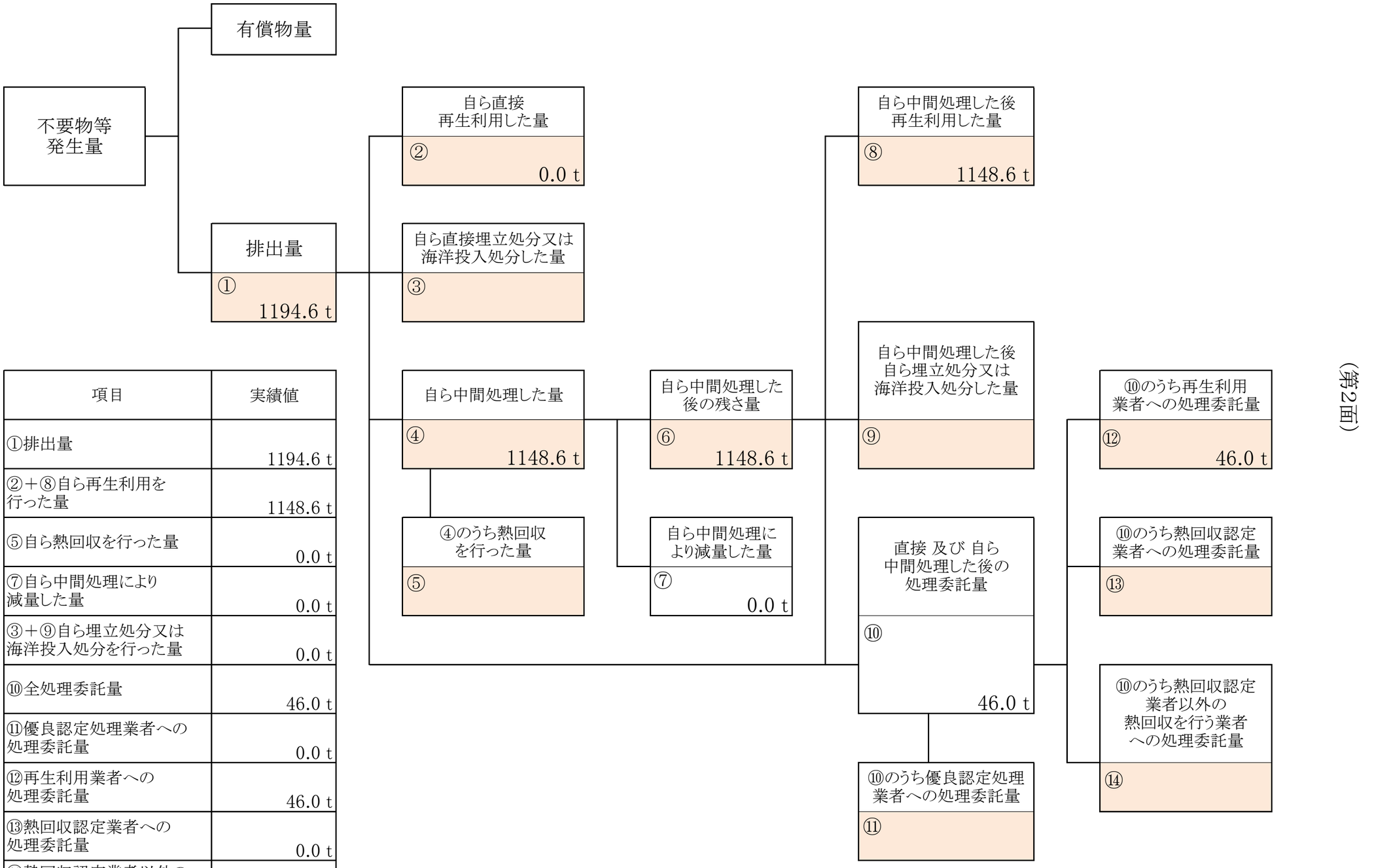


項目	実績値
①排出量	6505.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	6351.7 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	154.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	154.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**コンクリート破片**）

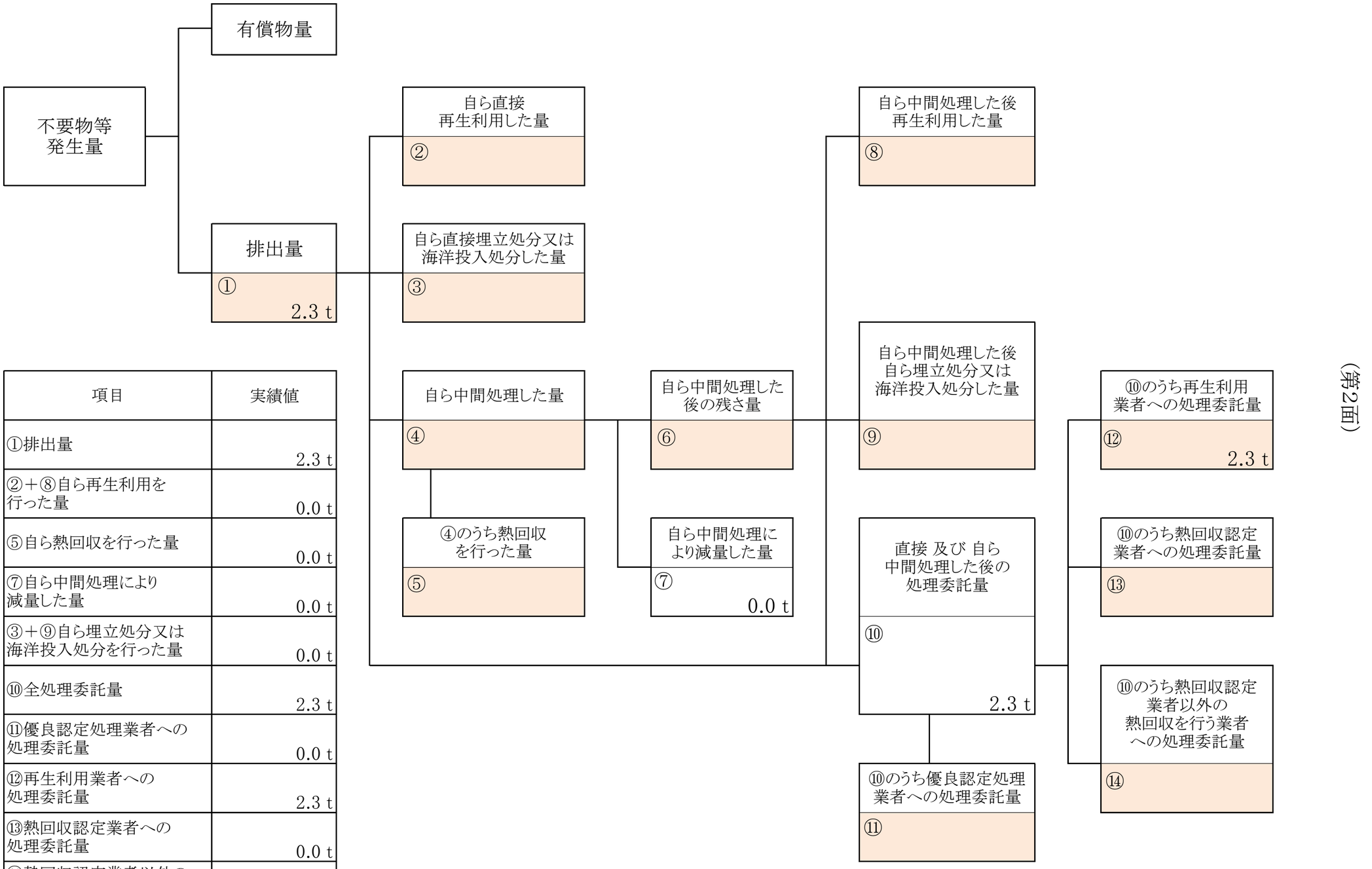


項目	実績値
①排出量	1194.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1148.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

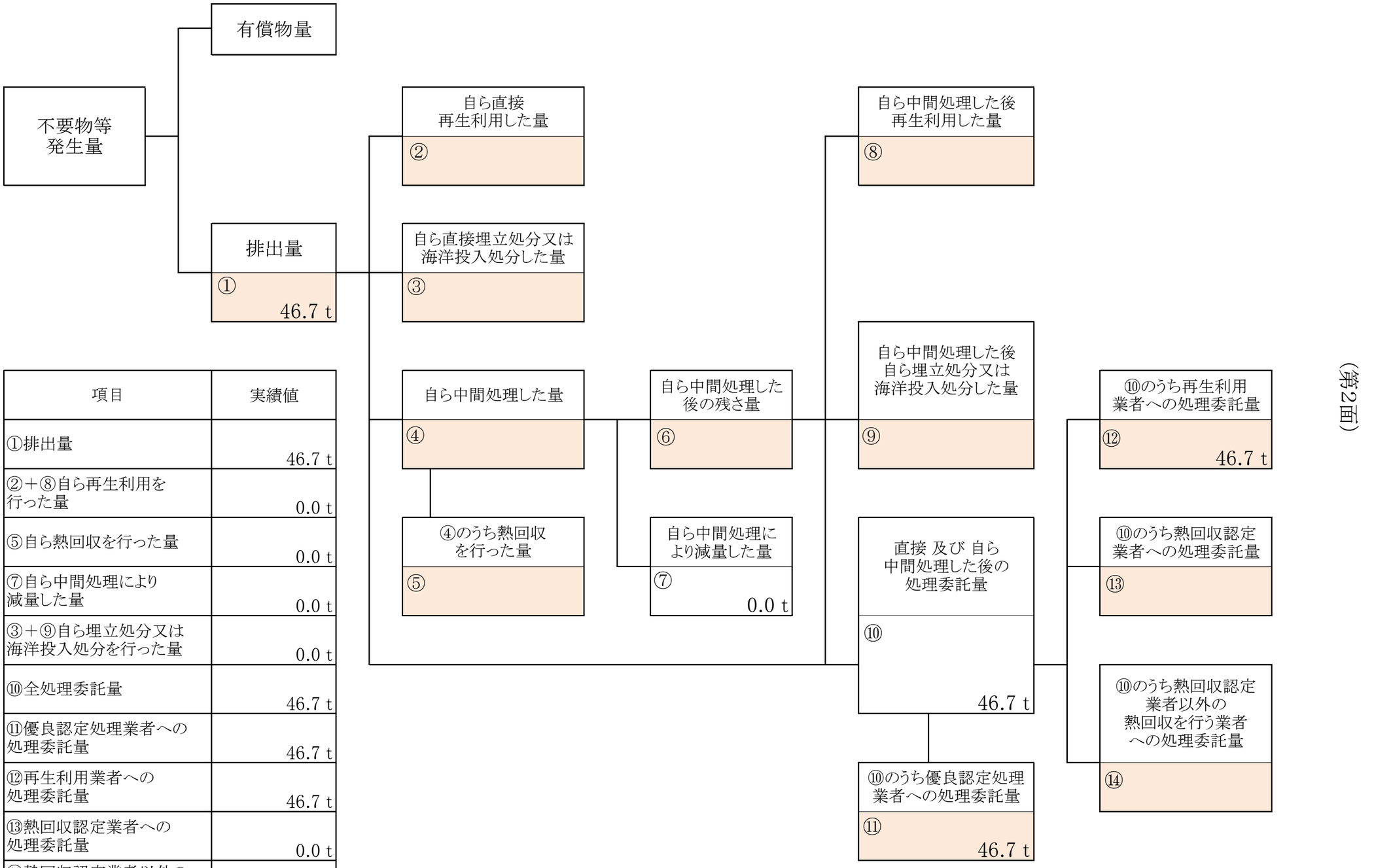


項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

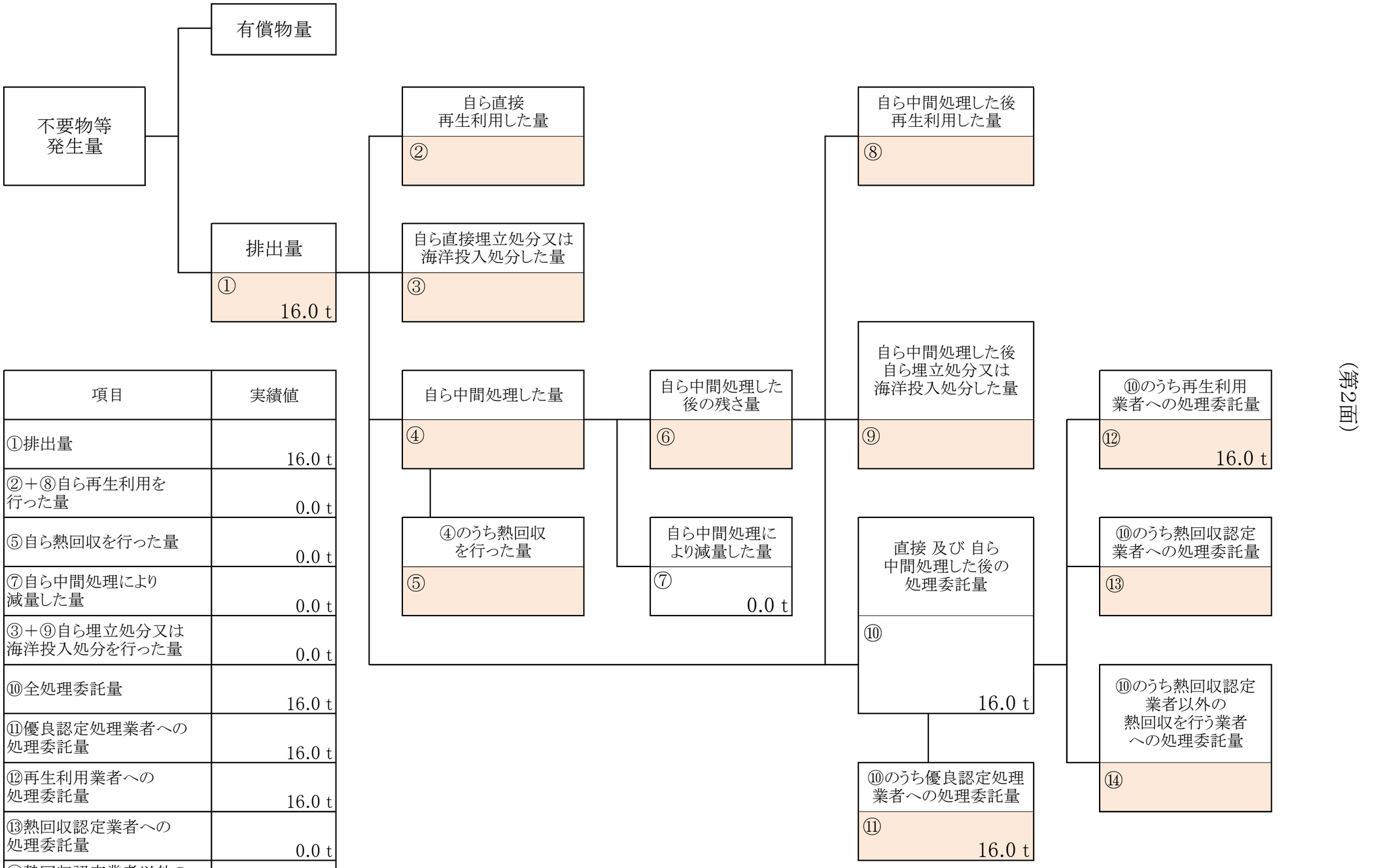


項目	実績値
①排出量	46.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	46.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**木屑**）

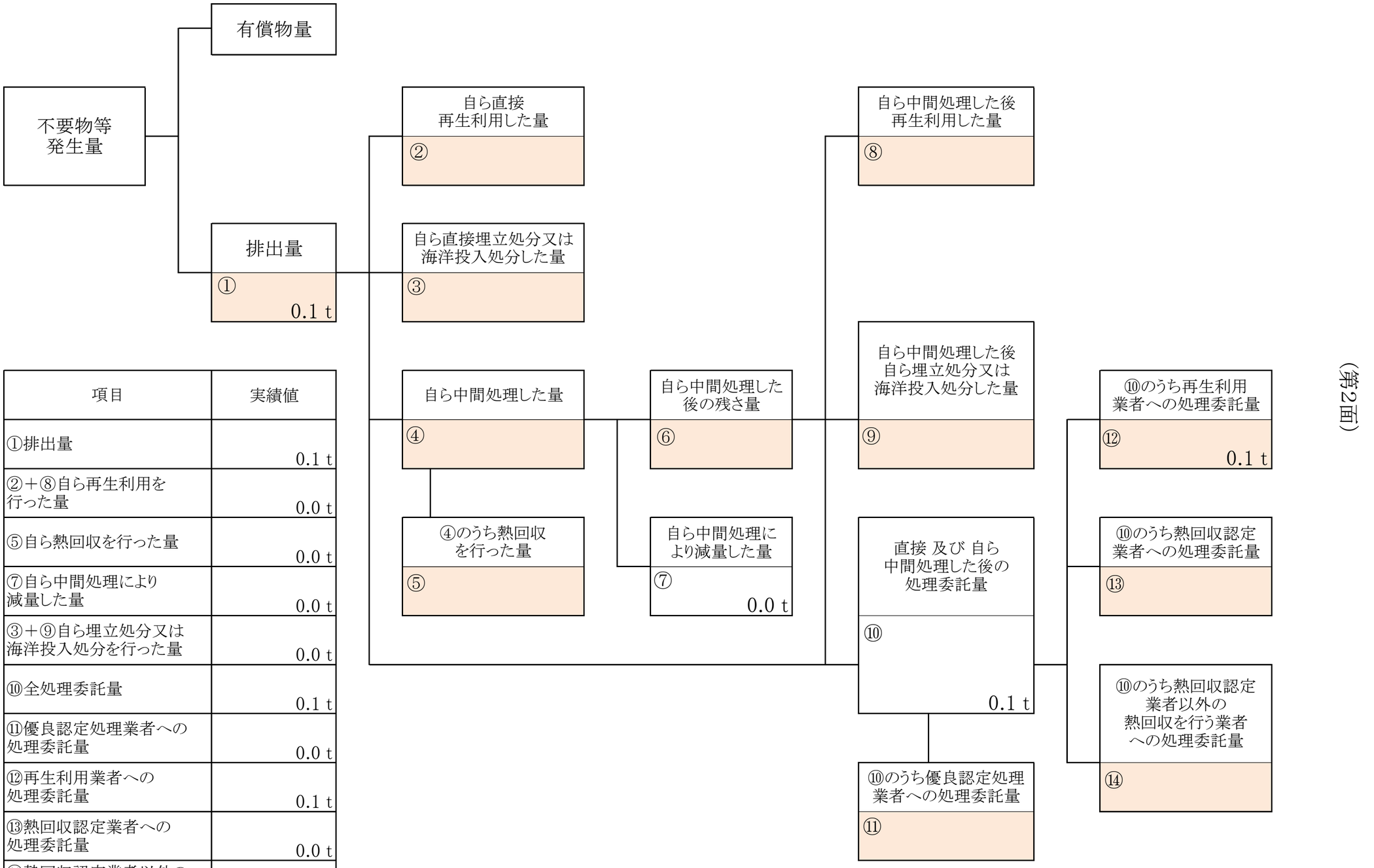


項目	実績値
①排出量	16.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　　6月　　２３日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒263-0005

住　所 千葉市稲毛区長沼町461-1

氏　名 前田道路株式会社　　千葉営業所

所長　吉田　孝志

電話番号　　043-259-2131

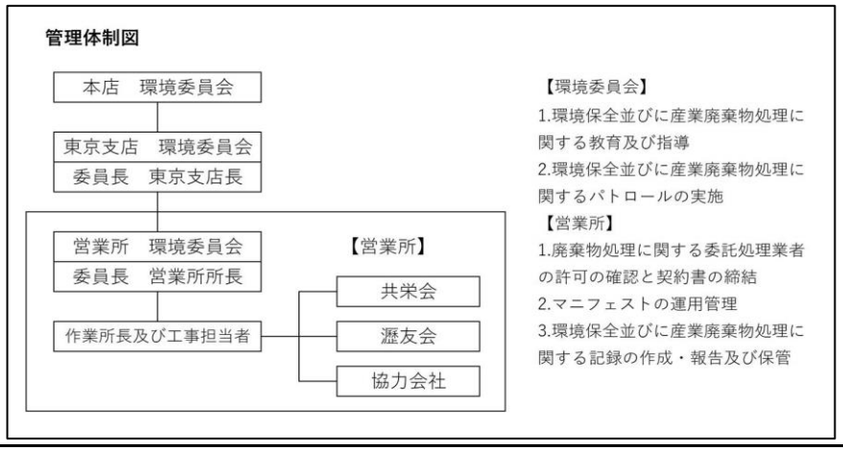
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田道路株式会社　　千葉営業所
事業場の所在地	千葉市稲毛区長沼町461-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	令和6年度　千葉県内　元請工事完成工事額　　118百万円
③　従業員数	17　名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトコンクリート破片⇒破砕⇒再生砕石　コンクリート破片⇒破砕⇒再生破砕　汚泥⇒脱水・混合⇒改良土　金属くず⇒破砕⇒金属材料 廃プラスチック⇒破砕・圧縮⇒固形燃料　木くず⇒破砕⇒木チップ

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ①路上表層再生工法等の廃材の出ない工法の提案 ②全天候型高耐久常温合材の開発と販売 ③梱包材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①仮設資材の再利用の促進 ②舗装の長寿命化への研究と推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①アスファルト塊とコンクリート片の分別解体を徹底し、 再生骨材供給を確保する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①建設混合廃棄物の分別の細分化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ①自社中間処理施設の設置と拡充		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ①リサイクリング技術の研究による、他産業排出産業廃棄物の受入 ②自さリサイクリング施設の拡充による、産廃処理能力のアップ		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
		産業廃棄物の種類＿	別紙参照	
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） ①電子マニフェストに対応できる業者を選定している ②管理型産業廃棄物の委託先は実地確認を励行している		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類＿</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量＿</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
前年からの取組の継続</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		排　出　量	3810.4　t	3927.2　t	1　t	0.1　t	1.9　t	5.5　t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		排　出　量	2000　t	2000　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3810.4　t	1830.2　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2000　t	1500　t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
	全処理委託量	t	2097 t	1 t	0.1 t	1.9 t	5.5 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	1 t	0.1 t	1.9 t	5.5 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	2097 t	1 t	0.1 t	1.9 t	5.5 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	アスファルト破片	コンクリート破片	ガラス陶磁器	金属くず	廃プラスティック	木くず		
	全処理委託量	t	500 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	500 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月　23日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　263-0005
住 所　千葉市稲毛区長沼町461-1
氏 名　前田道路株式会社 千葉営業所
所長 吉田 孝志
電話番号　043-259-2131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前田道路株式会社 千葉営業所
事業場の所在地	千葉市稲毛区長沼町461-1
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

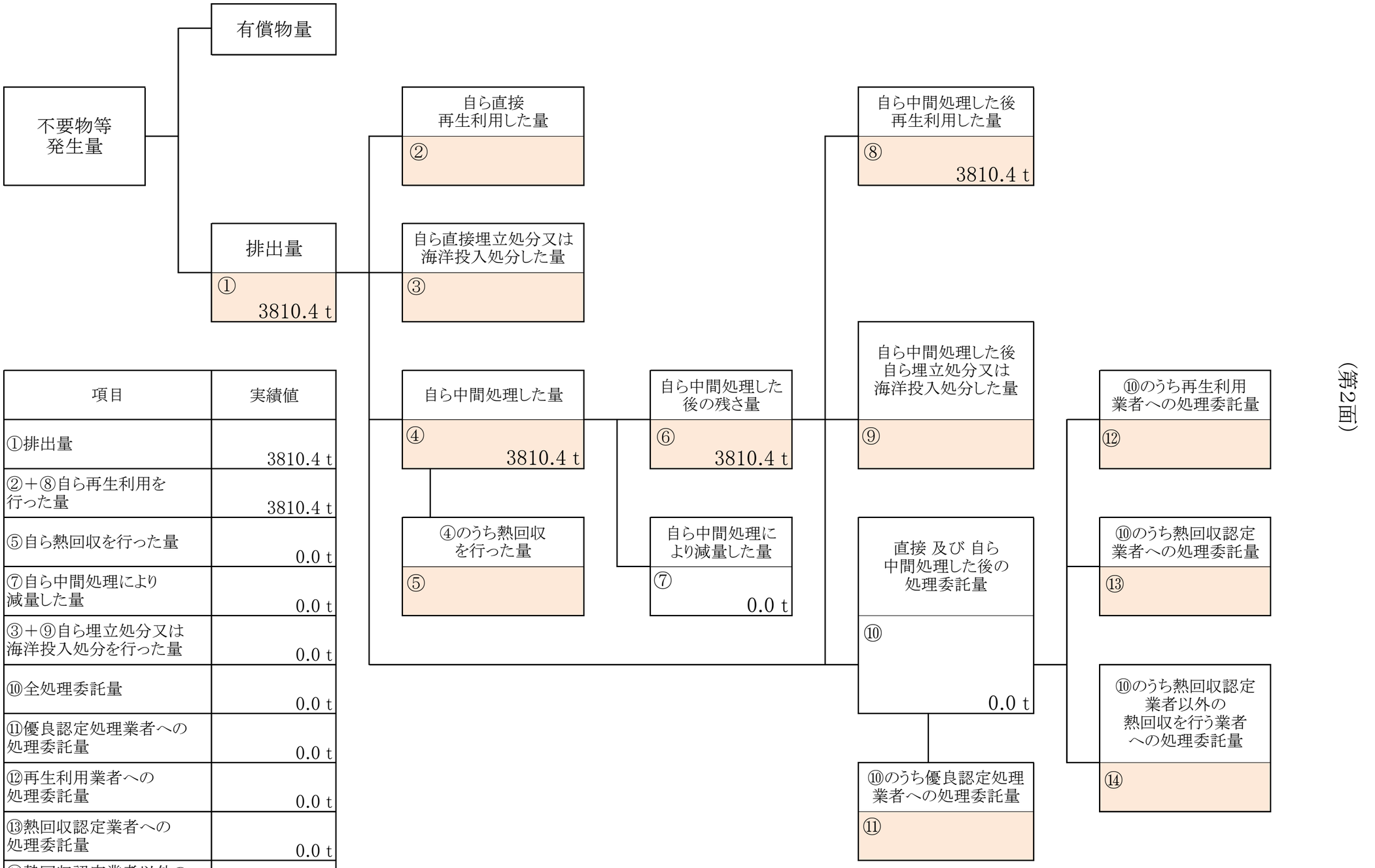
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1102.0ｔ	全処理委託量	2.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1100.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	1.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**アスファルト破片**）

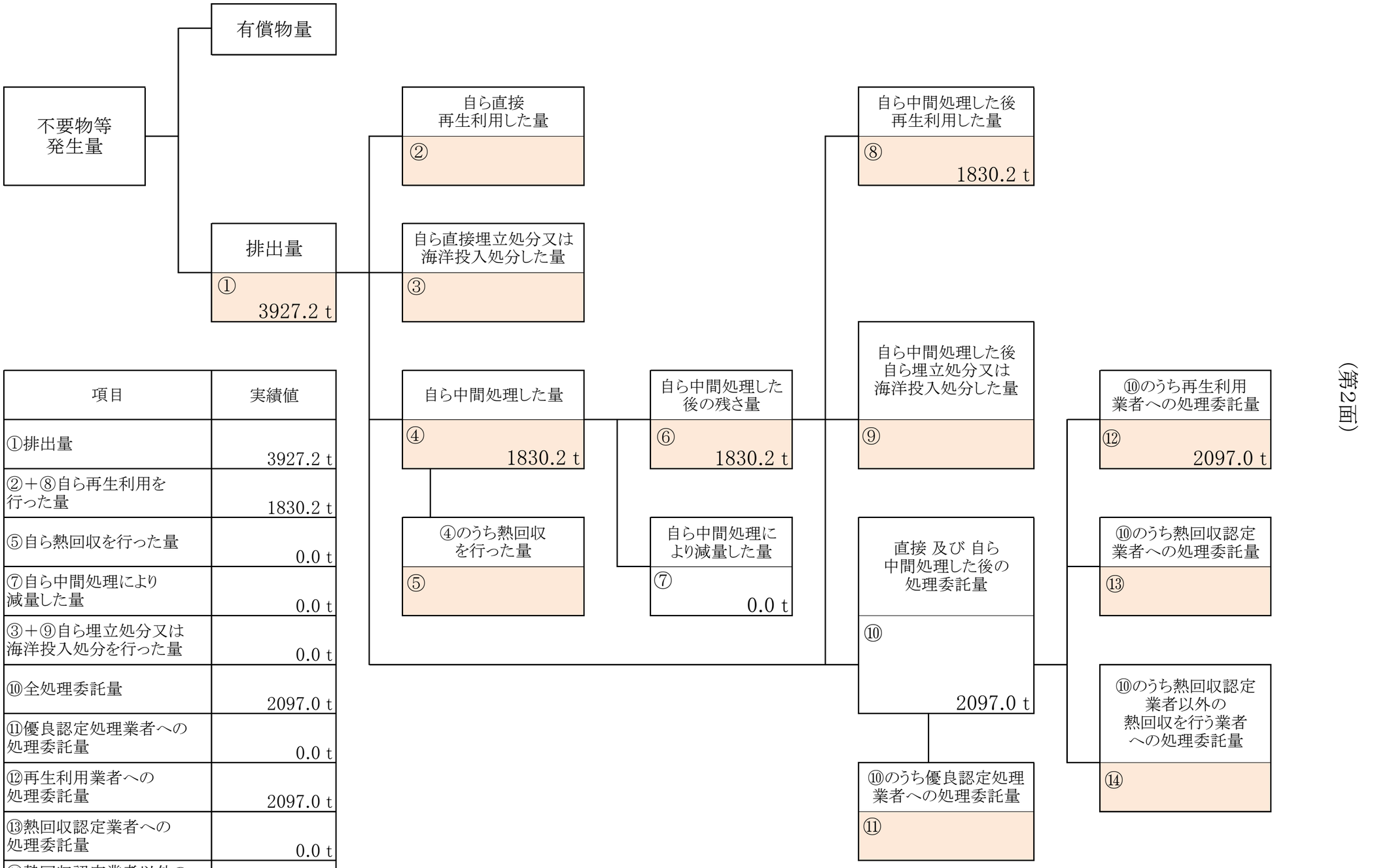


項目	実績値
①排出量	3810.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	3810.4 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**コンクリート破片**）

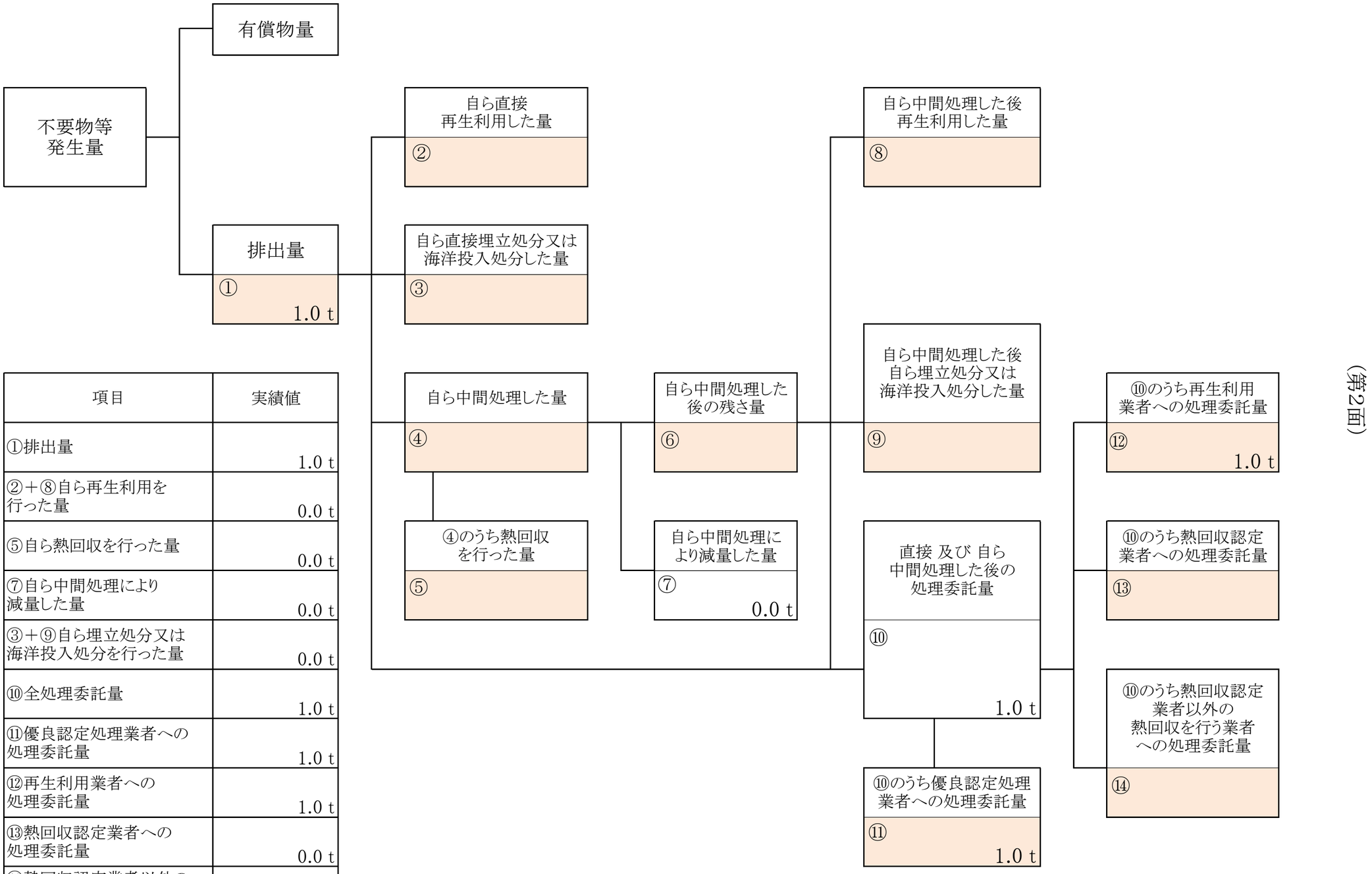


項目	実績値
①排出量	3927.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1830.2 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2097.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2097.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器**）

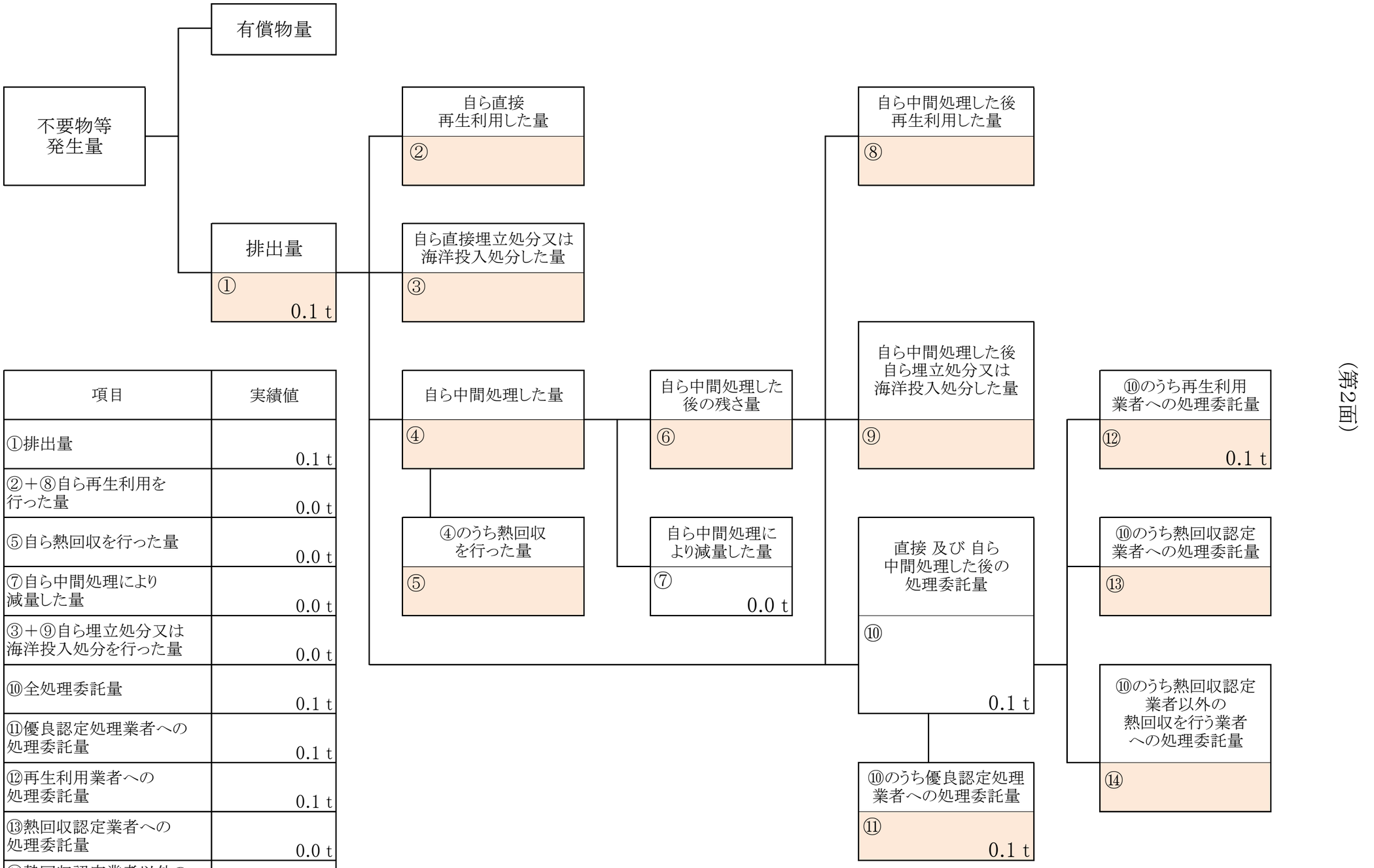


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

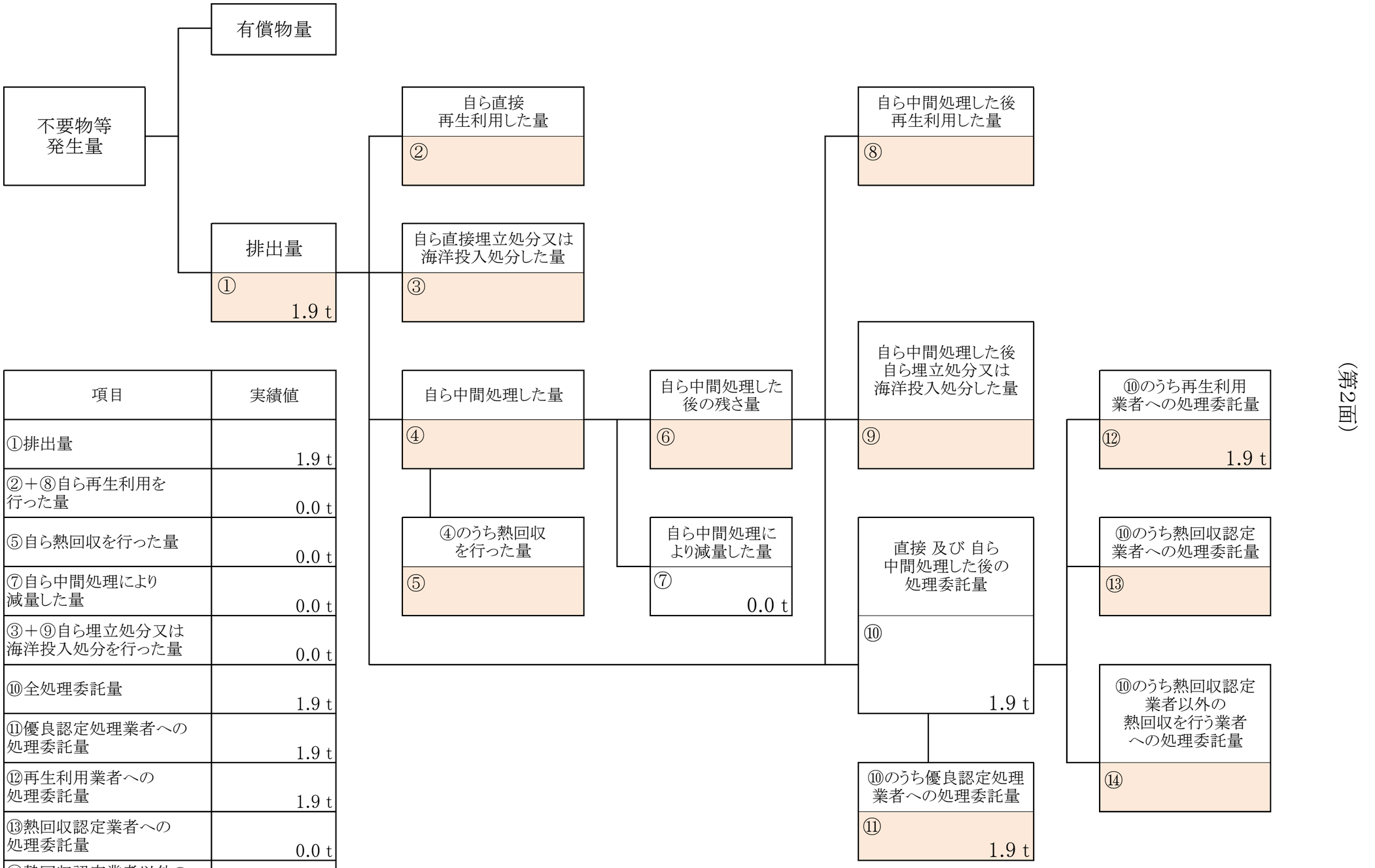


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスティック**）

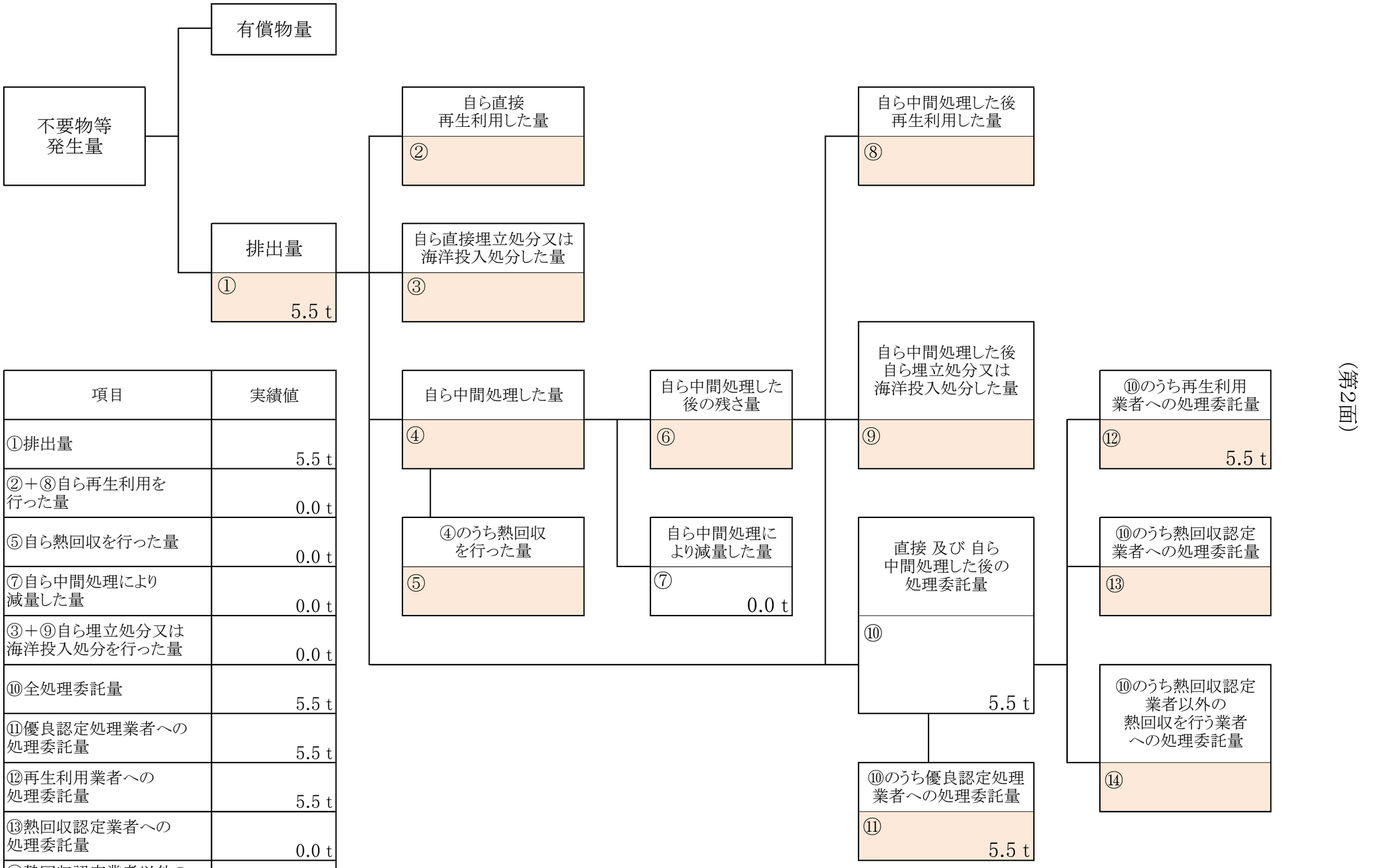


項目	実績値
①排出量	1.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



項目	実績値
①排出量	5.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　7年　6月　17日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒 273-0018
住 所　千葉県船橋市栄町1-19-19
氏 名　前田道路株式会社 船橋営業所
所長 小林 聡
電話番号　047-400-9292

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 7 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	前田道路株式会社 船橋営業所
事業場の所在地	千葉県船橋市栄町1-19-19
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

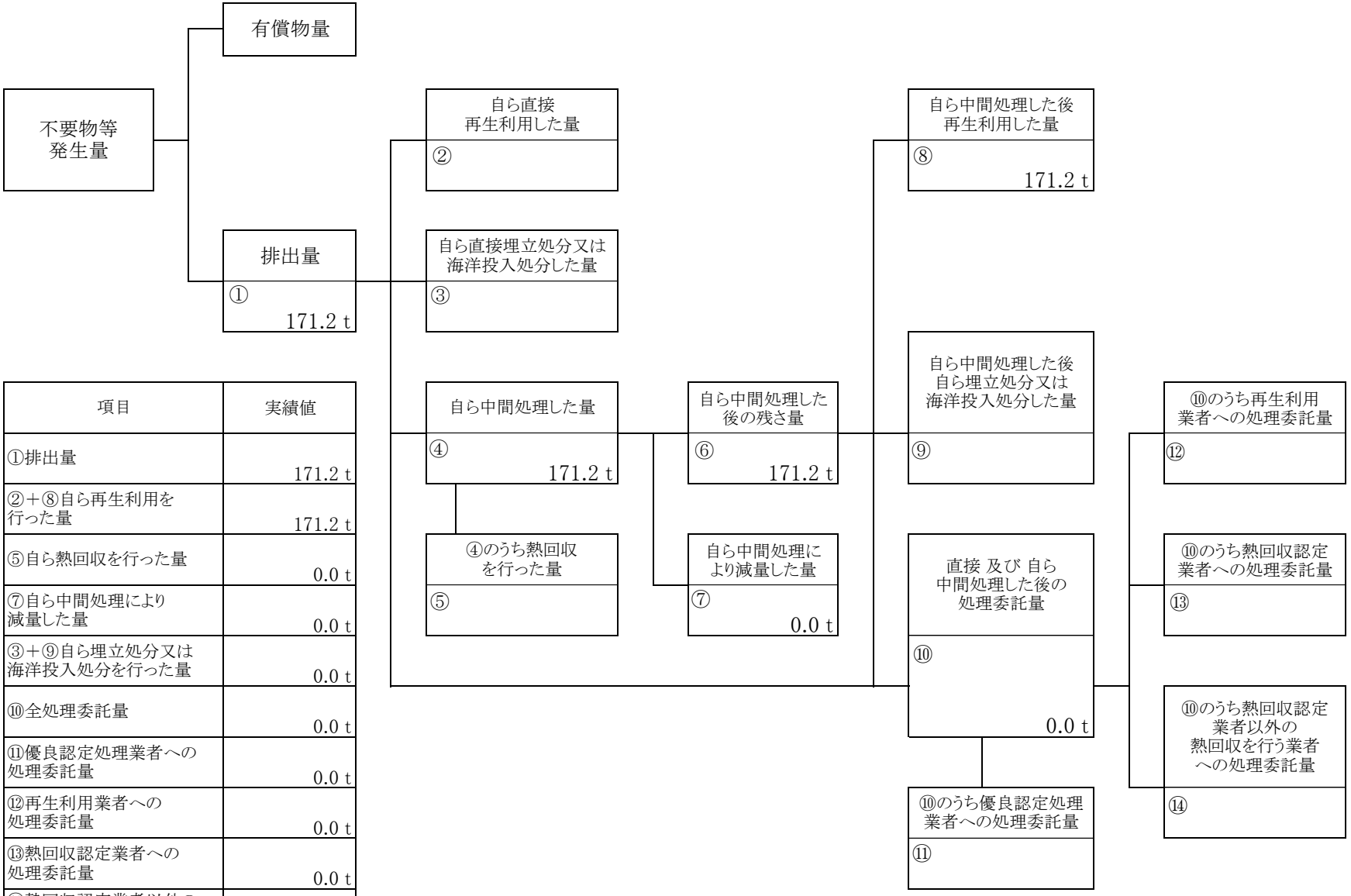
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	932.0 t	全処理委託量	5.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	927.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	5.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**アスファルトコンクリート塊**　）

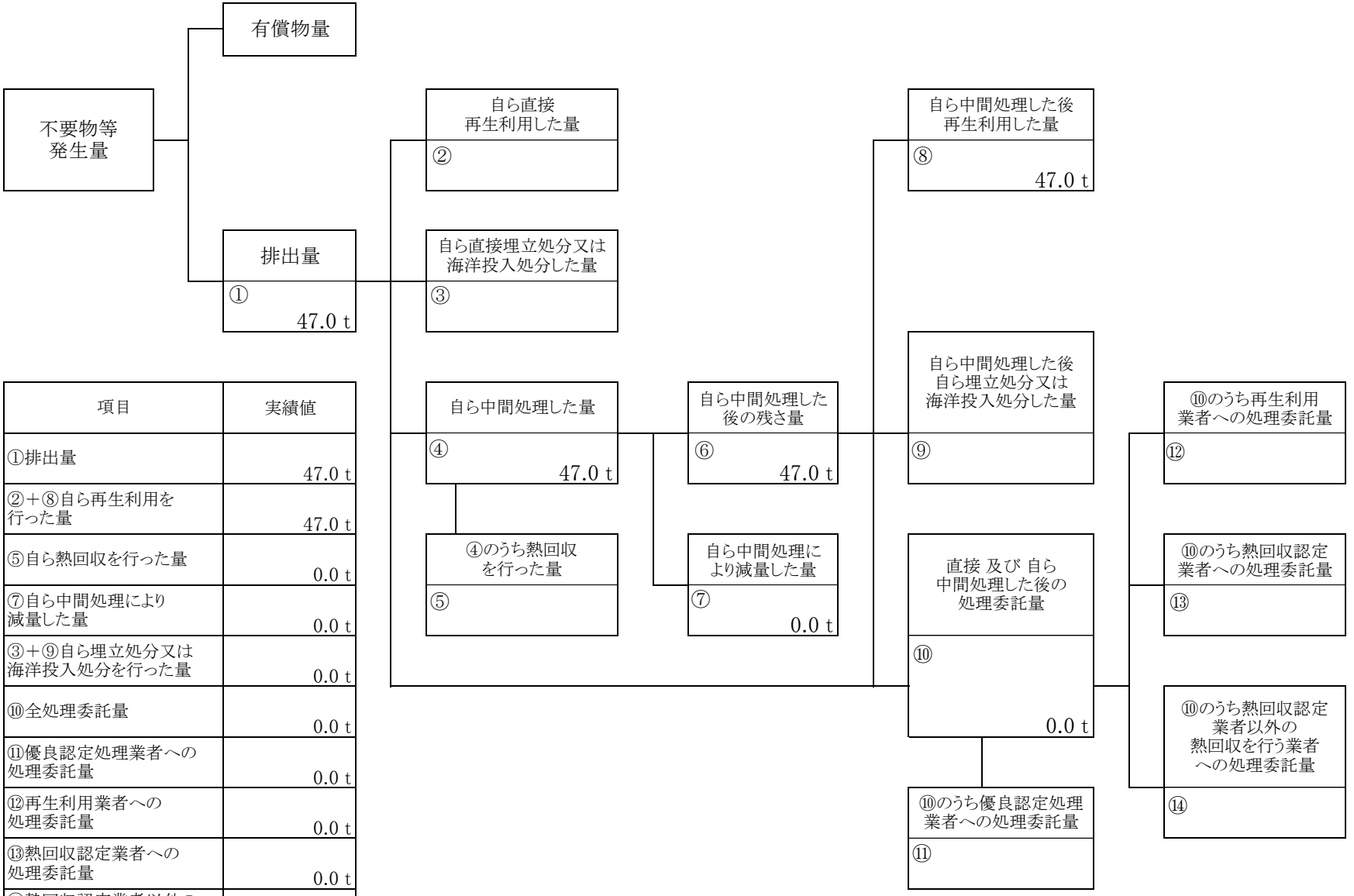


項目	実績値
①排出量	171.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	171.2 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　コンクリート破片　）

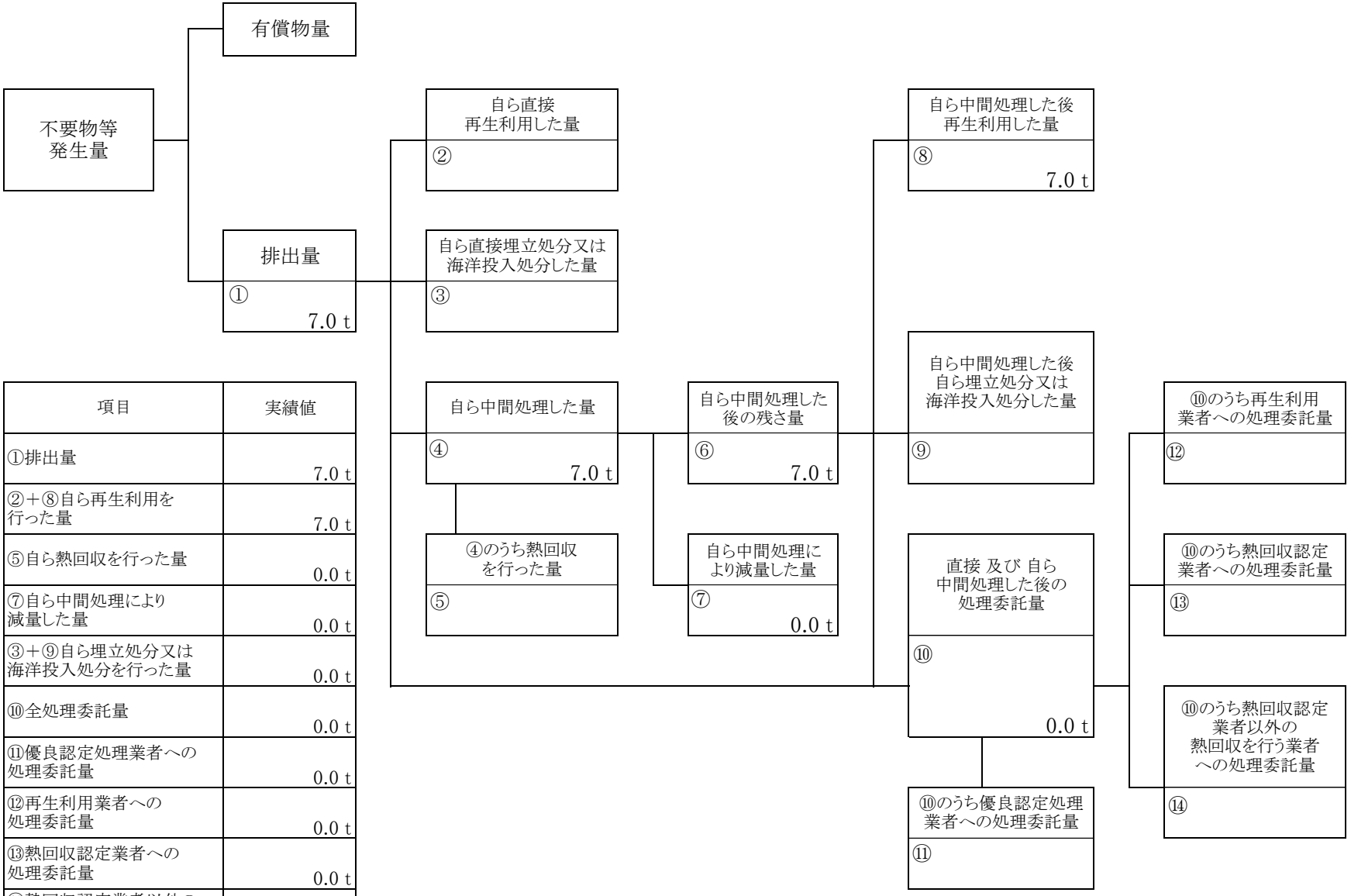


項目	実績値
①排出量	47.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	47.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

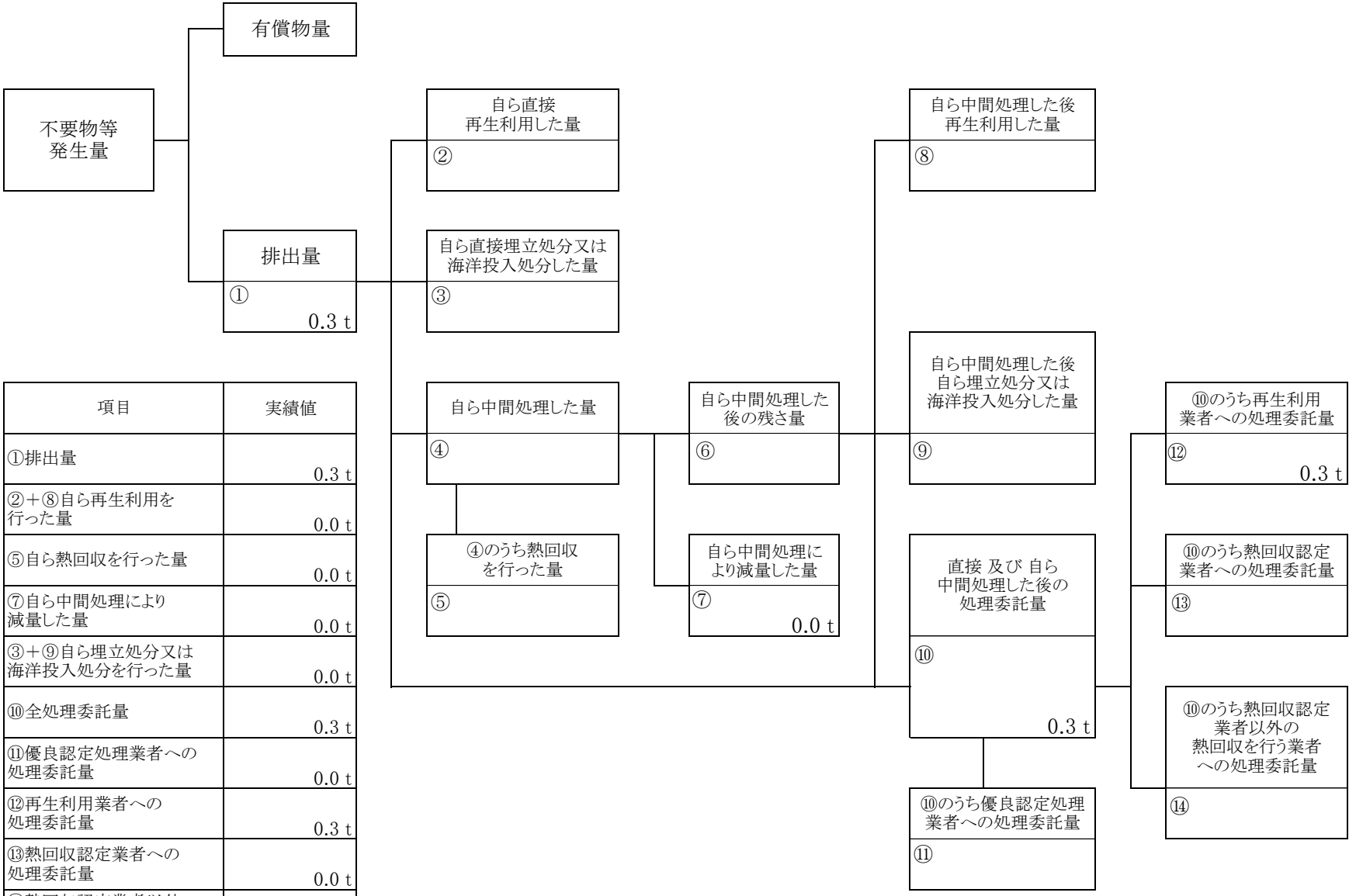


項目	実績値
①排出量	7.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	7.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　**汚泥及び廃アルカリ**　）



項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒104-8281

住　所　東京都中央区新川1-17-22

氏　名　松井建設株式会社東京支店
常務執行役員支店長　金子勇

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3553-1172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松井建設株式会社東京支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-17-22
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	46899 百万円／年
③従業員数	350
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥⇒脱水⇒改良土、流動化処理土として利用　・廃プラスチック⇒破砕⇒リサイクル売却　・金属屑⇒破砕⇒リサイクル売却　・がれき類⇒破砕⇒再生砕石として利用　・ガラス陶磁器⇒破砕⇒人工石材、ガラスにリサイクル　・木屑⇒破砕⇒チップとして再生利用　・紙屑⇒破砕圧縮梱包⇒リサイクル売却　・繊維屑⇒破際圧縮梱包⇒燃料として売却　・石膏ボード⇒破砕⇒セメント材料、地盤改良材として利用　・アスコン⇒破砕、熱処理⇒アスファルト合材としてリサイクル

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

担当専務 ⇒ 経営会議 ⇒ 建設本部安全品質環境部品質環境課 ⇒ 支店安全品質環境部品質環境課 ⇒　各作業所

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排出量	309.1 t	136.3 t

（これまでに実施した取組）

現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務めた

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排出量	309.1 t	136.3 t

（今後実施する予定の取組）

今後現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には引き続き再資源化施設の活用に務める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

それぞれの現場に、専用のコンテナを設置し再資源化施設の活用に勤めています

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後再資源化の効率向上に努めるため、発生現場での分別向上に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまで自社で再生利用をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社で再生利用する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまで自社で中間処理をしていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自社で中間処理をする予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
これまで自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
全処理委託量	309.1 t	136.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	309.1 t	136.3 t
再生利用業者への処理委託量	309.1 t	136.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
再生利用できるものは全て再生利用が出来る委託業者に委託している

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>309.1 t</td><td>136.3 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>309.1 t</td><td>136.3 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>309.1 t</td><td>136.3 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
現場内で発生した再資源の積極活用に勤め、排出の際には再資源化施設の活用に務める。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

事業の種（建設業・製造業・電ガスのみ中分類）
A－農業，林業
B－漁業
C－鉱業，採石業，砂利採取業
D06－総合工事業
D07－職別工事業（設備工事業を除く）
D08－設備工事業
E09－食料品製造業
E10－飲料・たばこ・飼料製造業
E11－繊維工業
E12－木材・木製品製造業（家具を除く）
E13－家具・装備品製造業
E14－パルプ・紙・紙加工品製造業
E15－印刷・同関連業
E16－化学工業
E17－石油製品・石炭製品製造業
E18－プラスチック製品製造業（別掲を除く）
E19－ゴム製品製造業
E20－なめし皮・同製品・毛皮製造業
E21－窯業・土石製品製造業
E22－鉄鋼業
E23－非鉄金属製造業
E24－金属製品製造業
E25－はん用機械器具製造業
E26－生産用機械器具製造業
E27－業務用機械器具製造業
E28－電子部品・デバイス・電子回路製造業
E29－電気機械器具製造業
E30－情報通信機械器具製造業
E31－輸送用機械器具製造業
E32－その他の製造業
F33－電気業
F34－ガス業
F35－熱供給業
F36－水道業
G－情報通信業
H－運輸業，郵便業
I－卸売業，小売業
J－金融業，保険業
K－不動産業，物品賃貸業
L－学術研究，専門・技術サービス業
M－宿泊業，飲食サービス業
N－生活関連サービス業，娯楽業
O－教育，学習支援業
P－医療，福祉
Q－複合サービス事業
R－サービス業（他に分類されないもの）
S－公務（他に分類されるものを除く）
T－分類不能の産業

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		排　出　量	75.6　t	398.4　t	0.7　t	97.18　t	193.2　t	6131.7　t	179.1　t	40.2　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		排　出　量	75.6　t	398.4　t	0.7　t	97.18　t	193.2　t	6131.7　t	179.1　t	40.2　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
	全処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	再生利用業者への処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有
	全処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	再生利用業者への処理委託量	75.6 t	398.4 t	0.7 t	97.18 t	193.2 t	6131.7 t	179.1 t	40.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 20 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104-8281
住 所　東京都中央区新川1-17-22
氏 名　松井建設株式会社東京支店
常務執行役員支店長　金子勇
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-3553-1172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	松井建設株式会社東京支店
事業場の所在地	東京都中央区新川1-17-22
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

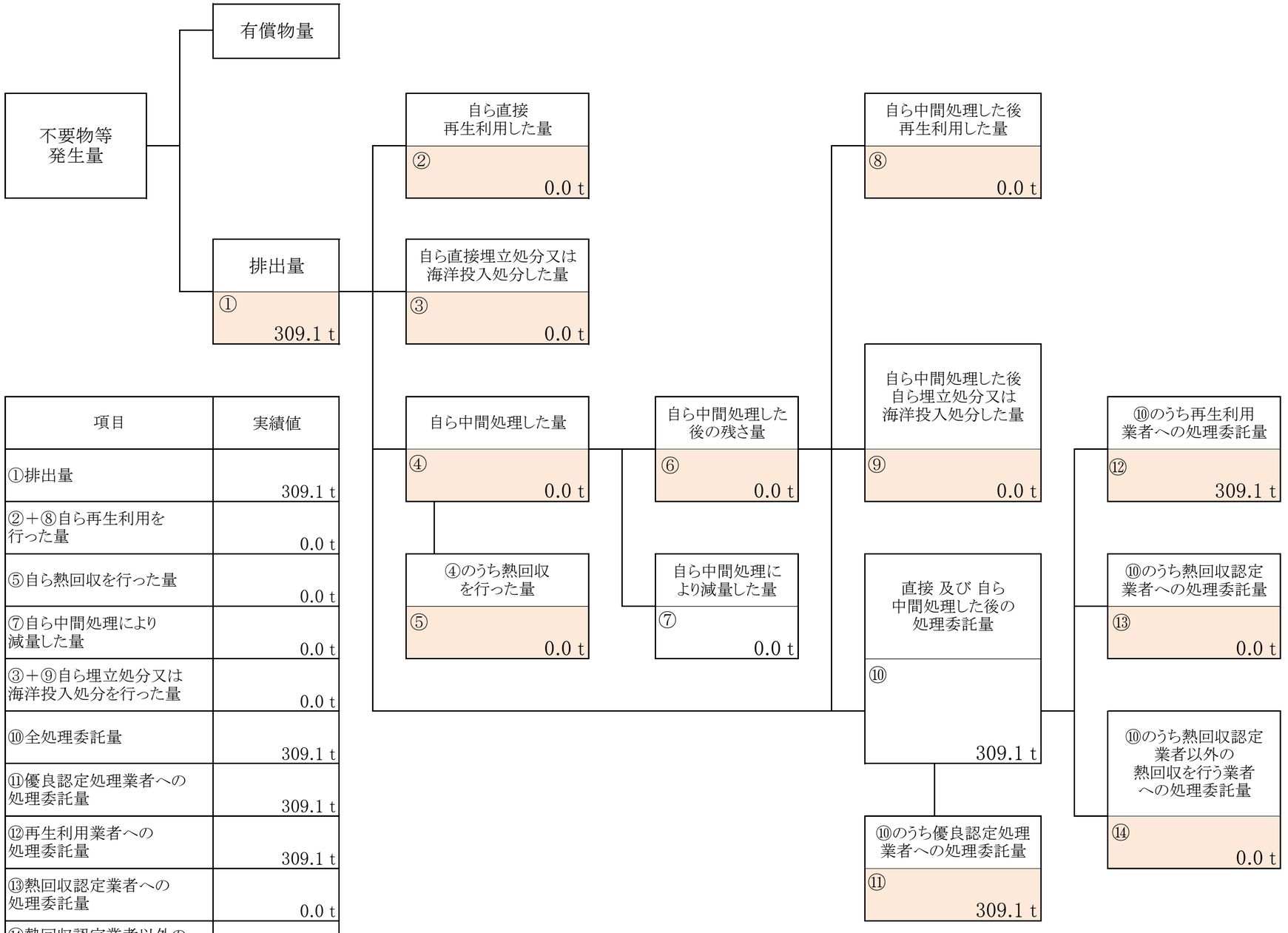
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3086.1 t	全処理委託量	3086.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3086.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3086.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設汚泥**）

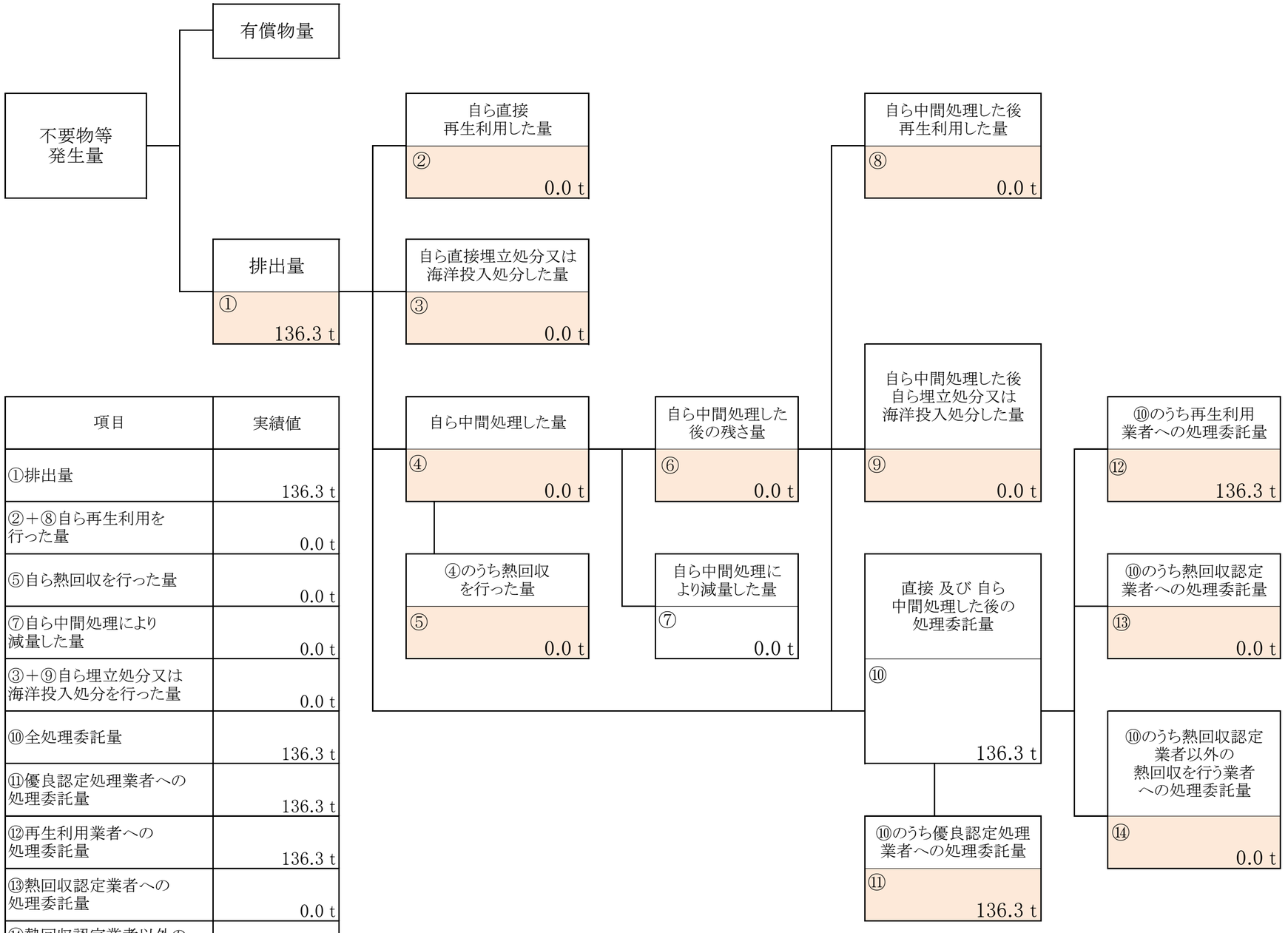


項目	実績値
①排出量	309.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	309.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	309.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	309.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）



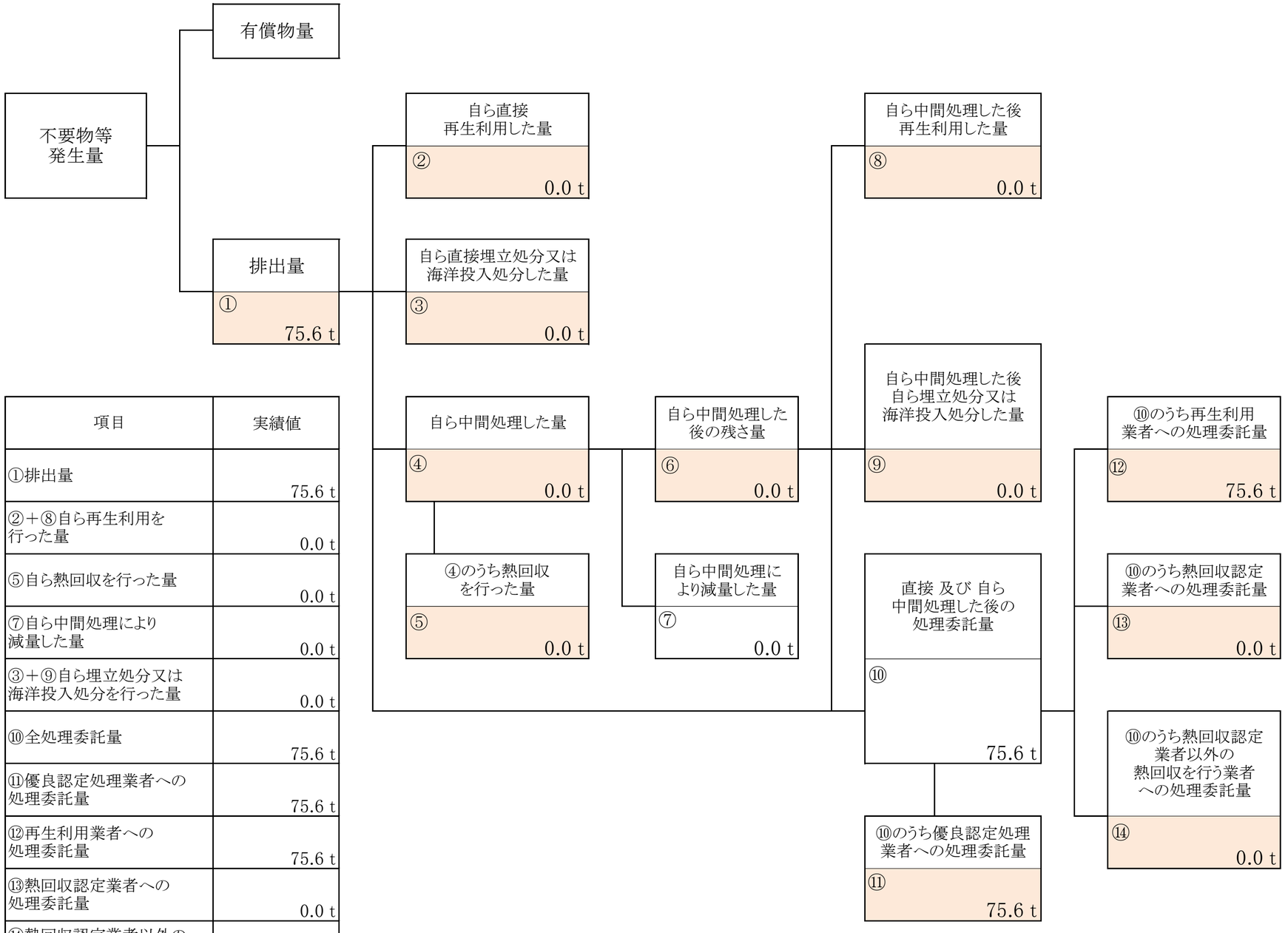
項目	実績値
①排出量	136.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	136.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	136.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	136.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式７

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

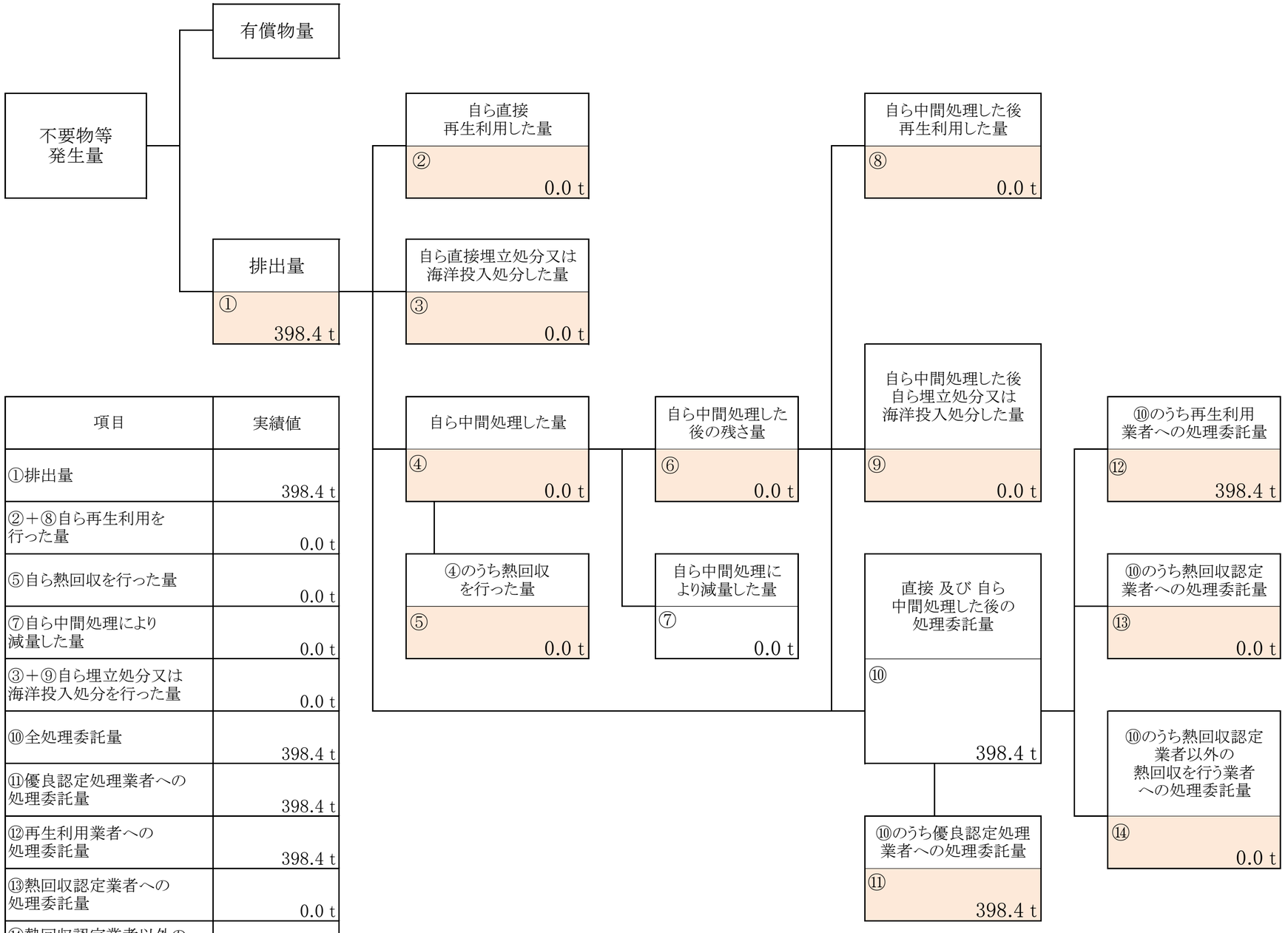


項目	実績値
①排出量	75.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	75.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	75.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）



項目	実績値
①排出量	398.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	398.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	398.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	398.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

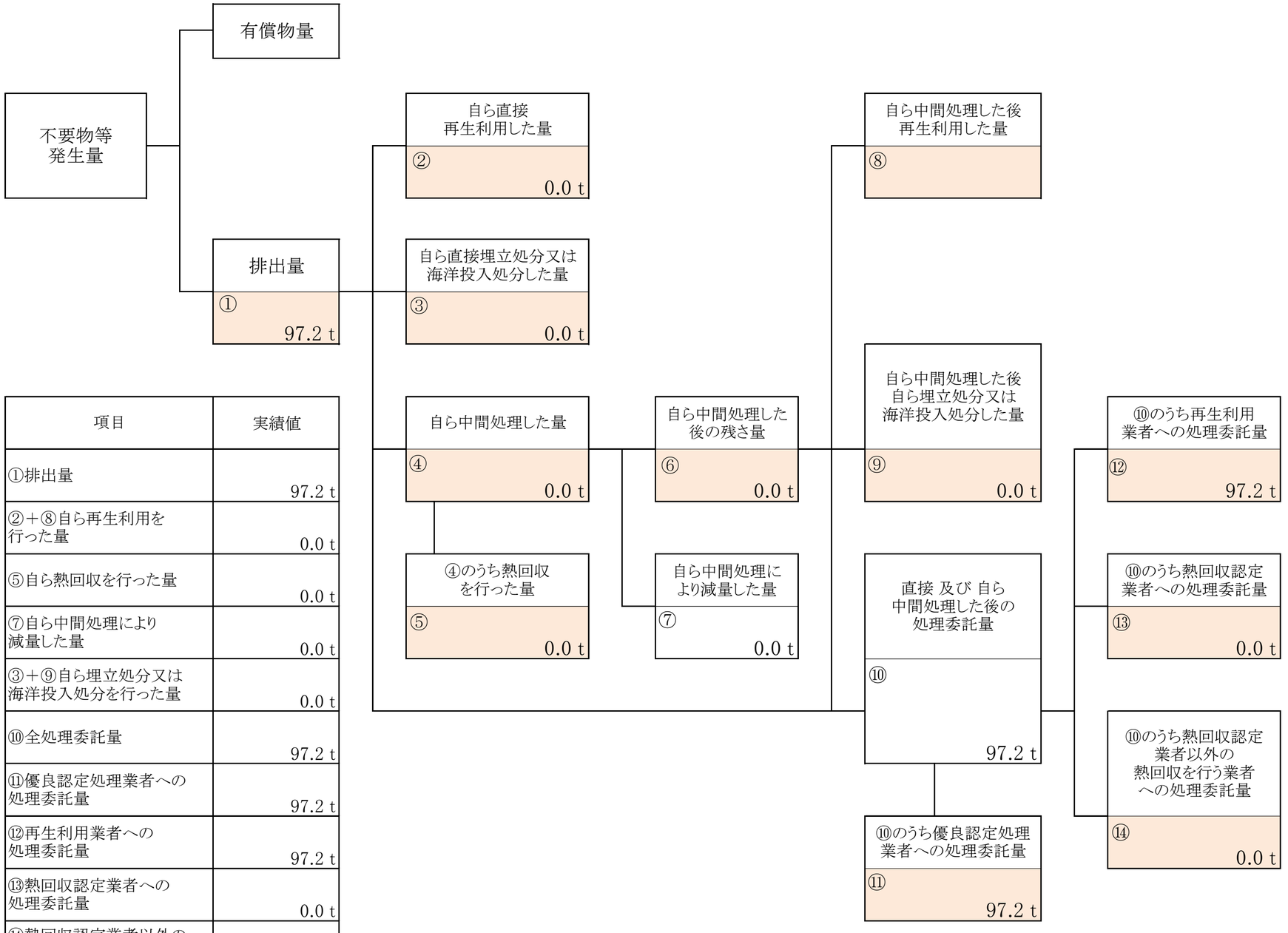
（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

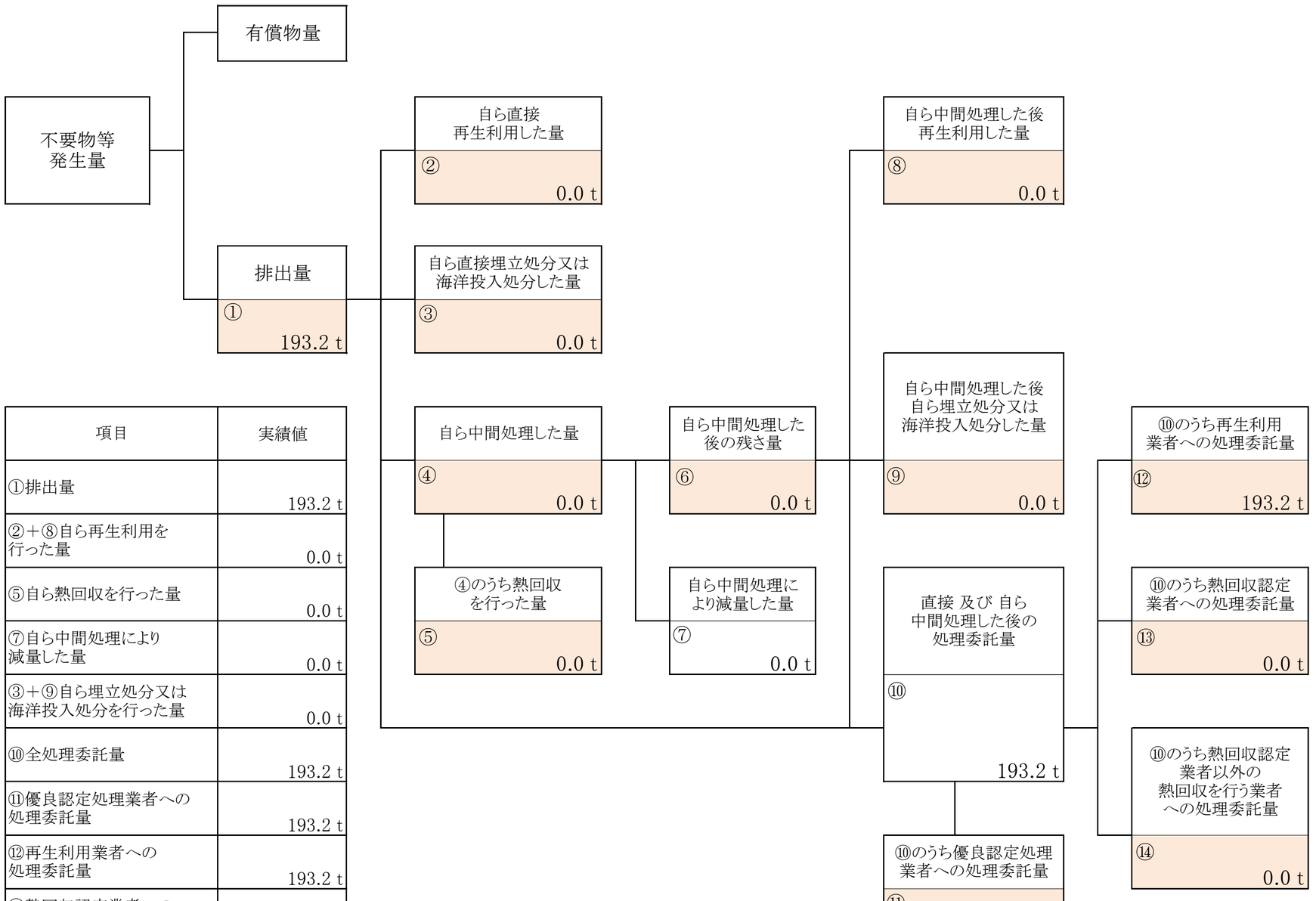


項目	実績値
①排出量	97.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	97.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	97.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	97.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず**）

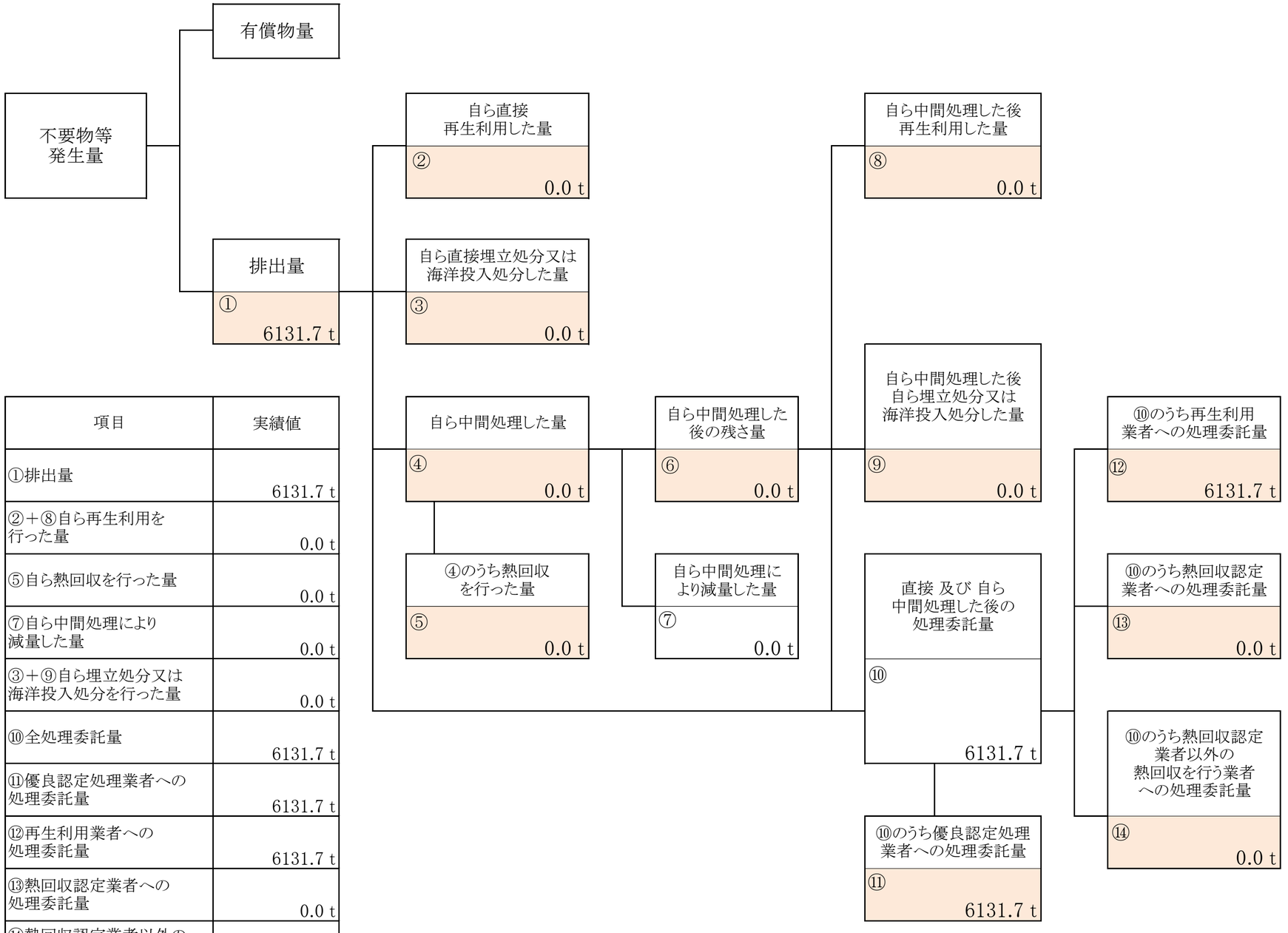


項目	実績値
①排出量	193.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	193.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	193.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	193.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

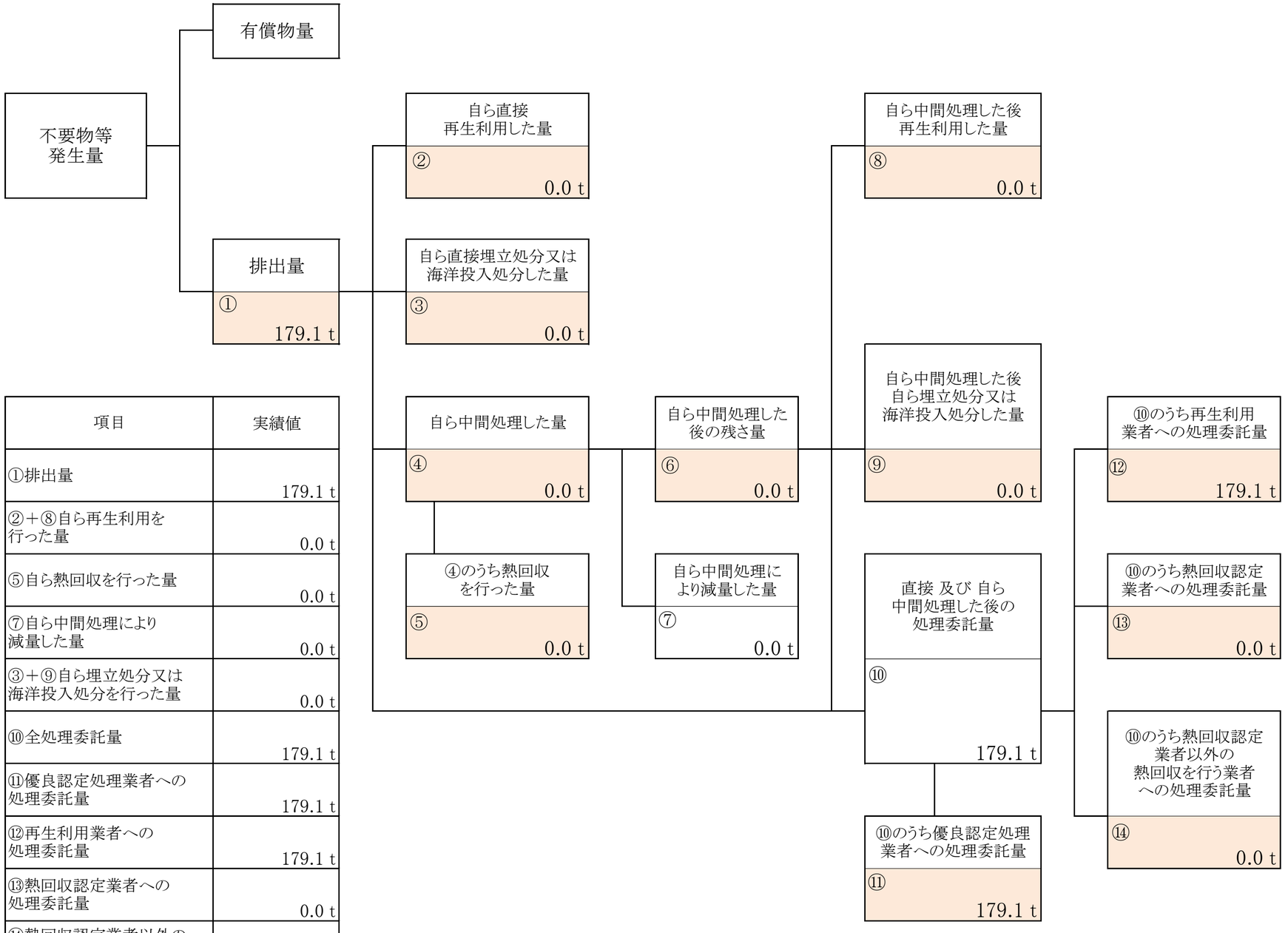


項目	実績値
①排出量	6131.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6131.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6131.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6131.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

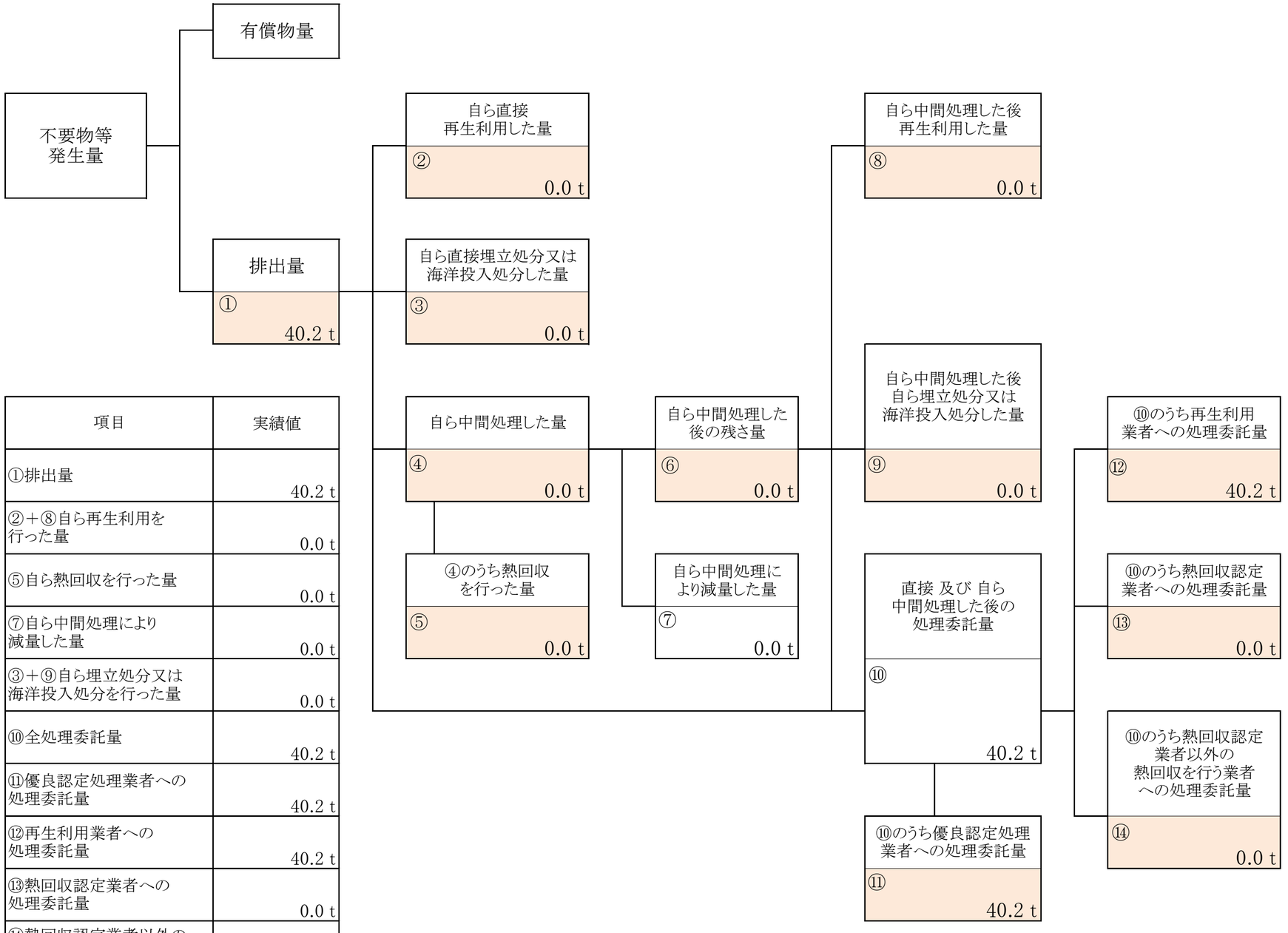


項目	実績値
①排出量	179.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	179.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	179.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	179.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有**）



項目	実績値
①排出量	40.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　６月６日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒230-0051

住　所　神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央４－３８－３５

氏　名　株式会社　松尾工務店 代表取締役 松本文明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　045-511-0023

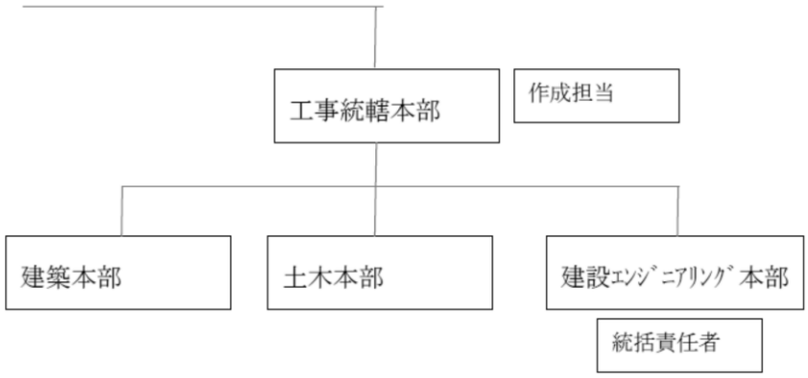
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　松尾工務店　千葉支店
事業場の所在地	千葉県市原市白金町2-7-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	総合工事業
②　事業の規模	建築工事完成高：１５３，２４４万円
③　従業員数	全体：310名　当該事業所：８名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：固化⇒再資源化 ガラス陶器類：溶融再資源化 紙屑：圧縮、再資源化 木くず：破砕、再資源化 がれき類：破砕、再資源化

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
排出量	918 t	16 t

（これまでに実施した取組）
・分別の徹底
・材料切断時に端材の発生を少なくする
・搬入材料の梱包の簡素化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
排出量	643 t	11 t

（今後実施する予定の取組）
・上記取り取り組みの継続
・SDGsの取り組み推進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
種類：金属くず、木くず、廃プラ、廃石膏ボード、段ボール等
夫々専用のコンテナを設置している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
当面は上記の分別の徹底と混合廃棄物を削減させるために
社員及び作業員への環境教育を徹底させる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
全処理委託量	918 t	16 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	918 t	16 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・分別の徹底
・材料裁断時の端材発生抑制
・搬入材料の過剰梱包の見直し

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>
【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類＿</td><td>汚泥</td><td>廃プラ</td></tr>
<tr><td>全処理委託量＿</td><td>643 t</td><td>11 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>643 t</td><td>11 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・上記の取り組みを徹底させ、廃棄物の削減と再資源化の向上を図る。
・SDGｓの取り組み推進
</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		排　出　量	1　t	19　t	1　t	100　t	329　t	25　t	41　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		排　出　量	0.7　t	13　t	0.7　t	70　t	230　t	17　t	29　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
	全処理委託量	1 t	19 t	1 t	100 t	329 t	25 t	41 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	19 t	1 t	100 t	329 t	25 t	41 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	ｺﾝｸﾘｰﾄ、陶器	がれき	建設混合廃棄物	廃アルカリ	
	全処理委託量	0.7 t	13 t	0.7 t	70 t	230 t	17 t	29 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.7 t	13 t	0.7 t	70 t	230 t	17 t	29 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月2日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都千代田区三番町2番地

氏 名 株式会社 松村組 東京本店

執行役員本店長 瀧川 和志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5210-6155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 松村組 東京本店
事業場の所在地	東京都千代田区三番町2番地
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

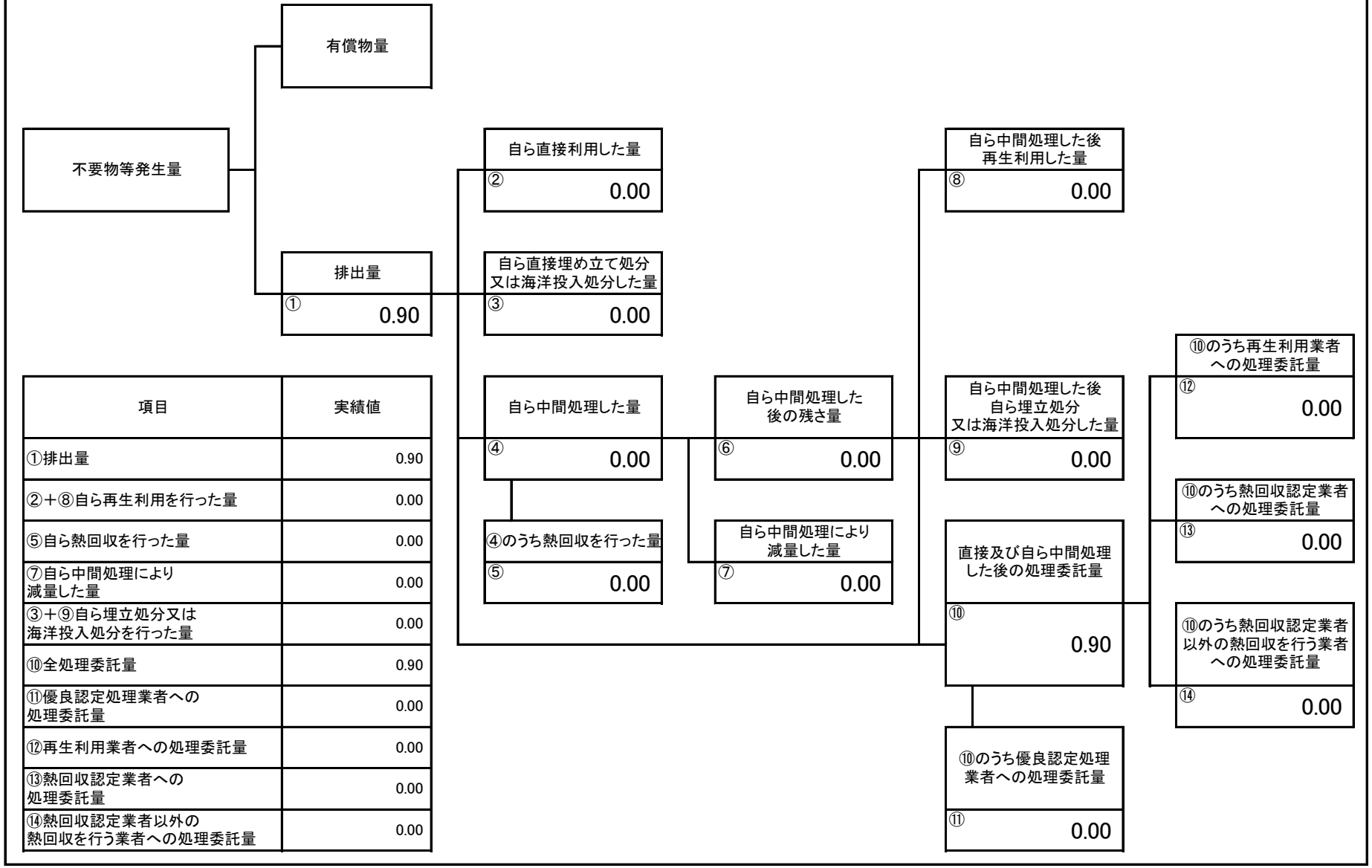
項目	目標値	項目	目標値
排出量	9,015.55 t	全処理委託量	9,015.55 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,008.02 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	8,390.74 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類廃油　　）

（単位：トン）

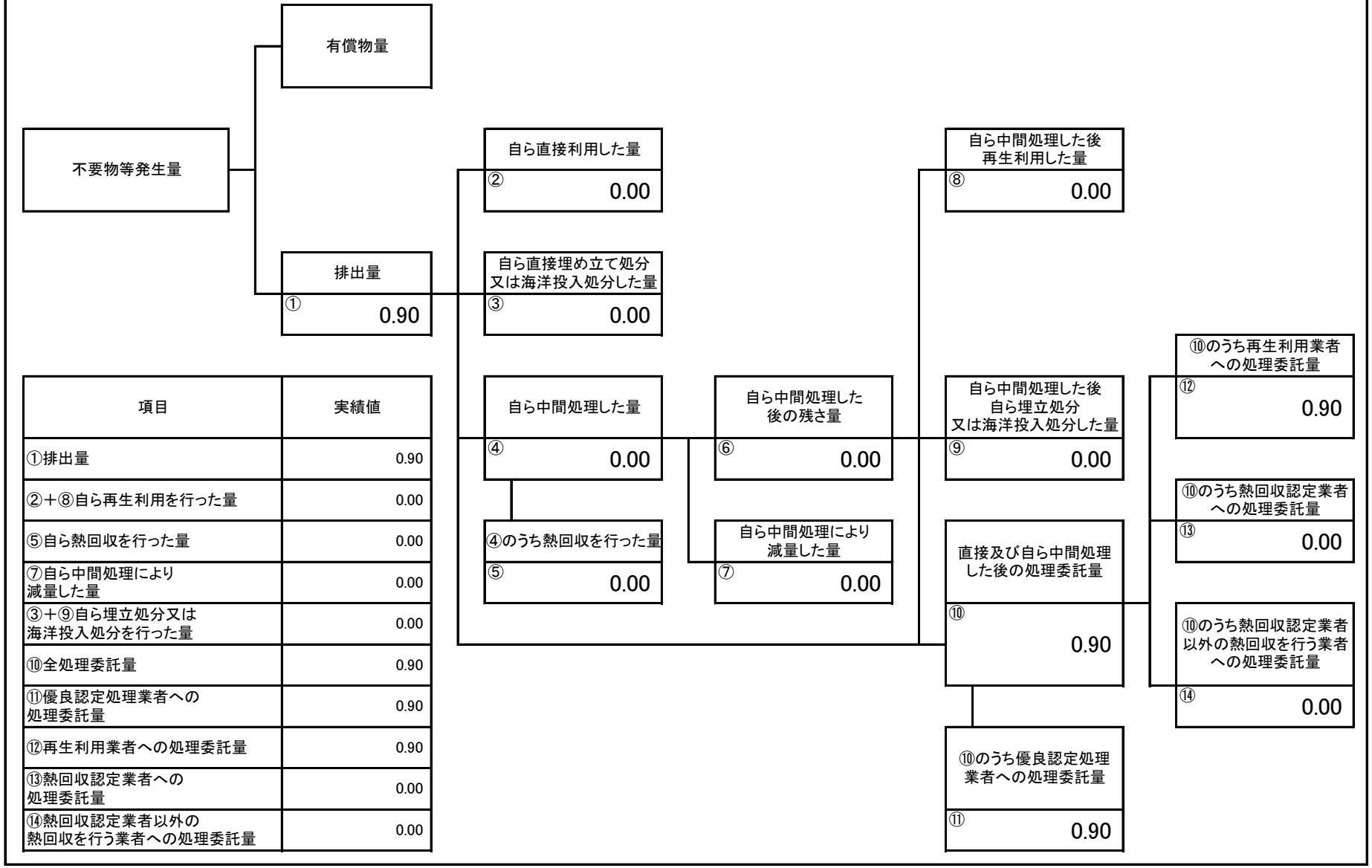


項目	実績値
①排出量	0.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 ）

（単位：トン）

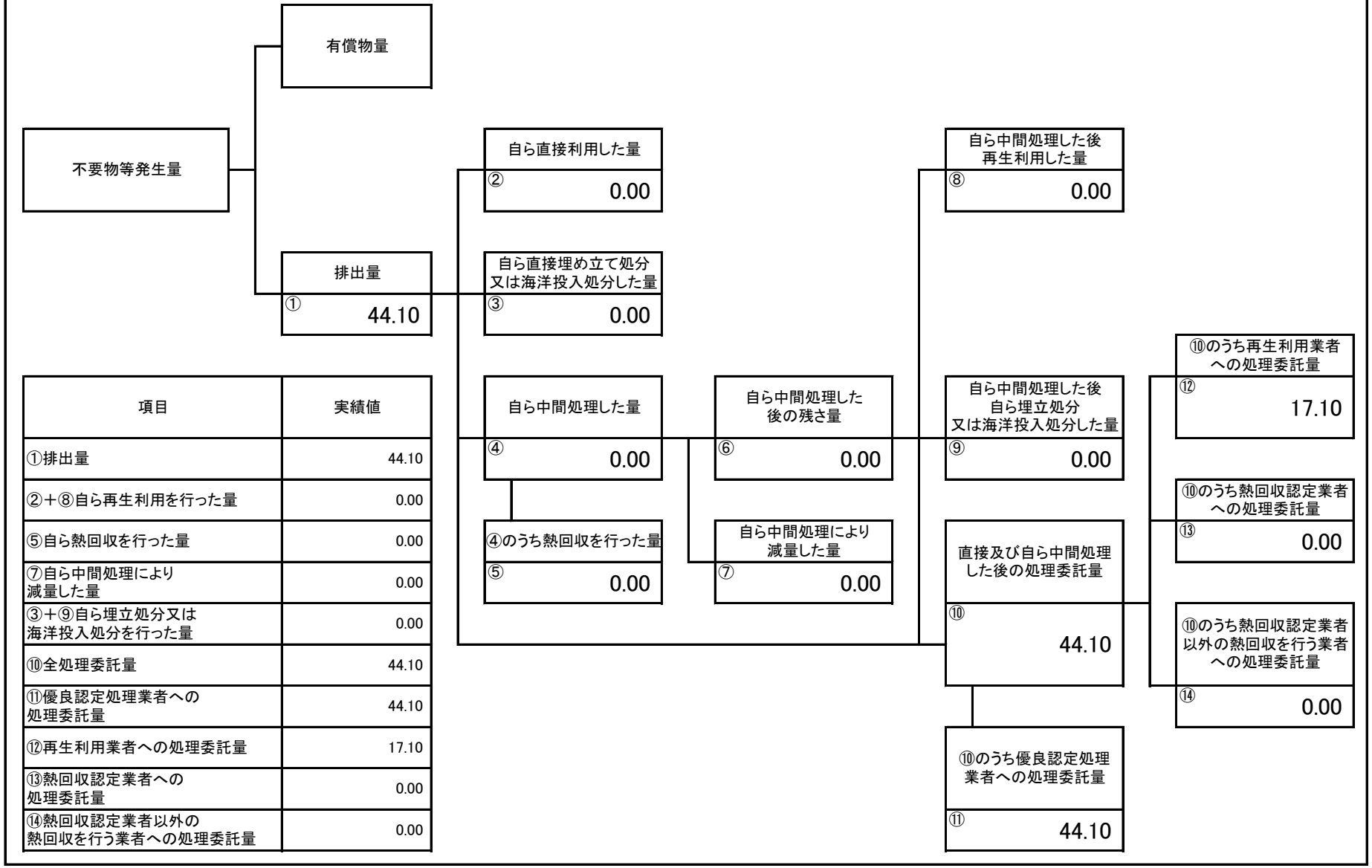


項目	実績値
①排出量	0.90
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.90
⑫再生利用業者への処理委託量	0.90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず　　）

（単位：トン）

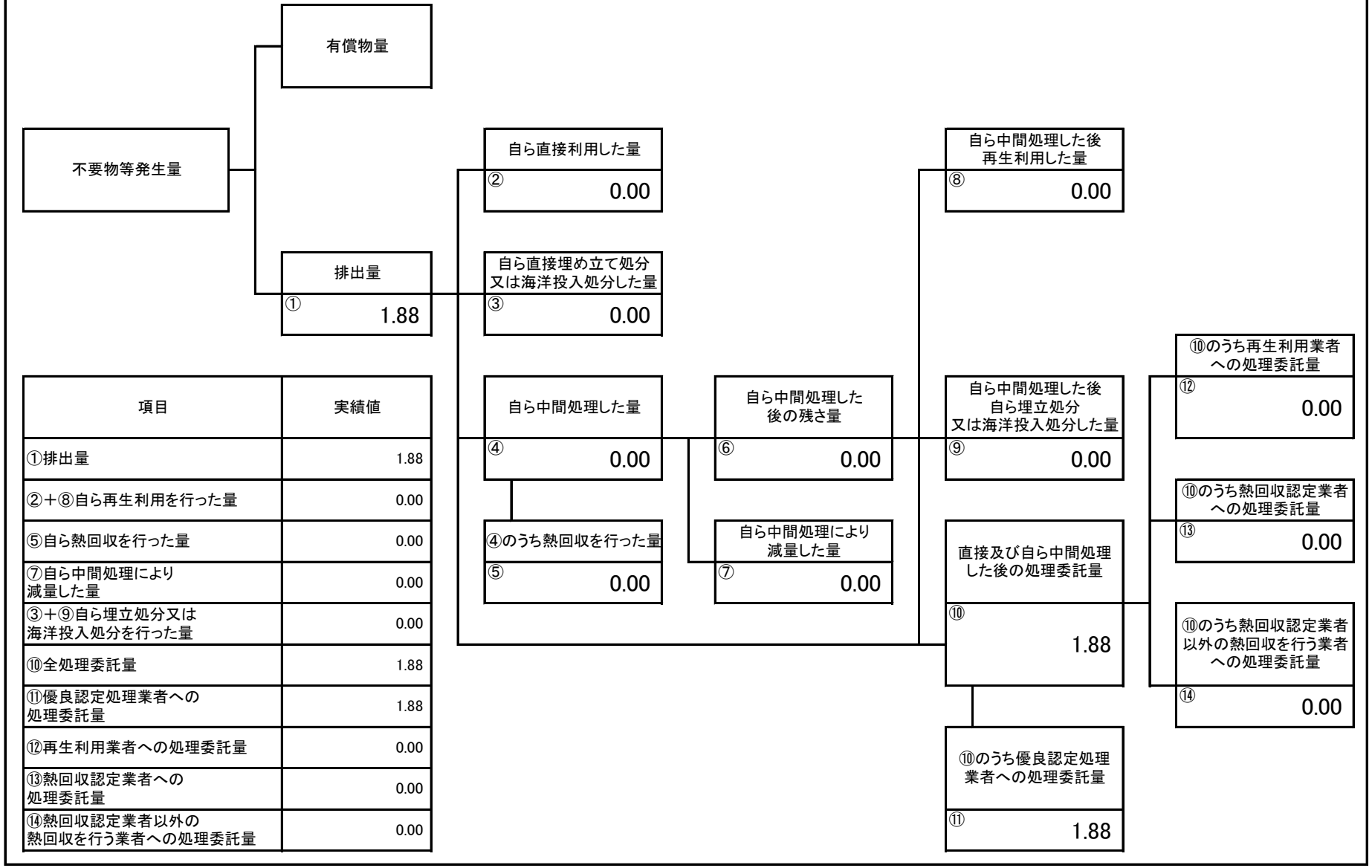


項目	実績値
①排出量	44.10
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	44.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.10
⑫再生利用業者への処理委託量	17.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）

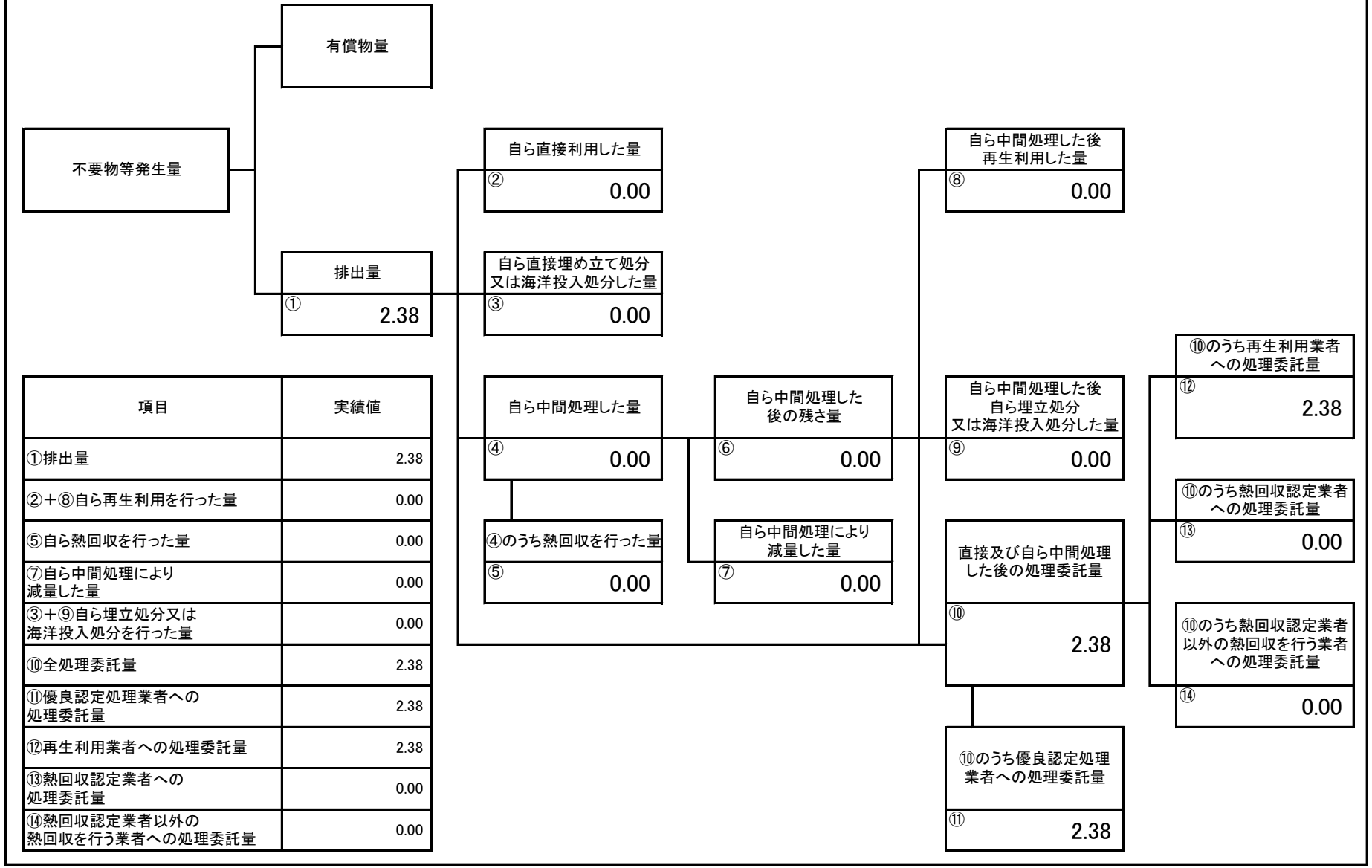


項目	実績値
①排出量	1.88
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.88
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.88
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃石膏ボード ）

（単位：トン）

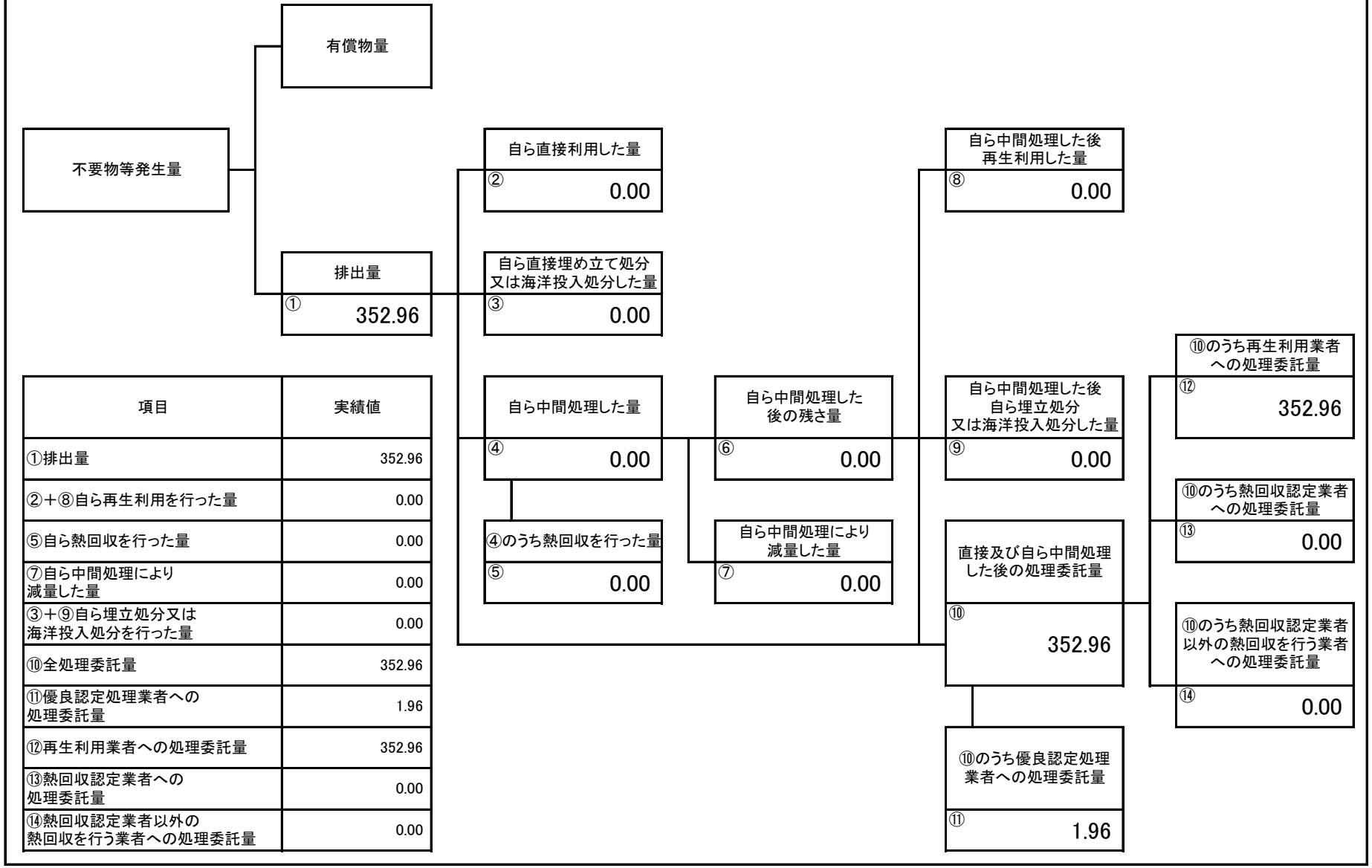


項目	実績値
①排出量	2.38
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.38
⑫再生利用業者への処理委託量	2.38
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）

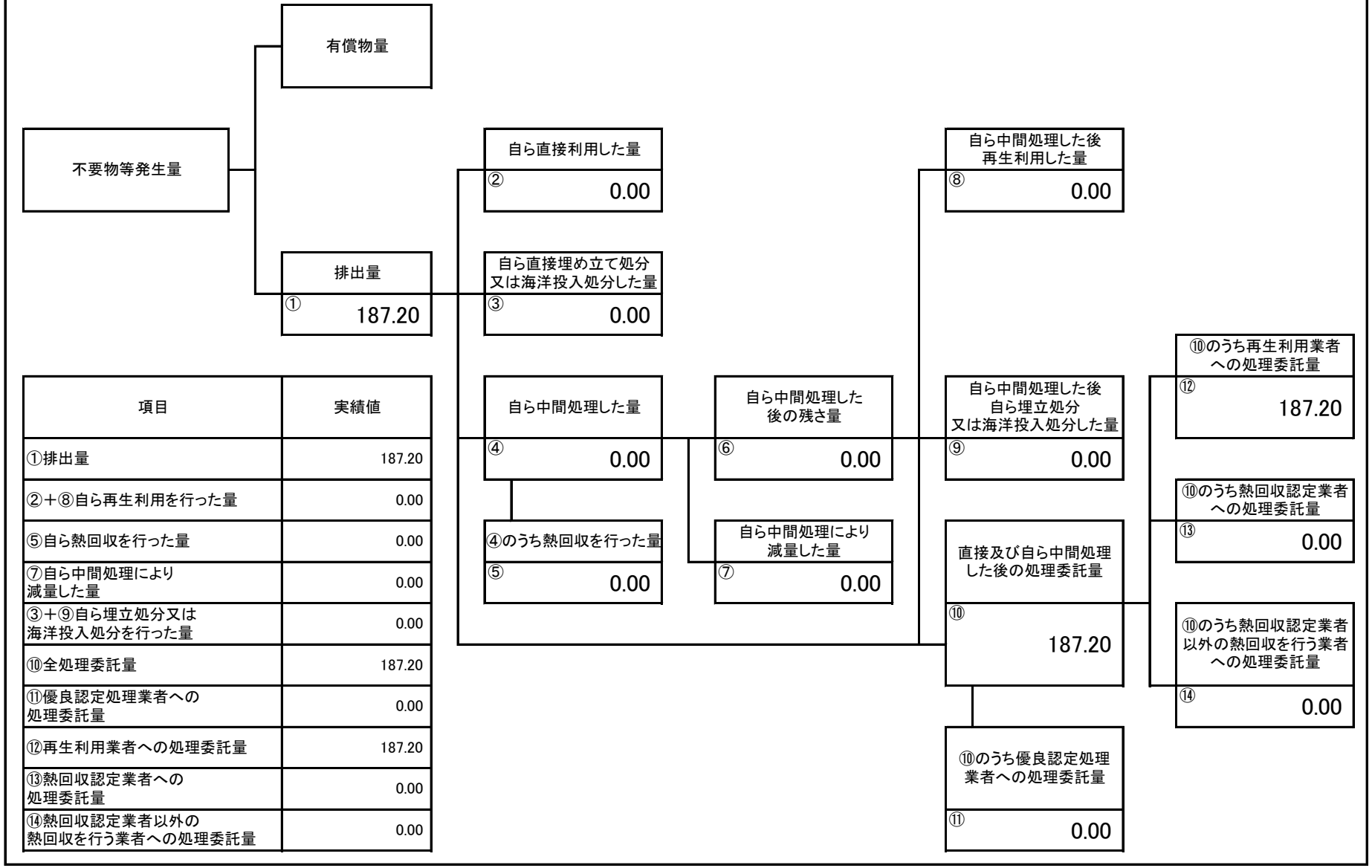


項目	実績値
①排出量	352.96
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	352.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.96
⑫再生利用業者への処理委託量	352.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類アス・コン片　　）

（単位：トン）

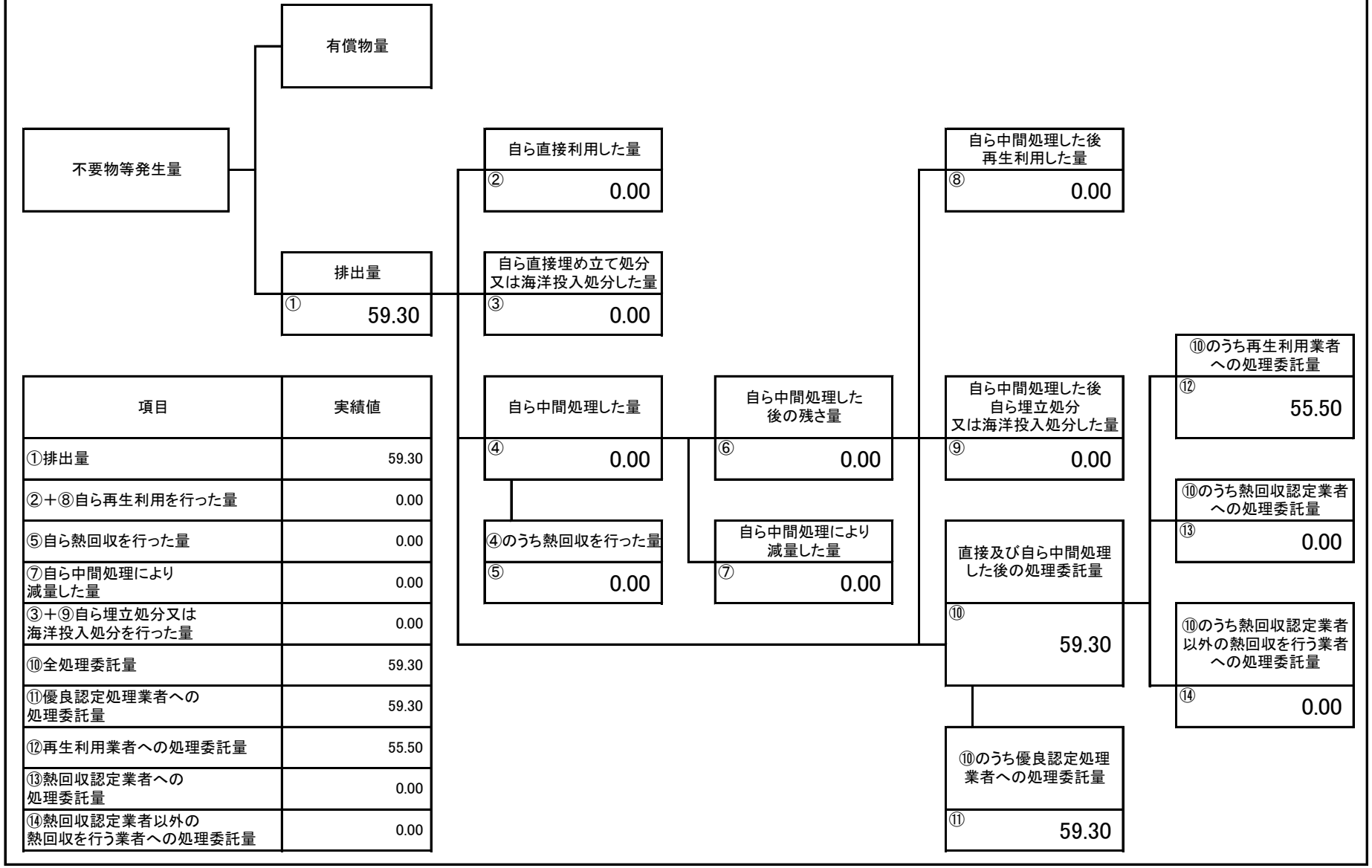


項目	実績値
①排出量	187.20
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	187.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	187.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））

（単位：トン）

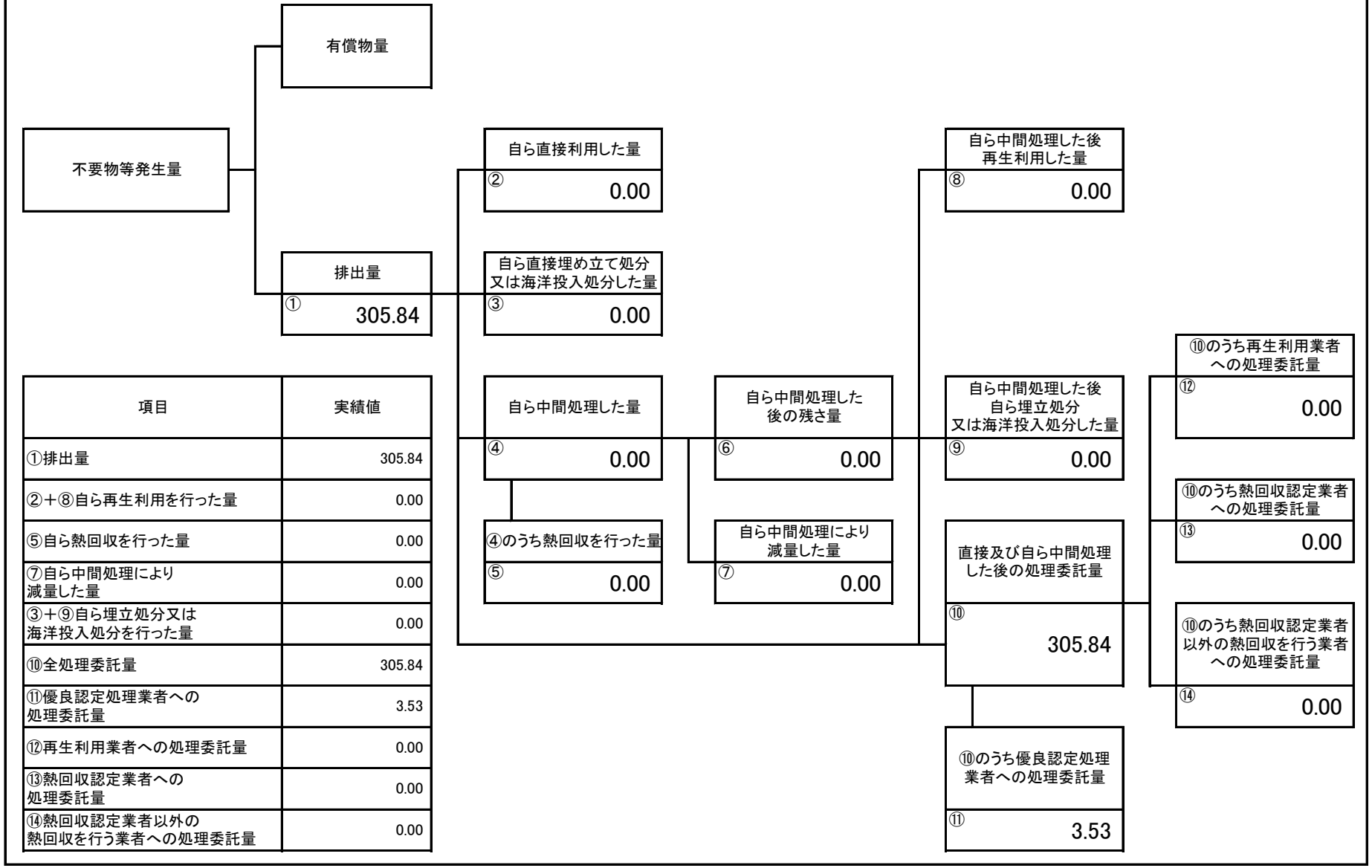


項目	実績値
①排出量	59.30
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	59.30
⑪優良認定処理業者への処理委託量	59.30
⑫再生利用業者への処理委託量	55.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類石綿含有産業廃棄物　）

（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	305.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	305.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.53
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒110-0015

住　所　東京都台東区東上野3丁目13番6号 MTビル5階

氏　名　丸運建設株式会社 東京支社 支社長 齋藤幸市

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　025-245-3185

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸運建設株式会社　東京支社
事業場の所在地	千葉県八千代市島田台地内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	請負完成工事高 :12億3880万円
③ 従業員数	4人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

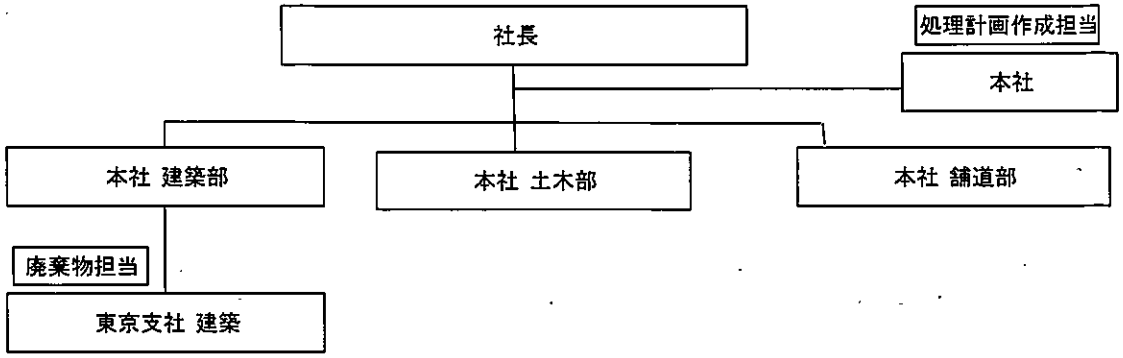
廃棄物の種類	処理方法
コンクリートがら	中間処理→再利用
アスコンがら	中間処理→再利用
その他がれき類	中間処理→再利用
ガラスくず・陶磁器くず	中間処理→埋立
廃プラスチック類	中間処理→埋立
金属くず	中間処理→再利用
建設汚泥	中間処理→再利用
廃石膏ボード	中間処理→再利用
繊維くず	中間処理→焼却

廃棄物の種類	処理方法
木くず	中間処理→再利用
	中間処理→焼却
紙くず	中間処理→焼却
	中間処理→再利用
混合	中間処理→埋立
	中間処理→再利用
廃石綿等	中間処理→埋立
廃電気機械器具	中間処理→埋立

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
排出量	2730.8 t	35.52 t

（これまでに実施した取組）
既存工場解体工事を施工したため、上記の様なコンクリートがら、(石綿)がれき類の産業廃棄物を大量に排出した。(解体工事は完了)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
排出量	10 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後は新築工事のみの施工なので、産業廃棄物の多量排出予定なし。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再資源化施設への搬入を推進
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従来の取り組みを継続･遵守して環境に負荷がかからないようにする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
全処理委託量	2730.8 t	35.52 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	35.52 t
再生利用業者への処理委託量	2730.8 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類
全処理委託量	10 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	10 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

※事務処理欄

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	管理型建設混合廃棄物				合計
		排出量	2730.8 t	35.52 t	48 t	3.9 t	t	t	t	2818.22 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
		排出量	10 t	0 t	0 t	10 t	t	t	t	20 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
	全処理委託量	2730.8 t	35.52 t	48 t	3.9 t	t	t	t	2818.22 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	35.52 t	0 t	3.9 t	t	t	t	39.42 t
	再生利用業者への処理委託量	2730.8 t	0 t	48 t	0 t	t	t	t	2778.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	(石綿)がれき類	コンクリート破片	理型建設混合廃棄				合計
	全処理委託量	10 t	0 t	0 t	10 t	t	t	t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	10 t	t	t	t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年4月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-0056

住　所　千葉県市原市五井５６９８番地５

法人名　株式会社マルコウ中村組

代表者　中村 照文

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-22-1954

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：株式会社マルコウ中村組
事業場の所在地	〒290-0056 千葉県市原市五井5698-5
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　　中分類：　総合工事業
②事業の規模	売上高：14億5900万
③従業員数	43名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	アスコン・コンがら→中間処理→再生利用

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

代表者→建築・土木部→廃棄物担当者・処理計画作成担当

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
排出量	1793 t	t

（これまでに実施した取組）

年度や現場規模によって発生する量が変わる為、産出増減に関しては致し方ない部分はあるが、基本的に90%以上再利用処理を行っている。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
排出量	1500 t	t

（今後実施する予定の取組）

計画的な資材搬入を行い、余剰材による産業廃棄物の排出を減らす。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別に関するマニュアルや研修、教育を行っている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

特になし

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	アスファルト殻	
全処理委託量	1793 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	1793 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

ほぼ全てのアスファルトがらにおいて、再生利用が可能な委託業者に処理を委託している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>アスファルト殻</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1500 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1500 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き再生利用可能な委託業者に処理を委託し、90%以上のリサイクル率を維持する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
本年度導入を行い、実施できる現場から順次導入を行っていく。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

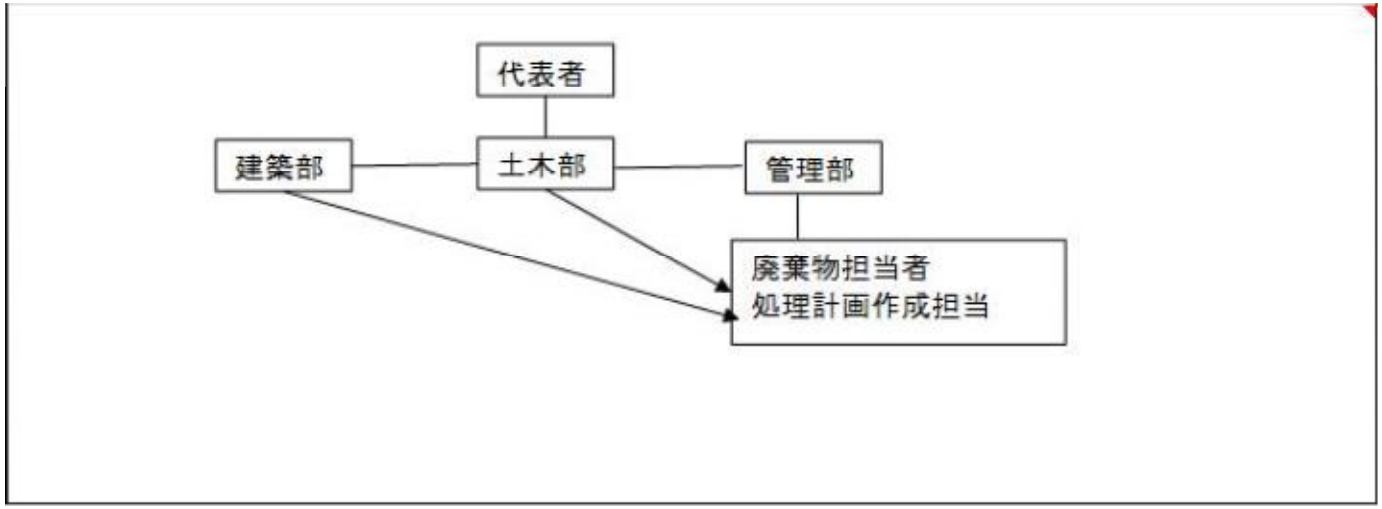
４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。


代表者
建築部
土木部
管理部
廃棄物担当者
処理計画作成担当

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　4月　10日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-0021

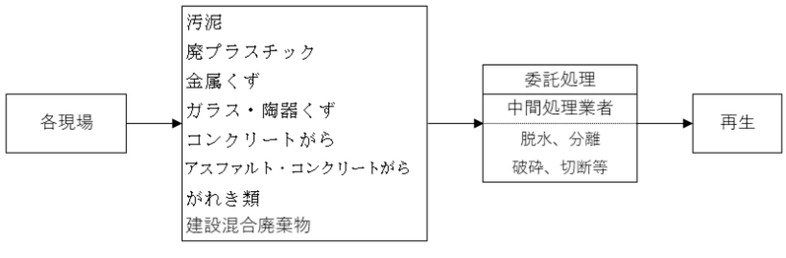
住　所　千葉県市原市山田橋2丁目3番地18

氏　名　株式会社帝設備

代表取締役　齋藤 俊輔

電話番号　0436-43-1252

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社帝設備
事業場の所在地	千葉県市原市山田橋2丁目3番地18
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D08－設備工事業
②　事業の規模	完成工事高　2,300,121千円
③　従業員数	27名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	※別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・工事方法の改善 ・実寸発注の実施 ・余剰材の引き取り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿	※別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・梱包材の簡素化。 ・安全衛生協議会等で産業廃棄物の抑制案を検討・実施（下請業者含む）。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再生利用可能な紙くず（ダンボール）、廃プラスチック、コンクリート、アスファルトの分別。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 紙くず（ダンボール）、廃プラスチック、コンクリート、アスファルト等、他項目についても再生利用できる可能性のあるものはできる限り細かく分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類＿	※別紙集計表の通り	
	全処理委託量＿	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・優良認定処理業者、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_	※別紙集計表の通り	
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物の削減を意識して工事に取り組む。 ・継続して優良認定処理業社、再生利用業者へ処理委託を優先的に依頼する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		排　出　量	30.0　t	3.6　t	148.9　t	215.5　t	1731.9　t	2150.9　t	41.6　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		排　出　量	30.0　t	4.3　t	180.0　t	210.0　t	1800.0　t	2100.0　t	70.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	―　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t	― t	― t	― t	― t	― t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	30.0 t	3.6 t	148.9 t	215.5 t	1731.9 t	2150.9 t	41.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	3.6 t	148.9 t	t	t	t	41.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	30.0 t	t	t	215.5 t	1731.9 t	2150.9 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属くず	コンクリートがら	アスファルト・コンクリートがら	がれき類	建設混合廃棄物	
	全処理委託量	30.0 t	4.3 t	180.0 t	210.0 t	1800.0 t	2100.0 t	70.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	4.3 t	180.0 t	t	t	t	70.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	30.0 t	t	t	210.0 t	1800.0 t	2100.0 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　4月　10日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-0021
住　所　千葉県市原市山田橋2丁目3番地18
氏　名　株式会社帝設備
代表取締役　齋藤 俊輔
電話番号 0436-43-1252

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社帝設備
事業場の所在地	千葉県市原市山田橋2丁目3番地18
事業の種類	D08－設備工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

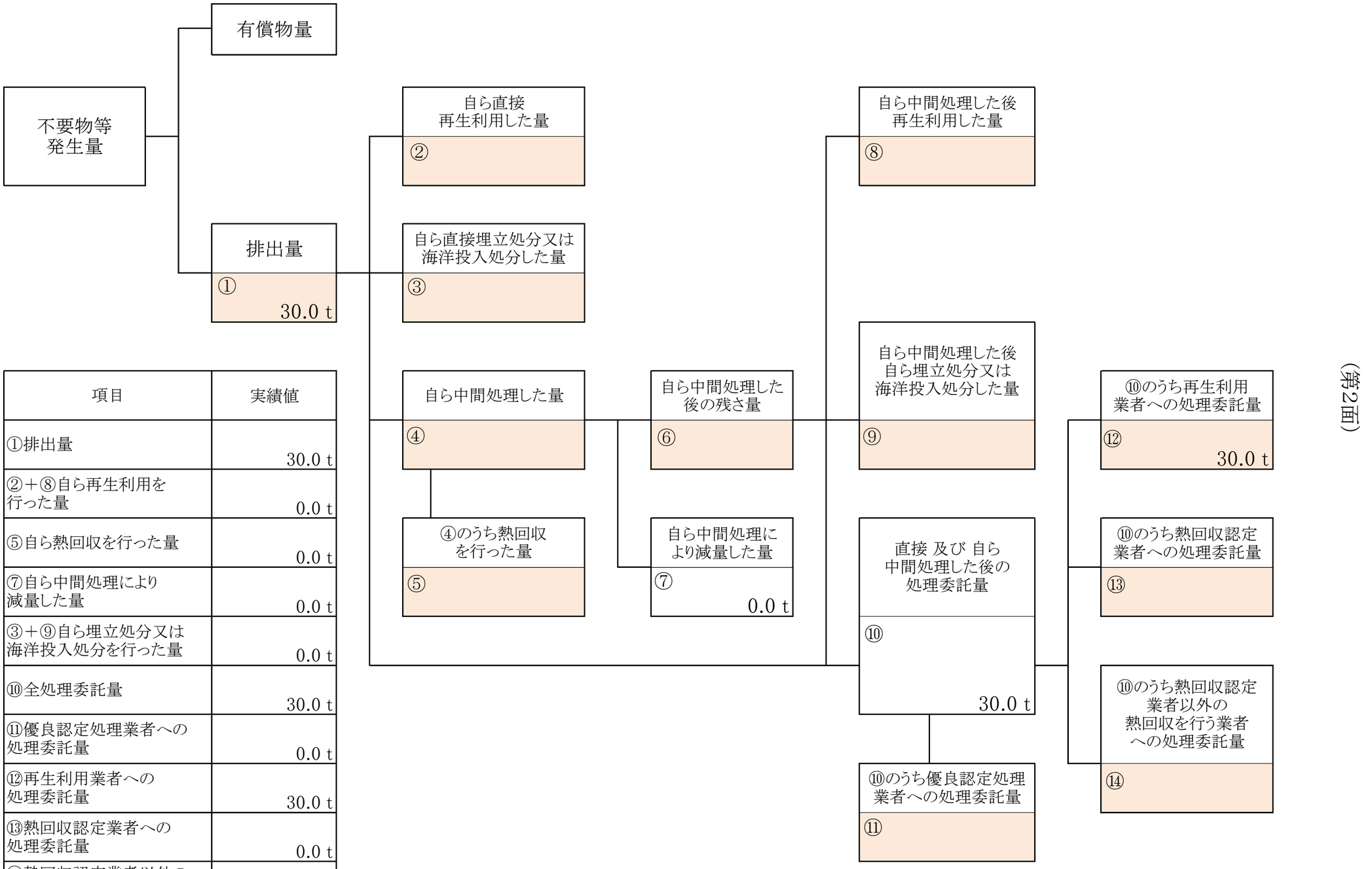
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3981.5 t	全処理委託量	3981.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	66.5 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3915.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

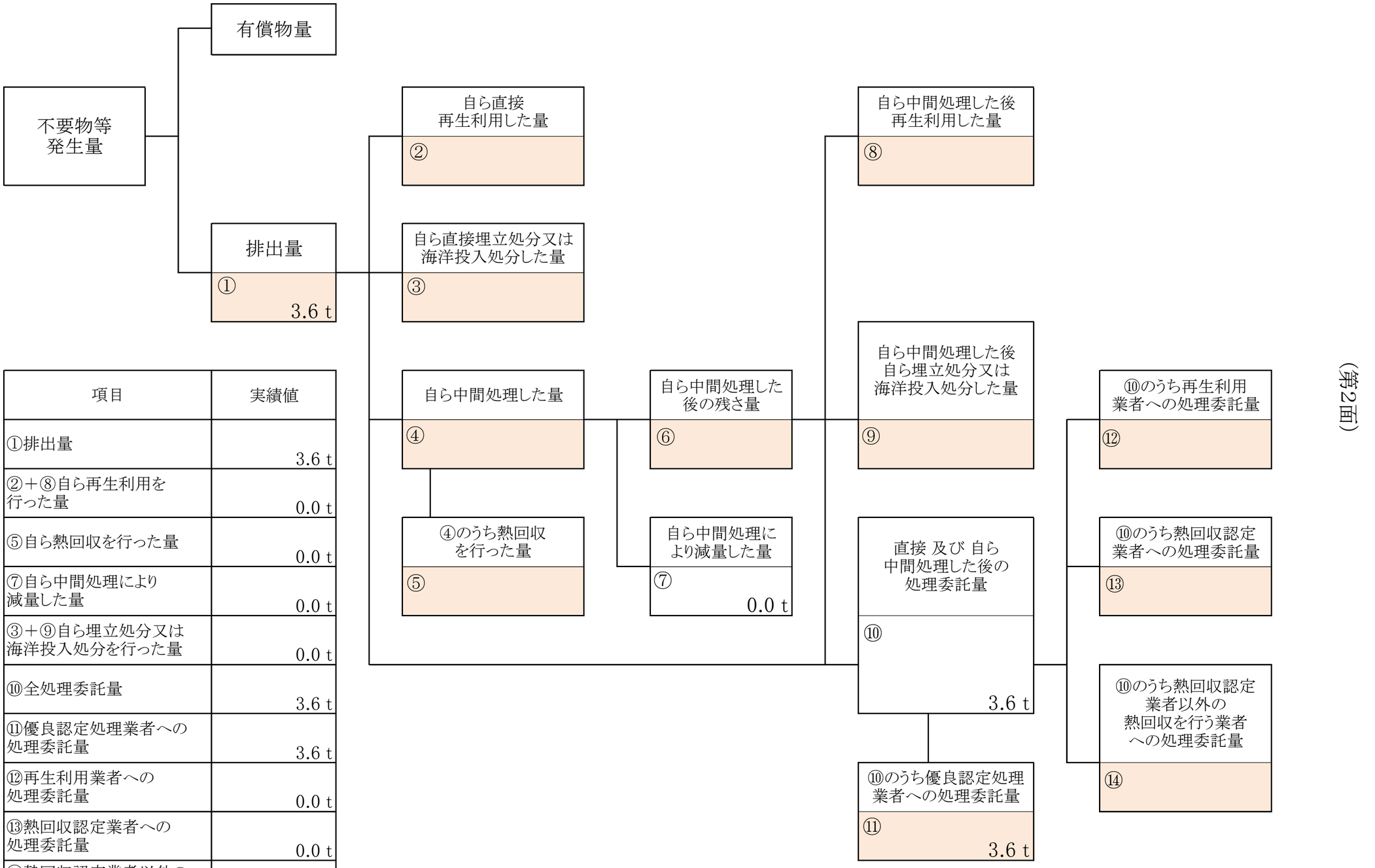


項目	実績値
①排出量	30.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	30.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

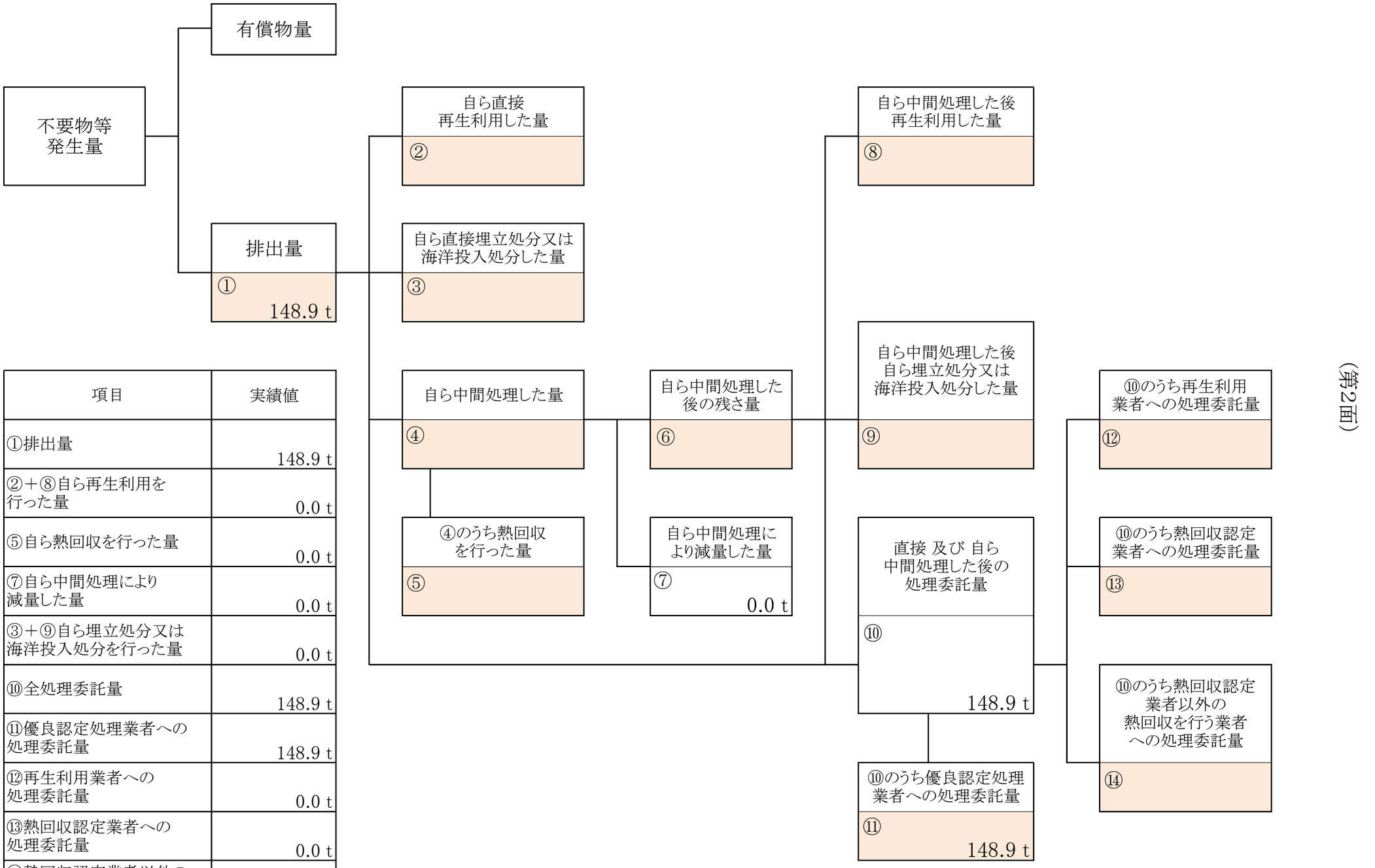


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

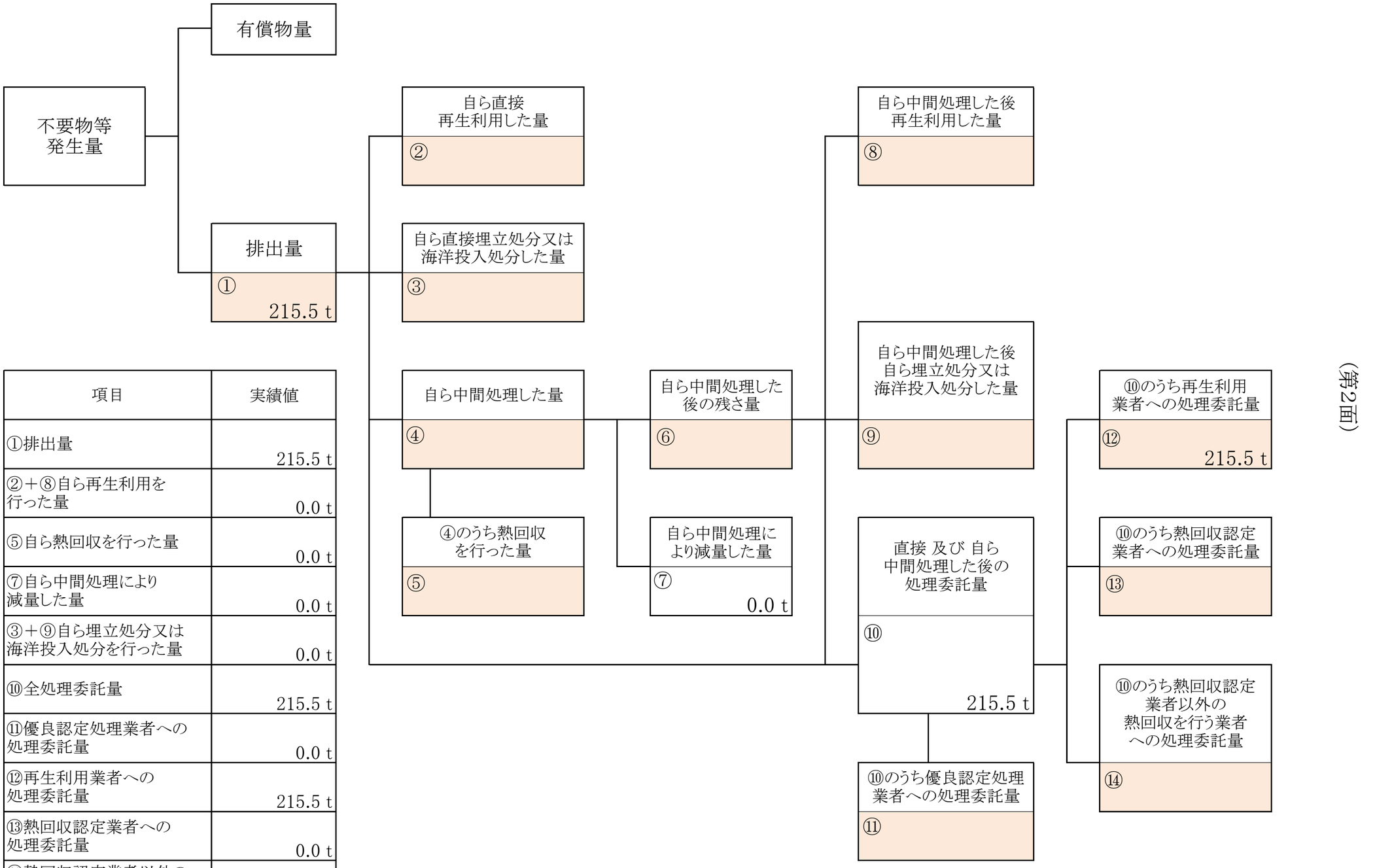


項目	実績値
①排出量	148.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	148.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	148.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

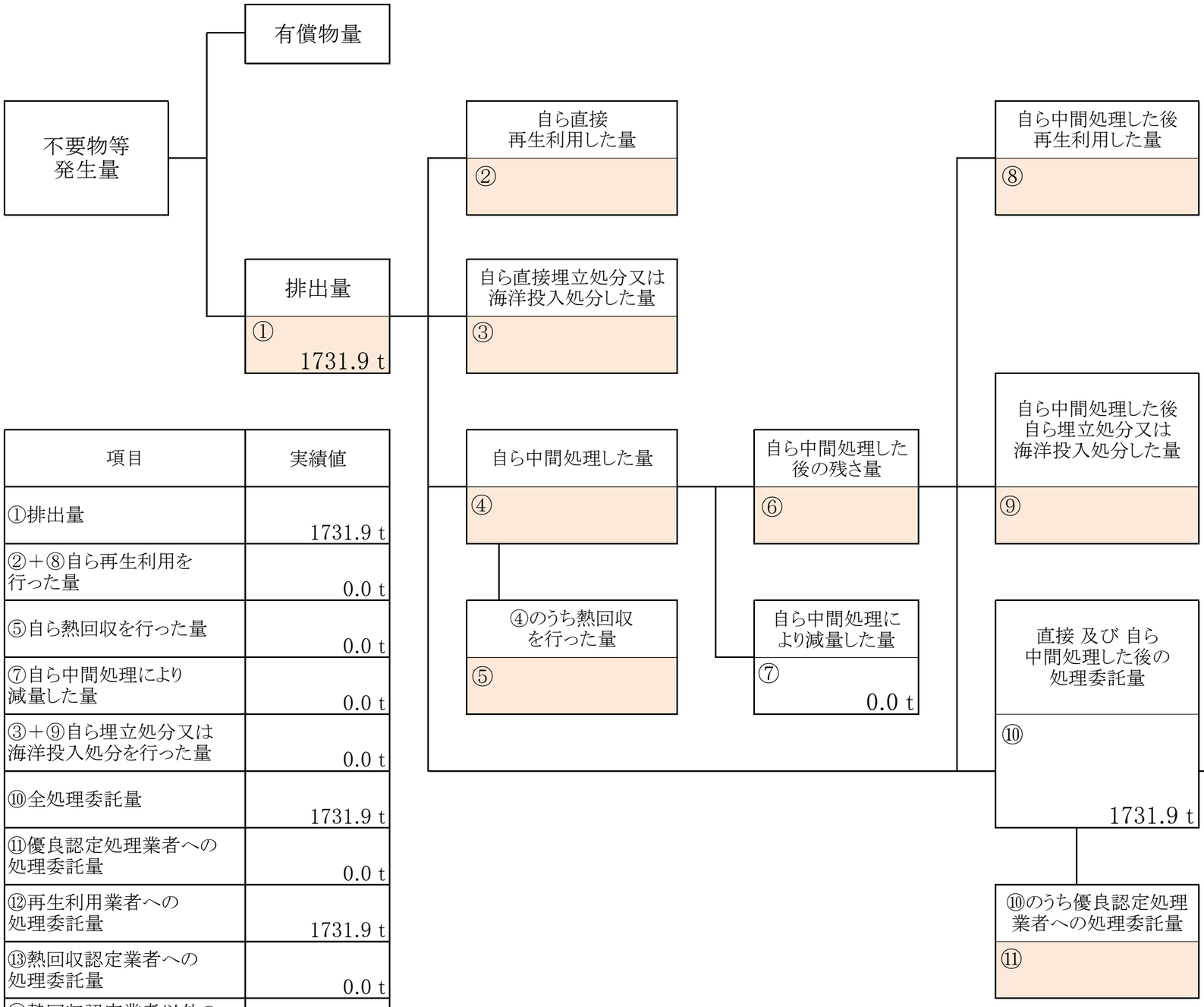


項目	実績値
①排出量	215.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	215.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	215.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**アスファルト・コンクリートがら**）

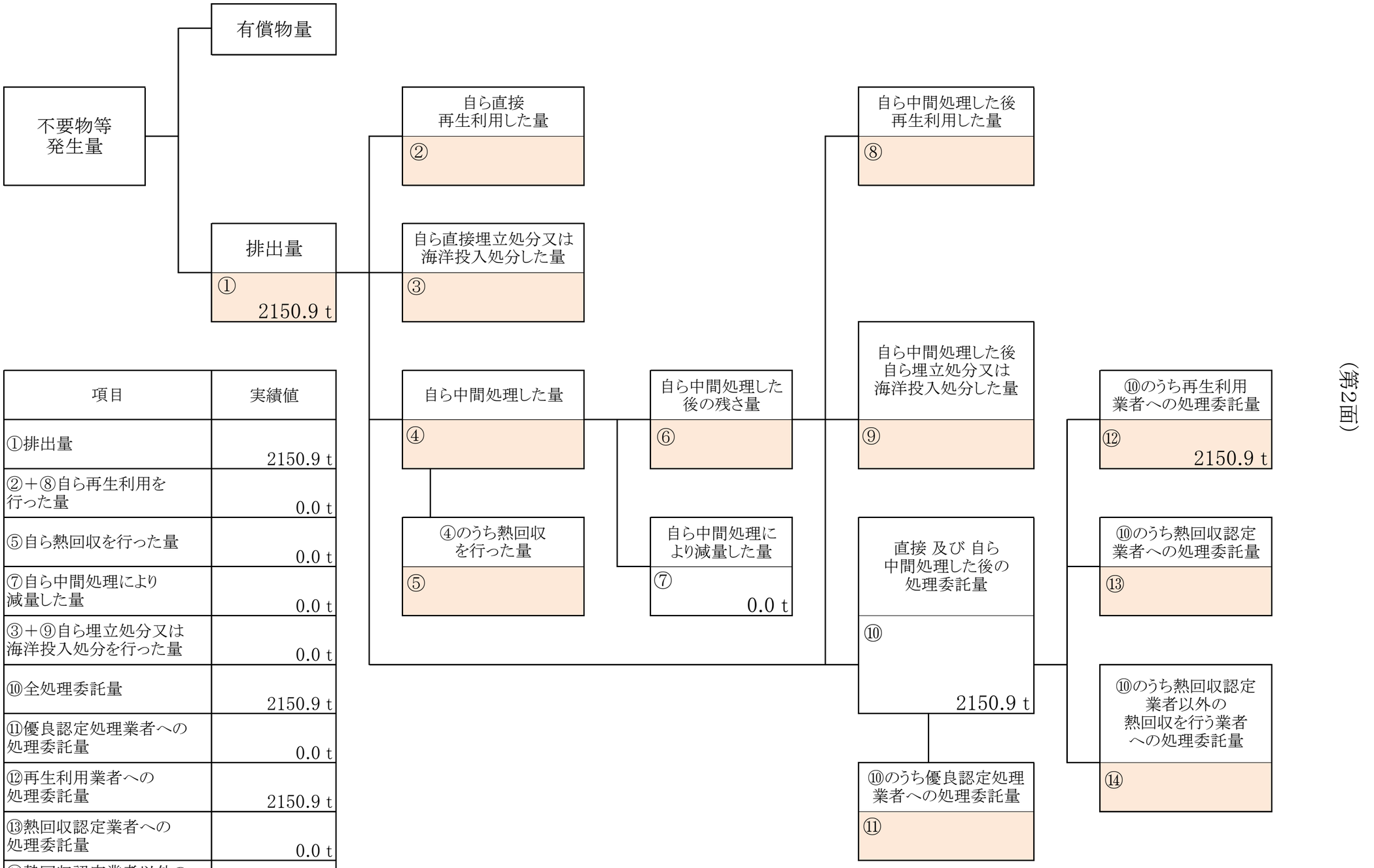


項目	実績値
①排出量	1731.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1731.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1731.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

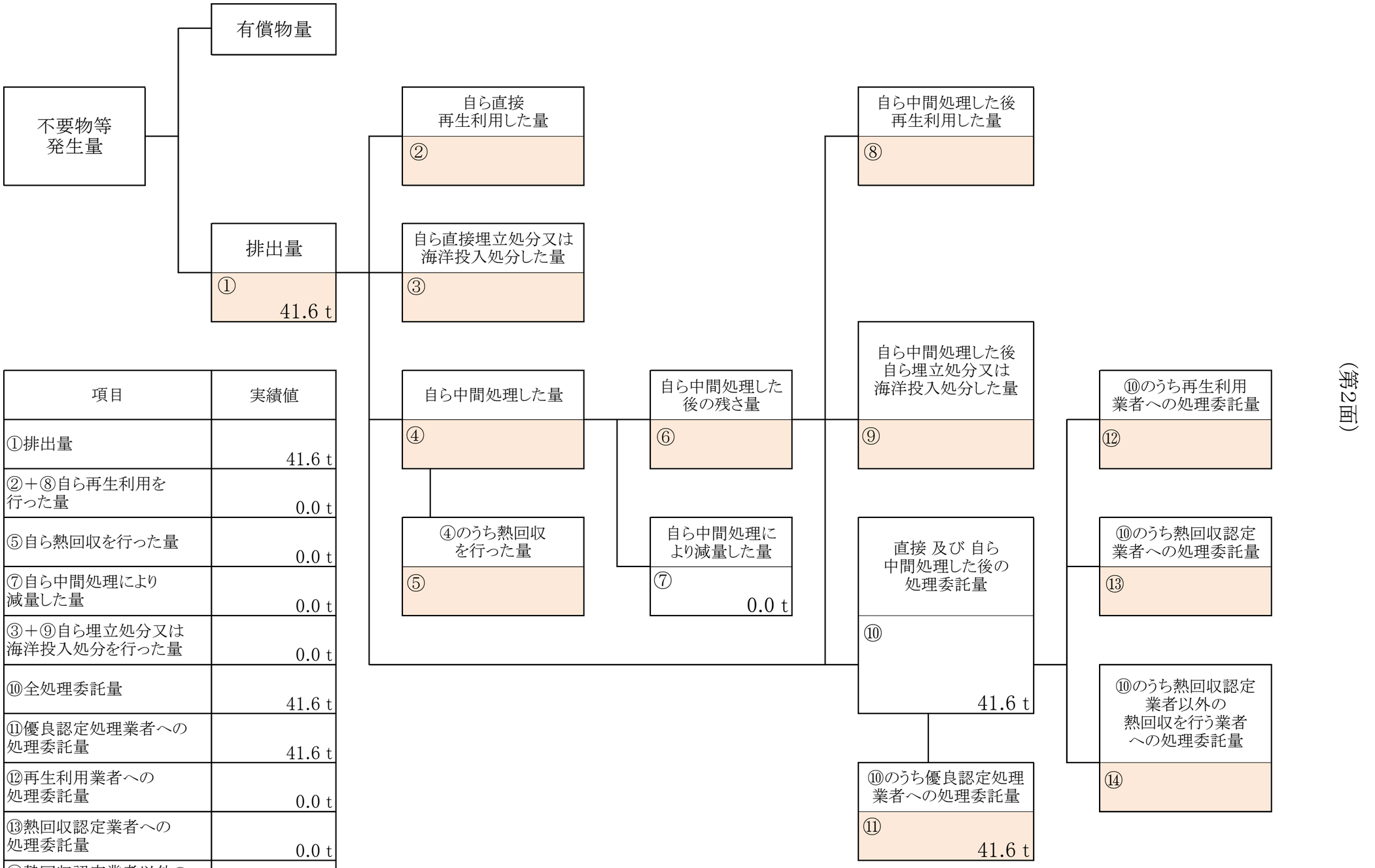


項目	実績値
①排出量	2150.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2150.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2150.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

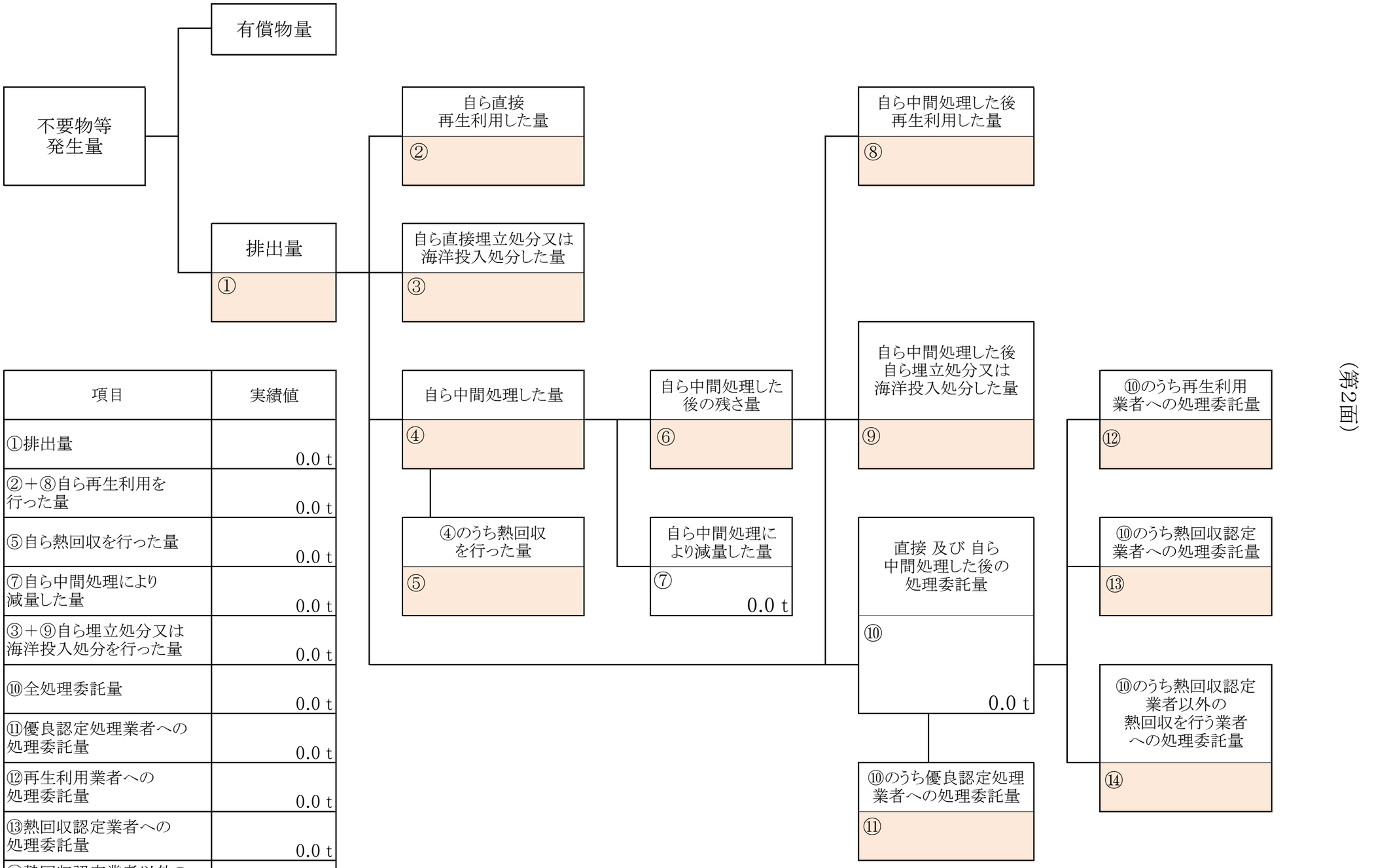


項目	実績値
①排出量	41.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	41.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

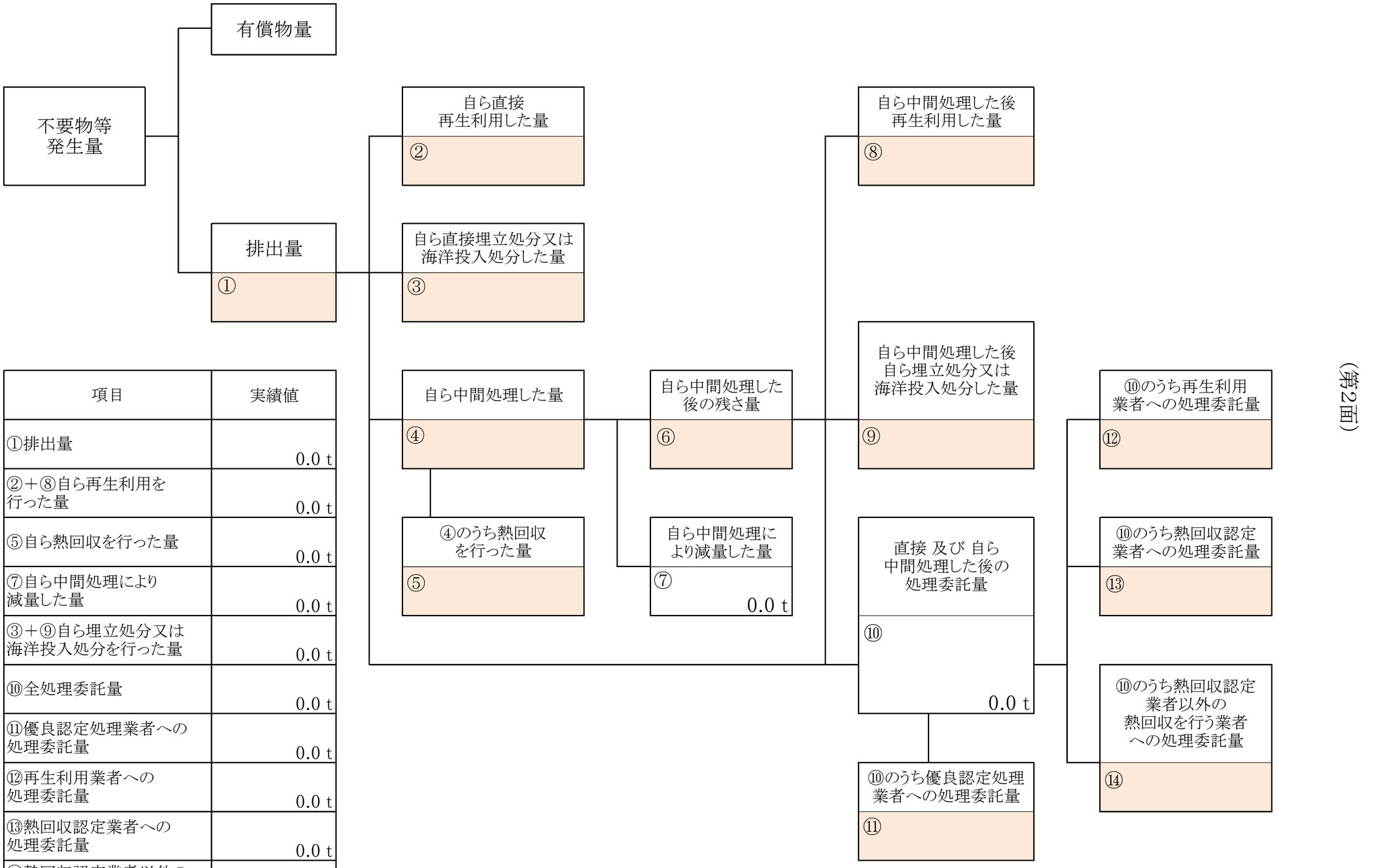


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）

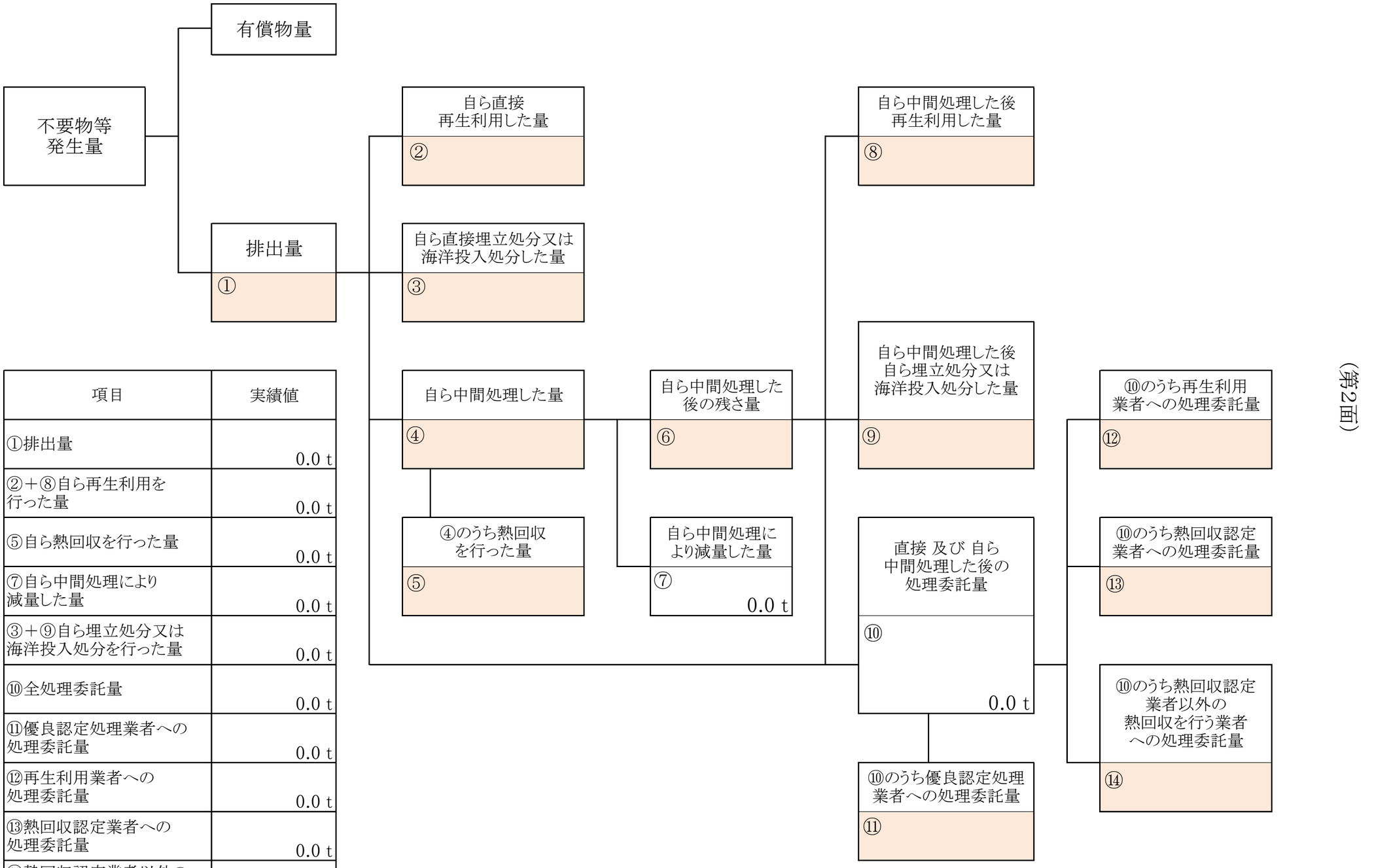


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒338-0007

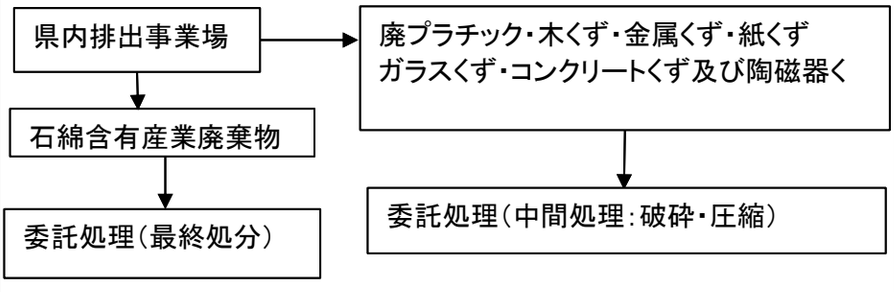
住　所　埼玉県さいたま市中央区円阿弥７－７－８

氏　名　ミサワリフォーム関東株式会社
代表取締役社長　細田剛史

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　048-677-6031

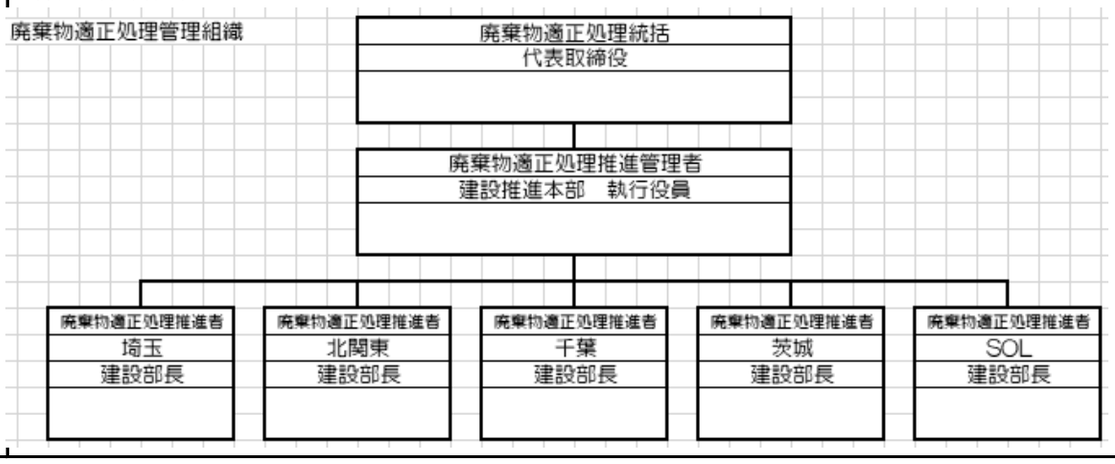
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ミサワリフォーム関東㈱千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町３８８－１３
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	38億8千8百万円
③　従業員数	81名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	201.3　t	6.8　t
	（これまでに実施した取組） 現場での分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排出量	190　t	6.5　t
	（今後実施する予定の取組） 重ね張りを積極的に提案し、解体作業を少なし、 廃棄物の量を減らす		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ガラ袋を複数枚用意し、品目ごとに廃棄物を入れるようにしている
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック	紙くず
全処理委託量＿	201.3 t	6.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	179.2 t	5.3 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

現場での分別

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
全処理委託量	190 t	6.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	175 t	5 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
重ね張りを積極的に提案し、解体作業を少なし、
廃棄物の量を減らす

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		排　出　量	0.26　t	131.3　t	62.1　t	338　t	6.2　t	152.1　t	122.2　t	218.4　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		排　出　量	0.22　t	125　t	60　t	320　t	6　t	150　t	120　t	215　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
	全処理委託量	0.26　t	131.3　t	62.1　t	338　t	6.2　t	152.1　t	122.2　t	218.4　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.26　t	128.1　t	56　t	307.7　t	5.8　t	126.2　t	122.2　t	181.3　t
	再生利用業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	金属くず
	全処理委託量	0.22　t	125　t	60　t	320　t	6　t	150　t	120　t	215　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2　t	120　t	55　t	300　t	5　t	125　t	115　t	180　t
	再生利用業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒338-0007
住 所　埼玉県さいたま市中央区円阿弥7-7-8
氏 名　ミサワリフォーム関東株式会社
代表取締役社長 細田剛史
電話番号　048-677-6031

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

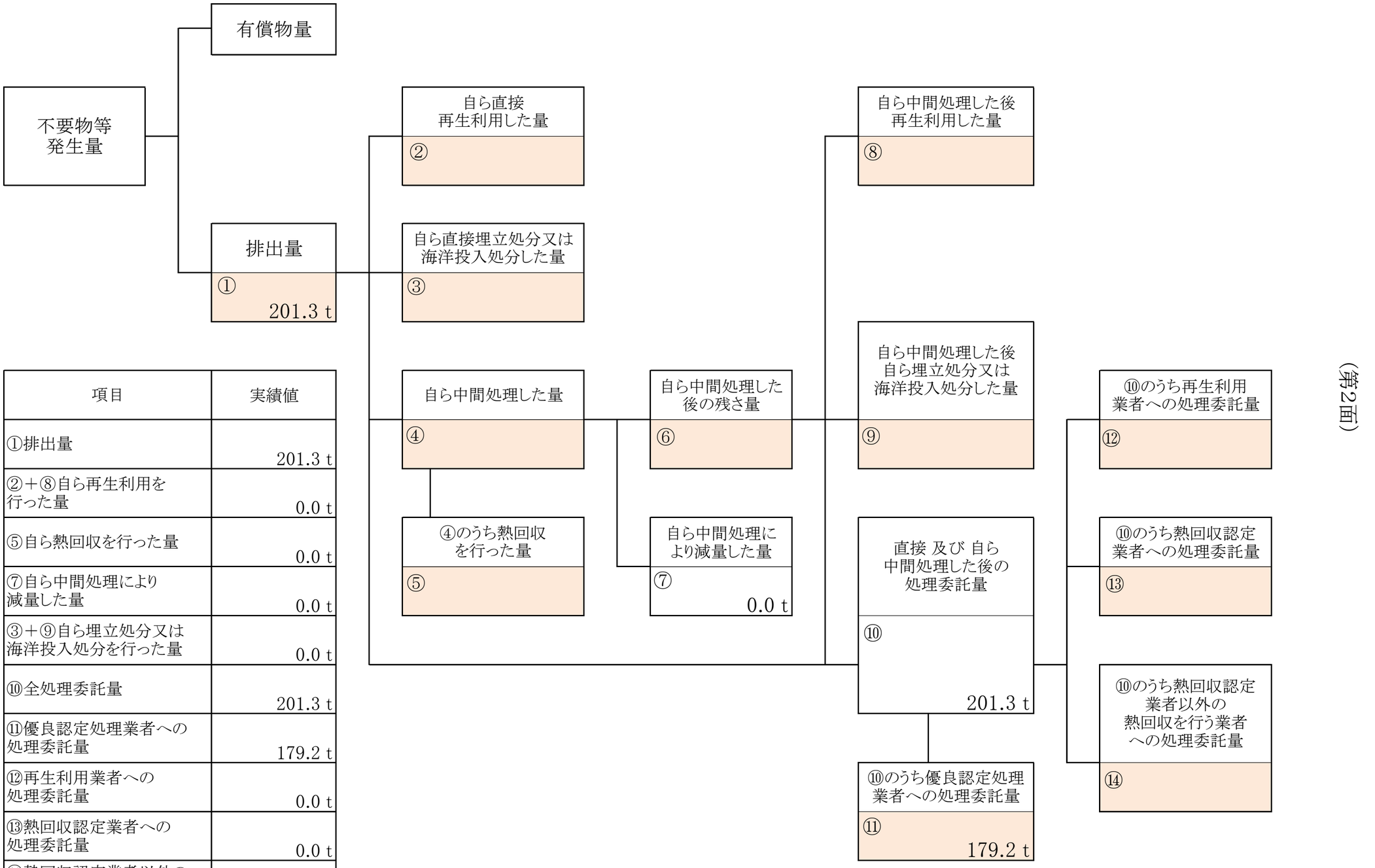
事業場の名称	ミサワリフォーム関東株式会社 千葉支店
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町３８８－１３
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1229.9ｔ	全処理委託量	1229.9ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	1159.6ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	再生利用業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0.0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0ｔ
※事務処理欄			

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

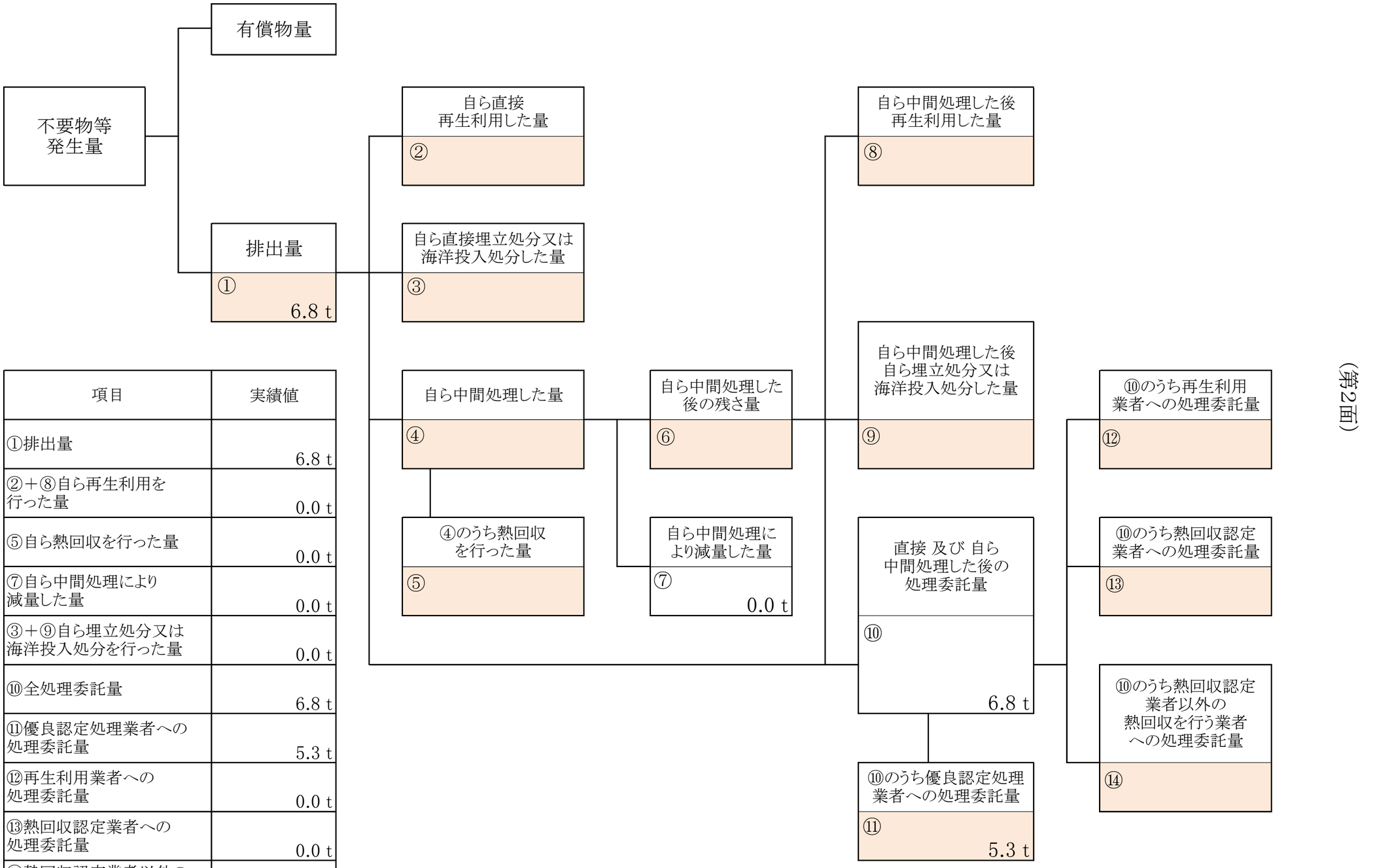


項目	実績値
①排出量	201.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	201.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	179.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

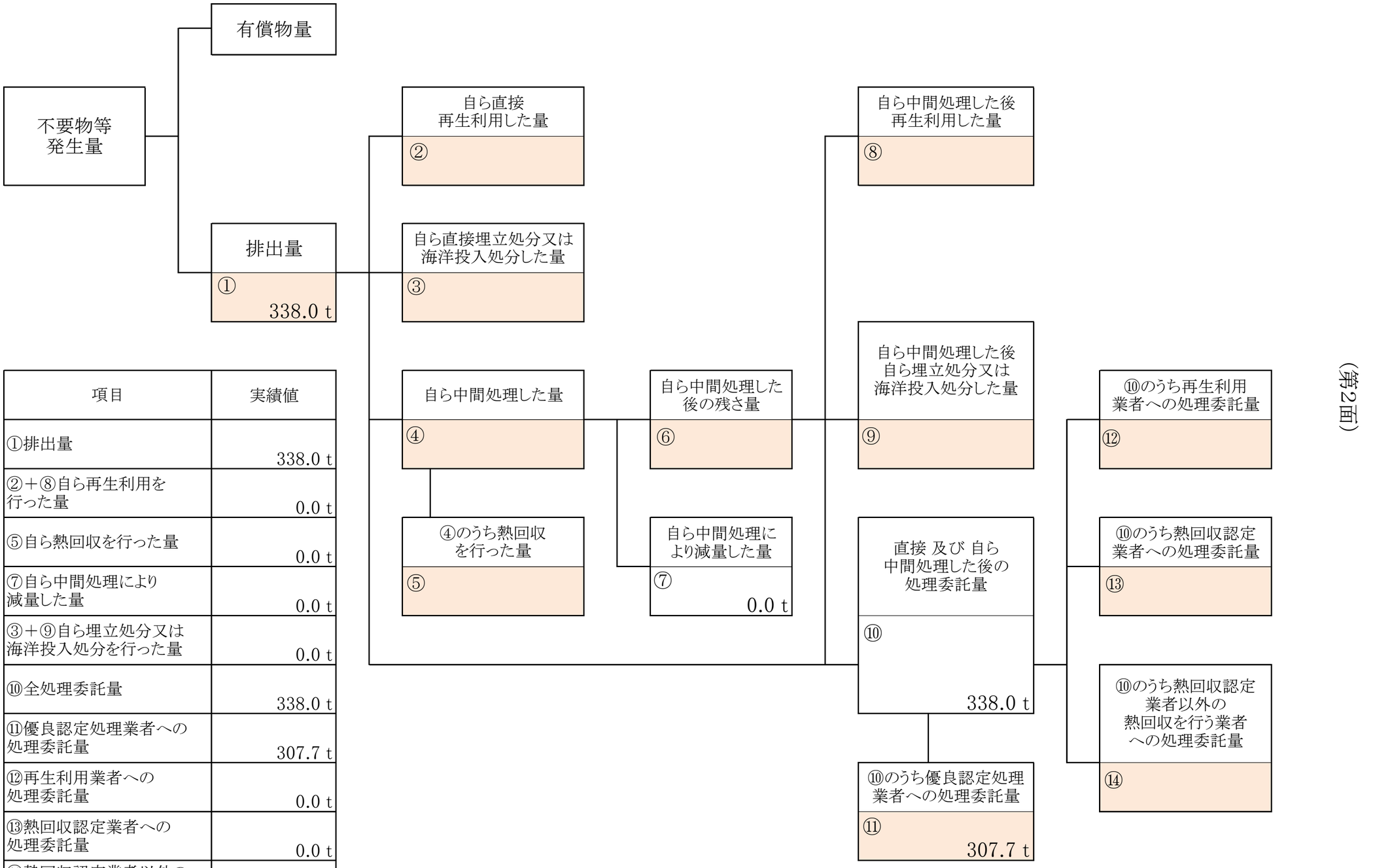


項目	実績値
①排出量	6.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

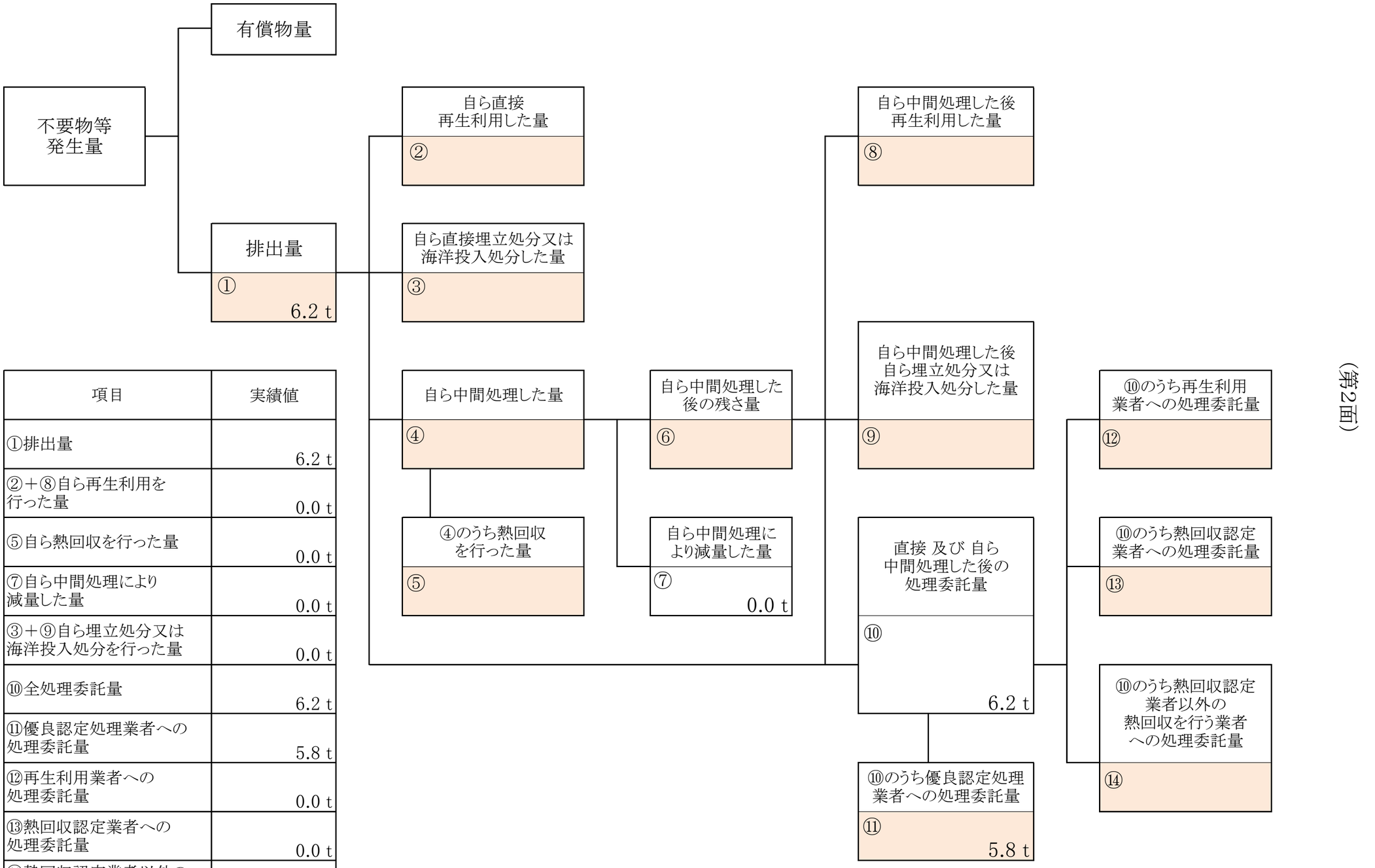


項目	実績値
①排出量	338.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	338.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	307.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

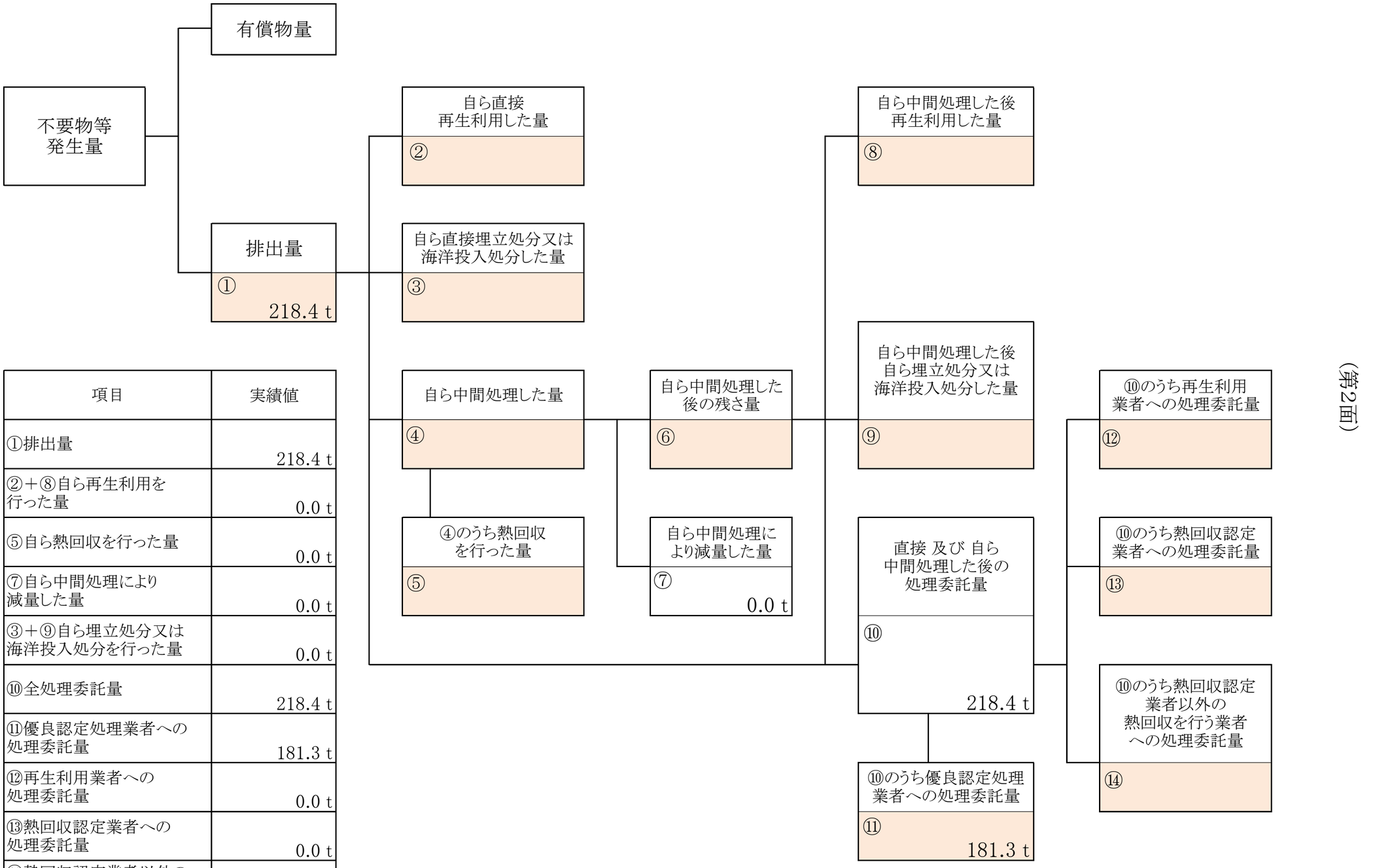


項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

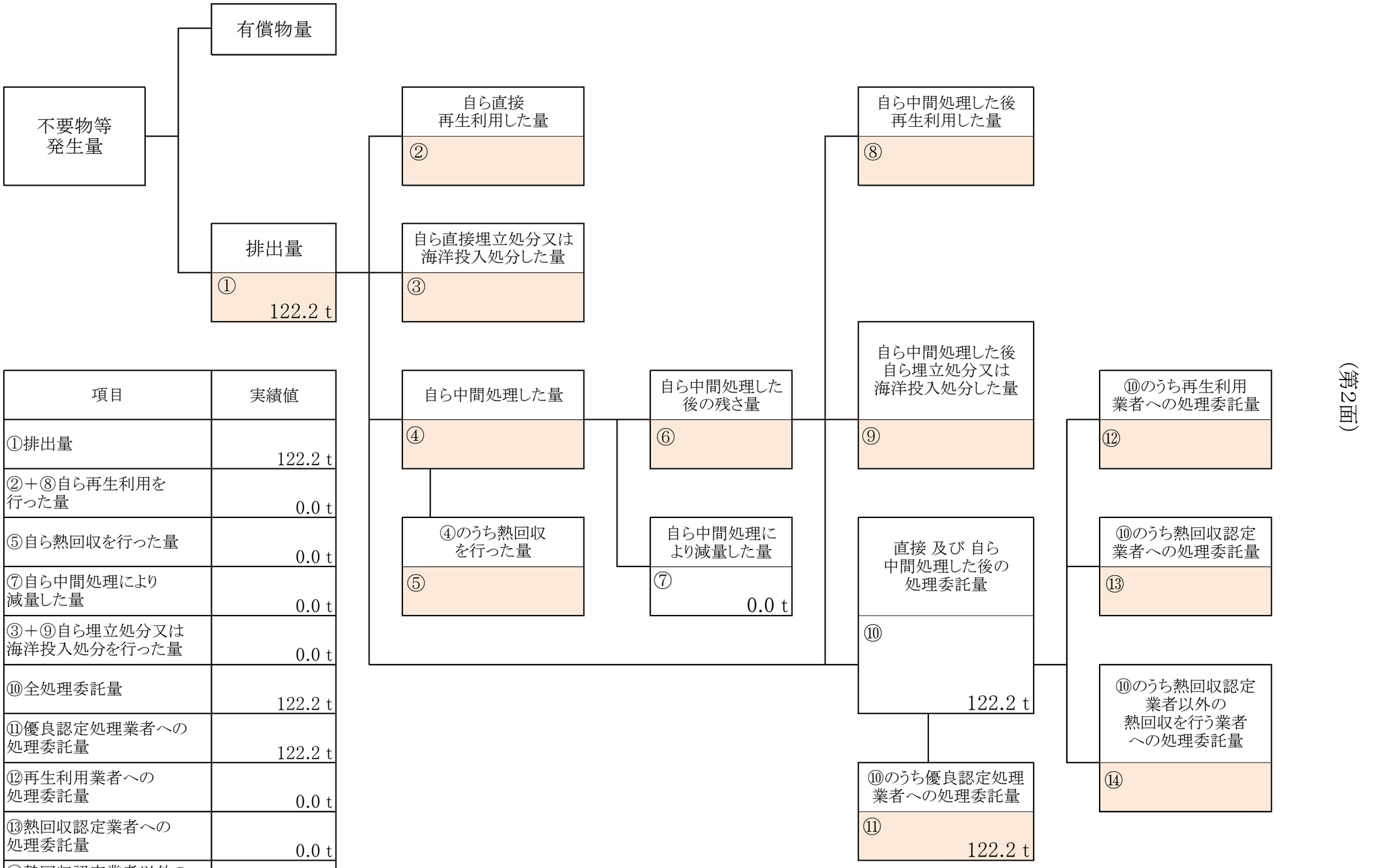


項目	実績値
①排出量	218.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	218.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	181.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

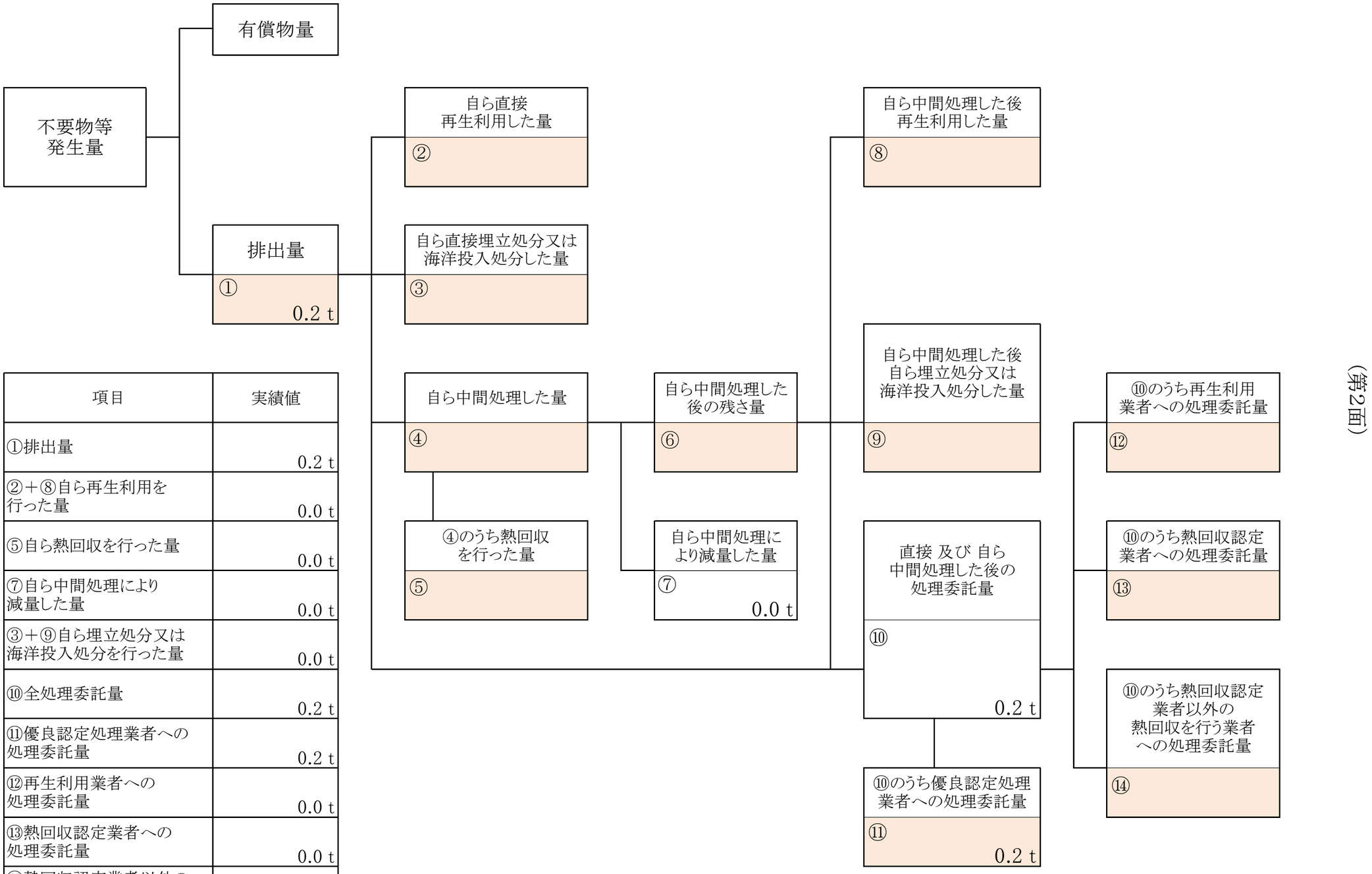


項目	実績値
①排出量	122.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	122.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	122.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**安定型混合廃棄物**）

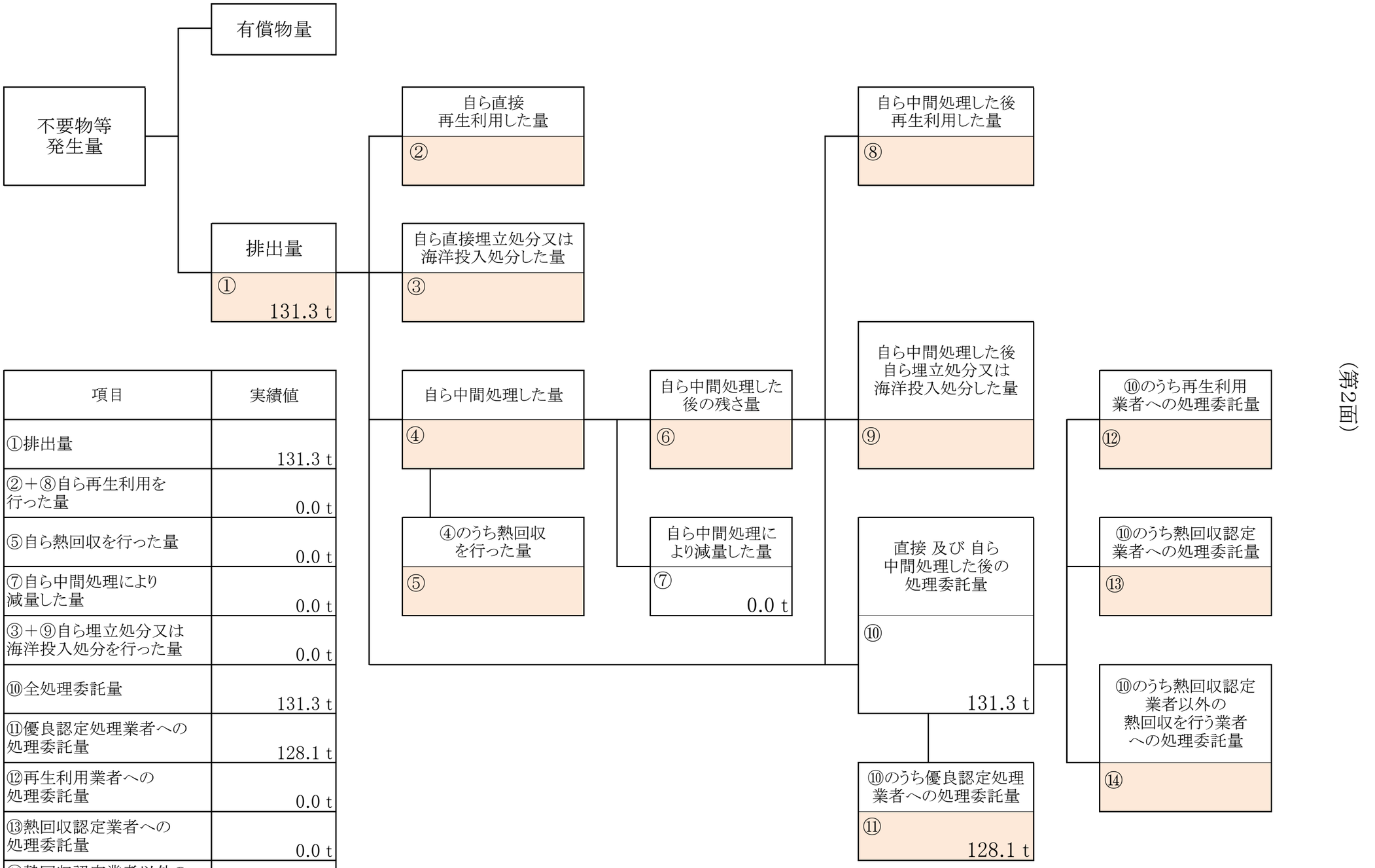


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

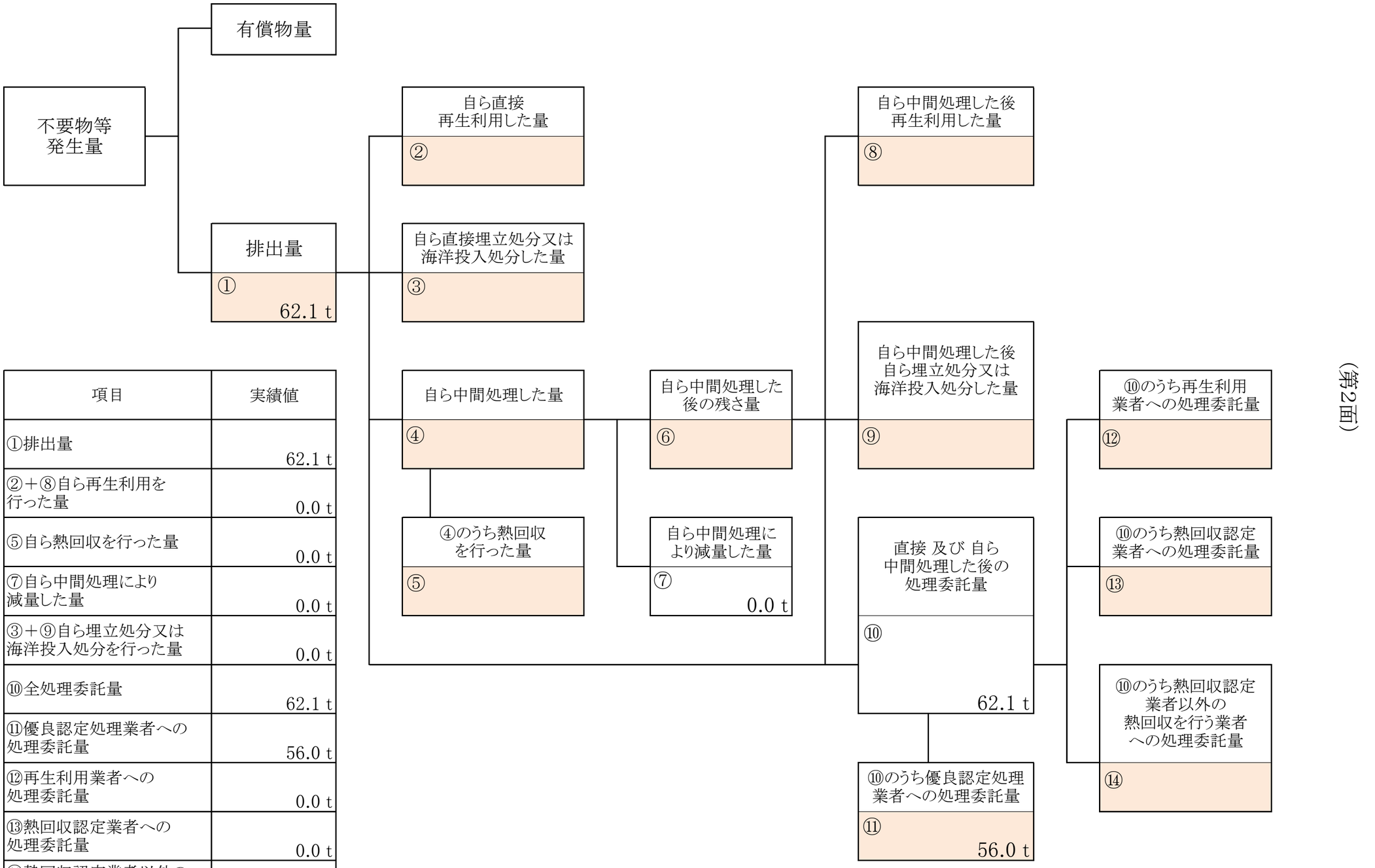


項目	実績値
①排出量	131.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	131.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	128.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有産業廃棄物**）

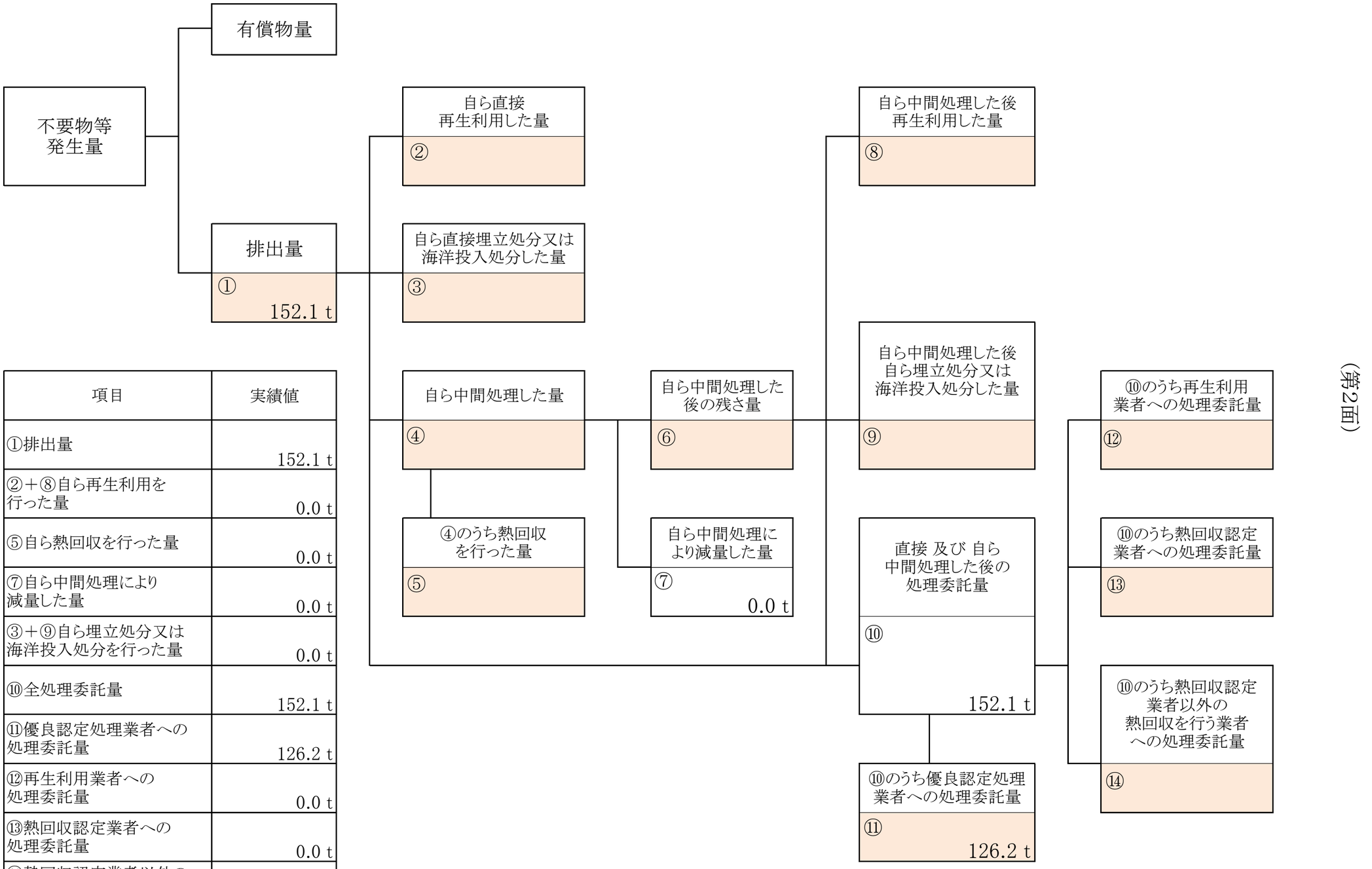


項目	実績値
①排出量	62.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	62.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず**）



項目	実績値
①排出量	152.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	152.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	126.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月20日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒273-0005

住　所　千葉県船橋市本町2-10-14
船橋サウスビル

氏　名　ミサワホーム株式会社
千葉･茨城支社

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
千葉・茨城支社長　小林 一夫

電話番号　047-432-3311

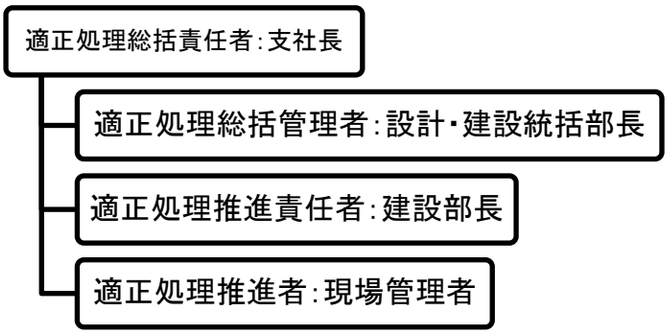
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ミサワホーム株式会社　千葉・茨城支社
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	売上高：4,831億円
③　従業員数	2,893名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	コンがら・アスコンがら・がれき類 → 破砕 → リサイクル ガラス・陶磁器くず → 破砕 → リサイクル 廃プラスチック類 → 破砕・溶融・圧縮 → リサイクル 金属くず → 破砕・切断・圧縮 → リサイクル 紙くず → 破砕・圧縮 → リサイクル 木くず → 破砕 → リサイクル 繊維くず → 破砕・圧縮 → リサイクル ※ 各品目とも処理困難物については埋立処理

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	126.7 t	57.4 t

（これまでに実施した取組）
①ゼロエミッションの実施
②手壊し分別解体の推進
③リサイクル率の高い処分業者の選定
④優良業者認定制度の認定業者への委託

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排出量	120.4 t	54.5 t

（今後実施する予定の取組）
①ゼロエミッションの実施
②手壊し分別解体の推進
③リサイクル率の高い処分業者の選定
④優良業者認定制度の認定業者への委託

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
（解体）施工現場で7品目に分別するとともに、アスベスト含有廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように分別する。
（新築）施工現場で10品目に分別した廃棄物を資源循環センターにて30品目に分類する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
（解体）施工現場で7品目に分別するとともに、アスベスト含有廃棄物は、他の廃棄物に混入しないように分別する。
（新築）施工現場で10品目に分別した廃棄物を資源循環センターにて30品目に分類する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	126.7 t	57.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	t
再生利用業者への処理委託量	122.6 t	57.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

①中間処理業者の施設確認を実施。
②リサイクル率の高い処理施設を選定。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量＿	120.4 t	54.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	t
再生利用業者への処理委託量	120.4 t	54.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）
①優良認定処理業者の採用推進。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		排　出　量	943.4 t	6.2 t	31 t	506.1 t	1845.4 t	96.7 t	67.8 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		排　出　量	896.2 t	5.9 t	29.5 t	480.8 t	1753.1 t	91.9 t	64.4 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	943.4 t	6.2 t	31 t	506.1 t	1845.4 t	96.7 t	67.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	464.5 t	0.5 t	1.1 t	6.2 t	375.1 t	6.2 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	943.4 t	5.9 t	31 t	473 t	1845.4 t	92.2 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
	全処理委託量	896.2 t	5.9 t	29.5 t	480.8 t	1753.1 t	91.9 t	64.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	511 t	0.6 t	1.2 t	6.8 t	412.6 t	6.8 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	896.2 t	5.6 t	29.5 t	449.4 t	1753.1 t	87.6 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒273-0005
住 所　千葉県船橋市本町2-10-14 船橋サウスビル
氏 名　ミサワホーム株式会社 千葉・茨城支社
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
千葉・茨城支社長　小林 一夫
電話番号 047-432-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ミサワホーム株式会社 千葉・茨城支社
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

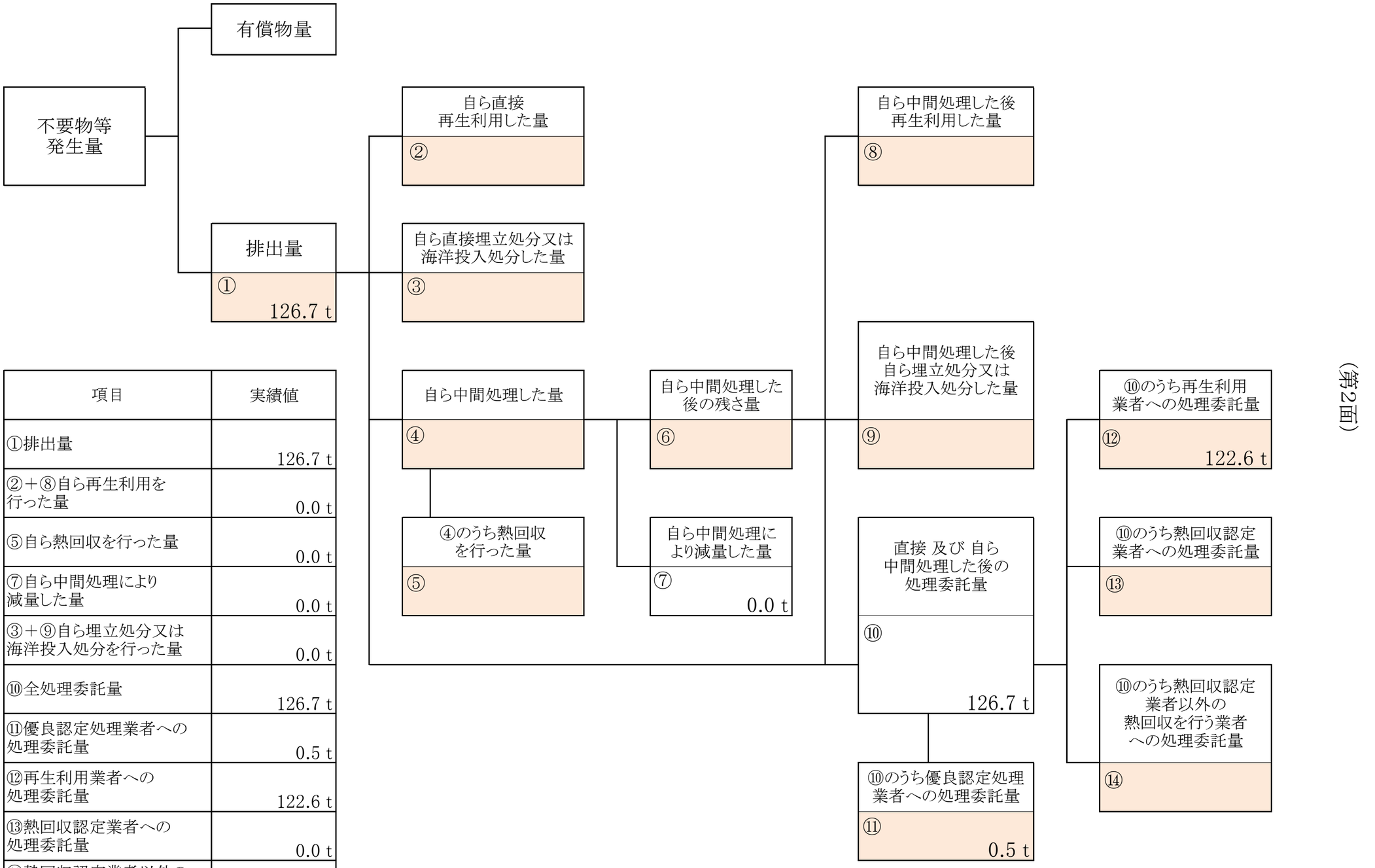
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2931.8 t	全処理委託量	2931.8 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	839.2 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2823.5 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

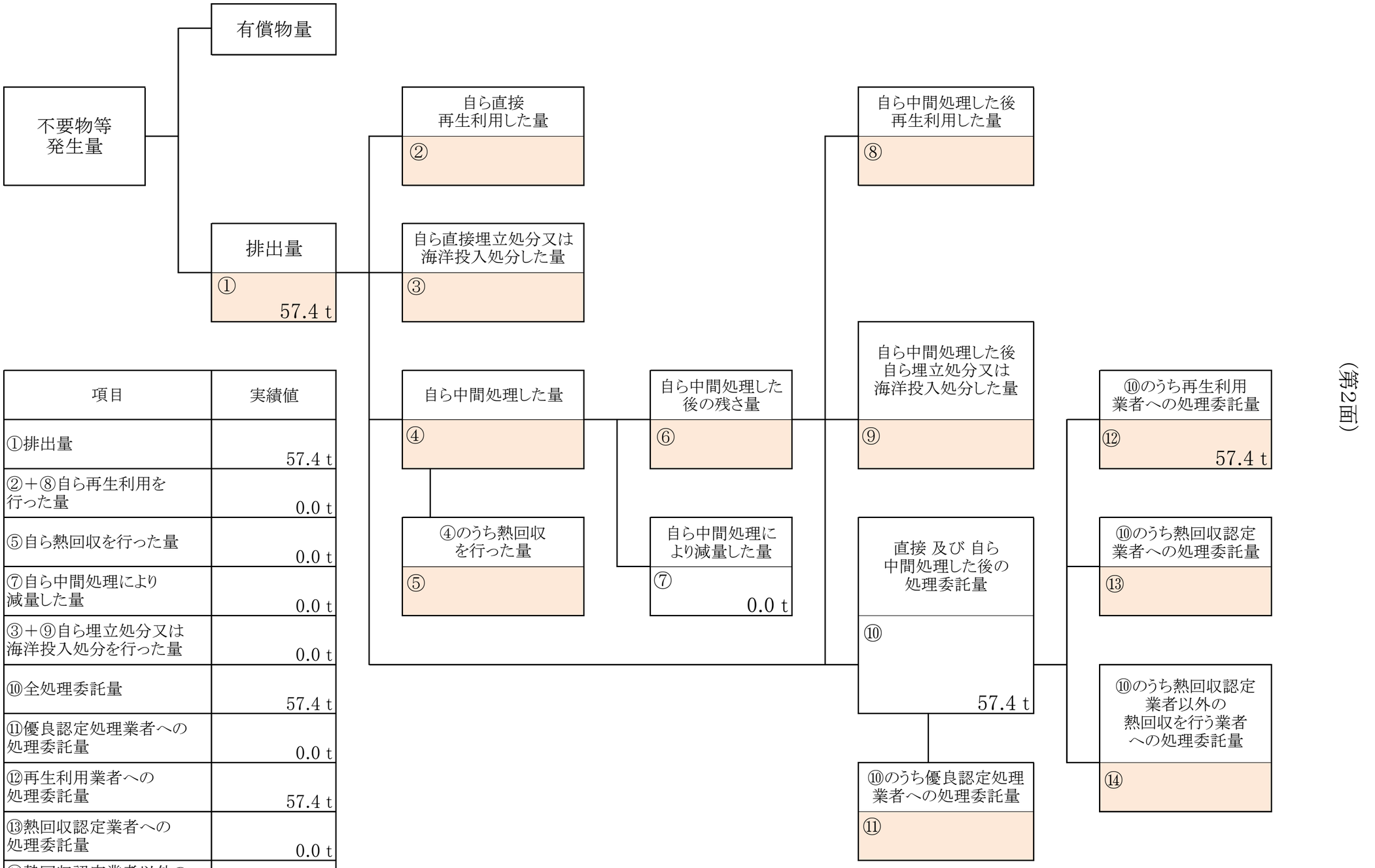


項目	実績値
①排出量	126.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	126.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	122.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

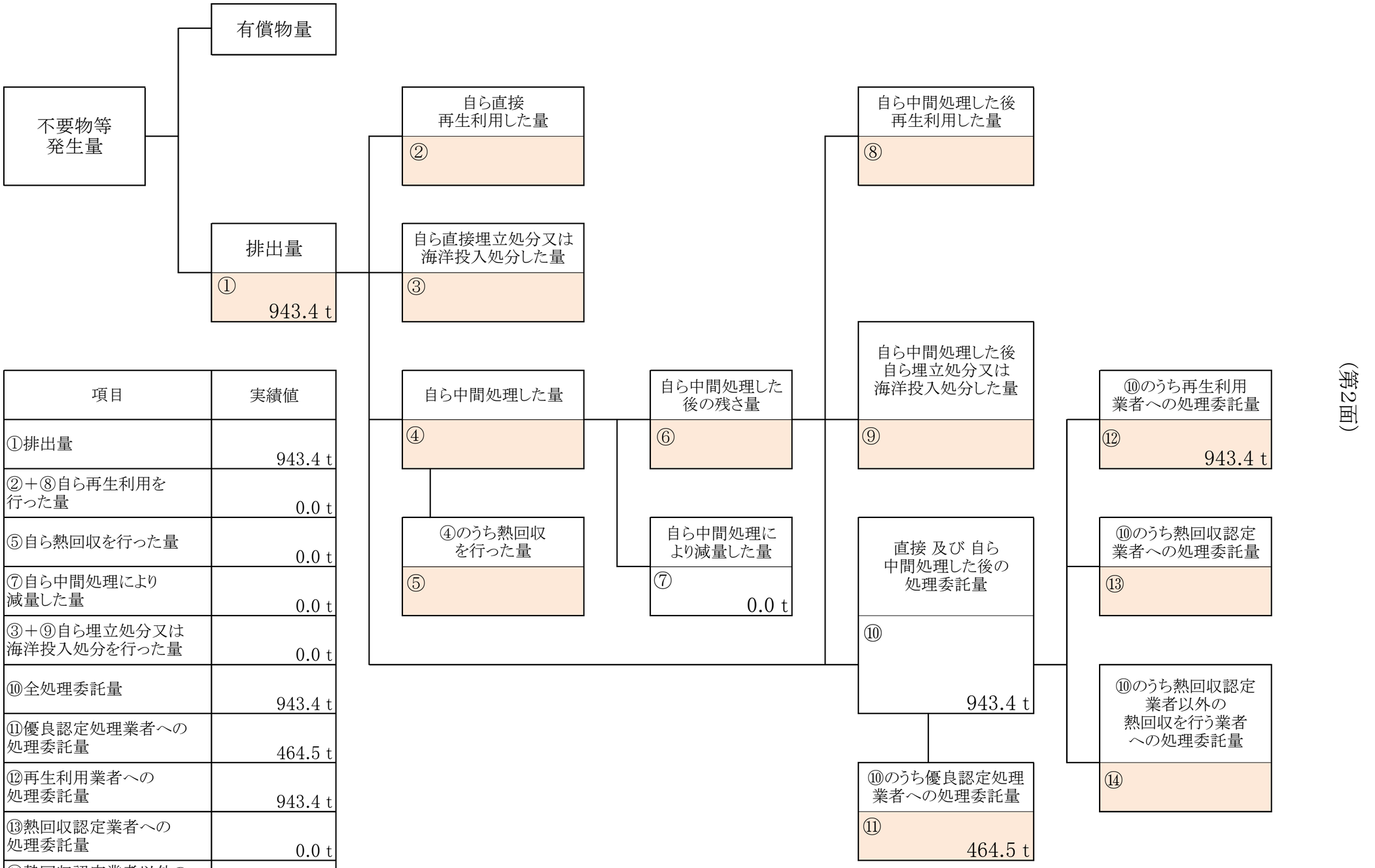


項目	実績値
①排出量	57.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	57.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

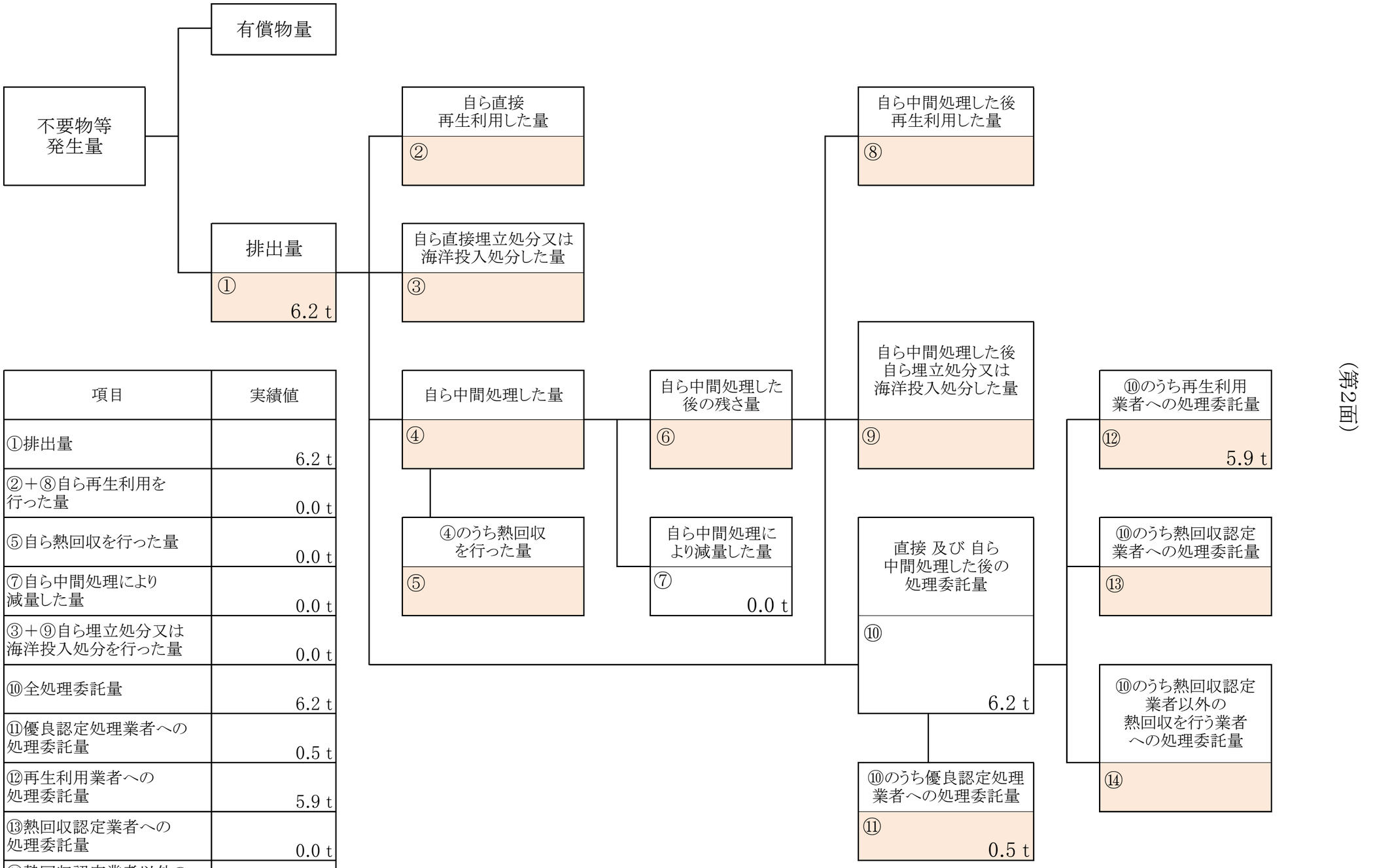


項目	実績値
①排出量	943.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	943.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	464.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	943.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**繊維くず**）

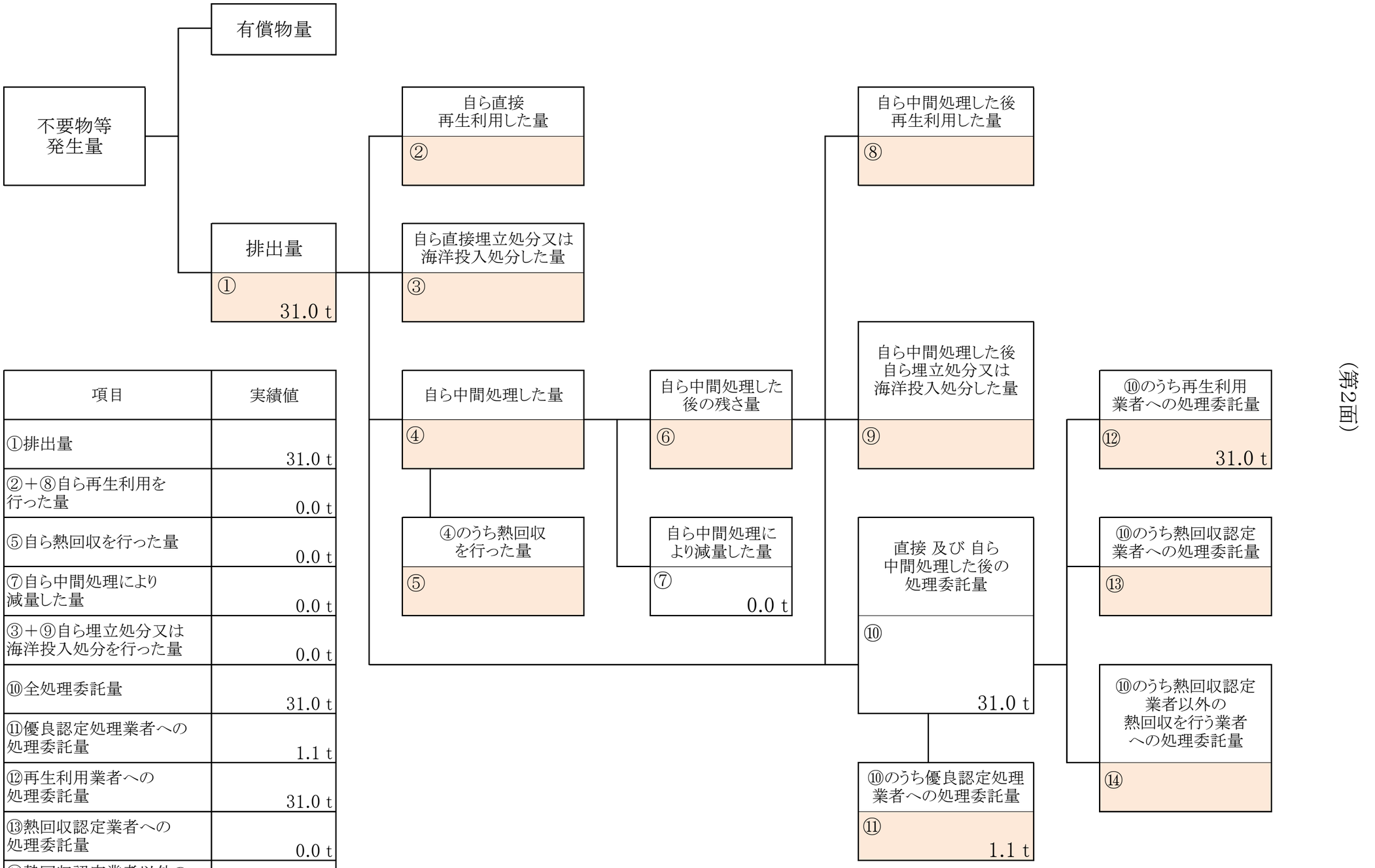


項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

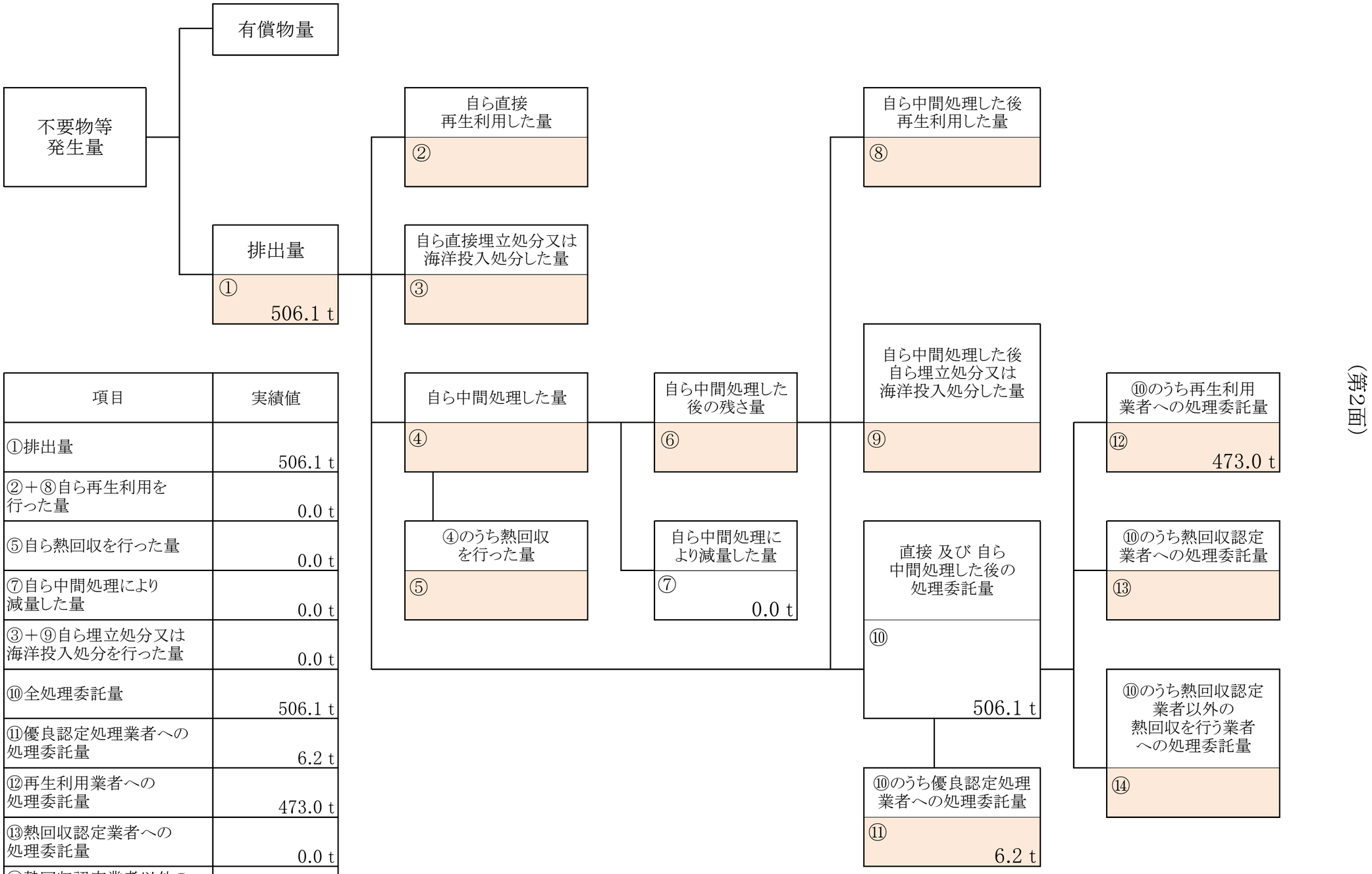


項目	実績値
①排出量	31.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	31.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	31.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス陶磁器くず**）

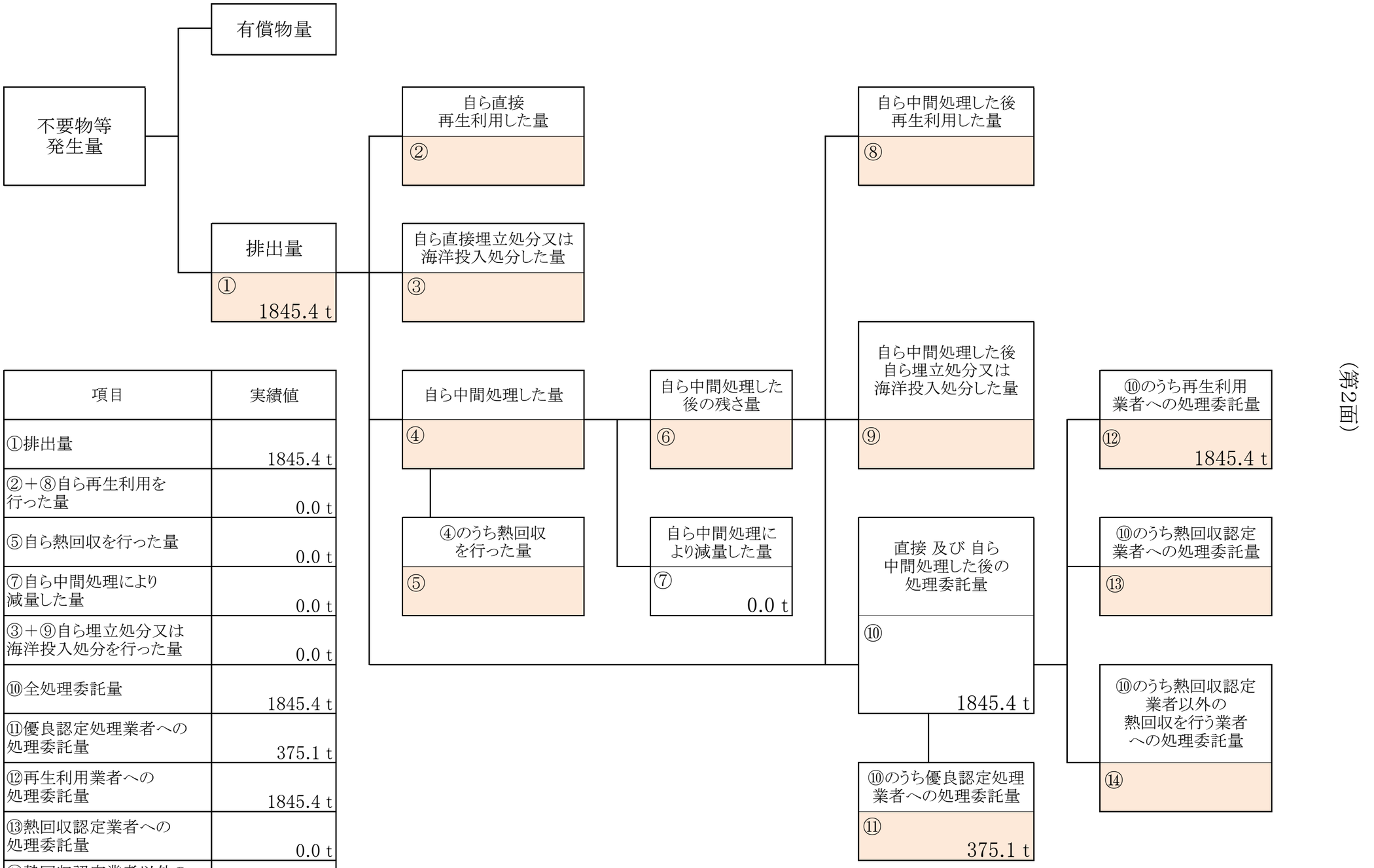


項目	実績値
①排出量	506.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	506.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	473.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

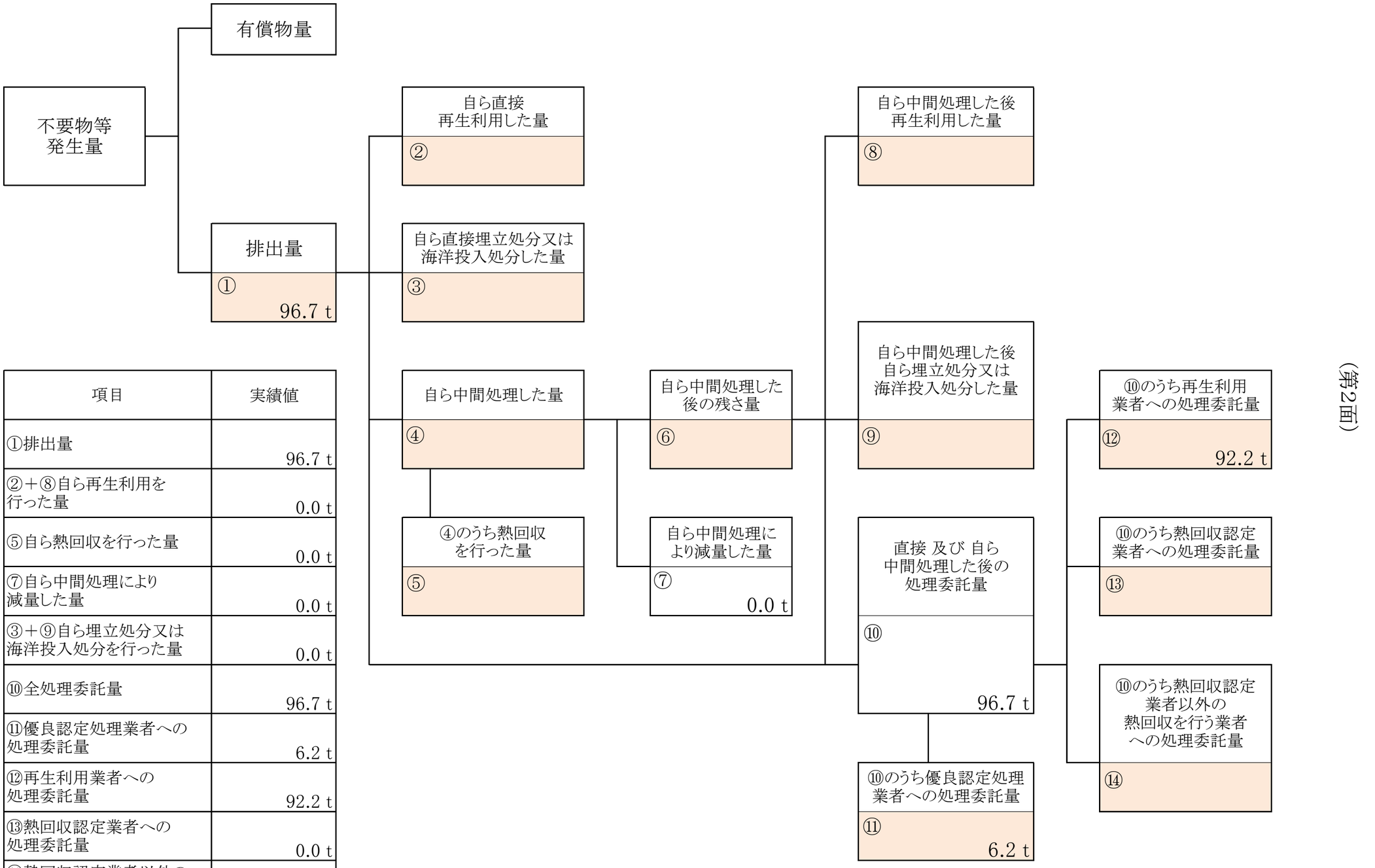


項目	実績値
①排出量	1845.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1845.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	375.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1845.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

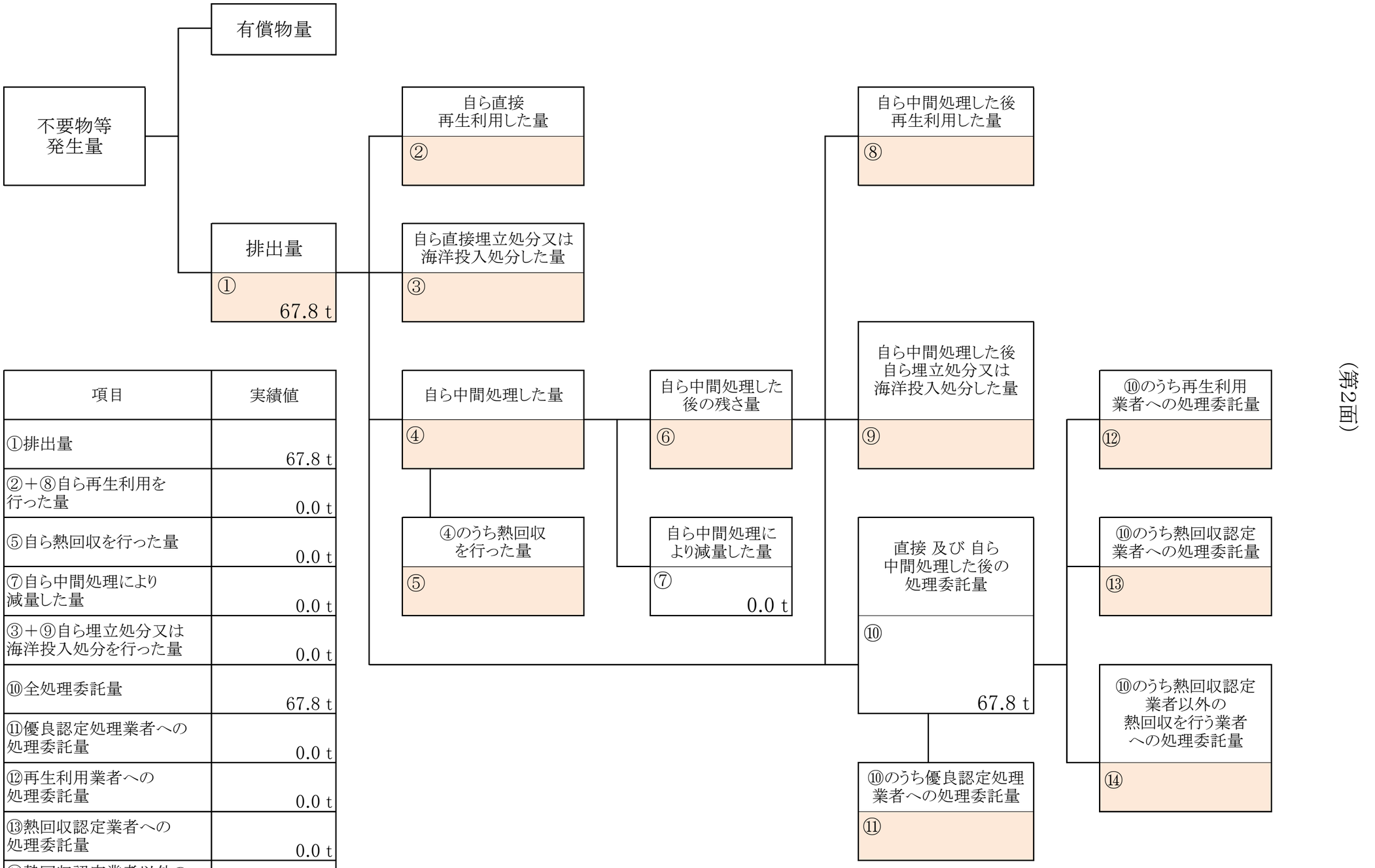


項目	実績値
①排出量	96.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	96.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**石綿含有産業廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	67.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	67.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月12日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　東京都中央区佃二丁目1番6号

氏　名　三井住友建設株式会社　東京建築支店
専務執行役員支店長　加茂　裕之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-4582-3147

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社　東京建築支店
事業場の所在地	東京都中央区佃二丁目1番6号（現場：浦安市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　730億5,703万円（令和6年度）
③従業員数	507人（令和7年4月1日）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（１）産業廃棄物の処理工程による

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（２）管理体制図による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排　　出　　量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・設計計画（意匠・構造・設備）で廃棄物の発生抑制工法の工業化、PC化、システムユニット化等を採用する
・仮設材（型枠材）の転用率向上と断熱材打込型枠の採用
・工場でプレカット加工の実施
・梱包材の簡素化、再利用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
排　　出　　量	10 t	2 t

（今後実施する予定の取組）
基本的には従来の排出抑制策の継続的な実施
・設計計画（意匠・構造・設備）で廃棄物の発生抑制工法の工業化、PC化、システムユニット化等を採用する
・仮設材（型枠材）の転用率向上と断熱材打込型枠の採用
・工場でプレカット加工の実施
・梱包材の簡素化、再利用
・気泡ソイルセメント柱列工法の採用による汚泥の発生量削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・主な分別品目は、建設汚泥、がれき類、廃プラスチック、金属くず、木くず、紙くず、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、等
・全ての新規工事で＜エコ施工実施計画書＞を作成して、分別促進により混合廃棄物の発生抑制を進めている

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・主な分別予定品目は、建設汚泥、がれき類、廃プラスチック、金属くず、木くず、紙くず、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、等
・最終処分比率の低減を目指して、分別品目数の目標を設定し、分別促進に努める

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
排　出　量	18.3 t	207.75 t	132.29 t	289 t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
排　出　量	15 t	300 t	130 t	350 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排　出　量	242.4 t	48 t	69.875 t	10.24 t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排　出　量	100 t	0 t	100 t	10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
排　出　量	0.02 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
排　出　量	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（これまでに実施した取組）
・建設汚泥に改良材添加して、現場内埋戻しに利用した
・コンクリート片を破砕処理して、仮設路盤等に利用した
※行政打ち合わせによる

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（今後実施する予定の取組）
・建設汚泥を、現場内埋戻し等に利用する
・コンクリート片を破砕処理して、仮設路盤等に利用する
※事前に行政打ち合わせを行う

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（これまでに実施した取組）
・特に実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（今後実施する予定の取組）
・特に実施予定はない

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ	０ ｔ

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（これまでに実施した取組）
・特に実施していない

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ ｔ	０ ｔ

（今後実施する予定の取組）
・特に実施予定はない

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量	０ ｔ	０ ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	０ ｔ	０ ｔ
再生利用業者への処理委託量	０ ｔ	０ ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	０ ｔ	０ ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ ｔ	０ ｔ

（これまでに実施した取組）

別紙（３）産業廃棄物の処理の委託に関する事項（令和6年度）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
全処理委託量	18.3 t	207.75 t	132.29 t	289 t
優良認定処理業者への処理委託量	18.3 t	201.75 t	132.29 t	185 t
再生利用業者への処理委託量	18.3 t	207.75 t	132.29 t	289 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	242.4 t	48 t	69.875 t	10.24 t
優良認定処理業者への処理委託量	44.4 t	0 t	69.875 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	242.4 t	48 t	69.875 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
全処理委託量	0.02 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.02 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0.02 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>10 t</td><td>2 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>8 t</td><td>1 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td></td><td>10 t</td><td>2 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
別紙（４）産業廃棄物の処理の委託に関する事項（令和7年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	その他がれき類
全処理委託量	15 t	300 t	130 t	350 t
優良認定処理業者への処理委託量	12 t	200 t	100 t	200 t
再生利用業者への処理委託量	15 t	300 t	130 t	350 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	100 t	0 t	100 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	20 t	0 t	80 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	100 t	0 t	100 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類			
全処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ	０ｔ	０ｔ

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

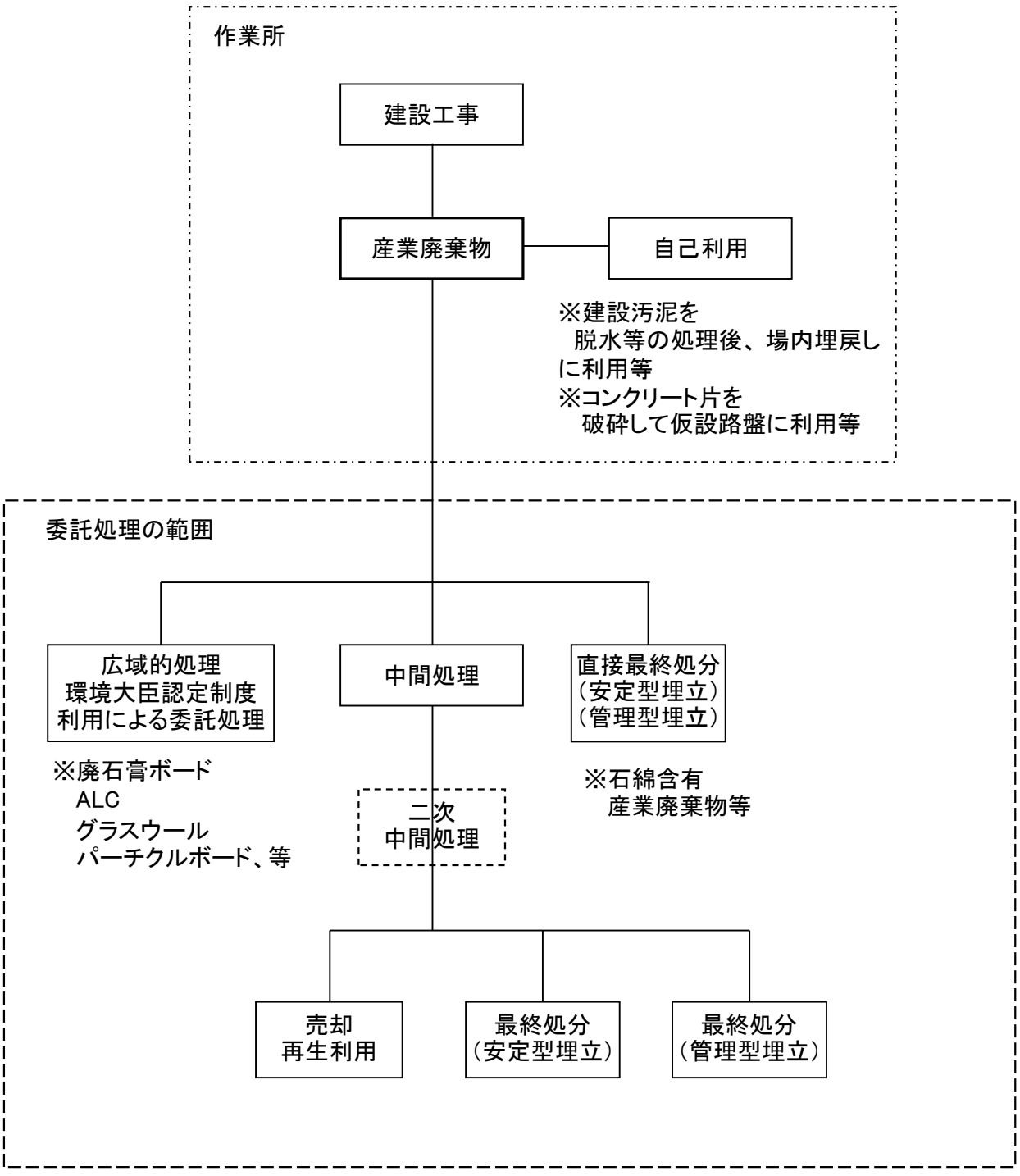
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理工程

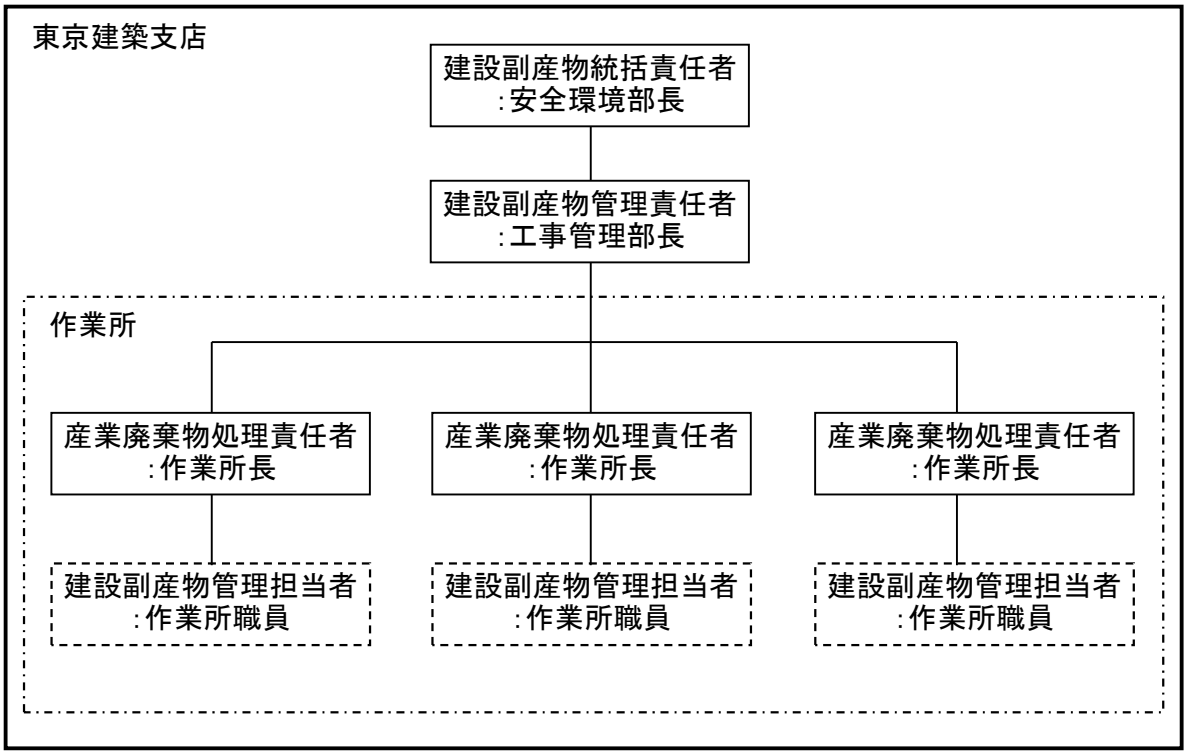

作業所
建設工事
産業廃棄物
自己利用
※建設汚泥を
脱水等の処理後、場内埋戻し
に利用等
※コンクリート片を
破砕して仮設路盤に利用等
委託処理の範囲
広域的処理
環境大臣認定制度
利用による委託処理
※廃石膏ボード
ALC
グラスウール
パーチクルボード、等
中間処理
二次
中間処理
直接最終処分
（安定型埋立）
（管理型埋立）
※石綿含有
産業廃棄物等
売却
再生利用
最終処分
（安定型埋立）
最終処分
（管理型埋立）

廃棄物の種類別処理の工程

東京建築支店の建設副産物に関する管理体制

名　称	役 割 と 責 任	職 制 等
建設副産物統括責任者	・施工に関わる建設副産物を総括的に管理する ・支店外への対応を行う	支店長が指名 原則、安全環境部長
建設副産物管理責任者	・施工部門の建設副産物を総合的に管理する	支店長が指名 原則、工事管理部長
産業廃棄物処理責任者	・作業所の産業廃棄物の適正処理を管理する	原則として 作業所長
建設副産物管理担当者	・作業所の建設副産物の日常管理を行う	(作業所職員から作業所長が指名)

管理体制図



産業廃棄物の処理の委託に関する事項（令和6年度）

・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認した

収集運搬会社	・発生場所と処分場所（中間処理施設、最終処分場）の両方の都道府県の許可を取得していること ・許可の有効期限（委託期間中に切れる場合は、更新を確認すること） ・委託する廃棄物の種類の許可を取得していること ・積み替え・保管施設経由の有・無 ・許可車両の一覧表を作成していること ・なるべく電子マニフェストに対応できること ・対応している場合は電子委託契約の利用
中間処理、最終処分会社	・許可の有効期限（委託期間中に切れる場合は、更新を確認すること） ・処分の許可の区分（中間処理、最終処分） ・委託する廃棄物の種類の許可を取得していること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか（調査して、規制があれば従う） ・なるべく電子マニフェストに対応できること ・対応している場合は電子委託契約の利用

・電子マニフェストの利用を原則とする

・委託処理施設の現地確認を定期的に実施する

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（令和7年度）

・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認する

収集運搬会社	・発生場所と処分場所（中間処理施設、最終処分場）の両方の都道府県の許可を取得していること ・許可の有効期限（委託期間中に切れる場合は、更新を確認すること） ・委託する廃棄物の種類の許可を取得していること ・積み替え・保管施設経由の有・無 ・許可車両の一覧表を作成していること ・なるべく電子マニフェストに対応できること ・電子委託契約に対応している場合は、利用を検討する
中間処理、最終処分会社	・許可の有効期限（委託期間中に切れる場合は、更新を確認すること） ・処分の許可の区分（中間処理、最終処分） ・委託する廃棄物の種類の許可を取得していること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか（調査して、規制があれば従う） ・なるべく電子マニフェストに対応できること ・電子委託契約に対応している場合は、利用を検討する

・可能であれば優良認定処理業者に処理を委託する

・電子マニフェストの利用を原則とする

・委託処理施設の現地確認を定期的に実施する

・電子委託契約に対応している場合は利用を検討する

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 20日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒104-0051
住 所　東京都中央区佃二丁目1番6号
氏 名　三井住友建設株式会社 東京土木支店
執行役員支店長　矢野 安則
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-4582-3134

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社 東京土木支店
事業場の所在地	東京都中央区佃二丁目1番6号
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

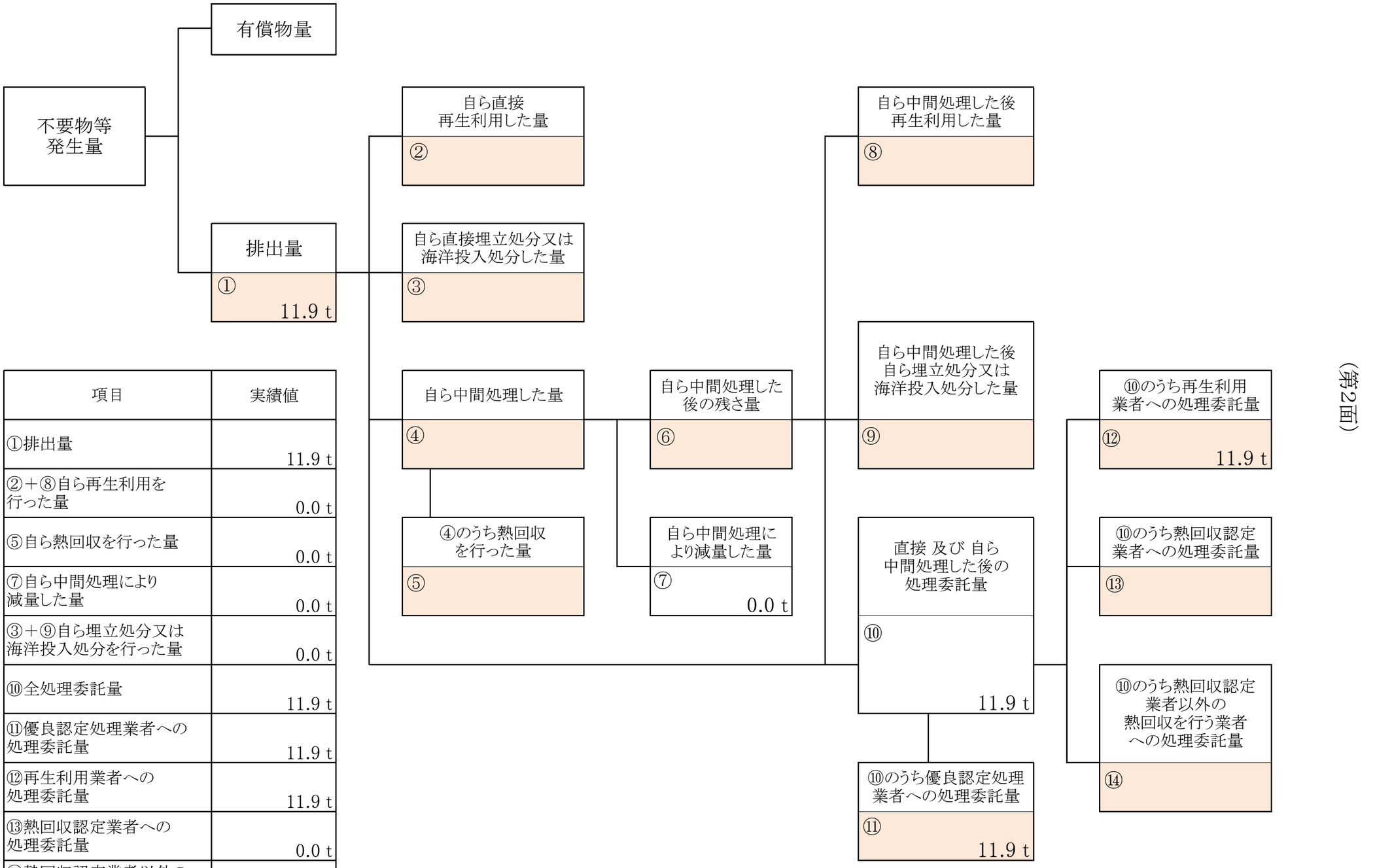
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1004.0 t	全処理委託量	1004.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	444.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1004.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

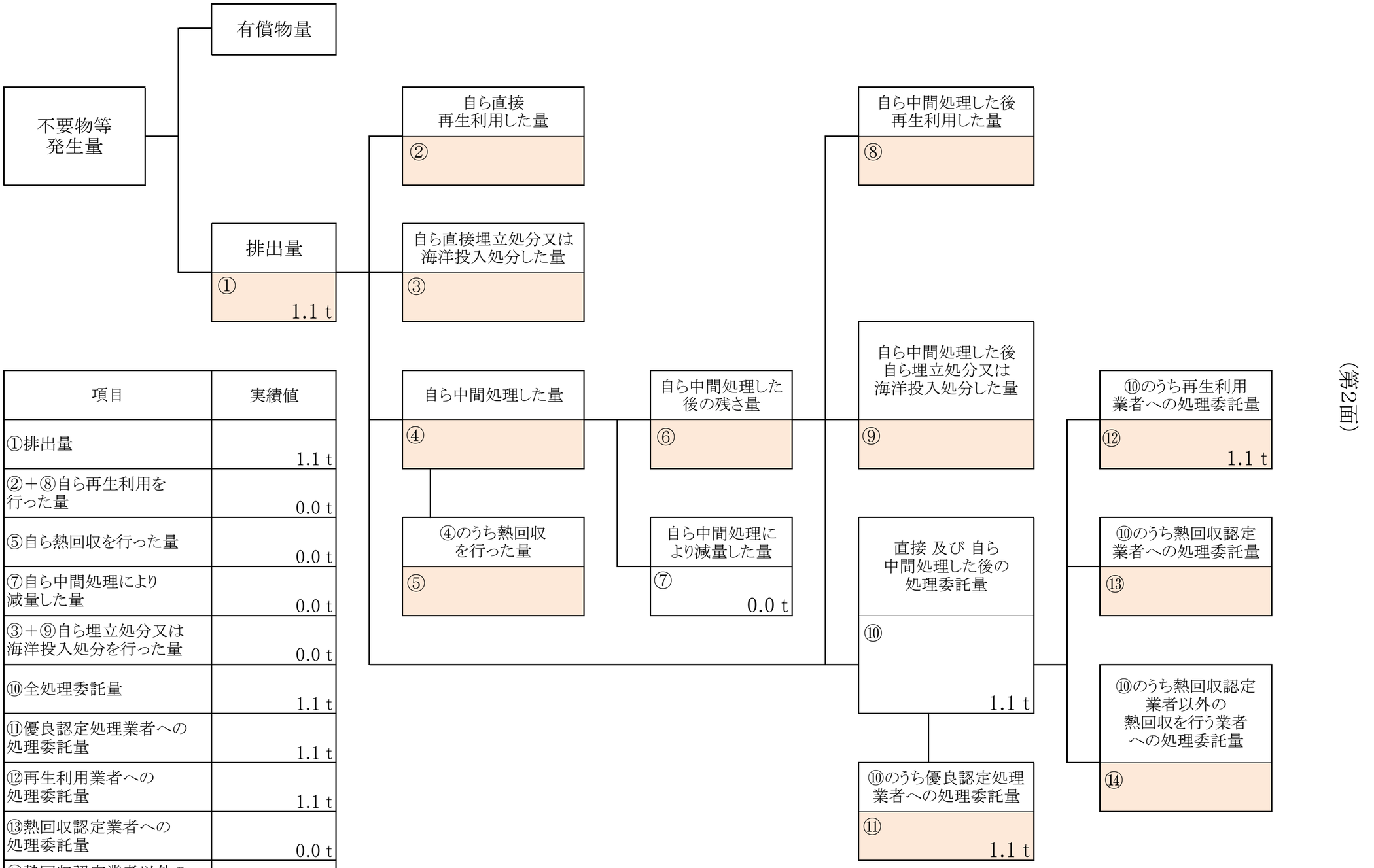


項目	実績値
①排出量	11.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず）

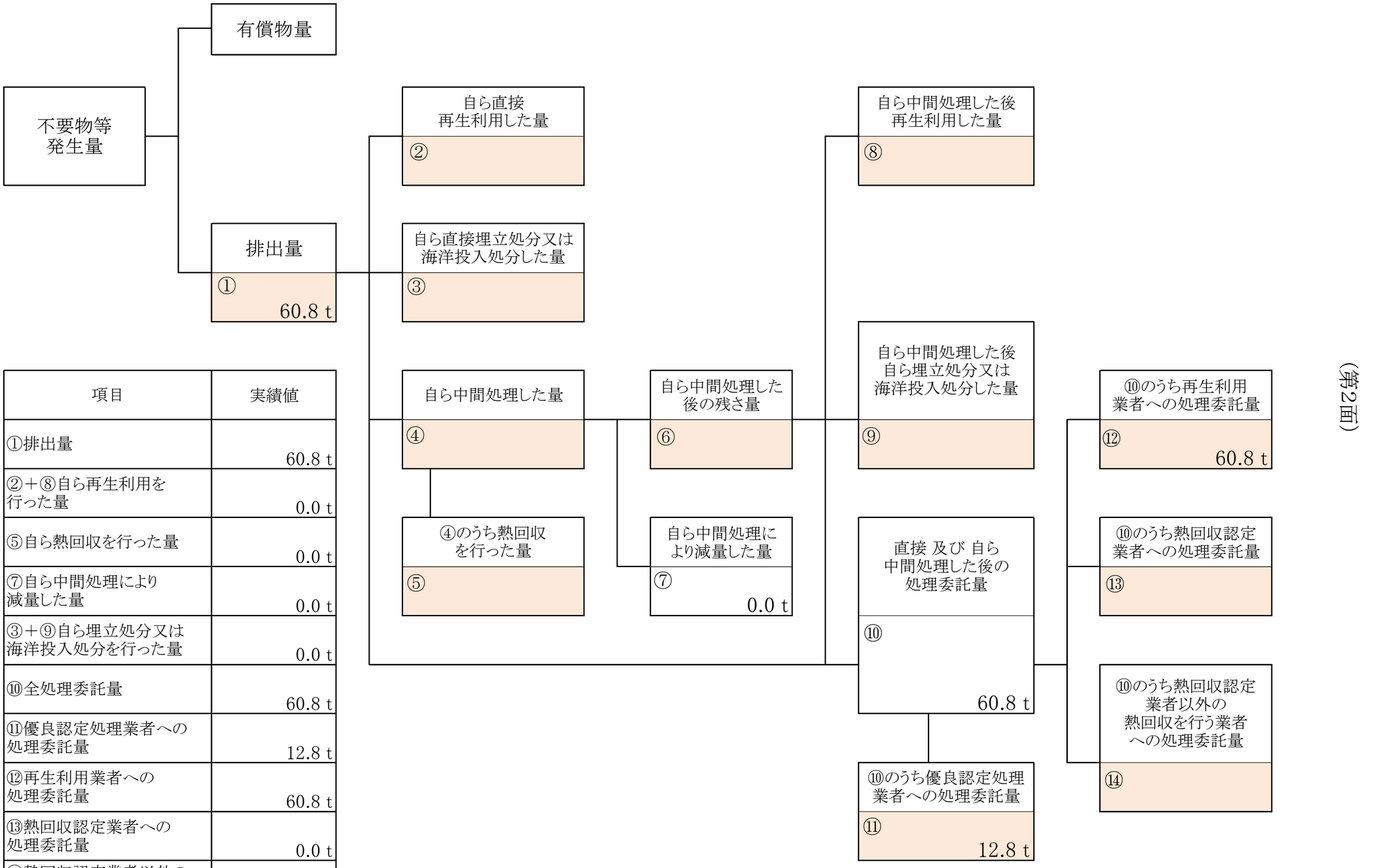


項目	実績値
①排出量	1.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

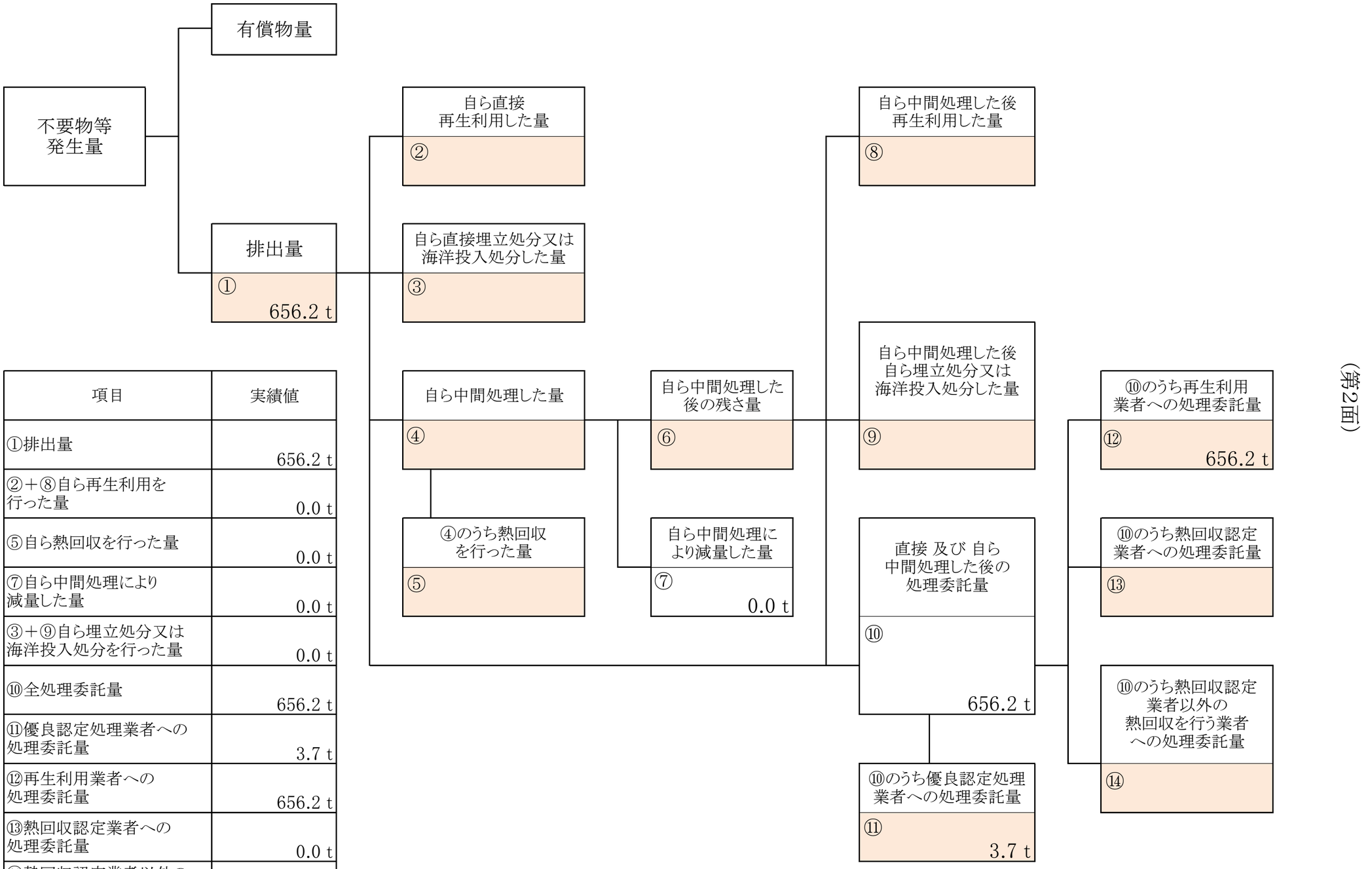


項目	実績値
①排出量	60.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

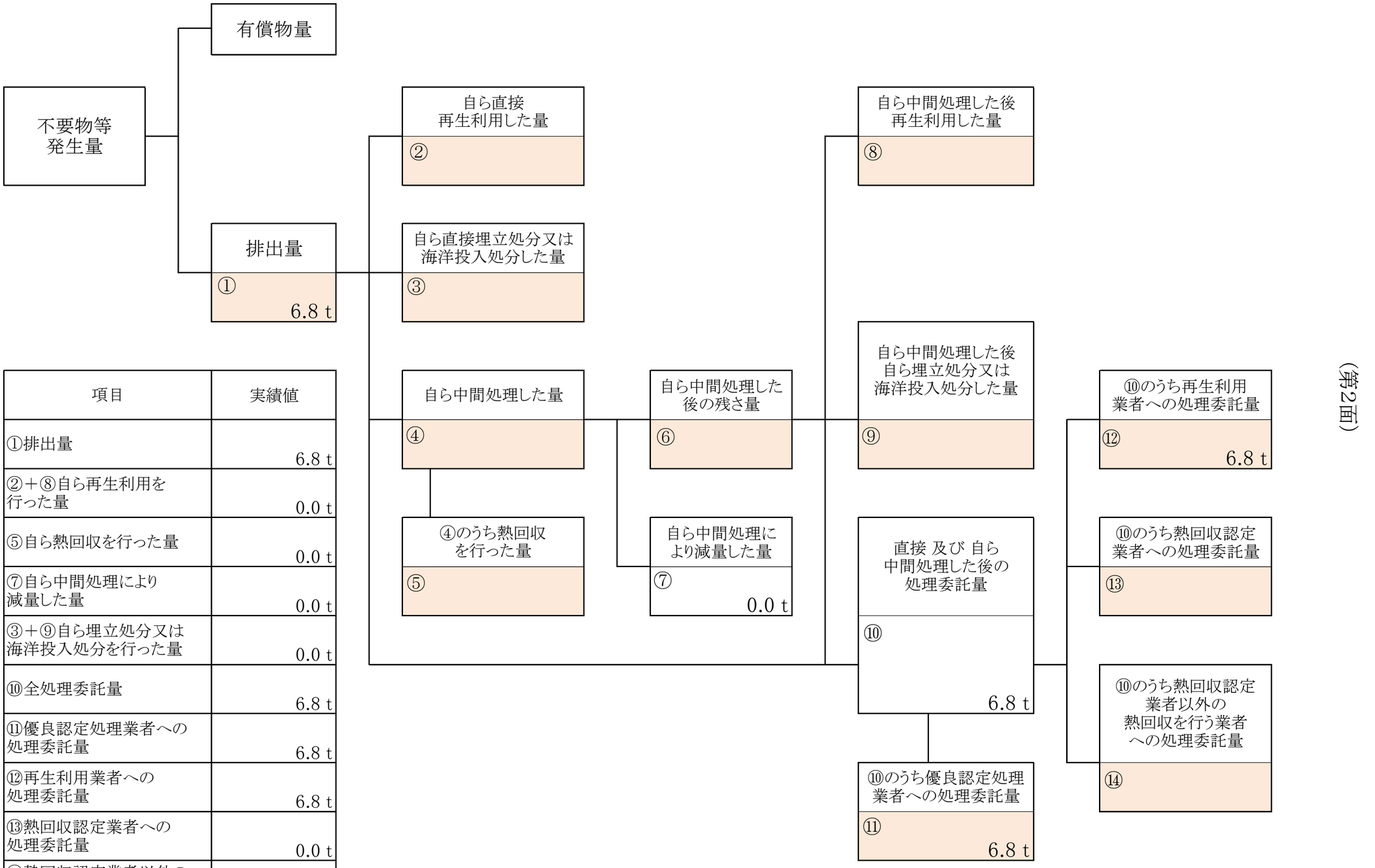


項目	実績値
①排出量	656.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	656.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	656.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	6.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２５年　６月　９日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　　千葉市美浜区中瀬２丁目６番地１
名　称　　三井住友建設株式会社東関東支店
代表者　　支　店　長　　川　﨑　雄　二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４３－２９９－０５６０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社東関東支店
事業場の所在地	千葉市美浜区中瀬２丁目６番地１
計画期間	２０２５年４月１日～２０２６年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高２１，９４４百万円（２０２４年度）
③従業員数	９０人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（１）産業廃棄物の処理工程による

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（２）管理体制図による

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（２０２４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排　出　量	361.4 t	138.7 t

（これまでに実施した取組）
・設計計画（意匠・構造・設備）で廃棄物の発生を抑制する工法を採用する。（工業化・システムユニット化）
・仮設材（型枠材）の転用率向上と断熱材打込型枠の採用
・工場でプレカット加工の実施
・梱包材の簡素化、再利用
・気泡ソイルセメント柱列工法の採用による汚泥の発生量低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
排　出　量	330.0 t	100.0 t

（今後実施する予定の取組）
前年度の施策を継続して確実に実施していく。
・設計計画（意匠・構造・設備）で廃棄物の発生を抑制する工法を採用する。（工業化・システムユニット化）
・仮設材（型枠材）の転用率向上と断熱材打込型枠の採用
・工場でプレカット加工の実施
・梱包材の簡素化、再利用
・気泡ソイルセメント柱列工法の採用による汚泥の発生量低減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・主な分別品目は、建設汚泥、廃プラスチック、金属くず、がれき類廃石膏ボード、電線くず、ダンボール、石綿含有産業廃棄物等
・最終処分比率の低減を目指して、混合廃棄物原単位の目標を設定し分別に努めている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・今年度も昨年度の品目を分別予定。
・最終処分比率の低減を目指して、引き続き各工事毎に分別品目数と、混合廃棄物原単位の目標を設定し分別に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
	排出量	44.4 t	85.1 t	483.3 t
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
	排出量	35.0 t	65.0 t	350.0 t
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
	排出量	1,756.9 t	1,298.6 t	392.2 t
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
	排出量	1,200.0 t	1,000.0 t	250.0 t
①現状	産業廃棄物の種類	紙くず・ダンボール・金属くず	石綿含有作業廃棄物	汚泥
	排出量	58.3 t	2.3 t	1312.6 t
②計画	産業廃棄物の種類	紙くず・ダンボール・金属くず	石綿含有作業廃棄物	汚泥
	排出量	45.0 t	2.0 t	1,000.0 t
①現状	産業廃棄物の種類	蛍光灯		
	排出量	0.1 t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類	蛍光灯		
	排出量	0.1 t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
①現状	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t
②計画	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（２０２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	361.4 t	138.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	361.4 t	138.7 t
	再生利用業者への処理委託量	361.4 t	138.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙（３）産業廃棄物の処理に関する事項（２０２４年度）		

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>330.0 t</td><td>100.0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>330.0 t</td><td>100.0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>330.0 t</td><td>100.0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
別紙（４）産業廃棄物の処理の委託に関する事項（２０２４年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
全処理委託量	44.4 t	85.1 t	483.3 t
優良認定処理業者への処理委託量	44.4 t	42.4 t	483.2 t
再生利用業者への処理委託量	44.4 t	85.1 t	483.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類
全処理委託量	35.0 t	65.0 t	350.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	35.0 t	65.0 t	350.0 t
再生利用業者への処理委託量	35.0 t	65.0 t	350.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	t	t	t

①現状

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
全処理委託量	1,756.9 t	1,298.6 t	392.2 t
優良認定処理業者への処理委託量	518.1 t	186.8 t	392.1 t
再生利用業者への処理委託量	1,756.9 t	1,298.6 t	392.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物
全処理委託量	1,200.0 t	1,000.0 t	250.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,200.0 t	1,000.0 t	250.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,200.0 t	1,000.0 t	250.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託(

①現状

産業廃棄物の種類	紙くず・ダンボール・金属くず	石綿含有廃棄物	汚泥
全処理委託量	58.3 t	2.3 t	1312.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	58.3 t	2.3 t	10.1 t
再生利用業者への処理委託量	58.3 t	0.0 t	1312.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	紙くず・ダンボール・金属くず	石綿含有廃棄物	汚泥
全処理委託量	45.0 t	2.0 t	1,000.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	45.0 t	2.0 t	1,000.0 t
再生利用業者への処理委託量	45.0 t	0.0 t	1,000.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	t	t	t

①現状

産業廃棄物の種類	蛍光灯		
全処理委託量	0.1 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t

②計画

産業廃棄物の種類	蛍光灯		
全処理委託量	0.1 t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

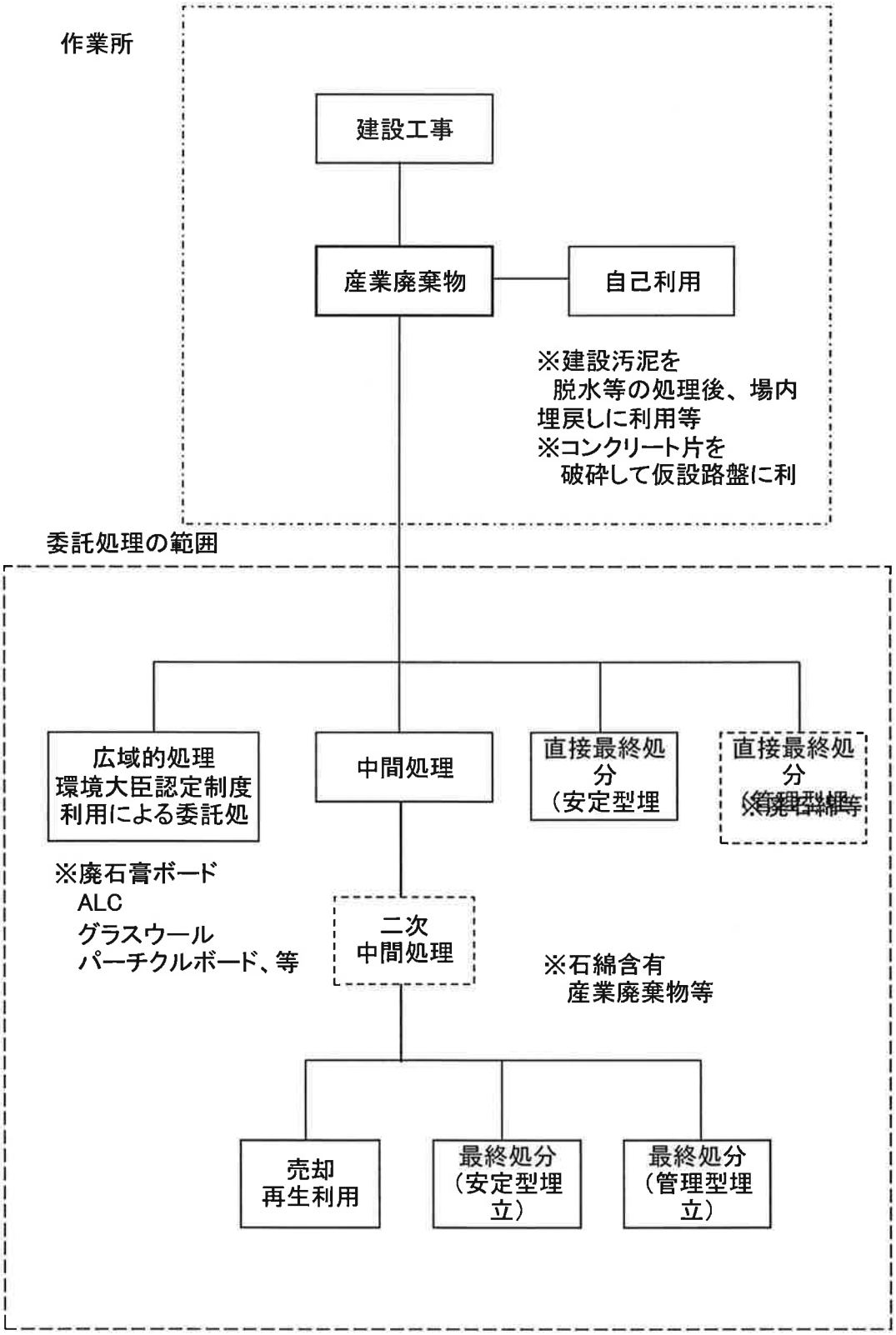
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

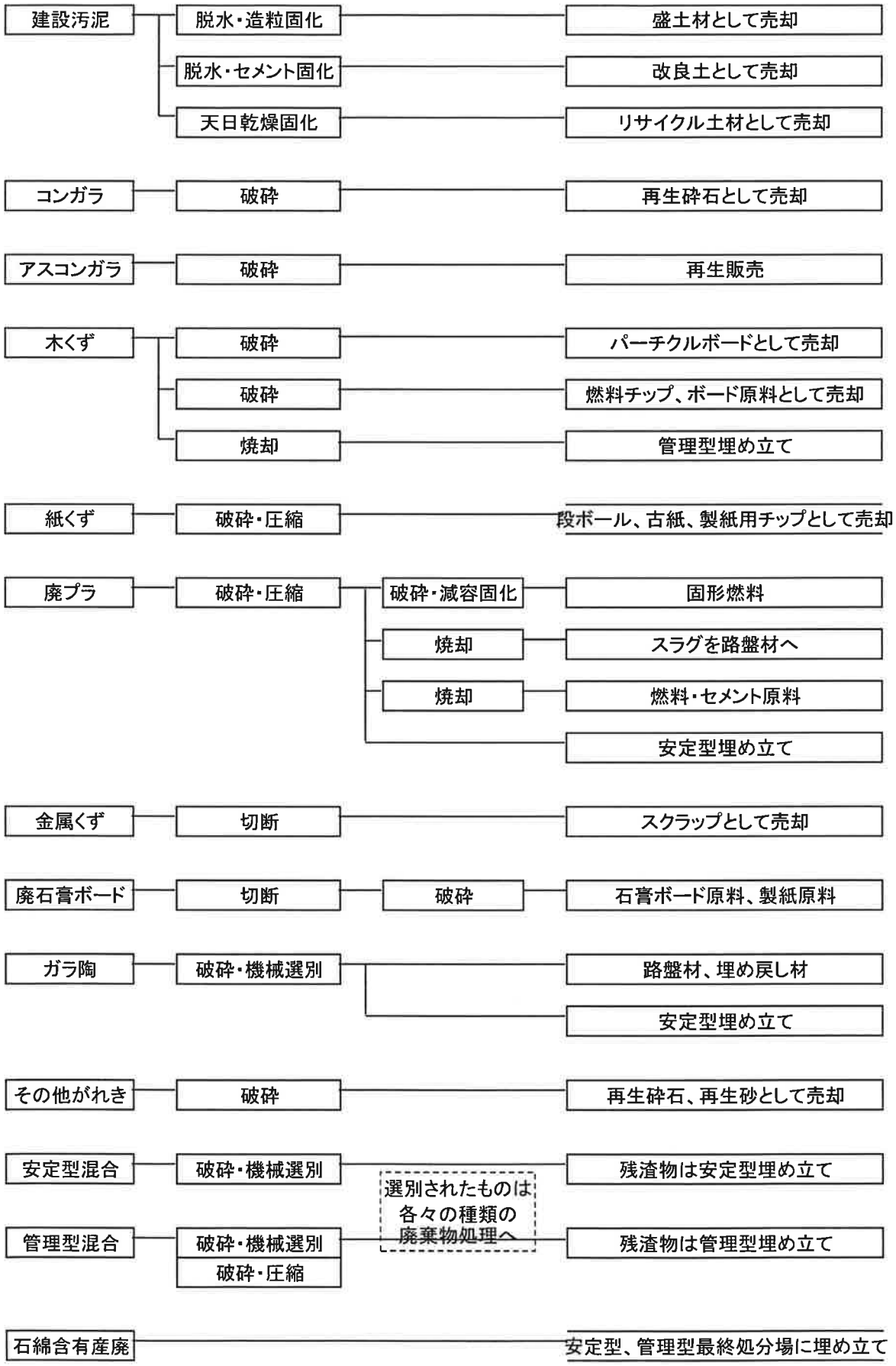
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理工程


作業所
建設工事
産業廃棄物
自己利用
※建設汚泥を
脱水等の処理後、場内
埋戻しに利用等
※コンクリート片を
破砕して仮設路盤に利
委託処理の範囲
広域的処理
環境大臣認定制度
利用による委託処
※廃石膏ボード
ALC
グラスウール
パーチクルボード、等
中間処理
直接最終処
分
(安定型埋
直接最終処
分
(管理型埋
※石綿含有
産業廃棄物等
二次
中間処理
売却
再生利用
最終処分
(安定型埋
立)
最終処分
(管理型埋
立)

廃棄物の種類別処理の工程

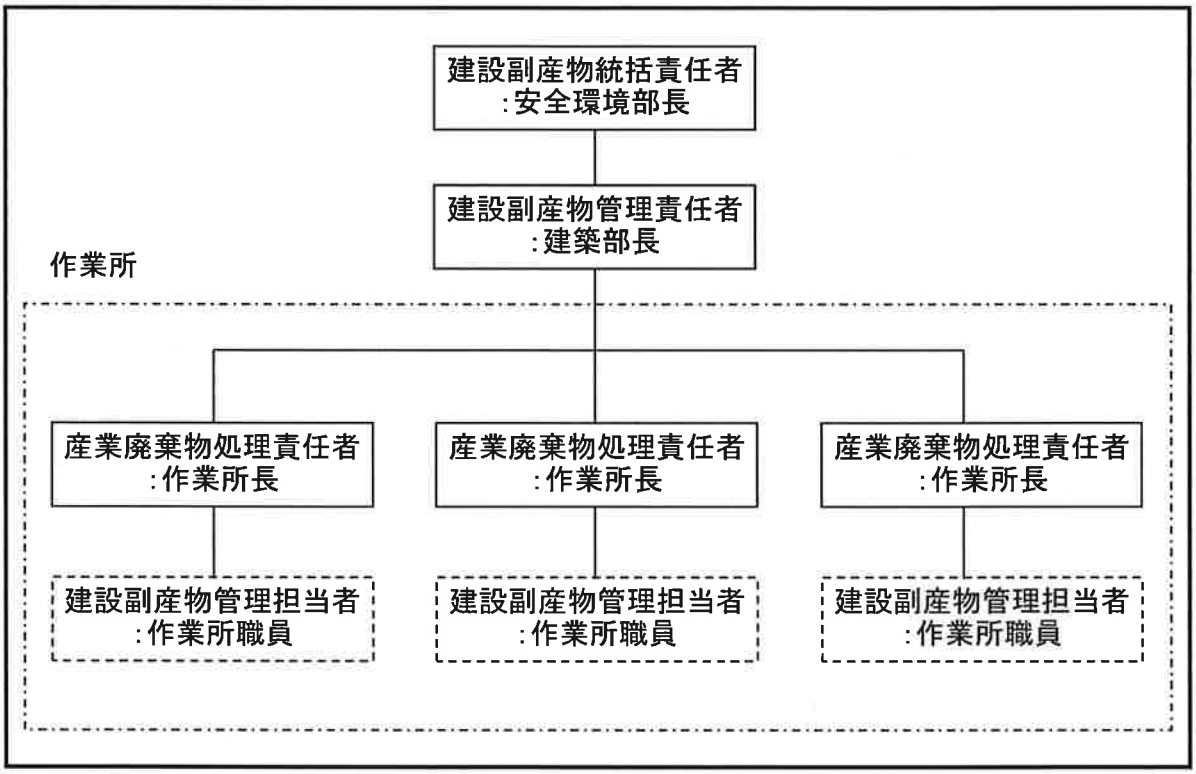


東関東支店の建設副産物に関する管理体制

名　称	役 割 と 責 任	職　名
建設副産物統括責任者	・施工に関わる建設副産物を総括的に管理する ・支店外への対応を行う	支店長が指名 原則、安全環境部長
建設副産物管理責任者	・施工部門の建設副産物を総合的に管理する	支店長が指名 原則、建築部長
産業廃棄物処理責任者	・作業所の産業廃棄物の適正処理を管理する	支店長が指名 作業所長
建設副産物管理担当者	・作業所の建設副産物の日常管理を行う	（作業所職員から作業所長が指名）

東関東支店

管理体制図



産業廃棄物の処理の委託に関する事項（2024年度）

・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認した

収集運搬会社	・発生場所と処分場所（中間処理施設、最終処分場）の両方の都道府県、政令市の許可を持っていること ・許可の期限（委託中に切れる場合は、更新を確認すること） ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・積み替え・保管施設経由の有無 ・許可車両の一覧表を持っていること ・なるべく電子マニフェストに対応できること
中間処理、最終処分会社	・許可の期限（委託中に切れる場合は、更新を確認すること） ・業の区分（中間処理、最終処分） ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか（調査して、規制があれば従う） ・なるべく電子マニフェストに対応できること

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（2025年度）

・契約に当たっては、許可証の内容、現地確認等により以下の内容を確認する

収集運搬会社	・発生場所と処分場所（中間処理施設、最終処分場）の両方の都道府県の許可を持っていること ・許可の期限（委託中に切れる場合は、更新を確認すること） ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・積み替え・保管施設経由の有無 ・許可車両の一覧表を持っていること ・なるべく電子マニフェストに対応できること
中間処理、最終処分会社	・許可の期限（委託中に切れる場合は、更新を確認すること） ・業の区分（中間処理、最終処分） ・委託する廃棄物の種類の許可を持っていること ・中間処理の場合は、委託量に対して処理施設の能力があるかどうか ・最終処分の場合は、委託量に対して埋立地の容量があるかどうか ・県外廃棄物の規制があるかどうか（調査して、規制があれば従う） ・なるべく電子マニフェストに対応できること

・可能であれば優良認定処理業者に処理を委託する

・焼却の場合は単純焼却ではなく、可能であれば熱回収業者に処理を委託する

・電子マニフェストの利用を原則とする

・委託処理施設の現地確認を定期的に実施する

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月9日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者
住　所　千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1
名　称　三井住友建設株式会社東関東支店
代表者　支店長　川　﨑　雄　二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043－299－0560

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社東関東支店
事業場の所在地	千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

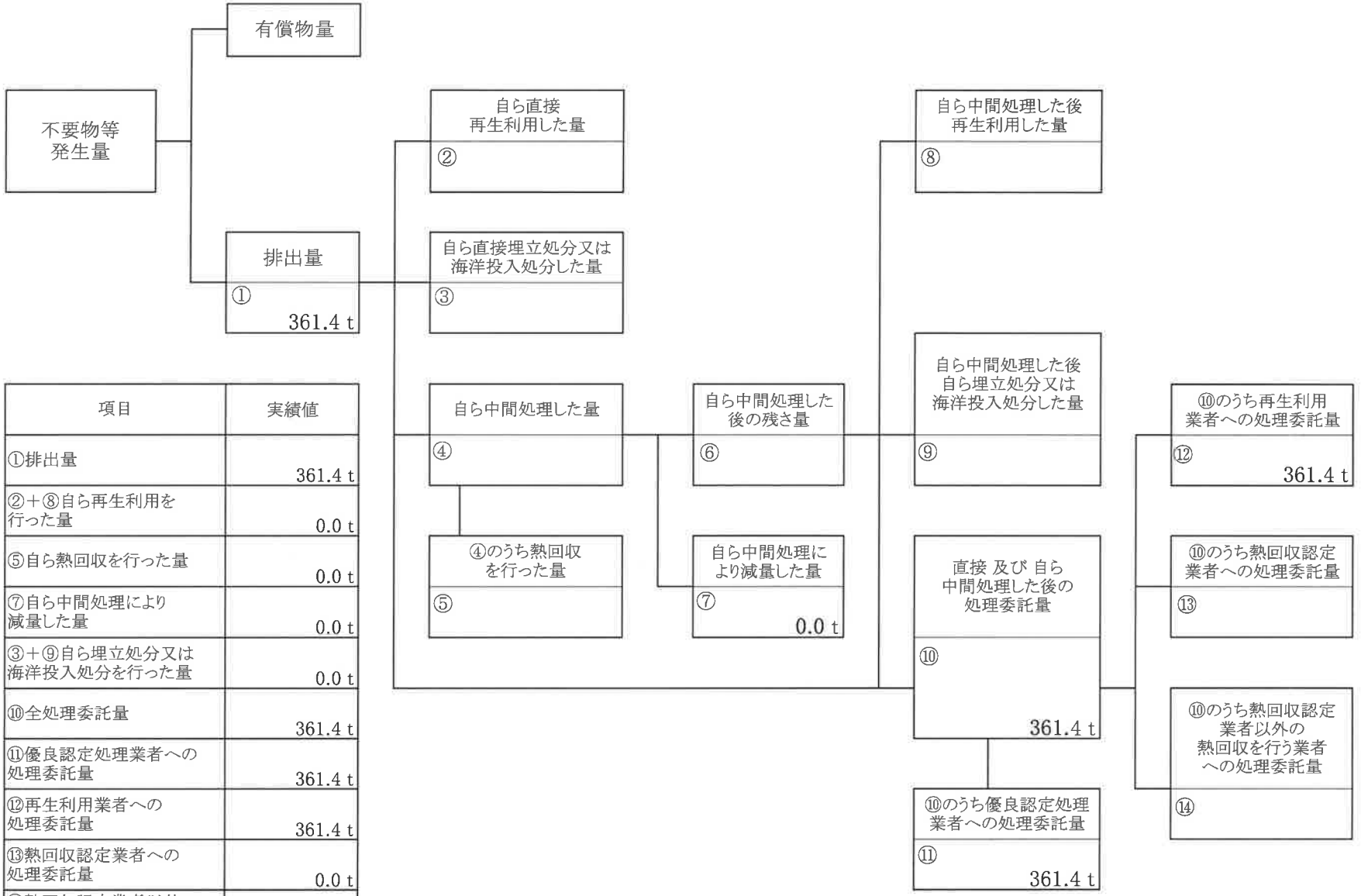
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3653.0 t	全処理委託量	3653.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3653.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3645.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**廃プラスチック類**　）

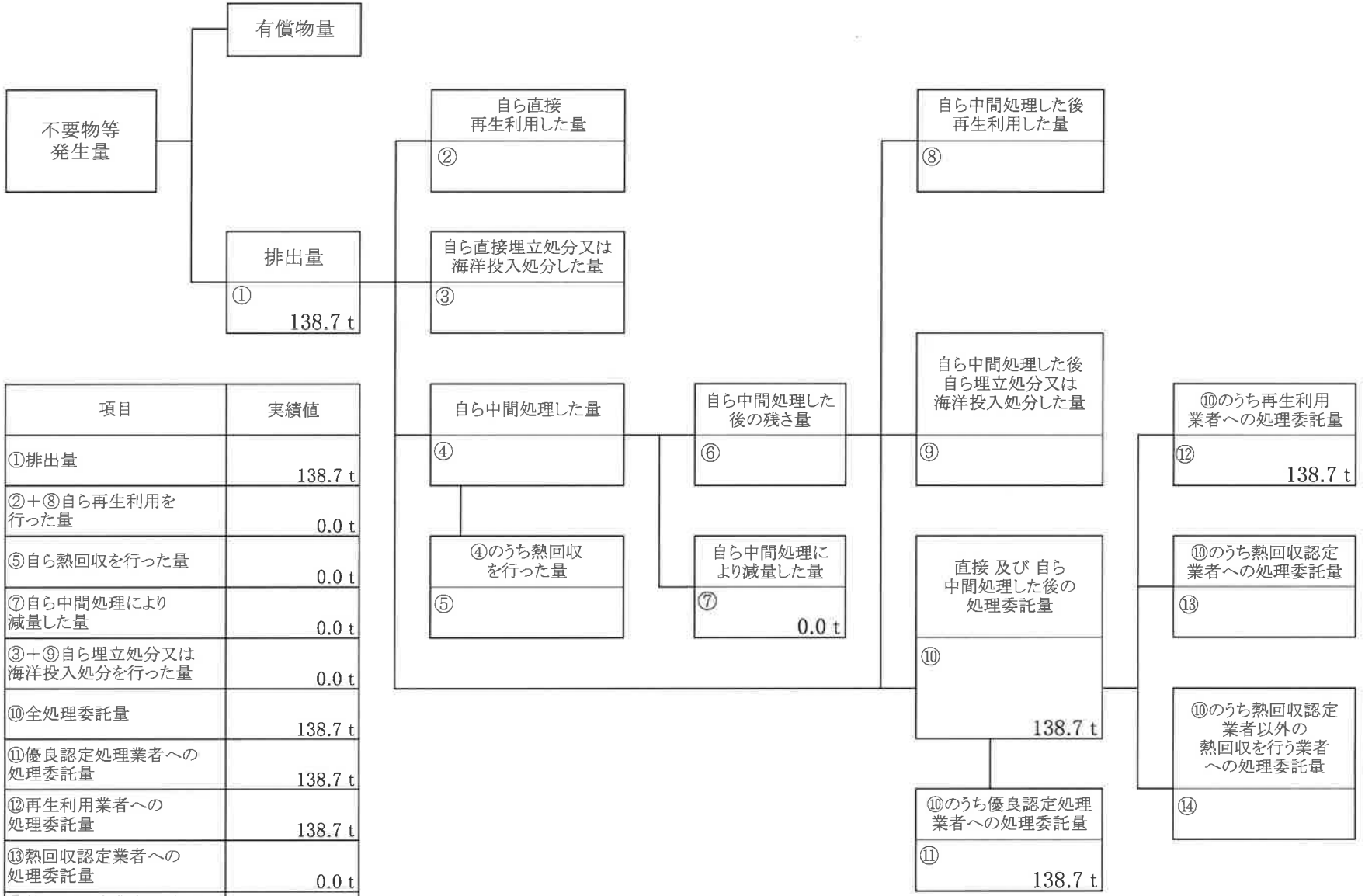


項目	実績値
①排出量	361.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	361.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	361.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	361.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

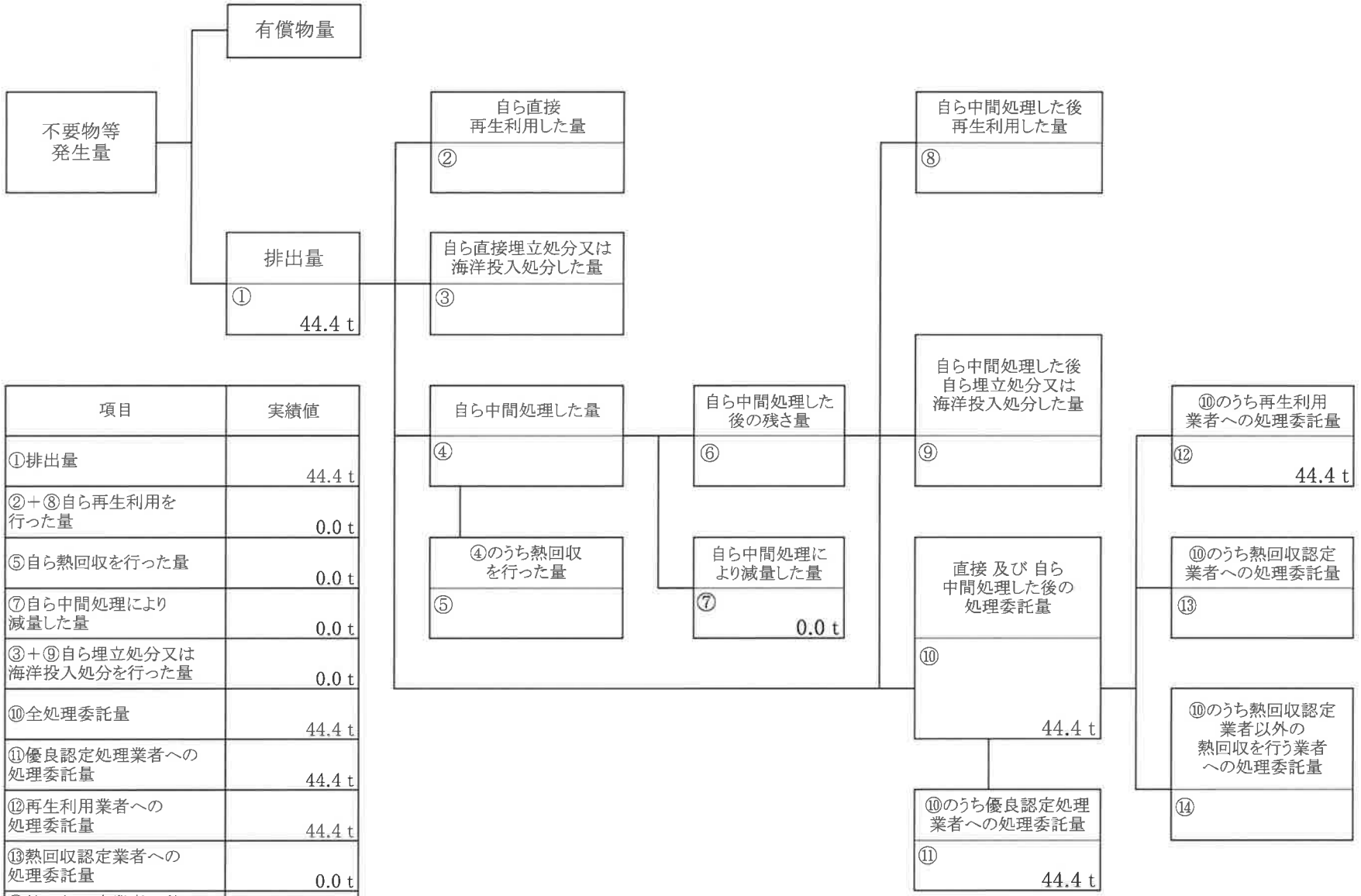


項目	実績値
①排出量	138.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	138.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	138.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	138.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

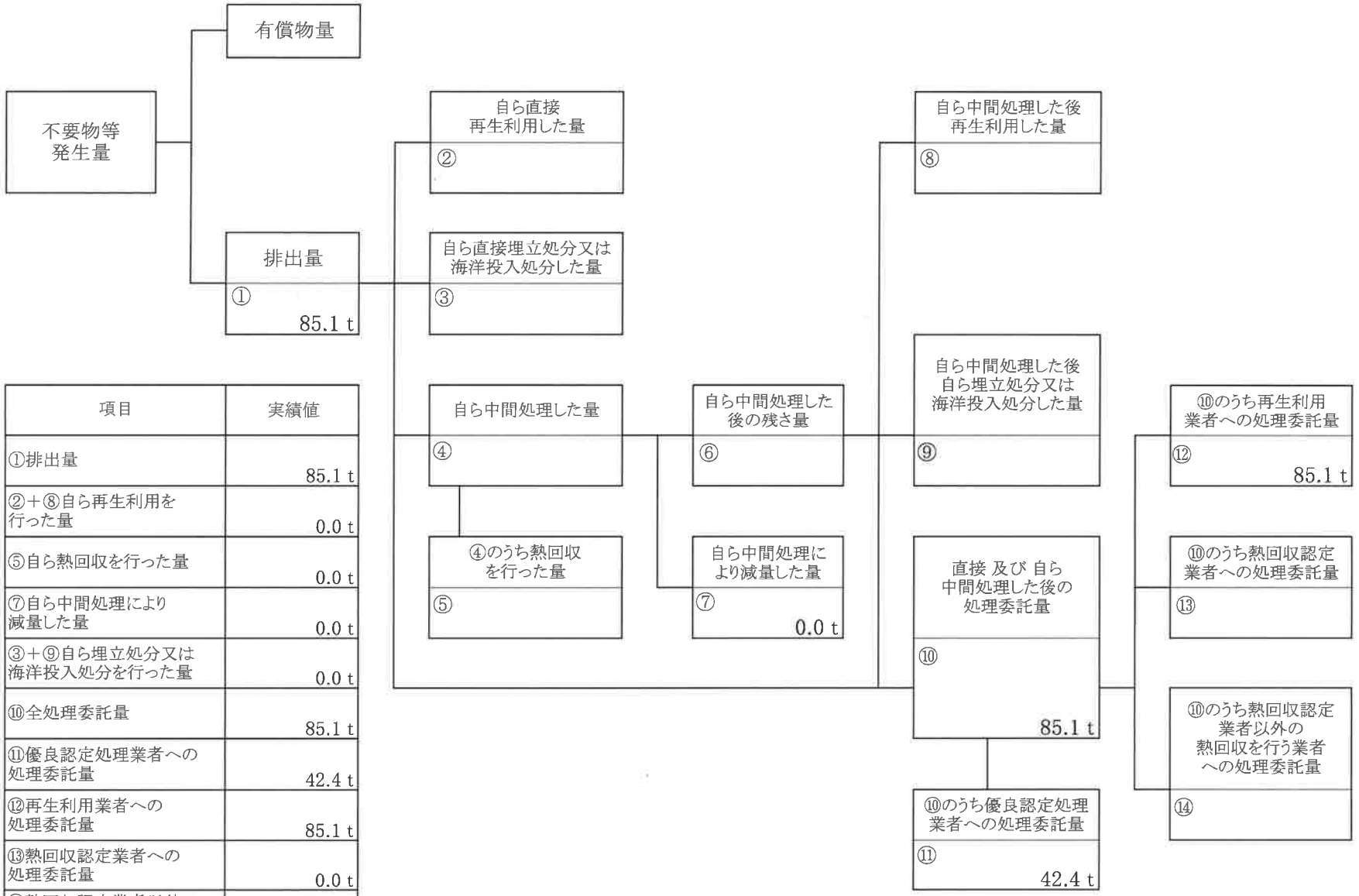


項目	実績値
①排出量	44.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石膏ボード　）

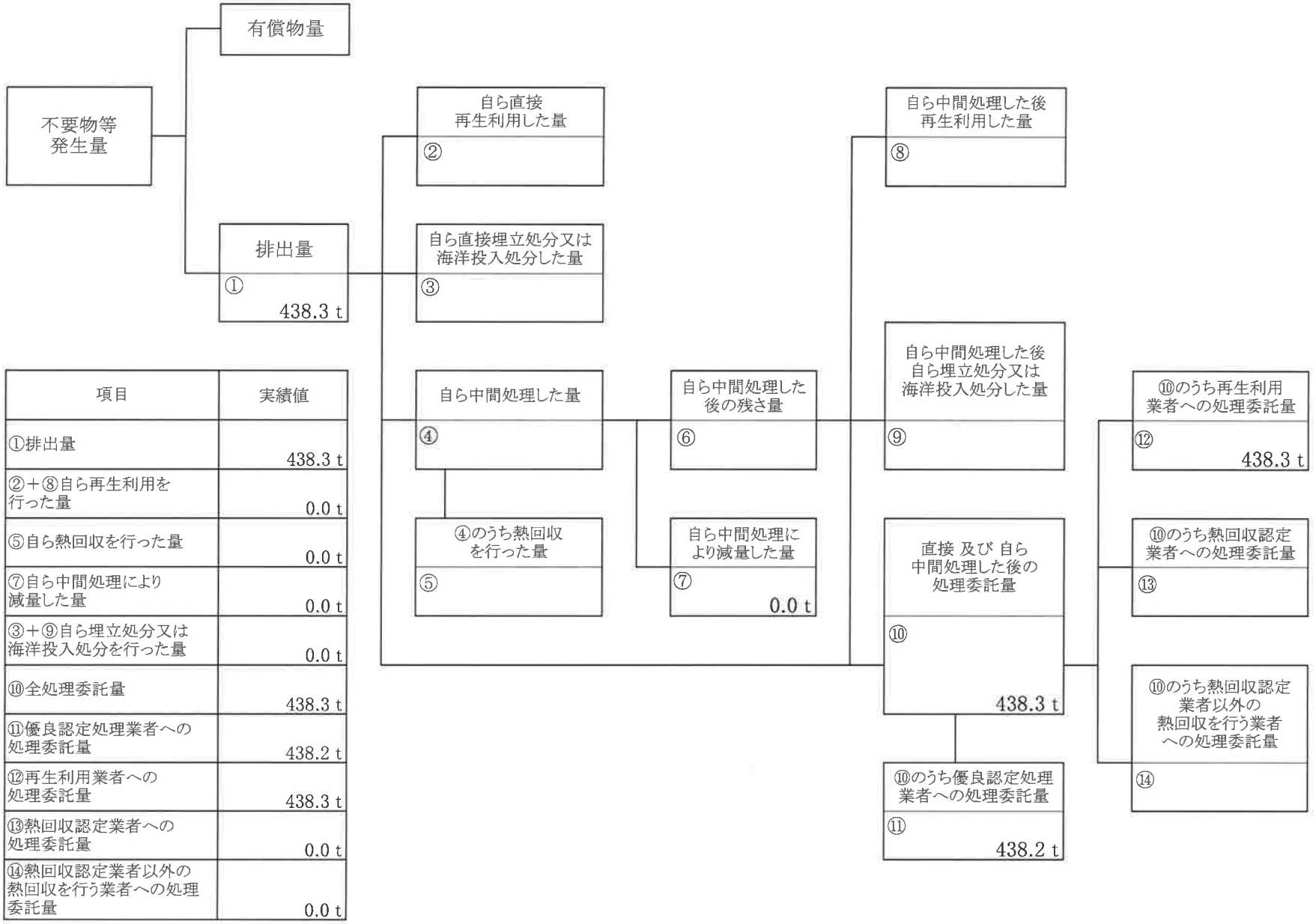


項目	実績値
①排出量	85.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	85.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**がれき類**　）

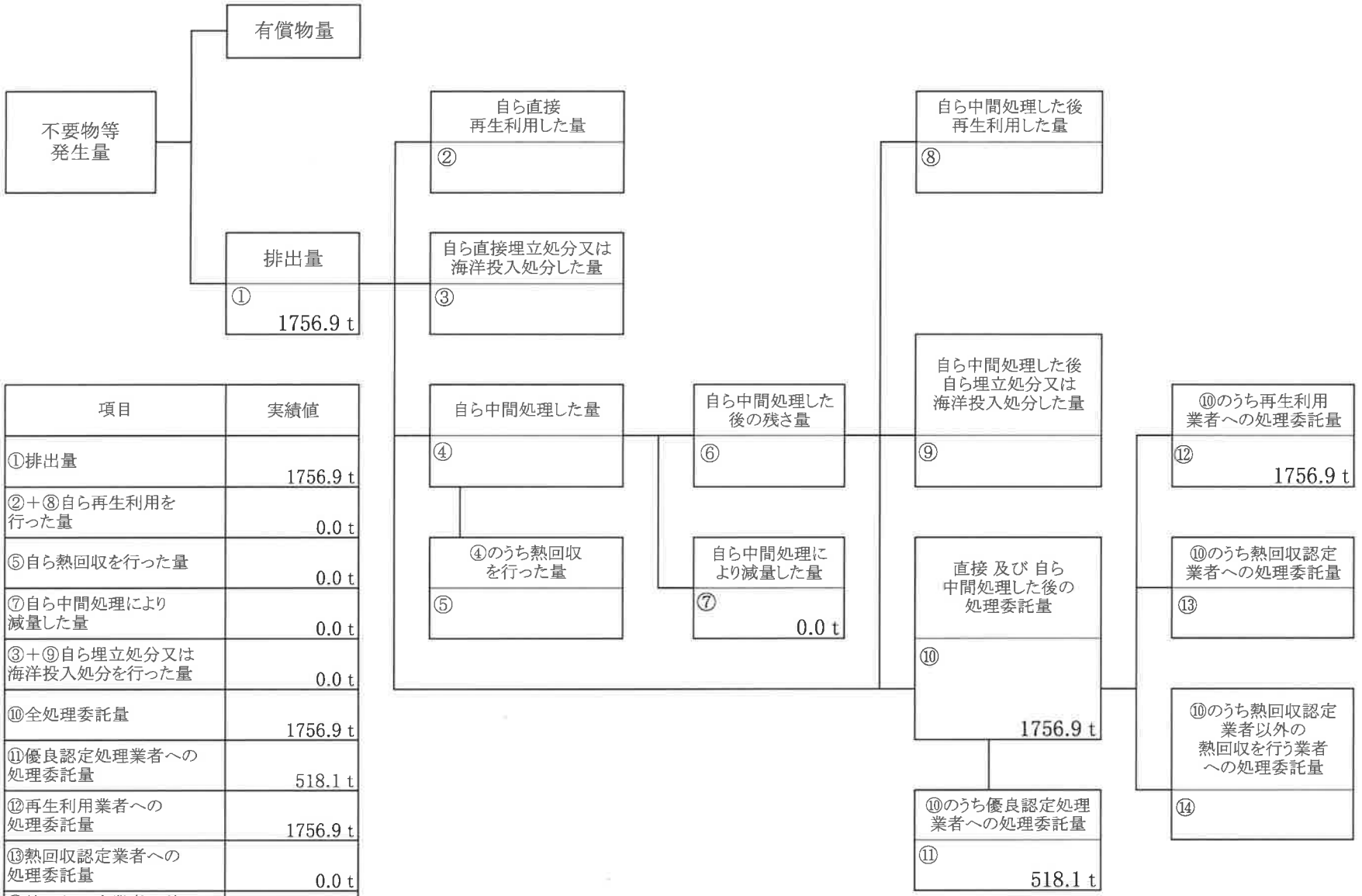


項目	実績値
①排出量	438.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	438.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	438.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	438.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　コンクリート破片　）

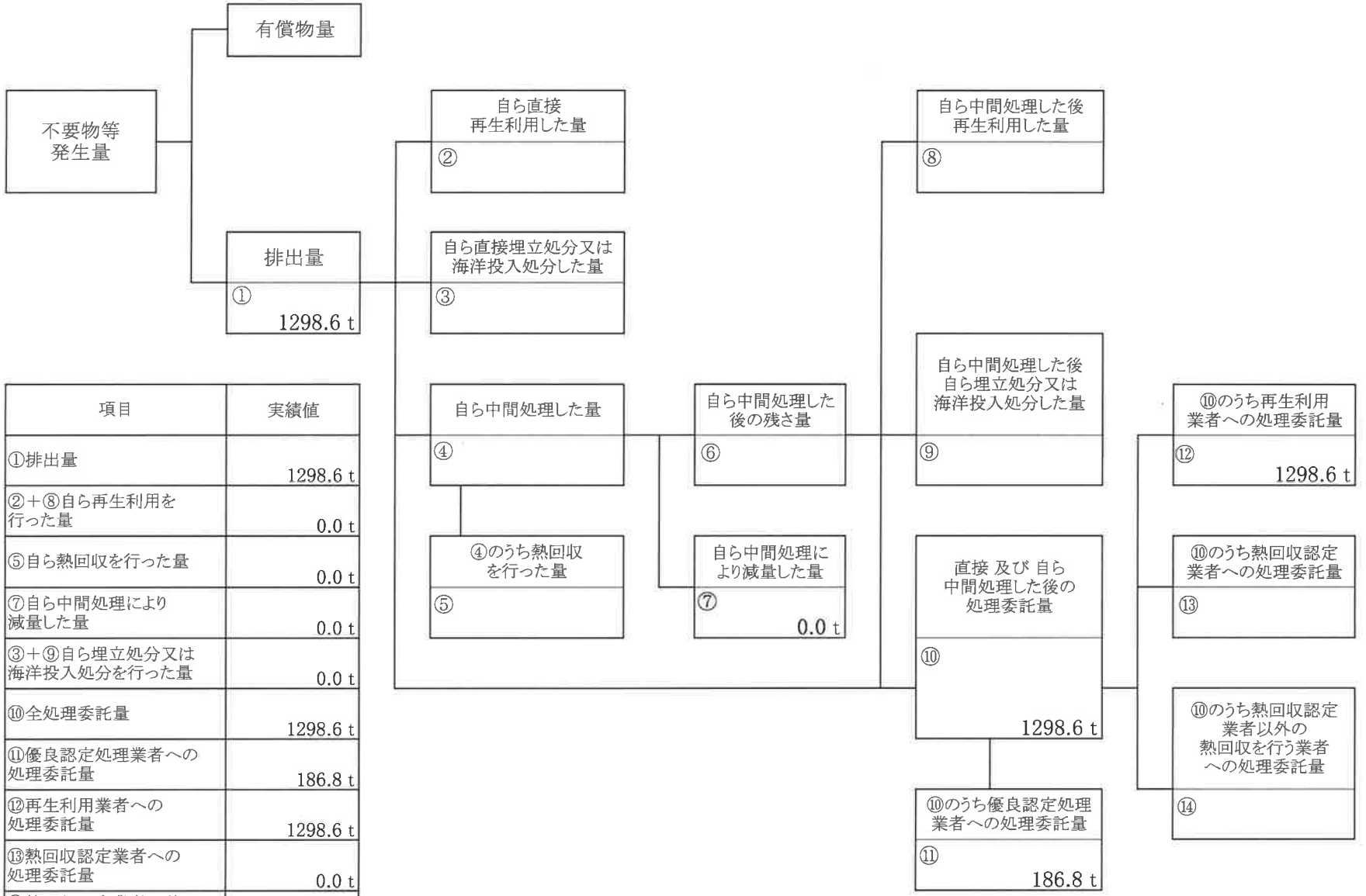


項目	実績値
①排出量	1756.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1756.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	518.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1756.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　アスファルト・コンクリート破片　）

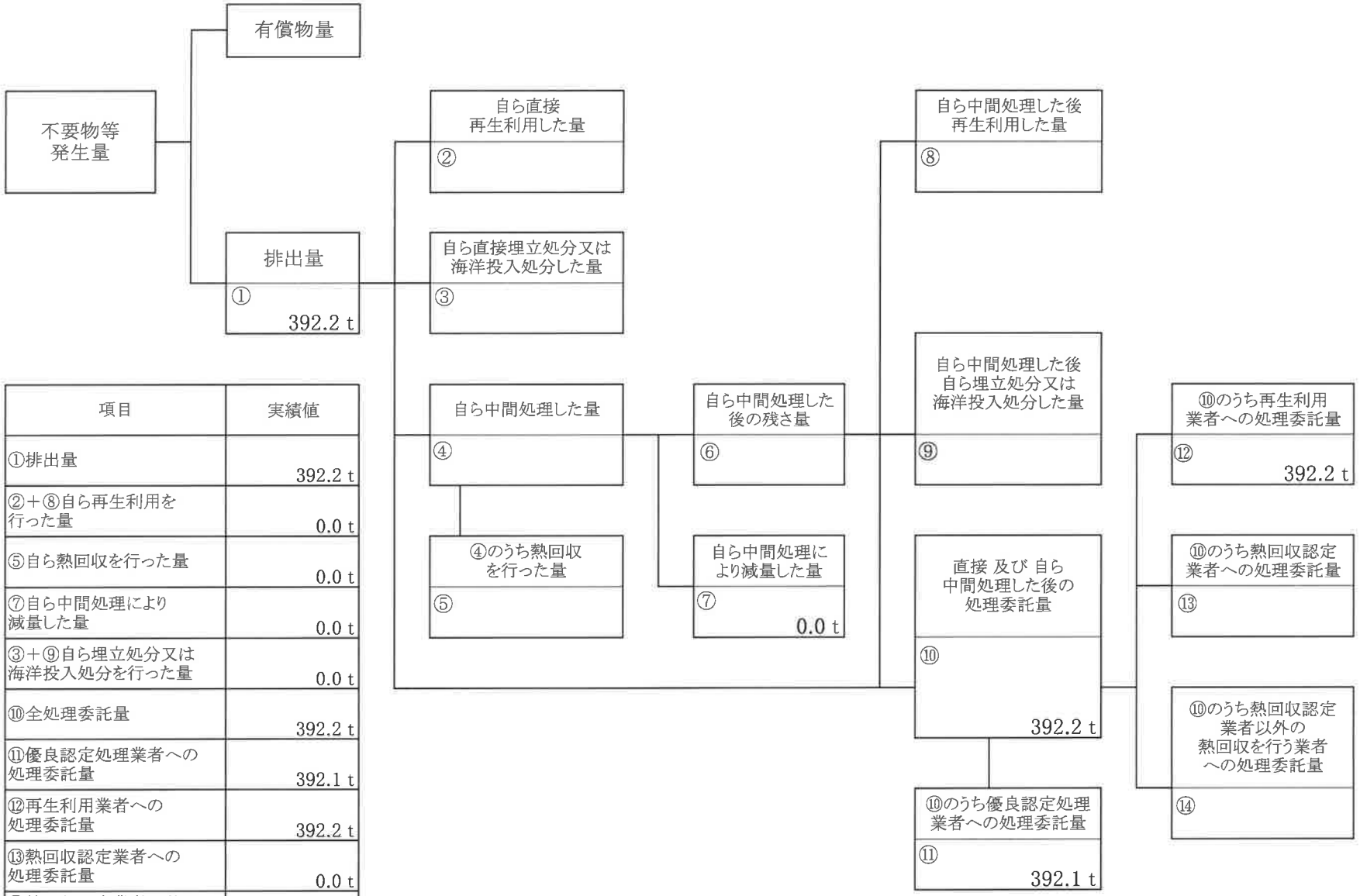


項目	実績値
①排出量	1298.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1298.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	186.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1298.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**建設混合廃棄物**　）

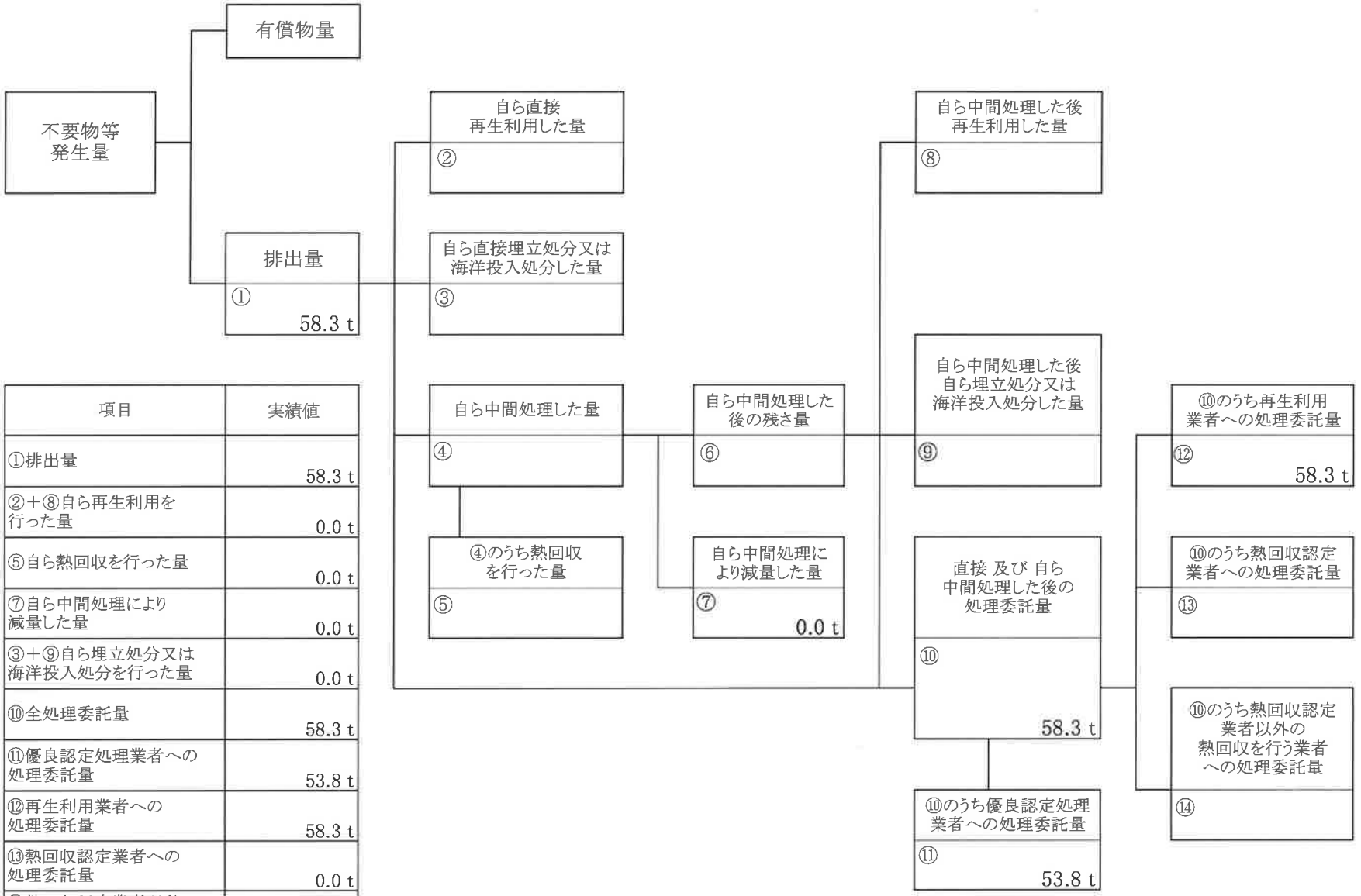


項目	実績値
①排出量	392.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	392.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	392.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	392.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**紙くず・ダンボール・金属くず**　）

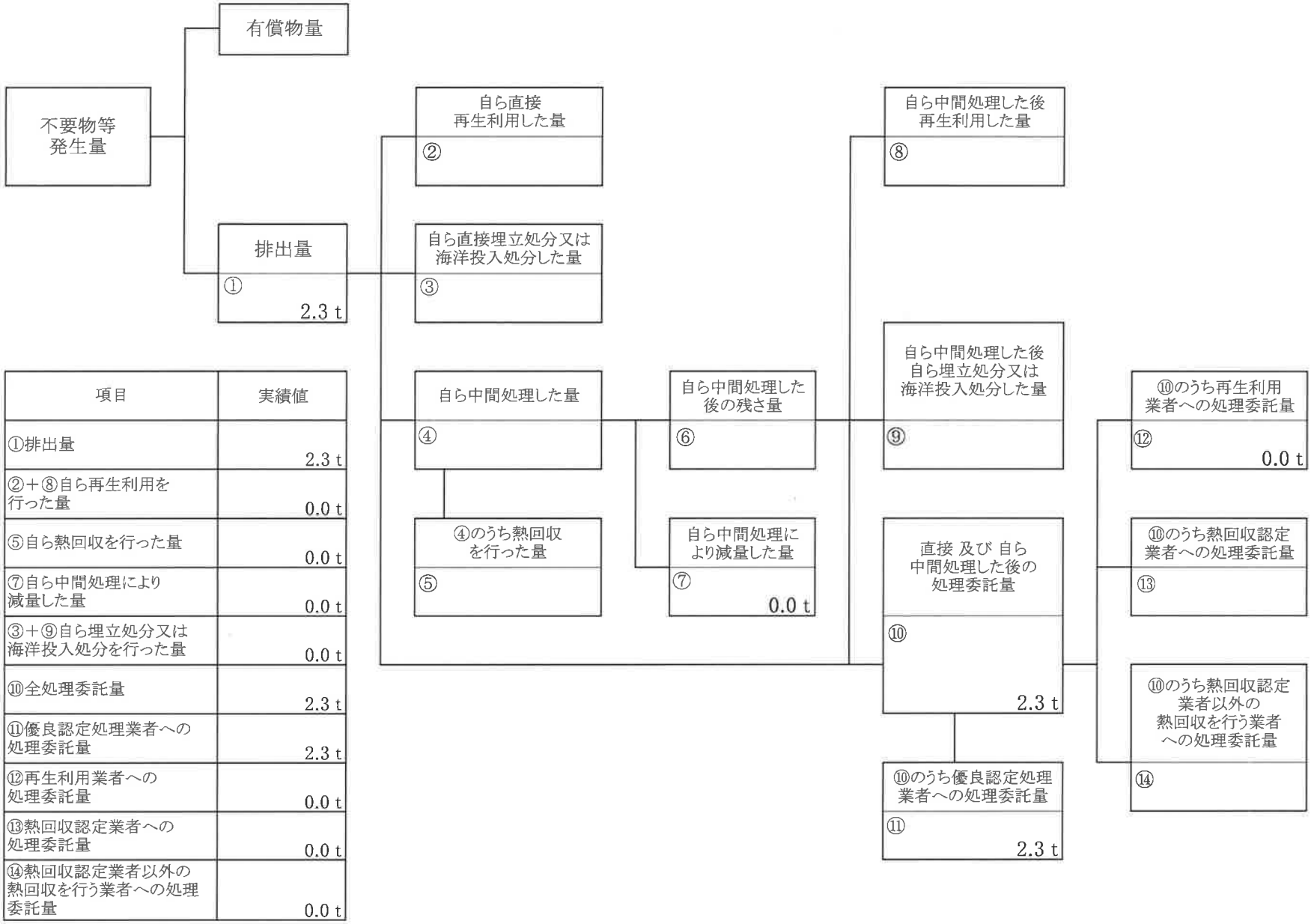


項目	実績値
①排出量	58.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	58.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	53.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	58.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　石綿含有産業廃棄物　）

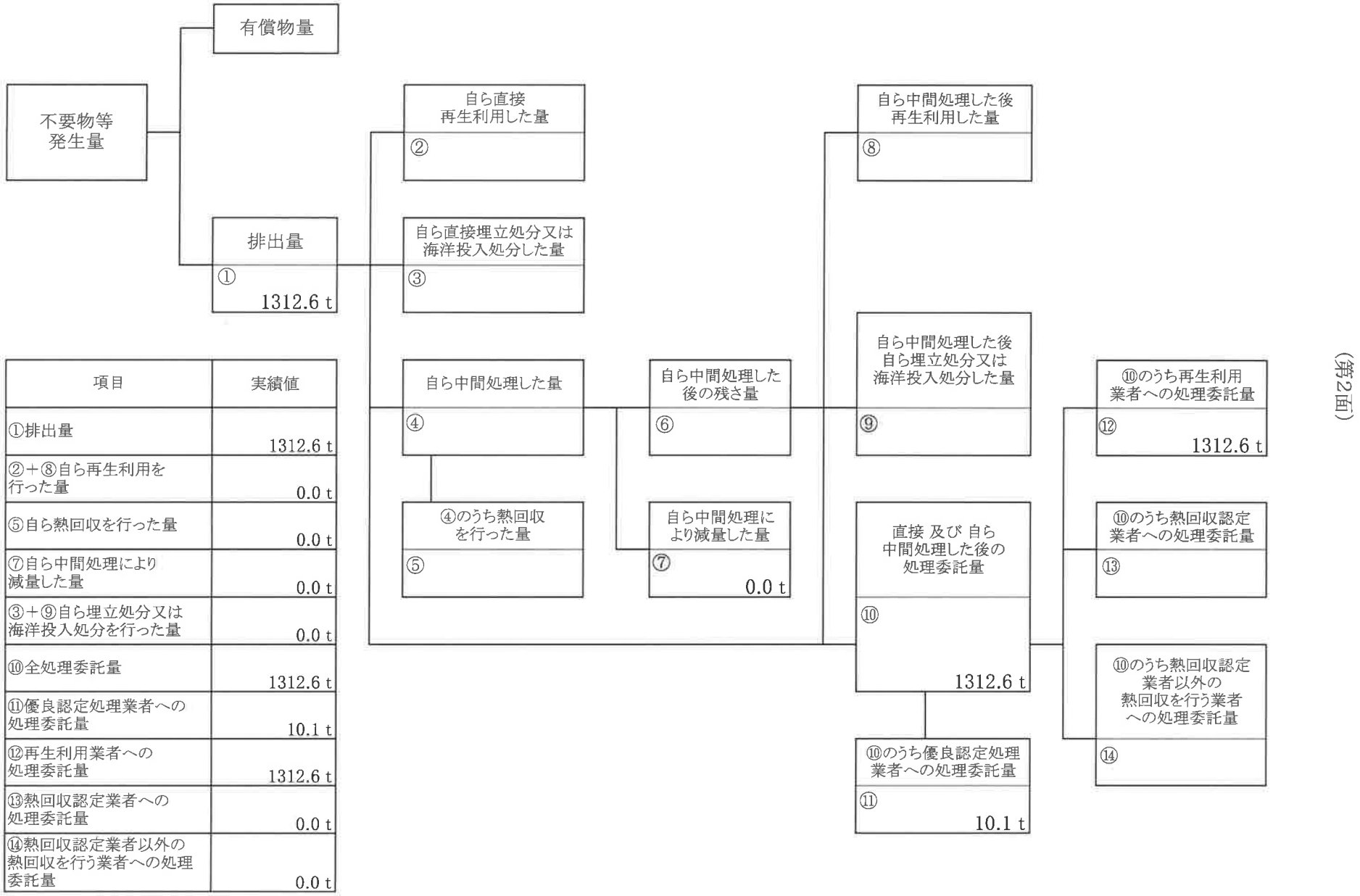


項目	実績値
①排出量	2.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

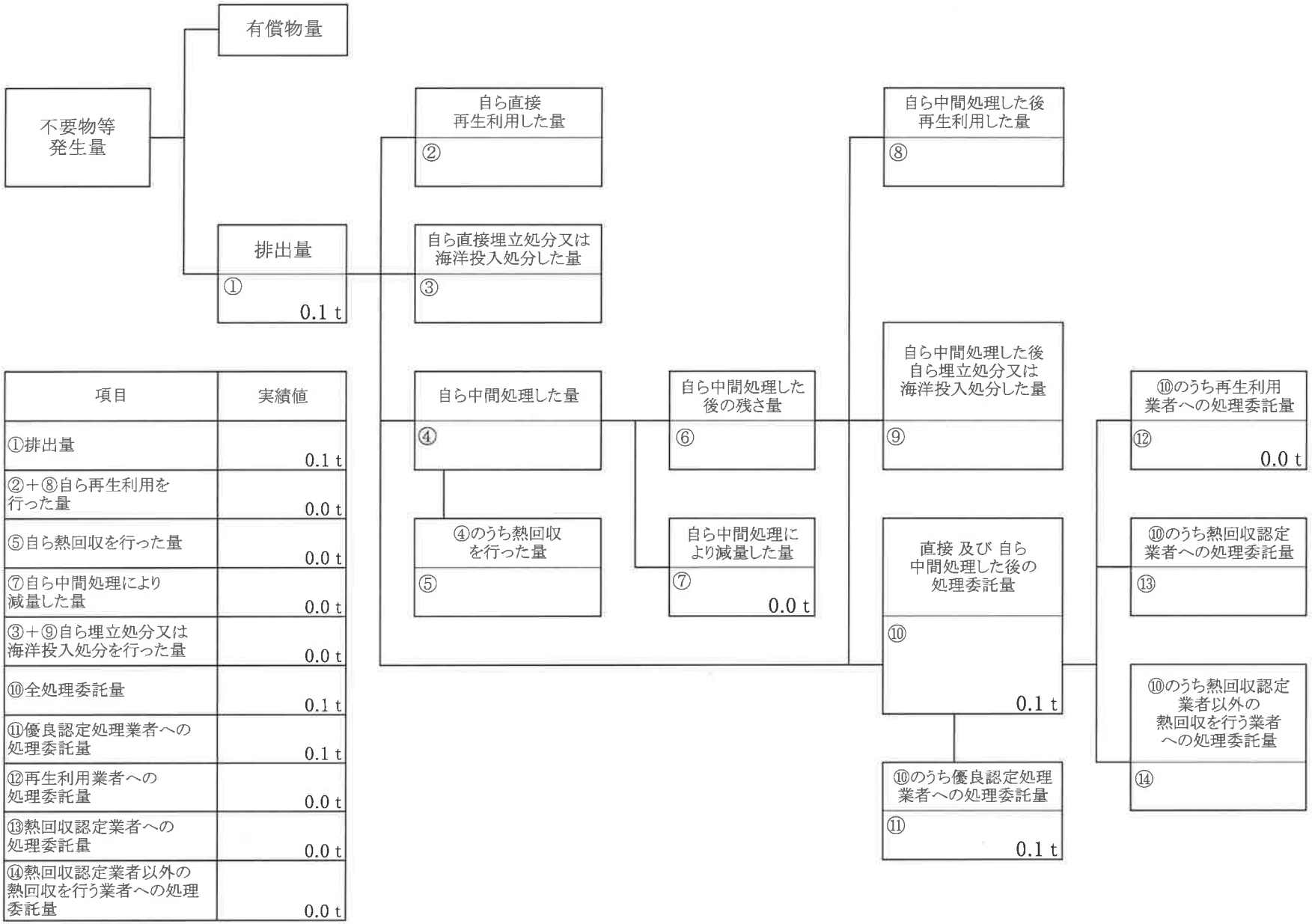


項目	実績値
①排出量	1312.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1312.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1312.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　蛍光灯　）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒273-0012

住　所　千葉県船橋市浜町2-1-1
ららぽーと三井ビル12階

氏　名　三井ホーム株式会社千葉建設事業部
部長　平沢　明生

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　047-437-9810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井ホーム株式会社　千葉建設事業部
事業場の所在地	千葉県船橋市浜町2-1-1　ららぽーと三井ビル12階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	11,211百万円
③ 従業員数	25人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別表1のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別表2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
排出量	472.9 t	72.9 t

（これまでに実施した取組）
1）ＯＳプレカット推進の対象エリアを更に拡大する事により木材投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制した。
2）屋根材・軒天合板・断熱材プレカット推進の対象エリアを更に拡大する事により投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制した。
3）現場投入量の削減策を検討し、試行した。
4）部資材ロット単位や拾い基準の見直しにより排出量の削減を推進した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
排出量	460.6 t	71.0 t

（今後実施する予定の取組）
1）ＯＳプレカットを継続して実施する事により木材投入量を削減し、結果として現場排出量を抑制する。
2）部資材ロット単位や拾い基準の見直しによる排出量の削減を推進する。
3）造作材プレカット・省梱包化・養生材の再利用の検討をし、実施する事で現場排出量を抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出するよう、関係各位への指導・徹底を行った。
＜袋詰め排出＞①廃石膏ボード②廃プラスチック類③木くず④紙くず⑤金属くず⑥その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートガラ他）
＜束ねて排出＞⑦長尺材（ランバー等はカットのうえ束ねる）⑧段ボール
2）解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順の遵守、分別排出の推進を指導した。また、特定品目の再資源化施設への処理委託を推進した。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
1）新築系産業廃棄物は、原則以下の品目ごとに分別し排出する。
＜袋詰め排出＞①廃石膏ボード②廃プラスチック類③木くず④紙くず⑤金属くず
⑥その他（ガラス陶磁器くず、コンクリートガラ他）
＜束ねて排出＞⑦長尺材（ランバー等はカットのうえ束ねる）⑧段ボール
2）解体系産業廃棄物は建設リサイクル法の定める手順を遵守し、分別解体を行う。また、特定品目（木くず、コンクリート）の再資源化施設への処理委託を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量_	472.9 t	72.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	153.3 t	25.4 t
再生利用業者への処理委託量	453.1 t	71.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	319.1 t	47.5 t

（これまでに実施した取組）
1）産業廃棄物の処理は、委託契約を締結した収集運搬業者と処理処分業者のみに委託することを徹底している。
2）廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの処理の工程を把握するため廃棄物処理体制表を作成。処理ルートの変更があった場合は委託契約の変更等、必要な手続きを速やかに行った。
3）廃棄物管理票（マニフェスト）により、最終処分までの工程の確認を行った。
4）新築系においては可能な限り袋詰め分別を行い、解体系においては現場での分別排出（解体）及び再資源化施設での処理委託を推進した。
5）委託契約先処理施設の現地確認を行い、委託に適する業者か否か確認した。

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類＿		廃プラスチック類	金属くず
		全処理委託量＿		460.6 t	71.0 t
			優良認定処理業者への処理委託量	149.3 t	24.7 t
			再生利用業者への処理委託量	441.3 t	69.7 t
			認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	310.8 t	46.3 t
		（今後実施する予定の取組） １）産業廃棄物の収集運搬、処理処分を委託する場合には、事前に収集運搬業者と処理処分業者のそれぞれ個別に書面により委託基本契約を締結する。 ２）処理の工程の確認は、廃棄物管理票（マニフェスト）により行う。 ３）新築系においては可能な限り袋詰め分別排出を行い、解体系においては現場での分別排出(解体)及び再資源化施設での処理委託を推進する。 ４）委託契約先処理施設の現地確認をおこなう。 中間処理場・リサイクル施設および積替え保管場所－年1回 最終処分場－３年に１回			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		排　出　量	415.8 t	953.1 t	11.6 t	293.7 t	910.2 t	2.7 t	139.4 t	0.4 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		排　出　量	405.0 t	928.3 t	11.3 t	286.1 t	886.5 t	2.6 t	135.8 t	0.4 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	415.8 t	953.1 t	11.6 t	293.7 t	910.2 t	2.7 t	139.4 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	172.1 t	199.5 t	2.1 t	78.7 t	204.9 t	0.2 t	57.1 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	370.3 t	710.8 t	0.0 t	285.9 t	887.7 t	2.6 t	114.2 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	211.8 t	689.0 t	2.5 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート・陶磁器くず	がれき類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード	管理型混合廃棄物
	全処理委託量	405.0 t	928.3 t	11.3 t	286.1 t	886.5 t	2.6 t	135.8 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	167.6 t	194.3 t	2.0 t	76.6 t	199.5 t	0.2 t	55.6 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	360.6 t	692.3 t	0.0 t	278.4 t	864.6 t	2.5 t	111.3 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	206.2 t	671.0 t	2.4 t	0.0 t	0.0 t

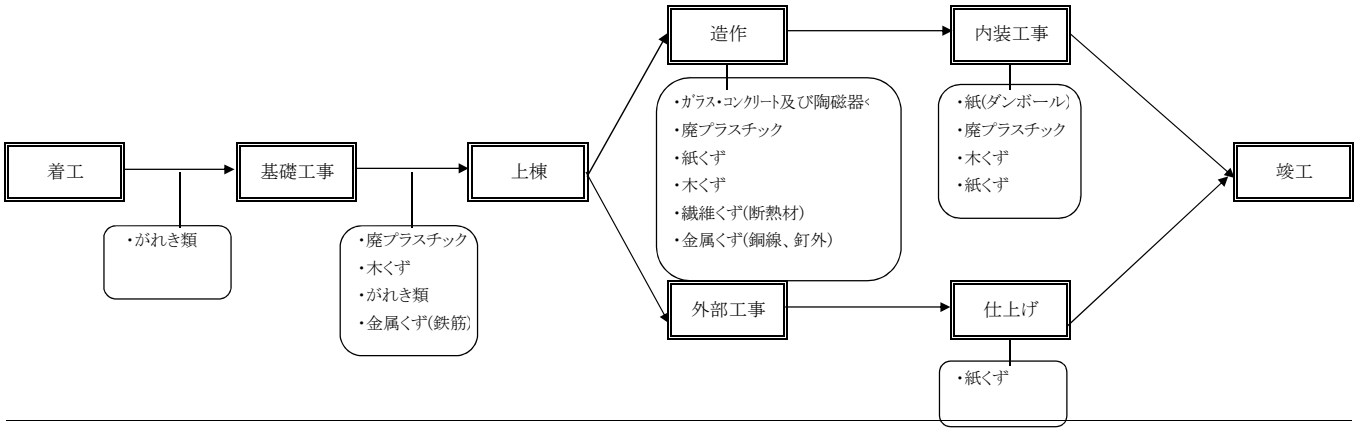
《 別 表 １ 》

― 産業廃棄物の一連の処理の工程 ―

がれき類	→	破砕・選別	→ 再生利用
ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器くず	→	破砕・選別	→ 再生利用
廃プラスチック	→	破砕・圧縮・選別・固化・切断	→ 再生利用
紙くず	→	破砕・圧縮・選別	→ 再生利用
木くず	→	破砕・圧縮・選別	→ 再生利用
繊維くず	→	破砕・圧縮・選別・切断	→ 再生利用
金属くず	→	破砕・選別	→ 再生利用
石綿含有産業廃棄物	→		埋立

新築工事

※製造品目は、木造住宅のみ



解体工事

※既存家屋解体工事

がれき類 / ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ及び陶磁器くず / 廃プラスチック / 紙くず / 木くず / 繊維くず / 金属くず / 廃石膏ボード / 混合廃棄物 / 石綿含有産業廃棄物

《 別 表 2 》

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

廃棄物管理責任者	三井ホーム 本社 建設事業推進部長
廃棄物処理統括責任者	三井ホーム 千葉建設事業部 部長
廃棄物処理責任者	三井ホーム 千葉建設事業部 施工グループ長
廃棄物処理担当者	三井ホーム 千葉建設事業部 工事担当者

廃棄物管理責任者	
職位	三井ホーム本社 建設事業推進部長
権限	産業廃棄物に関する業務の責任者として、三井ホーム部・支社及びFC会社の業務遂行を指揮・管理する。
役割	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ・事務局 建設事業推進部 建設事業推進グループ

廃棄物処理統括責任者	
職位	三井ホーム各事業本部の建設事業部長、支社長、及びFC会社技術責任者
権限	廃棄物処理に関する三井ホーム部・支社及びFC会社の最高責任者として、部下を指揮・監督し、業務執行を統括する。
役割	○廃棄物処理方針の策定 ○技術部及び支店およびFC会社の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種運用事項の決定、承認

廃棄物処理責任者	
職位	三井ホーム建設事業部生産グループ長・施工グループ長、オーナーサポート部技術室長・リフォーム営業室長、及びFC会社技術責任者もしくは廃棄物処理統括責任者が任命する者
権限	部下を指揮・監督し、廃棄物処理に関する業務を遂行する。
役割	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定および管理 ○委託契約の締結 ○監督官庁への各種報告

廃棄物処理担当者	
職位	三井ホーム 部・支社・FC会社工事担当者・オーナーサポート担当者・リフォーム担当者
権限	廃棄物処理責任者の命を受け、廃棄物処理に関する業務を遂行する。
役割	○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○その他関連する事項

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月 21 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒273-0012
住 所　千葉県船橋市浜町2-1-1
ららぽーと三井ビル12階
氏 名　三井ホーム株式会社千葉建設事業部
部長 平沢 明生
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 047-437-9810

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三井ホーム株式会社 千葉建設事業部
事業場の所在地	千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビル12階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

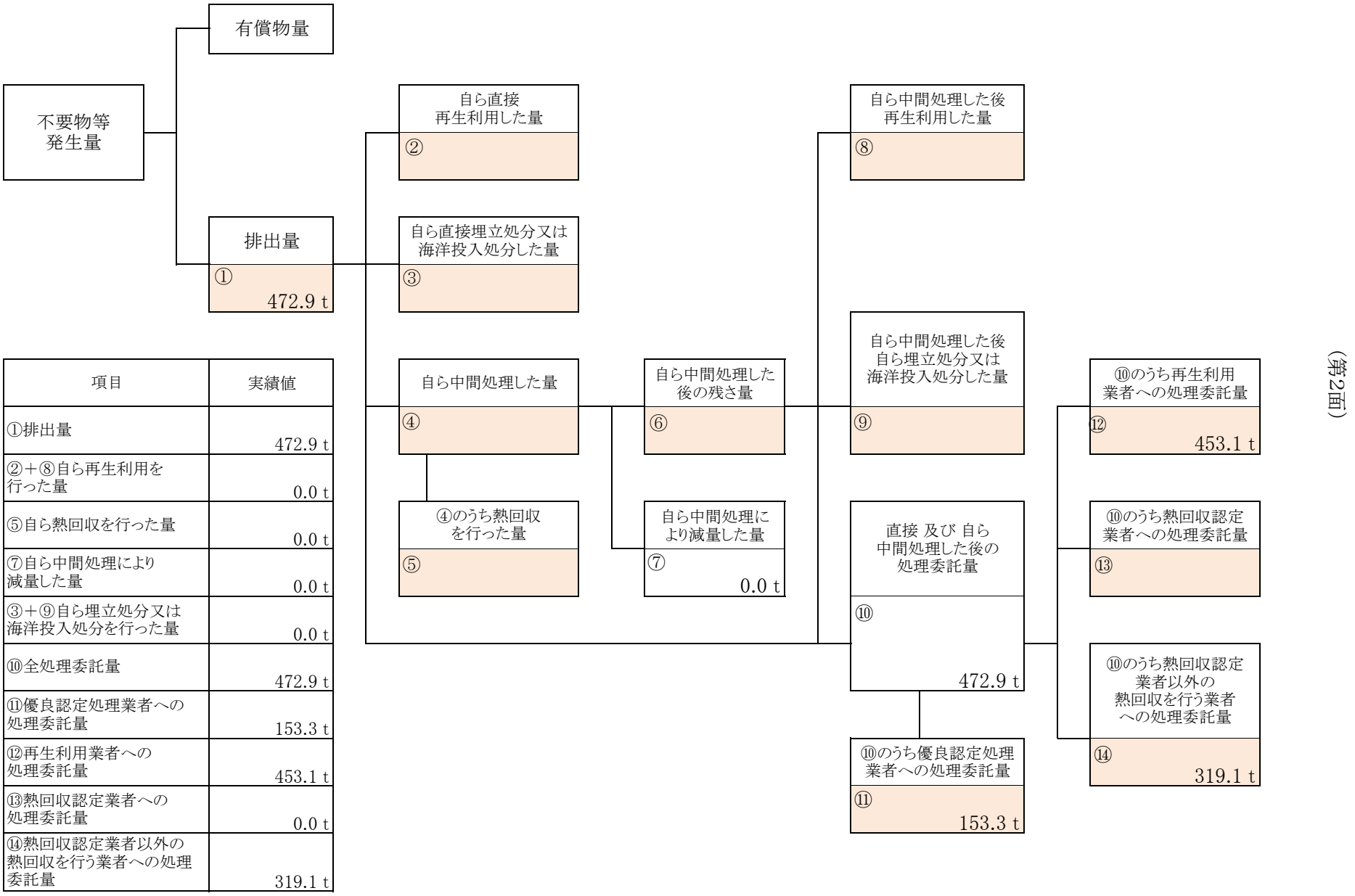
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3112.9 t	全処理委託量	3112.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	881.9 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2116.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	791.8 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃プラスチック類** ）

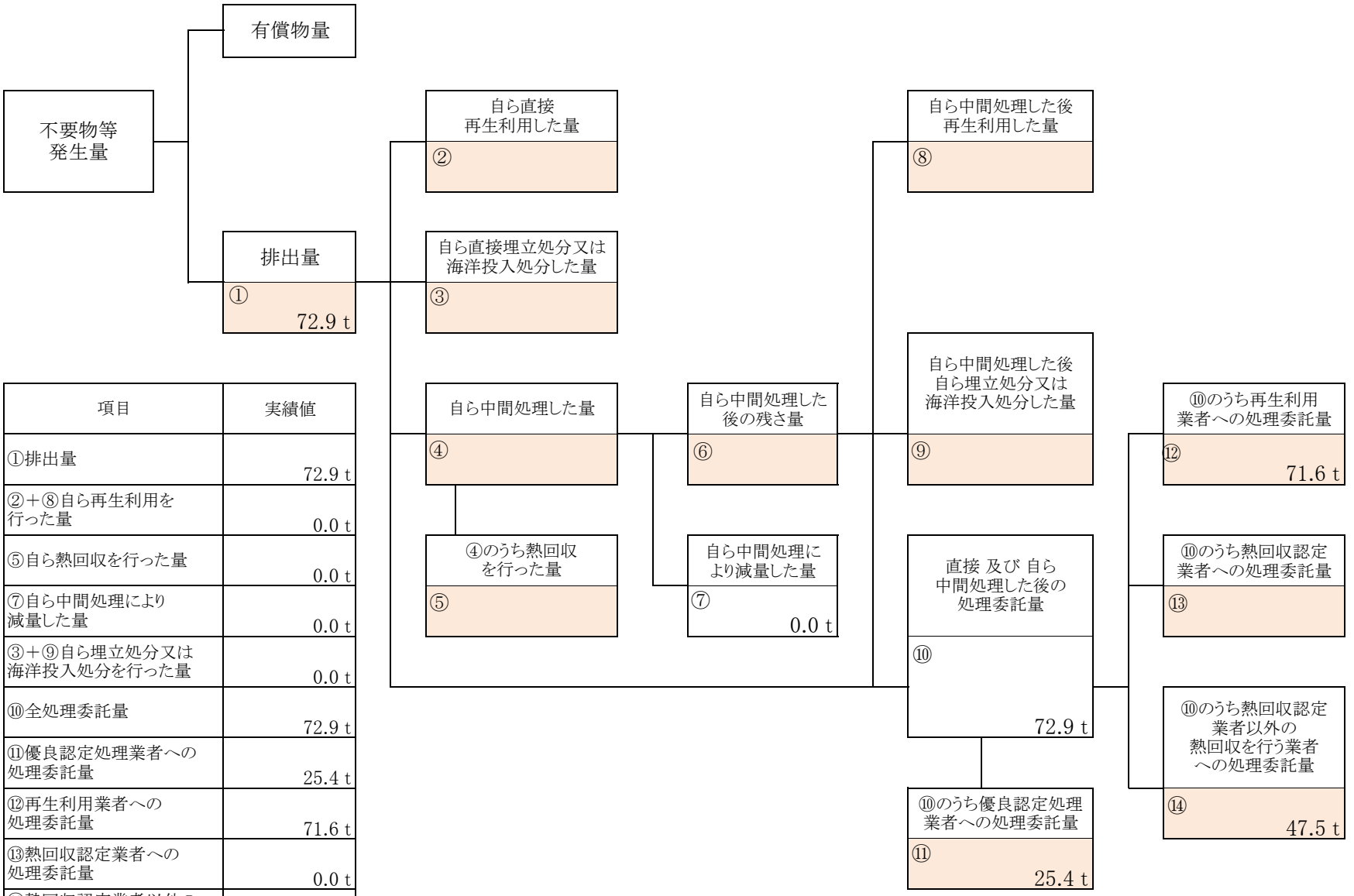


項目	実績値
①排出量	472.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	472.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	153.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	453.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	319.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **金属くず** ）

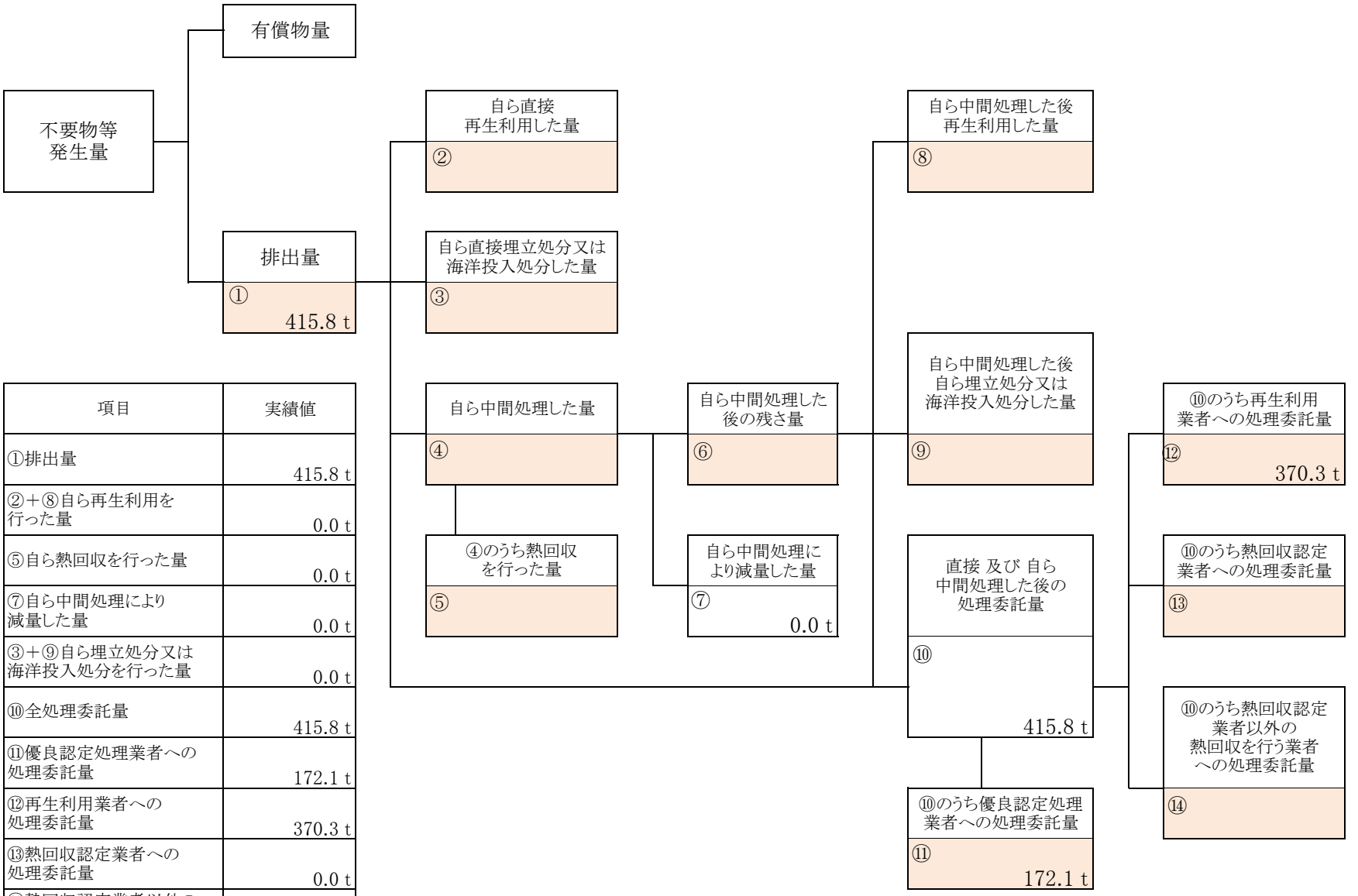


項目	実績値
①排出量	72.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	72.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	25.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	71.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	47.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず）

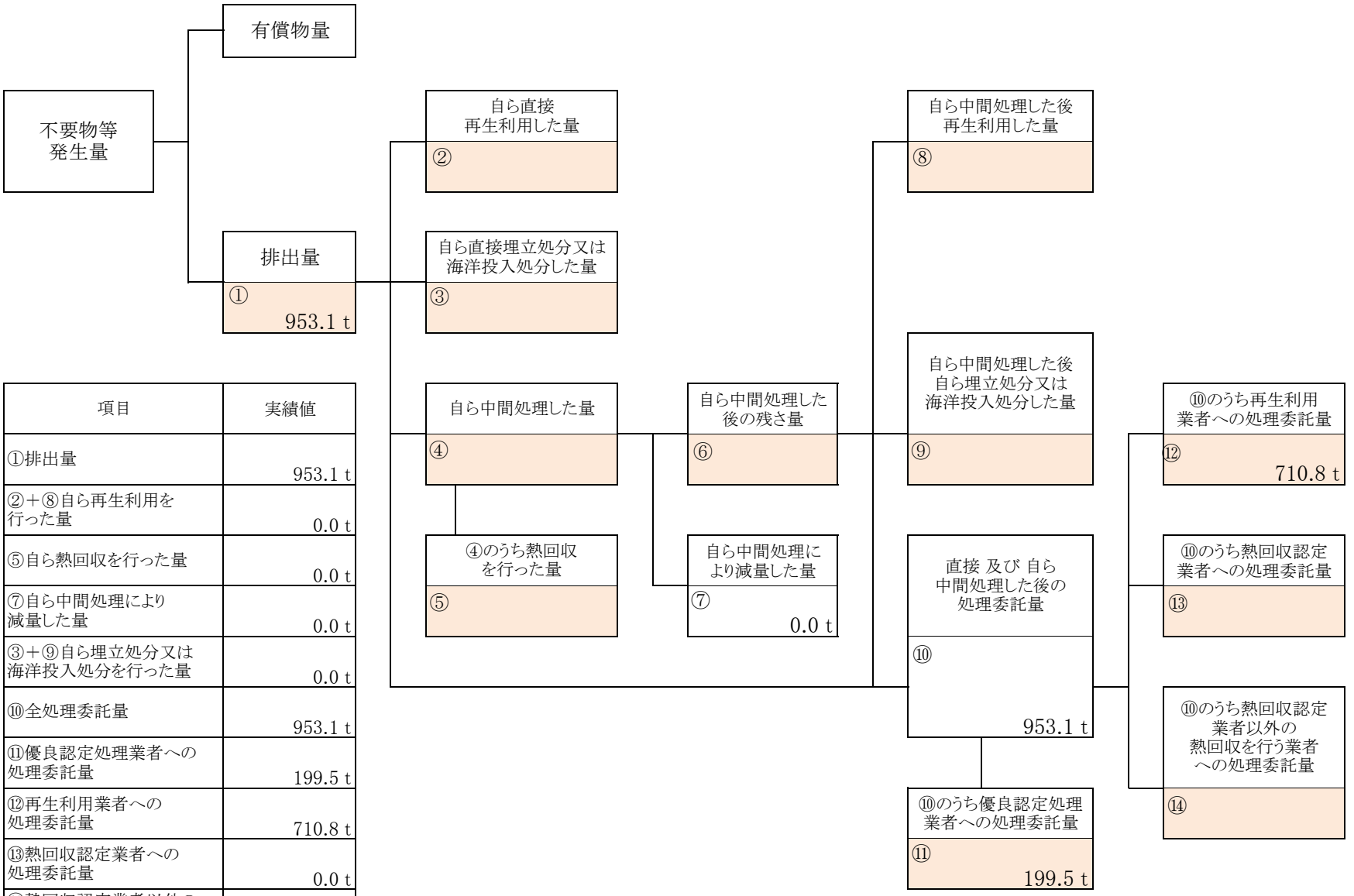


項目	実績値
①排出量	415.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	415.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	172.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	370.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **がれき類** ）

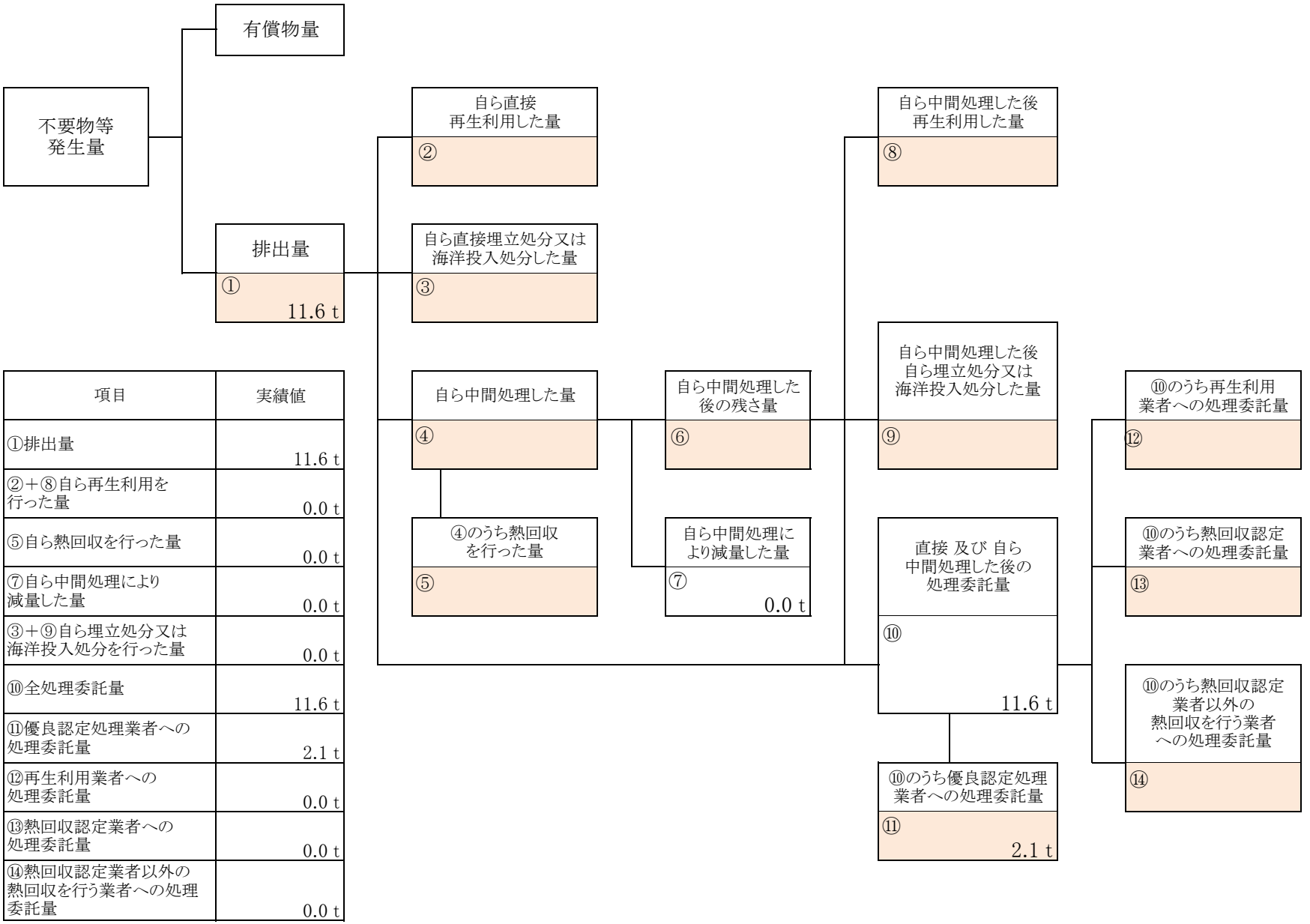


項目	実績値
①排出量	953.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	953.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	199.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	710.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **石綿含有産業廃棄物** ）

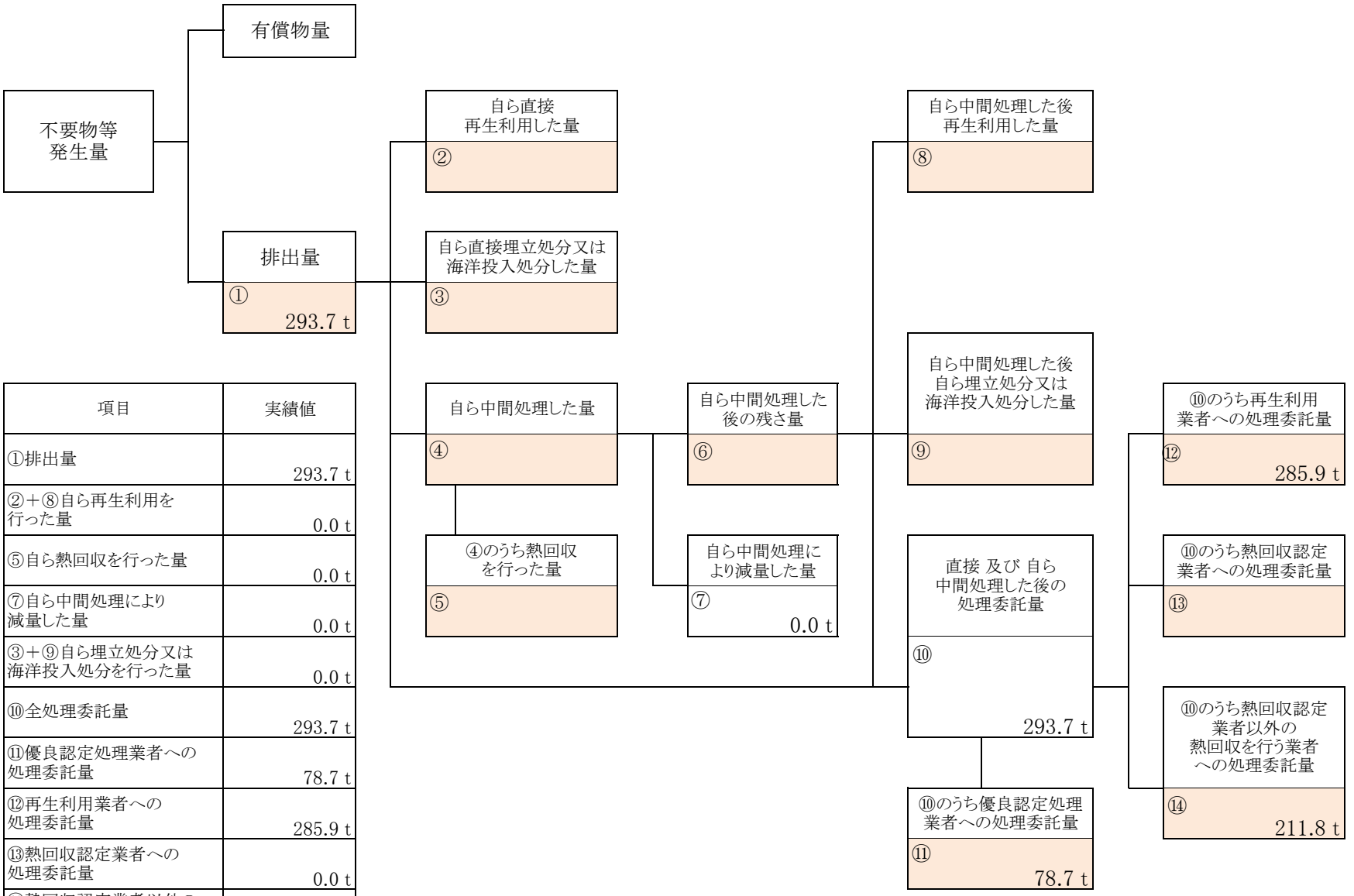


項目	実績値
①排出量	11.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 紙くず ）

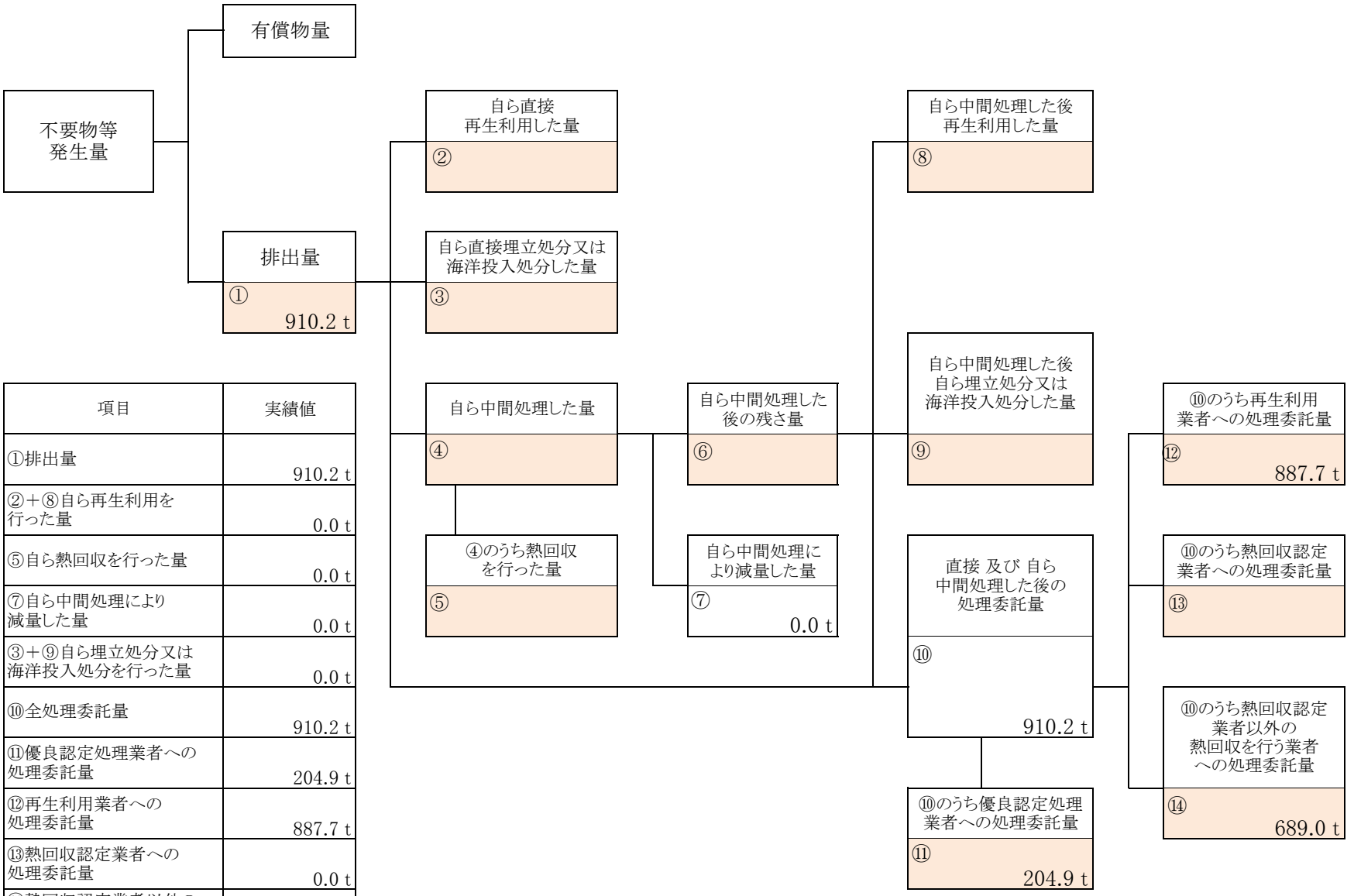


項目	実績値
①排出量	293.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	293.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	78.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	285.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	211.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

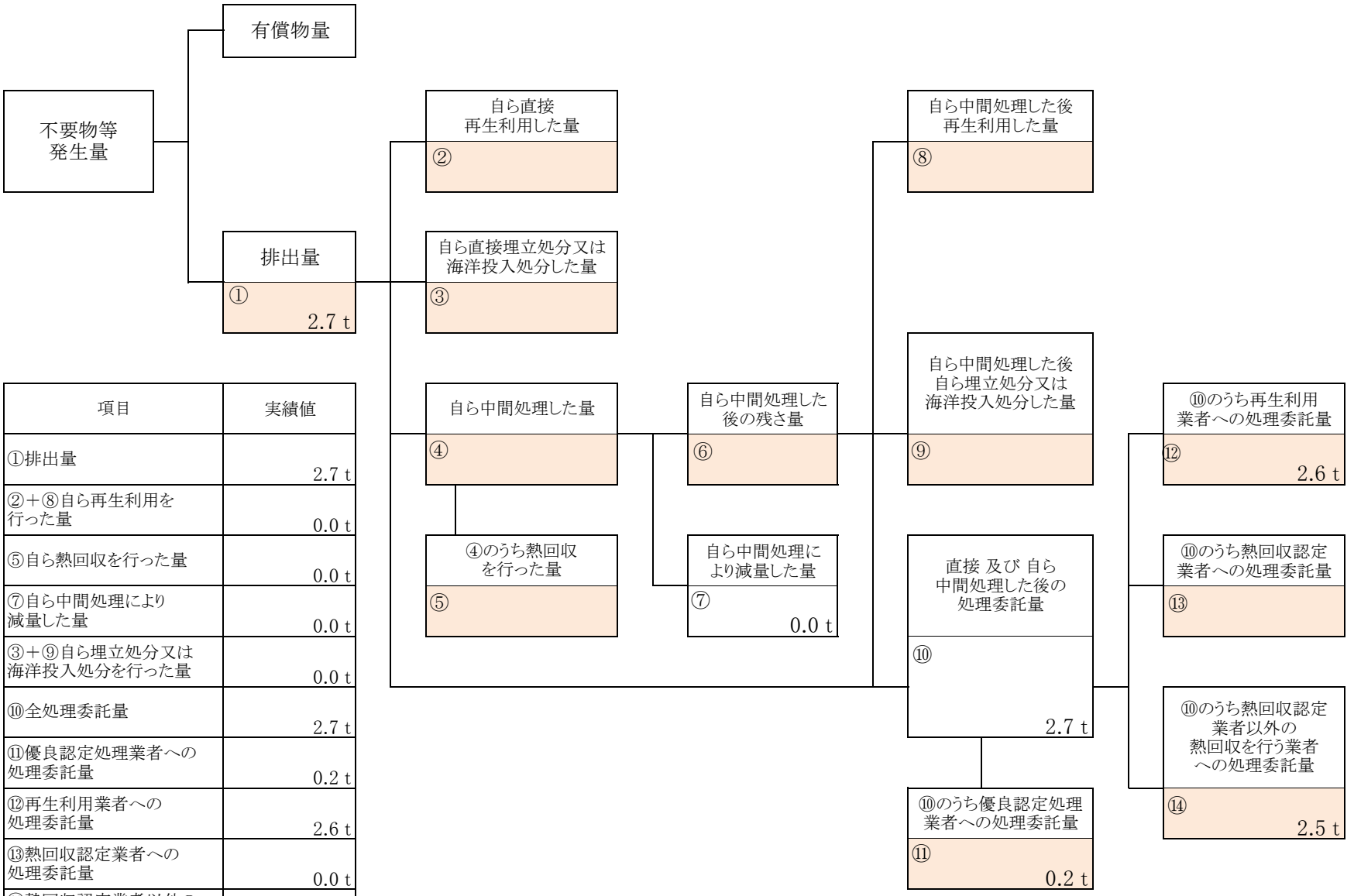


項目	実績値
①排出量	910.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	910.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	204.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	887.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	689.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **繊維くず** ）

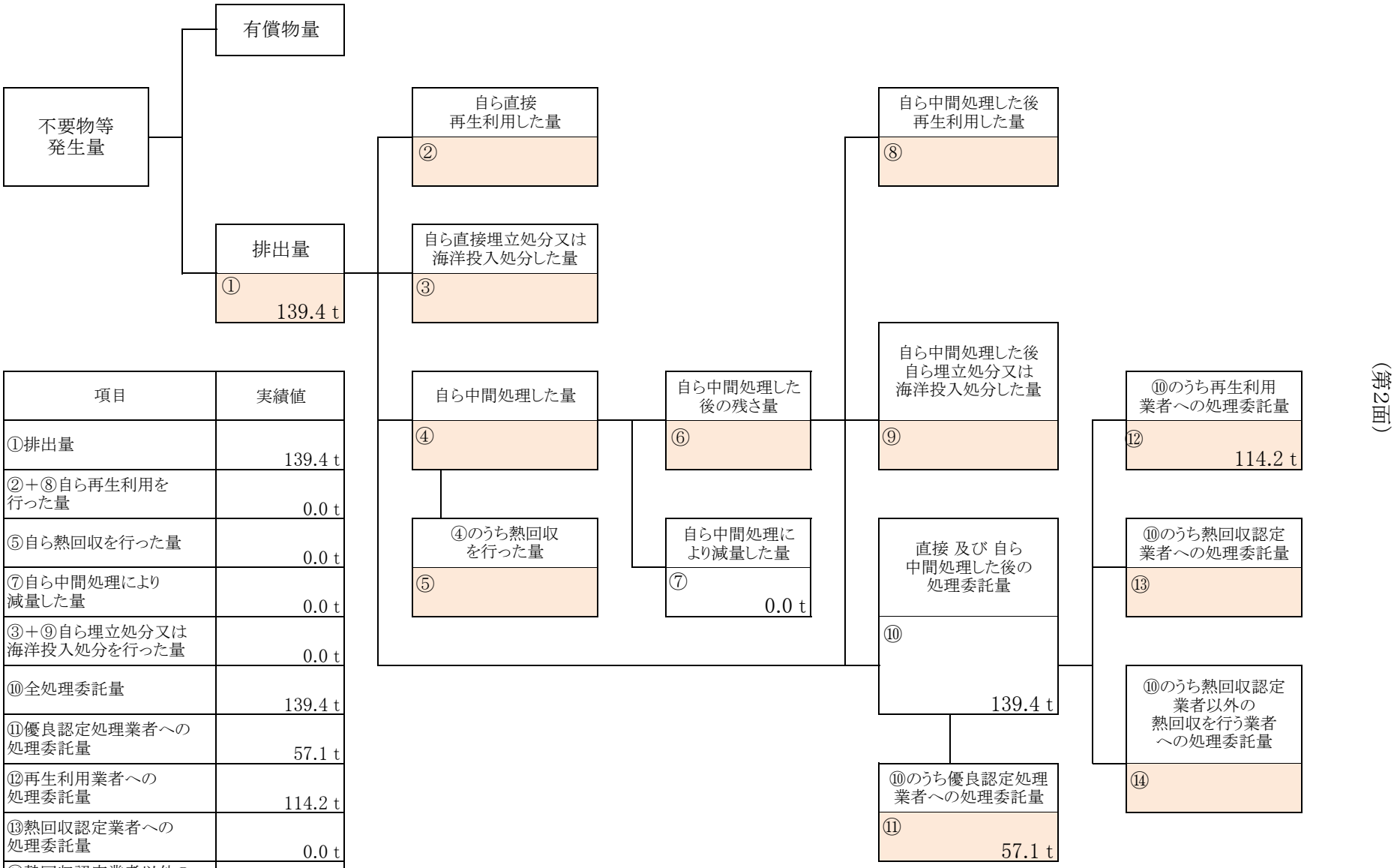


項目	実績値
①排出量	2.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 石膏ボード ）

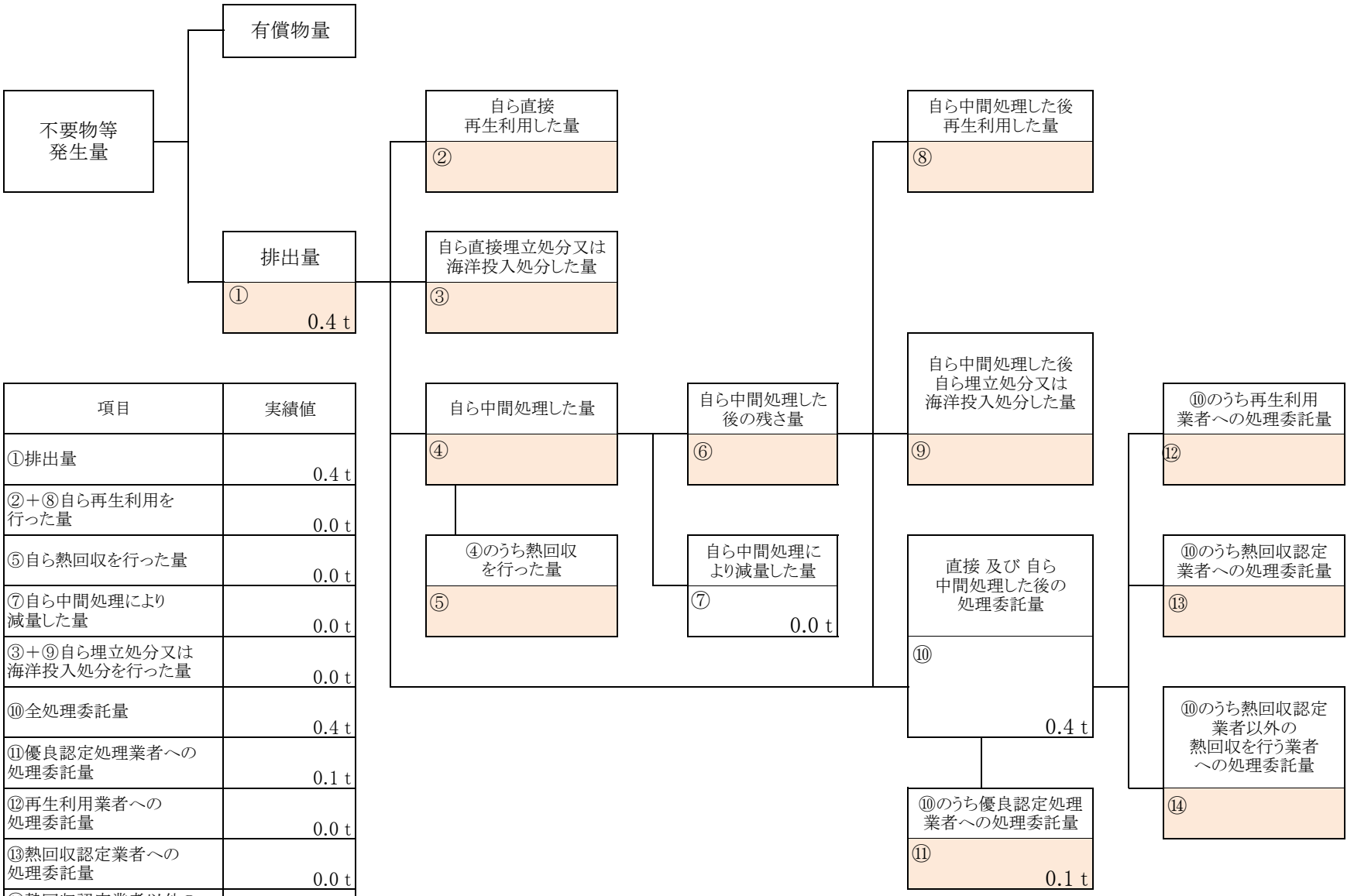


項目	実績値
①排出量	139.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	139.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	57.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	114.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　272-0822

住　所　千葉県市川市宮久保３－１６－１７

法人名　三徳建設株式会社

代表者　儀同 貴広

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　047-371-3021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三徳建設株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市宮久保3-16-17
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建設業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	前年度元請完成工事高　3.9億円
③従業員数	32人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場 → 全量処理業者委託 → 分別・破砕・埋立・脱水・乾燥・焼却・分離・蒸留・再利用

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
「別紙（管理体制）」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
排出量	1017.6 t	24.7 t

（これまでに実施した取組）
現場での分別を徹底し、再資源化の推進

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
排出量	875 t	20 t

（今後実施する予定の取組）
より一層の分別を徹底し、再資源化を推進する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現場での分別を徹底する

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状を維持する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	ｔ

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	コンクリートがら
全処理委託量		1017.6 t	24.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	318.6 t	24.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	0 t

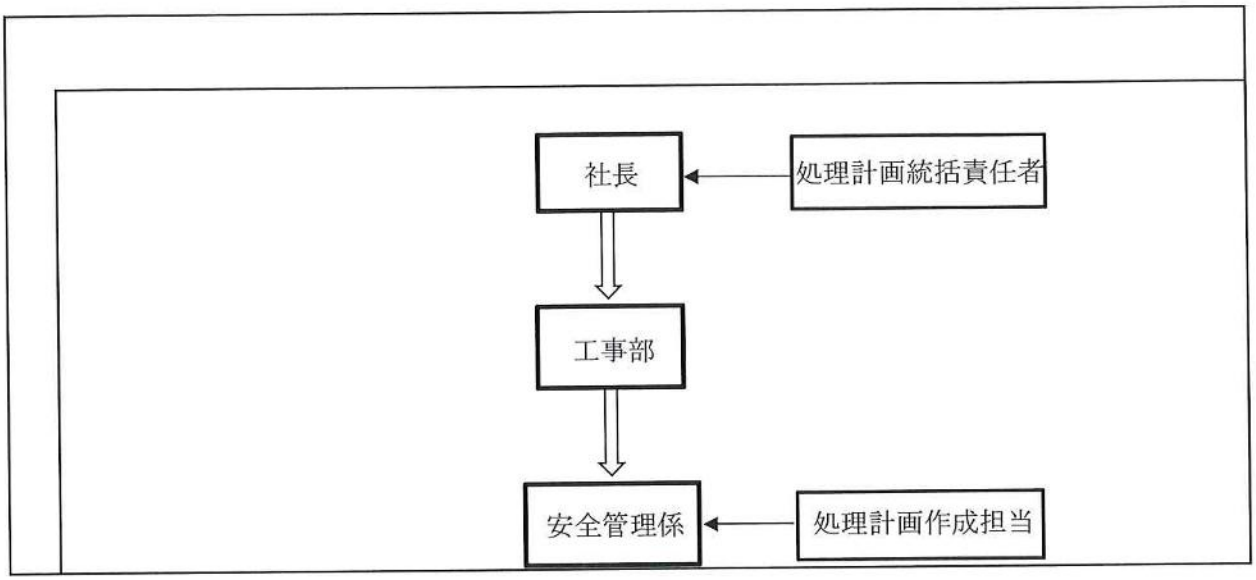
（これまでに実施した取組）

現場での分別を徹底する

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>コンクリートがら</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>875 ｔ</td><td>20 ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>400 ｔ</td><td>20 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
分別の徹底による数量削減
優良処理業者への委託の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		排　出　量	1411.7 t	30.4 t	2.1 t	3.4 t	13.4 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		排　出　量	1200 t	26 t	1 t	2 t	10 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	全処理委託量	1411.7 t	30.4 t	2.1 t	3.4 t	13.4 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	6.5 t	0 t	0 t	13.4 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	932 t	0 t	0 t	0 t	13.4 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄがら	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物				
	全処理委託量	1200 t	26 t	1 t	2 t	10 t	t	t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	20 t	0 t	0 t	10 t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	1200 t	26 t	1 t	0 t	10 t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　272-0822

住所 千葉県市川市宮久保3－16－17

法人名 三徳建設株式会社

代表者 儀同 貴広

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-371-3021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三徳建設株式会社
事業場の所在地	千葉県市川市宮久保3-16-17
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

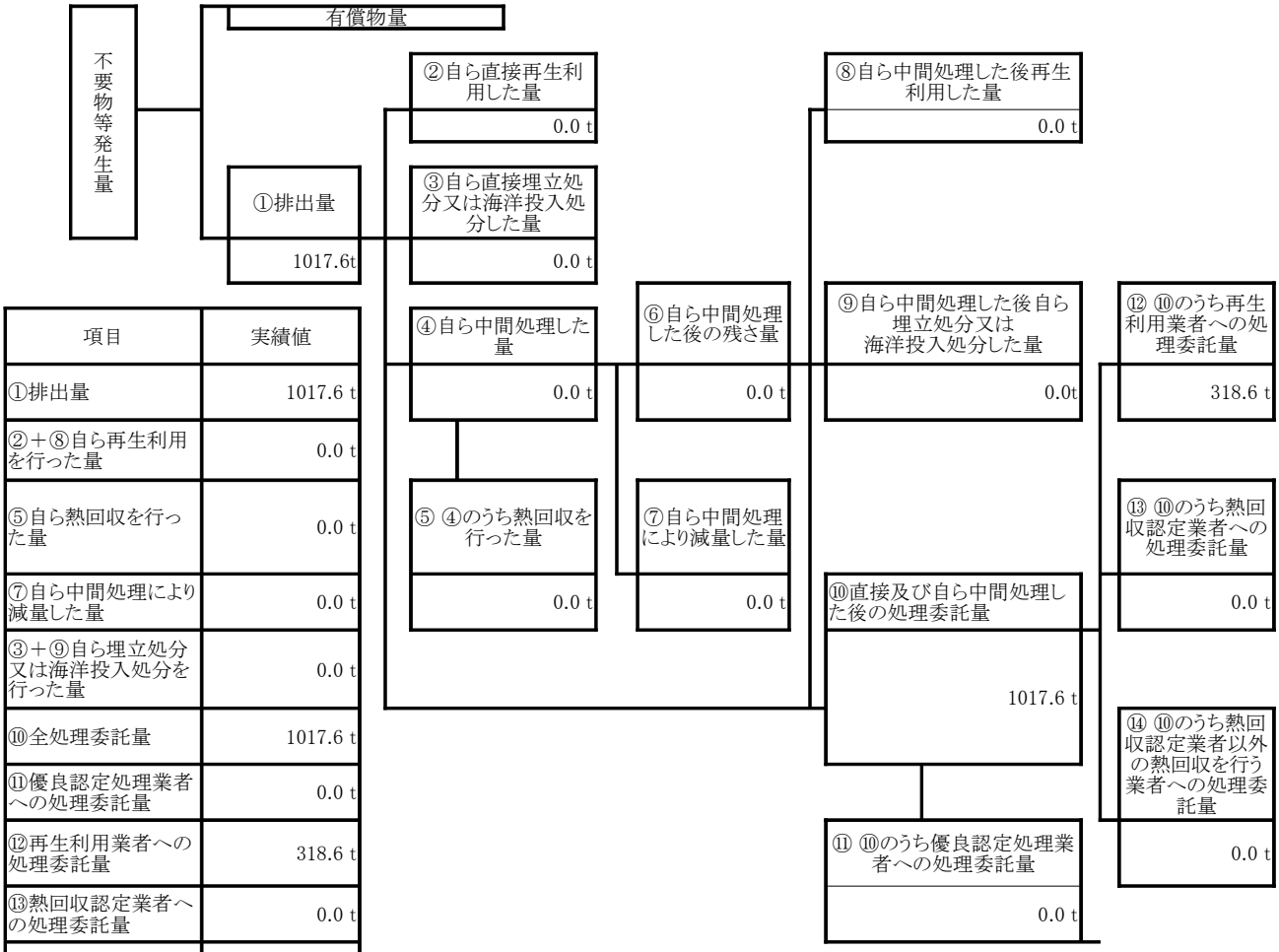
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1630.1 t	全処理委託量	1630.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	22 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1630.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

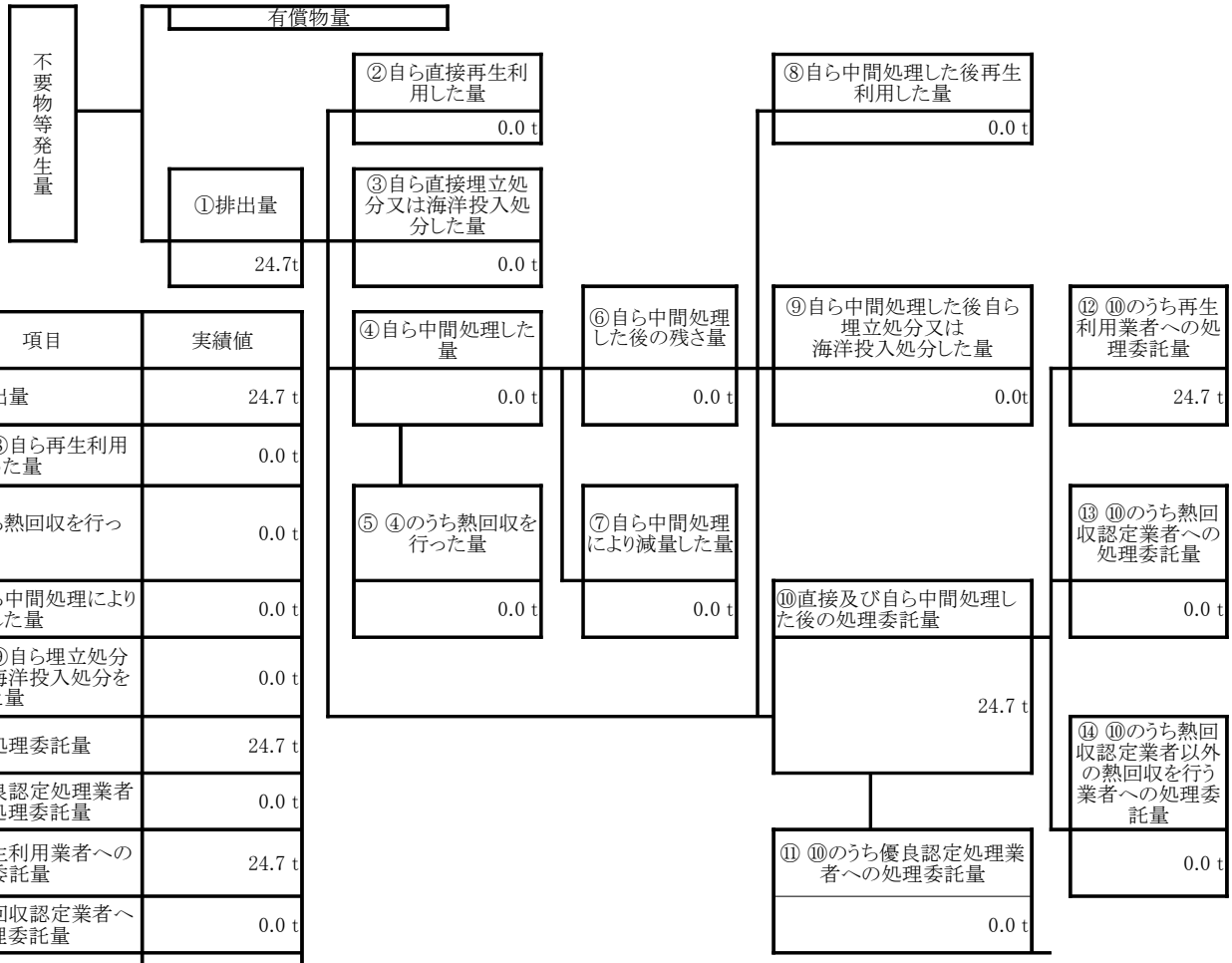


項目	実績値
①排出量	1017.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1017.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	318.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

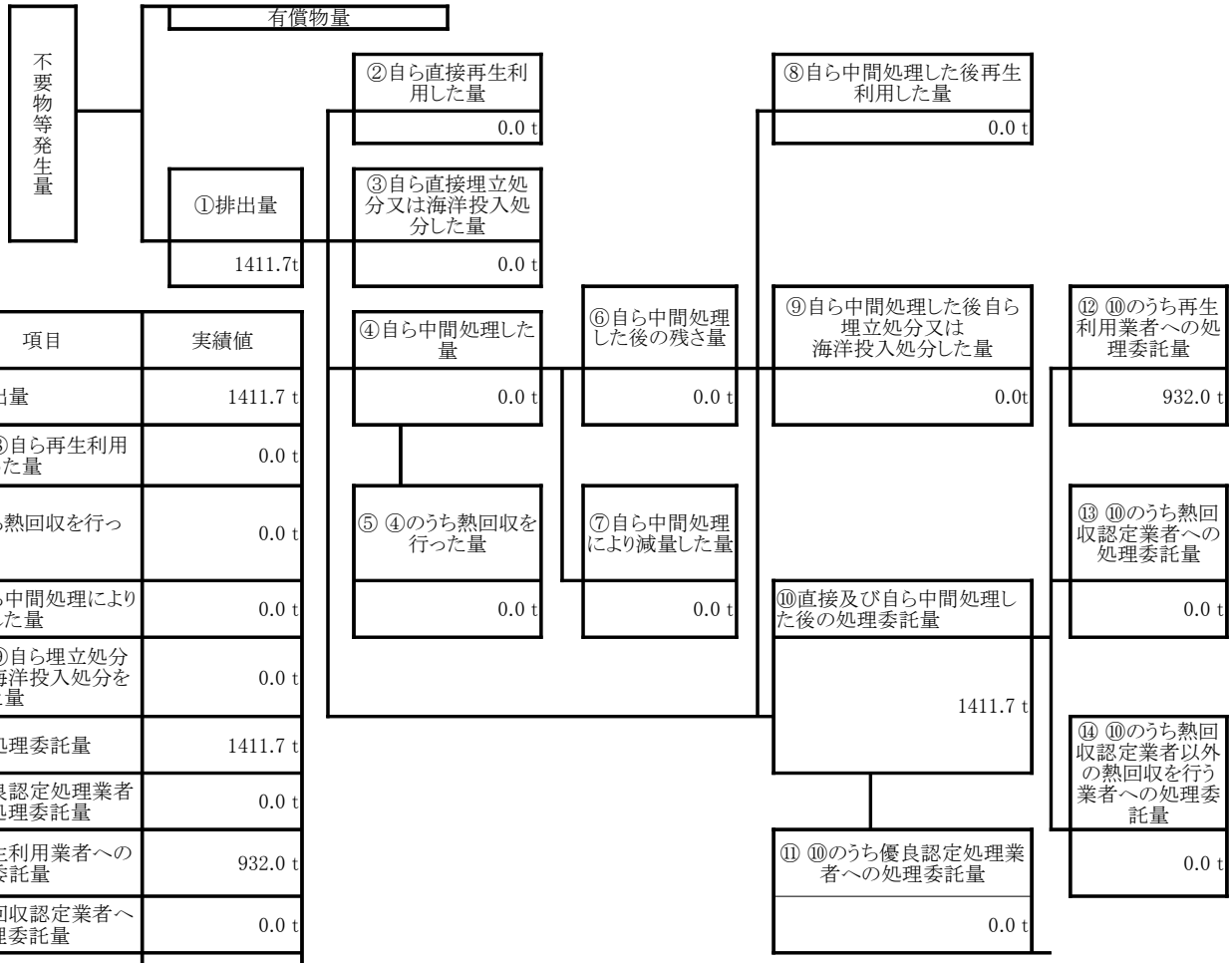


項目	実績値
①排出量	24.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	24.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　アスファルトがら　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

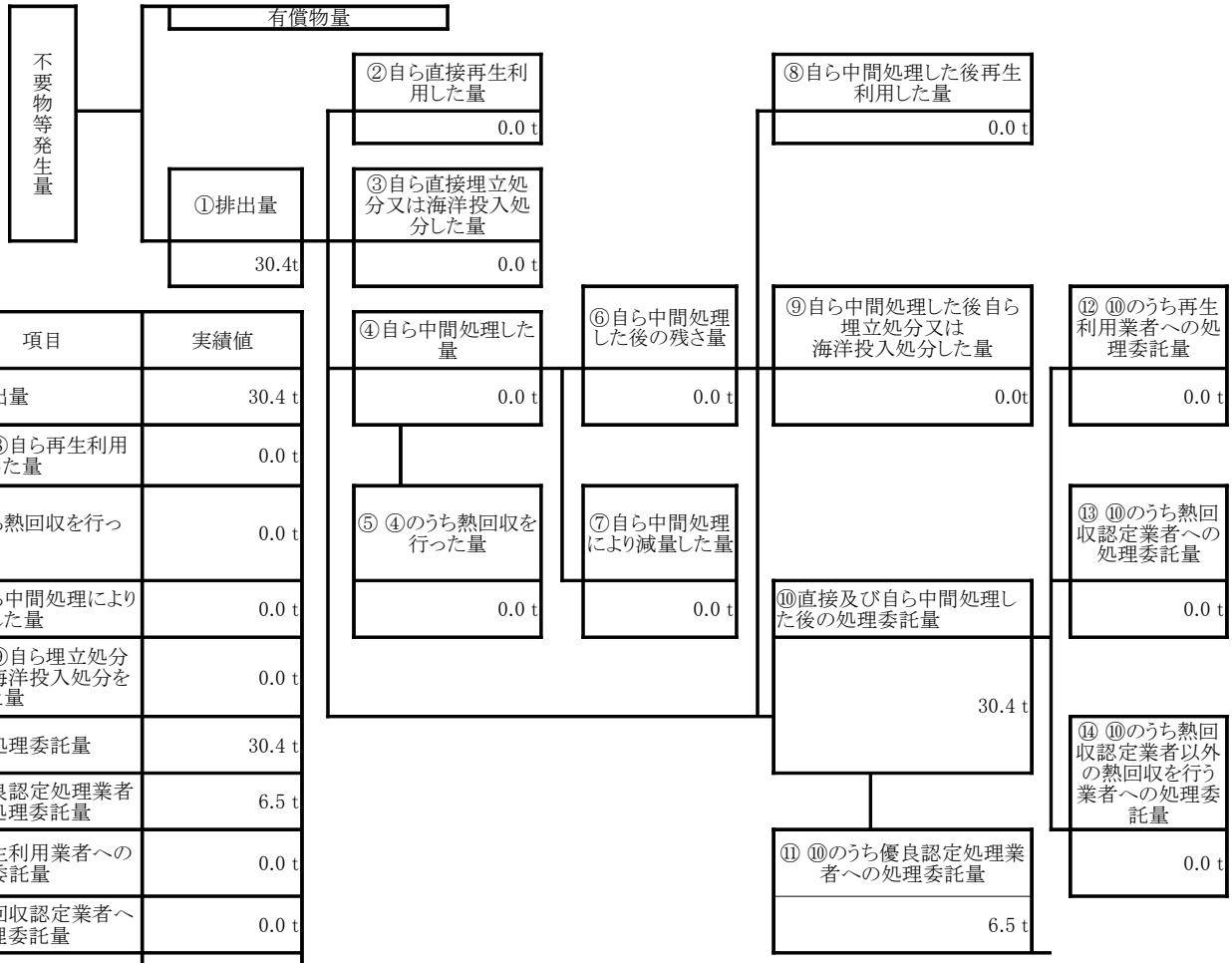


項目	実績値
①排出量	1411.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1411.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	932.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

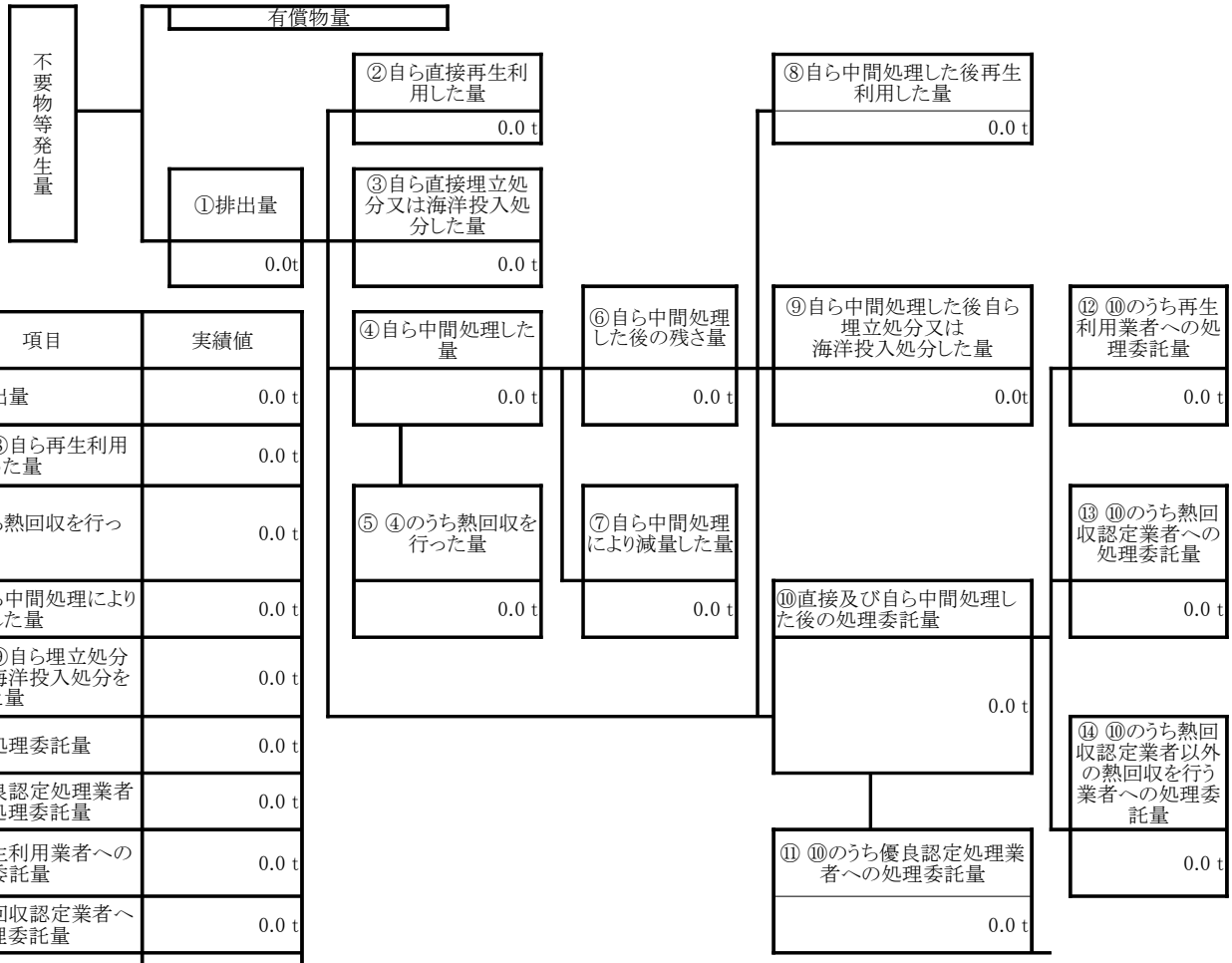


項目	実績値
①排出量	30.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

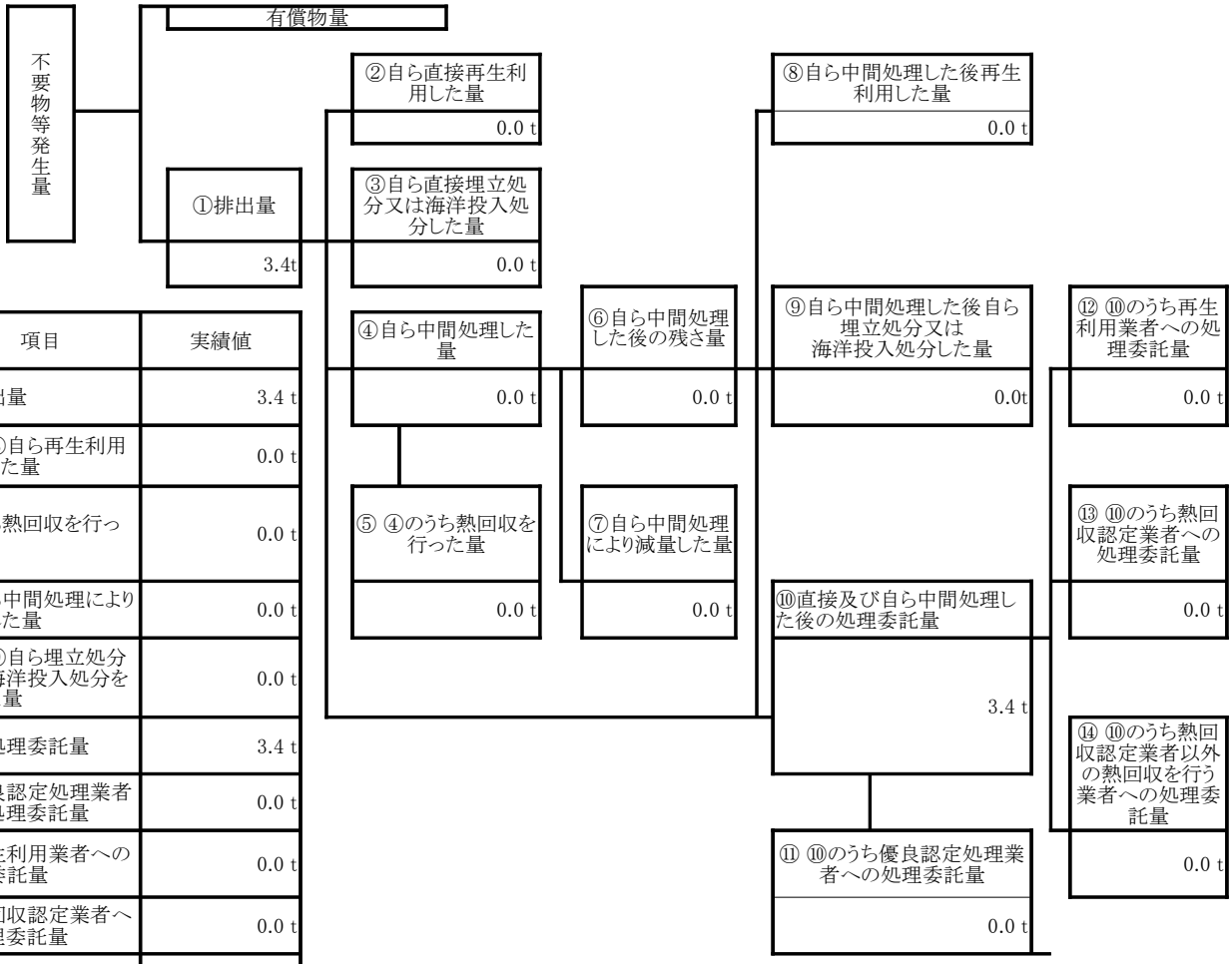


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

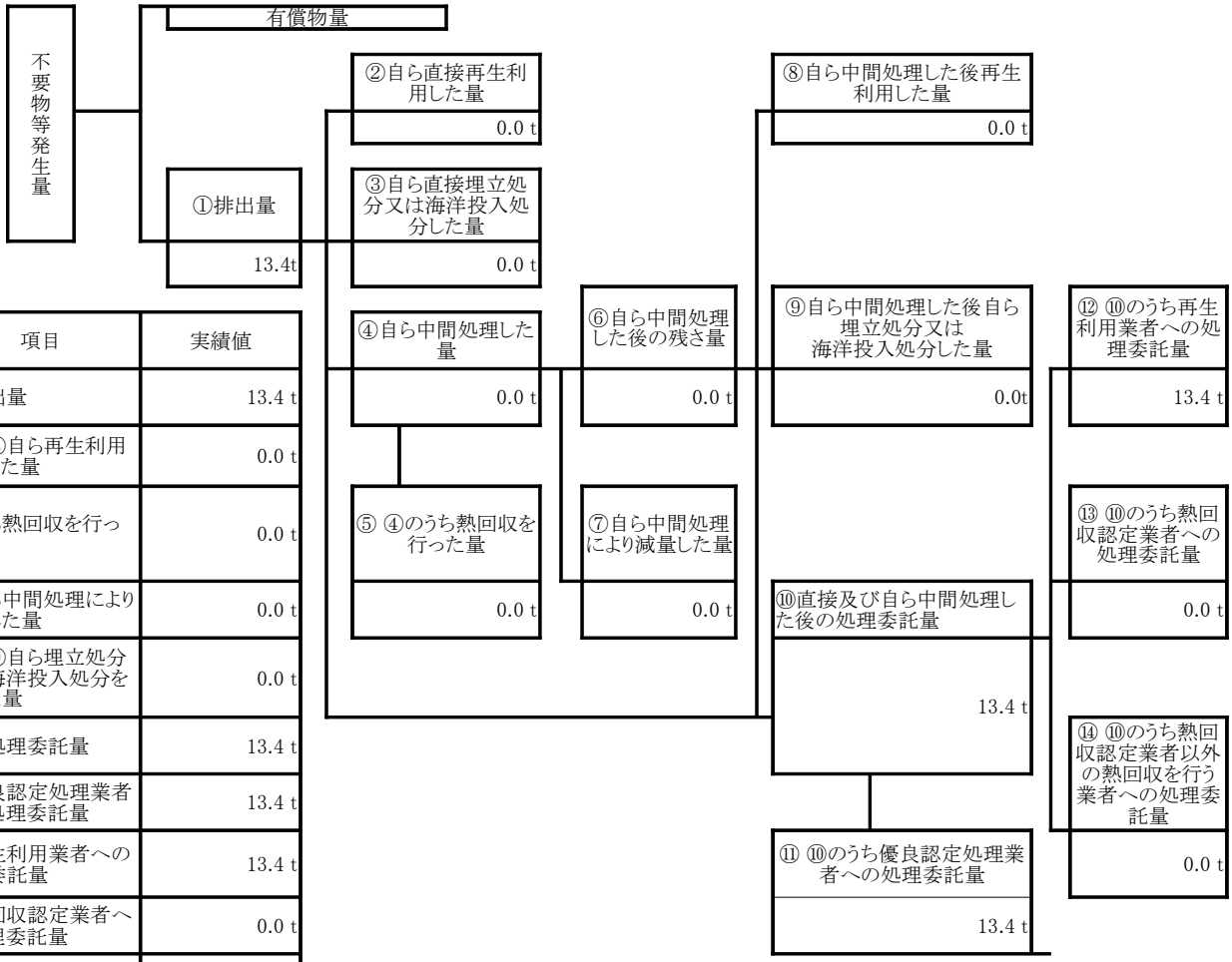


項目	実績値
①排出量	3.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**管理型混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	13.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　160-0022

住所　東京都新宿区新宿6-27-30　新宿イーストサイドスクエア7階

法人名 三菱地所ホーム株式会社

代表者 細谷 惣一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6774-2644

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	三菱地所ホーム株式会社
事業場の所在地	東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7階
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

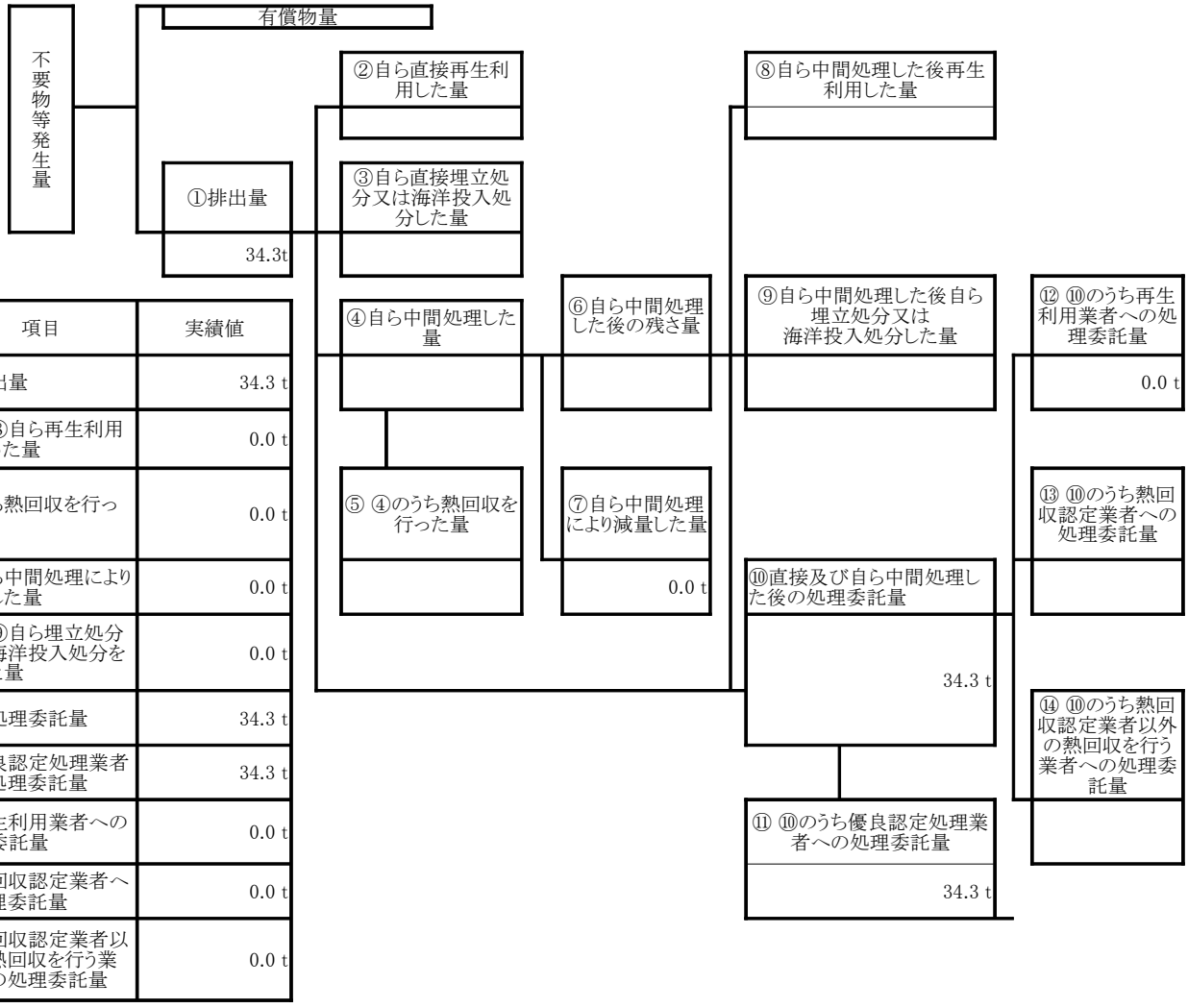
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2487 t	全処理委託量	2487 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1749.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	662.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

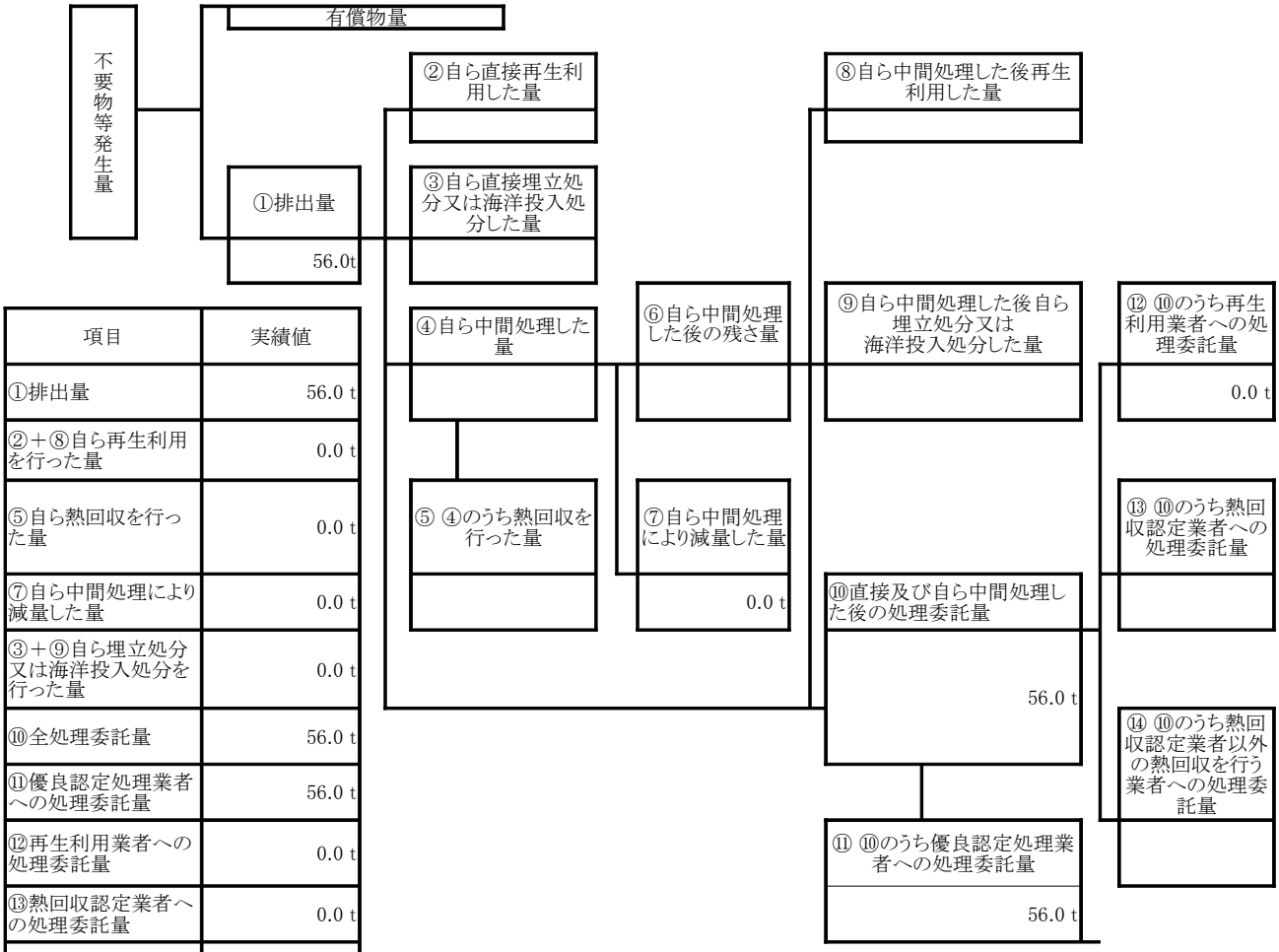


項目	実績値
①排出量	34.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	34.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**金属くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

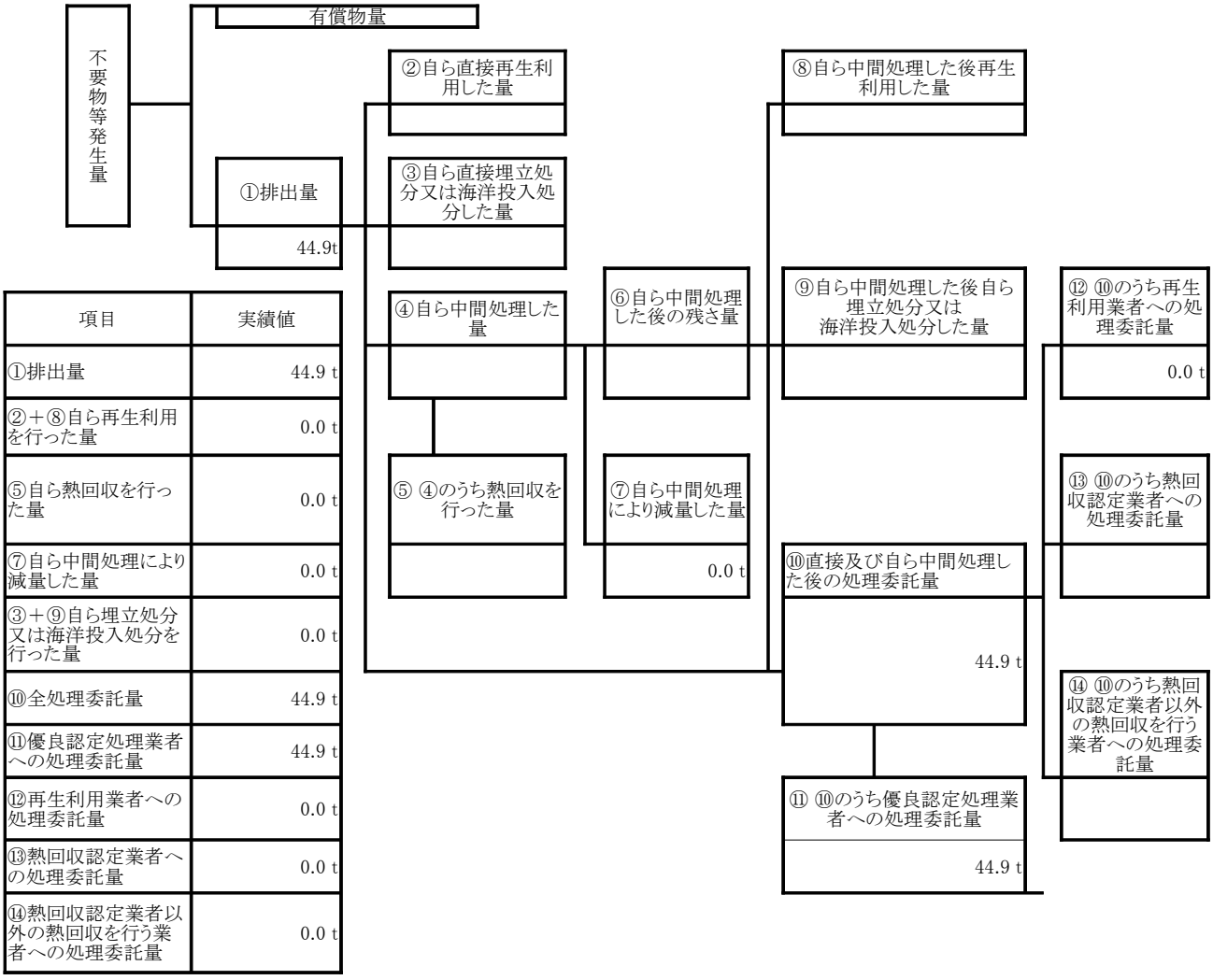


項目	実績値
①排出量	56.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	56.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス陶磁器くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

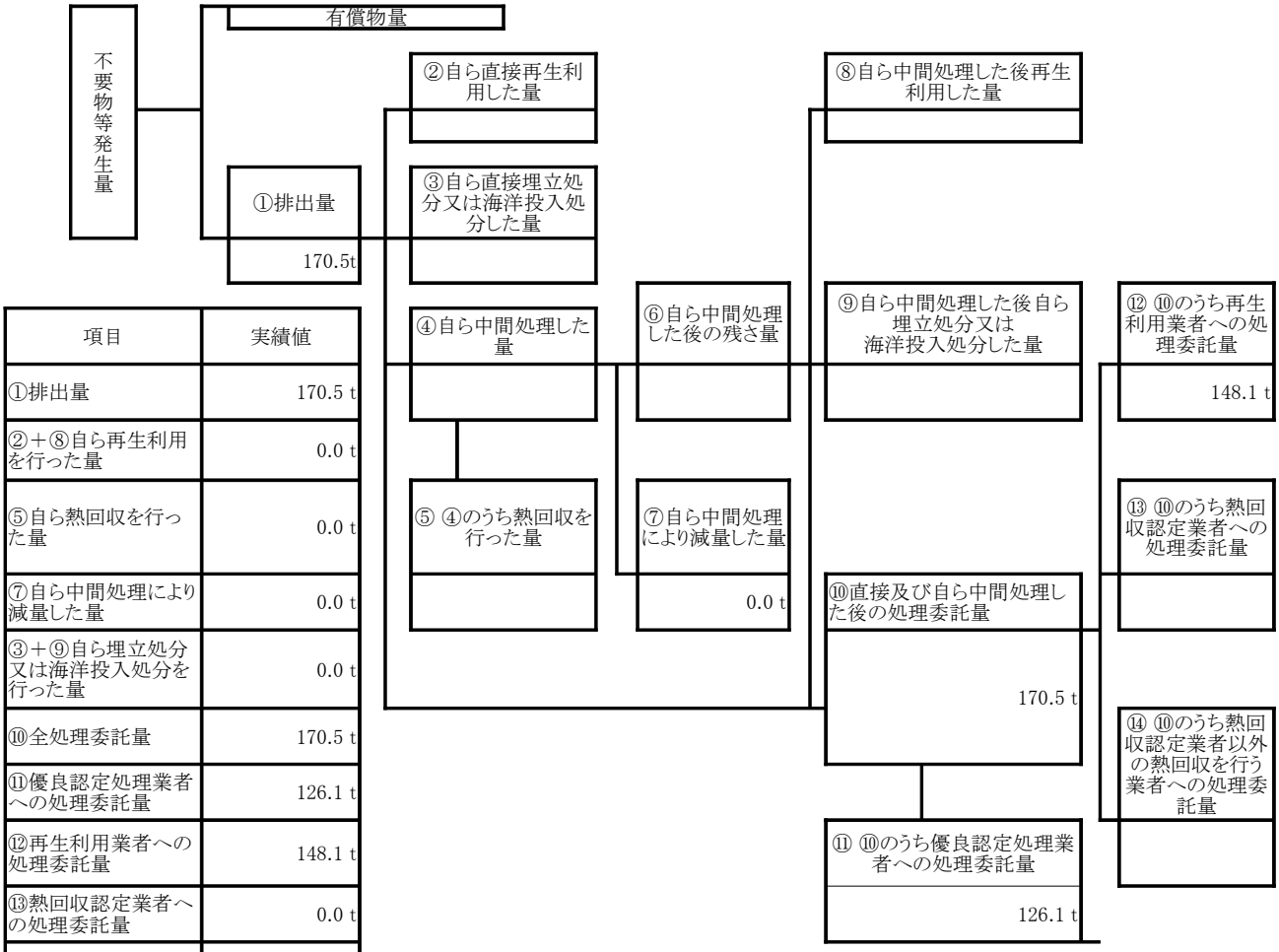


項目	実績値
①排出量	44.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



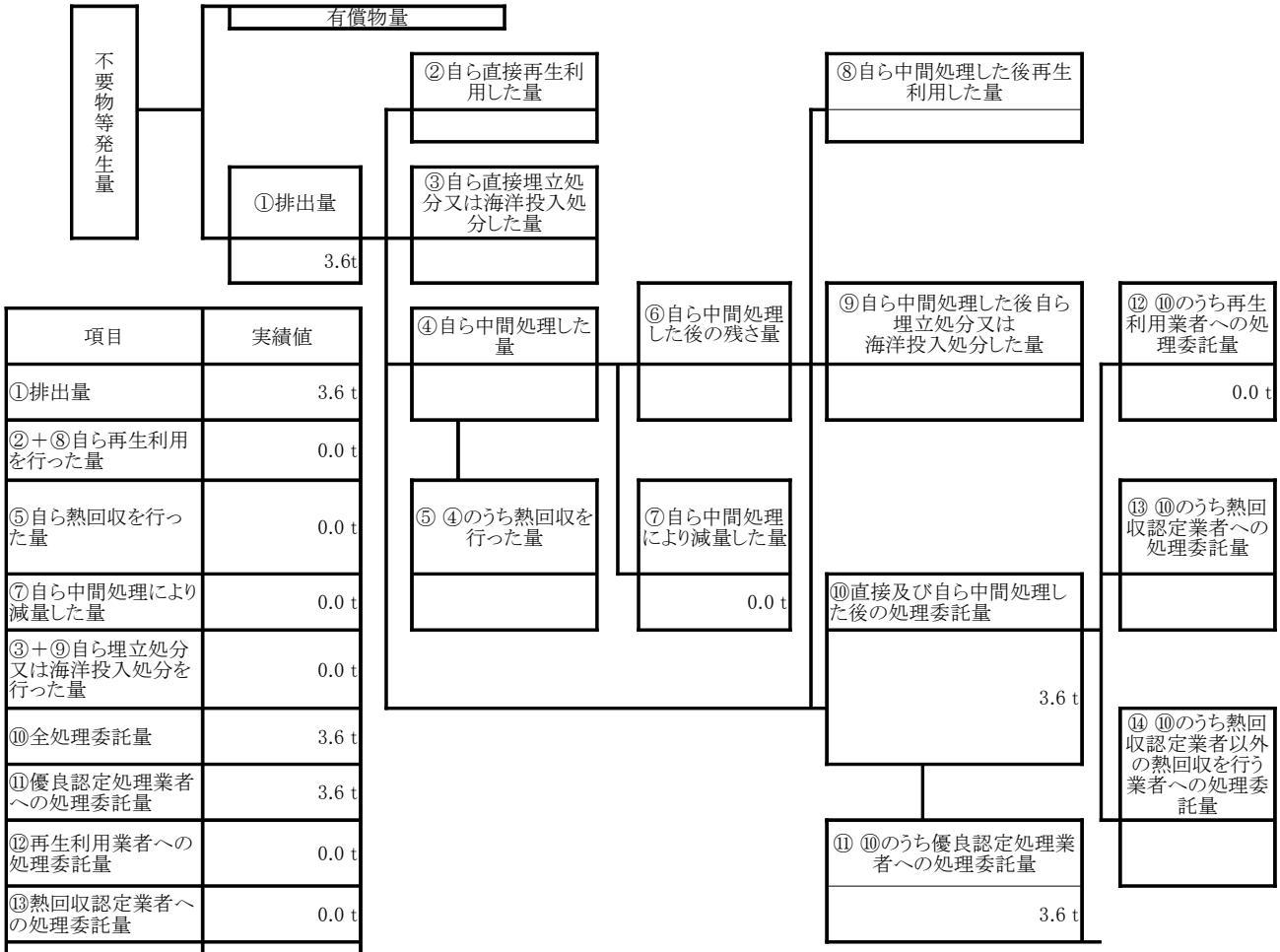
項目	実績値
①排出量	170.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	170.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	126.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	148.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有産業廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

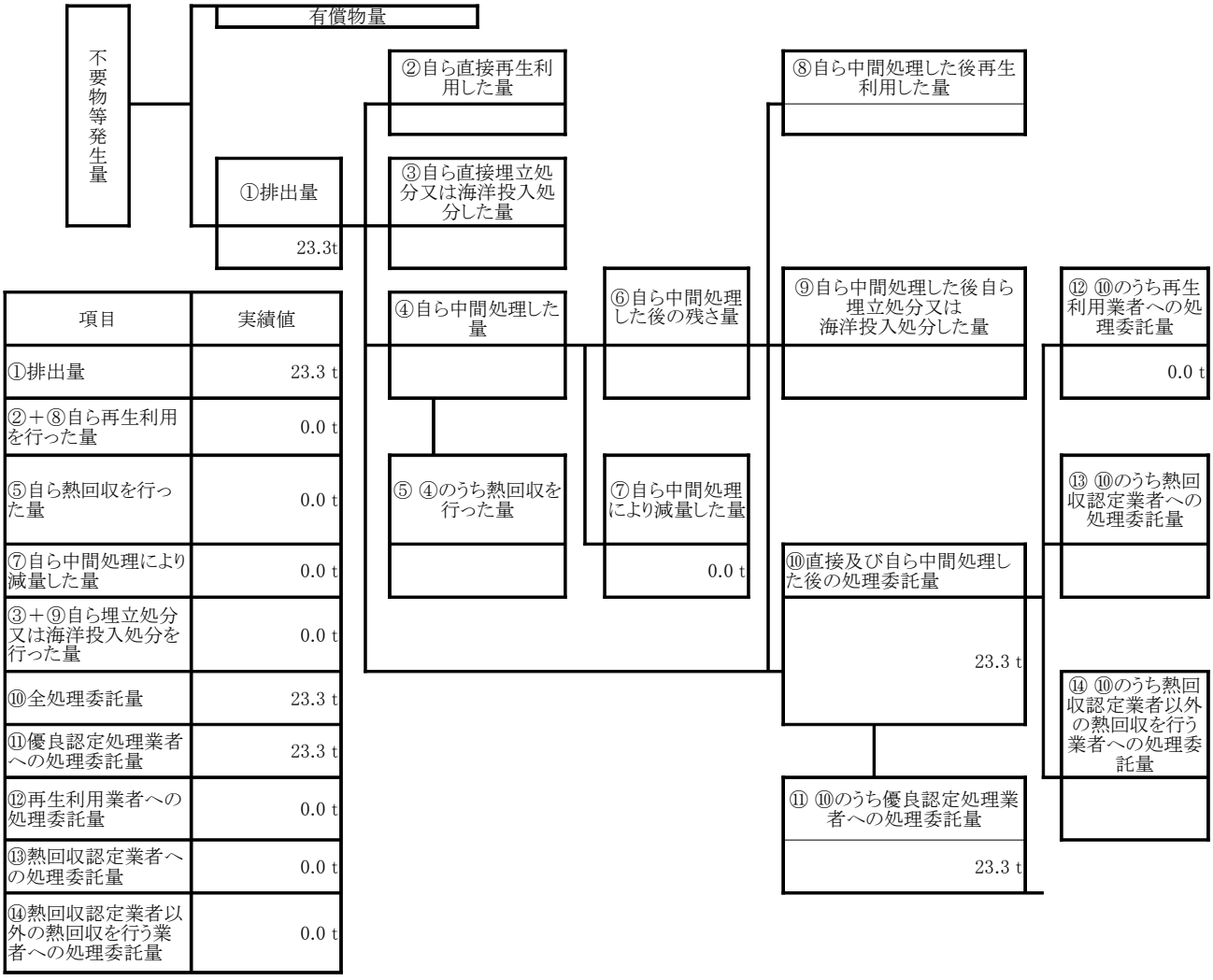


項目	実績値
①排出量	3.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

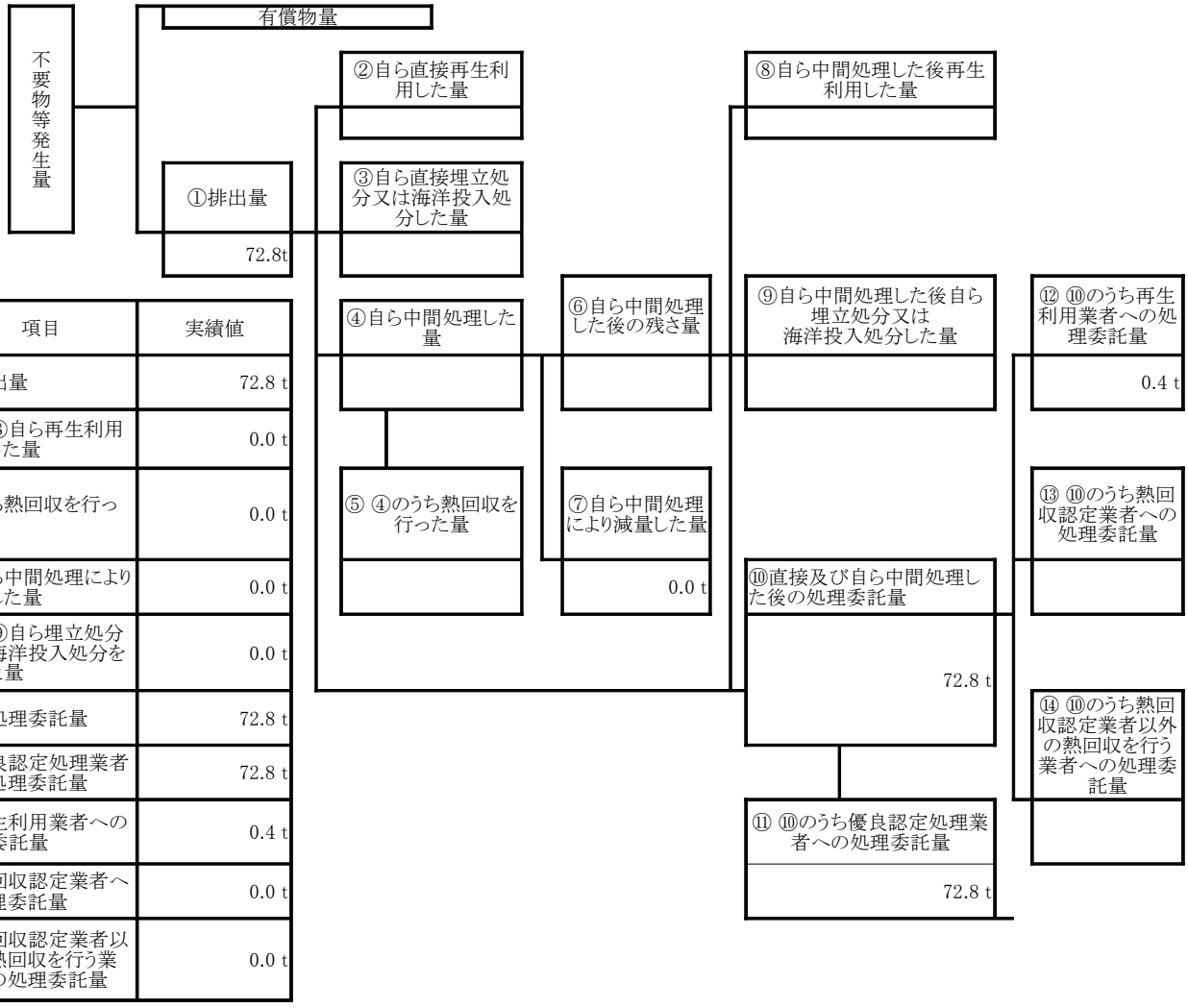


項目	実績値
①排出量	23.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	23.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

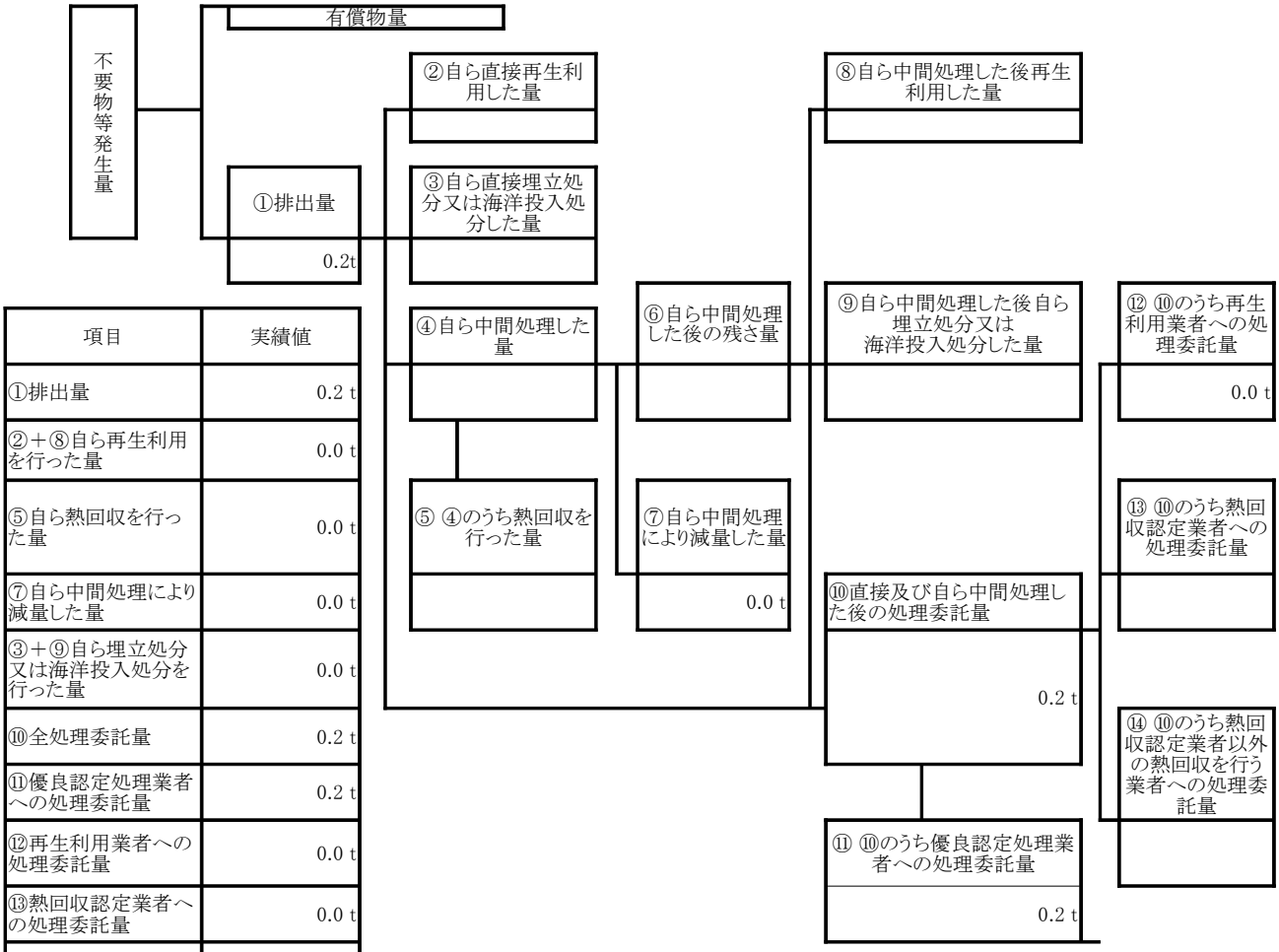


項目	実績値
①排出量	72.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	72.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

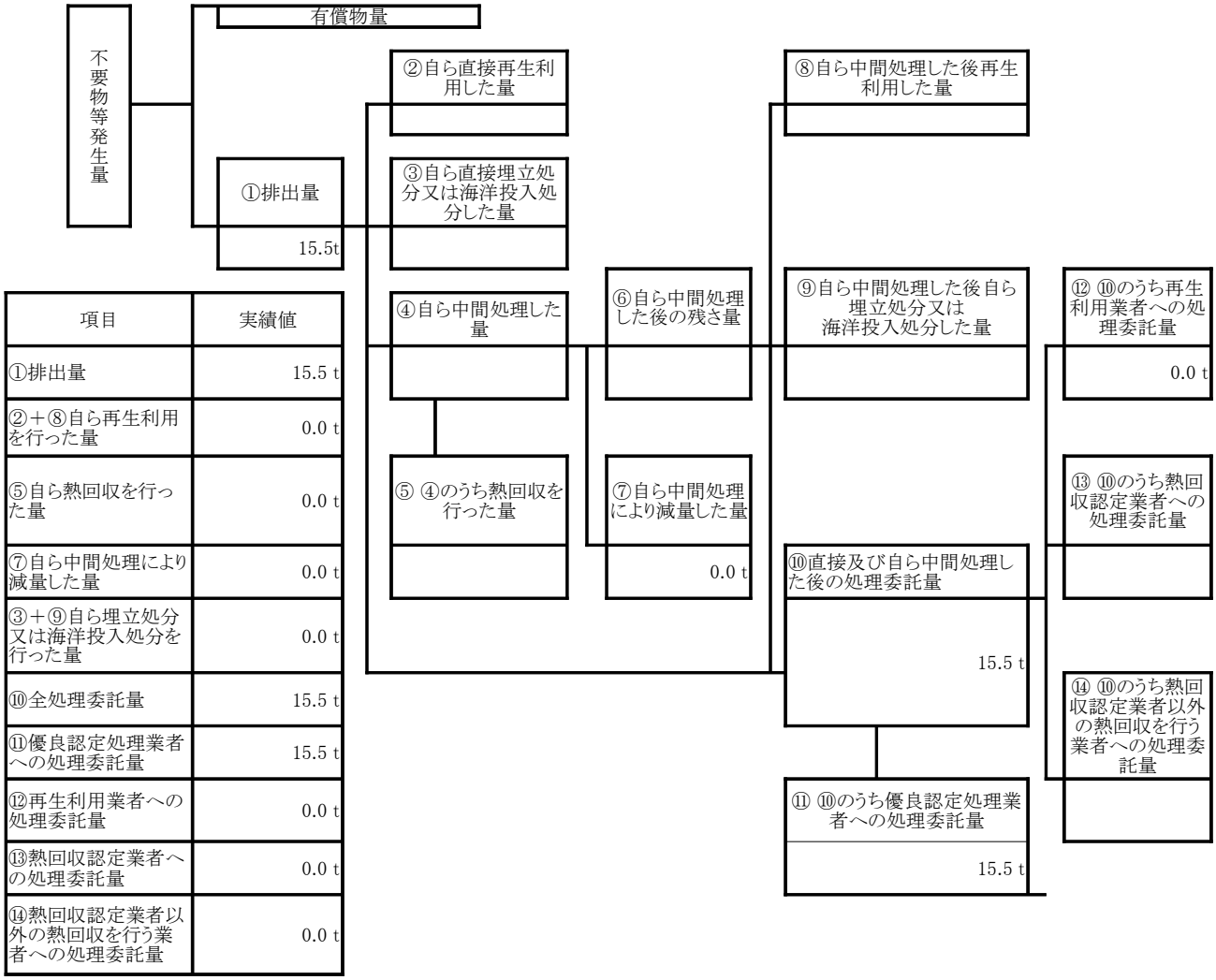


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**建設混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	15.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-4104

住　所　千葉県茂原市南吉田3644番地の1

法人名　株式会社緑川組

代表者　緑川 剛司

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0475-34-8311

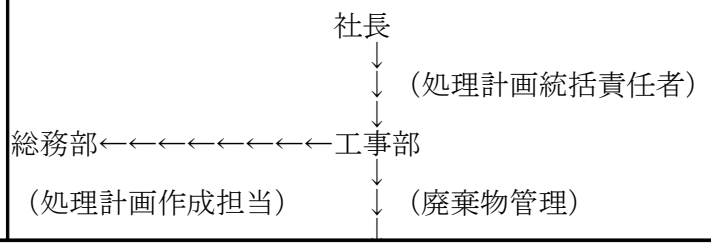
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社緑川組
事業場の所在地	千葉県茂原市南吉田3644番地の1
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　建設業　中分類：　総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高（前年度）901,315千円
③従業員数	28名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場　→　がれき類　→　中間処理業者 工事現場　→　木くず　→　中間処理業者

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	1994.55 t	39.63 t

（これまでに実施した取組）
適切な処理

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排出量	1900 t	30 t

（今後実施する予定の取組）
令和７年度の受注内容が確定できないが、環境に配慮し適切な処理を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
中間処理業者に依頼し、再生可能なものを再生資源として復活させる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生されます。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自らは再生利用の実施の取組みがありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自らは熱回収や中間処理に取組む計画はありませんが、中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

引続き、埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		がれき類	木くず
全処理委託量		1994.55 ｔ	39.63 ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	128.55 ｔ	39.63 ｔ
	再生利用業者への処理委託量	1994.55 ｔ	39.63 ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

中間処理業者に依頼し、がれき類は、再生密粒又は再生路盤材に、木くずは肥料やパルプに再生される業者に処理を委託している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1900 ｔ</td><td>30 ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1900 ｔ</td><td>30 ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 ｔ</td><td>0 ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
がれき類は再生利用ができる中間処理業者へ委託する。
木くずは肥料やパルプ材として再生可能な処理業者へ委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-4104

住所 千葉県茂原市南吉田3644番地の1

法人名 株式会社緑川組

代表者 緑川 剛司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0475-34-8311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社緑川組
事業場の所在地	千葉県茂原市南吉田3644番地の1
事業の種類	大分類　建設業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1990 t	全処理委託量	1990 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1990 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

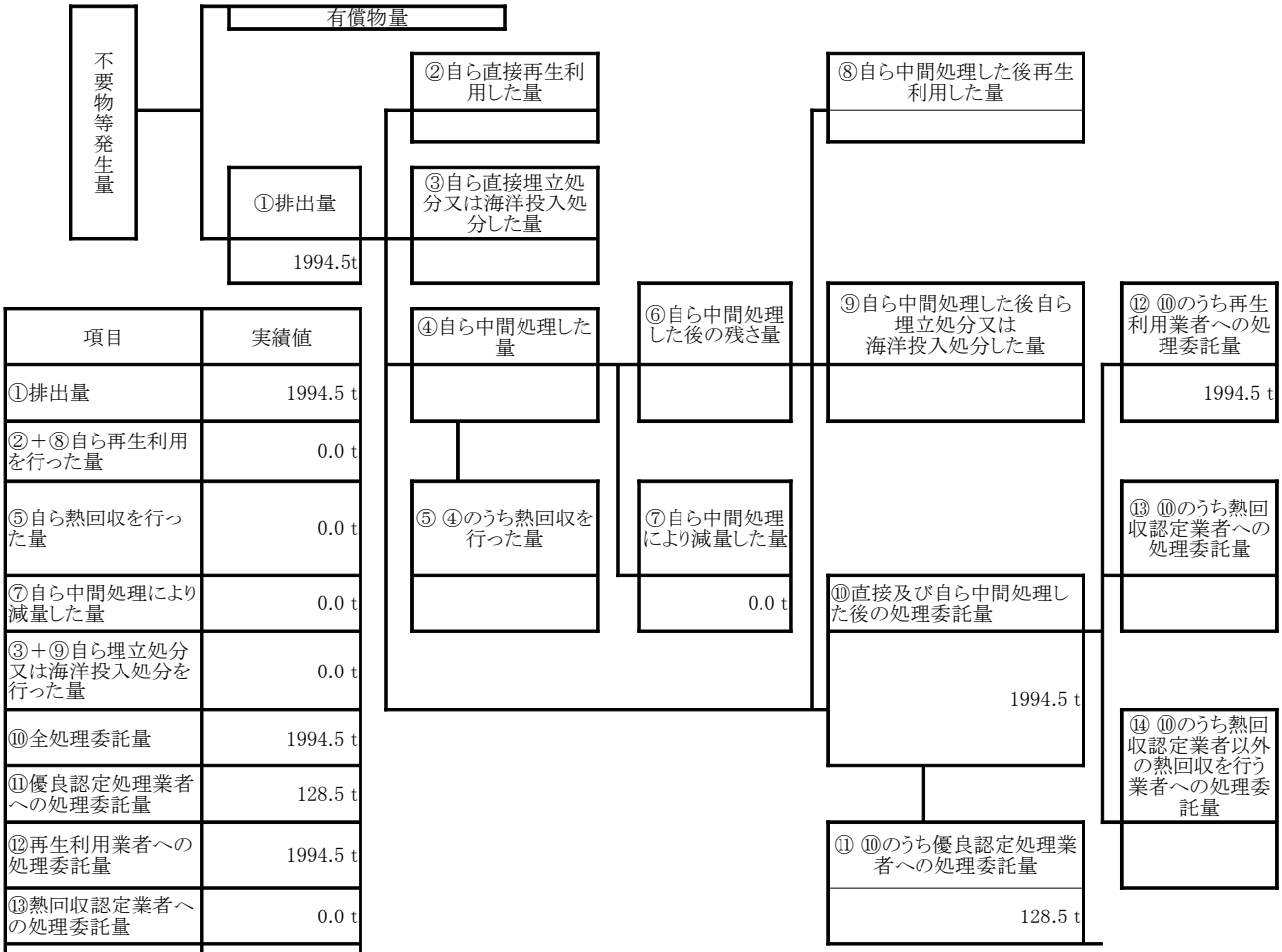
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**がれき類**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

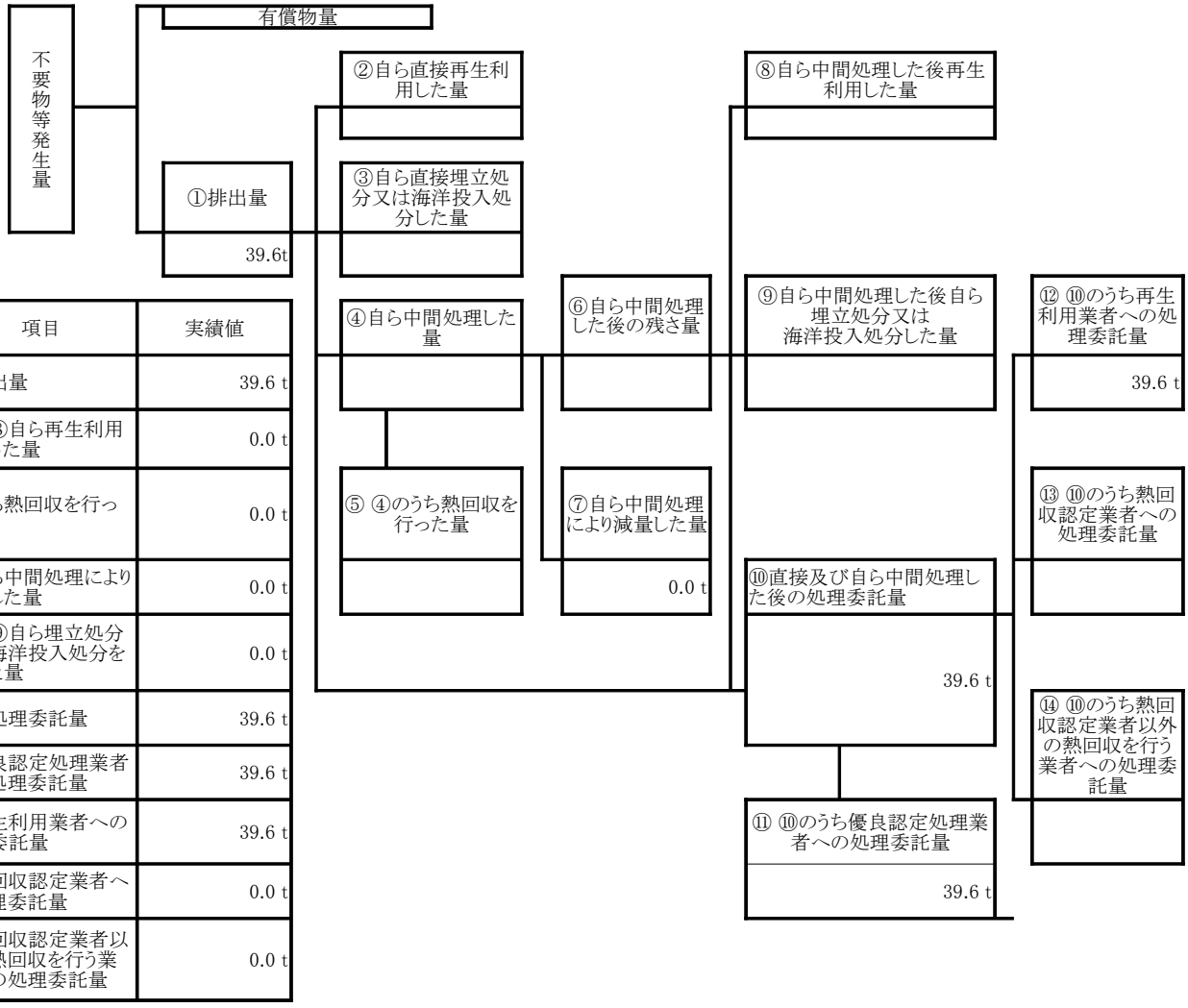


項目	実績値
①排出量	1994.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1994.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	128.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1994.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	39.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　19日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒135-8111

住　所　東京都江東区豊洲五丁目６番３６号

氏　名　株式会社ミライト・ワン
代表取締役社長　中山　俊樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-6807-3791

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ミライト・ワン　キャリアウエストカンパニー
事業場の所在地	〒556-0021　大阪府大阪市浪速区幸町2-2-13
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	完工高　229,338,000千円
③ 従業員数	3622人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 ・がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 ・廃プラスチック類→再生可能なものを再生処理業者 →固形燃料等に再資源化 ・木くず→処理業者に委託→分別後再資源化 ・建設混合廃棄物→現場分別、中間処理施設での選別・減容化、最終処分場 ・蛍光灯・水銀ランプ→都道府県知事から許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（管理体制図）

キャリアウエストカンパニー

安全品質管理部長（産業廃棄物統括責任者）

↓　　⇔　安全品質管理部　安全品質管理部門（産業廃棄物管理担当）

各事業本部

↓

各工事現場（産業廃棄物管理責任者・特別管理産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
排出量	2245 t	40 t

（これまでに実施した取組）

再生利用業者への処理委託（契約）を実施し、埋め立て処分を抑制する様、推進しています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
排出量	90 t	10 t

（今後実施する予定の取組）

再資源化率の維持と向上を推進していきます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃棄物の種類や分別方法について、従業員への教育を徹底し、意識を高めています。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・発生する産業廃棄物を正しく分別していきます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
全処理委託量	2245 t	40 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	2245 t	40 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

再資源化率の維持と向上を推進していきます。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	建設混合廃棄物
全処理委託量＿	90 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	90 t	10 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
再資源化率の維持と向上を推進していきます。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		排　　出　　量	2　t	30　t	1　t	t	t	t	t	t
	②計画	産業廃棄物処理計画書								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		排　　出　　量	2　t	5　t	1　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	**【目標】**								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		全処理委託量	2 t	30 t	1 t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	2 t	30 t	1 t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	蛍光灯・水銀ランプ（水銀使用製品産業廃棄物に限る）					
		全処理委託量	2 t	5 t	1 t	t	t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	2 t	5 t	1 t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 4月 16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-1514

住　所　千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10

氏　名　村樫建設工業株式会社

代表取締役　村樫　知則

電話番号　0476-95-3221

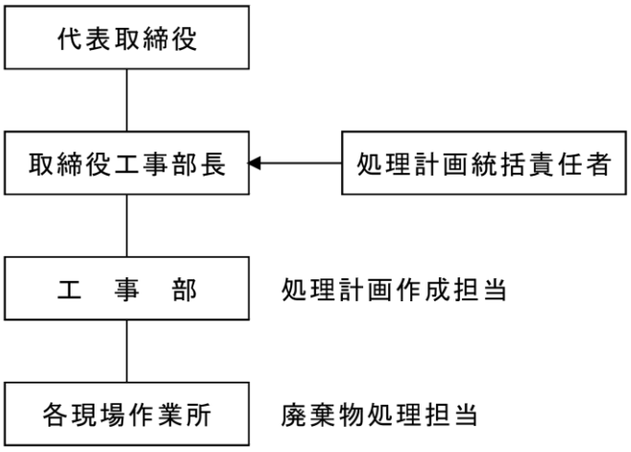
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	村樫建設工業株式会社
事業場の所在地	〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	前年度元請完成工事高：１６．７億円
③　従業員数	３１人（正社員３１人）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装（復旧） 構造物取壊し 構造物撤去 ⇒ As・Coがら、Coがら がれき類、廃ｱﾙｶﾘ 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、木くず 建設汚泥、混合廃棄物 ⇒ 中間処理施設 （再生利用業者） へ委託処理

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	排出量	1062 t	57.5 t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の内容によって廃棄物の種類と排出量が決定され、設計図書に従い適切に産業廃棄物の搬出を行っている。また、設計図書に明示されていない工事で発生した廃棄物や梱包材・余剰資材など分別・軽減化の指導を実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
	排出量	1000 t	50 t
	（今後実施する予定の取組） 今後受注する工事の内容により廃棄物の種類と排出量が決まるため、目標排出量の立案は困難。引続き資材管理の指導を徹底させ余剰資材の搬出量の削減、また梱包材などを分別し建設混合廃棄物の軽減化を目標とする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の種類別に主に施工・搬出。混合している廃棄物の場合は、種類毎に分別(識別)し、現場内に一時的に仮置き保管した後、ある程度の量に達したらまとめて中間処理施設へ運搬処理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物を極力、分別処理することにより、混合廃棄物量を減少させるよう引き続き指導を強化する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら	ｺﾝｸﾘｰﾄがら
全処理委託量	1062 t	57.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	918 t	17.8 t
再生利用業者への処理委託量	1062 t	57.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

排出量の全量を中間処理施設（再生利用業者）へ委託処理している。現場近傍に優良認定処理業者があれば、極力そこへ委託処理するように指導している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄがら		ｺﾝｸﾘｰﾄがら	
全処理委託量	1000	t	50	t
優良認定処理業者への処理委託量	500	t	25	t
再生利用業者への処理委託量	1000	t	50	t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0	t

（今後実施する予定の取組）

今後も、排出量の全量を中間処理施設（再生処理業者）への委託処理を行う。工事場所と運搬距離等の諸条件が整えば、優良認定処理業者へ委託するように各現場担当者に指導する。

ただ、当社の排出量の多くを占めるｺﾝｸﾘｰﾄがら、ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄがら、がれき類は、受注した工事現場の近傍での優良認定業者が見当たらない場合がある。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ガラス･コンクリート･陶磁器	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	排　出　量	143.6 t	151.24 t	1.05 t	302.89 t	29.5 t	0.31 t	0.9 t	2.95 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート･陶	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	排　出　量	140 t	150 t	1 t	300 t	30 t	0.3 t	0.5 t	2.5 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート･陶	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート･陶	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート･陶	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート･陶	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート・陶磁	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート・陶磁	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート・陶磁	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
全処理委託量	143.6 t	151.24 t	1.05 t	302.89 t	29.5 t	0.31 t	0.9 t	2.95 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1.64 t	0 t	301.04 t	0 t	0 t	0.9 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	143.6 t	151.24 t	1.05 t	302.89 t	29.5 t	0.31 t	0.9 t	2.95 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	コンクリート・陶磁	汚泥	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	鉱さい	紙くず	廃油
全処理委託量	140 t	150 t	1 t	300 t	30 t	0.3 t	0.5 t	2.5 t	0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	70 t	0 t	0 t	150 t	0 t	0 t	0.5 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	140 t	150 t	1 t	300 t	30 t	0.3 t	0.5 t	2.5 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 4月 16日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-1514
住 所　千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10
氏 名　村樫建設工業株式会社
代表取締役　村樫　知則
電話番号　0476-95-3221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	村樫建設工業株式会社
事業場の所在地	〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台2-1-10
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

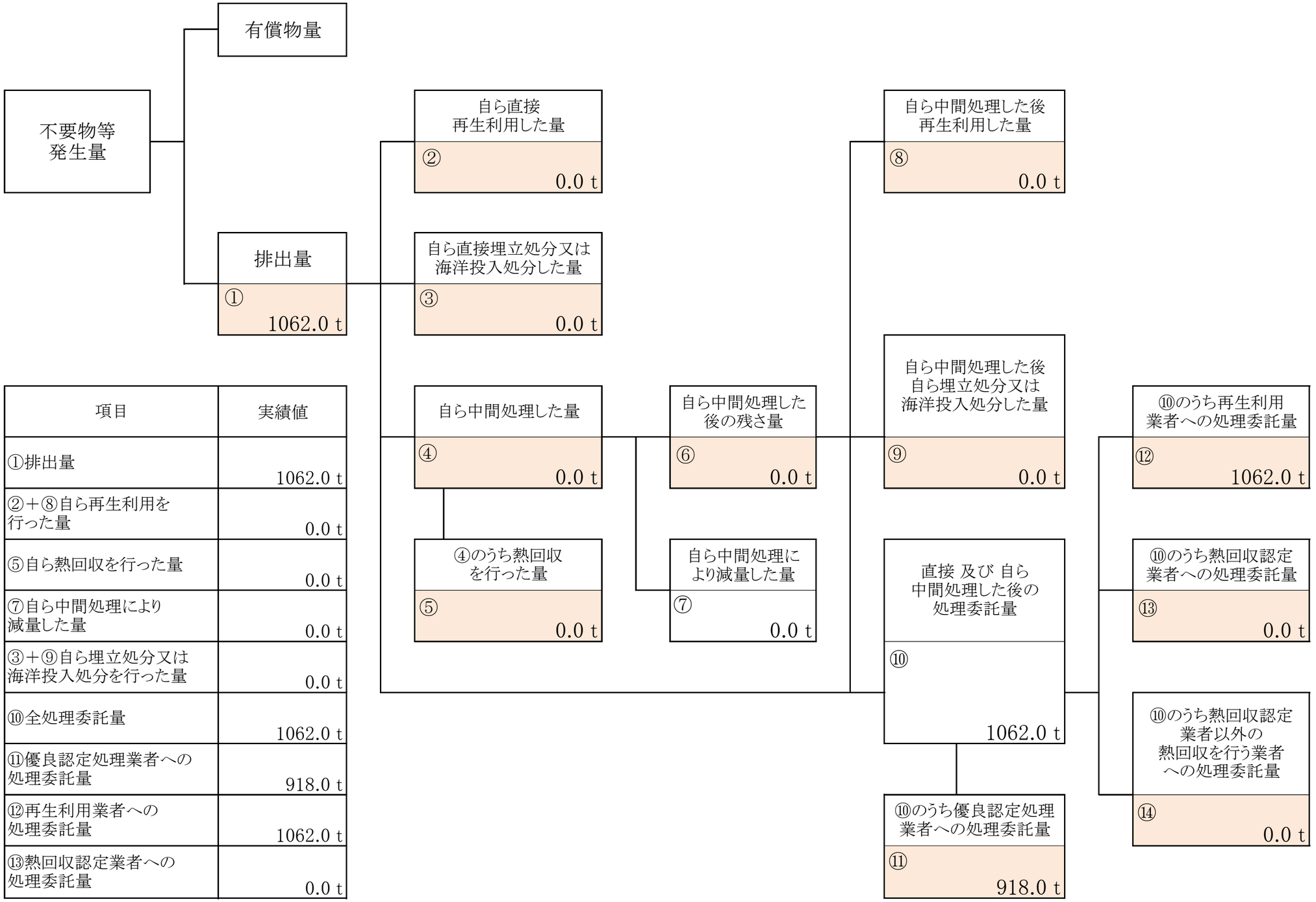
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1630.0 t	全処理委託量	1630.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	21.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1609.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト・コンクリートがら）

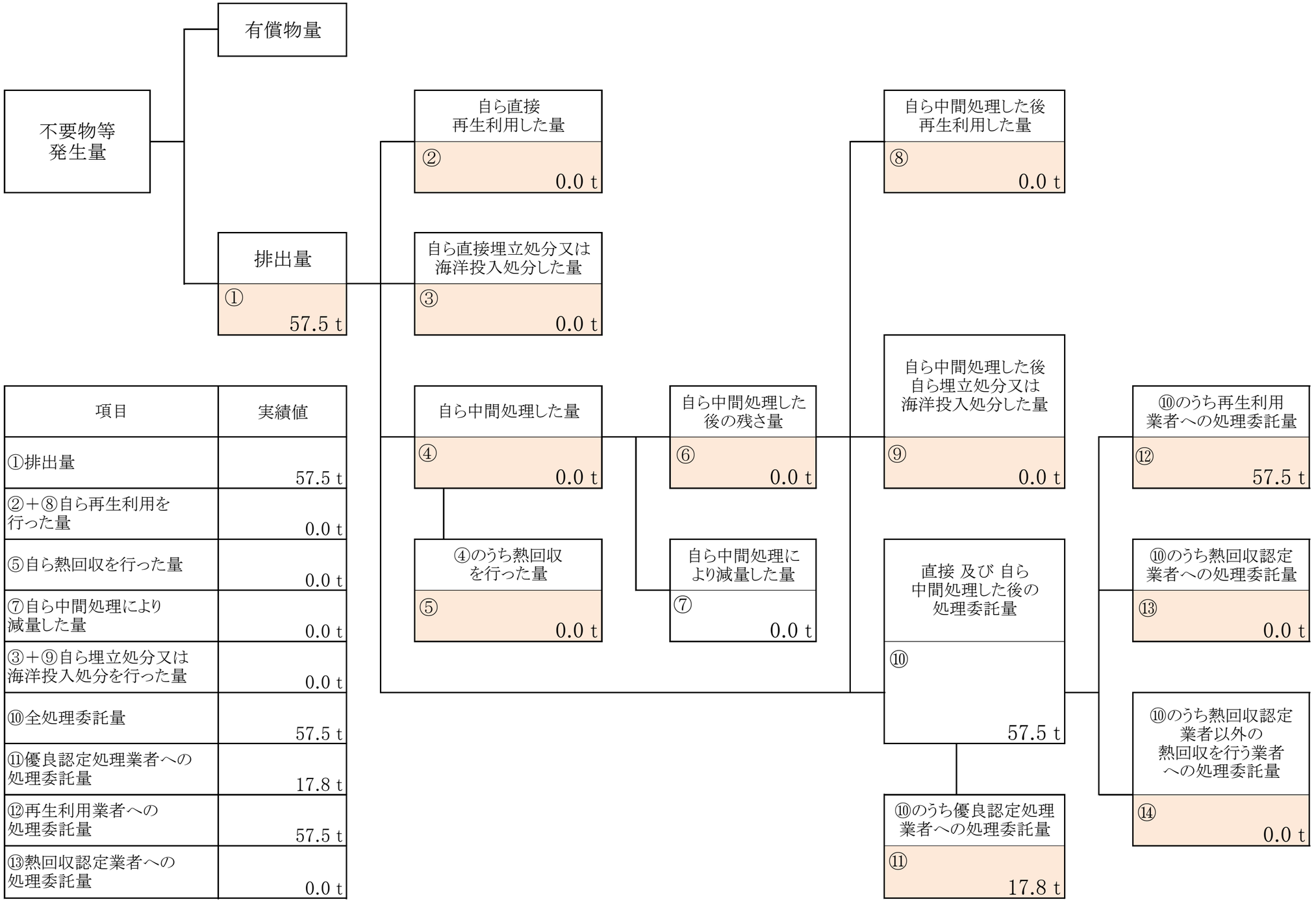


項目	実績値
①排出量	1062.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1062.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	918.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1062.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら）

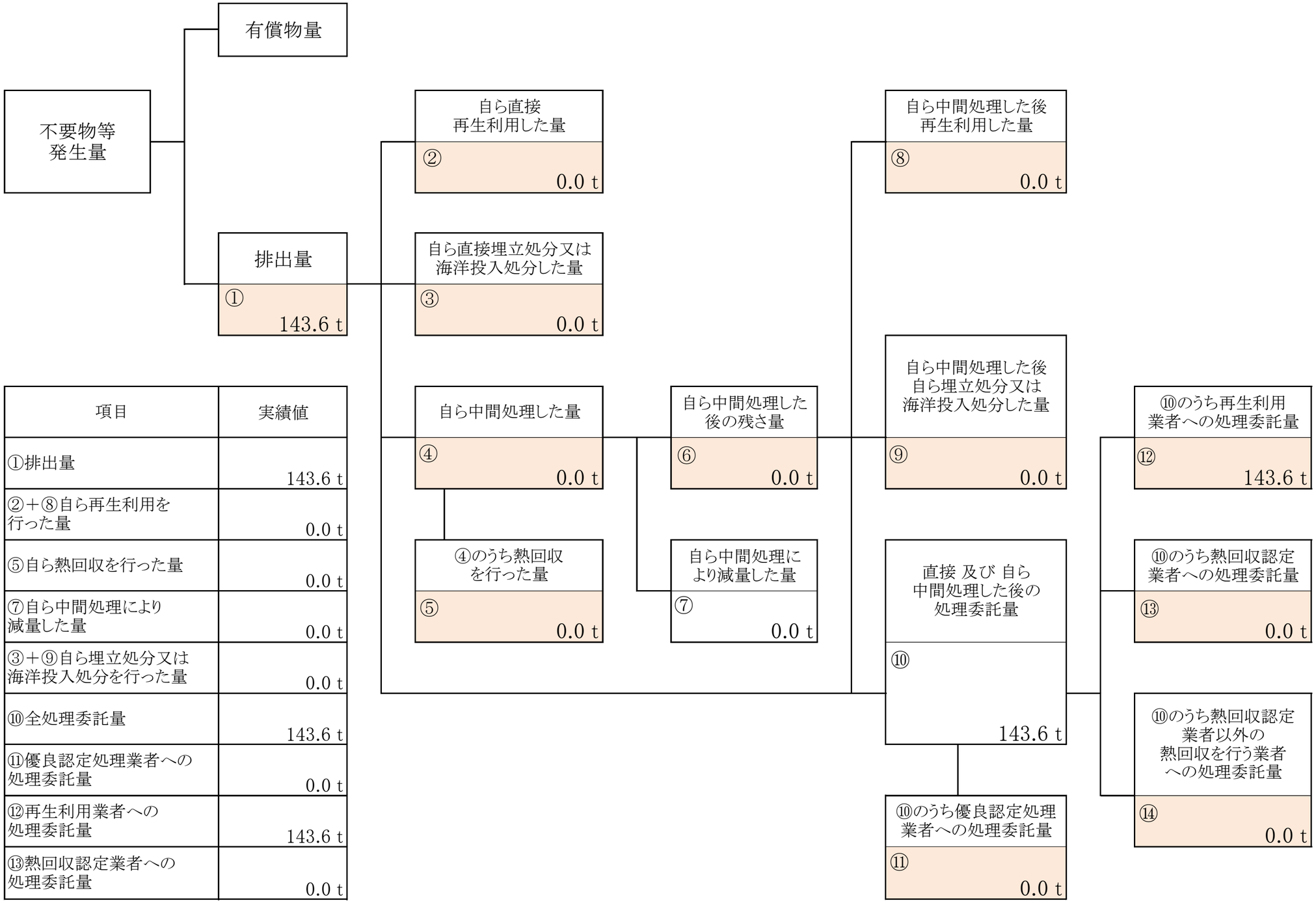


項目	実績値
①排出量	57.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	57.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

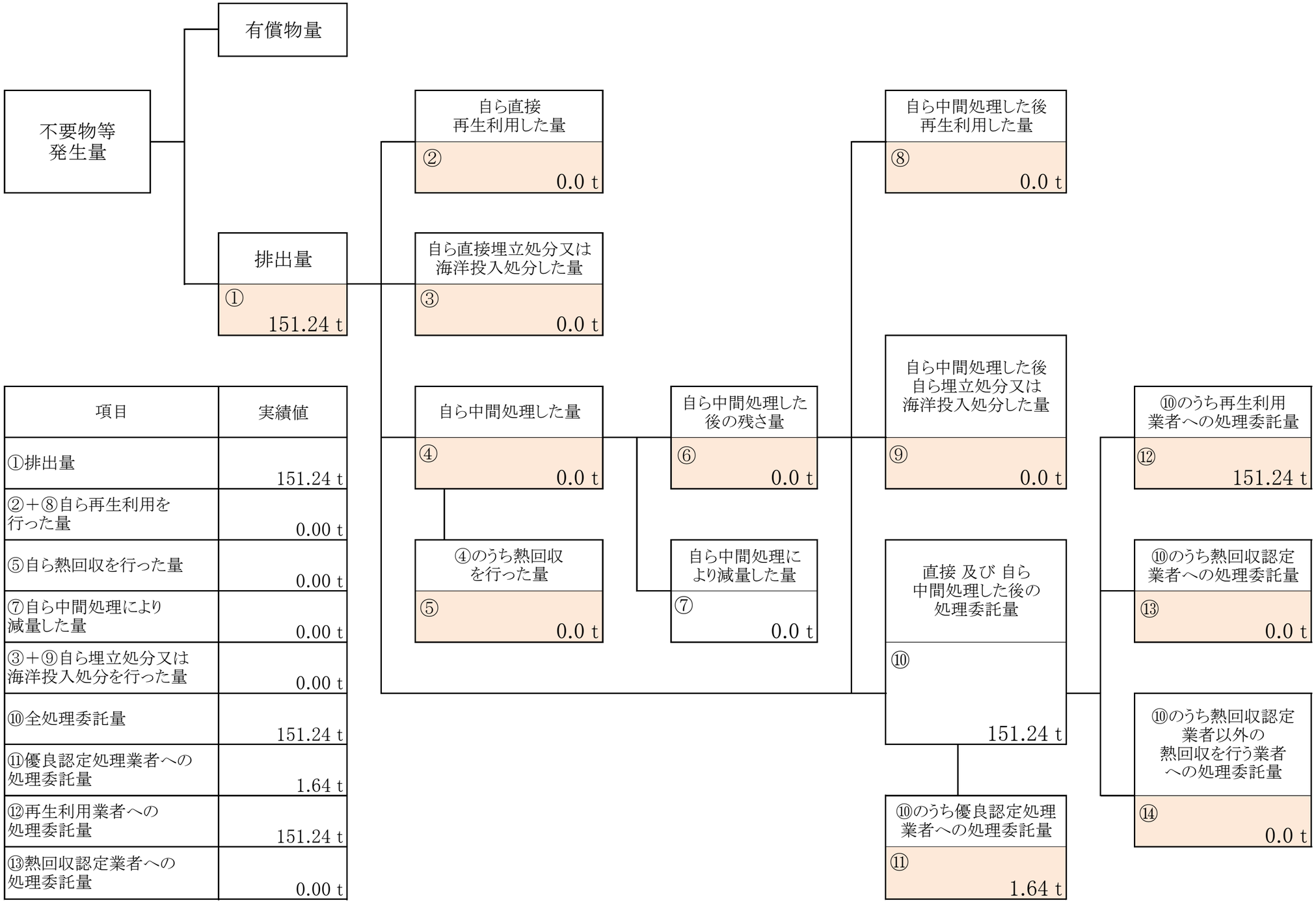


項目	実績値
①排出量	143.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: 木くず ）

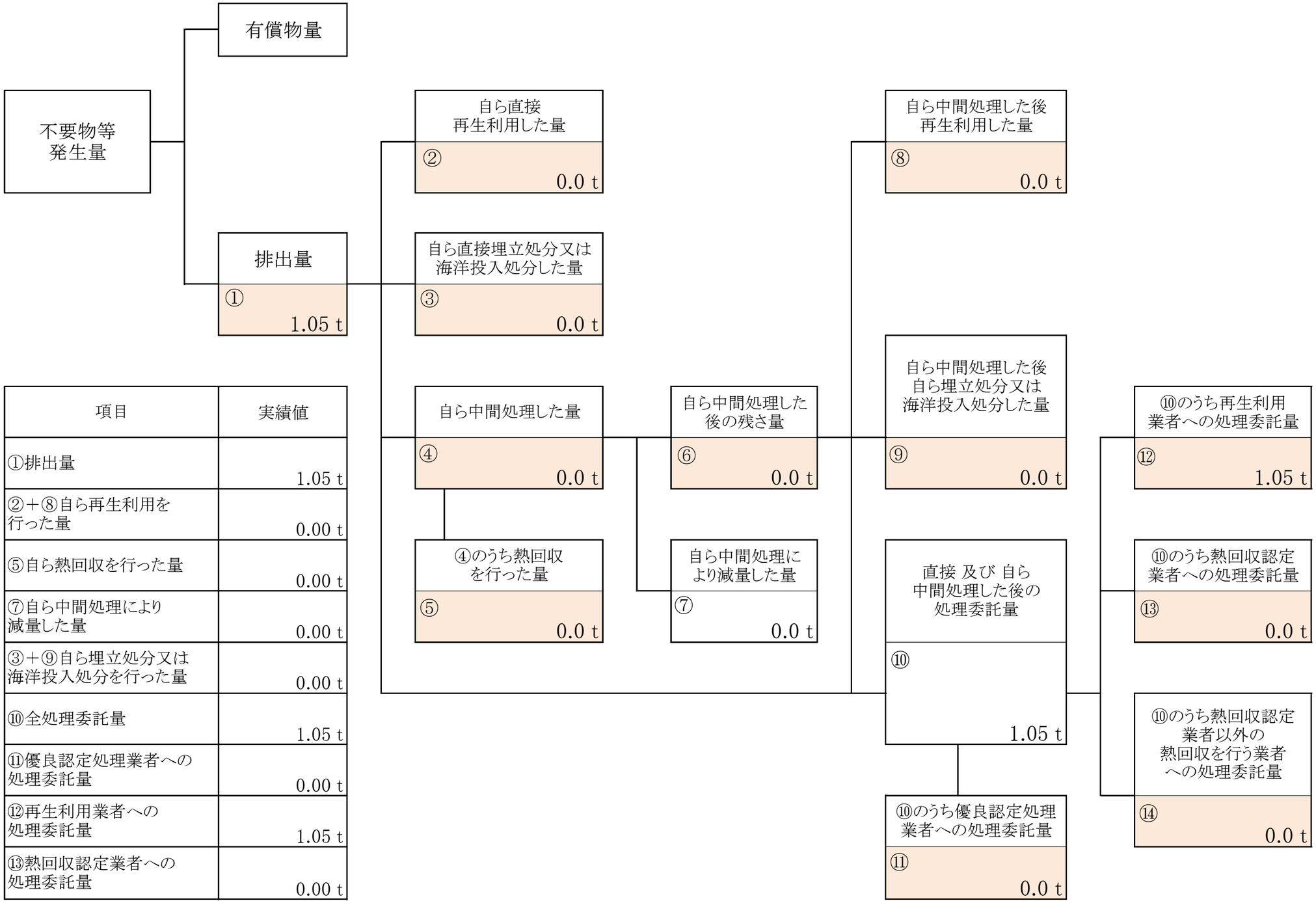


項目	実績値
①排出量	151.24 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	151.24 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.64 t
⑫再生利用業者への処理委託量	151.24 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **廃アルカリ** ）

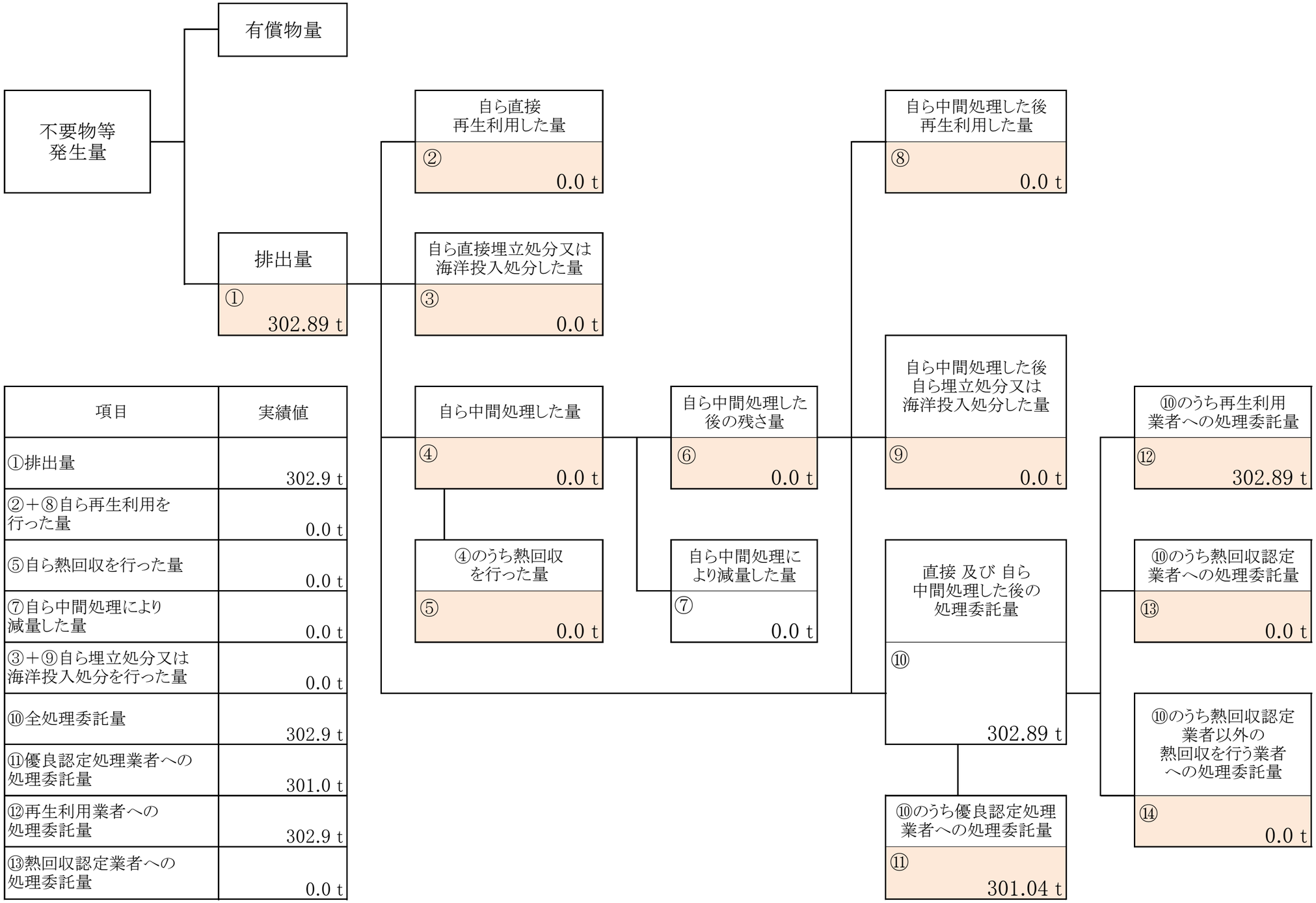


項目	実績値
①排出量	1.05 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.05 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類**）

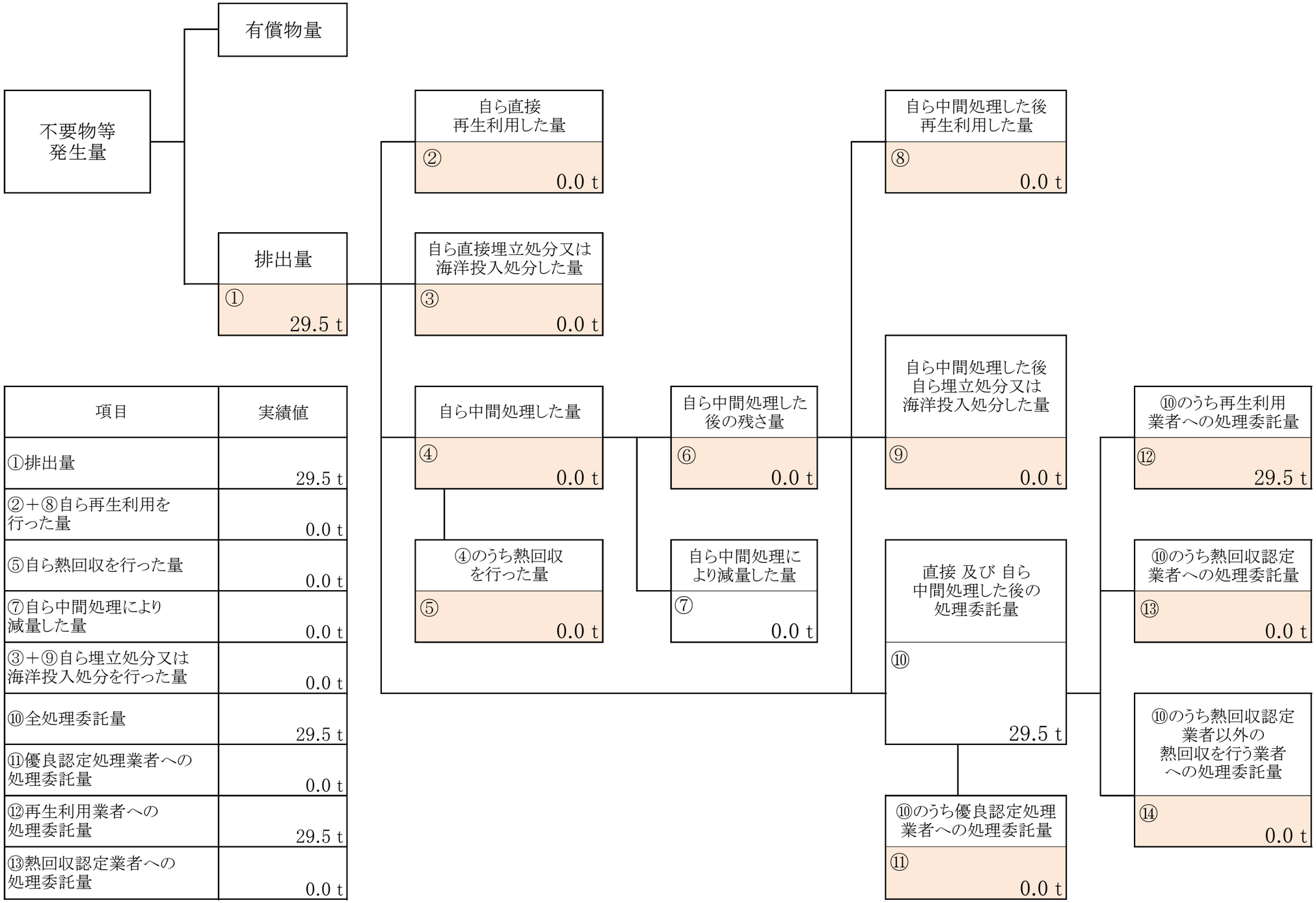


項目	実績値
①排出量	302.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	302.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	301.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	302.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

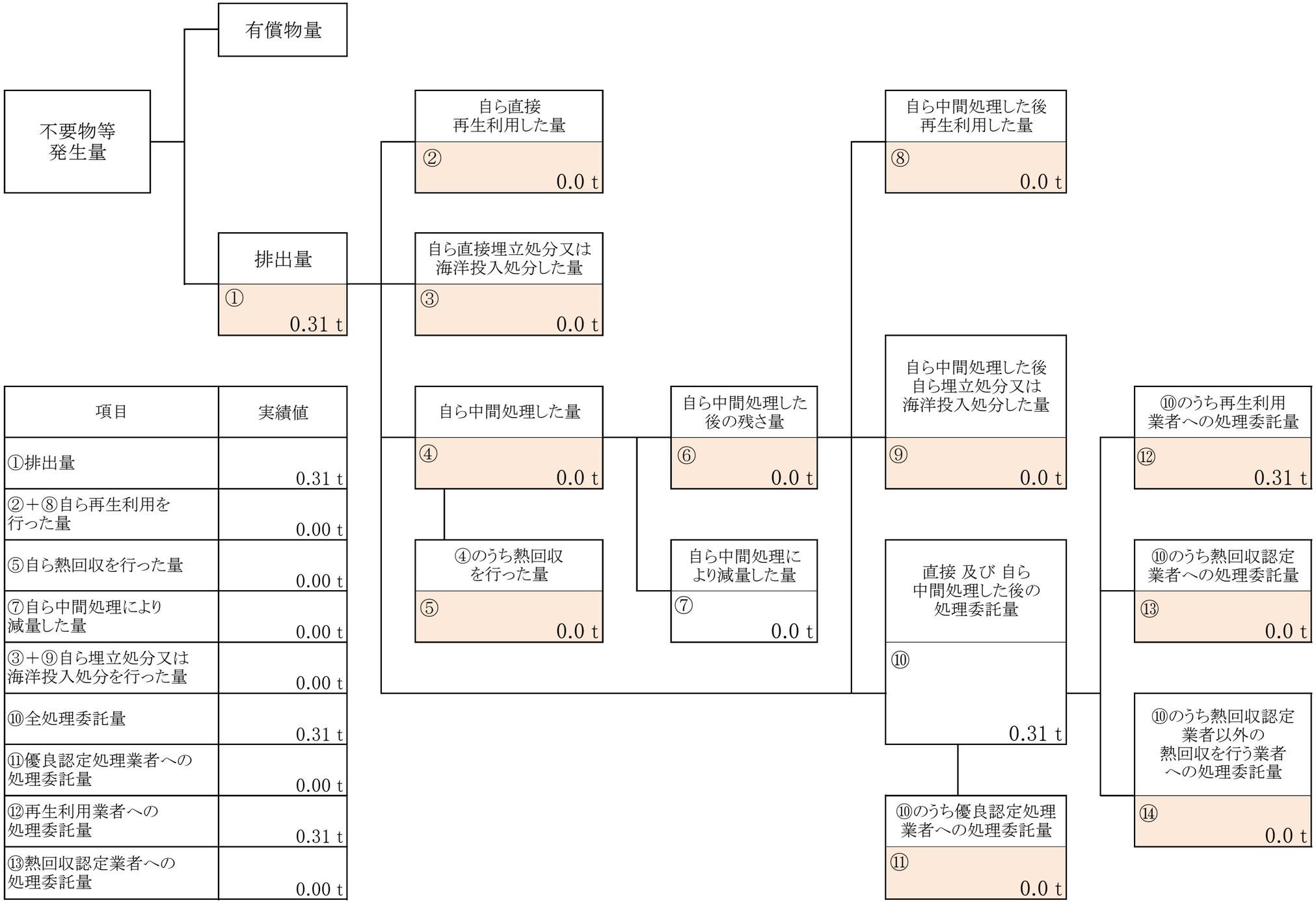


項目	実績値
①排出量	29.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類: **汚泥** ）

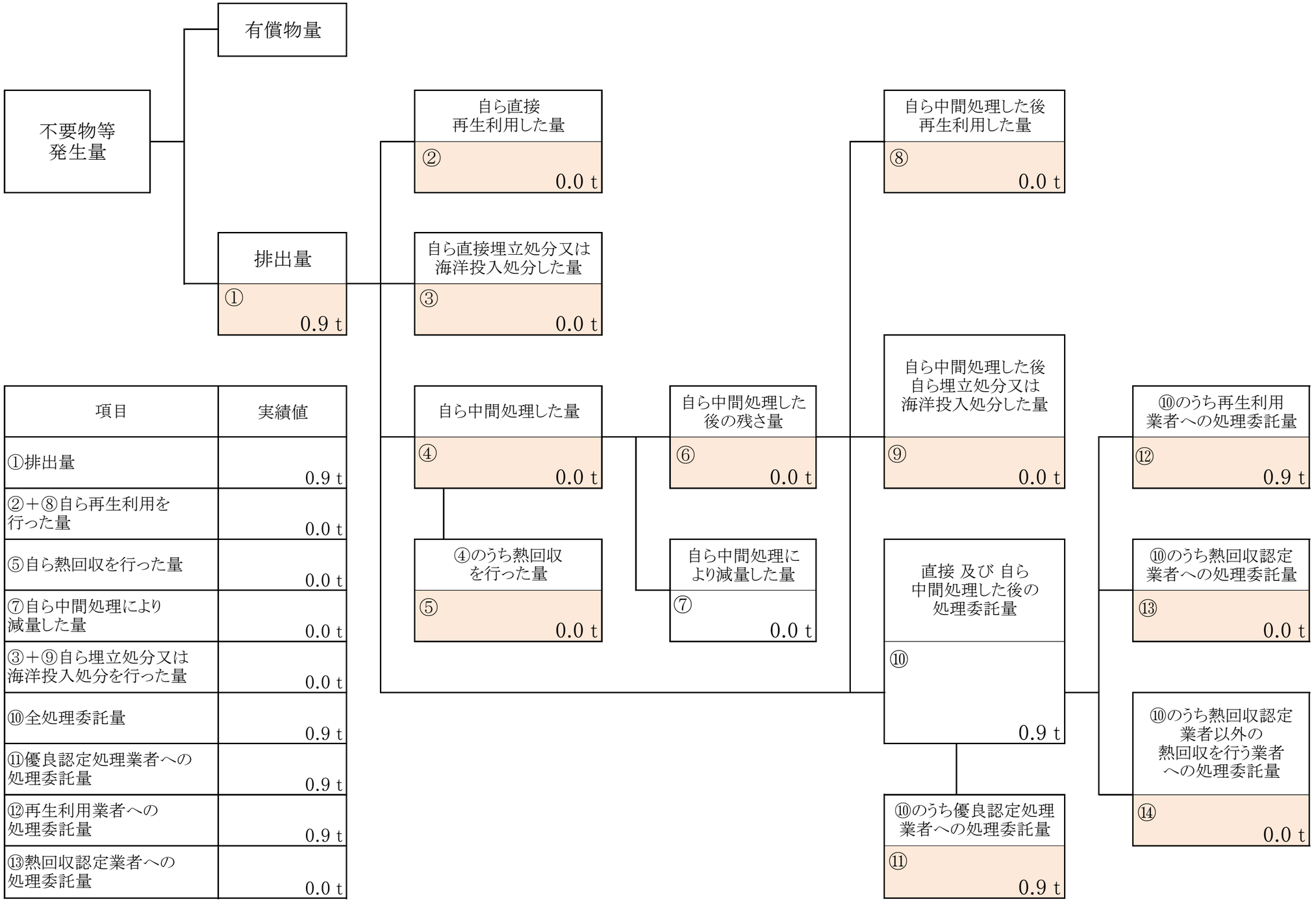


項目	実績値
①排出量	0.31 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.31 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.31 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**建設混合廃棄物**）

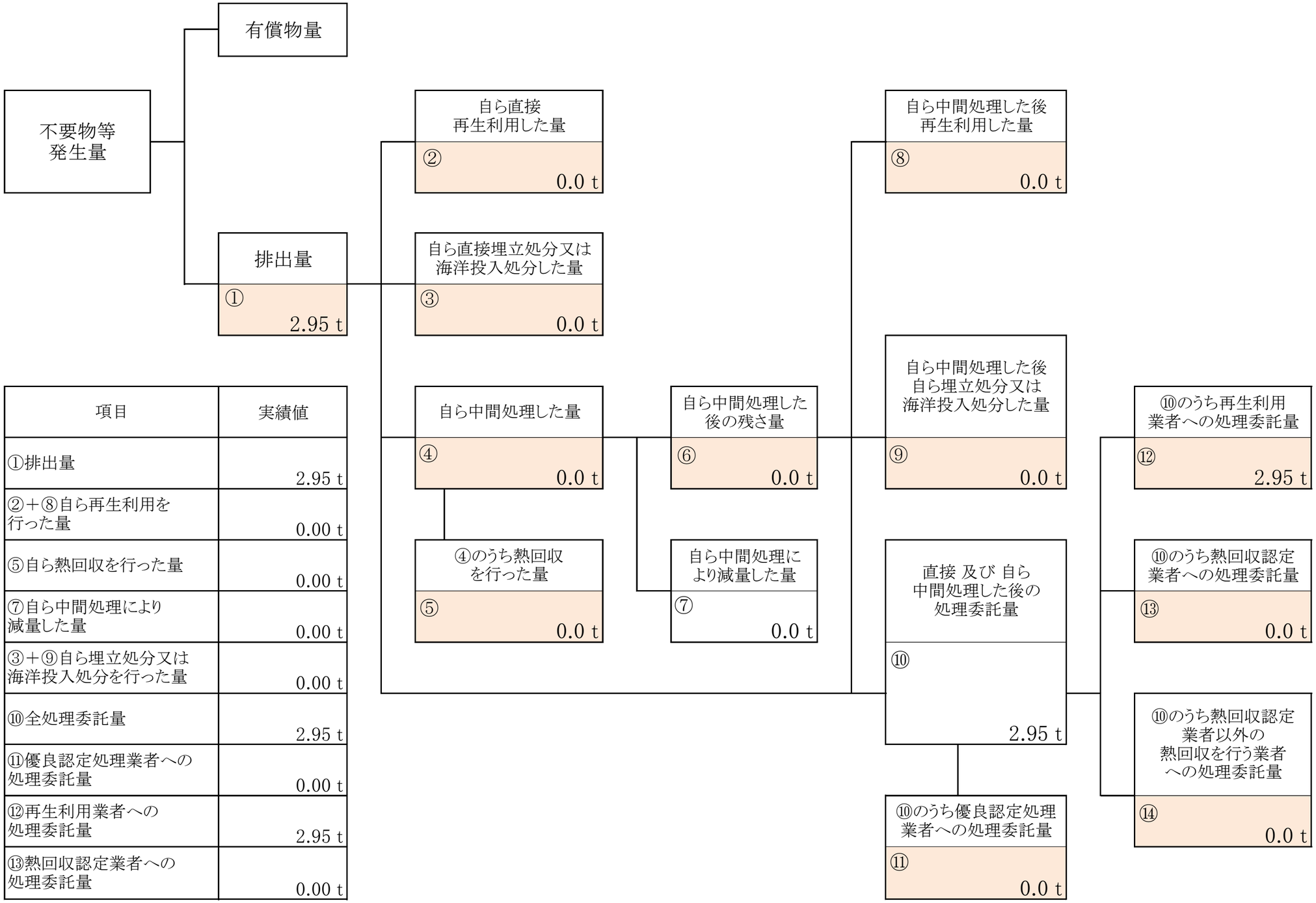


項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**管理型混合廃棄物**）

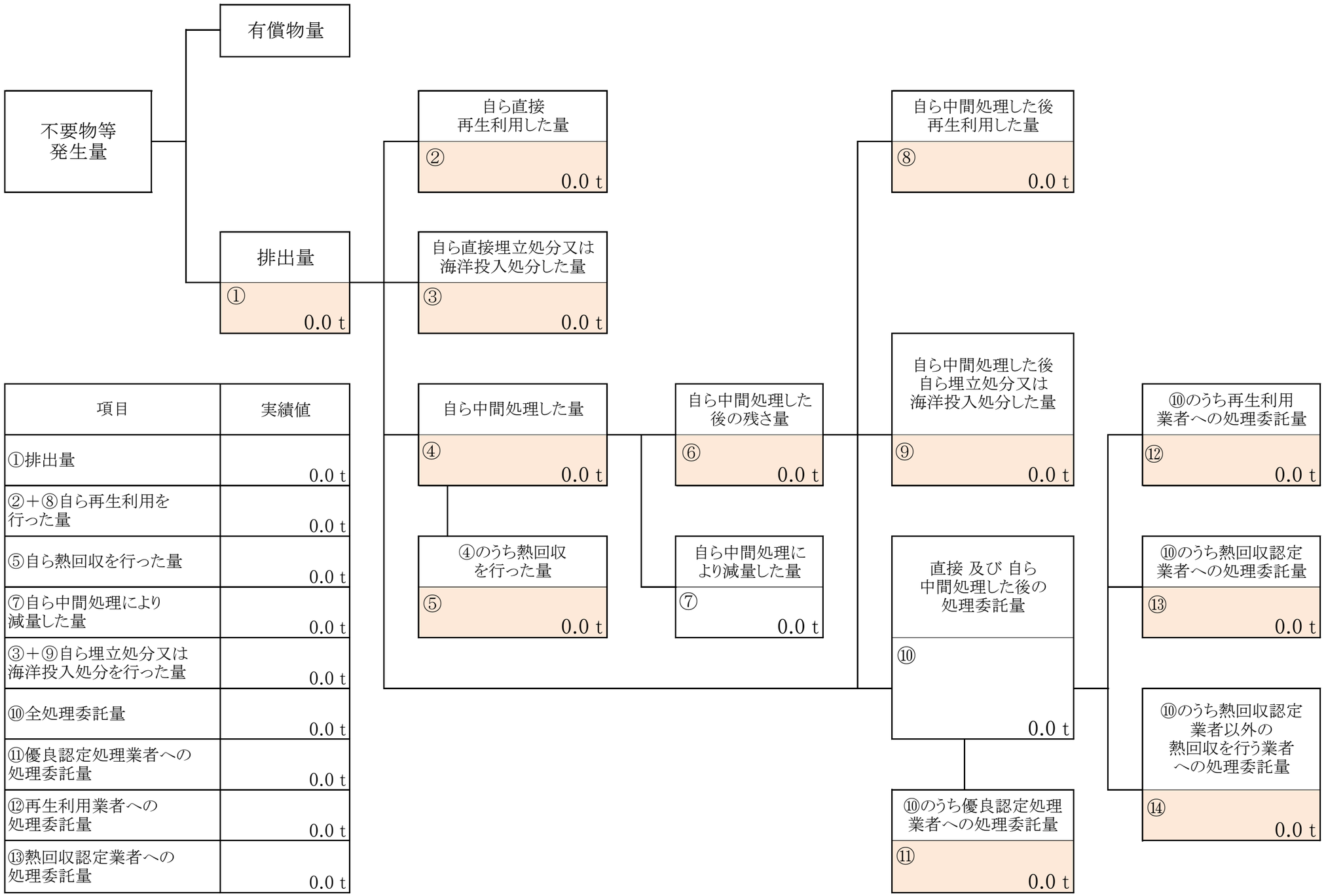


項目	実績値
①排出量	2.95 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2.95 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.95 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**鉱さい**）

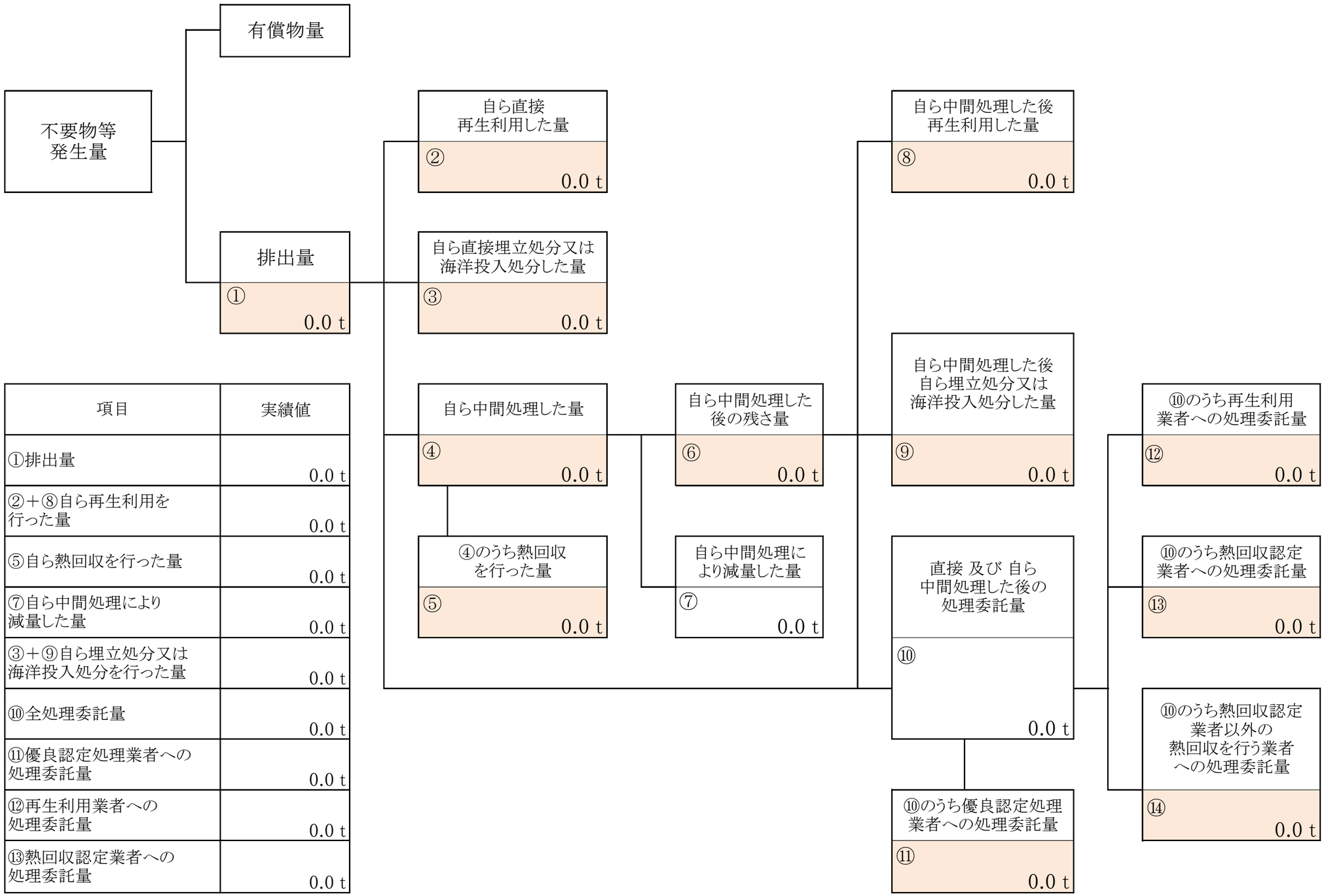


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

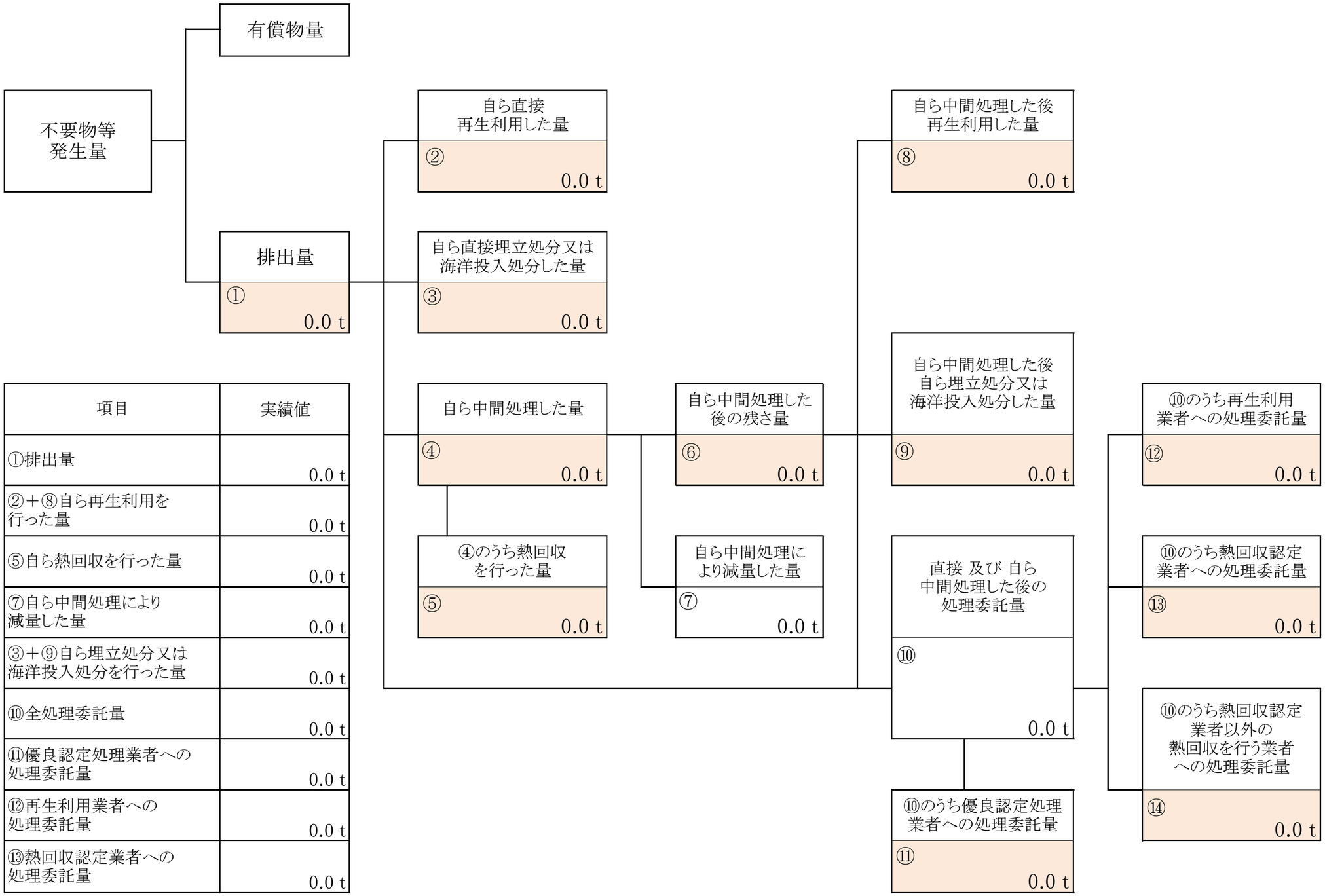


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　285-0837

住　所　千葉県佐倉市王子台1-21-2

法人名　株式会社村上建設

代表者　村上 亮

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　043-461-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	建設業：株式会社村上建設
事業場の所在地	〒285-0837　建設業：千葉県佐倉市王子台1-21-2
計画期間	令和7年4月1日　　から　　令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　建築業　　中分類：　　総合工事業
②事業の規模	工事完成高8.7億円（２０２4年度）
③従業員数	４１名（正社員36人、パート5人）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ｺﾝｸﾘｰﾄ→破砕→再資源化、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ→委託処理（再生利用業者で処理）、ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず→委託処理（中間処理：破砕）、がれき類→委託処理（中間処理：破砕）、木くず→委託処理（中間処理：破砕）、混合廃棄物→委託処理（中間処理：破砕）、石綿含有廃棄物→委託処理（最終処分）、繊維くず→委託処理（中間処理：破砕）、紙くず→委託処理（中間処理：破砕）、廃石膏ボード→委託処理（中間処理：破砕）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

代表取締役→解体事業部責任者→解体事業部現場責任者

代表取締役→土木工事事業部責任者→解体事業部現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
排出量	5399 t	268.97 t

（これまでに実施した取組）

家屋解体工事が多いので、各現場にて細かな分別・軽減化を実施している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
排出量	5500 t	60 t

（今後実施する予定の取組）

解体工事の特性として、搬出量の制限は困難となるので、細かな分別を行い、混合廃棄物の搬出を抑える。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

ＥＡ２１の取り組みと合わせて、環境意識向上を図る為、適宜、教育を実施している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

可能限り分別を行い、可能な限り再利用出来るように分別をおこなっていく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	798.76 t	0 t

（これまでに実施した取組）

コンクリートの塊を破砕し、再生砕石と再利用を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1000 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

引き続き再生砕石を作成し、再利用を行っていく。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリート	廃プラスチック
全処理委託量		4600 t	57.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2162.2 t	5.5 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	1.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

細かな分別・軽減化を行い、再生利用を行う処理委託業者へ搬出を行い再資源化となるように努める。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>5000 t</td><td>60 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>2500 t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>1000 t</td><td>3 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き再利用が可能な処理業者へ委託を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	排　出　量	198.2 t	268.97 t	892.68 t	162.28 t	157.5 t	4,519.1 t	2.52 t	511.96 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	排　出　量	220 t	270 t	900 t	170 t	160 t	4,600 t	3 t	520 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	198.2　t	268.97　t	892.68　t	162.3　t	157.5　t	4519.1　t	2.52　t	511.96　t
	優良認定処理業者への処理委託量	51　t	0　t	258.23　t	19.1　t	132.5　t	0.42　t	0　t	470.4　t
	再生利用業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	混合廃棄物	石綿含有廃棄物	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	220　t	270　t	900　t	170　t	160　t	4600　t	3　t	520　t
	優良認定処理業者への処理委託量	60　t	50　t	300　t	50　t	135　t	1　t	1　t	480　t
	再生利用業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t	0　t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　285-0837

住所 千葉県佐倉市王子台1-21-2

法人名 株式会社村上建設

代表者 村上 亮

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-461-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	建設業:株式会社村上建設
事業場の所在地	〒285-0837　建設業:千葉県佐倉市王子台1-21-2
事業の種類	大分類　建築業　中分類 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11450 t	全処理委託量	6450 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3000 t	優良認定処理業者への処理委託量	800 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5650 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

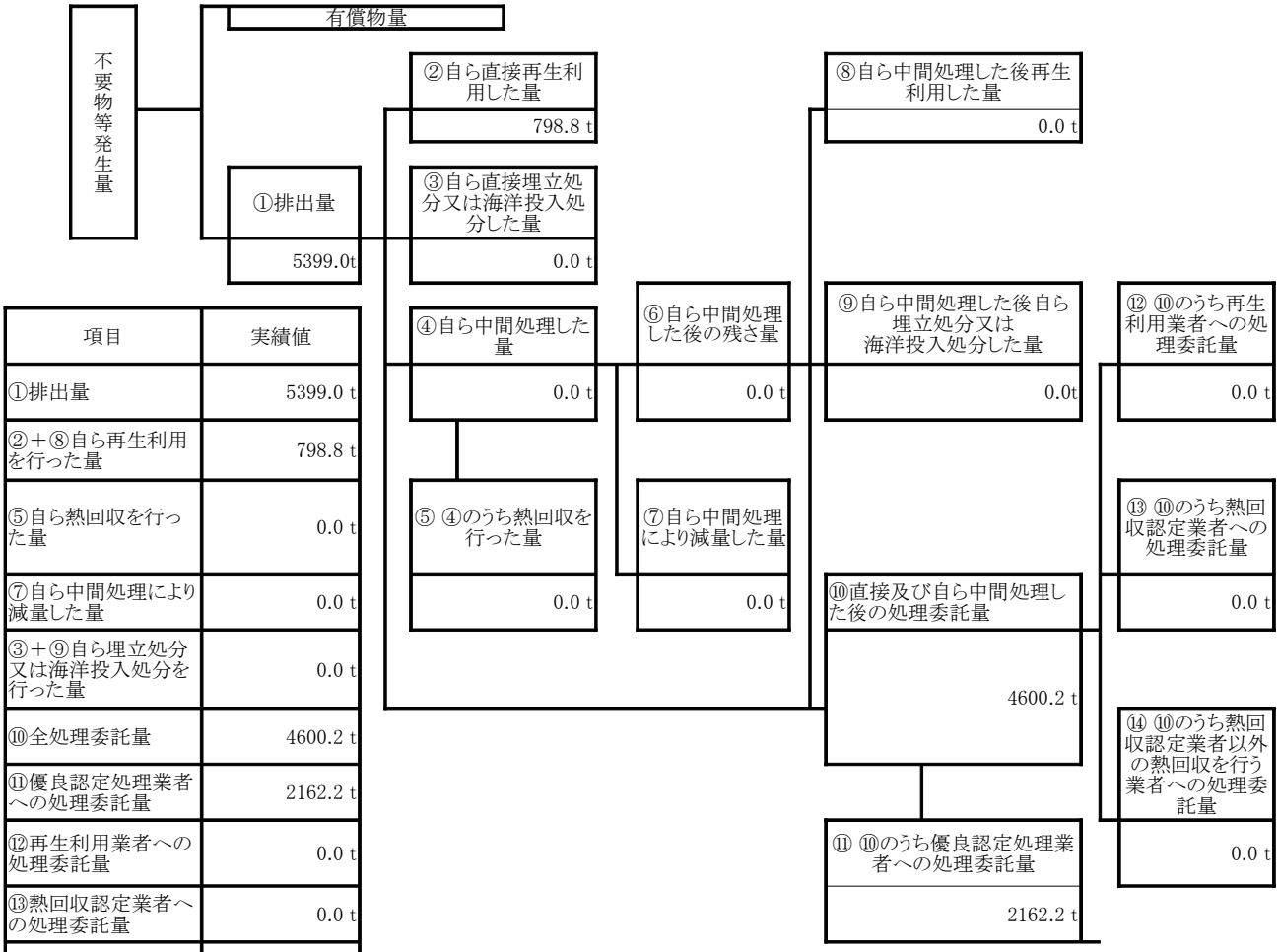
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリート塊　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



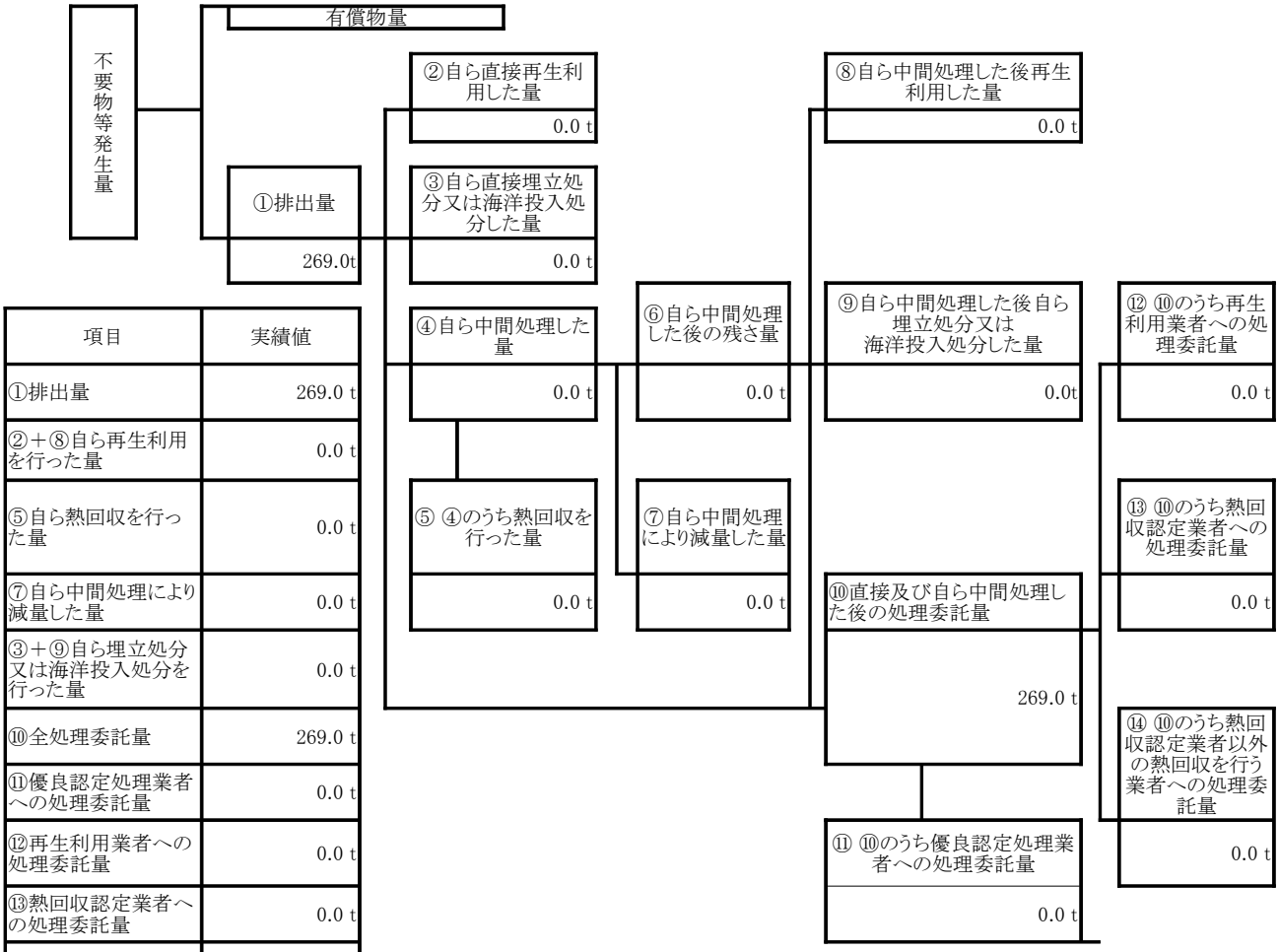
項目	実績値
①排出量	5399.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	798.8 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4600.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2162.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

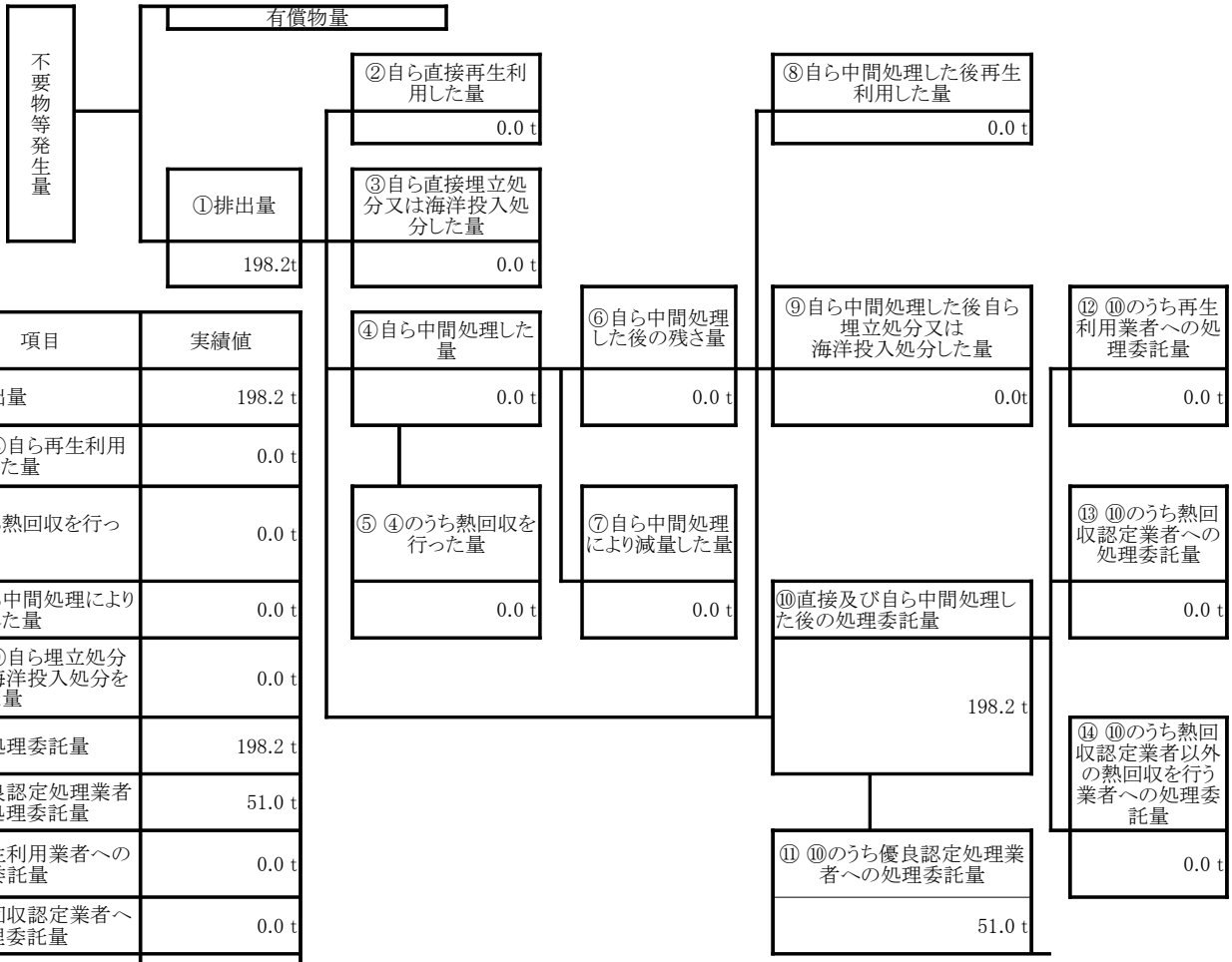


項目	実績値
①排出量	269.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	269.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**ガラス・陶磁器くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

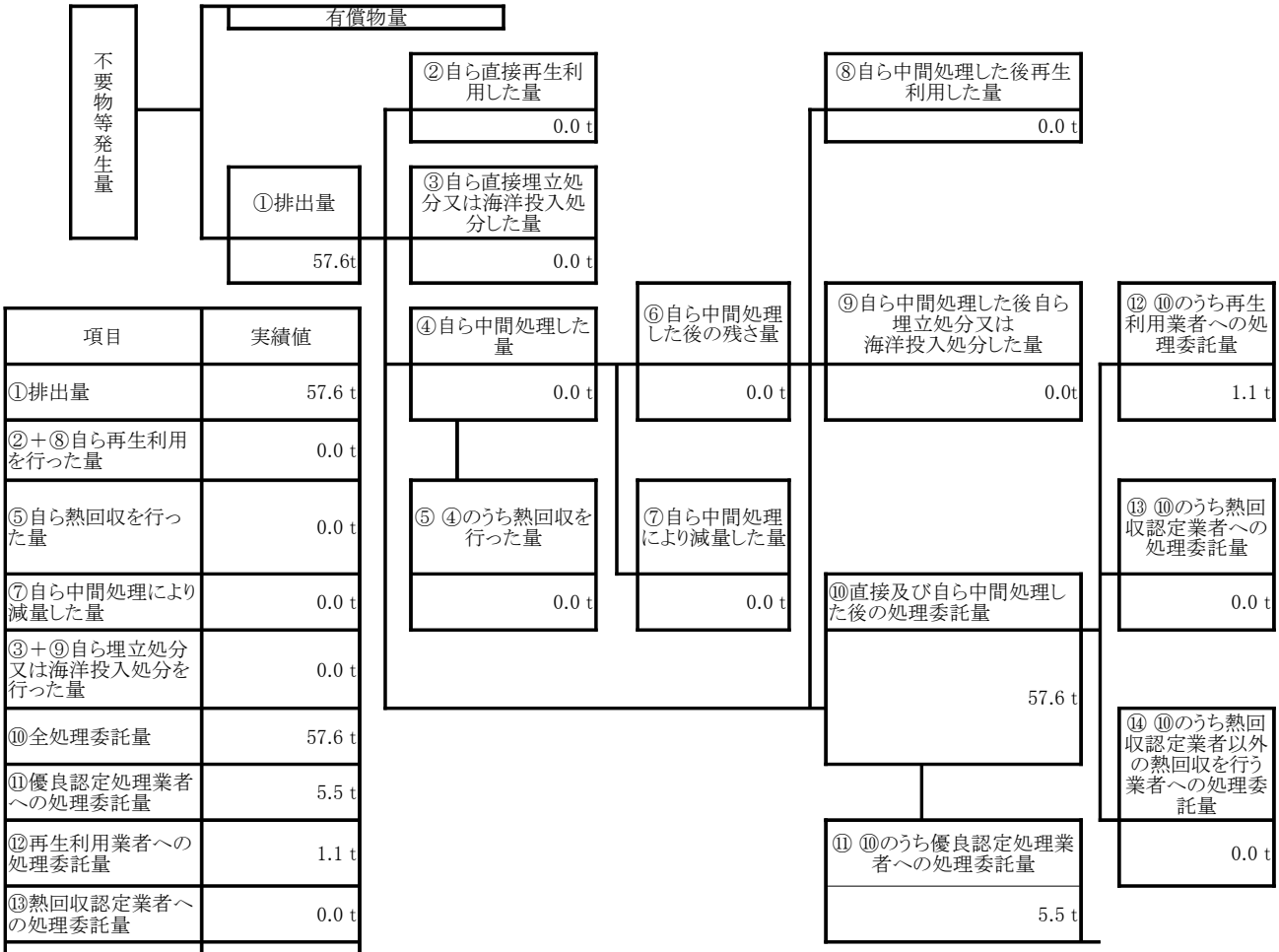


項目	実績値
①排出量	198.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	198.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



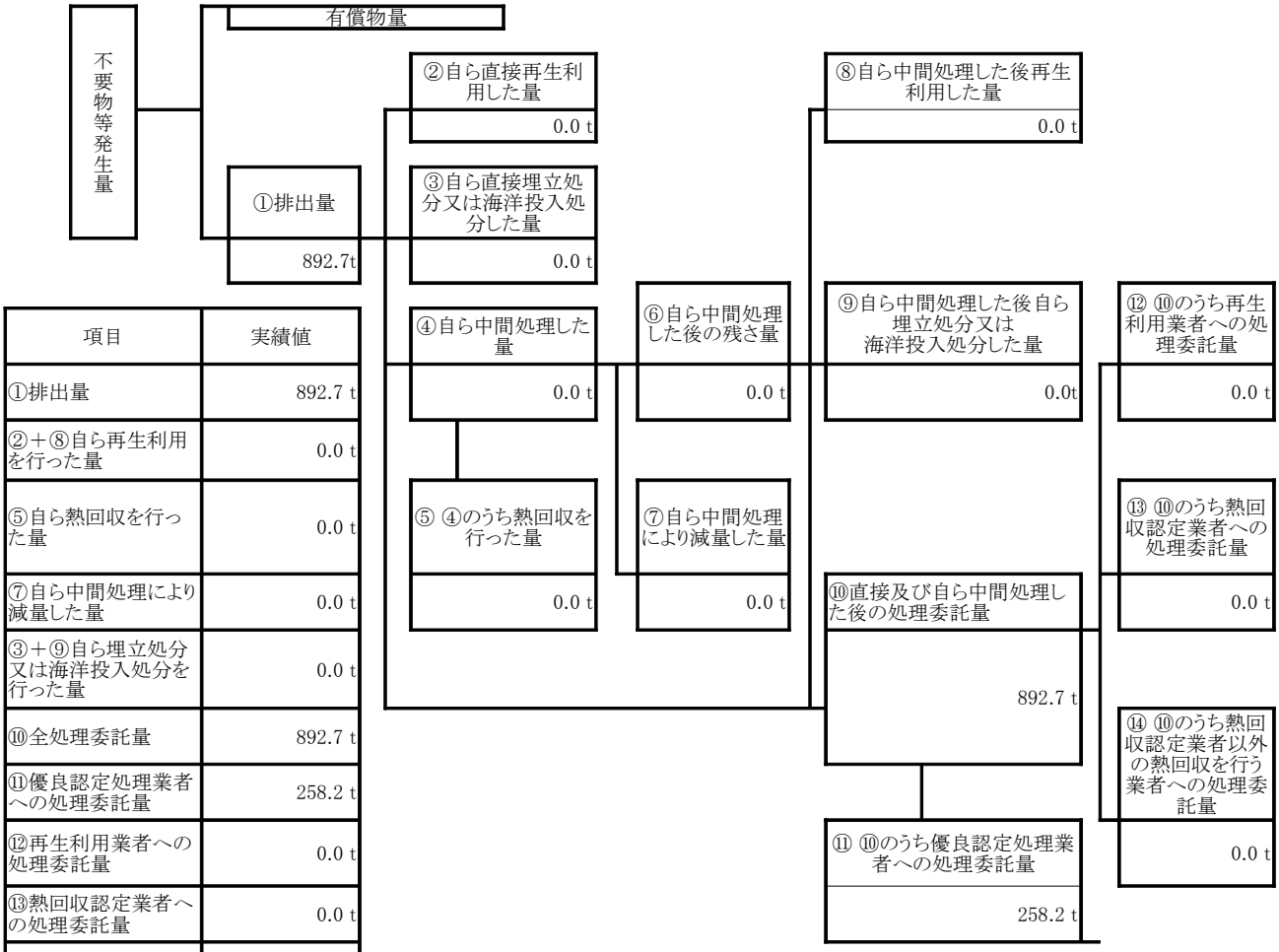
項目	実績値
①排出量	57.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

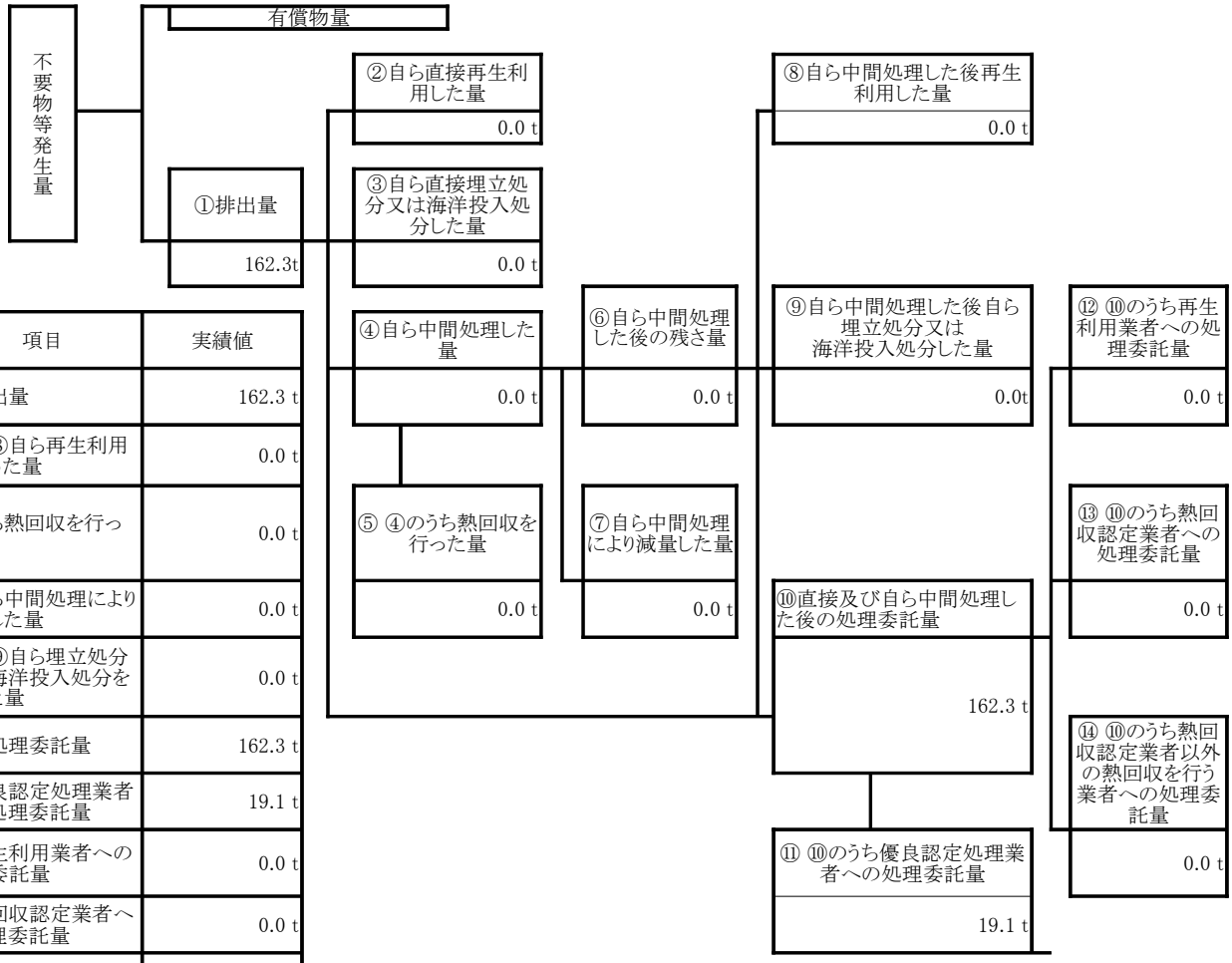


項目	実績値
①排出量	892.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	892.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	258.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**混合廃棄物**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

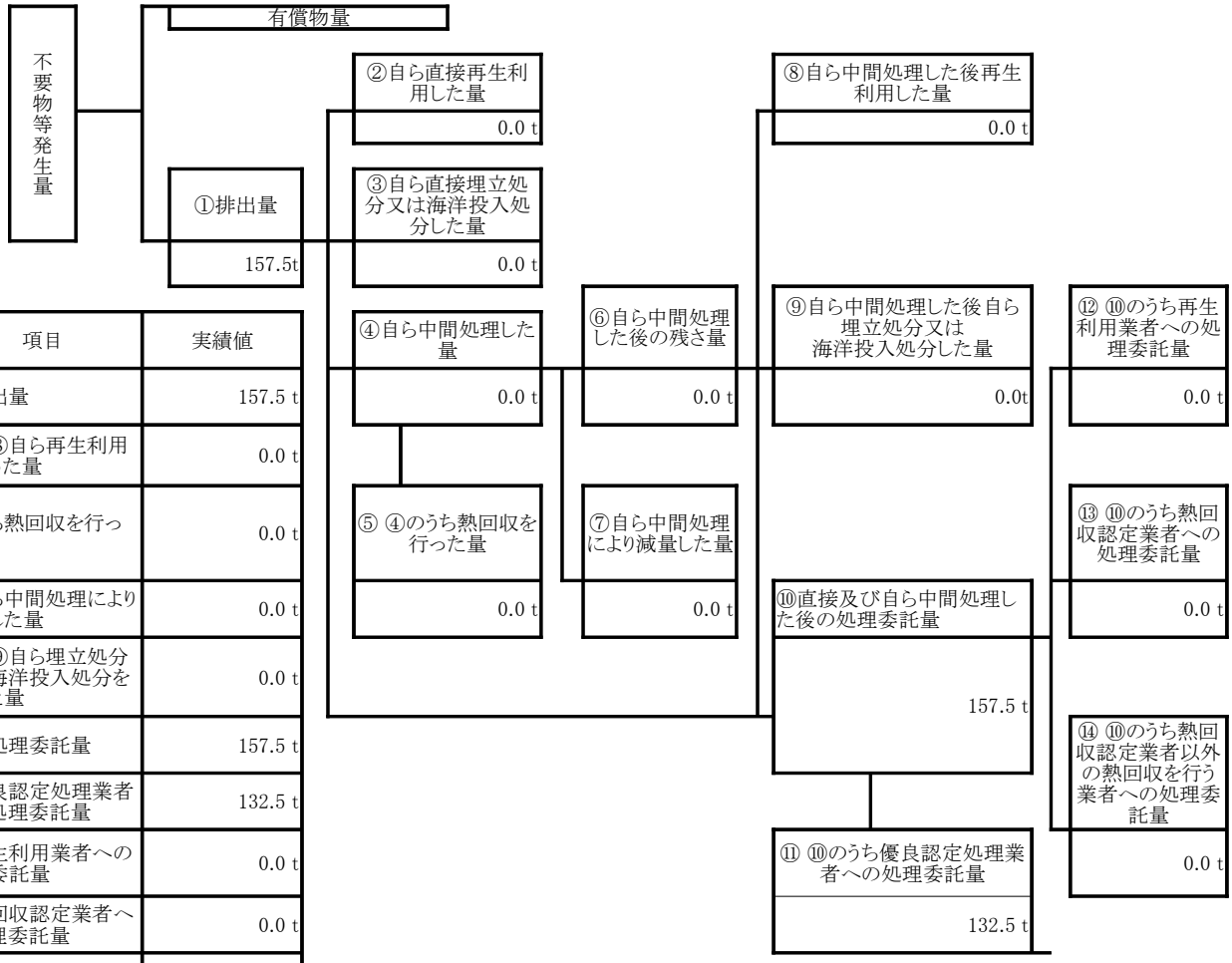


項目	実績値
①排出量	162.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	162.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　石綿含有廃棄物　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

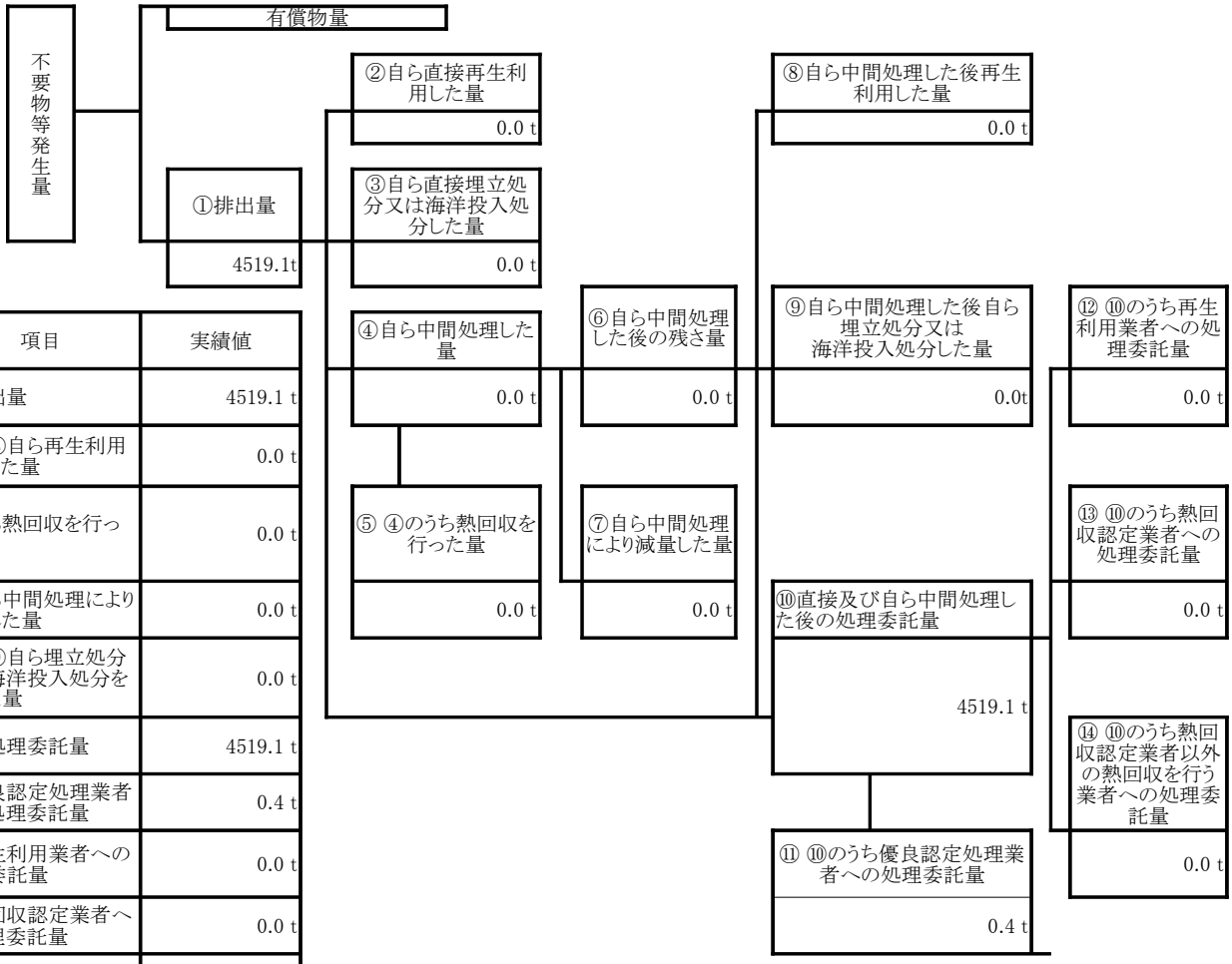


項目	実績値
①排出量	157.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	157.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**繊維くず**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

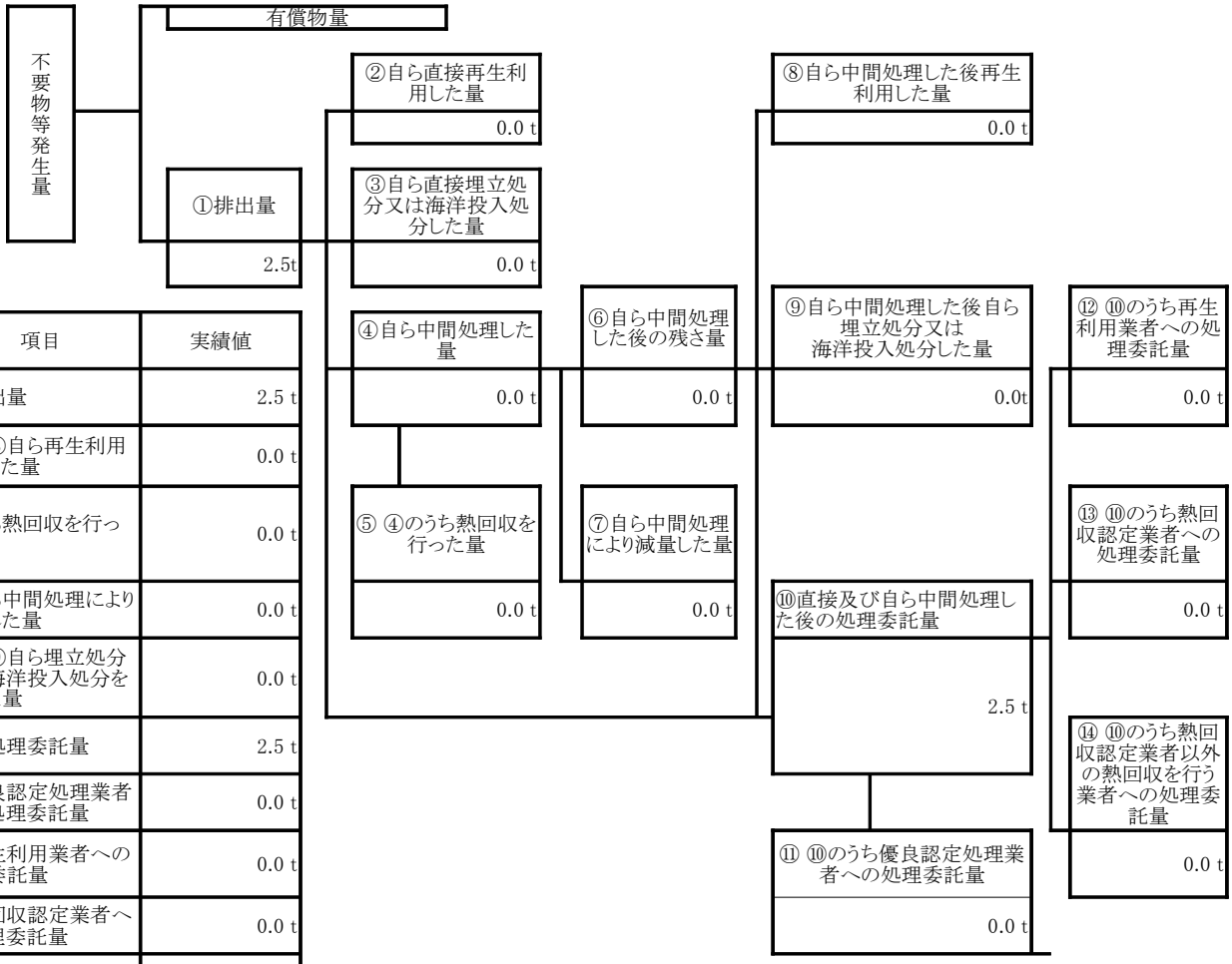


項目	実績値
①排出量	4519.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4519.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

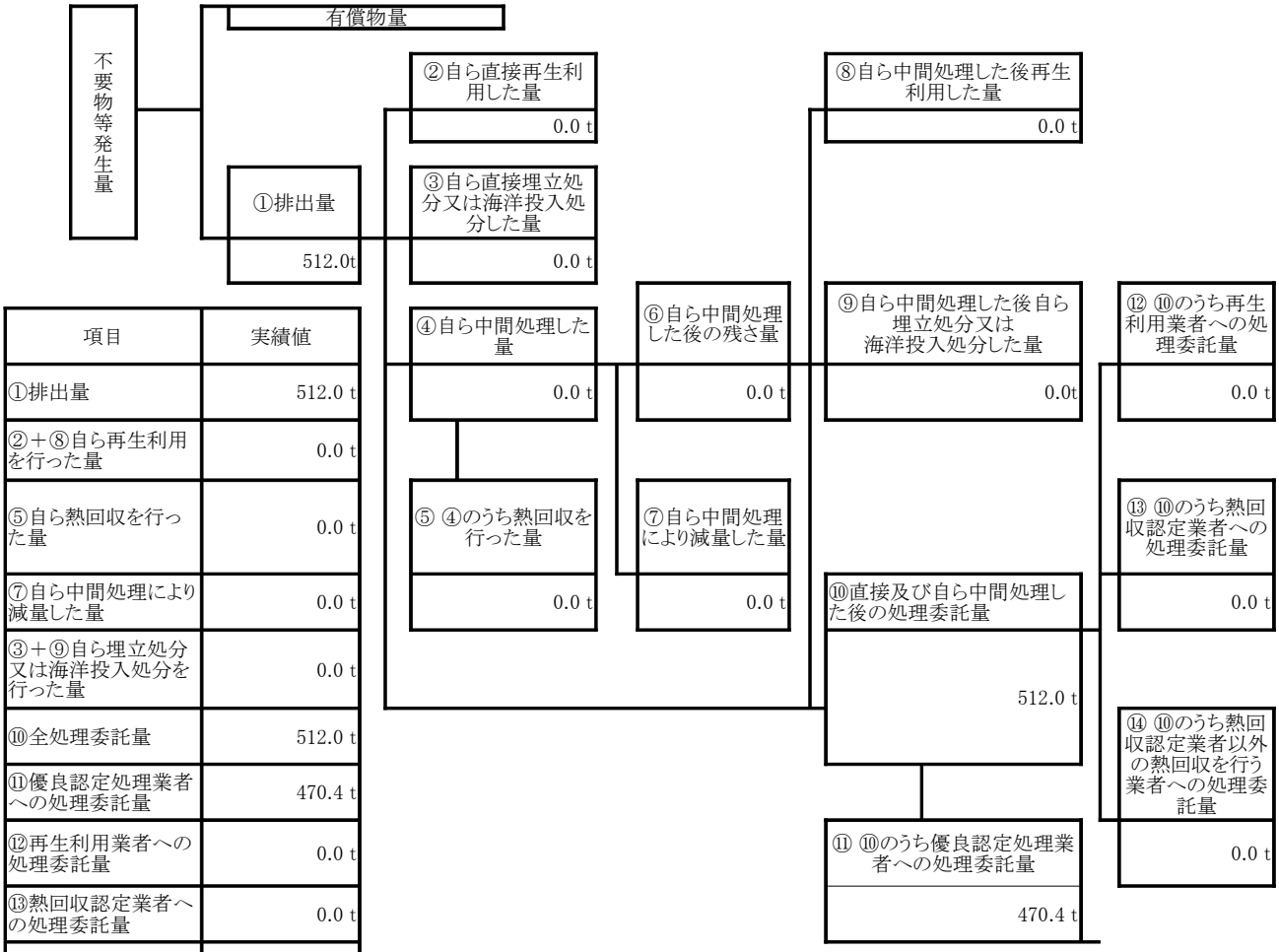


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃石膏ボード**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	512.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	512.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	470.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年　6月　3日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒103-0011

住　所　東京都中央区大伝馬町10番6号

氏　名　（株）森組　東京本店
執行役員本店長　藤田　博

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　06-6222-5093

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	（株）森組　東京本店
事業場の所在地	東京都中央区大伝馬町10番6号 （現場：成田市、四街道市、印西市、山武郡芝山町）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	D06－総合工事業
②　事業の規模	28,759,282,169円(2024年度完成工事高)
③　従業員数	327人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙産業廃棄物処理工程のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙管理体制表及び管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	2236.83 t	32.65 t
	（これまでに実施した取組） ・工法の改善（汚泥，コンクリートガラ，アスファルトガラ，木材） ・実寸発注の実施（木くず） ・簡易梱包での材料搬入（過剰梱包の防止） ・ユニット化持込（ガラスくず）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	2230 t	30 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・可能な限り分別して再資源化をはかっている。 （別添　産業廃棄物の処理工程参照）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
当社は、運搬・処分共に委託が原則

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
当社は、運搬・処分共に委託が原則

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
当社は、運搬・処分共に委託が原則

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
当社は、運搬・処分共に委託が原則

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施予定なし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
全処理委託量	2236.83 t	32.65 t
優良認定処理業者への処理委託量	13.32 t	0.11 t
再生利用業者への処理委託量	2236.84 t	32.65 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
・依託基準に従って、産業廃棄物を運搬，処分を依託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。
・再資源化率の高い事業者を選定している。その際、都道府県の優良業者認定を受けている業者及び電子マニフェスト対応業者を優先している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	がれき類	汚泥
全処理委託量＿	2230 t	30 t
優良認定処理業者への処理委託量	10 t	1 t
再生利用業者への処理委託量	2230 t	30 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。
・電子マニフェスト排出管理100%を目指す。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		排　出　量	131.72 t	3.15 t	73.5 t	33.15 t	0 t	14.69 t	1.75 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		排　出　量	130 t	3 t	70 t	30 t	0 t	10 t	1 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

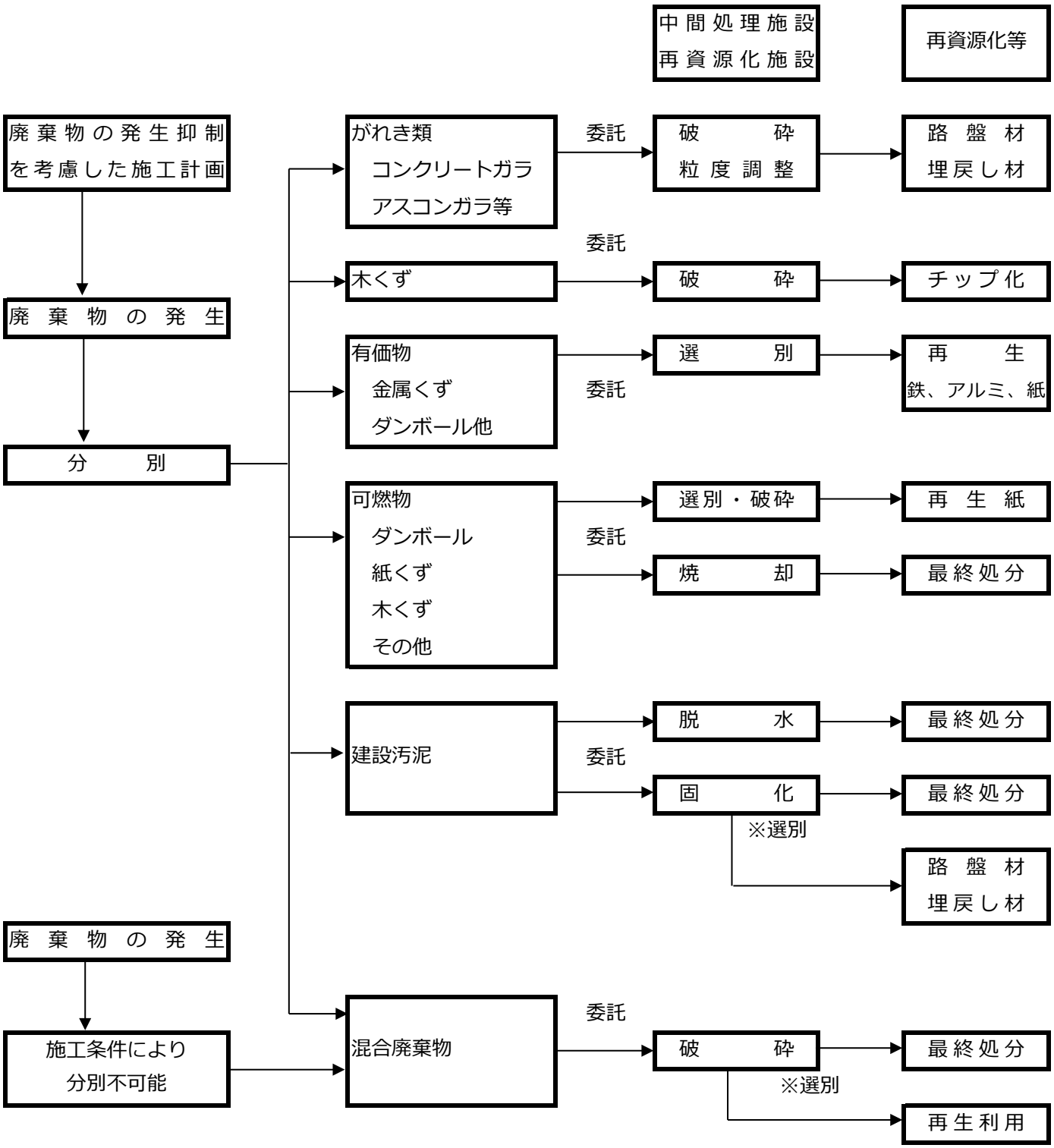
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
	全処理委託量	131.72 t	3.15 t	73.5 t	33.15 t	0 t	14.69 t	1.75 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	44.83 t	3.15 t	73.5 t	33.15 t	0 t	14.69 t	1.75 t	t
	再生利用業者への処理委託量	131.72 t	3.15 t	73.5 t	33.15 t	0 t	14.69 t	1.75 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	紙くず	廃プラスチック	混合廃棄物	石綿含有（がれき類）	金属くず	ガラスくず	
	全処理委託量	130 t	3 t	70 t	30 t	0 t	10 t	1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	40 t	3 t	70 t	30 t	0 t	10 t	1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	130 t	3 t	70 t	30 t	0 t	10 t	1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

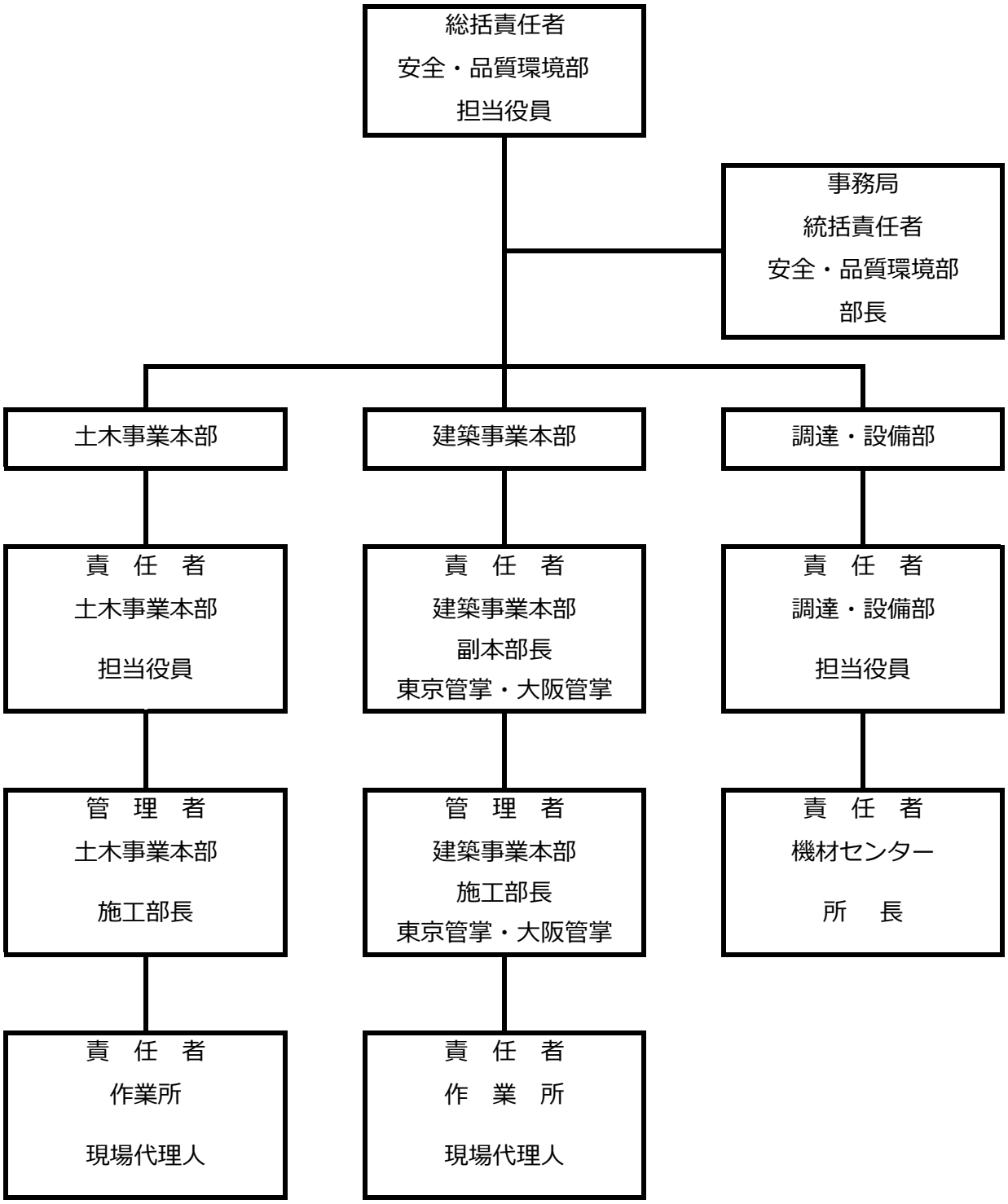
産業廃棄物の処理工程


中間処理施設
再資源化施設
再資源化等
廃棄物の発生抑制を考慮した施工計画
廃棄物の発生
分別
がれき類
コンクリートガラ
アスコンガラ等
委託
破砕
粒度調整
路盤材
埋戻し材
木くず
委託
破砕
チップ化
有価物
金属くず
ダンボール他
選別
委託
再生
鉄、アルミ、紙
可燃物
ダンボール
紙くず
木くず
その他
選別・破砕
再生紙
委託
焼却
最終処分
建設汚泥
脱水
最終処分
委託
固化
最終処分
※選別
路盤材
埋戻し材
廃棄物の発生
施工条件により
分別不可能
混合廃棄物
委託
破砕
最終処分
※選別
再生利用

廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		所　属：安全・品質環境部　　担当役員
廃棄物担当		組織名：安全・品質環境部　　組織人数：11人
役割	環境委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、 計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長―社長　　・委員―関連部門長 ・事務局―安全・品質環境部
	廃棄物処理 統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 作業所長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

【産業廃棄物管理体制】


総括責任者
安全・品質環境部
担当役員
事務局
統括責任者
安全・品質環境部
部長
土木事業本部
建築事業本部
調達・設備部
責　任　者
土木事業本部
担当役員
責　任　者
建築事業本部
副本部長
東京管掌・大阪管掌
責　任　者
調達・設備部
担当役員
管　理　者
土木事業本部
施工部長
管　理　者
建築事業本部
施工部長
東京管掌・大阪管掌
責　任　者
機材センター
所　長
責　任　者
作業所
現場代理人
責　任　者
作　業　所
現場代理人

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年　6月 3日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒 103-0011
住 所　東京都中央区大伝馬町10番6号
氏 名　(株)森組 東京本店
執行役員本店長 藤田 博
電話番号　06-6222-5093

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	(株)森組 東京本店
事業場の所在地	東京都中央区大伝馬町10番6号 (現場:成田市、四街道市、印西市、山武郡芝山町)
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

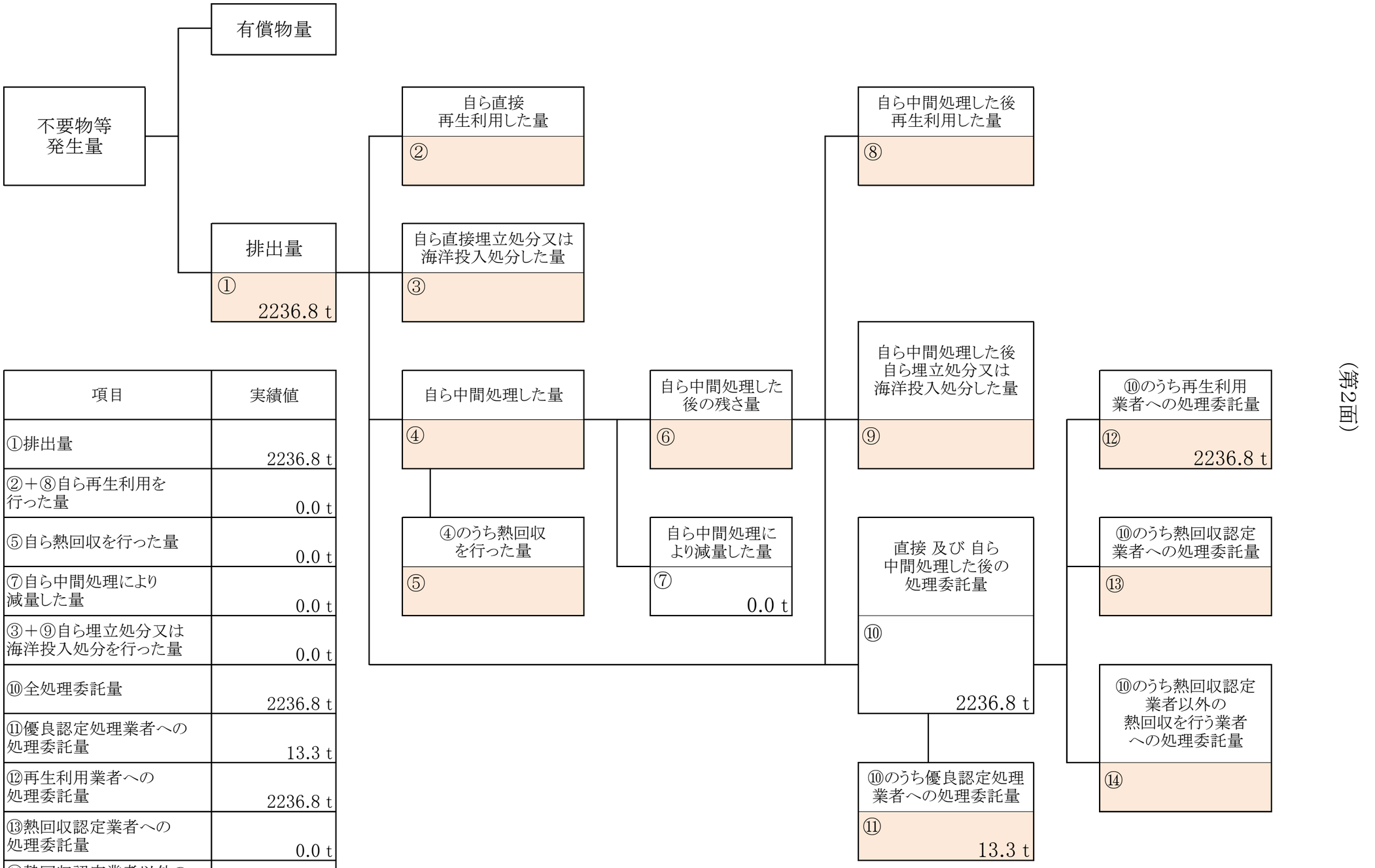
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2223.0 t	全処理委託量	2223.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	348.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1908.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**がれき類**）

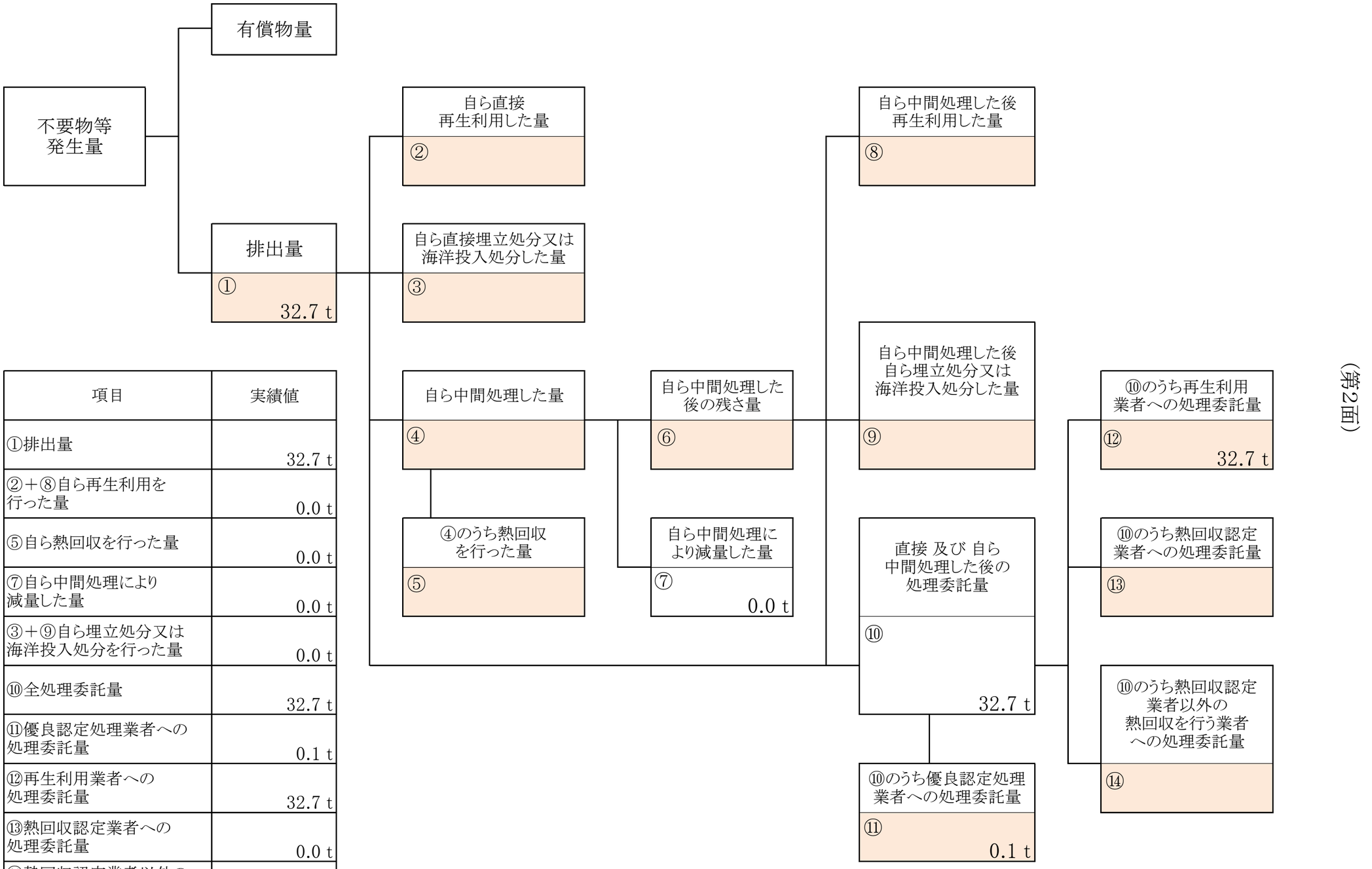


項目	実績値
①排出量	2236.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2236.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2236.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

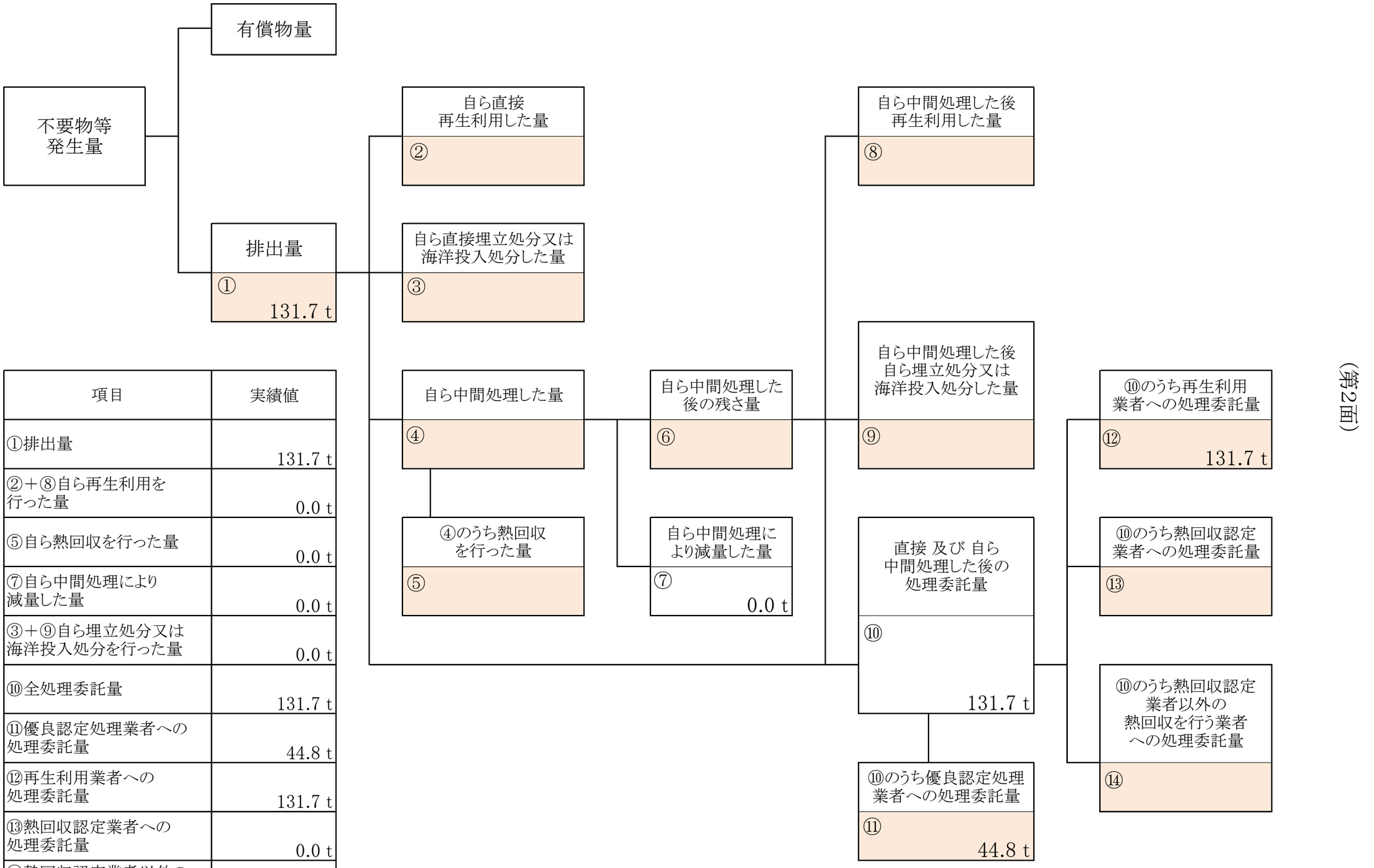


項目	実績値
①排出量	32.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

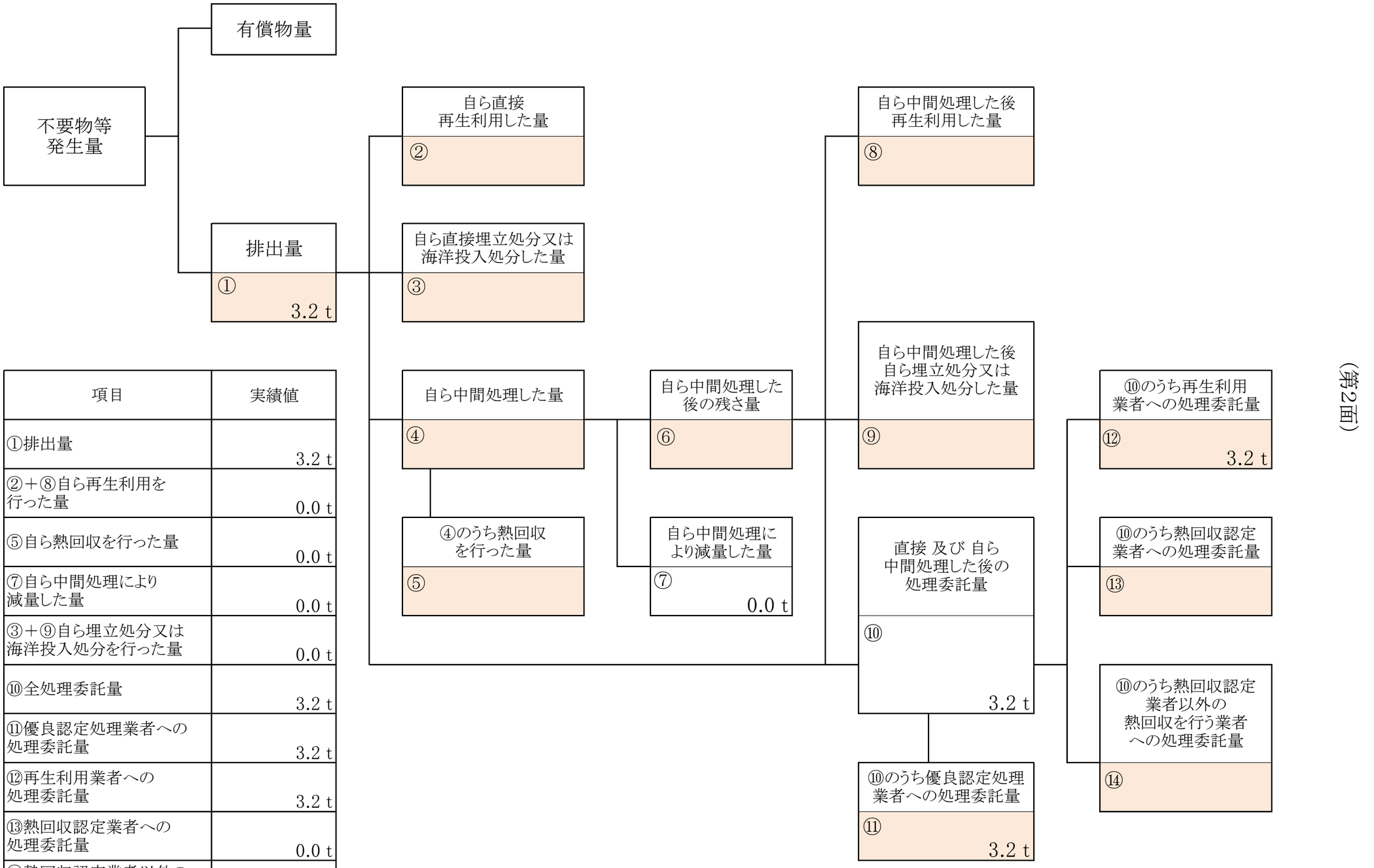


項目	実績値
①排出量	131.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	131.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	131.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**紙くず**）

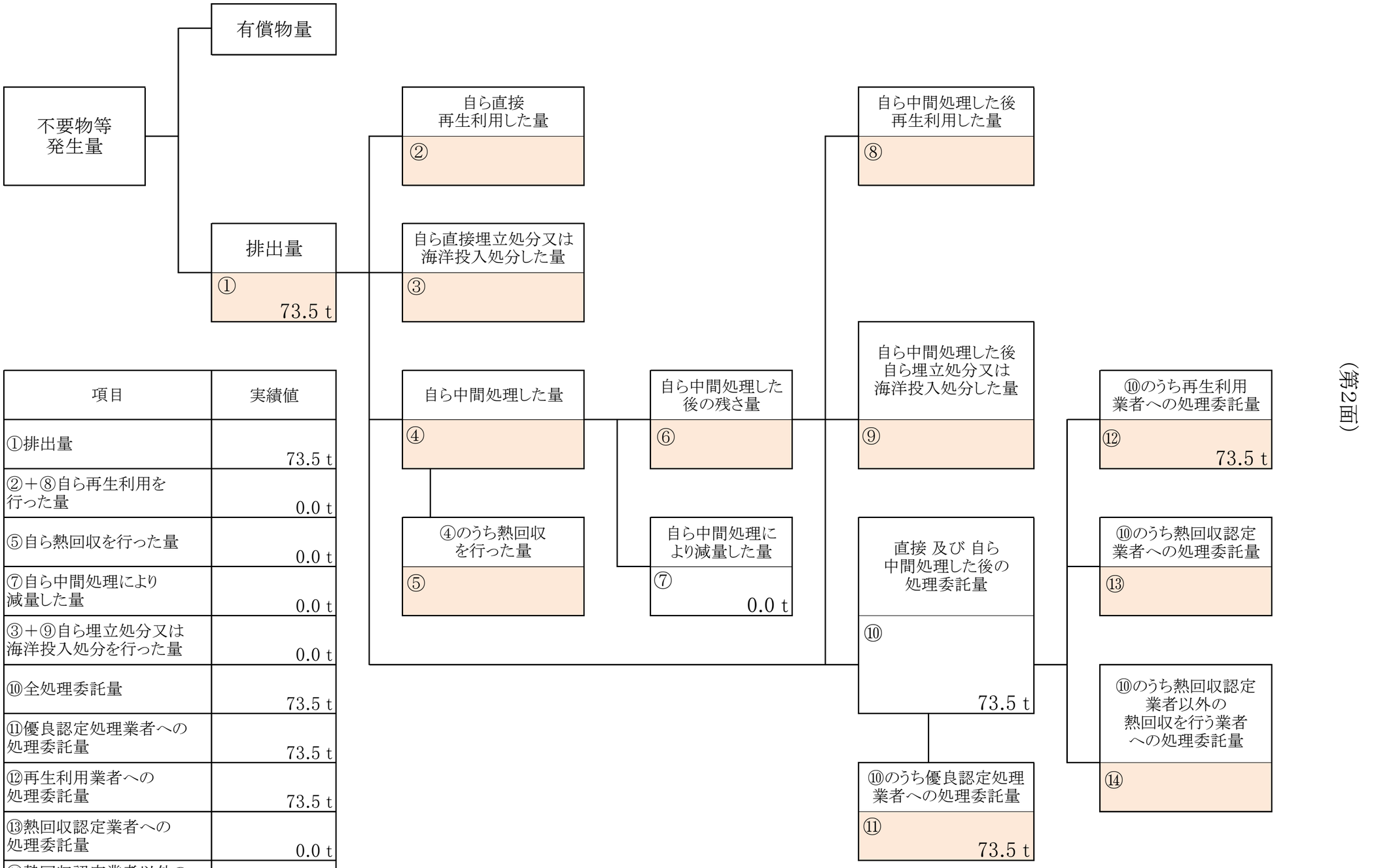


項目	実績値
①排出量	3.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

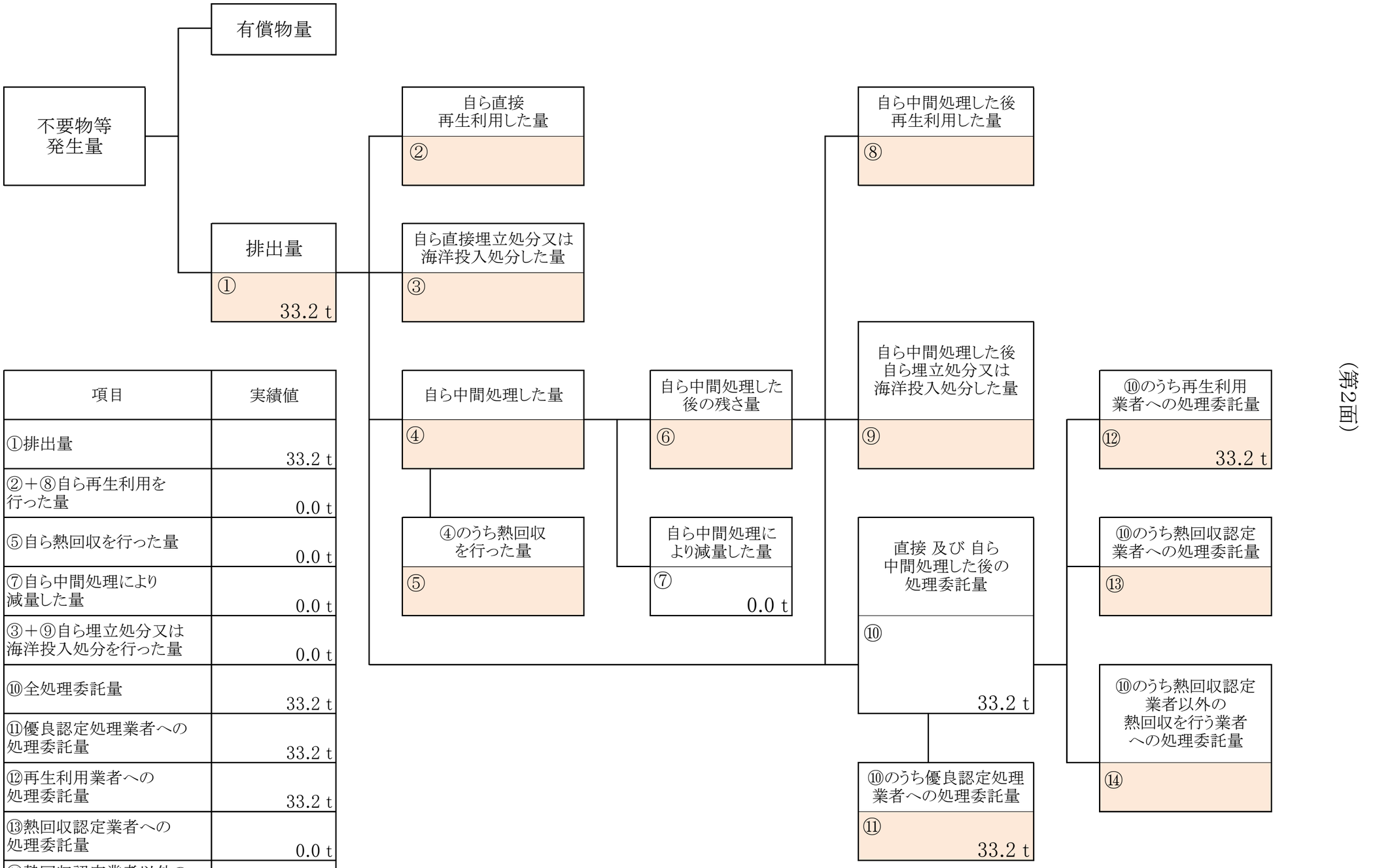


項目	実績値
①排出量	73.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	73.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	73.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	73.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）

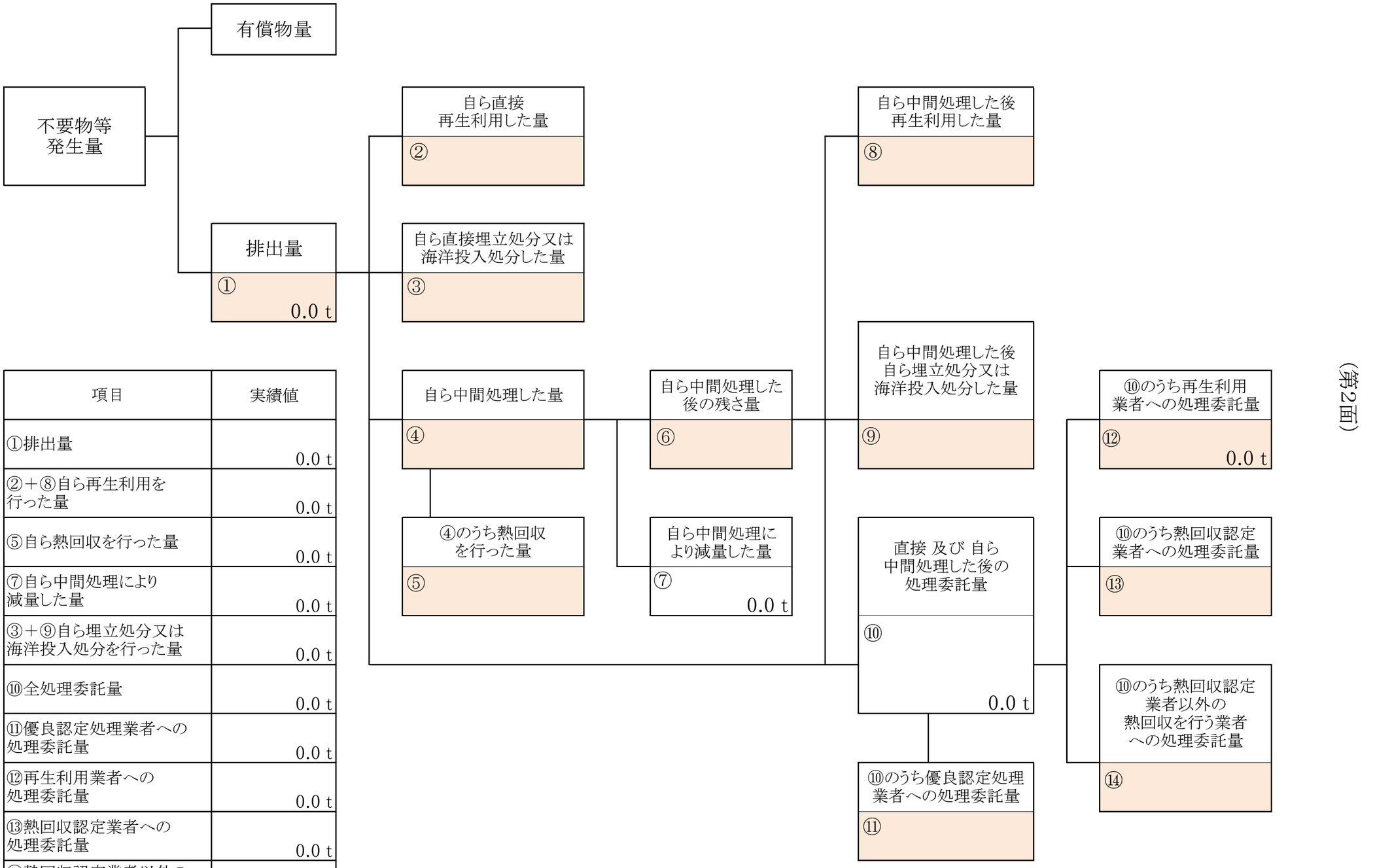


項目	実績値
①排出量	33.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	33.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	33.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	33.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：石綿含有（がれき類））

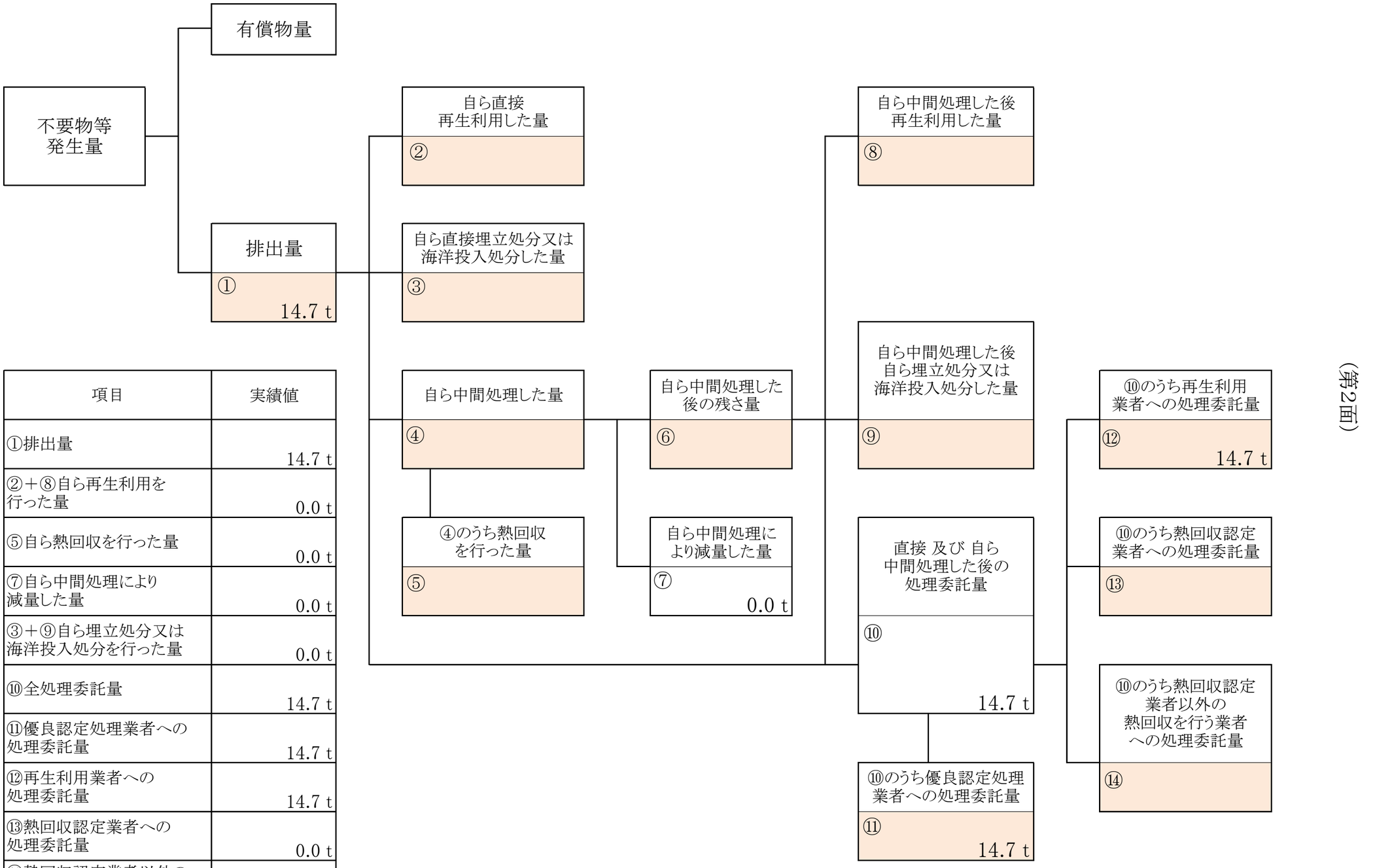


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

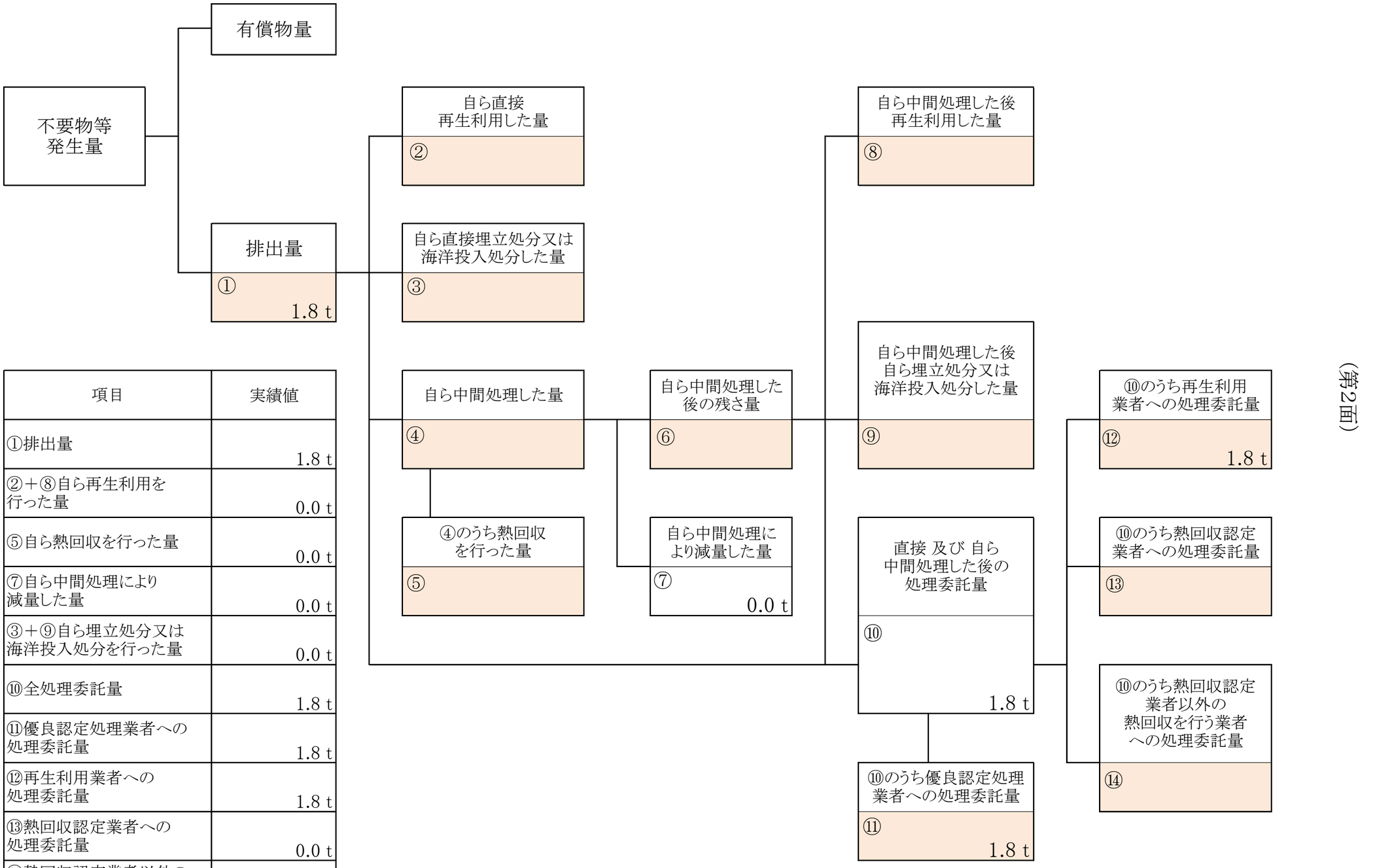


項目	実績値
①排出量	14.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず）



項目	実績値
①排出量	1.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。